令和７年度
加須市高齢者生活実態調査結果報告書

令和８年３月

加須市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1

Ⅱ　調査結果 5

①若年一般(40～64 歳） 5

１　ご本人（あなた）のことについて 7
２　健康状態・健康に対する意識について 12
３　介護保険サービスについて 20
４　介護予防の取り組みについて 22
５　高齢者相談センターついて 26
６　日常生活の状況について 29
７　ボランティアに対する意識について 34
８　認知症にかかる相談窓口について 36
９　保健・福祉サービスなどについて 36
10　加須市への定住意向について 42

②高齢者一般 43

１　はじめに 45
２　ご本人（あなた）のことについて 45
問１ あなたのご家族や生活状況について 49
問２ からだを動かすことについて 57
問３ 食べることについて 62
問４ 毎日の生活について 66
問５ 地域での活動について 71
問６ 就労について 74
問７ あなたとまわりの人の「たすけあい」について 76
問８ 健康について 83
問９ 認知症にかかる相談窓口について 89
問 10 介護保険制度などについて 90
問 11 介護予防の取り組みについて 94
問 12 保健・福祉サービスなどについて 101
問 13 加須市への定住意向について 109
１）機能別リスク該当者割合の分析 110
２）その他の生活機能判定結果 117

③居宅サービス利用者 123

1　はじめに 125
2　ご本人（あなた）のことについて 126
3　ご家族等からの介護の状況について 132
4　日常生活の状況について 135
5　介護保険サービスについて 139
6　保健・福祉サービスについて 158
7　加須市への定住意向について 167
8　主な介護者の方について 168

④施設サービス利用者 183

1　はじめに 185
2　ご本人（あなた）について 189
3　施設を選んだ理由について 191
4　入所する前の居宅サービスの利用状況について 193
5　施設サービスの利用状況について 195

⑤介護サービス未利用者 203

1　はじめに 205
2　ご本人（あなた）のことについて 205
3　ご家族等からの介護の状況について 212
4　日常生活の状況について 216
5　介護保険サービスについて 220
6　保健・福祉サービスについて 229
7　加須市への定住意向について 236
8　主な介護者について 236

⑥ケアマネジャー 249

1　ご本人（あなた）のことについて 251
2　業務運営上の課題について 253
3　市の介護予防・高齢者福祉施策について 259
4　関係機関との連携について 262

⑦介護サービス提供事業所 265

1　事業所について 267
2　提供サービスについて 268
3　介護人材の確保等に関することについて 281

Ⅲ　総　　括 291

1　世帯構成について 293
2　介護・介助について 293
3　日常生活の状況について 294
4　介護予防について 295
5　生活機能について 295
6　介護保険制度について 295
7　終活支援について 296
8　市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことについて 296

資料編　調査票 297

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

高齢化が進展する中で、高齢者の方が住み慣れた地域で望む生活を継続できるようにするためには、介護予防や自立支援、地域ケアの取組が一層重要になっています。

このため市では、３年を１期とする加須市高齢者支援計画の見直しにあたり、市民の生活状況や健康状態、介護保険制度及び高齢者施策に対する意識やニーズを把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

２．調査の設計

調査期間　令和７年 11 月 17 日(月)～12 月 17 日（水）

調査名	対象者	対象者数・抽出方法	調査方法
①若年一般 （40～64 歳）	要介護認定・要支援認定を受けていない 40 歳～64 歳の市民	対象者から 750 名を無作為抽出	郵送配布・郵送回収及びオンライン回答
②高齢者一般 （65 歳以上）	要介護認定を受けていない 65 歳以上の市民	対象者から 1,800 名を無作為抽出	郵送配布・郵送回収
③居宅サービス利用者	居宅サービス利用者、地域密着型サービス利用者又は介護予防・生活支援サービス事業利用者	対象者から 600 名を無作為抽出	郵送配布・郵送回収
④施設サービス利用者	介護保険施設入所者	対象者から 200 名を無作為抽出	郵送配布・郵送回収
⑤介護サービス未利用者	要介護認定・要支援認定を受けていて、介護サービス及び介護予防・生活支援サービス事業を利用していない市民	対象者から 500 名を無作為抽出	郵送配布・郵送回収
⑥ケアマネジャー	市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー・1 事業所あたり 1 人	市内の居宅介護支援事業所 30 事業所	郵送配布・郵送回収
⑦介護サービス提供事業所	市内及び加須市の被保険者が利用する市外介護サービス提供事業所	介護サービス提供事業所 120 事業所を市民の利用実績を踏まえ抽出	郵送配布・郵送回収及びオンライン回答

3．回収結果

調査名	配布数	有効回収数	有効回収率
① 若年一般	750 通	347 通 （うちオンライン 110 通）	46.3%
② 高齢者一般（※１）	1,800 通	1,262 通	70.1%
③ 居宅サービス利用者（※２）	600 通	338 通	56.3%
④ 施設サービス利用者	200 通	142 通	71.0%
⑤ 介護サービス未利用者	500 通	275 通	55.0%
⑥ ケアマネジャー	30 通	23 通	76.7%
⑦ 介護サービス提供事業所	120 通	80 通 （うちオンライン 30 通）	66.7%
計	4,000 通	2,467 通	61.7%

（※１）　国の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査項目を含む。

（※２）　国の在宅介護実態調査の調査項目を含む。

4．報告書の見方

①単数回答設問について

単数回答設問における各選択肢の回答割合（比率）は、非該当者を除いた回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。

②四捨五入による合計値の誤差について

各数値は小数点以下第２位を四捨五入して算出しているため、比率の合計が 100%とならない場合があります。

③複数回答設問について

複数回答設問における各選択肢の回答割合は、当該設問に回答した者を基数として算出しています。そのため、各選択肢の割合を合計すると 100%を超える場合があります。

④図表・本文の省略について

図表や本文においては、選択肢の一部又は数値の一部を省略している場合があります。

Ⅱ　調査結果

①若年一般(40～64 歳)

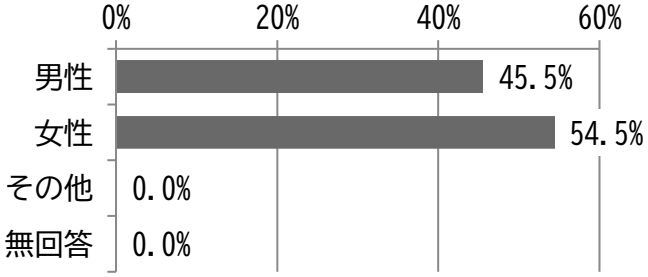
①若年一般(40～64 歳)

1　ご本人（あなた）のことについて

問1　ご本人の性別、年齢、お住まいの地域等について伺います。

（1）性別

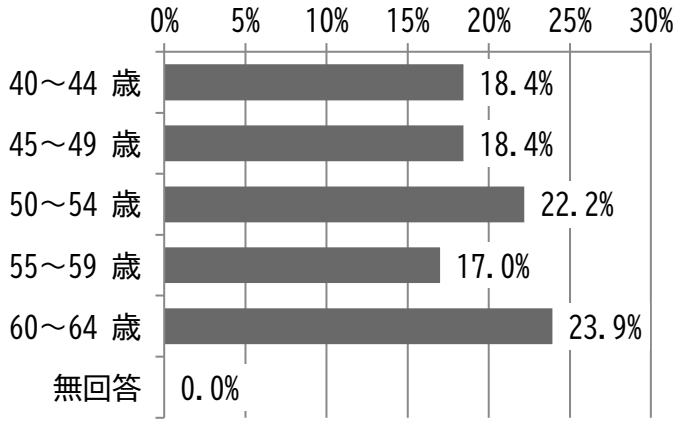
性別については、「男性」が 45.5%、「女性」が 54.5%となっています。



項目	度数	比率
男性	158	45.5%
女性	189	54.5%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	347	100.0%

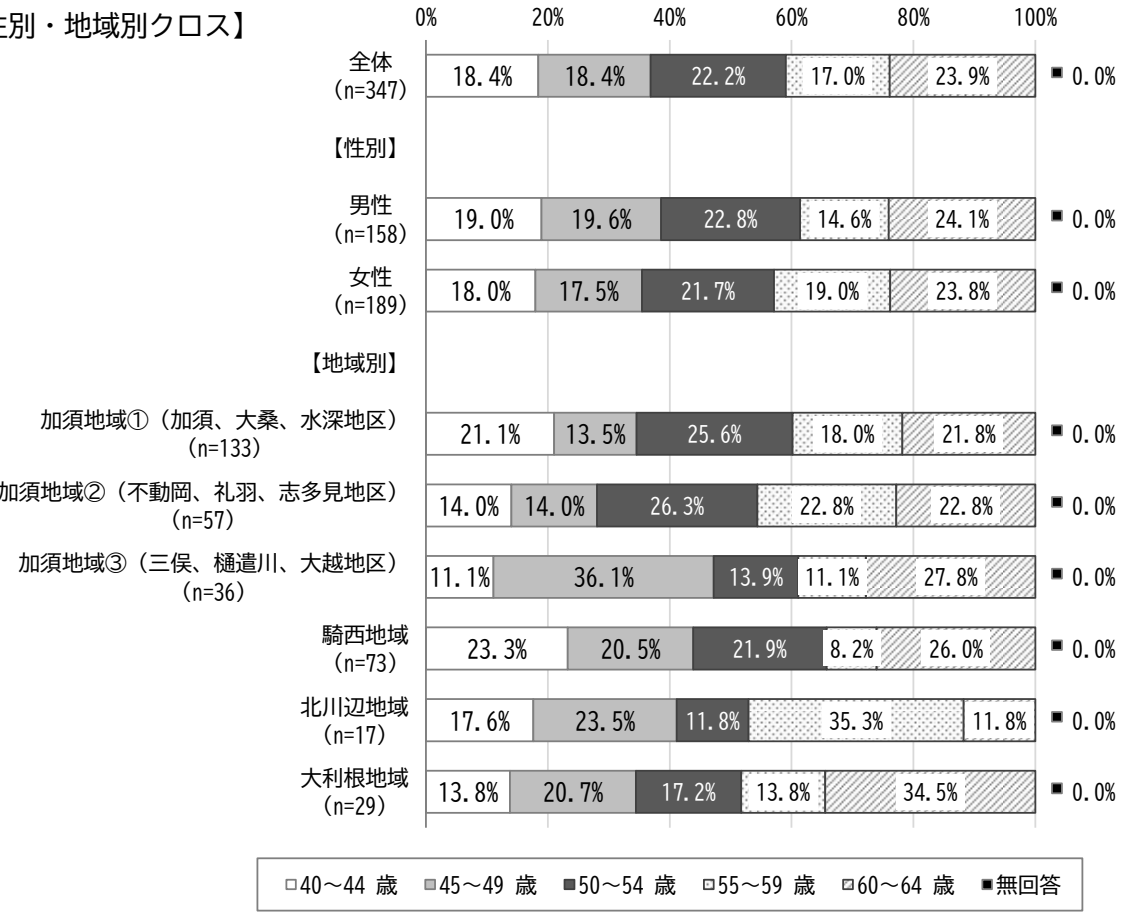
（2）年齢（令和7年 10 月 1 日現在）

年齢については、「60～64 歳」が 23.9%と最も多く、次いで、「50～54 歳」が 22.2%、「40～44 歳」、「45～49 歳」がともに 18.4%となっています。



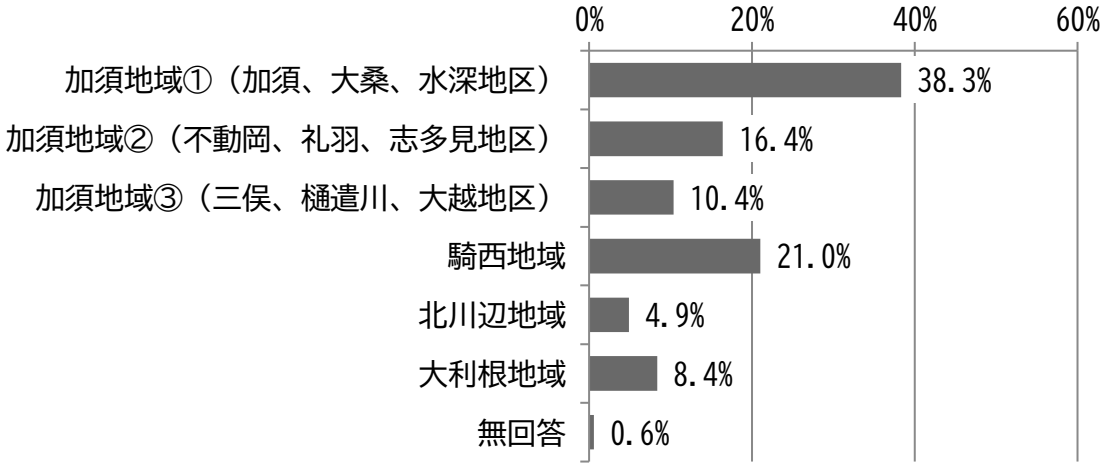
項目	度数	比率
40～44 歳	64	18.4%
45～49 歳	64	18.4%
50～54 歳	77	22.2%
55～59 歳	59	17.0%
60～64 歳	83	23.9%
無回答	0	0.0%
合計	347	100.0%

【性別・地域別クロス】



（3）お住まいの地域

お住まいの地域については、「加須地域①（加須、大桑、水深地区）」が 38.3%と最も多く、次いで、「騎西地域」が 21.0%、「加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）」が 16.4%となっています。

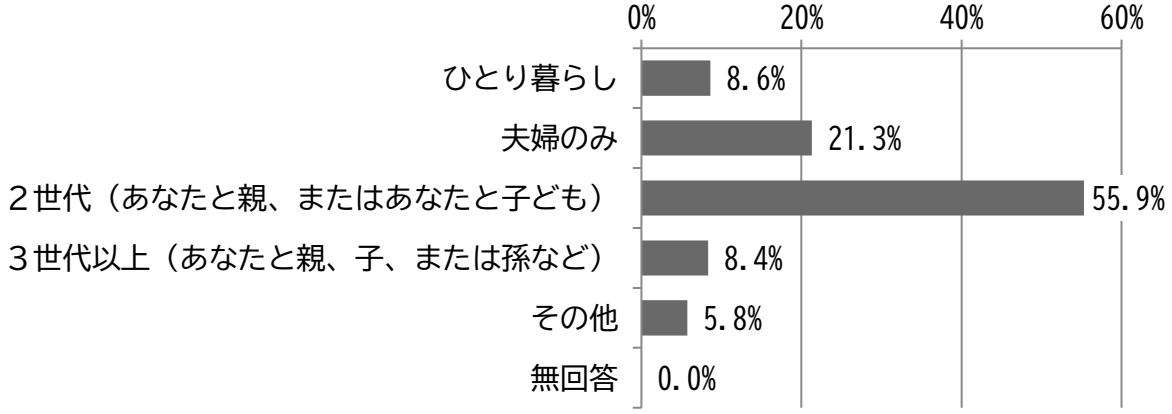


項目	度数	比率
加須地域①（加須、大桑、水深地区）	133	38.3%
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）	57	16.4%
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）	36	10.4%
騎西地域	73	21.0%
北川辺地域	17	4.9%
大利根地域	29	8.4%
無回答	2	0.6%
合計	347	100.0%

（４）世帯構成

世帯構成については、「２世代（あなたと親、またはあなたと子ども）」が 55.9%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」が 21.3%となっています。

一方、「ひとり暮らし」は、8.6%となっています。



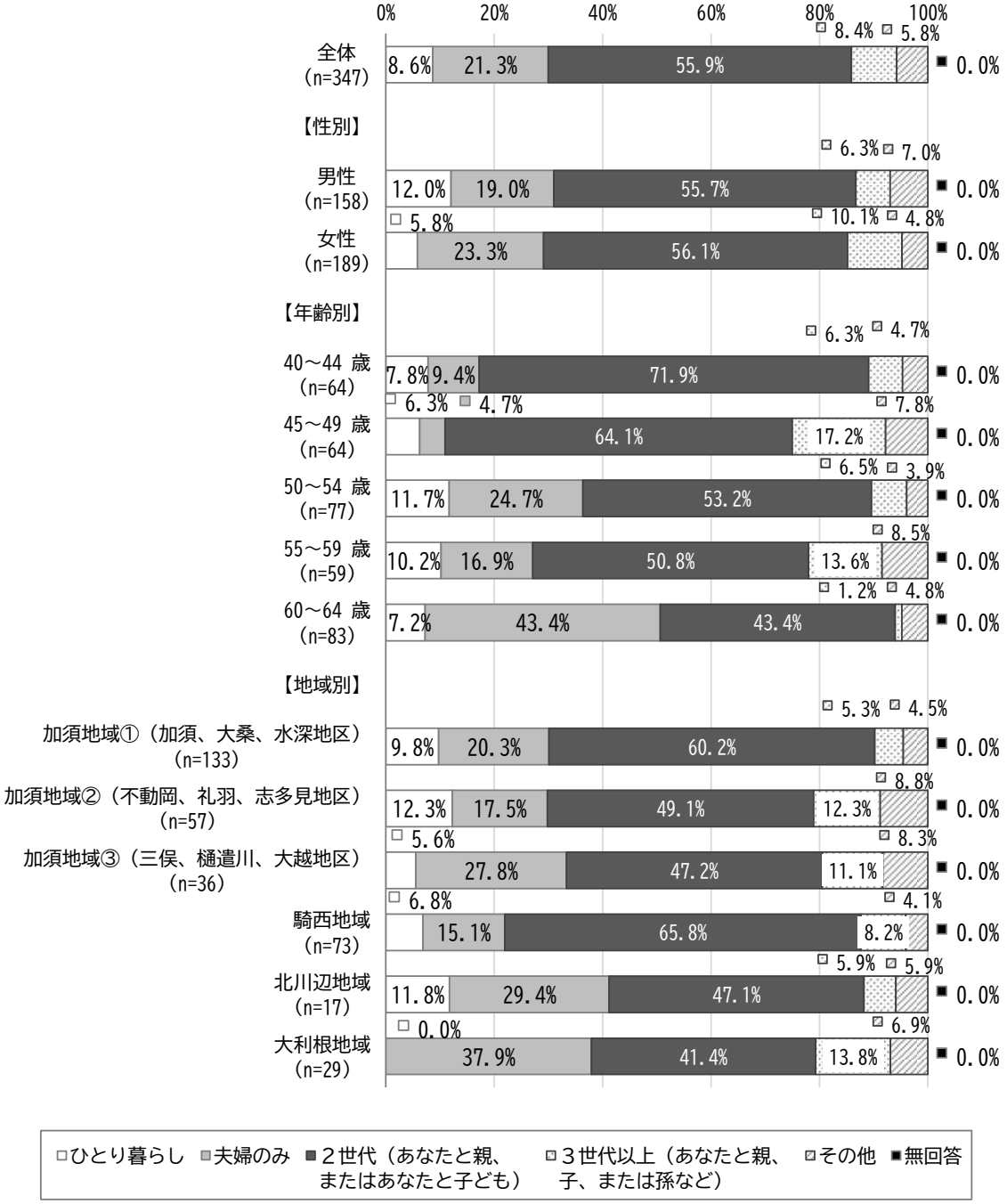
項目	度数	比率
ひとり暮らし	30	8.6%
夫婦のみ	74	21.3%
２世代（あなたと親、またはあなたと子ども）	194	55.9%
３世代以上（あなたと親、子、または孫など）	29	8.4%
その他	20	5.8%
無回答	0	0.0%
合計	347	100.0%

【性別・地域別クロス】

世帯構成を男女別でみると、男女ともに「２世代」の割合が高くなっています。

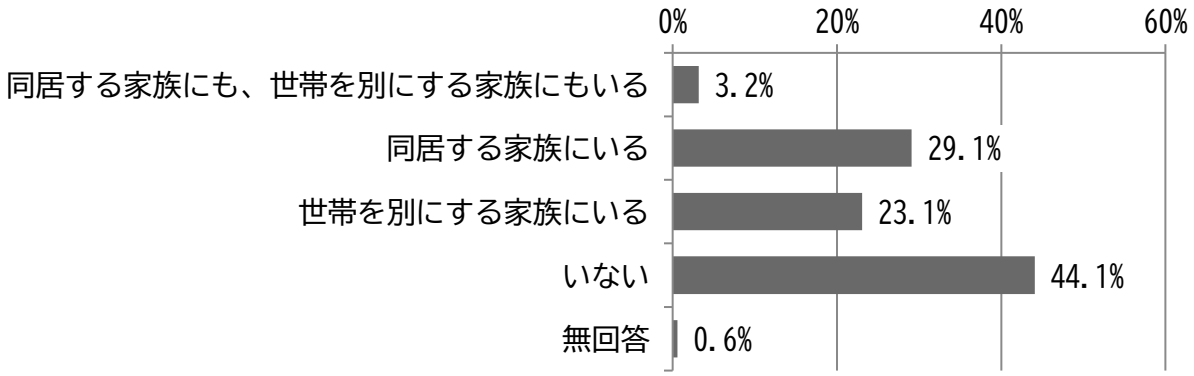
年齢別でみると、「ひとり暮らし」では『55～59 歳』、「夫婦のみ」では『60～64 歳』、「２世代」では『40～44 歳』、『45～49 歳』が他の年齢階級より高い割合となっています。

地域別でみると、「ひとり暮らし」では『加須地域②』、「夫婦のみ」では『大利根地域』、「２世代」では『騎西地域』が他の地域より高い割合となっています。



問２　ご家族の中に、65 歳以上の方はいらっしゃいますか。同じ敷地内の世帯を別にする家族も含めてお答えください。[１つに○]

家族の中に、65 歳以上の方がいるかについては、「いない」が 44.1%と最も多く、次いで、「同居する家族にいる」が 29.1%、「世帯を別にする家族にいる」が 23.1%となっています。

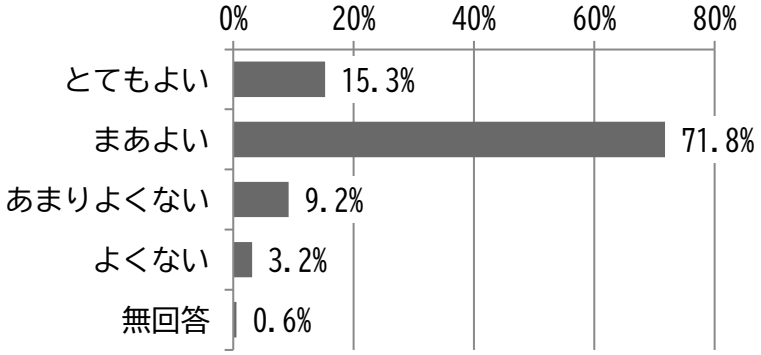


項目	度数	比率
同居する家族にも、世帯を別にする家族にもいる	11	3.2%
同居する家族にいる	101	29.1%
世帯を別にする家族にいる	80	23.1%
いない	153	44.1%
無回答	2	0.6%
合計	347	100.0%

２　健康状態・健康に対する意識について

問３　現在のあなたの健康状態はいかがですか。[１つに○]

健康状態については、「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』が 87.1%となっています。一方、「あまりよくない」「よくない」を合わせた『よくない』は 12.4%となっています。



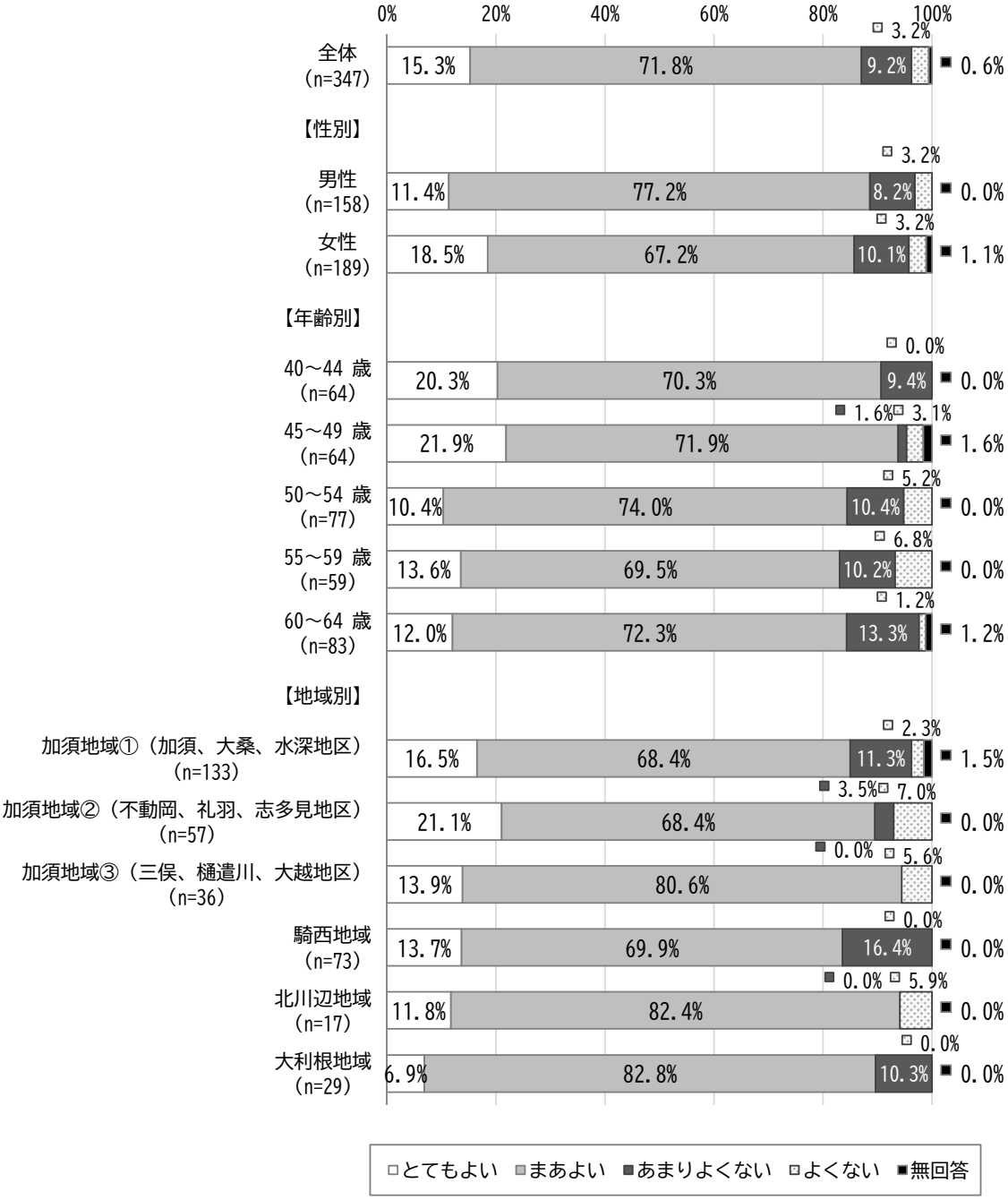
項目	度数	比率
とてもよい	53	15.3%
まあよい	249	71.8%
あまりよくない	32	9.2%
よくない	11	3.2%
無回答	2	0.6%
合計	347	100.0%

【性別・年齢・地域別クロス】

現在の健康状態を男女別でみると、「とてもよい」は『女性』の方がやや高い割合ですが、「まあよい」と合わせると『男性』が約９割となっています。

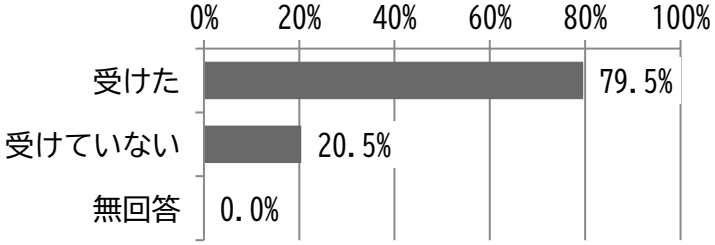
年齢別でみると、すべての年齢階級で『よい』の割合が８割を超えており、特にその割合が高いのは『40 代』となっています。

地域別でみると、すべての地域で『よい』の割合が８割を超えており、特にその割合が高いのは『加須地域③』となっています。



問４　この１年間に健康診断を受けましたか。（市、職場、病院、一般の人間ドックなど）［１つに○］

１年間に健康診断を受けたかについては、「受けた」が 79.5%、「受けていない」が 20.5%となっています。

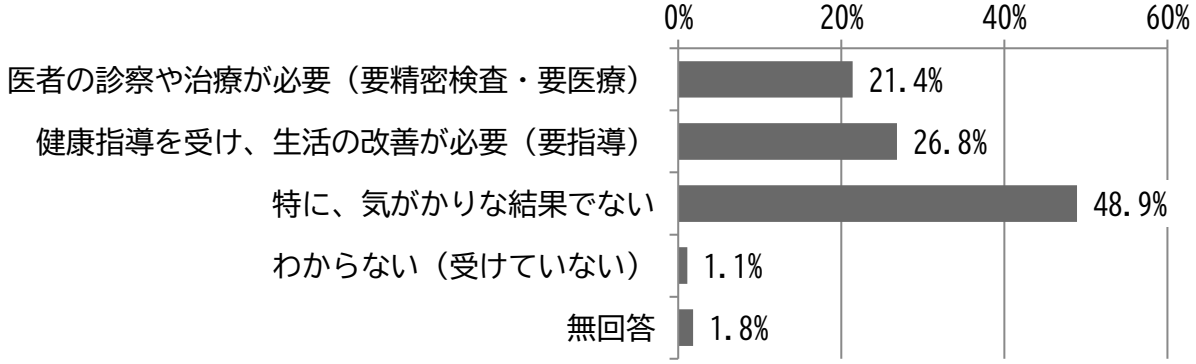


項目	度数	比率
受けた	276	79.5%
受けていない	71	20.5%
無回答	0	0.0%
合計	347	100.0%

【問４で「受けた」を選択した方のみ回答】

問４-①　最近の健康診断の結果はいかがでしたか。［１つに○］

健康診断の結果については、「特に、気がかりな結果でない」が 48.9%と最も多く、次いで、「健康指導を受け、生活の改善が必要（要指導）」が 26.8%、「医者の診察や治療が必要（要精密検査・要医療）」が 21.4%となっています。

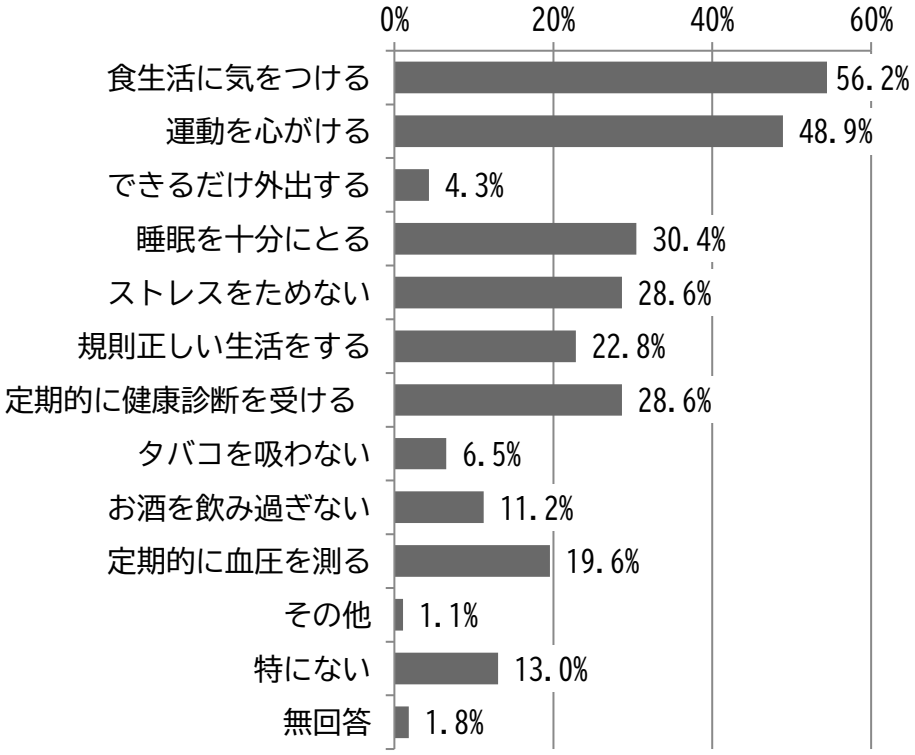


項目	度数	比率
医者の診察や治療が必要（要精密検査・要医療）	59	21.4%
健康指導を受け、生活の改善が必要（要指導）	74	26.8%
特に、気がかりな結果でない	135	48.9%
わからない（受けていない）	3	1.1%
無回答	5	1.8%
回答者数	276	100.0%

【問４で「受けた」を選択した方のみ回答】

問４-②　健康診断の結果を受けて、特に心がけるようになったことはありますか。[あてはまるものすべてに○]

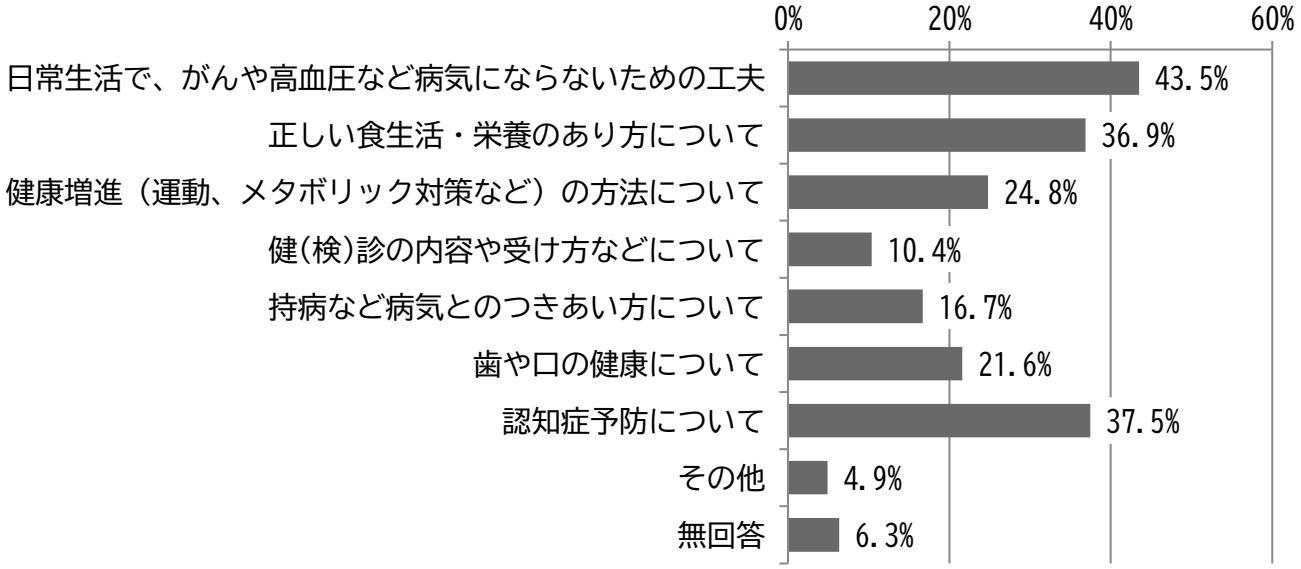
健康診断の結果を受けて、心がけるようになったことについては、「食生活に気をつける」が 56.2%と最も多く、次いで、「運動を心がける」が 48.9%、「睡眠を十分にとる」が 30.4%となっています。



項目	度数	比率
食生活に気をつける	155	56.2%
運動を心がける	135	48.9%
できるだけ外出する	12	4.3%
睡眠を十分にとる	84	30.4%
ストレスをためない	79	28.6%
規則正しい生活をする	63	22.8%
定期的に健康診断を受ける	79	28.6%
タバコを吸わない	18	6.5%
お酒を飲み過ぎない	31	11.2%
定期的に血圧を測る	54	19.6%
その他	3	1.1%
特にない	36	13.0%
無回答	5	1.8%
回答者数	276	

問５　「健康づくり」のことに関して、知りたいことはありますか。[３つまで○]

「健康づくり」のことに関して、知りたいことについては、「日常生活で、がんや高血圧など病気にならないための工夫」が 43.5%と最も多く、次いで、「認知症予防について」が 37.5%、「正しい食生活・栄養のあり方について」が 36.9%となっています。



項目	度数	比率
日常生活で、がんや高血圧など病気にならないための工夫	151	43.5%
正しい食生活・栄養のあり方について	128	36.9%
健康増進（運動、メタボリック対策など）の方法について	86	24.8%
健(検)診の内容や受け方などについて	36	10.4%
持病など病気とのつきあい方について	58	16.7%
歯や口の健康について	75	21.6%
認知症予防について	130	37.5%
その他	17	4.9%
無回答	22	6.3%
回答者数	347	

問６　現在、医療機関に受診（服薬のみも含む）している病気などがありますか。[あてはまるものすべてに○]

医療機関に受診（服薬のみも含む）している病気については、「高血圧症」が 17.0%と最も多く、次いで、「糖尿病」が 9.8%、「ぜんそくなどの呼吸器疾患」、「白内障等の目の病気」、「耳、鼻の病気」がそれぞれ 4.6%となっています。

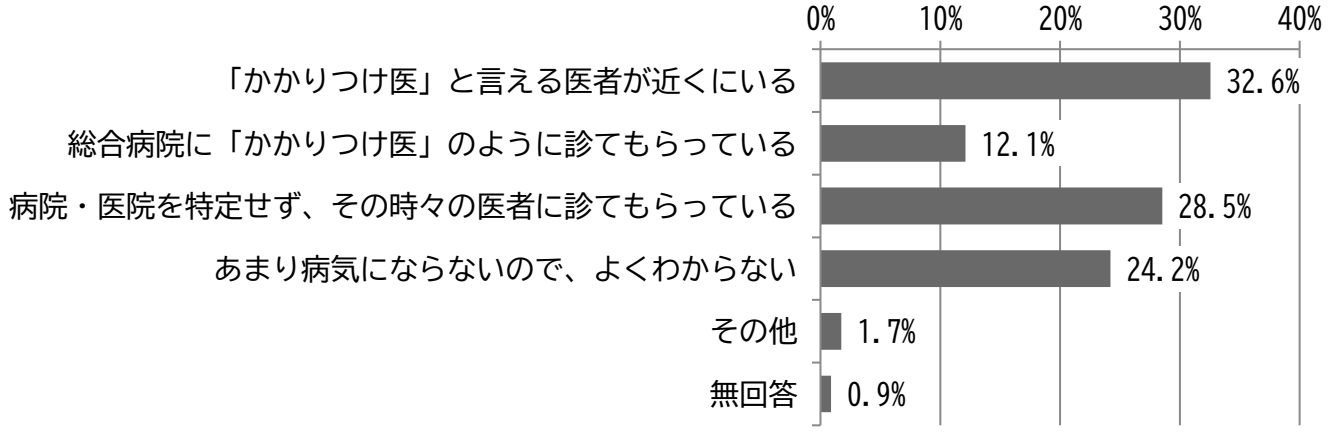
一方、「特にない」が 45.5%となっています。



項目	度数	比率
特にない	158	45.5%
心臓病	8	2.3%
糖尿病	34	9.8%
脳卒中などの脳血管疾患	4	1.2%
高血圧症	59	17.0%
貧血	4	1.2%
腰痛	14	4.0%
腎臓病	4	1.2%
肝臓病	7	2.0%
ぜんそくなどの呼吸器疾患	16	4.6%
認知症	0	0.0%
心の病（うつ症状など）	11	3.2%
神経痛、リウマチ	3	0.9%
骨折、外傷	3	0.9%
白内障等の目の病気	16	4.6%
耳、鼻の病気	16	4.6%
骨粗しょう症	1	0.3%
その他	73	21.0%
無回答	13	3.7%
回答者数	347	

問７　あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」がいますか。[１つに○]

健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」がいるかについては、「「かかりつけ医」と言える医者が近くにいる」が 32.6%と最も多く、次いで、「病院・医院を特定せず、その時々の医者に診てもらっている」が 28.5%、「あまり病気にならないので、よくわからない」が 24.2%となっています。



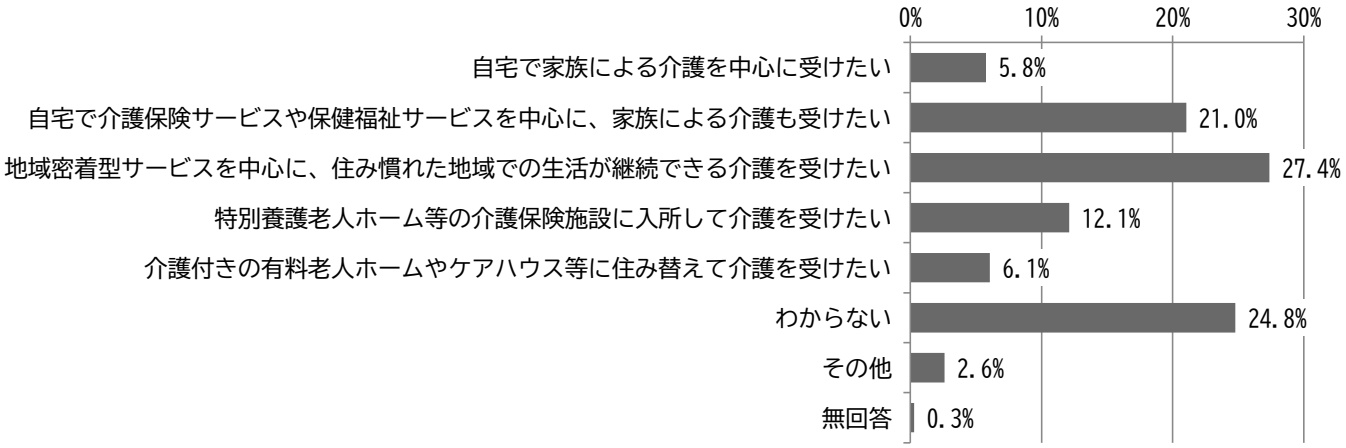
項目	度数	比率
「かかりつけ医」と言える医者が近くにいる	113	32.6%
総合病院に「かかりつけ医」のように診てもらっている	42	12.1%
病院・医院を特定せず、その時々の医者に診てもらっている	99	28.5%
あまり病気にならないので、よくわからない	84	24.2%
その他	6	1.7%
無回答	3	0.9%
合計	347	100.0%

３　介護保険サービスについて

問８　介護が必要になった場合、どのような介護を希望しますか。[１つに○]

介護が必要になった場合、希望するものでは、「地域密着型サービス（グループホーム、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護など）を中心に、住み慣れた地域での生活が継続できる介護を受けたい」が 27.4%と最も多く、次いで、「自宅で介護保険サービスや保健福祉サービスを中心に、家族による介護も受けたい」が 21.0%となっています。

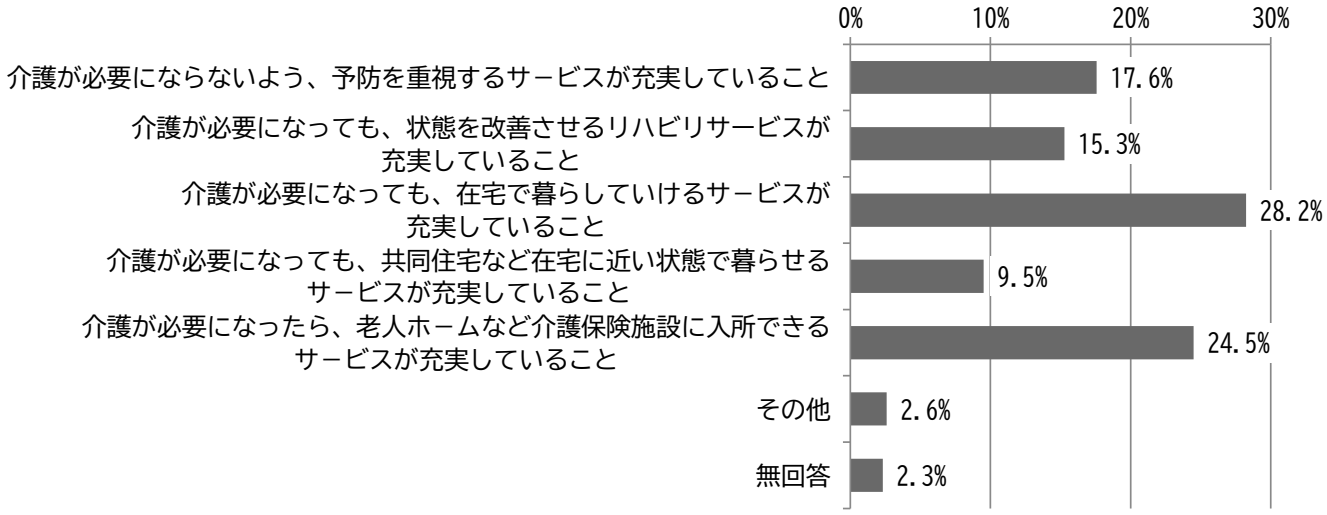
一方、「わからない」が 24.8%となっています。



項目	度数	比率
自宅で家族による介護を中心に受けたい	20	5.8%
自宅で介護保険サービスや保健福祉サービスを中心に、家族による介護も受けたい	73	21.0%
地域密着型サービス （グループホーム、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護など） を中心に、住み慣れた地域での生活が継続できる介護を受けたい	95	27.4%
特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所して介護を受けたい	42	12.1%
介護付きの有料老人ホームやケアハウス等に住み替えて介護を受けたい	21	6.1%
わからない	86	24.8%
その他	9	2.6%
無回答	1	0.3%
合計	347	100.0%

問９　あなたは、介護保険サービスにどのようなことを期待しますか。もっとも期待の高いものを選んでください。[１つに○]

介護保険サービスに期待することについては、「介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること」が 28.2%と最も多く、次いで、「介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること」が 24.5%、「介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること」が 17.6%となっています。

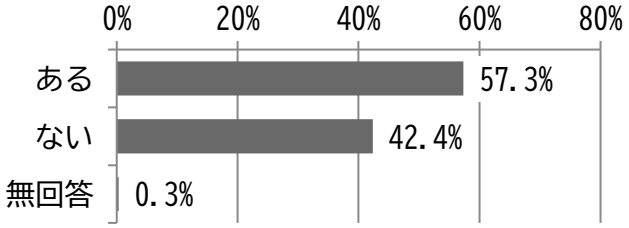


項目	度数	比率
介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること	61	17.6%
介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること	53	15.3%
介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること	98	28.2%
介護が必要になっても、共同住宅など在宅に近い状態で暮らせるサービスが充実していること	33	9.5%
介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること	85	24.5%
その他	9	2.6%
無回答	8	2.3%
合計	347	100.0%

４　介護予防の取り組みについて

問 10　健康づくりや介護予防のために、日ごろから取り組んでいることはありますか。[１つに○]

健康づくりや介護予防のために、日ごろから取り組んでいることがあるかについては、「ある」が 57.3%、「ない」が 42.4%となっています。

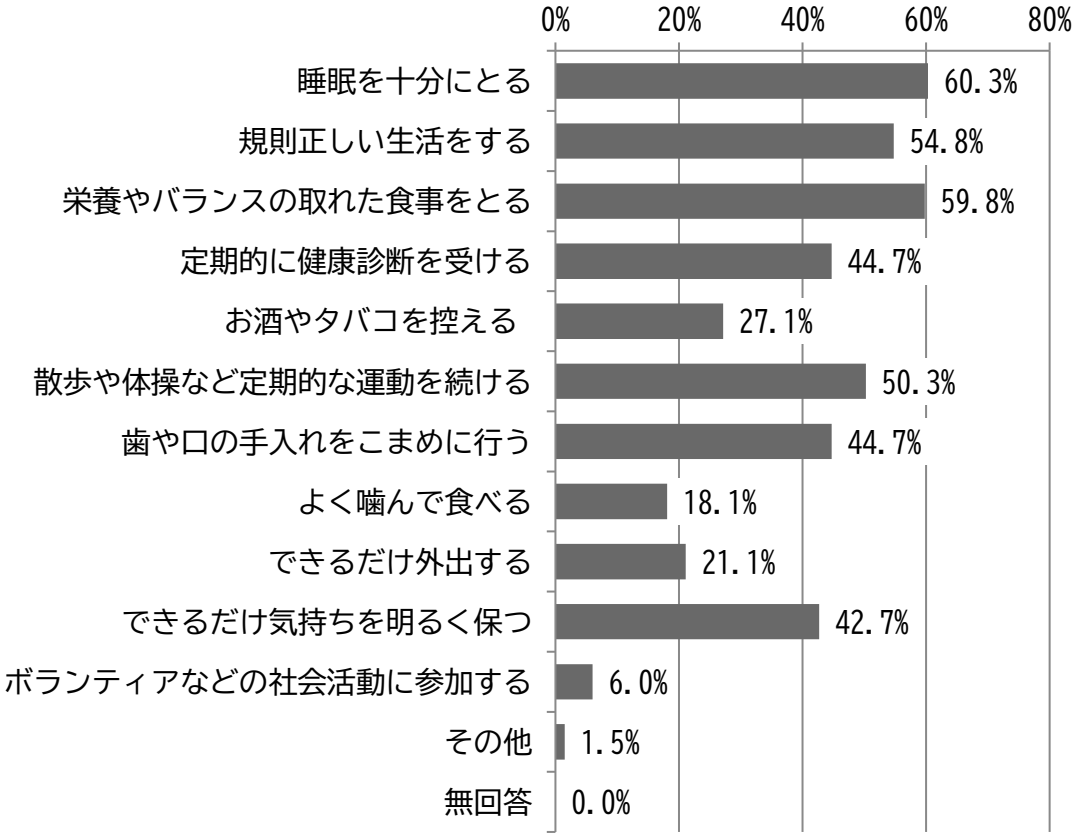


項目	度数	比率
ある	199	57.3%
ない	147	42.4%
無回答	1	0.3%
合計	347	100.0%

【問 10 で「ある」を選択した方のみ回答】

問 10-①　健康づくりや介護予防のために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。[あてはまるものすべてに○]

健康づくりや介護予防のために、日ごろから取り組んでいることについては、「睡眠を十分にとる」が 60.3%と最も多く、次いで、「栄養やバランスの取れた食事をとる」が 59.8%、「規則正しい生活をする」が 54.8%となっています。

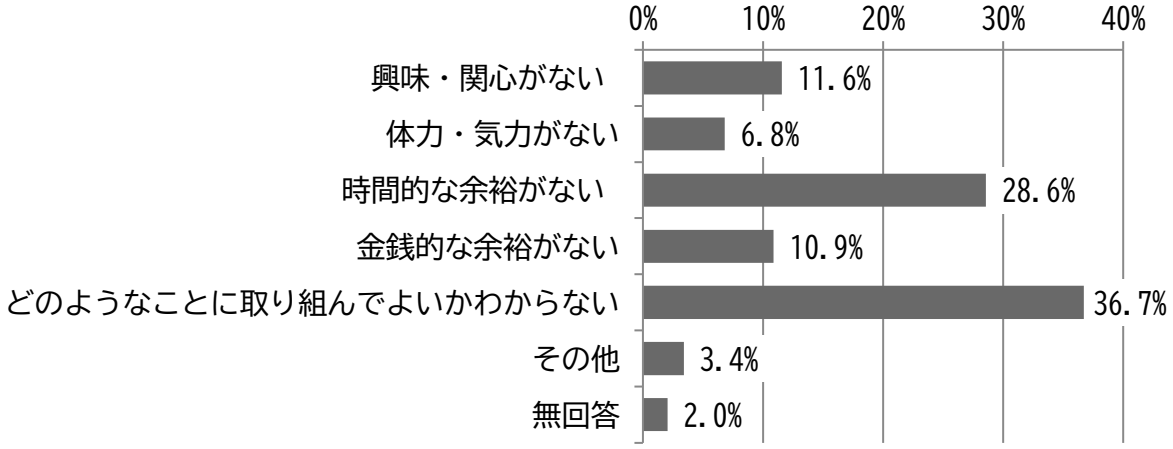


項目	度数	比率
睡眠を十分にとる	120	60.3%
規則正しい生活をする	109	54.8%
栄養やバランスの取れた食事をとる	119	59.8%
定期的に健康診断を受ける	89	44.7%
お酒やタバコを控える	54	27.1%
散歩や体操など定期的な運動を続ける	100	50.3%
歯や口の手入れをこまめに行う	89	44.7%
よく噛んで食べる	36	18.1%
できるだけ外出する	42	21.1%
できるだけ気持ちを明るく保つ	85	42.7%
ボランティアなどの社会活動に参加する	12	6.0%
その他	3	1.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	199	

【問 10 で「ない」を選択した方のみ回答】

問 10-②　それはなぜですか。［１つに○］

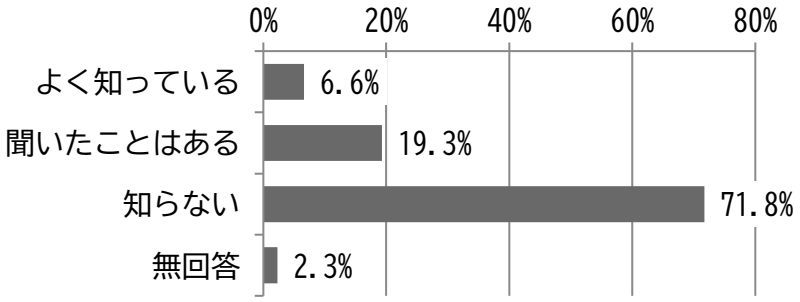
健康づくりや介護予防のために、取り組んでいない理由については、「どのようなことに取り組んでよいかわからない」が 36.7%と最も多く、次いで、「時間的な余裕がない 」が 28.6%、「興味・関心がない 」が 11.6%となっています。



項目	度数	比率
興味・関心がない	17	11.6%
体力・気力がない	10	6.8%
時間的な余裕がない	42	28.6%
金銭的な余裕がない	16	10.9%
どのようなことに取り組んでよいかわからない	54	36.7%
その他	5	3.4%
無回答	3	2.0%
回答者数	147	100.0%

問 11　市では、６５歳以上の方を対象に、介護予防事業を行っていますが、介護予防事業を知っていますか。[１つに○]

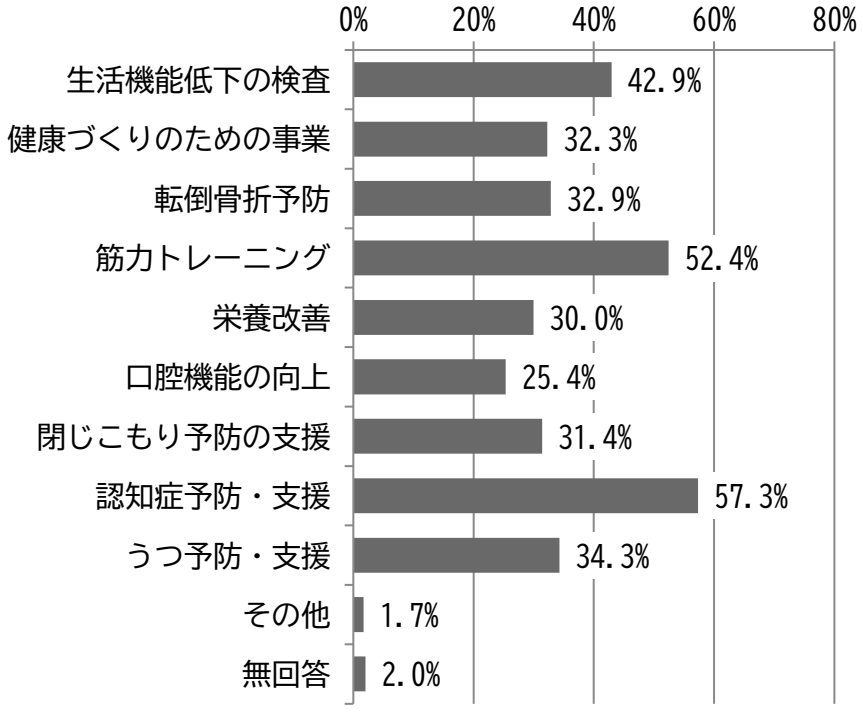
介護予防事業の認知度については、「知らない」が 71.8%、「聞いたことはある」が 19.3%、「よく知っている 」が 6.6%となっています。



項目	度数	比率
よく知っている	23	6.6%
聞いたことはある	67	19.3%
知らない	249	71.8%
無回答	8	2.3%
合計	347	100.0%

問 12　今後の介護予防・重度化防止への取り組みについて、下記のうち特に重要と思われるものはどれですか。［あてはまるものすべてに○］

今後の介護予防・重度化防止への取り組みで重要と思われるものについては、「認知症予防・支援（認知症にならない、認知症を進行させないような取り組み）」が 57.3%と最も多く、次いで、「筋力トレーニング（簡単な体操などを行い筋力やバランス能力の向上・改善を行う）」が 52.4%、「生活機能低下の検査（生活機能評価チェックリストなど）」が 42.9%となっています。

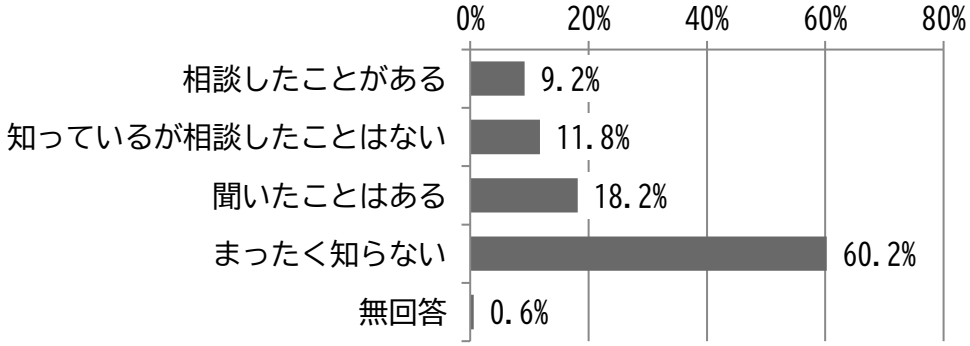


項目	度数	比率
生活機能低下の検査 （生活機能評価チェックリストなど）	149	42.9%
健康づくりのための事業	112	32.3%
転倒骨折予防 （転倒、骨折による寝たきり防止などの取り組み）	114	32.9%
筋力トレーニング （簡単な体操などを行い筋力やバランス能力の向上・改善を行う）	182	52.4%
栄養改善 （バランスのとれた食事摂取への取り組み）	104	30.0%
口腔機能の向上 （歯や口の中の清潔維持などへの取り組み）	88	25.4%
閉じこもり予防の支援 （地域の集会所等におけるサロン等の設置）	109	31.4%
認知症予防・支援 （認知症にならない、認知症を進行させないような取り組み）	199	57.3%
うつ予防・支援 （気づかれにくい・気づきにくい、心の健康の問題への取り組み）	119	34.3%
その他	6	1.7%
無回答	7	2.0%
回答者数	347	

５　高齢者相談センターついて

問 13　市では介護予防や高齢者とその家族の生活全般の相談窓口として「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」を市内に６か所設置しています。あなたは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）をご存じですか。［１つに○］

高齢者相談センター（地域包括支援センター）を知っているかについては、「まったく知らない」が 60.2%と最も多く、次いで、「聞いたことはある」が 18.2%、「知っているが相談したことはない」が 11.8%となっています。



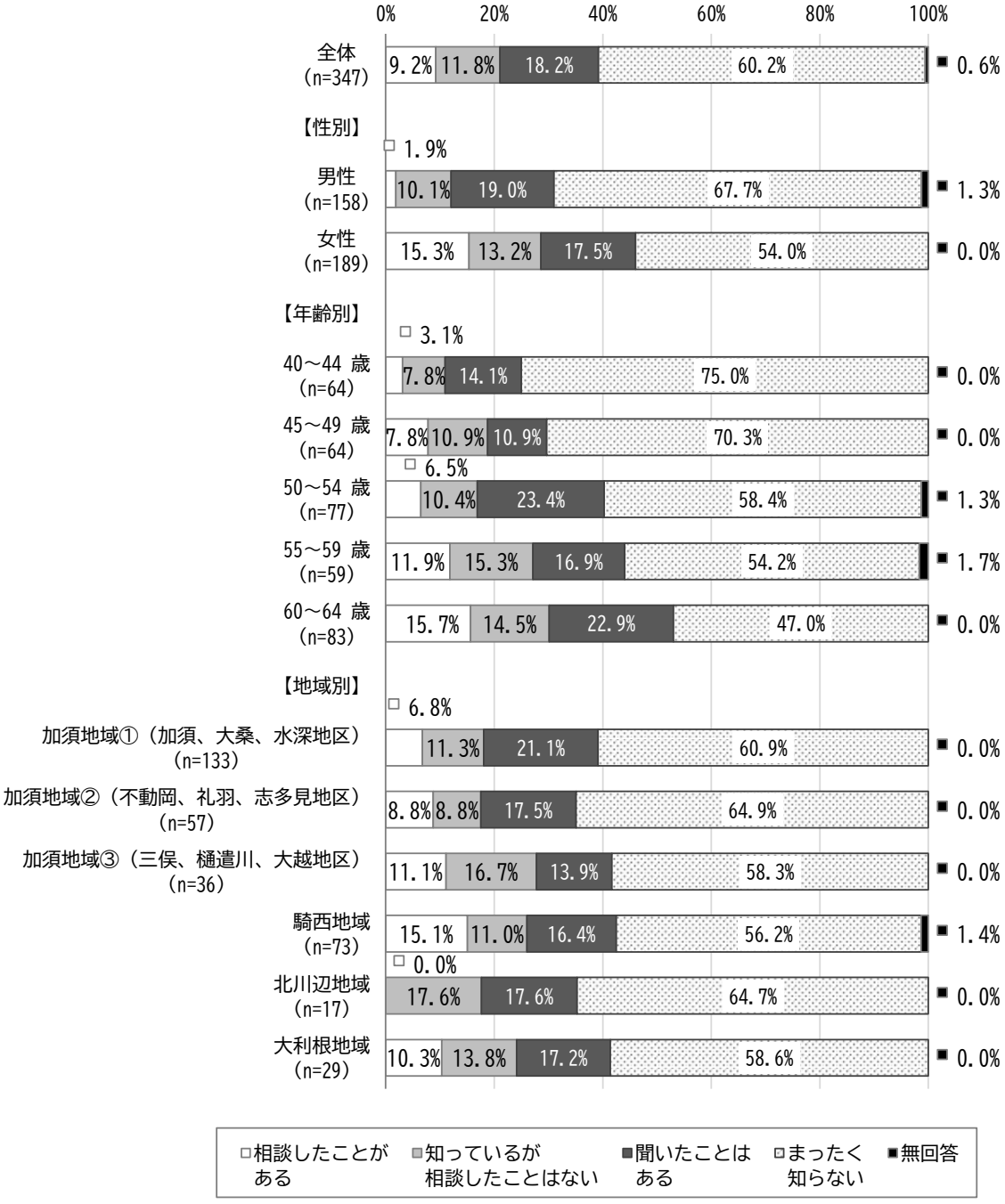
項目	度数	比率
相談したことがある	32	9.2%
知っているが相談したことはない	41	11.8%
聞いたことはある	63	18.2%
まったく知らない	209	60.2%
無回答	2	0.6%
合計	347	100.0%

【性別・年齢・地域別クロス】

高齢者相談センターの認知度を男女別でみると、「相談したことがある」、「知っているが相談したことはない」で『女性』の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるに従い、認知度が上がっています。

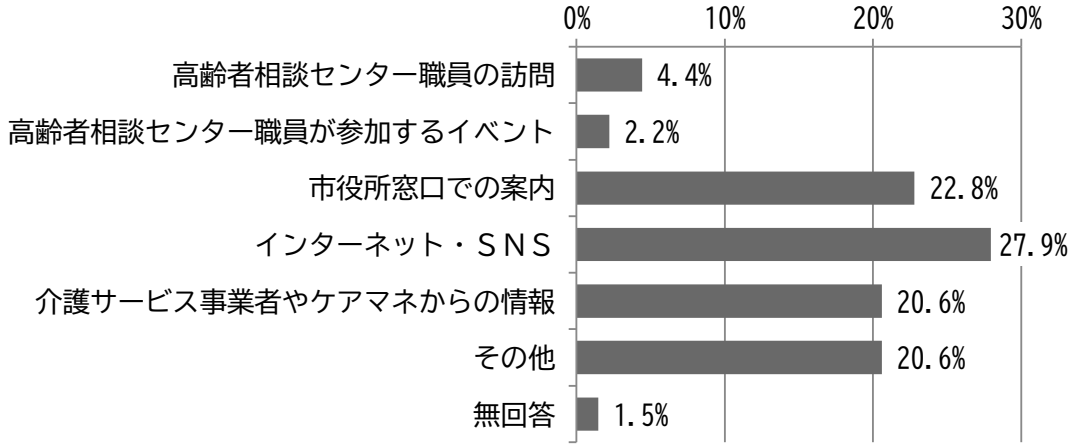
地域別でみると、「相談したことがある」「知っているが相談したことはない」を合わせて高いのは『加須地域③』、『騎西地域』となっています。



【問 13 で「相談したことがある」、「知っているが相談したことはない」、「聞いたことはある」のいずれかを選択した方のみ回答】

問 13-①　高齢者相談センターをどのようにして知りましたか。［１つに○］

高齢者相談センターを知ったきっかけについては、「インターネット・ＳＮＳ」が 27.9%と最も多く、次いで、「市役所窓口での案内」が 22.8%、「介護サービス事業者やケアマネからの情報」が 20.6%となっています。

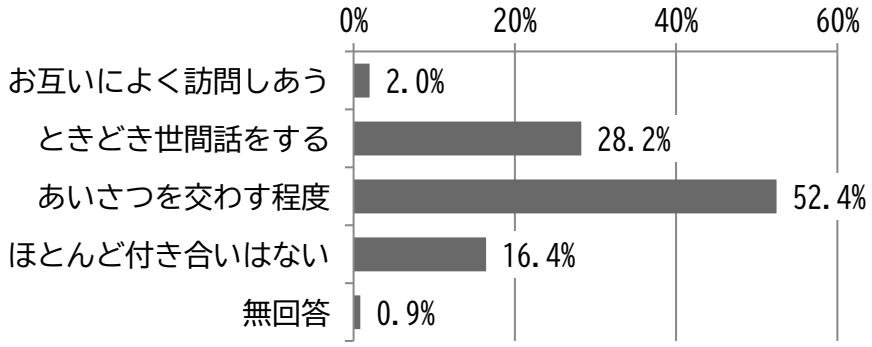


項目	度数	比率
高齢者相談センター職員の訪問	6	4.4%
高齢者相談センター職員が参加するイベント	3	2.2%
市役所窓口での案内	31	22.8%
インターネット・ＳＮＳ	38	27.9%
介護サービス事業者やケアマネからの情報	28	20.6%
その他	28	20.6%
無回答	2	1.5%
回答者数	136	100.0%

6　日常生活の状況について

問 14　あなたはご近所と、どの程度の付き合いをされていますか。[１つに○]

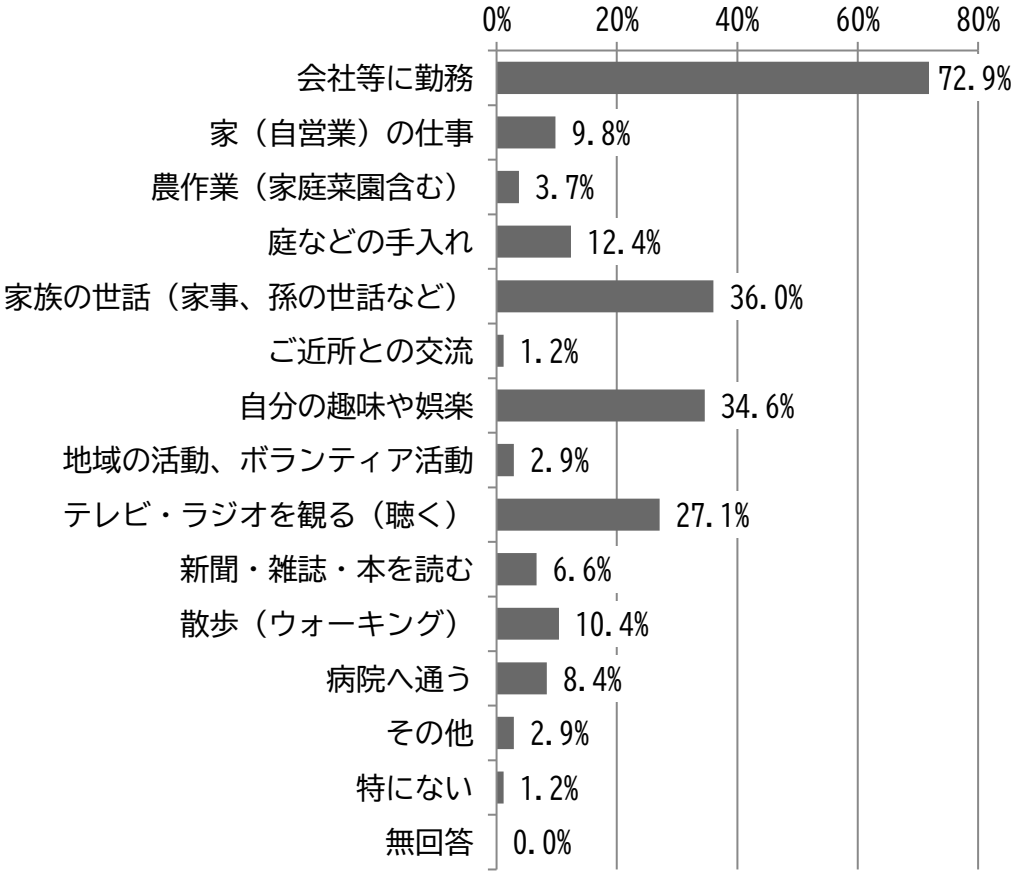
ご近所とのお付き合いの程度については、「あいさつを交わす程度」が 52.4%と最も多く、次いで、「ときどき世間話をする」が 28.2%、「ほとんど付き合いはない」が 16.4%となっています。



項目	度数	比率
お互いによく訪問しあう	7	2.0%
ときどき世間話をする	98	28.2%
あいさつを交わす程度	182	52.4%
ほとんど付き合いはない	57	16.4%
無回答	3	0.9%
合計	347	100.0%

問 15　あなたは、日ごろどのように過ごすことが多いですか。[３つまで○]

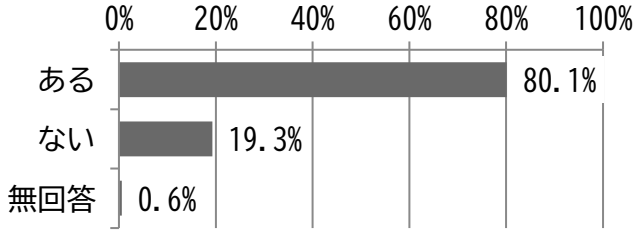
日ごろの過ごし方については、「会社等に勤務」が 72.9%と最も多く、次いで、「家族の世話（家事、孫の世話など)」が 36.0%、「自分の趣味や娯楽」が 34.6%となっています。



項目	度数	比率
会社等に勤務	253	72.9%
家（自営業）の仕事	34	9.8%
農作業（家庭菜園含む）	13	3.7%
庭などの手入れ	43	12.4%
家族の世話（家事、孫の世話など）	125	36.0%
ご近所との交流	4	1.2%
自分の趣味や娯楽	120	34.6%
地域の活動、ボランティア活動	10	2.9%
テレビ・ラジオを観る（聴く）	94	27.1%
新聞・雑誌・本を読む	23	6.6%
散歩（ウォーキング）	36	10.4%
病院へ通う	29	8.4%
その他	10	2.9%
特にない	4	1.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	347	

問 16　あなたは、普段の生活において生きがいや楽しみがありますか。[１つに○]

普段の生活の生きがいについては、「ある」が 80.1%、「ない」が 19.3%となっています。

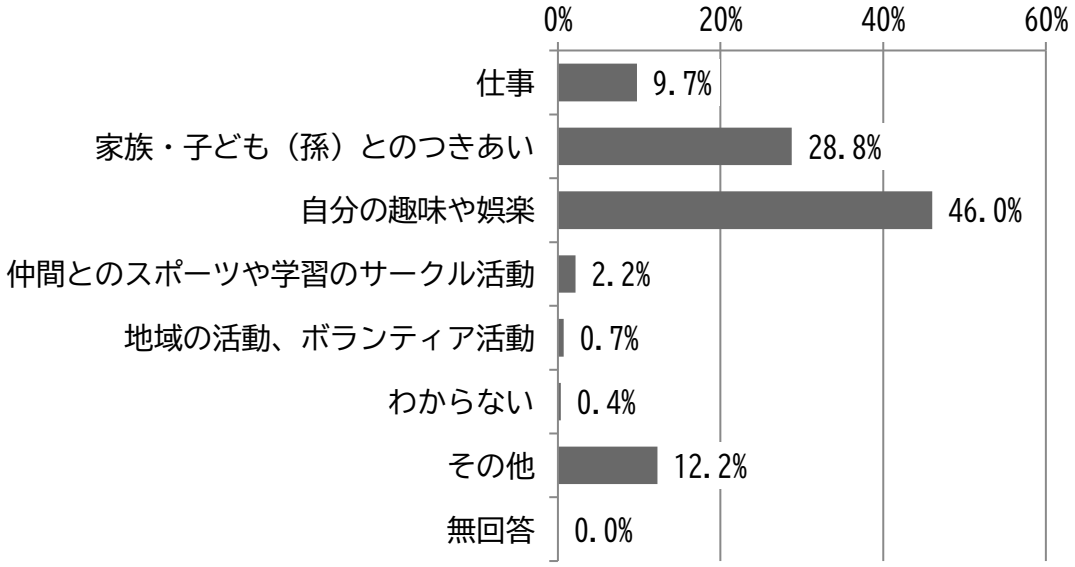


項目	度数	比率
ある	278	80.1%
ない	67	19.3%
無回答	2	0.6%
合計	347	100.0%

【問 16 で「ある」を選択した方のみ回答】

問 16-①　現在、特にどのようなことに生きがいや楽しみを感じますか。[１つに○]

生きがいや楽しみを感じることは、「自分の趣味や娯楽」が 46.0%と最も多く、次いで、「家族・子ども（孫）とのつきあい」が 28.8%、「仕事」が 9.7%となっています。

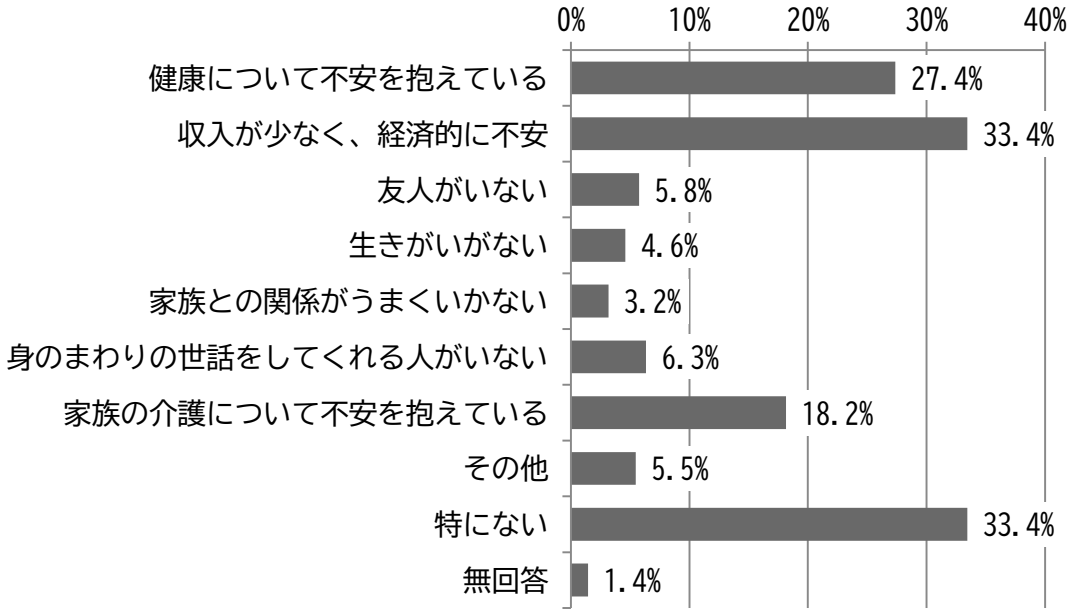


項目	度数	比率
仕事	27	9.7%
家族・子ども（孫）とのつきあい	80	28.8%
自分の趣味や娯楽	128	46.0%
仲間とのスポーツや学習のサークル活動	6	2.2%
地域の活動、ボランティア活動	2	0.7%
わからない	1	0.4%
その他	34	12.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	278	100.0%

問 17　あなたは、悩みや心配ごとがありますか。[３つまで○]

悩みや心配ごとについては、「収入が少なく、経済的に不安」が 33.4%と最も多く、次いで、「健康について不安を抱えている 」が 27.4%、「家族の介護について不安を抱えている」が 18.2%となっています。

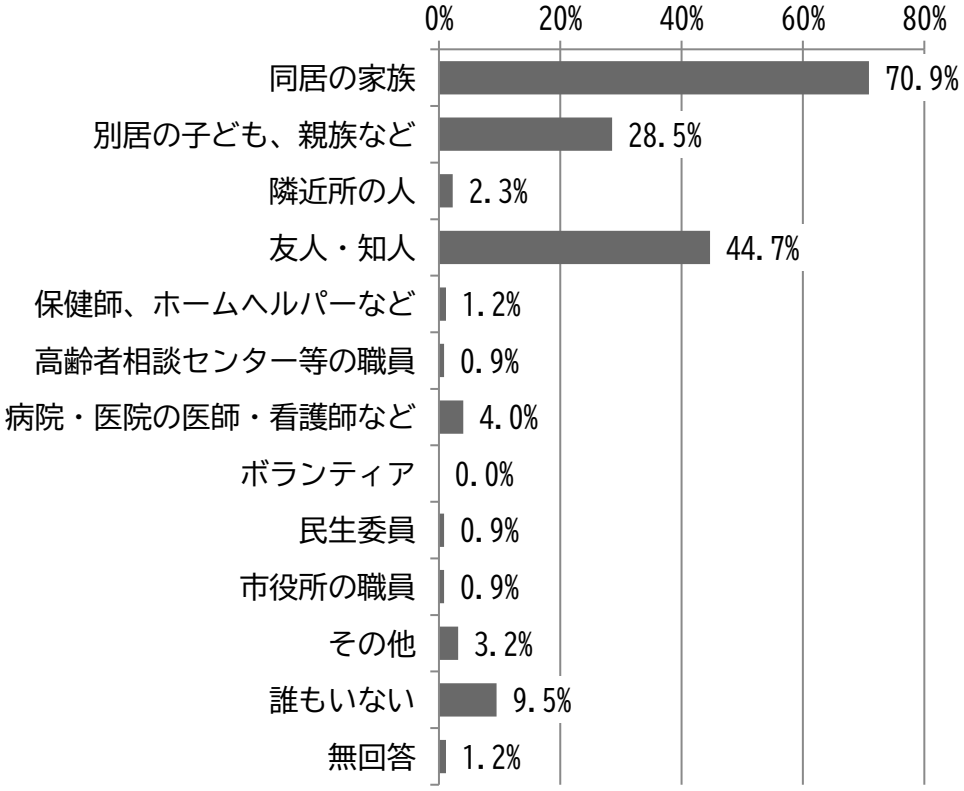
一方、「特にない」が 33.4%となっています。



項目	度数	比率
健康について不安を抱えている	95	27.4%
収入が少なく、経済的に不安	116	33.4%
友人がいない	20	5.8%
生きがいがない	16	4.6%
家族との関係がうまくいかない	11	3.2%
身のまわりの世話をしてくれる人がいない	22	6.3%
家族の介護について不安を抱えている	63	18.2%
その他	19	5.5%
特にない	116	33.4%
無回答	5	1.4%
回答者数	347	

問 18　悩みや心配ごとの相談相手はどなたですか。[３つまで○]

悩みや心配ごとの相談相手については、「同居の家族」が 70.9%と最も多く、次いで、「友人・知人」が 44.7%、「別居の子ども、親族など」が 28.5%となっています。

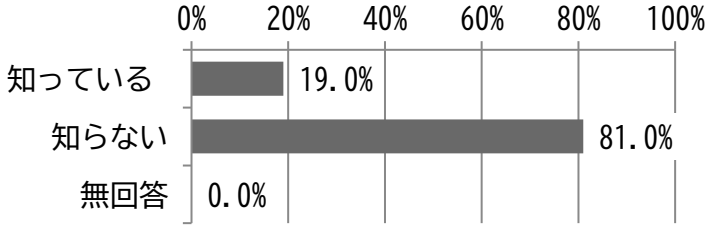


項目	度数	比率
同居の家族	246	70.9%
別居の子ども、親族など	99	28.5%
隣近所の人	8	2.3%
友人・知人	155	44.7%
保健師、ホームヘルパーなど	4	1.2%
高齢者相談センター等の職員	3	0.9%
病院・医院の医師・看護師など	14	4.0%
ボランティア	0	0.0%
民生委員	3	0.9%
市役所の職員	3	0.9%
その他	11	3.2%
誰もいない	33	9.5%
無回答	4	1.2%
回答者数	347	

7　ボランティアに対する意識について

問 19　高齢者が近くのコミュニティセンター等に集まって軽い体操などを行う「ふれあいサロン」の担い手として活動する「介護予防サポーター」をご存知ですか。[１つに○]

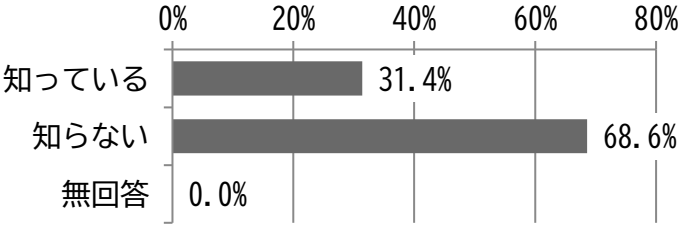
「介護予防サポーター」の認知度については、「知らない」が 81.0%、「知っている」が 19.0%となっています。



項目	度数	比率
知っている	66	19.0%
知らない	281	81.0%
無回答	0	0.0%
合計	347	100.0%

問 20　地域福祉に意欲のある「おたすけサポーター」が、ちょっとした生活支援を必要としている高齢者等のお手伝いをする「ちょこっとおたすけ絆サポート事業」をご存知ですか。[１つに○]

「ちょこっとおたすけ絆サポート事業」の認知度については、「知らない」が 68.6%、「知っている」が 31.4%となっています。

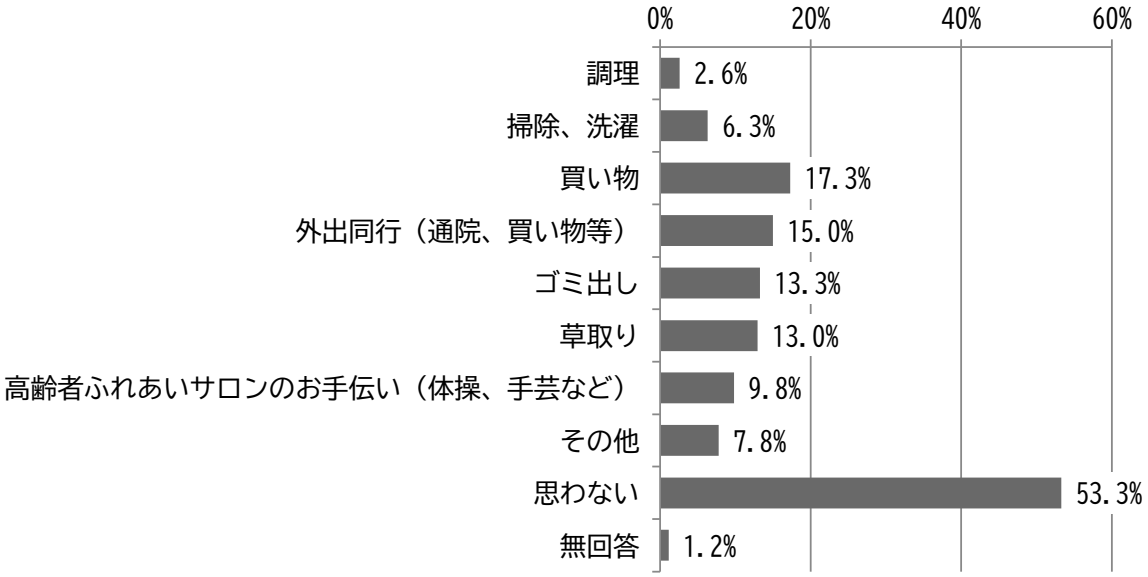


項目	度数	比率
知っている	109	31.4%
知らない	238	68.6%
無回答	0	0.0%
合計	347	100.0%

問 21　「介護予防サポーター」や「おたすけサポーター」など、支援が必要な高齢者のお手伝い（ボランティア）をしたいと思いますか。[あてはまるものすべてに○]

支援が必要な高齢者のお手伝いをしたいかについては、「買い物」が 17.3%と最も多く、次いで、「外出同行（通院、買い物等)」が 15.0%、「ゴミ出し」が 13.3%となっています。

一方、「思わない」が 53.3%となっています。

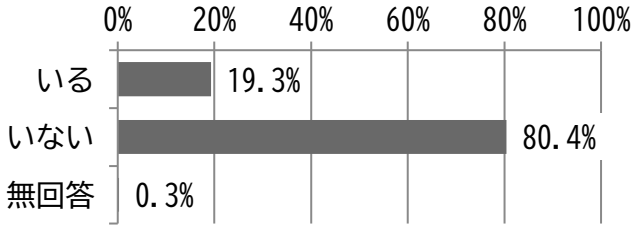


項目	度数	比率
調理	9	2.6%
掃除、洗濯	22	6.3%
買い物	60	17.3%
外出同行（通院、買い物等）	52	15.0%
ゴミ出し	46	13.3%
草取り	45	13.0%
高齢者ふれあいサロンのお手伝い（体操、手芸など）	34	9.8%
その他	27	7.8%
思わない	185	53.3%
無回答	4	1.2%
回答者数	347	

8　認知症にかかる相談窓口について

問 22　家族又は身近な人に認知症の症状がある人がいますか。[１つに○]

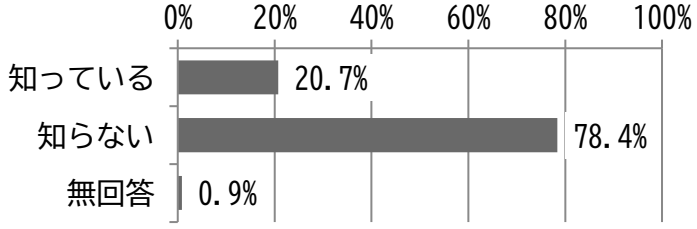
家族又は身近な人に認知症の症状があるかについては、「いる」が 19.3%、「いない」が 80.4%となっています。



項目	度数	比率
いる	67	19.3%
いない	279	80.4%
無回答	1	0.3%
合計	347	100.0%

問 23　認知症に関する相談窓口を知っていますか。[１つに○]

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「知らない」が 78.4%、「知っている」が 20.8%となっています。

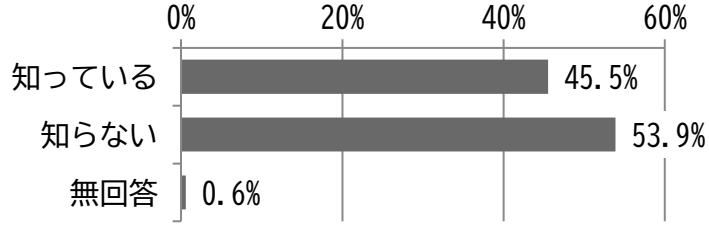


項目	度数	比率
知っている	72	20.7%
知らない	272	78.4%
無回答	3	0.9%
合計	347	100.0%

9　保健・福祉サービスなどについて

問 24　あなたは、成年後見制度を知っていますか。[１つに○]

成年後見制度の認知度については、「知らない」が 53.9%、「知っている」が 45.5%となっています。

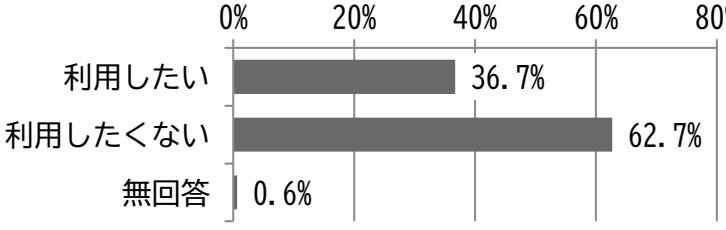


項目	度数	比率
知っている	158	45.5%
知らない	187	53.9%
無回答	2	0.6%
合計	347	100.0%

【問 24 で「知っている」を選択した方のみ回答】

問 24-①　ご自身が高齢になり、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか。[１つに○]

高齢になり判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいと思うかでは、「利用したい」が 36.7%、「利用したくない」が 62.7%となっています。

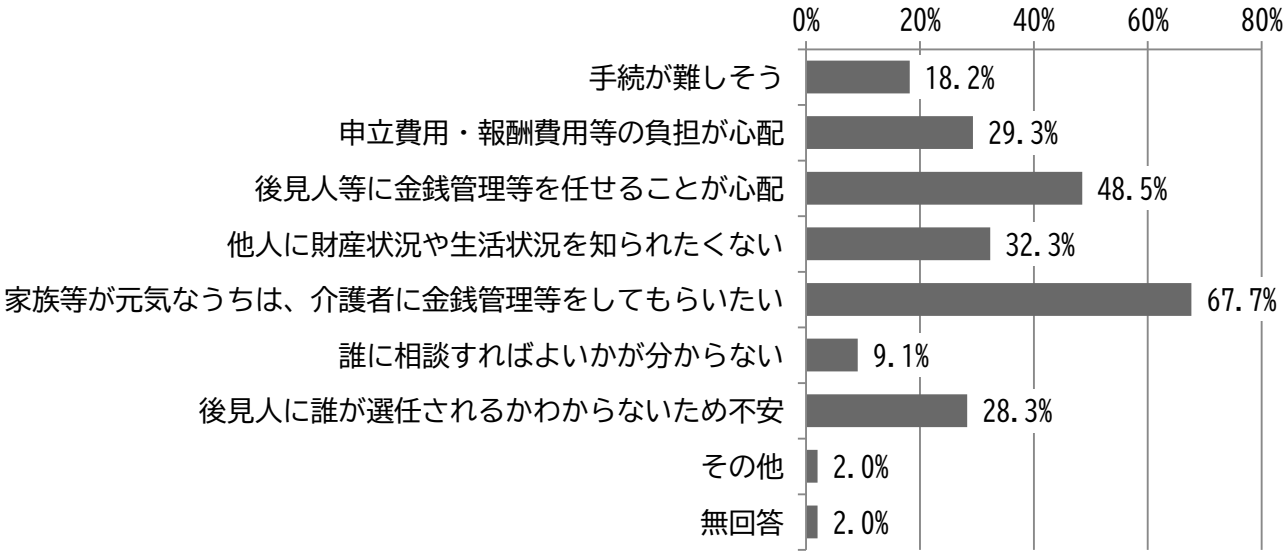


項目	度数	比率
利用したい	58	36.7%
利用したくない	99	62.7%
無回答	1	0.6%
回答者数	158	100.0%

【問 24-①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

問 24-②　成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか。〔あてはまるものすべてに○〕

成年後見制度を利用したくない理由については、「家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい」が 67.7%と最も多く、次いで、「後見人等に金銭管理等を任せることが心配」が 48.5%、「他人に財産状況や生活状況を知られたくない」が 32.3%となっています。

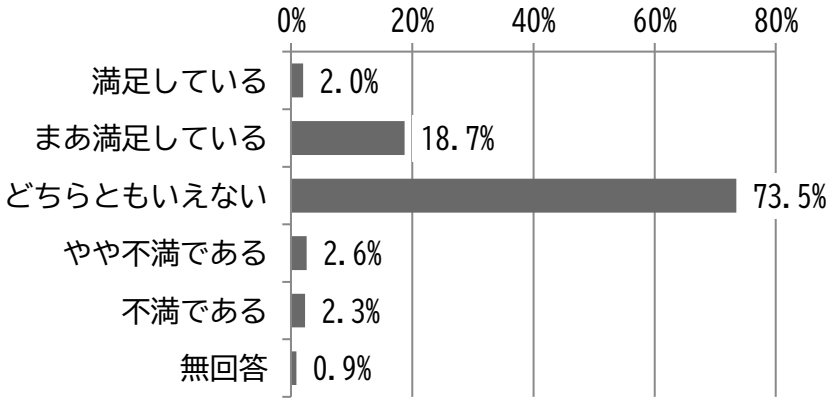


項目	度数	比率
手続が難しそう	18	18.2%
申立費用・報酬費用等の負担が心配	29	29.3%
後見人等に金銭管理等を任せることが心配	48	48.5%
他人に財産状況や生活状況を知られたくない	32	32.3%
家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい	67	67.7%
誰に相談すればよいかが分からない	9	9.1%
後見人に誰が選任されるかわからないため不安	28	28.3%
その他	2	2.0%
無回答	2	2.0%
回答者数	99	

問 25　あなたは、加須市の保健・福祉サービス全般についてどのように感じますか。[１つに○]

加須市の保健・福祉サービス全般について感じていることでは、「どちらともいえない」が 73.5%と多くなっていますが、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している』が 20.7%となっています。

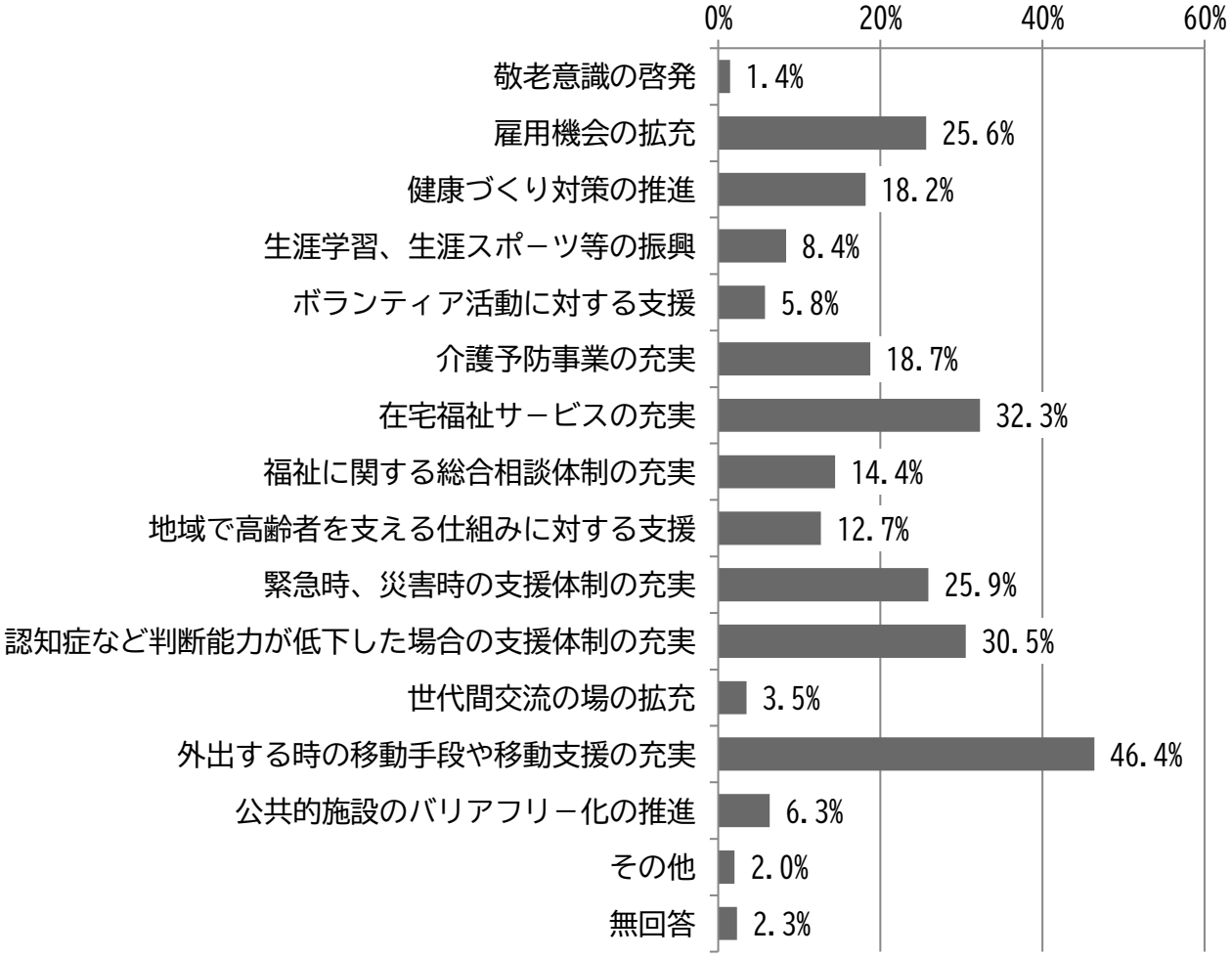
一方、「やや不満である」「不満である」を合わせた『不満である』が 4.9%となっています。



項目	度数	比率
満足している	7	2.0%
まあ満足している	65	18.7%
どちらともいえない	255	73.5%
やや不満である	9	2.6%
不満である	8	2.3%
無回答	3	0.9%
合計	347	100.0%

問 26　市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。[３つまで○]

市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことについては、「外出する時の移動手段（バス等）や移動支援の充実」が 46.4%と最も多く、次いで、「在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実」が 32.3%、「認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実」が 30.5%となっています。



項目	度数	比率
敬老意識の啓発	5	1.4%
雇用機会の拡充	89	25.6%
健康づくり対策の推進	63	18.2%
生涯学習、生涯スポーツ等の振興	29	8.4%
ボランティア活動に対する支援	20	5.8%
介護予防事業（転倒予防、閉じこもり予防、脳の認知機能低下予防等）の充実	65	18.7%
在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実	112	32.3%
福祉に関する総合相談体制の充実	50	14.4%
地域で高齢者を支える仕組み（見守り活動等）に対する支援	44	12.7%
緊急時、災害時の支援体制の充実	90	25.9%
認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実	106	30.5%
世代間（高齢者と子ども等）交流の場の拡充	12	3.5%
外出する時の移動手段（バス等）や移動支援の充実	161	46.4%
公共的施設のバリアフリー化の推進	22	6.3%
その他	7	2.0%
無回答	8	2.3%
回答者数	347	

【性別・年齢・地域別クロス】

市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことを男女別でみると、男女ともに「外出する時の移動手段や移動支援の充実」の割合が高く、特に『女性』が５割を超えています。次いで、『男性』では「認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実」が高く、『女性』では「在宅福祉サービスの充実」が高くなっています。

年齢別でみると、『45 歳以上』の多くの年代で「外出する時の移動手段や移動支援の充実」で割合が高く、『40～44 歳』では、「在宅福祉サービスの充実」、「認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実」がともに高い割合となっています。

地域別でみると、すべての地域で「外出する時の移動手段や移動支援の充実」の割合が高いですが、『加須地域③』では「雇用機会の拡充」、『北川辺地域』では「介護予防事業の充実」も同様に高い割合となっています。

上段：度数　下段比率

項目	敬老意識の啓発	雇用機会の拡充	健康づくり対策の推進	生涯学習、生涯スポーツ等の振興	ボランティア活動に対する支援	介護予防事業の充実	在宅福祉サービスの充実	福祉に関する総合相談体制の充実	地域で高齢者を支える仕組みに対する支援	緊急時、災害時の支援体制の充実	認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実	世代間交流の場の拡充	外出する時の移動手段や移動支援の充実	公共的施設のバリアフリー化の推進	その他	無回答	合計
全体	5	89	63	29	20	65	112	50	44	90	106	12	161	22	7	8	347
【性別】																	
男性	5	46	34	16	14	28	48	21	12	39	57	6	62	10	4	3	158
女性	0	43	29	13	6	37	64	29	32	51	49	6	99	12	3	5	189
【年齢別】																	
40～44 歳	1	17	12	7	2	11	22	15	1	21	22	2	21	7	0	2	64
45～49 歳	0	19	11	4	6	11	18	8	9	11	16	3	35	6	1	1	64
50～54 歳	1	25	6	8	2	14	29	8	16	20	25	4	39	1	2	3	77
55～59 歳	0	13	13	2	6	14	14	8	9	14	19	3	25	4	1	2	59
60～64 歳	3	15	21	8	4	15	29	11	9	24	24	0	41	4	3	0	83
【地域別】																	
加須地域①	2	33	25	15	14	21	47	24	20	33	32	5	64	8	2	2	133
加須地域②	0	13	9	5	0	13	24	5	8	15	19	2	26	3	1	2	57
加須地域③	1	14	10	3	1	11	9	1	3	7	13	2	14	2	0	0	36
騎西地域	2	15	11	3	2	10	21	14	8	19	30	1	34	8	3	1	73
北川辺地域	0	2	2	2	1	8	3	4	1	5	4	2	8	0	0	0	17
大利根地域	0	12	6	1	2	2	8	2	4	11	8	0	15	1	1	1	29
全体	1.4%	25.6%	18.2%	8.4%	5.8%	18.7%	32.3%	14.4%	12.7%	25.9%	30.5%	3.5%	***46.4%***	6.3%	2.0%	2.3%	
【性別】																	
男性	3.2%	29.1%	21.5%	10.1%	8.9%	17.7%	30.4%	13.3%	7.6%	24.7%	36.1%	3.8%	***39.2%***	6.3%	2.5%	1.9%	
女性	0.0%	22.8%	15.3%	6.9%	3.2%	19.6%	33.9%	15.3%	16.9%	27.0%	25.9%	3.2%	***52.4%***	6.3%	1.6%	2.6%	
【年齢別】																	
40～44 歳	1.6%	26.6%	18.8%	10.9%	3.1%	17.2%	***34.4%***	23.4%	1.6%	32.8%	***34.4%***	3.1%	32.8%	10.9%	0.0%	3.1%	
45～49 歳	0.0%	29.7%	17.2%	6.3%	9.4%	17.2%	28.1%	12.5%	14.1%	17.2%	25.0%	4.7%	***54.7%***	9.4%	1.6%	1.6%	
50～54 歳	1.3%	32.5%	7.8%	10.4%	2.6%	18.2%	37.7%	10.4%	20.8%	26.0%	32.5%	5.2%	***50.6%***	1.3%	2.6%	3.9%	
55～59 歳	0.0%	22.0%	22.0%	3.4%	10.2%	23.7%	23.7%	13.6%	15.3%	23.7%	32.2%	5.1%	***42.4%***	6.8%	1.7%	3.4%	
60～64 歳	3.6%	18.1%	25.3%	9.6%	4.8%	18.1%	34.9%	13.3%	10.8%	28.9%	28.9%	0.0%	***49.4%***	4.8%	3.6%	0.0%	
【地域別】																	
加須地域①	1.5%	24.8%	18.8%	11.3%	10.5%	15.8%	35.3%	18.0%	15.0%	24.8%	24.1%	3.8%	***48.1%***	6.0%	1.5%	1.5%	
加須地域②	0.0%	22.8%	15.8%	8.8%	0.0%	22.8%	42.1%	8.8%	14.0%	26.3%	33.3%	3.5%	***45.6%***	5.3%	1.8%	3.5%	
加須地域③	2.8%	***38.9%***	27.8%	8.3%	2.8%	30.6%	25.0%	2.8%	8.3%	19.4%	36.1%	5.6%	***38.9%***	5.6%	0.0%	0.0%	
騎西地域	2.7%	20.5%	15.1%	4.1%	2.7%	13.7%	28.8%	19.2%	11.0%	26.0%	41.1%	1.4%	***46.6%***	11.0%	4.1%	1.4%	
北川辺地域	0.0%	11.8%	11.8%	11.8%	5.9%	***47.1%***	17.6%	23.5%	5.9%	29.4%	23.5%	11.8%	***47.1%***	0.0%	0.0%	0.0%	
大利根地域	0.0%	41.4%	20.7%	3.4%	6.9%	6.9%	27.6%	6.9%	13.8%	37.9%	27.6%	0.0%	***51.7%***	3.4%	3.4%	3.4%	

※色の説明　***斜体*** 上位1位　数字 上位2位

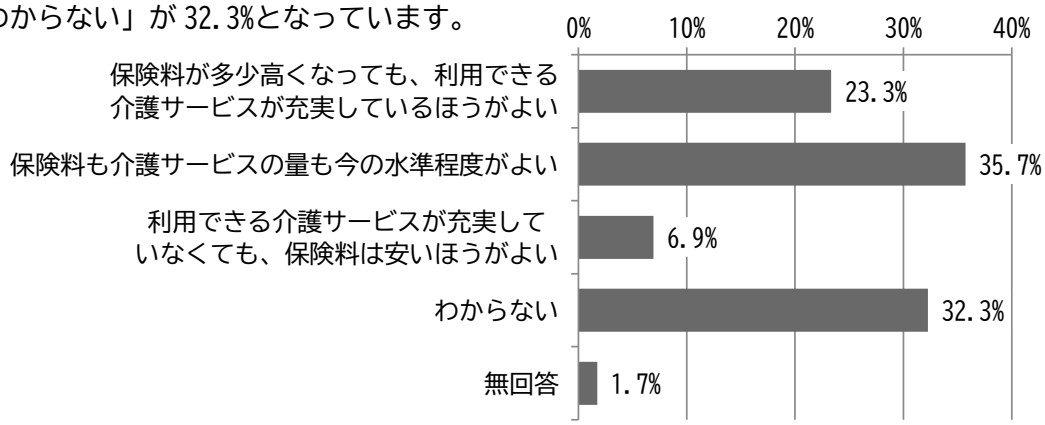
※一部地域の省略

加須地域①（加須、大桑、水深地区）、加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）、加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

問 27　介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスの在り方について、どのように考えますか。[１つに○]

介護保険制度の保険料と介護サービスの在り方については、「保険料も介護サービスの量も今の水準程度がよい」が 35.7%と最も多く、次いで、「保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実しているほうがよい」が 23.3%となっています。

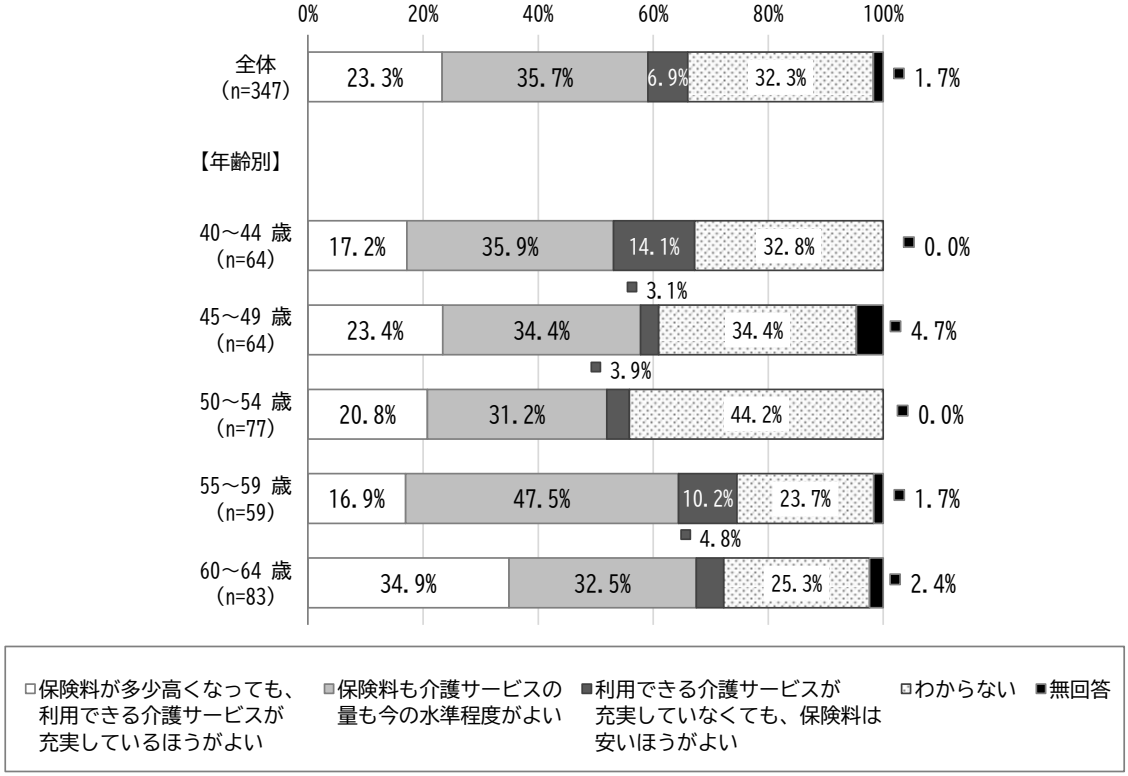
一方、「わからない」が 32.3%となっています。



項目	度数	比率
保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実しているほうがよい	81	23.3%
保険料も介護サービスの量も今の水準程度がよい	124	35.7%
利用できる介護サービスが充実していなくても、保険料は安いほうがよい	24	6.9%
わからない	112	32.3%
無回答	6	1.7%
合計	347	100.0%

【年齢別クロス】

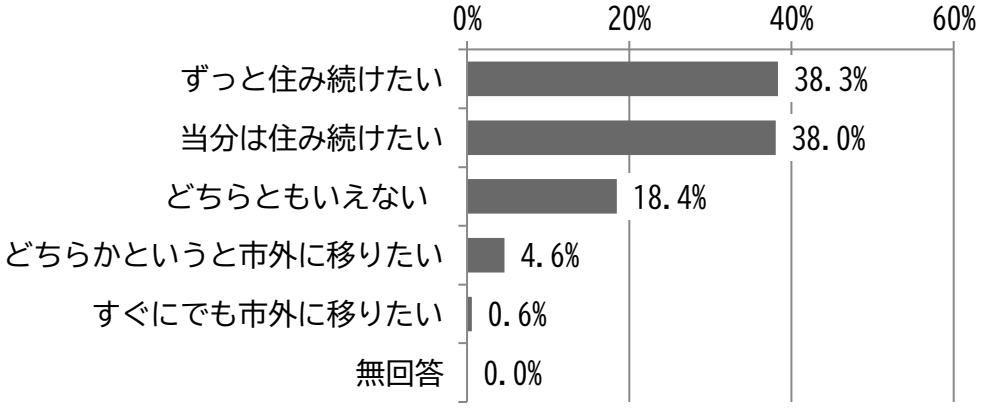
介護保険制度の保険料と介護サービスの在り方を年齢別でみると、『60～64 歳』では「保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実しているほうがよい」の割合が高く、『55～59 歳』では「保険料も介護サービスの量も今の水準程度がよい」の割合が高くなっています。



10　加須市への定住意向について

問 28　あなたは、これからも加須市に住み続けたいと思いますか。[１つに○]

加須市に住み続けたいと思うかについては、「ずっと住み続けたい」が 38.3%と最も多く、次いで、「当分は住み続けたい」が 38.0%、「どちらともいえない」が 18.4%となっています。



項目	度数	比率
ずっと住み続けたい	133	38.3%
当分は住み続けたい	132	38.0%
どちらともいえない	64	18.4%
どちらかというと市外に移りたい	16	4.6%
すぐにでも市外に移りたい	2	0.6%
無回答	0	0.0%
合計	347	100.0%

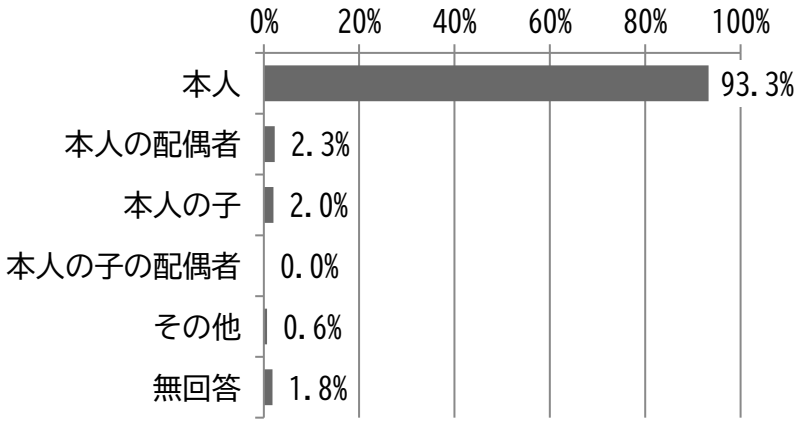
②高齢者一般

②高齢者一般

1　はじめに

この調査の記入者はどなたですか。[１つに○]

この調査の記入者については、「本人」が 93.3%と最も多くなっています。

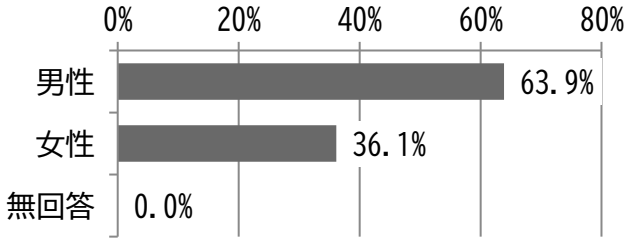


項目	度数	比率
本人	1,177	93.3%
本人の配偶者	29	2.3%
本人の子	25	2.0%
本人の子の配偶者	0	0.0%
その他	8	0.6%
無回答	23	1.8%
合計	1,262	100.0%

2　ご本人（あなた）のことについて

（１）性別は

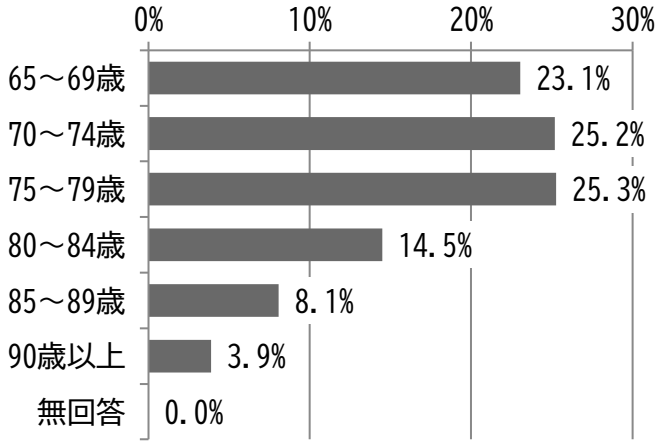
性別については、「男性」が 63.9%、「女性」が 36.1%となっています。



項目	度数	比率
男性	806	63.9%
女性	456	36.1%
無回答	0	0.0%
合計	1,262	100.0%

（２）年齢は。（令和７年 10 月１日現在）

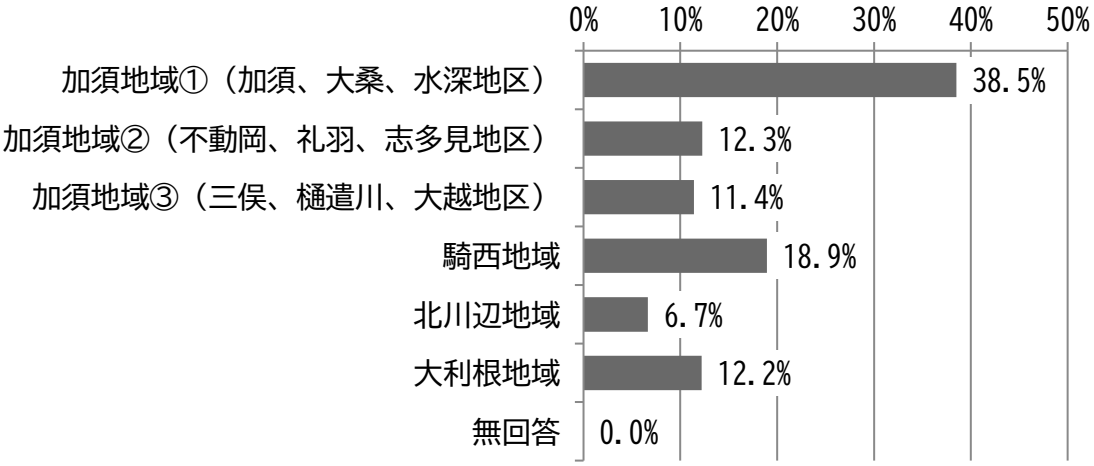
年齢については、「75～79 歳」が 25.3%と最も多く、次いで、「70～74 歳」が 25.2%、「65～69 歳」が 23.1%となっています。



項目	度数	比率
65～69歳	291	23.1%
70～74歳	318	25.2%
75～79歳	319	25.3%
80～84歳	183	14.5%
85～89歳	102	8.1%
90歳以上	49	3.9%
無回答	0	0.0%
合計	1,262	100.0%

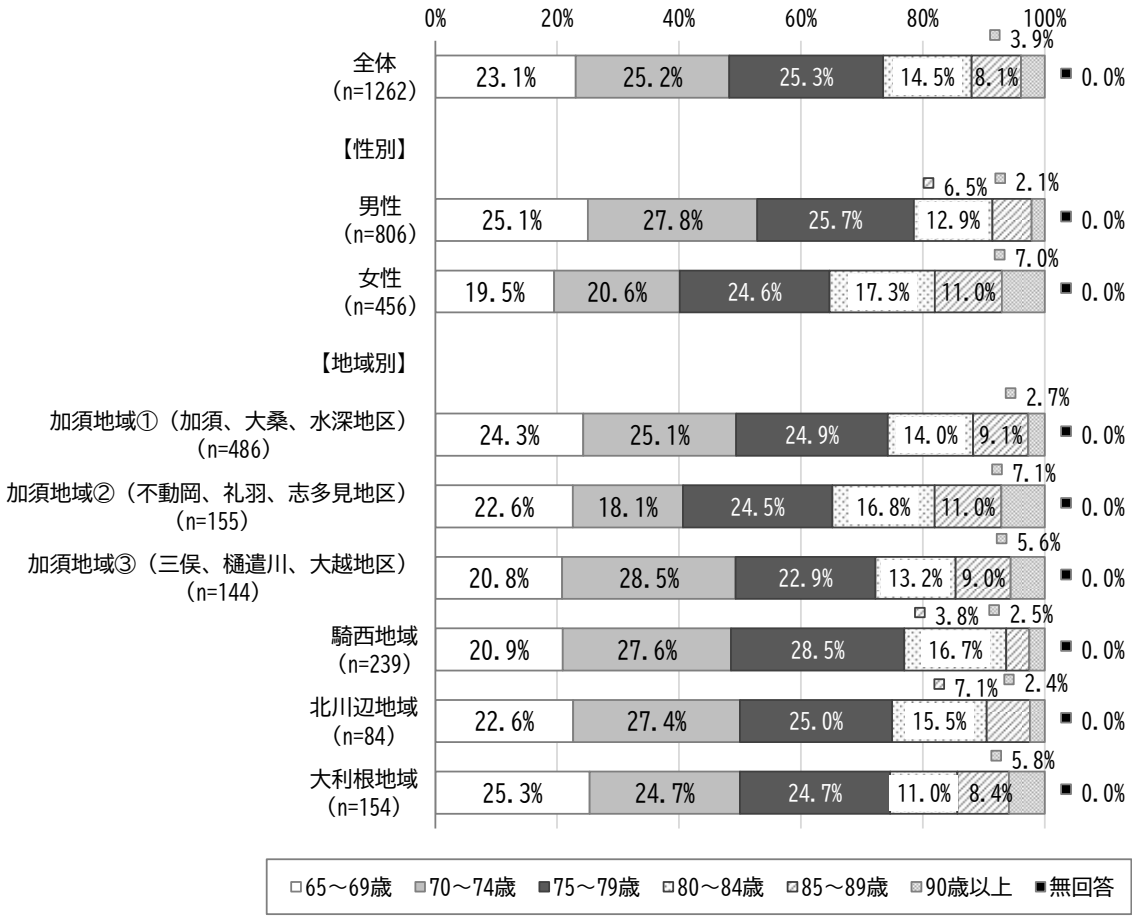
（３）お住まいの地域はどこですか。[１つに○]

お住まいの地域については、「加須地域①（加須、大桑、水深地区）」が 38.5%と最も多く、次いで、「騎西地域」が 18.9%、「加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）」が 12.3%となっています。



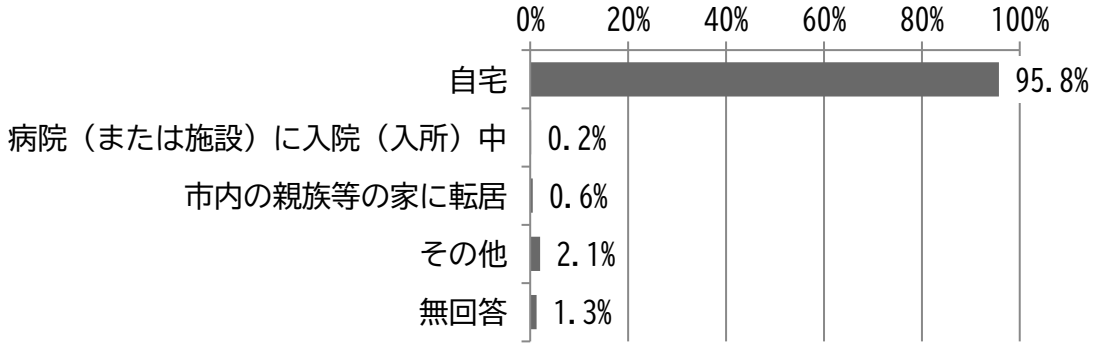
項目	度数	比率
加須地域①（加須、大桑、水深地区）	486	38.5%
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）	155	12.3%
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）	144	11.4%
騎西地域	239	18.9%
北川辺地域	84	6.7%
大利根地域	154	12.2%
無回答	0	0.0%
合計	1,262	100.0%

【性別・地域別クロス】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=1262）
23.1%
25.2%
25.3%
14.5%
8.1%
3.9%
0.0%
【性別】
男性（n=806）
25.1%
27.8%
25.7%
12.9%
6.5%
2.1%
0.0%
女性（n=456）
19.5%
20.6%
24.6%
17.3%
11.0%
7.0%
0.0%
【地域別】
加須地域①（加須、大桑、水深地区）（n=486）
24.3%
25.1%
24.9%
14.0%
9.1%
2.7%
0.0%
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）（n=155）
22.6%
18.1%
24.5%
16.8%
11.0%
7.1%
0.0%
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）（n=144）
20.8%
28.5%
22.9%
13.2%
9.0%
5.6%
0.0%
騎西地域（n=239）
20.9%
27.6%
28.5%
16.7%
3.8%
2.5%
0.0%
北川辺地域（n=84）
22.6%
27.4%
25.0%
15.5%
7.1%
2.4%
0.0%
大利根地域（n=154）
25.3%
24.7%
24.7%
11.0%
8.4%
5.8%
0.0%
65～69歳
70～74歳
75～79歳
80～84歳
85～89歳
90歳以上
無回答

（４）現在、ご本人はどちらで生活されていますか。[１つに○]

生活の場所は、「自宅」が 95.8%と最も多くなっています。

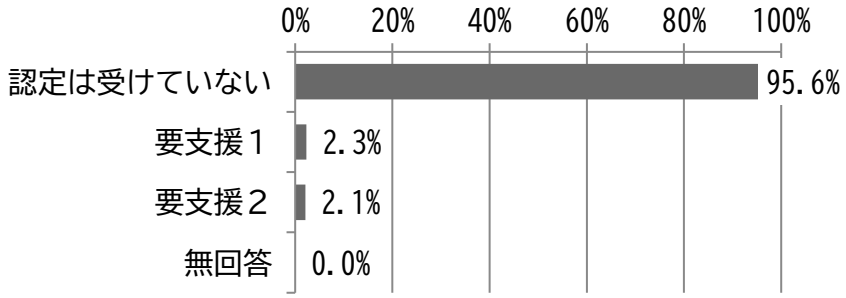


項目	度数	比率
自宅	1,209	95.8%
病院（または施設）に入院（入所）中	3	0.2%
市内の親族等の家に転居	7	0.6%
その他	26	2.1%
無回答	17	1.3%
合計	1,262	100.0%

（５）現在、認定されている要介護度は。（要介護度は介護保険証に記載されています。）[１つに○]

現在、認定されている要介護度については、「要支援１」が 2.3%、「要支援２」が 2.1%となっています。

一方、「認定は受けていない」が 95.6%となっています。

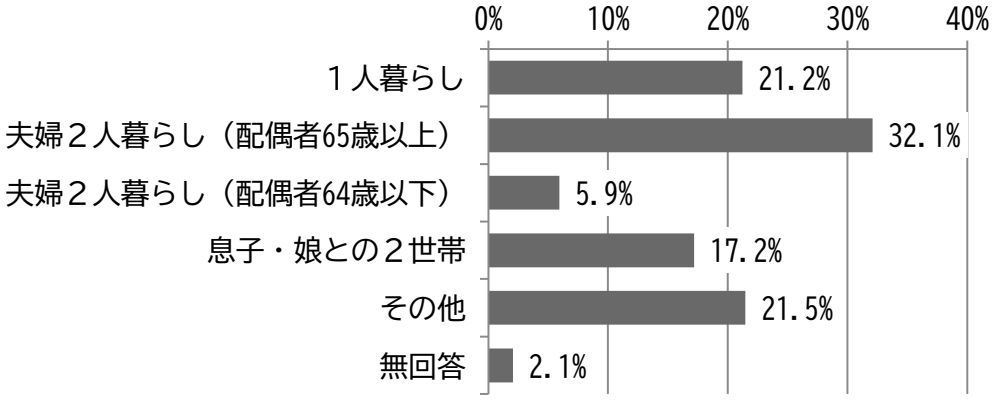


項目	度数	比率
認定は受けていない	1,207	95.6%
要支援１	29	2.3%
要支援２	26	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	1,262	100.0%

問１　あなたのご家族や生活状況について

（１）家族構成をお教えください。[１つに○]

家族構成については、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上)」が 32.1%と最も多く、次いで、「１人暮らし」が 21.2%、「息子・娘との２世帯」が 17.2%となっています。



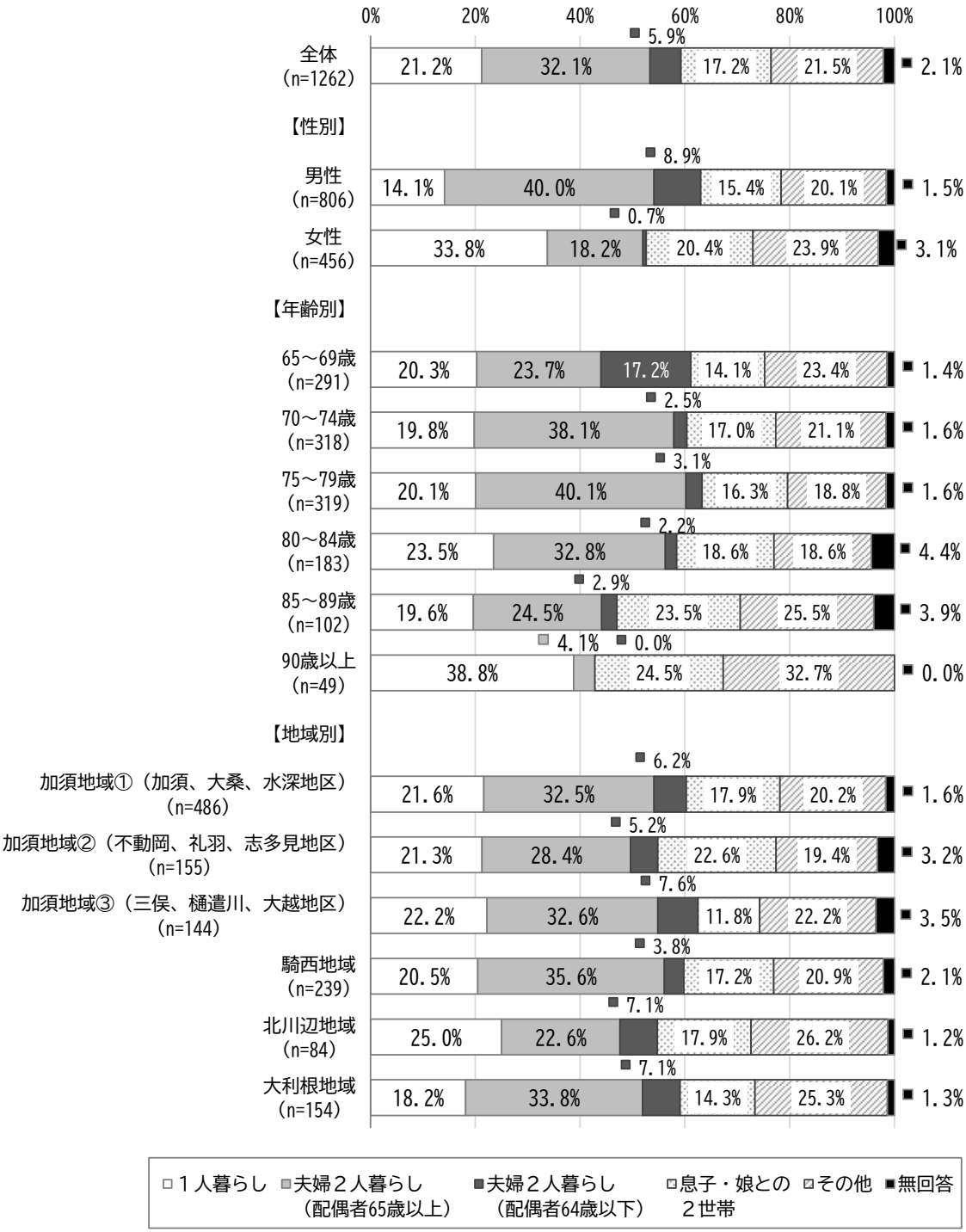
項目	度数	比率
１人暮らし	268	21.2%
夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	405	32.1%
夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	75	5.9%
息子・娘との２世帯	217	17.2%
その他	271	21.5%
無回答	26	2.1%
合計	1,262	100.0%

【性別・年齢・地域別クロス】

世帯構成を男女別でみると、『男性』は「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が高く、『女性』は「１人暮らし」の割合が高くなっています。

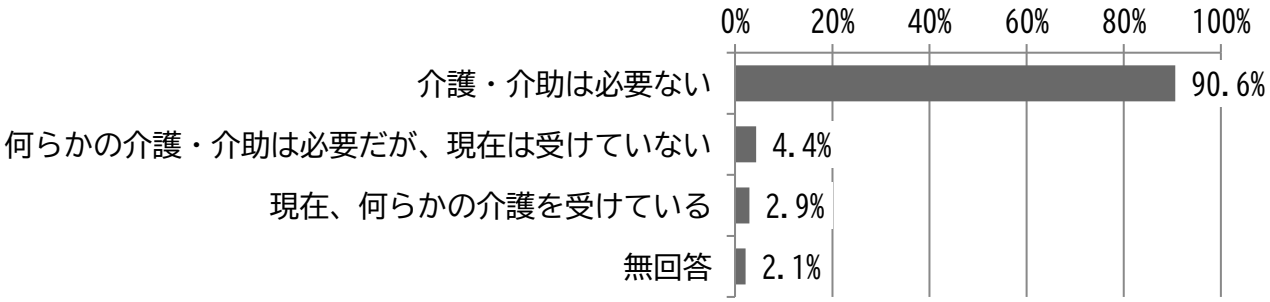
年齢別でみると、「１人暮らし」では『90 歳以上』で割合が高く、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」では『70 代』でそれぞれ約４割と高くなっています。

地域別でみると、「ひとり暮らし」では『北川辺地域』で割合が高く、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」では『騎西地域』が他の地域より高い割合となっています。



（２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。[１つに○]

普段の生活で介護・介助が必要であるかについては、「介護・介助は必要ない」が 90.6%となっています。

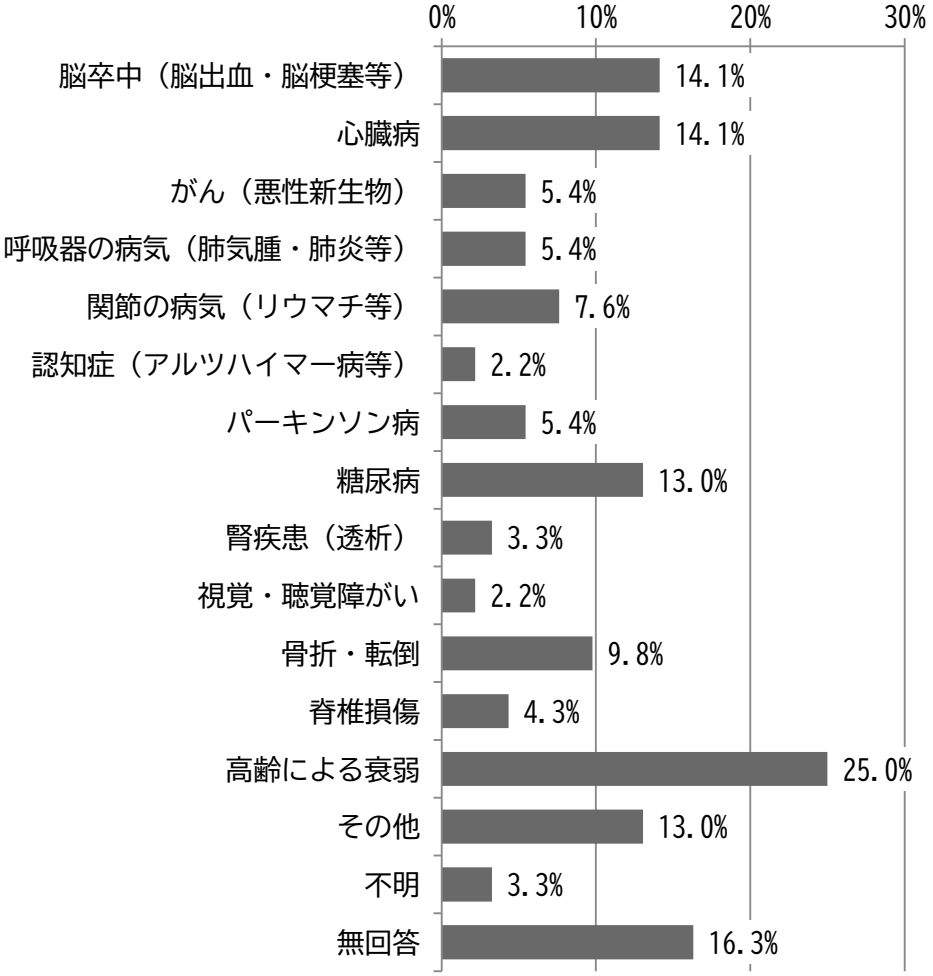


項目	度数	比率
介護・介助は必要ない	1,143	90.6%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	55	4.4%
現在、何らかの介護を受けている	37	2.9%
無回答	27	2.1%
合計	1,262	100.0%

【（2）において「介護・介助は必要ない」以外を選択した方のみ回答】

（2）①　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

介護・介助が必要になった原因については、「高齢による衰弱」が 25.0%と最も多く、次いで、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」がともに 14.1%となっています。



項目	度数	比率
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13	14.1%
心臓病	13	14.1%
がん（悪性新生物）	5	5.4%
呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	5	5.4%
関節の病気（リウマチ等）	7	7.6%
認知症（アルツハイマー病等）	2	2.2%
パーキンソン病	5	5.4%
糖尿病	12	13.0%
腎疾患（透析）	3	3.3%
視覚・聴覚障がい	2	2.2%
骨折・転倒	9	9.8%
脊椎損傷	4	4.3%
高齢による衰弱	23	25.0%
その他	12	13.0%
不明	3	3.3%
無回答	15	16.3%
回答者数	92	

【（2）において「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみ回答】

（2）②　主にどなたの介護、介助を受けていますか。[あてはまるものすべてに○]

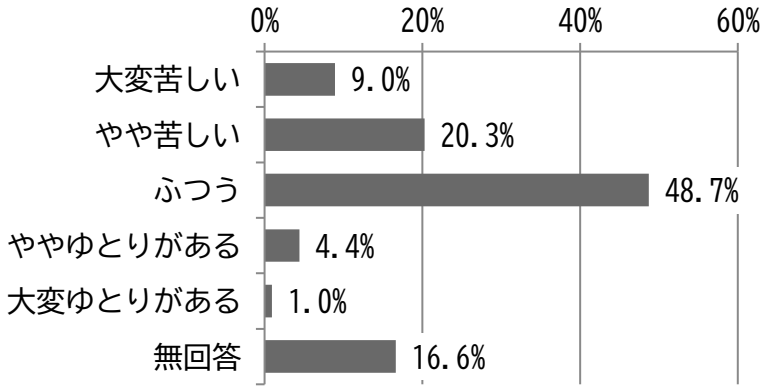
介護、介助をしてくれる方については、「配偶者（夫・妻）」が 37 件中 14 件、「介護サービスのヘルパー」が 11 件、「娘」が７件となっています。

項目	度数	比率
配偶者（夫・妻）	14	37.8%
息子	5	13.5%
娘	7	18.9%
子の配偶者	0	0.0%
孫	1	2.7%
兄弟・姉妹	2	5.4%
介護サービスのヘルパー	11	29.7%
その他	6	16.2%
無回答	2	5.4%
回答者数	37	

（3）　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。[１つに○]

暮らしの経済的状況については、「ふつう」が 48.7%と最も多くなっています。

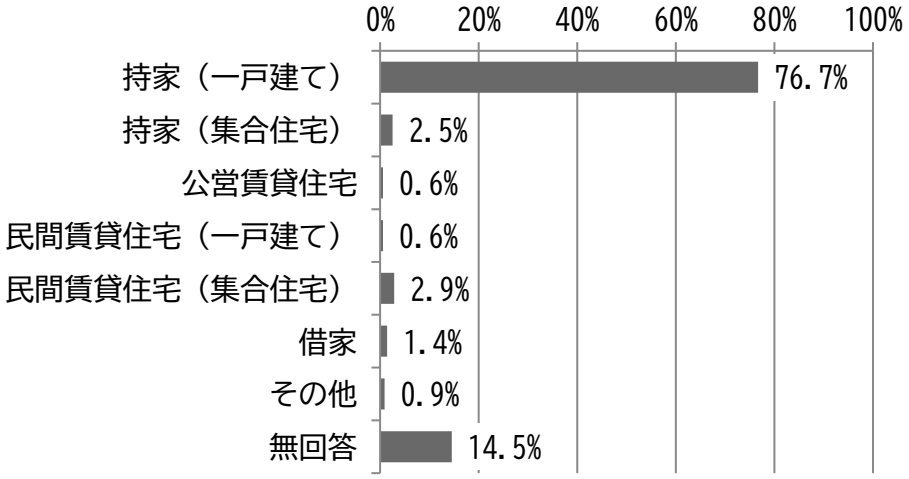
また、「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は、29.3%となっており、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が 5.4%となっています。



項目	度数	比率
大変苦しい	113	9.0%
やや苦しい	256	20.3%
ふつう	615	48.7%
ややゆとりがある	56	4.4%
大変ゆとりがある	12	1.0%
無回答	210	16.6%
合計	1,262	100.0%

（４）　お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。[１つに○]

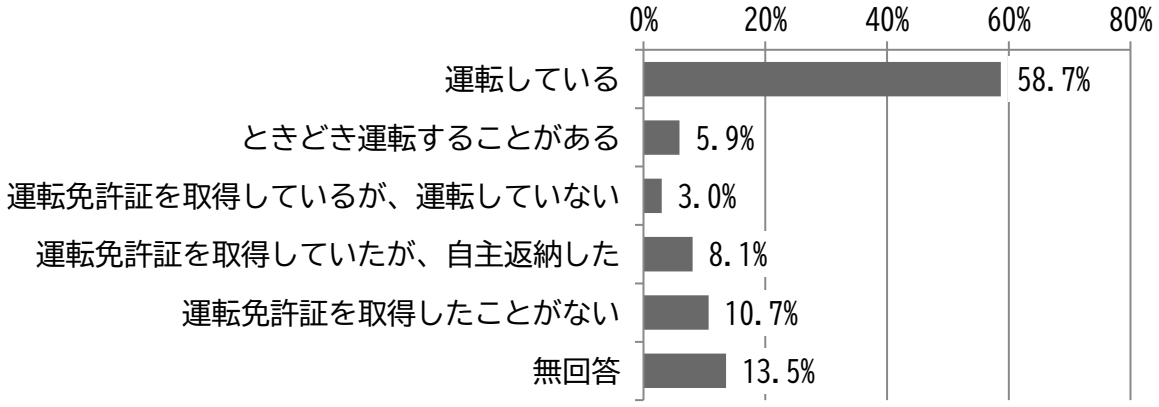
お住まいについては、「持家（一戸建て）」が 76.7%となっています。



項目	度数	比率
持家（一戸建て）	968	76.7%
持家（集合住宅）	32	2.5%
公営賃貸住宅	7	0.6%
民間賃貸住宅（一戸建て）	7	0.6%
民間賃貸住宅（集合住宅）	36	2.9%
借家	18	1.4%
その他	11	0.9%
無回答	183	14.5%
合計	1,262	100.0%

（５）　あなたは、自動車を日常的に運転していますか。[１つに○]

日常的に自動車を運転しているかについては、「運転している」が 58.7%と最も多く、次いで、「運転免許証を取得したことがない」が 10.7%、「運転免許証を取得していたが、自主返納した」が 8.1%となっています。

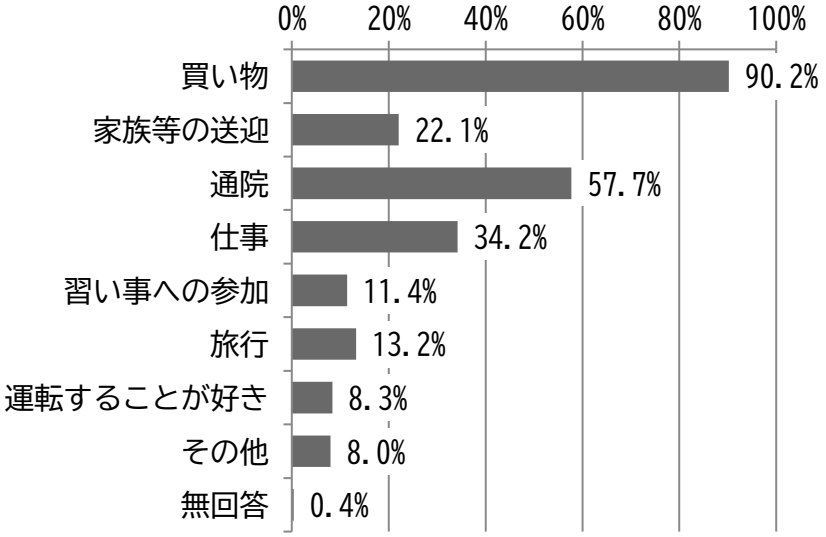


項目	度数	比率
運転している	741	58.7%
ときどき運転することがある	75	5.9%
運転免許証を取得しているが、運転していない	38	3.0%
運転免許証を取得していたが、自主返納した	102	8.1%
運転免許証を取得したことがない	135	10.7%
無回答	171	13.5%
合計	1,262	100.0%

【（５）において「運転している」または「ときどき運転することがある」を選択した方のみ回答】

（５）①　あなたが自動車を運転する主な目的は何ですか。[３つまで○]

自動車を運転する目的については、「買い物」が 90.2%と最も多く、次いで、「通院」が 57.7%、「仕事」が 34.2%となっています。



項目	度数	比率
買い物	736	90.2%
家族等の送迎	180	22.1%
通院	471	57.7%
仕事	279	34.2%
習い事への参加	93	11.4%
旅行	108	13.2%
運転することが好き	68	8.3%
その他	65	8.0%
無回答	3	0.4%
回答者数	816	

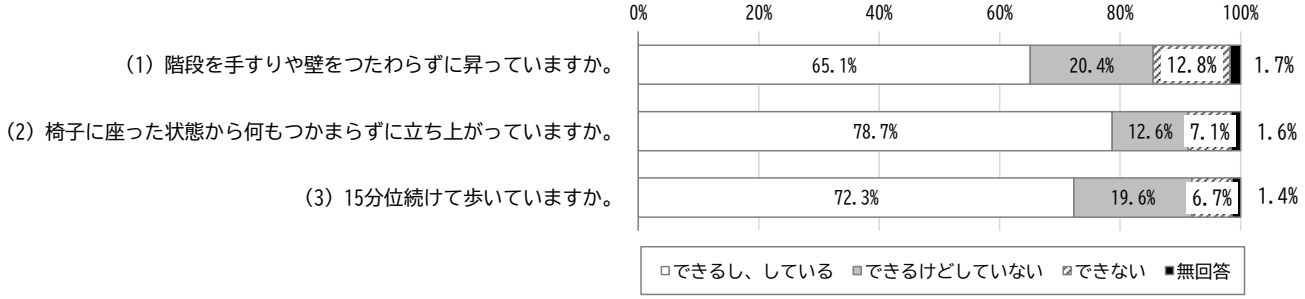
問2　からだを動かすことについて

（1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。[1つに○]
（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。[1つに○]
（3）15分位続けて歩いていますか。[1つに○]

（1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているかについては、「できるし、している」が65.1%、「できるけどしていない」が20.4%、「できない」が12.8%となっています。

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が78.7%、「できるけどしていない」が12.6%、「できない」が7.1%となっています。

（3）15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が72.3%、「できるけどしていない」が19.6%、「できない」が6.7%となっています。

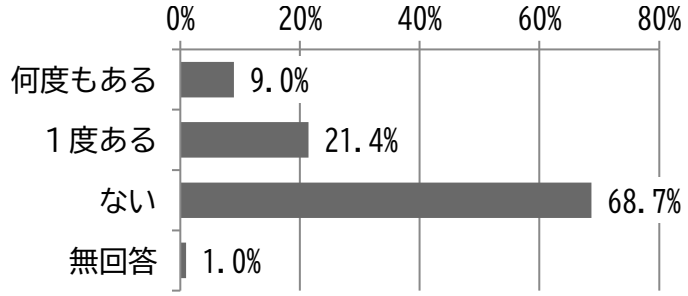


上段：度数　下段比率

項目	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。	821	258	161	22	1,262
	65.1%	20.4%	12.8%	1.7%	100.0%
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	993	159	90	20	1,262
	78.7%	12.6%	7.1%	1.6%	100.0%
(3) 15分位続けて歩いていますか。	913	247	84	18	1,262
	72.3%	19.6%	6.7%	1.4%	100.0%

（4）　過去1年間に転んだ経験がありますか。[1つに○]

過去1年間で転んだ経験については、「何度もある」が9.0%、「1度ある」が21.4%、「ない」が68.7%となっています。

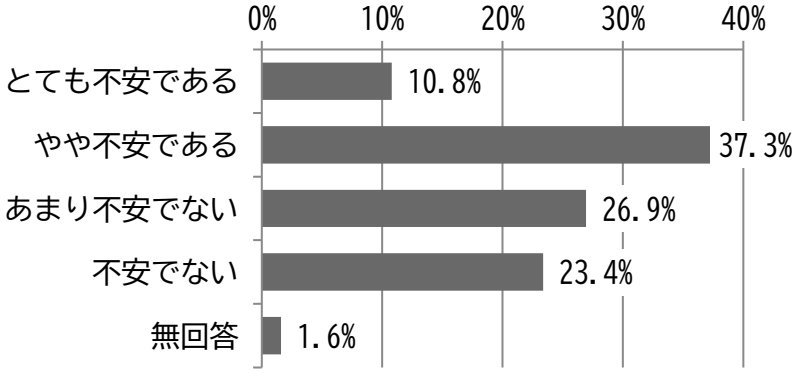


項目	度数	比率
何度もある	113	9.0%
1度ある	270	21.4%
ない	867	68.7%
無回答	12	1.0%
合計	1,262	100.0%

（５）　転倒に対する不安は大きいですか。[１つに○]

転倒に対する不安については、「とても不安である」「やや不安である」を合わせた『不安である』が48.1%となっています。

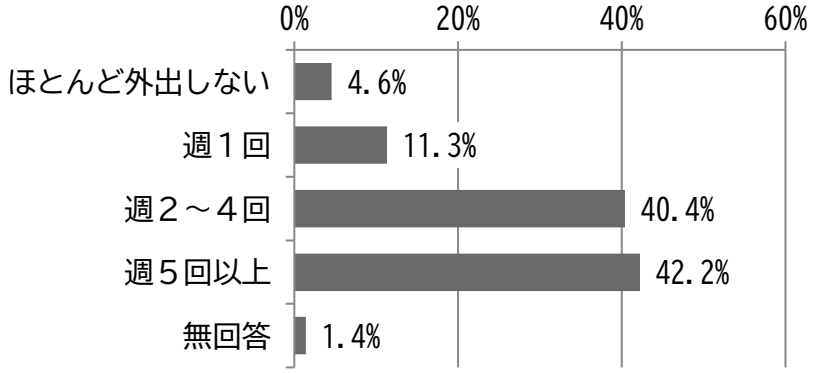
一方、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた『不安でない』は、50.3%となっています。



項目	度数	比率
とても不安である	136	10.8%
やや不安である	471	37.3%
あまり不安でない	340	26.9%
不安でない	295	23.4%
無回答	20	1.6%
合計	1,262	100.0%

（６）　週に１回以上は外出していますか。[１つに○]

週に１回以上は外出しているかについては、「週５回以上」が 42.2%と最も多く、次いで、「週２～４回」が 40.4%、「週１回」が 11.3%となっています。

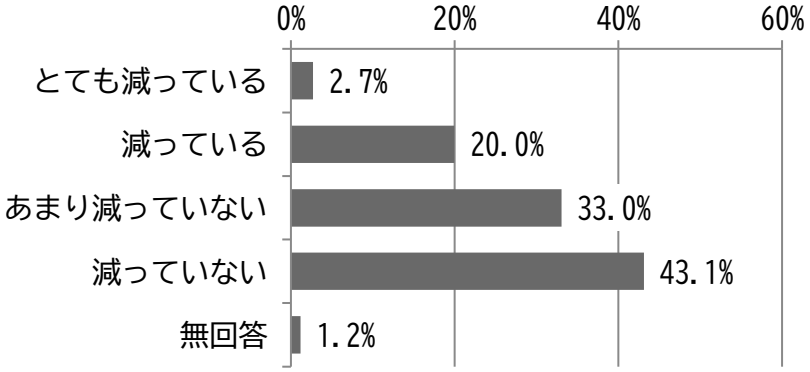


項目	度数	比率
ほとんど外出しない	58	4.6%
週１回	143	11.3%
週２～４回	510	40.4%
週５回以上	533	42.2%
無回答	18	1.4%
合計	1,262	100.0%

（7）　昨年と比べて外出の回数が減っていますか。[１つに○]

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「とても減っている」「減っている」を合わせた『減っている』が 22.7%となっています。

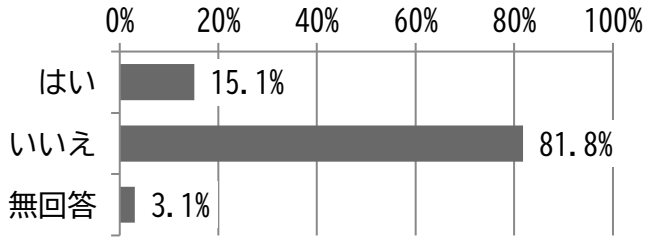
一方、「減っていない」「あまり減っていない」を合わせた『減っていない』は、76.1%となっています。



項目	度数	比率
とても減っている	34	2.7%
減っている	252	20.0%
あまり減っていない	417	33.0%
減っていない	544	43.1%
無回答	15	1.2%
合計	1,262	100.0%

（8）　外出を控えていますか。[１つに○]

外出を控えているかについては、「はい」が 15.1%、「いいえ」が 81.8%となっています。

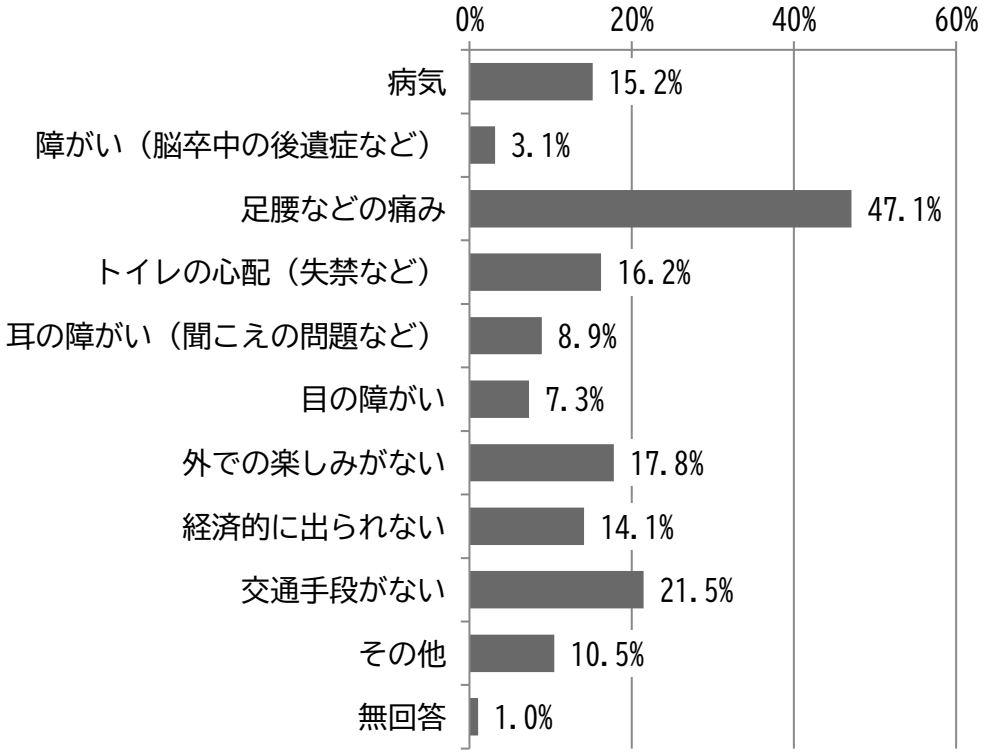


項目	度数	比率
はい	191	15.1%
いいえ	1,032	81.8%
無回答	39	3.1%
合計	1,262	100.0%

（８）で「はい」（外出を控えている）を選択した方のみ回答】

（８）①　外出を控えている理由は、次のどれですか。[あてはまるものすべてに○]

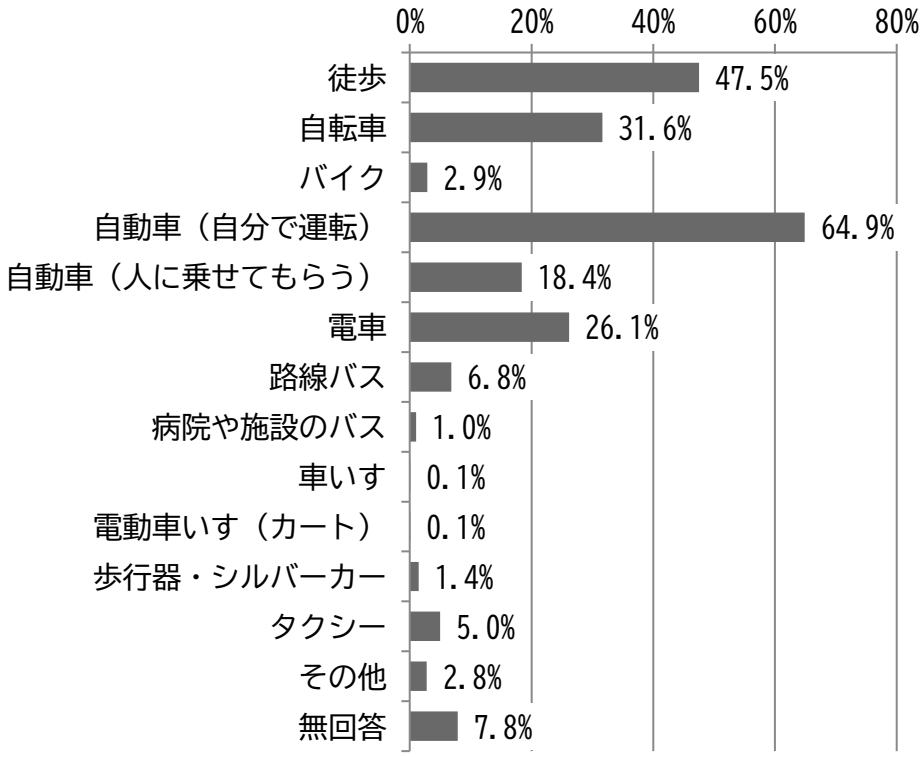
外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 47.1%と最も多く、次いで、「交通手段がない」が 21.5%、「外での楽しみがない」が 17.8%となっています。



項目	度数	比率
病気	29	15.2%
障がい（脳卒中の後遺症など）	6	3.1%
足腰などの痛み	90	47.1%
トイレの心配（失禁など）	31	16.2%
耳の障がい（聞こえの問題など）	17	8.9%
目の障がい	14	7.3%
外での楽しみがない	34	17.8%
経済的に出られない	27	14.1%
交通手段がない	41	21.5%
その他	20	10.5%
無回答	2	1.0%
回答者数	191	

（9）　外出する際の移動手段は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 64.9%と最も多く、次いで、「徒歩」が 47.5%、「自転車」が 31.6%となっています。

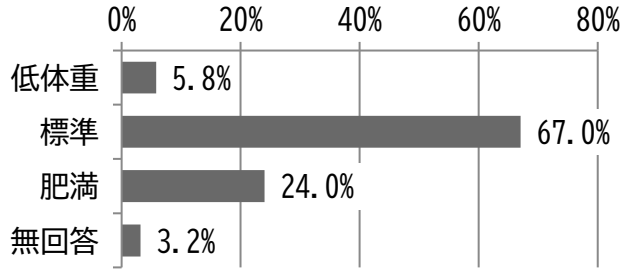


項目	度数	比率
徒歩	600	47.5%
自転車	399	31.6%
バイク	36	2.9%
自動車（自分で運転）	819	64.9%
自動車（人に乗せてもらう）	232	18.4%
電車	330	26.1%
路線バス	86	6.8%
病院や施設のバス	13	1.0%
車いす	1	0.1%
電動車いす（カート）	1	0.1%
歩行器・シルバーカー	18	1.4%
タクシー	63	5.0%
その他	35	2.8%
無回答	99	7.8%
回答者数	1,262	

問3 食べることについて

（1）　身長・体重を伺います。(小数点以下は記入しない)

身長、体重によりBMIを算出すると、「標準」が67.0%と最も多く、次いで、「肥満」が24.0%、「低体重」が5.8%となっています。



項目	度数	比率
低体重	73	5.8%
標準	846	67.0%
肥満	303	24.0%
無回答	40	3.2%
合計	1,262	100.0%

BMI（Body Mass Index）は身長と体重から算出される肥満度指標で、日本肥満学会では18.5未満が「低体重（やせ)」、18.5以上25未満が「普通体重」、25以上が「肥満」と定義しています。最も病気にかかりにくい標準値（適正）は「22」です。

計算式：BMI ＝ 体重（kg） ÷ 身長（m）^{2}

高齢者の目標：フレイル（虚弱）予防の観点から、65歳以上は21.5～24.9が適正範囲とされる

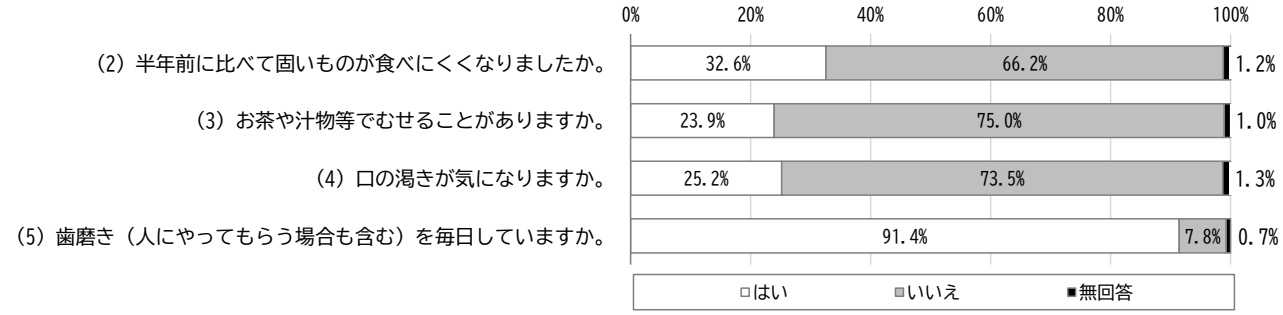
（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。[１つに○]
（３）お茶や汁物等でむせることがありますか。[１つに○]
（４）口の渇きが気になりますか。[１つに○]
（５）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。[１つに○]

（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が 32.6%、「いいえ」が 66.2%となっています。

（３）お茶や汁物等でむせることがあったかについては、「はい」が 23.9%、「いいえ」が 75.0%となっています。

（４）口の渇きが気になるかについては、「はい」が 25.2%、「いいえ」が 73.5%となっています。

（５）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかついては「はい」が 91.4%、「いいえ」が 7.8%となっています。

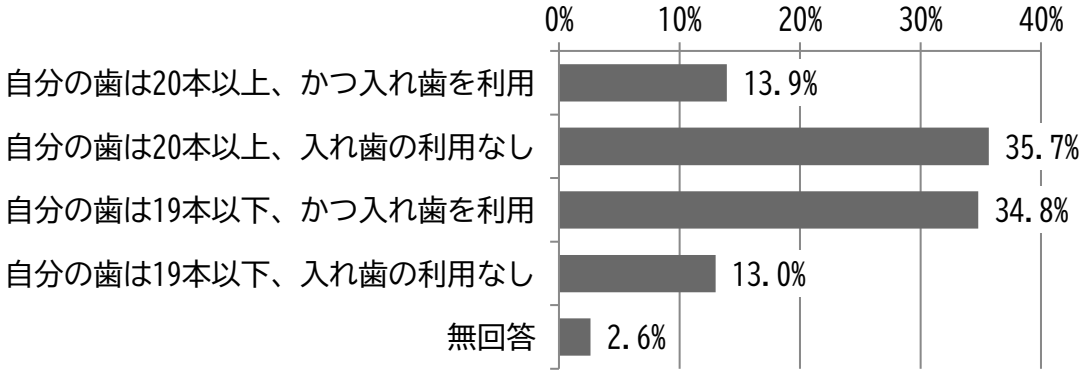


上段：度数　下段比率

項目	はい	いいえ	無回答	合計
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	411	836	15	1,262
	32.6%	66.2%	1.2%	100.0%
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。	302	947	13	1,262
	23.9%	75.0%	1.0%	100.0%
(4) 口の渇きが気になりますか。	318	928	16	1,262
	25.2%	73.5%	1.3%	100.0%
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。	1,154	99	9	1,262
	91.4%	7.8%	0.7%	100.0%

（６）　歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（成人の歯の総本数は、「親知らず」を含めて 32 本です）［１つに○］

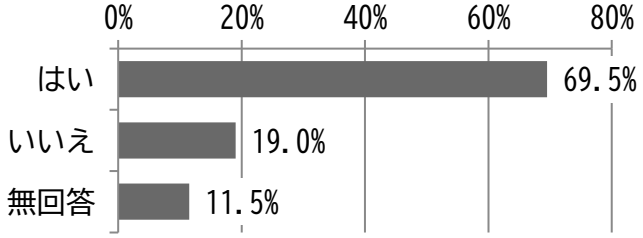
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 35.7%と最も多く、次いで、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.9%となっています。



項目	度数	比率
自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	176	13.9%
自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	450	35.7%
自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	439	34.8%
自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	164	13.0%
無回答	33	2.6%
合計	1,262	100.0%

（６）①　噛み合わせは良いですか。［１つに○］

噛み合わせは良いかについては、「はい」が 69.5%、「いいえ」が 19.0%となっています。

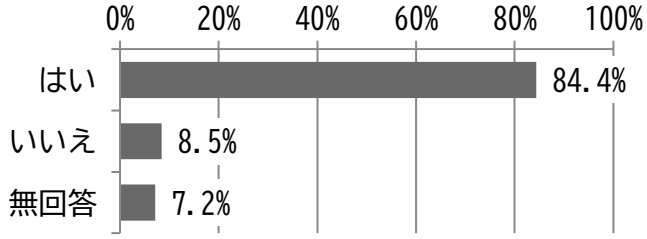


項目	度数	比率
はい	877	69.5%
いいえ	240	19.0%
無回答	145	11.5%
合計	1,262	100.0%

（６）で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を選択した方のみ回答】

（６）②　毎日入れ歯の手入れをしていますか。[１つに○]

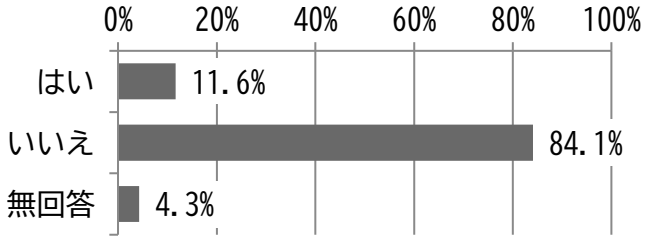
毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が 84.4%、「いいえ」が 8.5%となっています。



項目	度数	比率
はい	519	84.4%
いいえ	52	8.5%
無回答	44	7.2%
回答者数	615	100.0%

（７）　６か月間で２～３㎏以上の体重減少がありましたか。[１つに○]

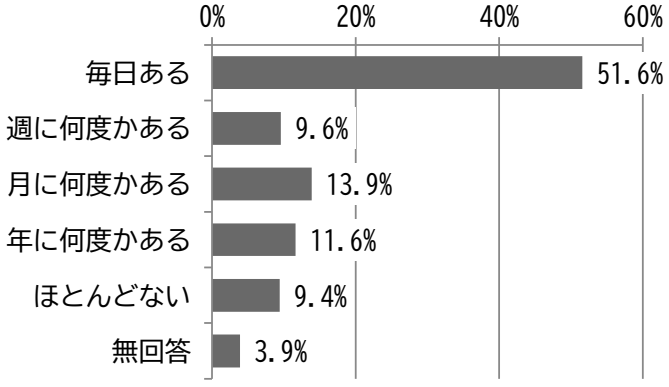
６か月間で２～３㎏以上の体重減少があったかについては、「はい」が 11.6%、「いいえ」が 84.1%となっています。



項目	度数	比率
はい	147	11.6%
いいえ	1,061	84.1%
無回答	54	4.3%
合計	1,262	100.0%

（８）　どなたかと食事をともにする機会はありますか。[１つに○]

誰かと食事をともにする機会があるかについては、「毎日ある」が 51.6%と最も多く、次いで、「月に何度かある」が 13.9%、「年に何度かある」が 11.6%となっています。



項目	度数	比率
毎日ある	651	51.6%
週に何度かある	121	9.6%
月に何度かある	175	13.9%
年に何度かある	147	11.6%
ほとんどない	119	9.4%
無回答	49	3.9%
合計	1,262	100.0%

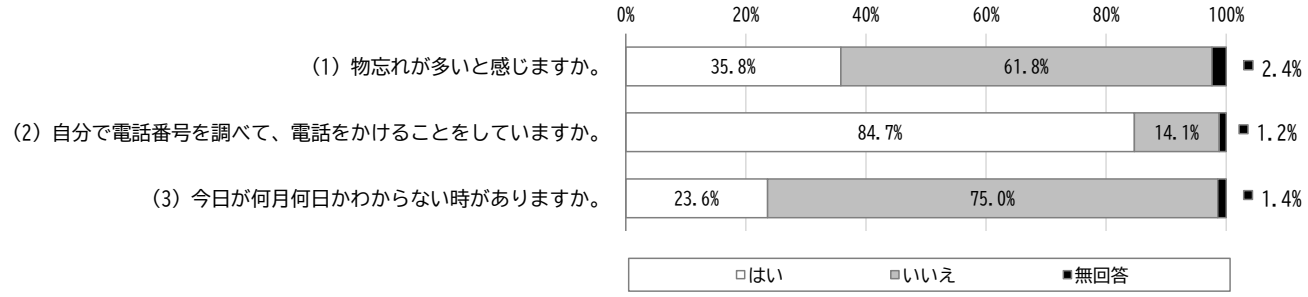
問4 毎日の生活について

（1）　物忘れが多いと感じますか。
（2）　自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。
（3）　今日が何月何日かわからない時がありますか。

（1）物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が 35.8%、「いいえ」が 61.8%となっています。

（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」が 84.7%、「いいえ」が 14.1%となっています。

（3）今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が 23.6%、「いいえ」が 75.0%となっています。



上段：度数　下段比率

項目	はい	いいえ	無回答	合計
(1) 物忘れが多いと感じますか。	452	780	30	1,262
	35.8%	61.8%	2.4%	100.0%
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	1,069	178	15	1,262
	84.7%	14.1%	1.2%	100.0%
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。	298	946	18	1,262
	23.6%	75.0%	1.4%	100.0%

（４）　バス（コミュニティバスを含む）や電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。
（５）　自分で食品・日用品の買物をしていますか。[１つに○]
（６）　自分で食事の用意をしていますか。[１つに○]
（７）　自分で請求書の支払いをしていますか。[１つに○]
（８）　自分で預貯金の出し入れをしていますか。[１つに○]

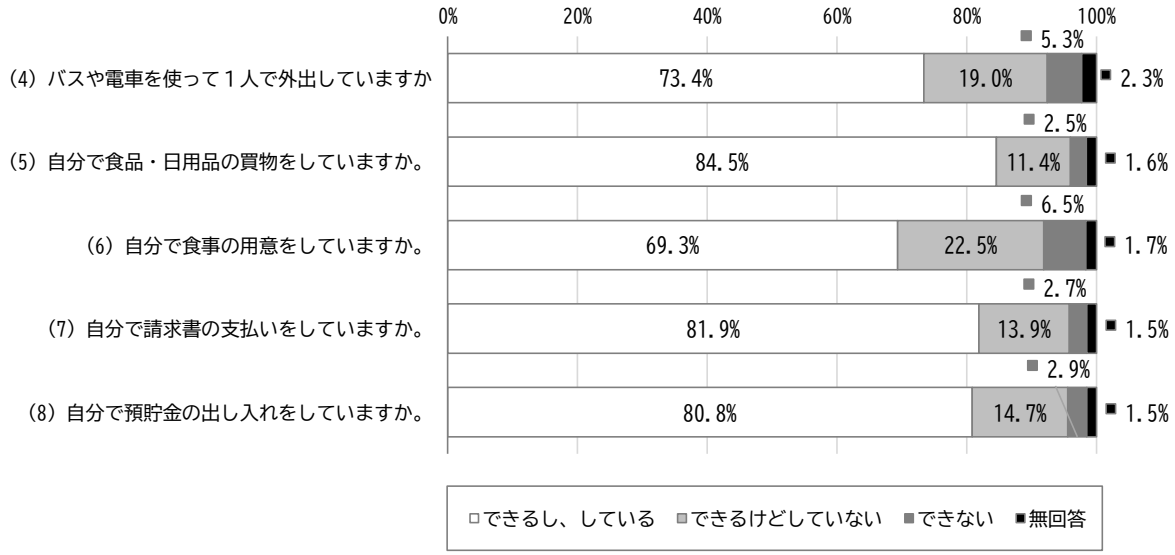
（４）バス（コミュニティバスを含む）や電車を使って１人で外出しているかについては、「できるし、している」が 73.4%、「できるけどしていない」が 19.0%、「できない」が 5.3%となっています。

（５）自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が 84.5%、「できるけどしていない」が 11.4%、「できない」が 2.5%となっています。

（６）自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が 69.3%、「できるけどしていない」が 22.5%、「できない」が 6.5%となっています。

（７）自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が 81.9%、「できるけどしていない」が 13.9%、「できない」が 2.7%となっています。

（８）自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が 80.8%、「できるけどしていない」が 14.7%、「できない」が 2.9%となっています。



上段：度数　下段比率

項目	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	合計
(4) バス（コミュニティバスを含む）や電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。	926	240	67	29	1,262
	73.4%	19.0%	5.3%	2.3%	100.0%
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1,067	144	31	20	1,262
	84.5%	11.4%	2.5%	1.6%	100.0%
(6) 自分で食事の用意をしていますか。	875	284	82	21	1,262
	69.3%	22.5%	6.5%	1.7%	100.0%
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1,033	176	34	19	1,262
	81.9%	13.9%	2.7%	1.5%	100.0%
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1,020	186	37	19	1,262
	80.8%	14.7%	2.9%	1.5%	100.0%

（９）　年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。[１つに○]
(10)　新聞を読んでいますか。[１つに○]
(11)　本や雑誌を読んでいますか。[１つに○]
(12)　健康についての記事や番組に関心がありますか。[１つに○]
(13)　友人の家を訪ねていますか。[１つに○]
(14)　家族や友人の相談にのっていますか。[１つに○]
(15)　病人を見舞うことができますか。[１つに○]
(16)　若い人に自分から話しかけることがありますか。[１つに○]

（９）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかでは、「はい」が 91.8%、「いいえ」が 6.6%となっています。

(10) 新聞を読んでいるかでは、「はい」が 63.9%、「いいえ」が 34.2%となっています。

(11) 本や雑誌を読んでいるかでは、「はい」が 64.6%、「いいえ」が 33.4%となっています。

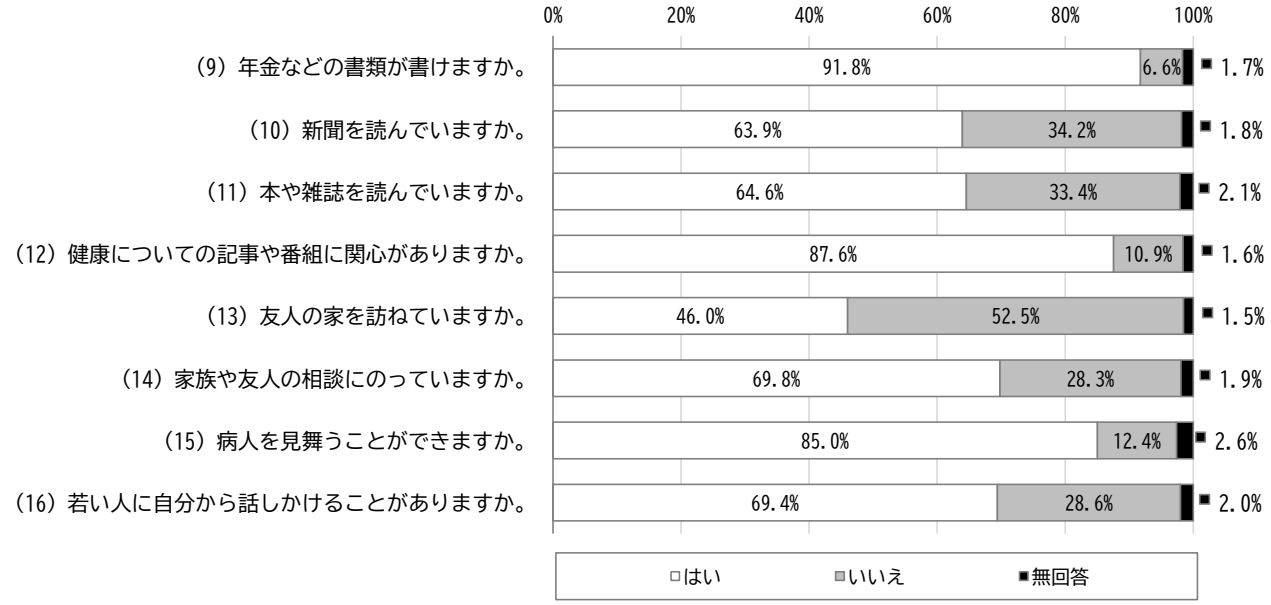
(12) 健康についての記事や番組に関心があるかでは、「はい」が 87.6%、「いいえ」が 10.9%となっています。

(13) 友人の家を訪ねているかでは、「はい」が 46.0%、「いいえ」が 52.5%となっています。

(14) 家族や友人の相談にのっているかでは、「はい」が 69.8%、「いいえ」が 28.3%となっています。

(15) 病人を見舞うことができるかでは、「はい」が 85.0%、「いいえ」が 12.4%となっています。

(16) 若い人に自分から話しかけることがあるかでは、「はい」が 69.4%、「いいえ」が 28.6%となっています。

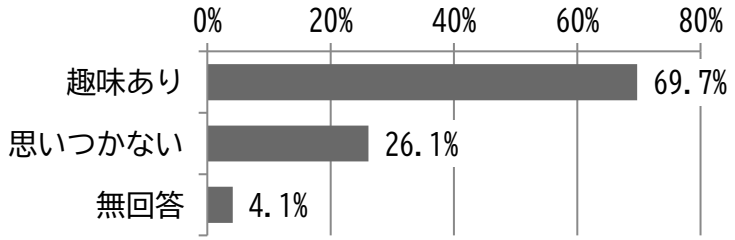


上段：度数　下段比率

項目	はい	いいえ	無回答	合計
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1,158	83	21	1,262
	91.8%	6.6%	1.7%	100.0%
(10) 新聞を読んでいますか。	807	432	23	1,262
	63.9%	34.2%	1.8%	100.0%
(11) 本や雑誌を読んでいますか。	815	421	26	1,262
	64.6%	33.4%	2.1%	100.0%
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1,105	137	20	1,262
	87.6%	10.9%	1.6%	100.0%
(13) 友人の家を訪ねていますか。	581	662	19	1,262
	46.0%	52.5%	1.5%	100.0%
(14) 家族や友人の相談にのっていますか。	881	357	24	1,262
	69.8%	28.3%	1.9%	100.0%
(15) 病人を見舞うことができますか。	1,073	156	33	1,262
	85.0%	12.4%	2.6%	100.0%
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。	876	361	25	1,262
	69.4%	28.6%	2.0%	100.0%

(17)　趣味はありますか。[１つに○]（「趣味あり」の方は趣味をご記入ください。）

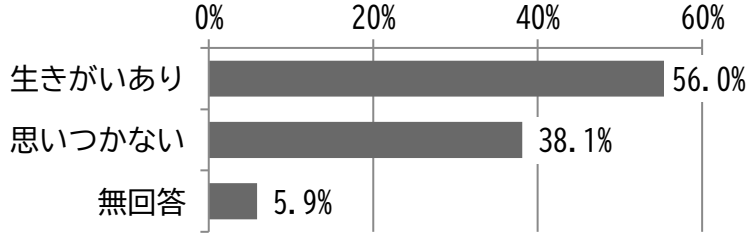
趣味があるかについては、「趣味あり」が 69.7%、「思いつかない」が 26.1%となっています。



項目	度数	比率
趣味あり	880	69.7%
思いつかない	330	26.1%
無回答	52	4.1%
合計	1,262	100.0%

(18)　生きがいはありますか。[１つに○]（「生きがいあり」の方は生きがいをご記入ください。）

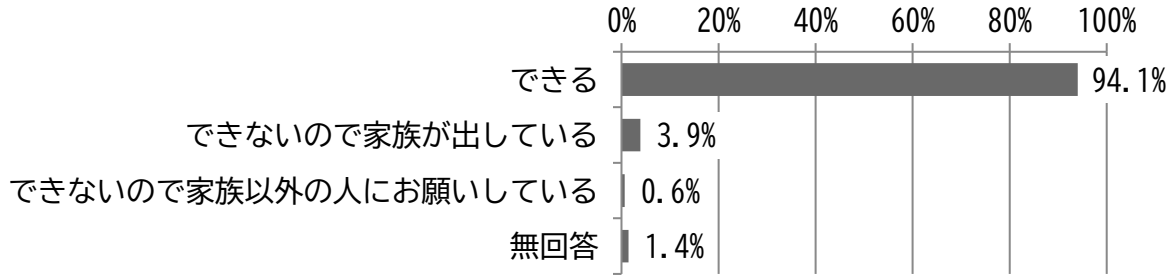
生きがいがあるかについては、「生きがいあり」が 56.0%、「思いつかない」が 38.1%となっています。



項目	度数	比率
生きがいあり	707	56.0%
思いつかない	481	38.1%
無回答	74	5.9%
合計	1,262	100.0%

（19）　集積所へのごみ出しができますか。[１つに○]

集積所へのごみ出しができるかについては、「できる」が 94.1%となっています。



項目	度数	比率
できる	1,187	94.1%
できないので家族が出している	49	3.9%
できないので家族以外の人にお願いしている	8	0.6%
無回答	18	1.4%
合計	1,262	100.0%

問５ 地域での活動について

（１）　以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①から⑧それぞれご回答ください。（それぞれに１つのみ）

①ボランティアのグループへの参加では、「週４回以上」「週２～３回」「週１回」「月に１～３回」「年に数回」を合わせた『参加している』（以下同様）が 15.1%となっています。

一方、「参加していない」は、60.6%となっています。

②スポーツ関係のグループやクラブへの参加では、『参加している』が 20.5%となっています。

一方、「参加していない」は、57.9%となっています。

③趣味関係のグループへの参加では、『参加している』が 24.8%となっています。

一方、「参加していない」は、53.9%となっています。

④学習・教養サークルへの参加では、『参加している』が 8.8%となっています。

一方、「参加していない」は、65.2%となっています。

⑤介護予防のための通いの場への参加では、『参加している』が 8.6%となっています。

一方、「参加していない」は、68.2%となっています。

⑥老人クラブへの参加では、『参加している』が 7.1%となっています。

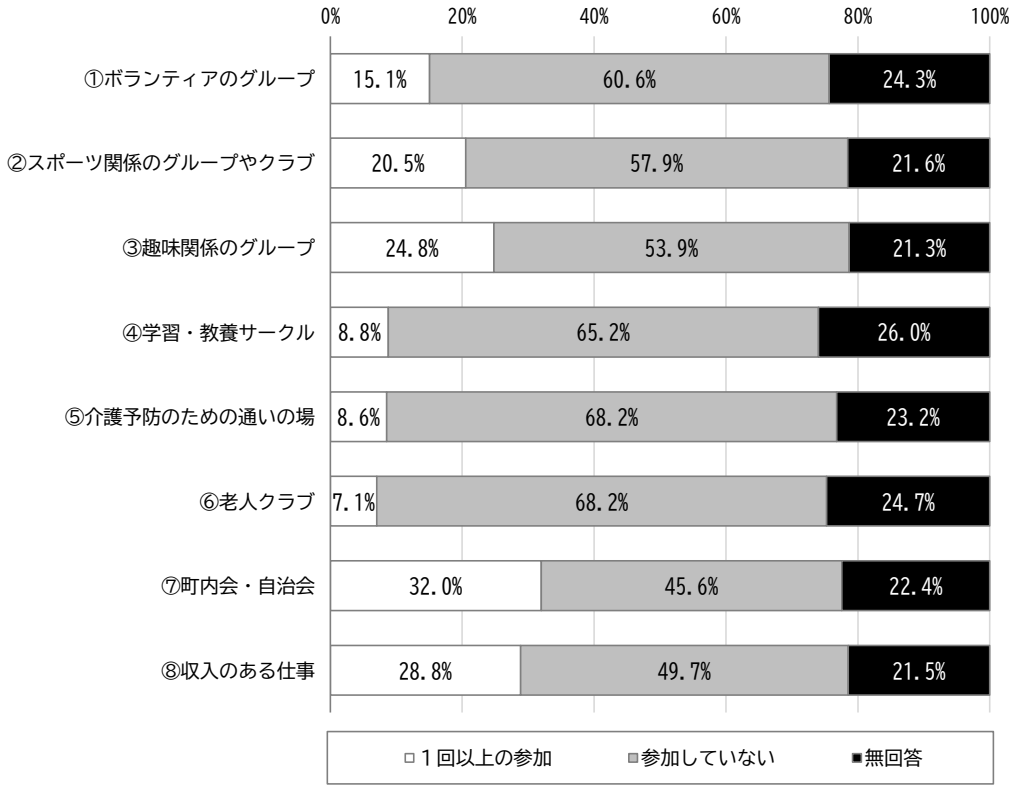
一方、「参加していない」は、68.2%となっています。

⑦町内会・自治会への参加では、『参加している』が 32.0%となっています。

一方、「参加していない」は、45.6%となっています。

⑧収入のある仕事への参加では、『参加している』が 28.8%となっています。

一方、「参加していない」は、49.7%となっています。



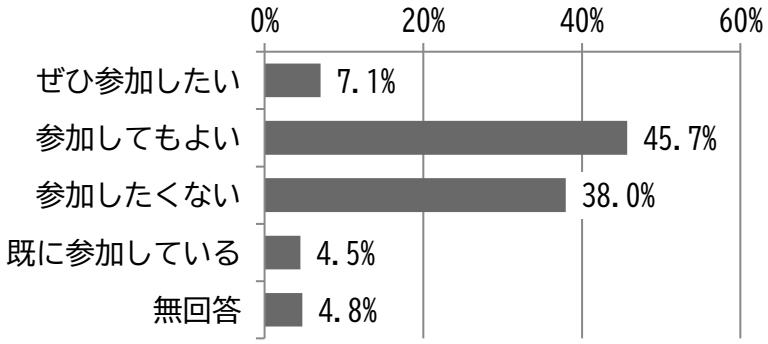
※参加者をまとめて表記、回数の詳細は表を参照

上段：度数　下段：比率

項目	週4回以上	週2～3回	週1回	月に1～3回	年に数回	1回以上の参加	参加していない	無回答	合計
①ボランティアのグループ	6	8	15	51	110	190	765	307	1,262
	0.5%	0.6%	1.2%	4.0%	8.7%	15.1%	60.6%	24.3%	100.0%
②スポーツ関係のグループやクラブ	26	79	47	64	43	259	731	272	1,262
	2.1%	6.3%	3.7%	5.1%	3.4%	20.5%	57.9%	21.6%	100.0%
③趣味関係のグループ	20	59	38	118	78	313	680	269	1,262
	1.6%	4.7%	3.0%	9.4%	6.2%	24.8%	53.9%	21.3%	100.0%
④学習・教養サークル	1	5	16	38	51	111	823	328	1,262
	0.1%	0.4%	1.3%	3.0%	4.0%	8.8%	65.2%	26.0%	100.0%
⑤集会所やコミュニティセンターでの体操やおしゃべりを行う「ふれあいサロン」など介護予防のための通いの場	5	13	13	45	32	108	861	293	1,262
	0.4%	1.0%	1.0%	3.6%	2.5%	8.6%	68.2%	23.2%	100.0%
⑥老人クラブ	1	9	2	22	55	89	861	312	1,262
	0.1%	0.7%	0.2%	1.7%	4.4%	7.1%	68.2%	24.7%	100.0%
⑦町内会・自治会	4	12	10	72	306	404	575	283	1,262
	0.3%	1.0%	0.8%	5.7%	24.2%	32.0%	45.6%	22.4%	100.0%
⑧収入のある仕事	200	97	24	23	20	364	627	271	1,262
	15.8%	7.7%	1.9%	1.8%	1.6%	28.8%	49.7%	21.5%	100.0%

（2）　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。[1つに○]

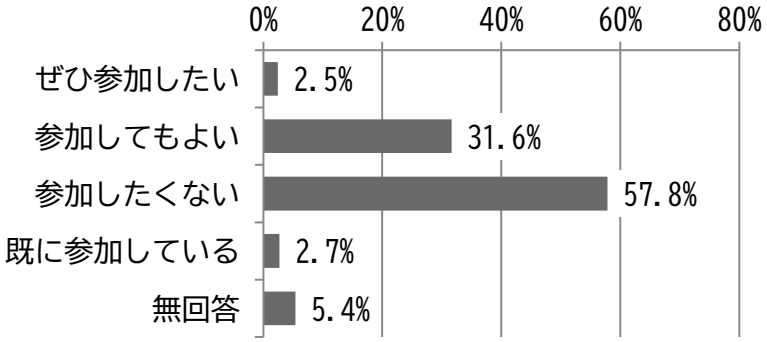
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加してみたいと思うかについては、「参加してもよい」が45.7%と最も多く、次いで、「参加したくない」が38.0%、「ぜひ参加したい」が7.1%となっています。



項目	度数	比率
ぜひ参加したい	89	7.1%
参加してもよい	577	45.7%
参加したくない	479	38.0%
既に参加している	57	4.5%
無回答	60	4.8%
合計	1,262	100.0%

（３）　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。[１つに○]

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加みたいと思うかについては、「参加したくない」が 57.8%と最も多く、次いで、「参加してもよい」が 31.6%、「既に参加している」が 2.7%となっています。

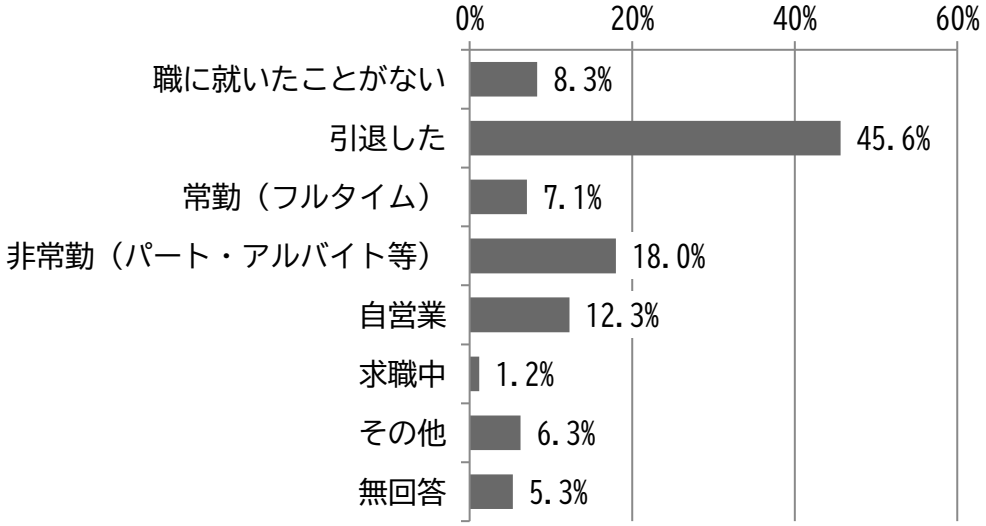


項目	度数	比率
ぜひ参加したい	31	2.5%
参加してもよい	399	31.6%
参加したくない	730	57.8%
既に参加している	34	2.7%
無回答	68	5.4%
合計	1,262	100.0%

問6 就労について

（1）　現在のあなたの就労状態はどれですか。[あてはまるものすべてに○]

現在の就労状態については、「引退した」が 45.6%と最も多く、次いで、「非常勤（パート・アルバイト等）」が 18.0%、「自営業」が 12.3%となっています。

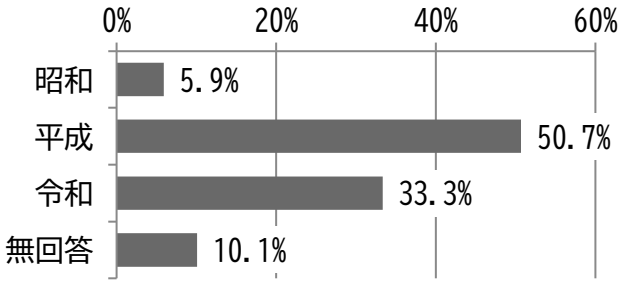


項目	度数	比率
職に就いたことがない	105	8.3%
引退した	576	45.6%
常勤（フルタイム）	89	7.1%
非常勤（パート・アルバイト等）	227	18.0%
自営業	155	12.3%
求職中	15	1.2%
その他	79	6.3%
無回答	67	5.3%
回答者数	1,262	

【（１）で「引退した」を選択した方のみ回答】

（１）①　あなたはいつ引退しましたか。[いずれか１つ記入]

引退した時期は、「平成」が 50.7%と最も多く、次いで、「令和」が 33.3%、「昭和」が 5.9%となっています。



項目	度数	比率
昭和	34	5.9%
平成	292	50.7%
令和	192	33.3%
無回答	58	10.1%
合計	576	100.0%

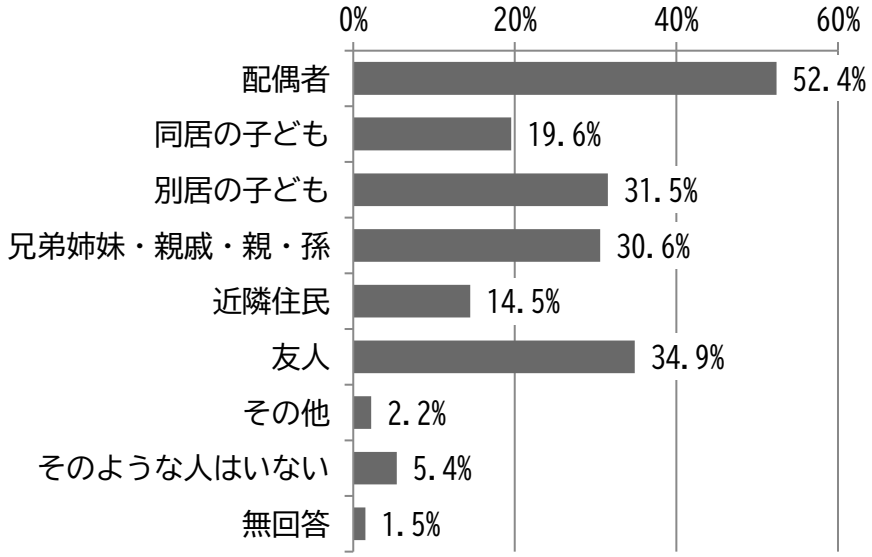
■引退した年

項目	度数	比率
昭和20～49年	12	2.1%
昭和50～64年	22	3.8%
平成元～９年	24	4.2%
平成10～19年	76	13.2%
平成20～31年	192	33.3%
令和元年～７年	192	33.3%
無回答	58	10.1%
合計	576	100.0%

問7　あなたとまわりの人の「たすけあい」について

（1）　あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。[あてはまるものすべてに○]

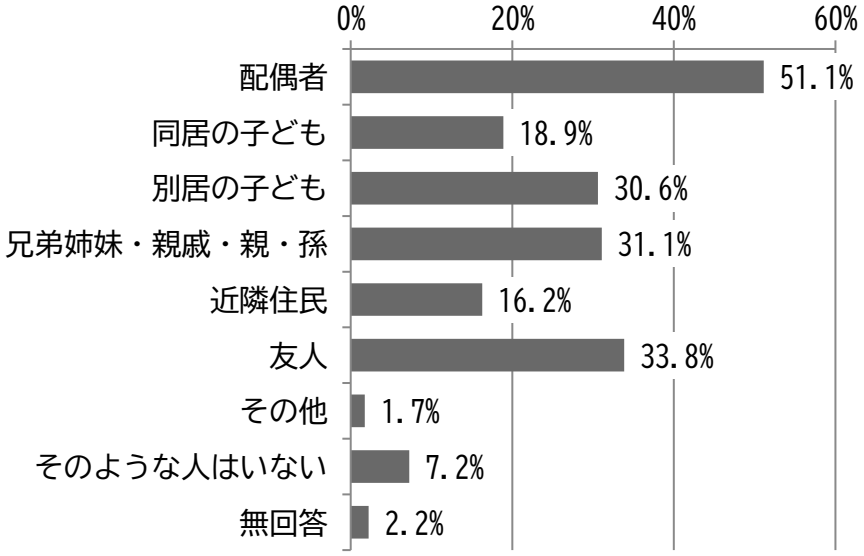
心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人については、「配偶者」が 52.4%と最も多く、次いで、「友人」が 34.9%、「別居の子ども」が 31.5%となっています。



項目	度数	比率
配偶者	661	52.4%
同居の子ども	247	19.6%
別居の子ども	398	31.5%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	386	30.6%
近隣住民	183	14.5%
友人	440	34.9%
その他	28	2.2%
そのような人はいない	68	5.4%
無回答	19	1.5%
回答者数	1,262	

（２）　反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。[あてはまるものすべてに○]

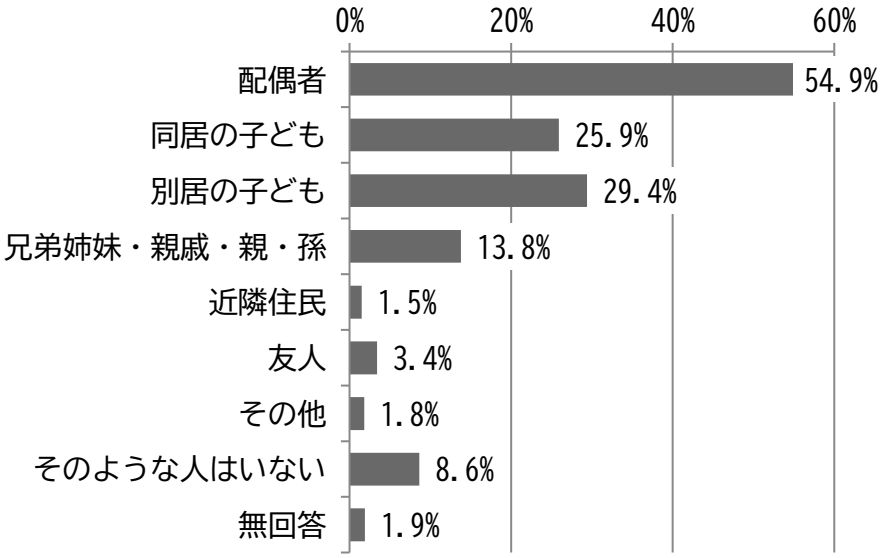
心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人については、「配偶者」が 51.1%と最も多く、次いで、「友人」が 33.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 31.1%となっています。



項目	度数	比率
配偶者	645	51.1%
同居の子ども	238	18.9%
別居の子ども	386	30.6%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	392	31.1%
近隣住民	205	16.2%
友人	427	33.8%
その他	22	1.7%
そのような人はいない	91	7.2%
無回答	28	2.2%
回答者数	1,262	

（3）　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。[あてはまるものすべてに○]

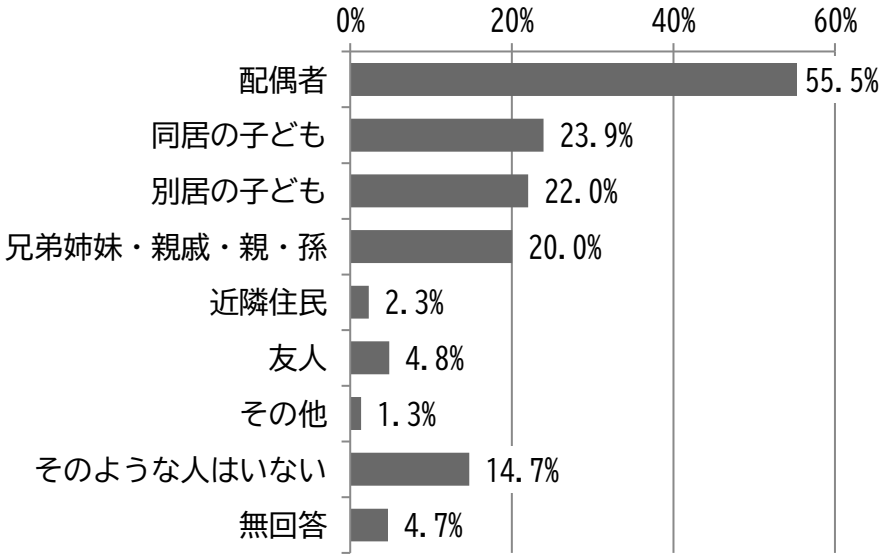
病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が 54.9%と最も多く、次いで、「別居の子ども」が 29.4%、「同居の子ども」が 25.9%となっています。



項目	度数	比率
配偶者	693	54.9%
同居の子ども	327	25.9%
別居の子ども	371	29.4%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	174	13.8%
近隣住民	19	1.5%
友人	43	3.4%
その他	23	1.8%
そのような人はいない	109	8.6%
無回答	24	1.9%
回答者数	1,262	

（４）　反対に、看病や世話をしてあげる人。[あてはまるものすべてに○]

看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が 55.5%と最も多く、次いで、「同居の子ども」が 23.9%、「別居の子ども」が 22.0%となっています。

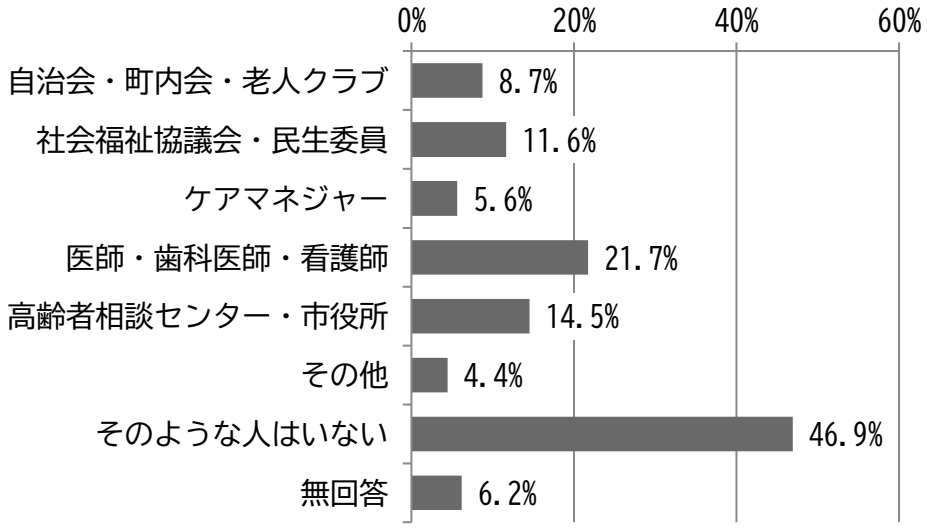


項目	度数	比率
配偶者	700	55.5%
同居の子ども	302	23.9%
別居の子ども	278	22.0%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	253	20.0%
近隣住民	29	2.3%
友人	61	4.8%
その他	17	1.3%
そのような人はいない	186	14.7%
無回答	59	4.7%
回答者数	1,262	

（５）　家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。[あてはまるものすべてに○]

家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が21.7%と最も多く、次いで、「高齢者相談センター・市役所」が14.5%となっています。

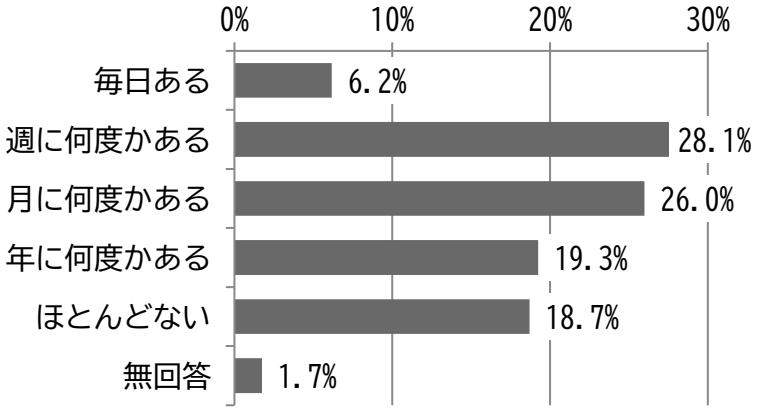
一方、「そのような人はいない」が46.9%となっています。



項目	度数	比率
自治会・町内会・老人クラブ	110	8.7%
社会福祉協議会・民生委員	147	11.6%
ケアマネジャー	71	5.6%
医師・歯科医師・看護師	274	21.7%
高齢者相談センター・市役所	183	14.5%
その他	56	4.4%
そのような人はいない	592	46.9%
無回答	78	6.2%
回答者数	1,262	

（6）　友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。[１つに○]

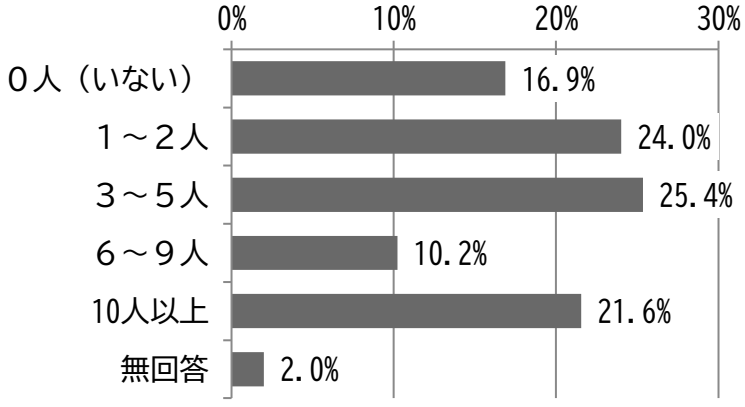
友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が 28.1%と最も多く、次いで、「月に何度かある」が 26.0%、「年に何度かある」が 19.3%となっています。



項目	度数	比率
毎日ある	78	6.2%
週に何度かある	355	28.1%
月に何度かある	328	26.0%
年に何度かある	243	19.3%
ほとんどない	236	18.7%
無回答	22	1.7%
合計	1,262	100.0%

（7）　この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。（同じ人には何度会っても 1 人と数えることとします。）[１つに○]

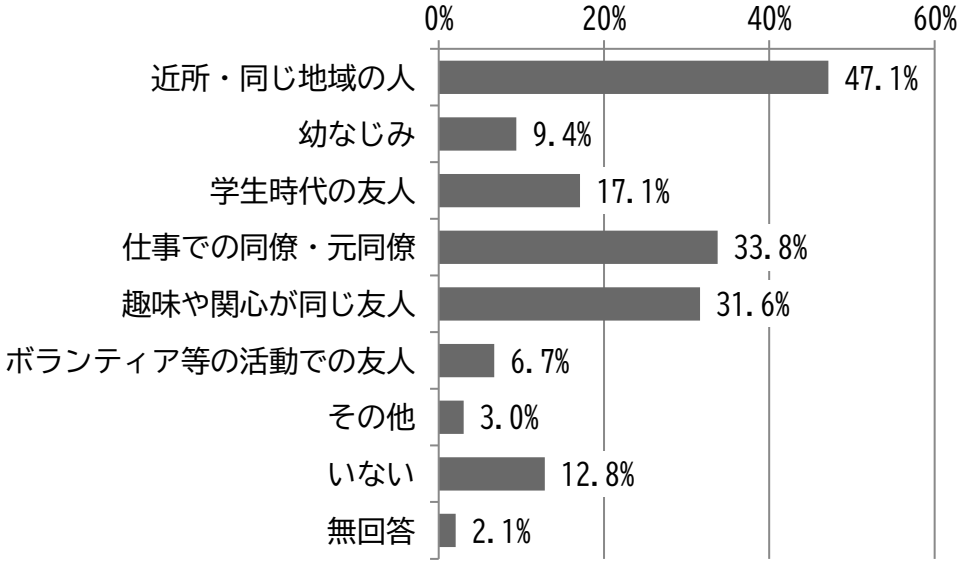
この１か月間で友人・知人と会った頻度については、「３～５人」が 25.4%と最も多く、次いで、「１～２人」が 24.0%、「10 人以上」が 21.6%となっています。



項目	度数	比率
０人（いない）	213	16.9%
１～２人	303	24.0%
３～５人	320	25.4%
６～９人	129	10.2%
10人以上	272	21.6%
無回答	25	2.0%
合計	1,262	100.0%

（８）　よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。[あてはまるものすべてに○]

よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が 47.1%と最も多く、次いで、「仕事での同僚・元同僚」が 33.8%、「趣味や関心が同じ友人」が 31.6%となっています。

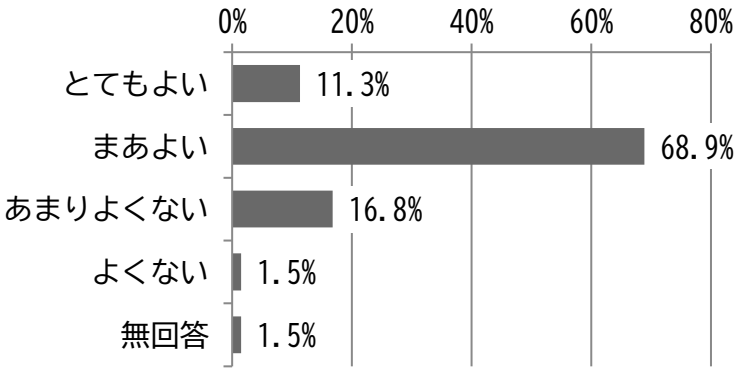


項目	度数	比率
近所・同じ地域の人	595	47.1%
幼なじみ	119	9.4%
学生時代の友人	216	17.1%
仕事での同僚・元同僚	426	33.8%
趣味や関心が同じ友人	399	31.6%
ボランティア等の活動での友人	85	6.7%
その他	38	3.0%
いない	162	12.8%
無回答	26	2.1%
回答者数	1,262	

問８ 健康について

（１）　現在のあなたの健康状態はいかがですか。[１つに○]

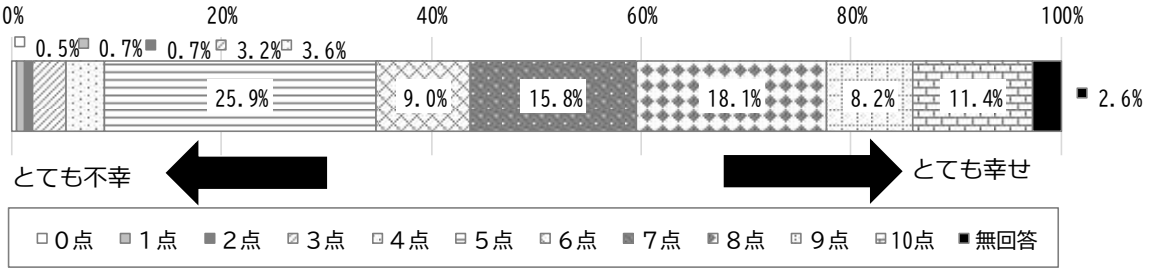
健康状態については、「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』が 80.2%となっています。
一方、「あまりよくない」「よくない」を合わせた『よくない』は、18.3%となっています。



項目	度数	比率
とてもよい	143	11.3%
まあよい	869	68.9%
あまりよくない	212	16.8%
よくない	19	1.5%
無回答	19	1.5%
合計	1,262	100.0%

（２）　あなたは、現在どの程度幸せですか。[１つに○]

現在の幸福度については、「５点」が 25.9%と最も多く、次いで、「８点」が 18.1%、「７点」が 15.8%となっています。

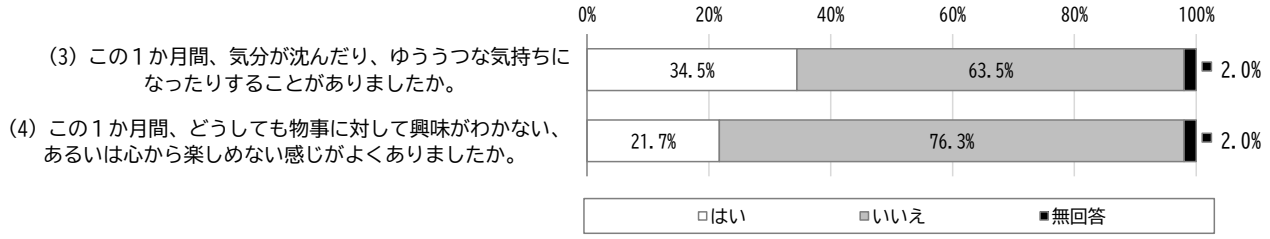


項目	０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点	10点	無回答	合計
度数	6	9	9	41	46	327	114	200	229	104	144	33	1,262
比率	0.5%	0.7%	0.7%	3.2%	3.6%	25.9%	9.0%	15.8%	18.1%	8.2%	11.4%	2.6%	100.0%

（３）　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。［１つに○］
（４）　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。［１つに○］

（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が 34.5%、「いいえ」が 63.5%となっています。

（４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかについては、「はい」が 21.7%、「いいえ」が 76.3%となっています。

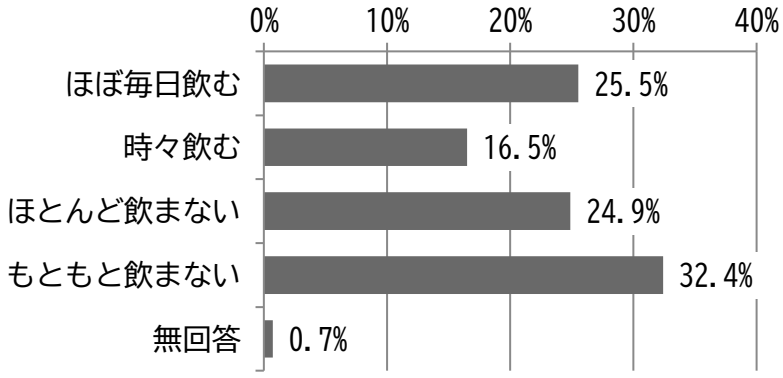


上段：度数　下段比率

項目	はい	いいえ	無回答	合計
(3) この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	435	802	25	1,262
	34.5%	63.5%	2.0%	100.0%
(4) この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	274	963	25	1,262
	21.7%	76.3%	2.0%	100.0%

（５）　お酒は飲みますか。［１つに○］

飲酒については、「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」を合わせた『飲む』が 42.0%となっています。
一方、「ほとんど飲まない」「もともと飲まない」を合わせた『飲まない』が 57.3%となっています。

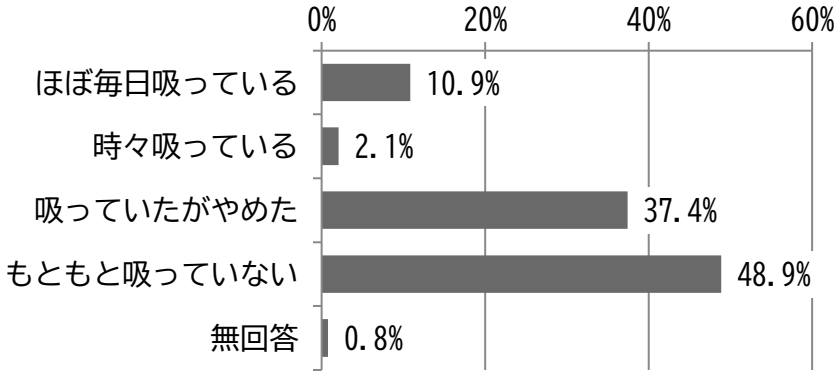


項目	度数	比率
ほぼ毎日飲む	322	25.5%
時々飲む	208	16.5%
ほとんど飲まない	314	24.9%
もともと飲まない	409	32.4%
無回答	9	0.7%
合計	1,262	100.0%

（６）　タバコは吸っていますか。[１つに○]

喫煙については、「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」を合わせた『吸っている』が 13.0%となっています。

一方、「吸っていたがやめた」「もともと吸っていない」を合わせた『吸っていない』が 86.3%となっています。

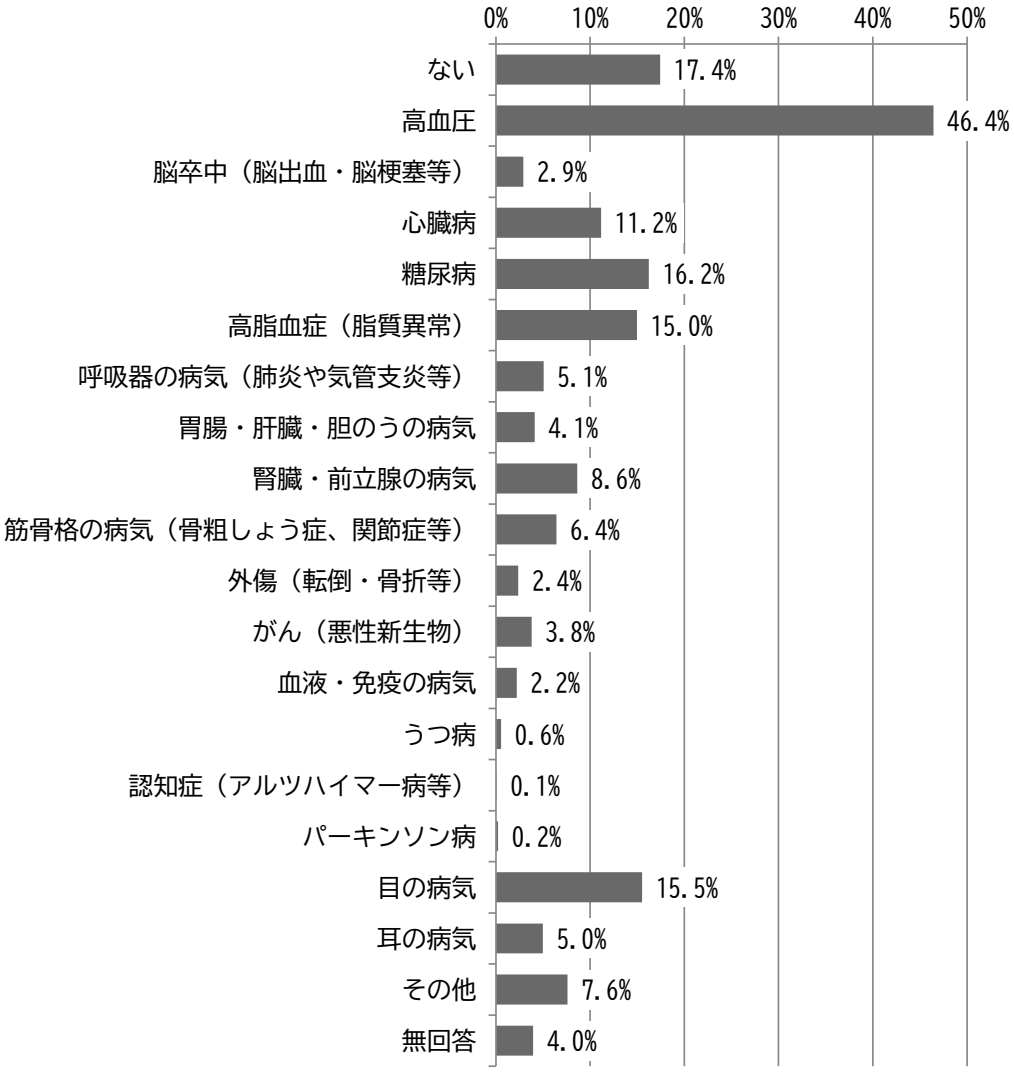


項目	度数	比率
ほぼ毎日吸っている	137	10.9%
時々吸っている	26	2.1%
吸っていたがやめた	472	37.4%
もともと吸っていない	617	48.9%
無回答	10	0.8%
合計	1,262	100.0%

（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。[あてはまるものすべてに○]

現在治療中、または後遺症がある病気については、「高血圧」が 46.4%と最も多く、次いで、「糖尿病」が 16.2%、「目の病気」が 15.5%となっています。

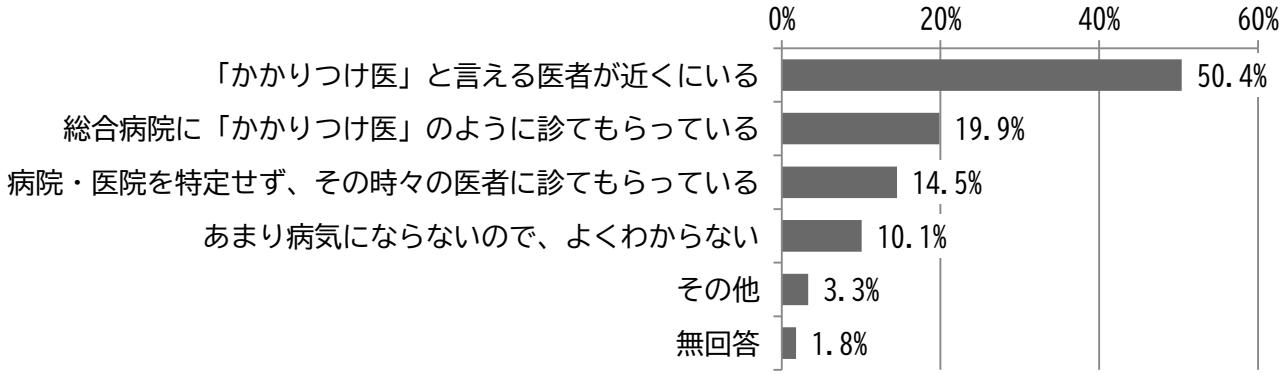
一方、「ない」が 17.4%となっています。



項目	度数	比率
ない	220	17.4%
高血圧	586	46.4%
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	37	2.9%
心臓病	141	11.2%
糖尿病	205	16.2%
高脂血症（脂質異常）	189	15.0%
呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	64	5.1%
胃腸・肝臓・胆のうの病気	52	4.1%
腎臓・前立腺の病気	109	8.6%
筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	81	6.4%
外傷（転倒・骨折等）	30	2.4%
がん（悪性新生物）	48	3.8%
血液・免疫の病気	28	2.2%
うつ病	7	0.6%
認知症（アルツハイマー病等）	1	0.1%
パーキンソン病	3	0.2%
目の病気	196	15.5%
耳の病気	63	5.0%
その他	96	7.6%
無回答	50	4.0%
回答者数	1,262	

（８）あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」がいますか。[１つに○]

いろいろと相談できる「かかりつけ医」がいるかについては、「「かかりつけ医」と言える医者が近くにいる」が 50.4%と最も多く、次いで、「総合病院に「かかりつけ医」のように診てもらっている」が 19.9%、「病院・医院を特定せず、その時々の医者に診てもらっている」が 14.5%となっています。



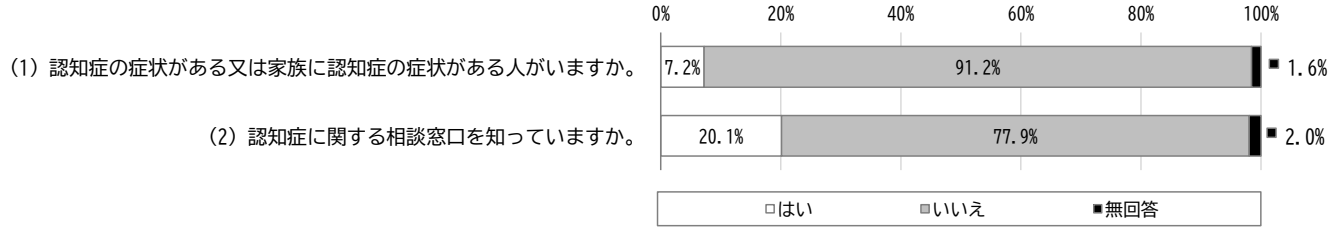
項目	度数	比率
「かかりつけ医」と言える医者が近くにいる	636	50.4%
総合病院に「かかりつけ医」のように診てもらっている	251	19.9%
病院・医院を特定せず、その時々の医者に診てもらっている	183	14.5%
あまり病気にならないので、よくわからない	127	10.1%
その他	42	3.3%
無回答	23	1.8%
合計	1,262	100.0%

問９　認知症にかかる相談窓口について

（１）　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。［１つに○］
（２）　認知症に関する相談窓口を知っていますか。［１つに○］

（１）　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」が 7.2%、「いいえ」が 91.2%となっています。

（２）　認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が 20.1%、「いいえ」が 77.9%となっています。



上段：度数　下段比率

項目	はい	いいえ	無回答	合計
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	91	1,151	20	1,262
	7.2%	91.2%	1.6%	100.0%
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。	254	983	25	1,262
	20.1%	77.9%	2.0%	100.0%

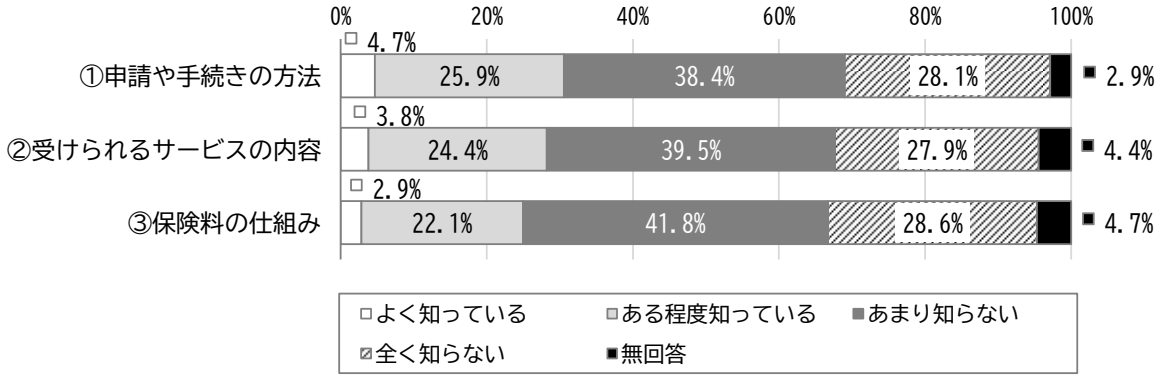
問 10 介護保険制度などについて

（１）　介護が必要になったときの手続きや介護保険制度のサービスの内容について知っていますか。[それぞれに回答してください]

①申請や手続きの方法については、「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた『知っている』（以下同様）が 30.6%、「あまり知らない」「全く知らない」を合わせた『知らない』（以下同様）が 66.5%となっています。

②受けられるサービスの内容については、『知っている』が 28.2%、『知らない』が 66.4%となっています。

③保険料の仕組みについては、『知っている』が 25.0%、『知らない』が 70.4%となっています。



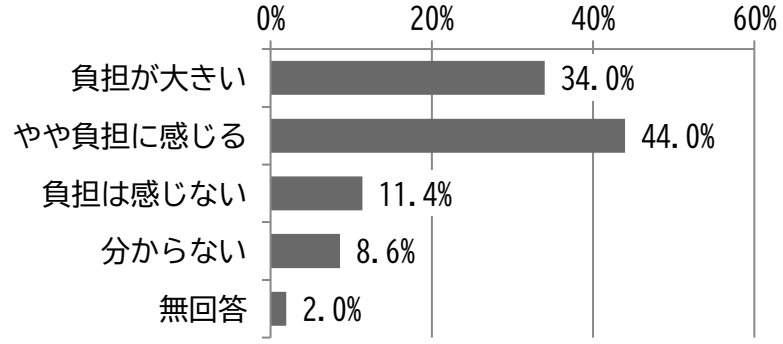
上段：度数　下段比率

項目	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	合計
①申請や手続きの方法	59	327	485	355	36	1,262
	4.7%	25.9%	38.4%	28.1%	2.9%	100.0%
②受けられるサービスの内容	48	308	498	352	56	1,262
	3.8%	24.4%	39.5%	27.9%	4.4%	100.0%
③保険料の仕組み	36	279	527	361	59	1,262
	2.9%	22.1%	41.8%	28.6%	4.7%	100.0%

（２）　現在支払っている介護保険料の額について、どのように感じていますか。[１つに○]

現在支払っている介護保険料の額については、「負担が大きい」「やや負担に感じる」を合わせた『負担に感じる』が 78.0%となっています。

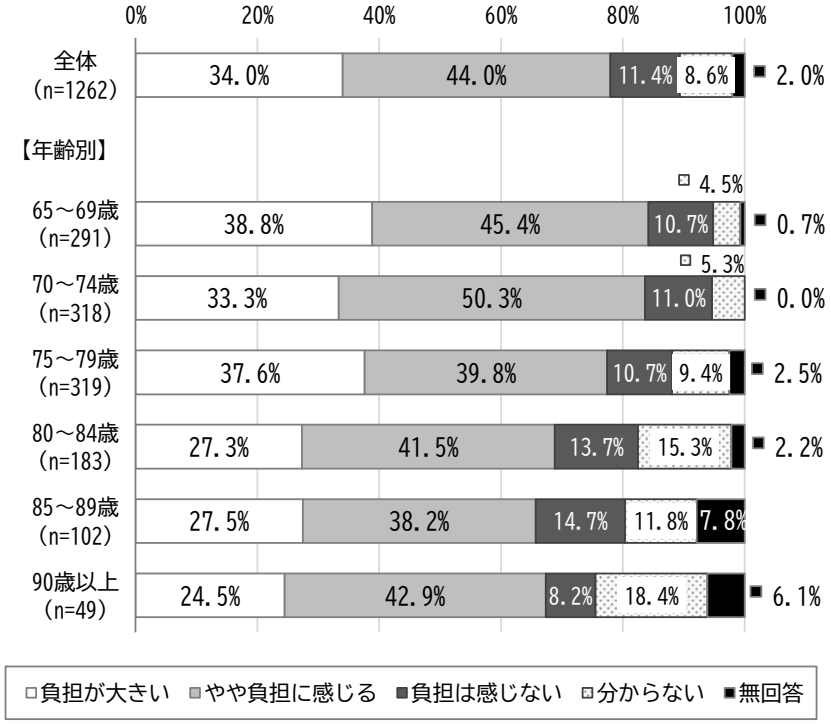
一方、「負担は感じない」が 11.4%となっています。



項目	度数	比率
負担が大きい	429	34.0%
やや負担に感じる	555	44.0%
負担は感じない	144	11.4%
分からない	109	8.6%
無回答	25	2.0%
合計	1,262	100.0%

【年齢別クロス】

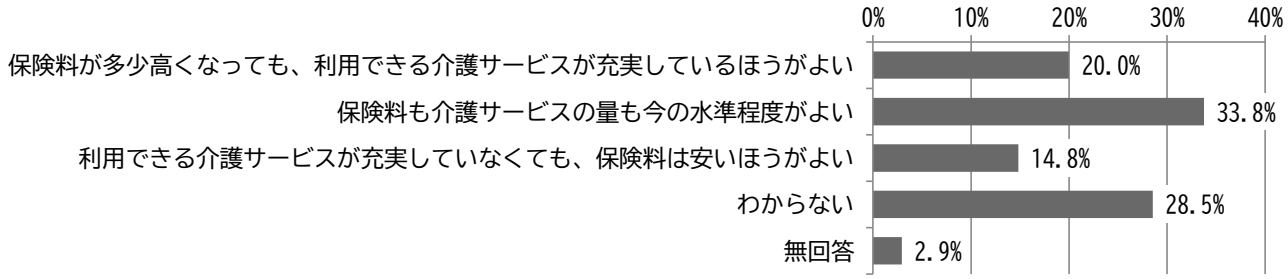
介護保険料の負担感について、年齢別にみると『65～69 歳』で『負担に感じる』割合が高く、年齢が上がるほど負担に感じる割合は低くなっていますが、一方で「分からない」では年齢が上がるほど割合が高くなっているため、負担の認識が減っている状況もあります。



（3）　介護保険サービスと介護保険料の関係について、どのようにお考えですか。[１つに○]

介護保険サービスと介護保険料の関係については、「保険料も介護サービスの量も今の水準程度がよい」が 33.8%と最も多く、次いで、「保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実しているほうがよい」が 20.0%となっています。

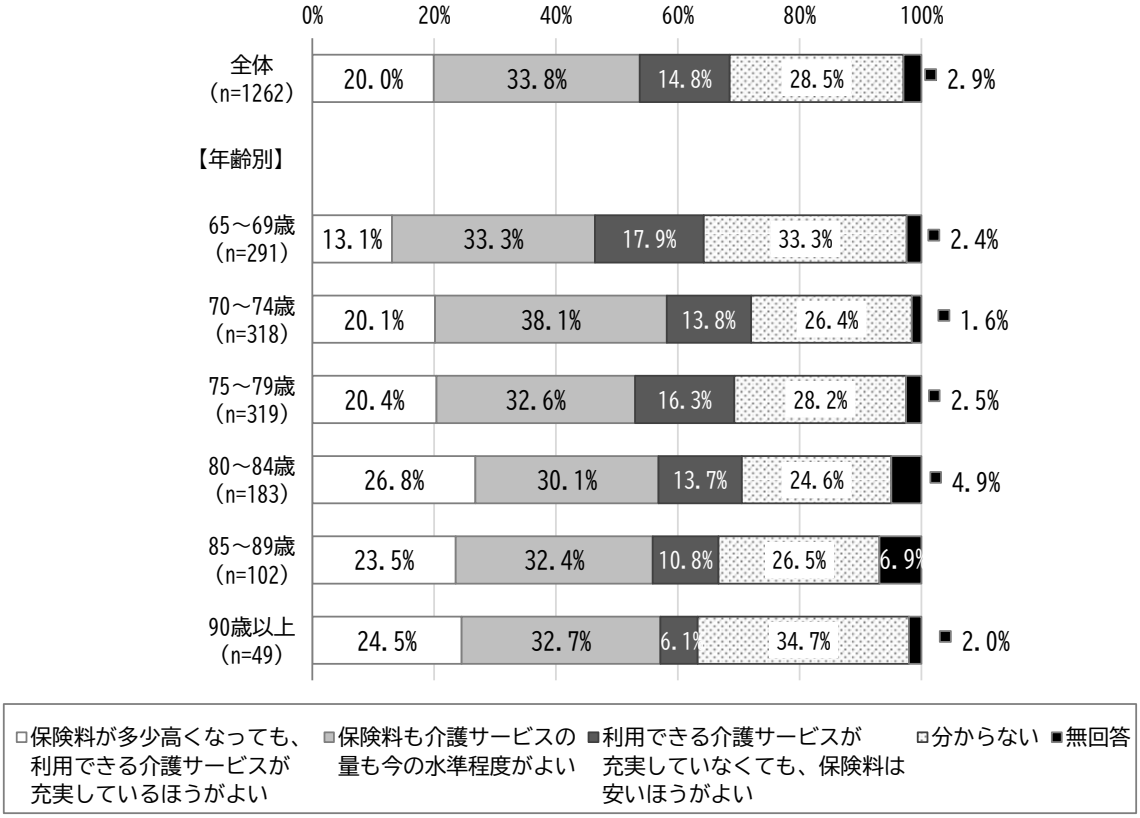
一方、「わからない」が 28.5%となっています。



項目	度数	比率
保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実しているほうがよい	252	20.0%
保険料も介護サービスの量も今の水準程度がよい	426	33.8%
利用できる介護サービスが充実していなくても、保険料は安いほうがよい	187	14.8%
わからない	360	28.5%
無回答	37	2.9%
合計	1,262	100.0%

【年齢別クロス】

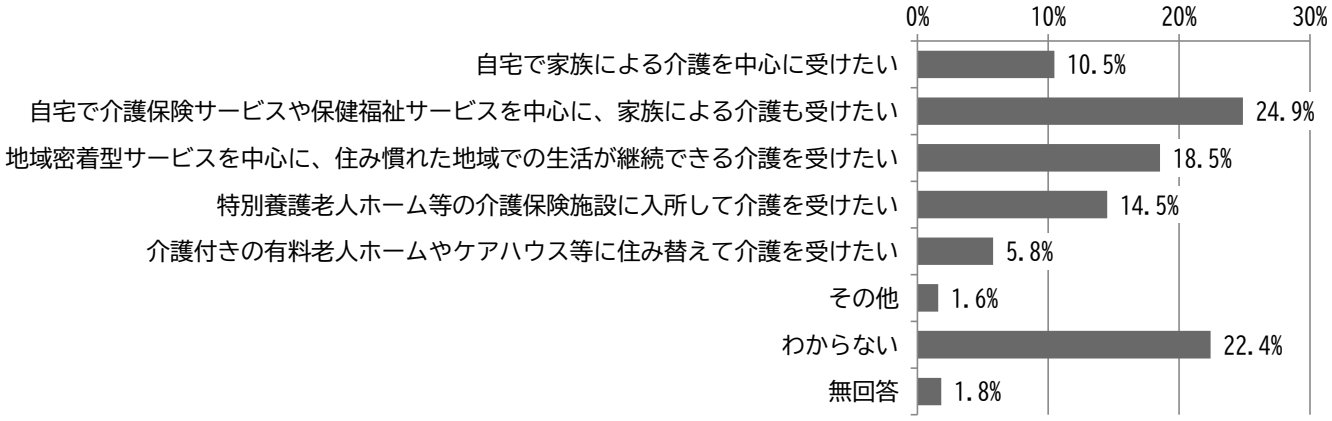
介護保険制度の保険料と介護サービスの在り方を年齢別でみると、『80～84 歳』では「保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実しているほうがよい」の割合が高く、『70～74 歳』では「保険料も介護サービスの量も今の水準程度がよい」の割合が高くなっています。



（４）　介護が必要になった場合、どのような介護を希望しますか。[１つに○]

介護が必要になった場合、希望する介護は、「自宅で介護保険サービスや保健福祉サービスを中心に、家族による介護も受けたい」が 24.9%と最も多く、次いで、「地域密着型サービス（グループホーム、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護など）を中心に、住み慣れた地域での生活が継続できる介護を受けたい」が 18.5%となっています。

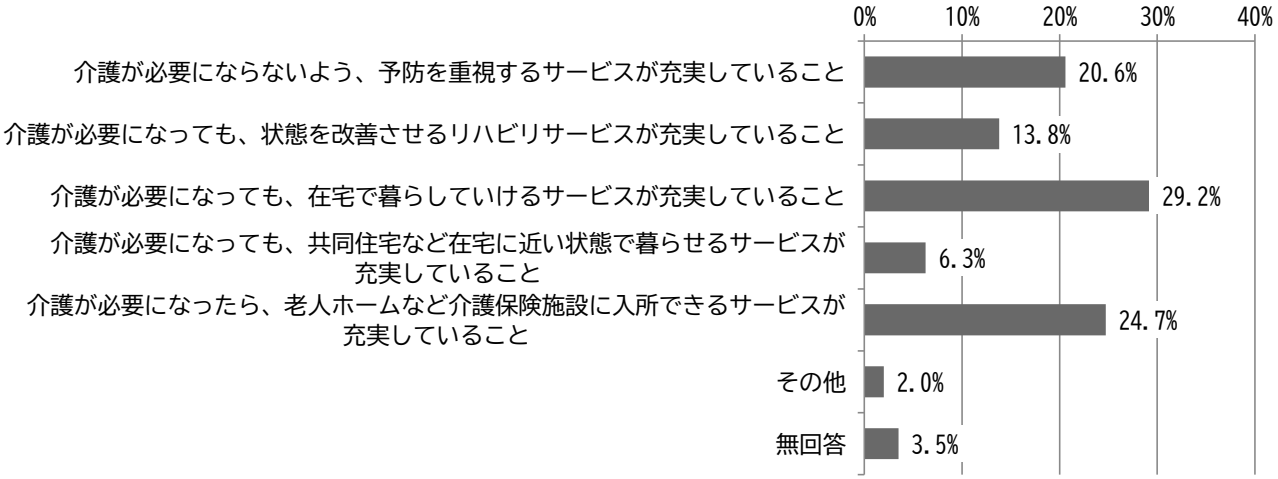
一方、「わからない」が 22.4%となっています。



項目	度数	比率
自宅で家族による介護を中心に受けたい	132	10.5%
自宅で介護保険サービスや保健福祉サービスを中心に、家族による介護も受けたい	314	24.9%
地域密着型サービス（グループホーム、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護など）を中心に、住み慣れた地域での生活が継続できる介護を受けたい	234	18.5%
特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所して介護を受けたい	183	14.5%
介護付きの有料老人ホームやケアハウス等に住み替えて介護を受けたい	73	5.8%
その他	20	1.6%
わからない	283	22.4%
無回答	23	1.8%
合計	1,262	100.0%

（５）　あなたは、介護保険サービスにどのようなことを期待しますか。もっとも期待の高いものを選んでください。[１つに○]

介護保険サービスに期待することについては、「介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること」が 29.2%と最も多く、次いで、「介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること」が 24.7%、「介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること」が 20.6%となっています。

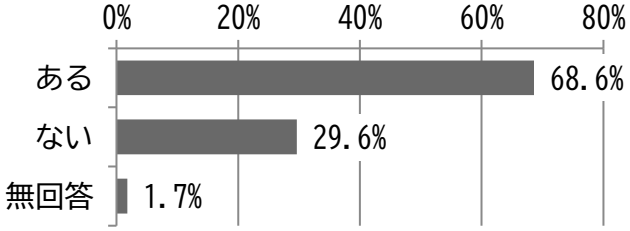


項目	度数	比率
介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること	260	20.6%
介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること	174	13.8%
介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること	368	29.2%
介護が必要になっても、共同住宅など在宅に近い状態で暮らせるサービスが充実していること	79	6.3%
介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること	312	24.7%
その他	25	2.0%
無回答	44	3.5%
合計	1,262	100.0%

問 11 介護予防の取り組みについて

（１）　健康づくりや介護予防・重度化防止のために、日ごろから取り組んでいることはありますか。[１つに○]

健康づくりや介護予防・重度化防止のために、日ごろから取り組んでいることがあるかについては、「ある」が 68.6%、「ない」が 29.6%となっています。

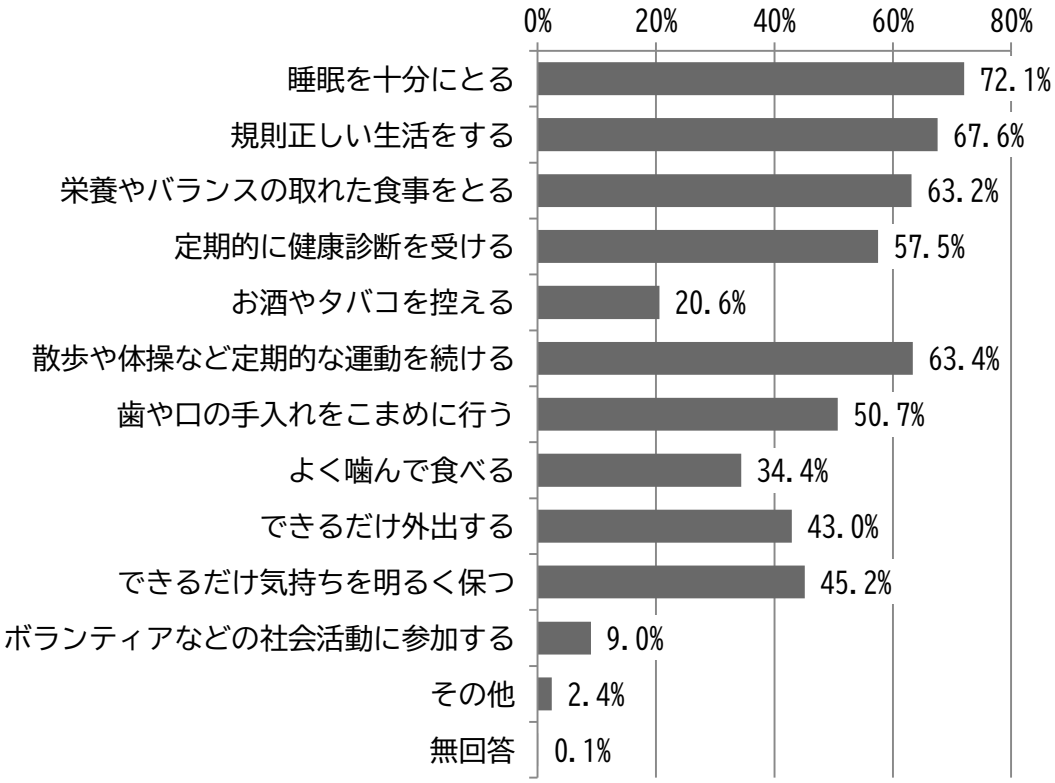


項目	度数	比率
ある	866	68.6%
ない	374	29.6%
無回答	22	1.7%
合計	1,262	100.0%

【（1）で「ある」を選択した方のみ回答】

（1）①　健康づくりや介護予防・重度化防止のために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。[あてはまるものすべてに○]

健康づくりや介護予防・重度化防止のために、日ごろから取り組んでいることについては、「睡眠を十分にとる」が 72.1%と最も多く、次いで、「規則正しい生活をする」が 67.6%、「散歩や体操など定期的な運動を続ける」が 63.4%となっています。

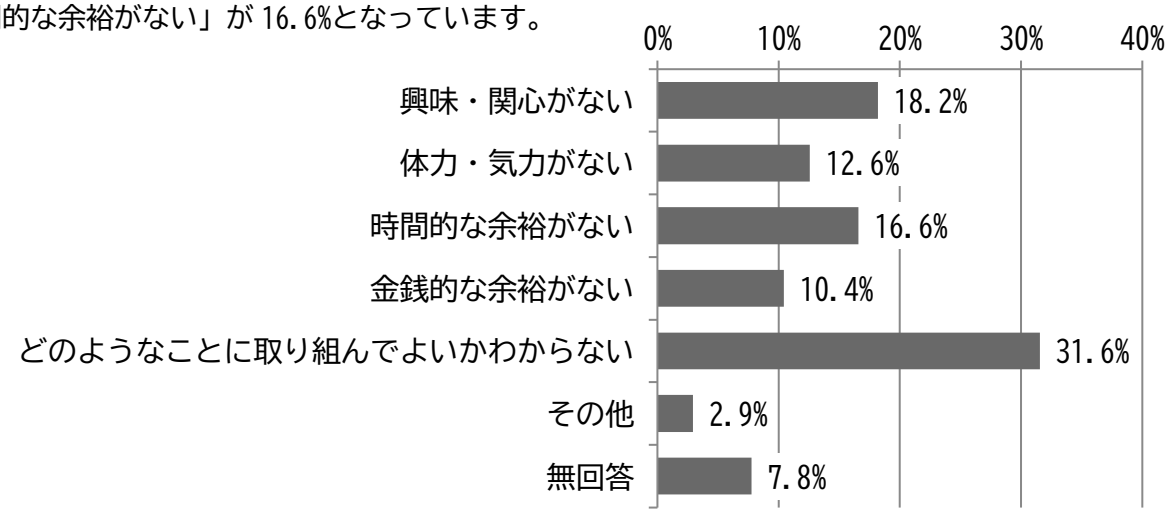


項目	度数	比率
睡眠を十分にとる	624	72.1%
規則正しい生活をする	585	67.6%
栄養やバランスの取れた食事をとる	547	63.2%
定期的に健康診断を受ける	498	57.5%
お酒やタバコを控える	178	20.6%
散歩や体操など定期的な運動を続ける	549	63.4%
歯や口の手入れをこまめに行う	439	50.7%
よく噛んで食べる	298	34.4%
できるだけ外出する	372	43.0%
できるだけ気持ちを明るく保つ	391	45.2%
ボランティアなどの社会活動に参加する	78	9.0%
その他	21	2.4%
無回答	1	0.1%
回答者数	866	

【（1）で「ない」を選択した方のみ回答】

（1）②　それはなぜですか。[1つに○]

健康づくりや介護予防・重度化防止のために、日頃から取り組んでいない理由については、「どのようなことに取り組んでよいかわからない」が 31.6%と最も多く、次いで、「興味・関心がない」が 18.2%、「時間的な余裕がない」が 16.6%となっています。

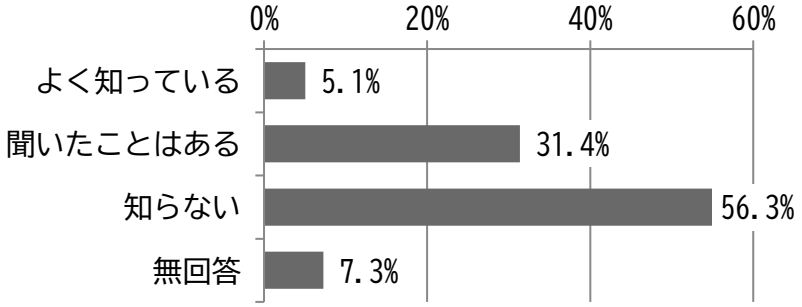


項目	度数	比率
興味・関心がない	68	18.2%
体力・気力がない	47	12.6%
時間的な余裕がない	62	16.6%
金銭的な余裕がない	39	10.4%
どのようなことに取り組んでよいかわからない	118	31.6%
その他	11	2.9%
無回答	29	7.8%
回答者数	374	100.0%

（2）　市では、６５歳以上の方を対象に、介護予防事業を行っていますが、介護予防事業を知っていますか。[1つに○]

介護予防事業を知っているかについては、「よく知っている」「聞いたことはある」を合わせた『知っている』が 36.5%となっています。

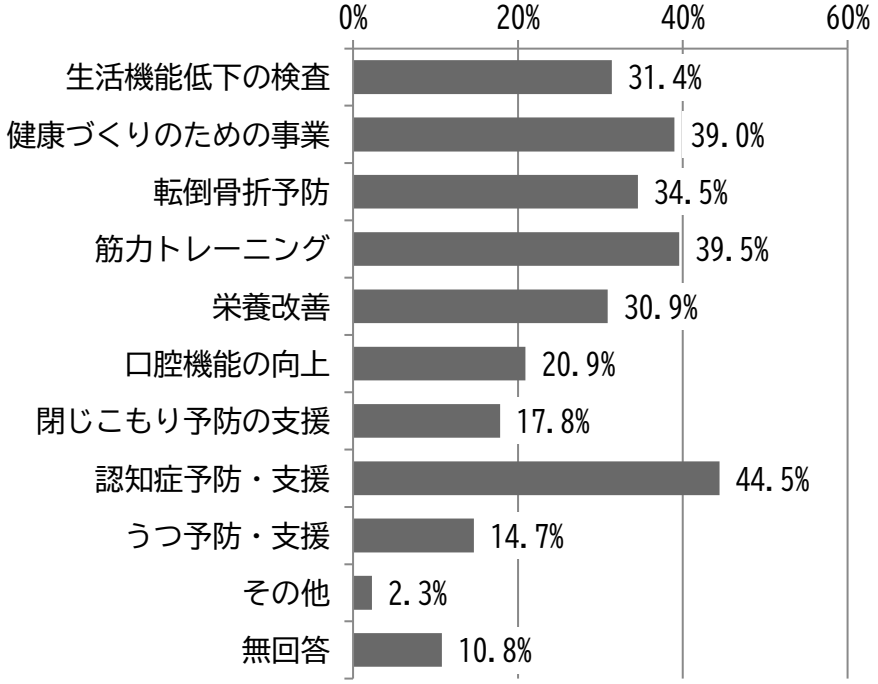
一方、「知らない」が 56.3%となっています。



項目	度数	比率
よく知っている	64	5.1%
聞いたことはある	396	31.4%
知らない	710	56.3%
無回答	92	7.3%
合計	1,262	100.0%

（3）　今後の介護予防・重度化防止への取り組みについて、下記のうち特に重要と思われるものはどれですか。[あてはまるものすべてに○]

今後の介護予防・重度化防止への取り組みで特に重要と思われるものについては、「認知症予防・支援（認知症にならない、認知症を進行させないような取り組み）」が 44.5%と最も多く、次いで、「筋力トレーニング（簡単な体操などを行い筋力やバランス能力の向上・改善を行う）」が 39.5%、「健康づくりのための事業」が 39.0%となっています。

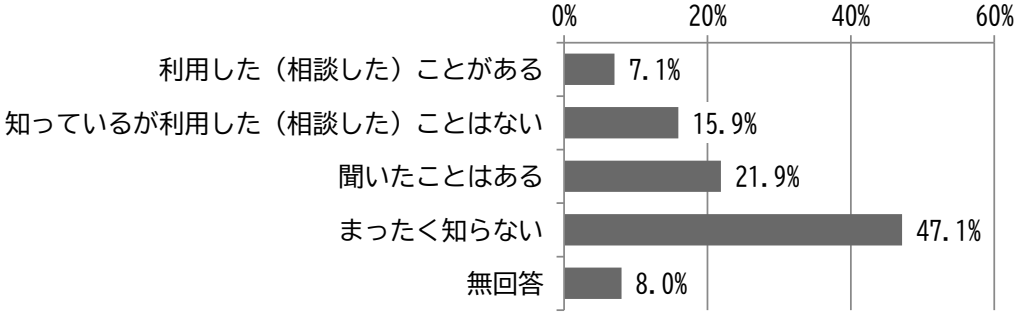


項目	度数	比率
生活機能低下の検査 （生活機能評価チェックリストなど）	396	31.4%
健康づくりのための事業	492	39.0%
転倒骨折予防 （転倒、骨折による寝たきり防止などの取り組み）	436	34.5%
筋力トレーニング （簡単な体操などを行い筋力やバランス能力の向上・改善を行う）	499	39.5%
栄養改善 （バランスのとれた食事摂取への取り組み）	390	30.9%
口腔機能の向上 （歯や口の中の清潔維持などへの取り組み）	264	20.9%
閉じこもり予防の支援 （地域の集会所等におけるサロン等の設置）	225	17.8%
認知症予防・支援 （認知症にならない、認知症を進行させないような取り組み）	561	44.5%
うつ予防・支援 （気づかれにくい・気づきにくい、心の健康の問題への取り組み）	185	14.7%
その他	29	2.3%
無回答	136	10.8%
回答者数	1,262	

（４）　市では介護予防や高齢者の生活全般の相談窓口として「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」を市内に６か所設置しています。あなたは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）をご存じですか。[１つに○]

高齢者相談センター（地域包括支援センター）を知っているかでは、「利用した（相談した）ことがある」「知っているが利用した（相談した）ことはない」「聞いたことはある」を合わせた『知っている』が 44.9%となっています。

一方、「まったく知らない」が 47.1%となっています。

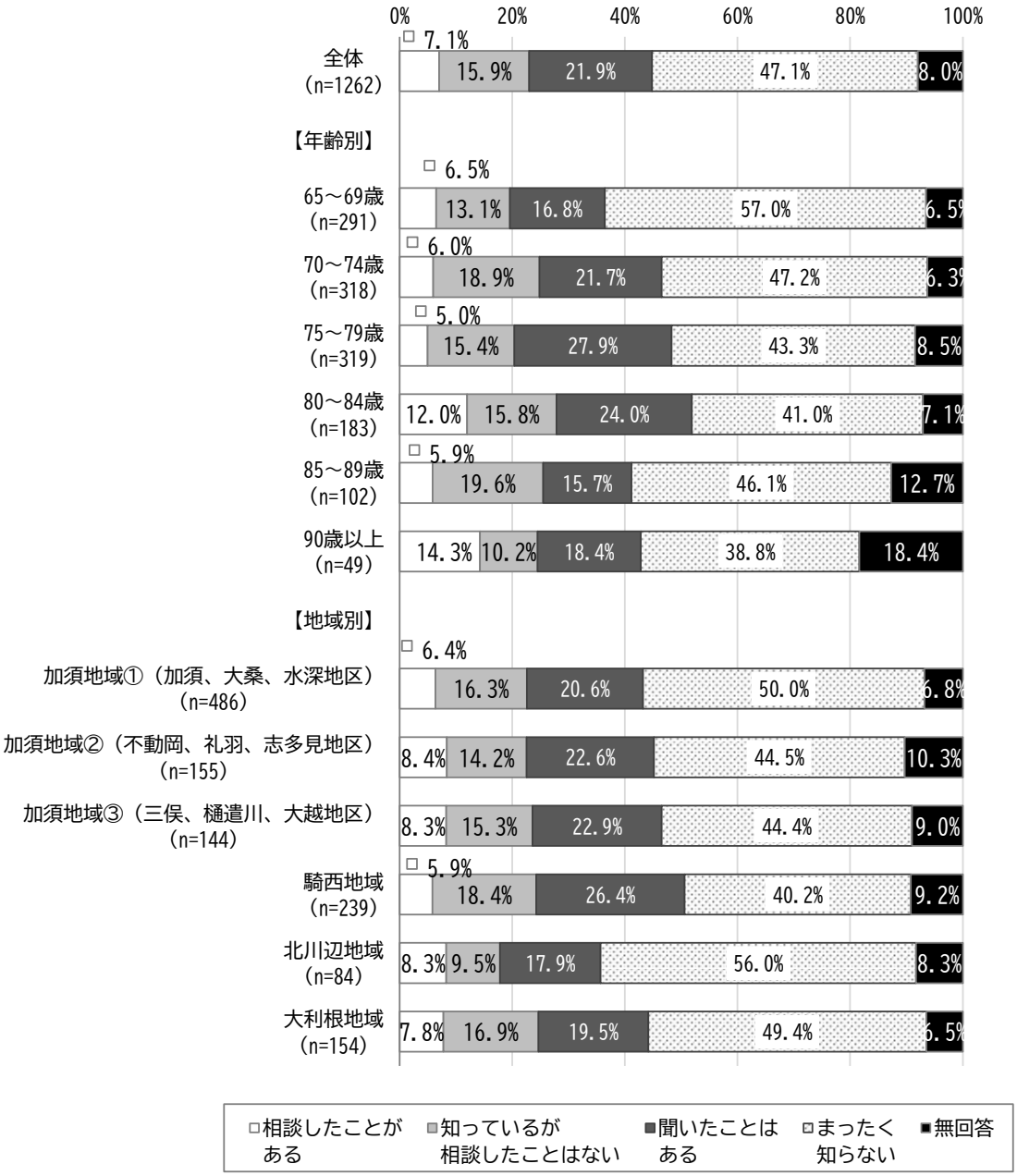


項目	度数	比率
利用した（相談した）ことがある	89	7.1%
知っているが利用した（相談した）ことはない	201	15.9%
聞いたことはある	276	21.9%
まったく知らない	595	47.1%
無回答	101	8.0%
合計	1,262	100.0%

【年齢・地域別クロス】

高齢者相談センターの認知度を年齢別でみると、「相談したことがある」「知っているが相談したことはない」を合わせると『80～84 歳』で割合が高くなっています。

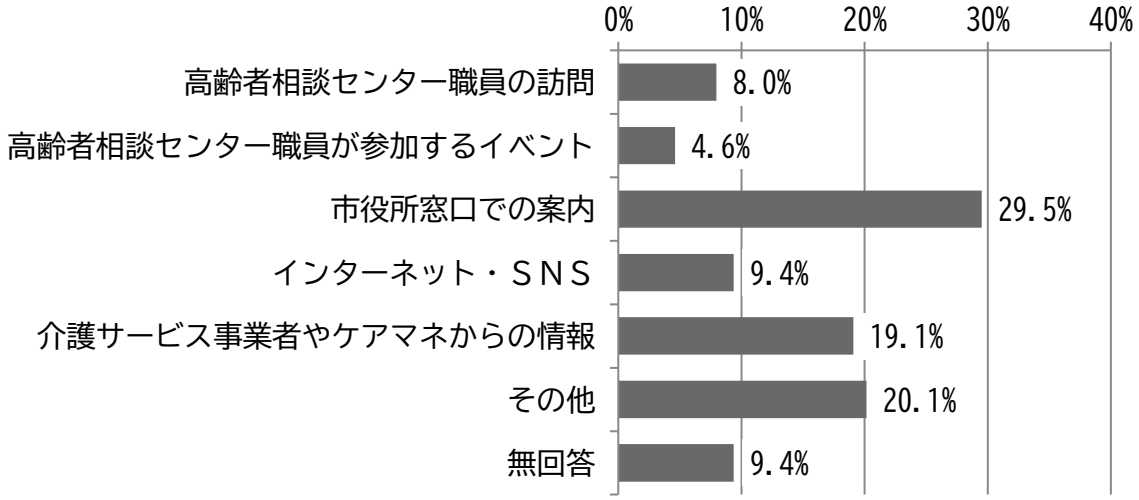
地域別でみると、『北川辺地域』で認知度が他の地域に比べ低くなっています。



【（４）で「利用した（相談した）ことがある」、「知っているが利用した（相談した）ことはない」、「聞いたことはある」のいずれかを選択した方のみ回答】

（４）①　高齢者相談センターをどのようにして知りましたか。[１つに○]

高齢者相談センターの認知経路については、「市役所窓口での案内」が 29.5%と最も多く、次いで、「介護サービス事業者・ケアマネジャーからの情報」が 19.1%となっています。



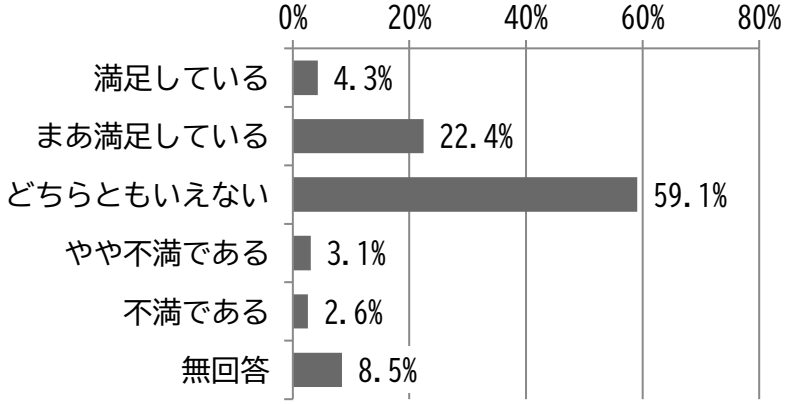
項目	度数	比率
高齢者相談センター職員の訪問	45	8.0%
高齢者相談センター職員が参加するイベント	26	4.6%
市役所窓口での案内	167	29.5%
インターネット・ＳＮＳ	53	9.4%
介護サービス事業者やケアマネからの情報	108	19.1%
その他	114	20.1%
無回答	53	9.4%
回答者数	566	100.0%

問 12　保健・福祉サービスなどについて

（１）　あなたは、加須市の保健・福祉サービス全般についてどのように感じますか。[１つに○]

加須市の保健・福祉サービス全般について感じることでは、「どちらともいえない」が 59.1%と多くなっていますが、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している』が 26.7%となっています。

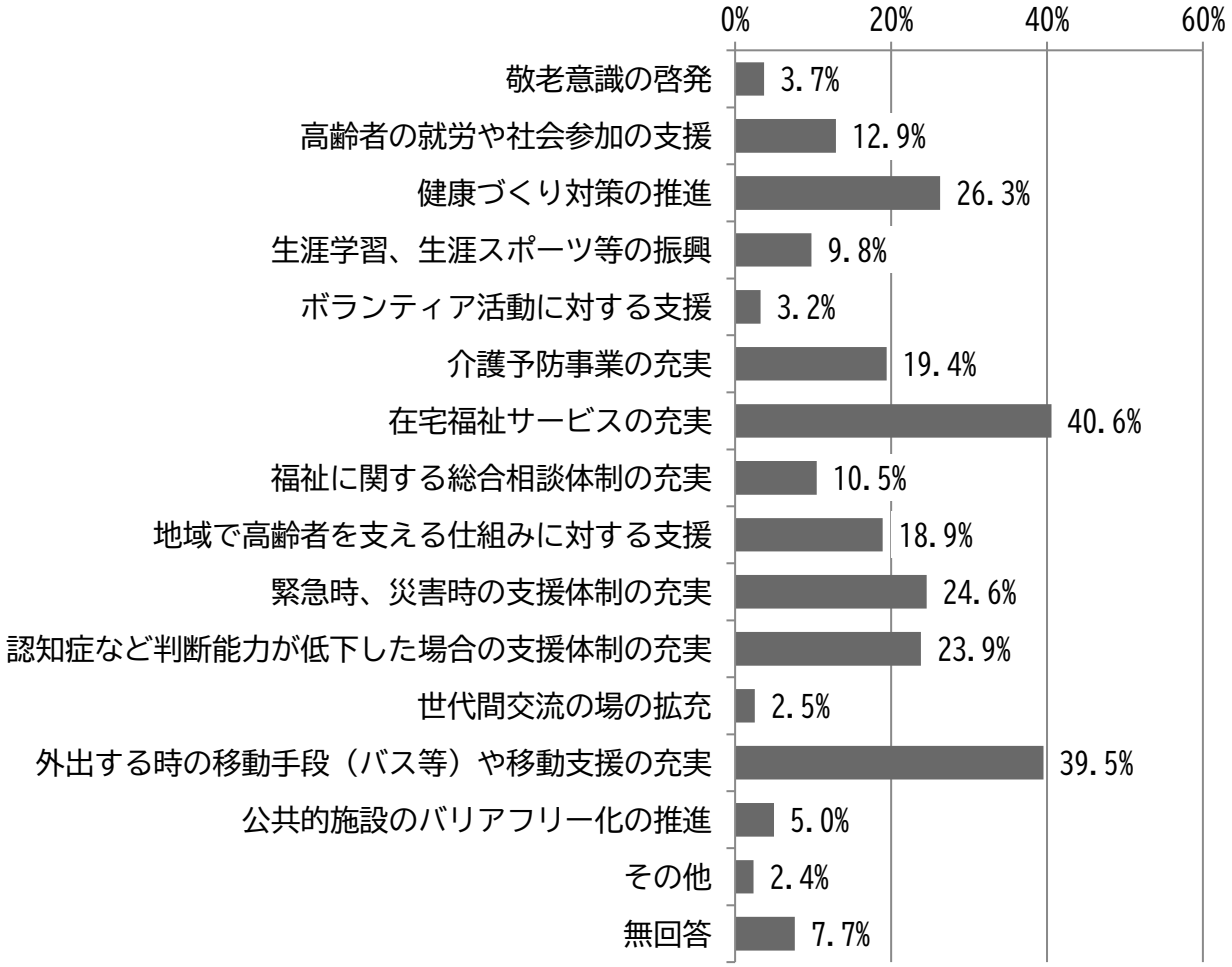
一方、「やや不満である」「不満である」を合わせた『不満である』が 5.7%となっています。



項目	度数	比率
満足している	54	4.3%
まあ満足している	283	22.4%
どちらともいえない	746	59.1%
やや不満である	39	3.1%
不満である	33	2.6%
無回答	107	8.5%
合計	1,262	100.0%

（２）　市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。[３つまで○]

市に高齢者施策として特に力を入れて欲しいことについては、「在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実」が 40.6%と最も多く、次いで、「外出する時の移動手段（バス等）や移動支援の充実」が 39.5%、「健康づくり対策の推進」が 26.3%となっています。



項目	度数	比率
敬老意識の啓発	47	3.7%
高齢者の就労や社会参加の支援	163	12.9%
健康づくり対策の推進	332	26.3%
生涯学習、生涯スポーツ等の振興	124	9.8%
ボランティア活動に対する支援	41	3.2%
介護予防事業（転倒予防、閉じこもり予防、脳の認知機能低下予防等）の充実	245	19.4%
在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実	512	40.6%
福祉に関する総合相談体制の充実	132	10.5%
地域で高齢者を支える仕組み（見守り活動等）に対する支援	239	18.9%
緊急時、災害時の支援体制の充実	310	24.6%
認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実	301	23.9%
世代間（高齢者と子ども等）交流の場の拡充	32	2.5%
外出する時の移動手段（バス等）や移動支援の充実	499	39.5%
公共的施設のバリアフリー化の推進	63	5.0%
その他	30	2.4%
無回答	97	7.7%
回答者数	1,262	

【性別・年齢・地域別クロス】

市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことを男女別でみると、『女性』で「外出する時の移動手段や移動支援の充実」の割合が高く、『男性』では「在宅福祉サービスの充実」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、『70 歳以上』の多くの年代で「在宅福祉サービスの充実」で割合が高く、『65～69 歳』では、「外出する時の移動手段や移動支援の充実」の割合が高くなっています。

※一部地域の省略

加須地域①（加須、大桑、水深地区）、加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）、加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

地域別でみると、『加須地域①』『加須地域②』『北川辺地域』では、「在宅福祉サービスの充実」の割合が高いですが、『加須地域③』『騎西地域』『大利根地域』では「外出する時の移動手段や移動支援の充実」の割合が最も高くなっています。

上段：度数　下段比率

項目	敬老意識の啓発	高齢者の就労や社会参加の支援	健康づくり対策の推進	生涯学習、生涯スポーツ等の振興	ボランティア活動に対する支援	介護予防事業の充実	在宅福祉サービスの充実	福祉に関する総合相談体制の充実	地域で高齢者を支える仕組みに対する支援	緊急時、災害時の支援体制の充実	認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実	世代間交流の場の拡充	外出する時の移動手段や移動支援の充実	公共的施設のバリアフリー化の推進	その他	無回答	合計
全体	47	163	332	124	41	245	512	132	239	310	301	32	499	63	30	97	1,262
【性別】																	
男性	38	112	237	91	27	141	328	81	133	209	192	21	288	37	22	52	806
女性	9	51	95	33	14	104	184	51	106	101	109	11	211	26	8	45	456
【年齢別】																	
65～69歳	8	58	83	39	11	53	99	40	46	90	77	8	118	22	8	7	291
70～74歳	10	52	81	37	16	57	128	28	63	71	84	7	121	16	7	19	318
75～79歳	18	41	91	28	6	60	143	34	61	83	81	7	129	12	7	26	319
80～84歳	8	10	46	18	5	45	71	19	33	36	38	8	70	5	6	24	183
85～89歳	2	1	25	2	1	24	50	10	21	17	14	2	41	5	2	13	102
90歳以上	1	1	6	0	2	6	21	1	15	13	7	0	20	3	0	8	49
【地域別】																	
加須地域①	16	60	134	47	10	91	207	50	101	119	115	15	178	27	12	39	486
加須地域②	5	14	40	11	7	40	63	17	31	35	40	3	60	7	5	12	155
加須地域③	3	18	34	8	9	30	55	12	33	31	36	5	56	7	2	8	144
騎西地域	13	51	59	31	8	47	82	23	40	56	58	6	99	9	2	22	239
北川辺地域	3	10	23	10	1	9	36	11	18	28	17	0	30	3	4	6	84
大利根地域	7	10	42	17	6	28	69	19	16	41	35	3	76	10	5	10	154
全体	3.7%	12.9%	26.3%	9.8%	3.2%	19.4%	***40.6%***	10.5%	18.9%	24.6%	23.9%	2.5%	39.5%	5.0%	2.4%	7.7%	
【性別】																	
男性	4.7%	13.9%	29.4%	11.3%	3.3%	17.5%	***40.7%***	10.0%	16.5%	25.9%	23.8%	2.6%	35.7%	4.6%	2.7%	6.5%	
女性	2.0%	11.2%	20.8%	7.2%	3.1%	22.8%	40.4%	11.2%	23.2%	22.1%	23.9%	2.4%	***46.3%***	5.7%	1.8%	9.9%	
【年齢別】																	
65～69歳	2.7%	19.9%	28.5%	13.4%	3.8%	18.2%	34.0%	13.7%	15.8%	30.9%	26.5%	2.7%	***40.5%***	7.6%	2.7%	2.4%	
70～74歳	3.1%	16.4%	25.5%	11.6%	5.0%	17.9%	***40.3%***	8.8%	19.8%	22.3%	26.4%	2.2%	38.1%	5.0%	2.2%	6.0%	
75～79歳	5.6%	12.9%	28.5%	8.8%	1.9%	18.8%	***44.8%***	10.7%	19.1%	26.0%	25.4%	2.2%	40.4%	3.8%	2.2%	8.2%	
80～84歳	4.4%	5.5%	25.1%	9.8%	2.7%	24.6%	***38.8%***	10.4%	18.0%	19.7%	20.8%	4.4%	38.3%	2.7%	3.3%	13.1%	
85～89歳	2.0%	1.0%	24.5%	2.0%	1.0%	23.5%	***49.0%***	9.8%	20.6%	16.7%	13.7%	2.0%	40.2%	4.9%	2.0%	12.7%	
90歳以上	2.0%	2.0%	12.2%	0.0%	4.1%	12.2%	***42.9%***	2.0%	30.6%	26.5%	14.3%	0.0%	40.8%	6.1%	0.0%	16.3%	
【地域別】																	
加須地域①	3.3%	12.3%	27.6%	9.7%	2.1%	18.7%	***42.6%***	10.3%	20.8%	24.5%	23.7%	3.1%	36.6%	5.6%	2.5%	8.0%	
加須地域②	3.2%	9.0%	25.8%	7.1%	4.5%	25.8%	***40.6%***	11.0%	20.0%	22.6%	25.8%	1.9%	38.7%	4.5%	3.2%	7.7%	
加須地域③	2.1%	12.5%	23.6%	5.6%	6.3%	20.8%	38.2%	8.3%	22.9%	21.5%	25.0%	3.5%	***38.9%***	4.9%	1.4%	5.6%	
騎西地域	5.4%	21.3%	24.7%	13.0%	3.3%	19.7%	34.3%	9.6%	16.7%	23.4%	24.3%	2.5%	***41.4%***	3.8%	0.8%	9.2%	
北川辺地域	3.6%	11.9%	27.4%	11.9%	1.2%	10.7%	***42.9%***	13.1%	21.4%	33.3%	20.2%	0.0%	35.7%	3.6%	4.8%	7.1%	
大利根地域	4.5%	6.5%	27.3%	11.0%	3.9%	18.2%	44.8%	12.3%	10.4%	26.6%	22.7%	1.9%	***49.4%***	6.5%	3.2%	6.5%	

※項目(　)内を省略して表記

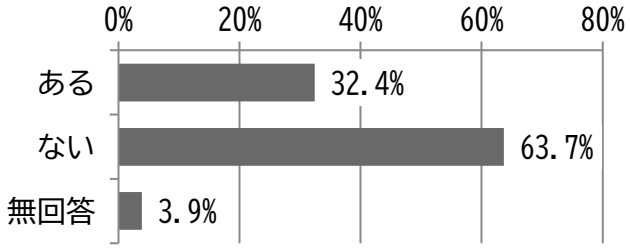
※色の説明　***斜体*** 上位1位　数字 上位2位

※一部地域の省略

加須地域①（加須、大桑、水深地区）、加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）、加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（３）　人生の最終段階における医療や介護などについて、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。[１つに○]

人生の最終段階における医療や介護などについての希望を身近な人と話し合ったことがあるかについては、「ある」が 32.4%、「ない」が 63.7%となっています。

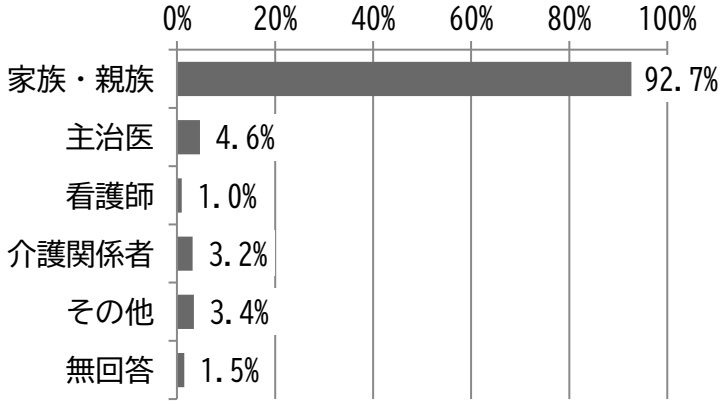


項目	度数	比率
ある	409	32.4%
ない	804	63.7%
無回答	49	3.9%
合計	1,262	100.0%

【（３）で「ある」を選択した方のみ回答】

（３）①　誰と話し合いましたか。[あてはまるものすべてに○]

人生の最終段階における医療や介護などについて話し合った相手では、「家族・親族」が 92.7%と最も多く、次いで、「主治医」が 4.6%となっています。

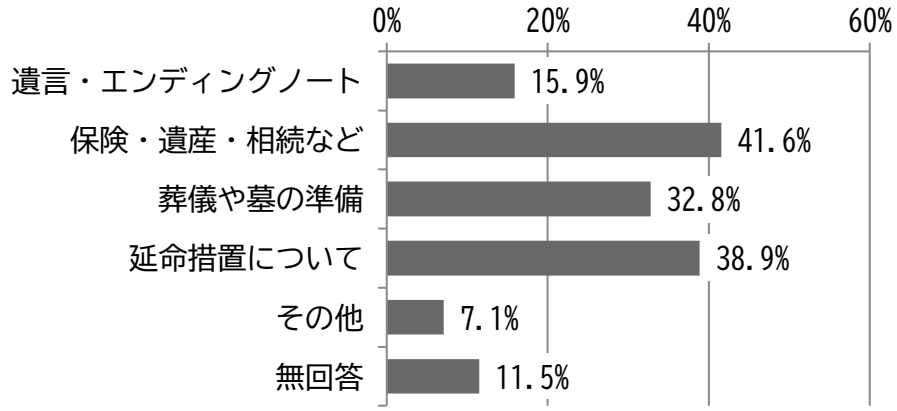


項目	度数	比率
家族・親族	379	92.7%
主治医	19	4.6%
看護師	4	1.0%
介護関係者	13	3.2%
その他	14	3.4%
無回答	6	1.5%
回答者数	409	

【(3）で「ある」を選択した方のみ回答】

（3）②　話し合った結果、具体的な準備に取りかかったものはありますか。[あてはまるものすべてに○]

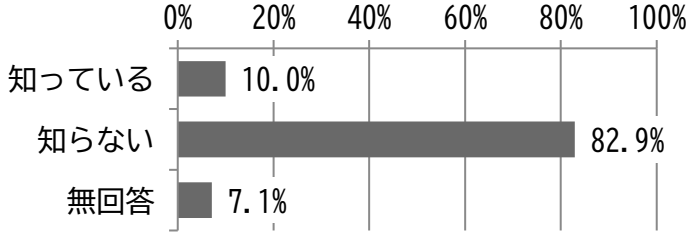
話し合った結果、準備に取りかかったものでは「保険・遺産・相続など」が 41.6%と最も多く、次いで、「延命措置について」が 38.9%、「葬儀や墓の準備」が 32.8%となっています。



項目	度数	比率
遺言・エンディングノート	65	15.9%
保険・遺産・相続など	170	41.6%
葬儀や墓の準備	134	32.8%
延命措置について	159	38.9%
その他	29	7.1%
無回答	47	11.5%
回答者数	409	

（4）　あなたは、終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業を知っていますか。[1つに○]

終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業の認知度については、「知っている」が 10.0%、「知らない」が 82.9%となっています。



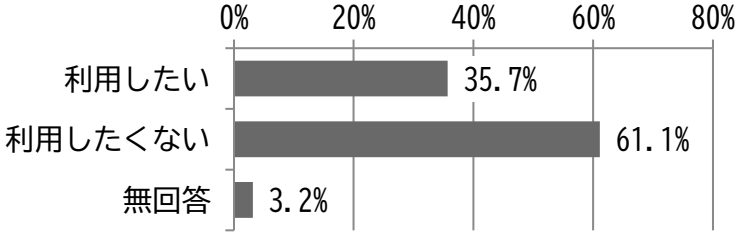
項目	度数	比率
知っている	126	10.0%
知らない	1,046	82.9%
無回答	90	7.1%
合計	1,262	100.0%

※「エンディングプラン・サポート事業」とは、頼れる身寄りがなく、自身の葬儀や納骨などに不安のある高齢者に対し、安心してこれらの生前契約を締結できるようにお手伝いするとともに、定期的な安否確認を行う事業です。

【（４）で「知っている」を選択した方のみ回答】

（４）①　あなたは、今後、エンディングプラン・サポート事業を利用したいですか。[１つに○]

今後、エンディングプラン・サポート事業を利用したいと思うかでは、「利用したくない」が 61.1%、「利用したい」が 35.7%となっています。

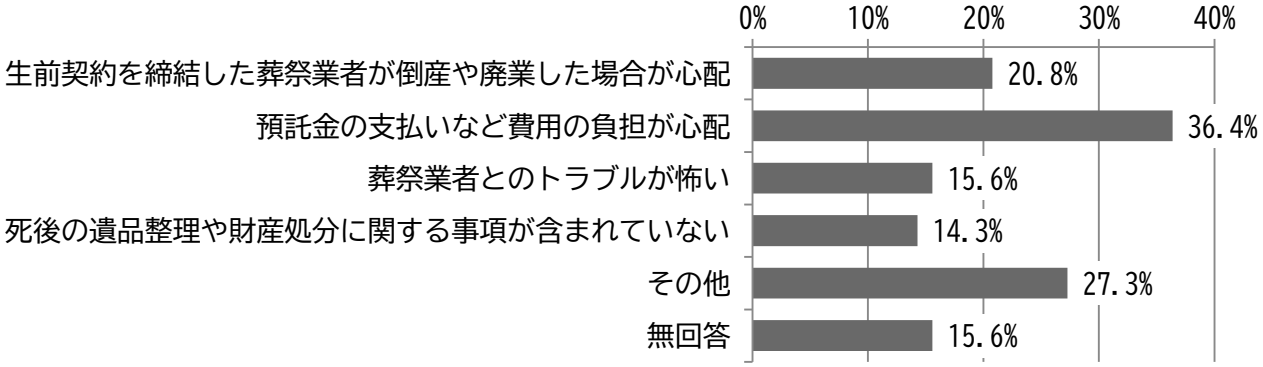


項目	度数	比率
利用したい	45	35.7%
利用したくない	77	61.1%
無回答	4	3.2%
回答者数	126	100.0%

【（４）①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

（４）②　エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

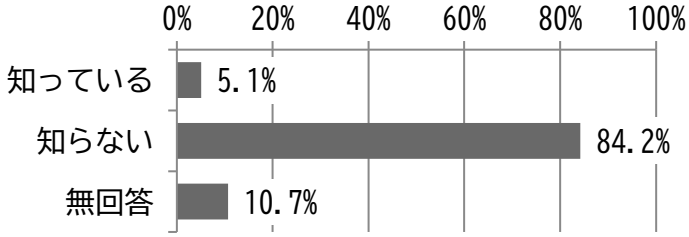
エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由については、「預託金の支払いなど費用の負担が心配」が 36.4%と最も多く、次いで、「生前契約を締結した葬祭業者が倒産や廃業した場合が心配」が 20.8%となっています。



項目	度数	比率
生前契約を締結した葬祭業者が倒産や廃業した場合が心配	16	20.8%
預託金の支払いなど費用の負担が心配	28	36.4%
葬祭業者とのトラブルが怖い	12	15.6%
死後の遺品整理や財産処分に関する事項が含まれていない	11	14.3%
その他	21	27.3%
無回答	12	15.6%
回答者数	77	

（５）　あなたは、終活支援のひとつである終活情報登録支援事業を知っていますか。[１つに○]

終活支援のひとつである終活情報登録支援事業の認知度については、「知っている」が 5.1%、「知らない」が 84.2%となっています。



項目	度数	比率
知っている	64	5.1%
知らない	1,063	84.2%
無回答	135	10.7%
合計	1,262	100.0%

※「終活情報登録支援事業」とは、自身が意思表示できなくなったときや亡くなったときに備え、緊急連絡先、かかりつけ医、資産に関することなどについて、あらかじめ市へ登録しておき、もしものときには、警察、消防、医療機関、福祉事務所及び緊急連絡先等からの照会に対し、ご本人に代わり市から速やかに回答できる体制を整備するための事業です。

【（５）で「知っている」を選択した方のみ回答】

（５）①　あなたは、終活情報登録支援事業を利用したいですか。[１つに○]

終活情報登録支援事業を利用したいと思うかでは、「利用したい」が 64 件中 22 件、「利用したくない」が 40 件となっています。

項目	度数	比率
利用したい	22	34.4%
利用したくない	40	62.5%
無回答	2	3.1%
合計	64	100.0%

【（５）①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

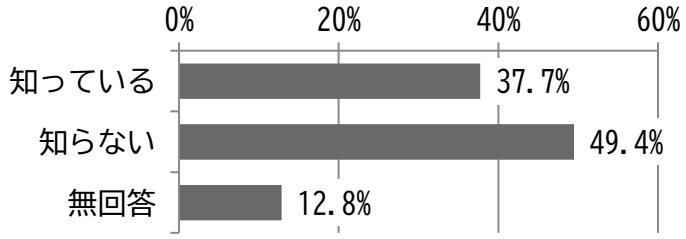
（５）②　終活情報登録支援事業を利用したくないと考える理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

終活情報登録支援事業を利用したくないと考える理由については、「家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない」が 40 件中 30 件、「今はまだ元気なので、将来のことは心配していない」が 11 件、「他人に財産状況や生活状況を知られたくない」が８件となっています。

項目	度数	比率
個人情報の流出が心配	7	17.5%
他人に財産状況や生活状況を知られたくない	8	20.0%
家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない	30	75.0%
今はまだ元気なので、将来のことは心配していない	11	27.5%
その他	1	2.5%
無回答	3	7.5%
回答者数	40	

（６）　あなたは、成年後見制度を知っていますか。[１つに○]

成年後見制度の認知度については、「知っている」が 37.7%、「知らない」が 49.4%となっています。

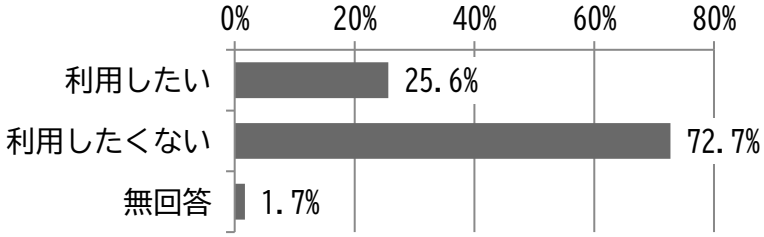


項目	度数	比率
知っている	476	37.7%
知らない	624	49.4%
無回答	162	12.8%
合計	1,262	100.0%

【（６）で「知っている」を選択した方のみ回答】

（６）①　今後、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか。[１つに○]

今後、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいと思うかでは、「利用したい」が 25.6%、「利用したくない」が 72.7%となっています。

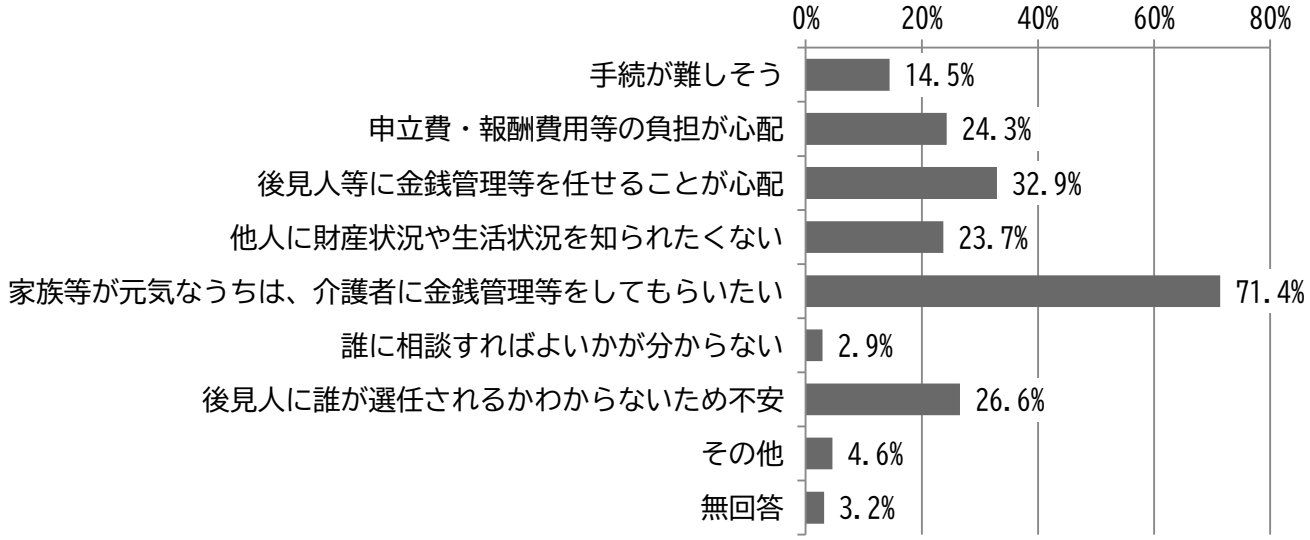


項目	度数	比率
利用したい	122	25.6%
利用したくない	346	72.7%
無回答	8	1.7%
回答者数	476	100.0%

（６）①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

（６）②　成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

成年後見制度を利用したくないと考える理由については、「家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい」が 71.4%と最も多く、次いで、「後見人等に金銭管理等を任せることが心配」が 32.9%、「後見人に誰が選任されるかわからないため不安」が 26.6%となっています。

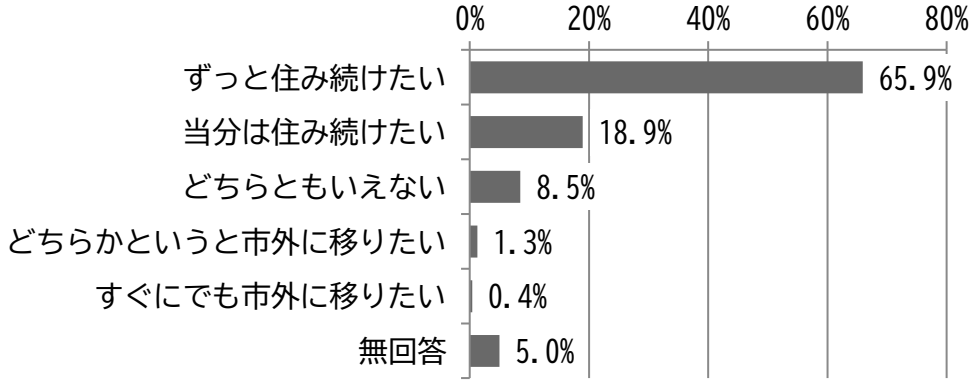


項目	度数	比率
手続が難しそう	50	14.5%
申立費・報酬費用等の負担が心配	84	24.3%
後見人等に金銭管理等を任せることが心配	114	32.9%
他人に財産状況や生活状況を知られたくない	82	23.7%
家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい	247	71.4%
誰に相談すればよいかが分からない	10	2.9%
後見人に誰が選任されるかわからないため不安	92	26.6%
その他	16	4.6%
無回答	11	3.2%
回答者数	346	

問 13 加須市への定住意向について

（１）あなたは、これからも加須市に住み続けたいと思いますか。[１つに○]

加須市に住み続けたいと思うかでは、「ずっと住み続けたい」が 65.9%と最も多く、次いで、「当分は住み続けたい」が 18.9%となっています。



項目	度数	比率
ずっと住み続けたい	832	65.9%
当分は住み続けたい	239	18.9%
どちらともいえない	107	8.5%
どちらかというと市外に移りたい	16	1.3%
すぐにでも市外に移りたい	5	0.4%
無回答	63	5.0%
合計	1,262	100.0%

１）機能別リスク該当者割合の分析

（１）運動器機能

【判定基準：以下の５項目のうち３項目以上に該当する人を運動器機能低下のリスク該当者と判定】

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問２(１)	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。	３．できない
問２(２)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	３．できない
問２(３)	15 分位続けて歩いていますか。	３．できない
問２(４)	過去１年間に転んだ経験がありますか。	１．何度もある ２．１度ある
問２(５)	転倒に対する不安は大きいですか。	１．とても不安である ２．やや不安である

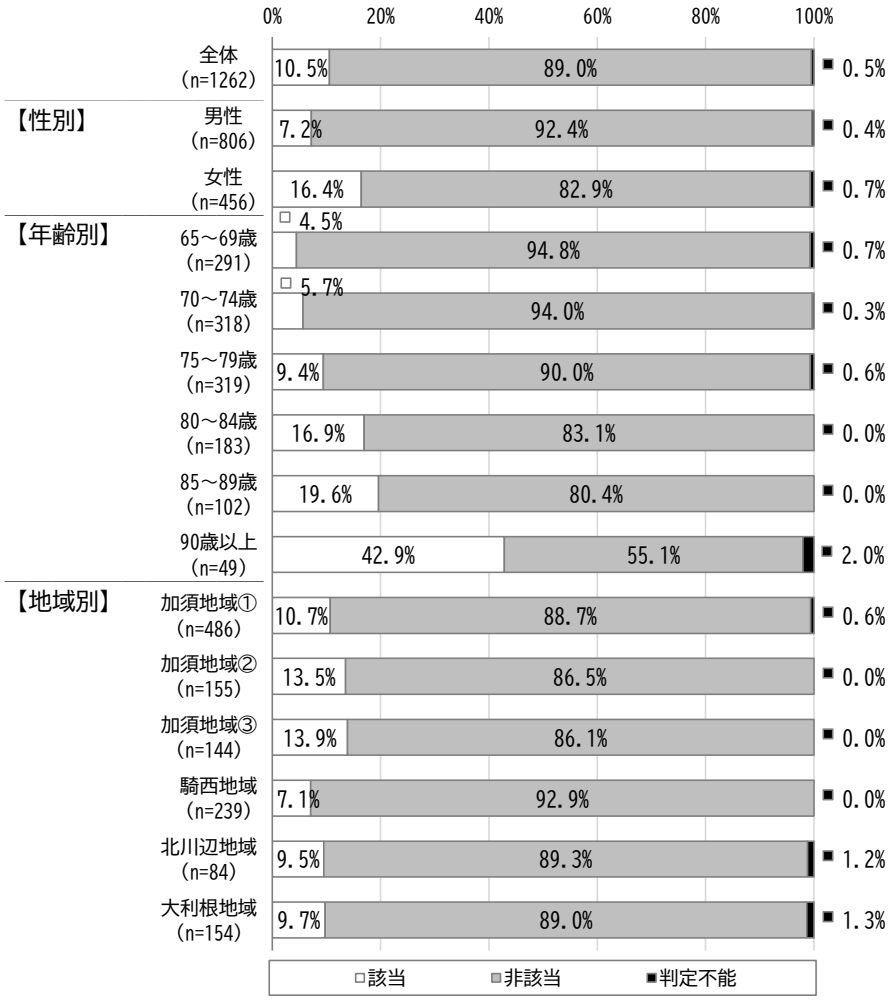
【リスク該当状況】

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（以下「国の手引き」）に基づく運動器機能の評価結果をみると、全体の 10.5%の方が運動器機能低下のリスク該当者となっています。

性別では、「女性（16.4%）」が「男性（7.2%）」を 9.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて該当者の割合が増加する傾向があり、「90 歳以上」では該当者が４割を超えています。

地域別でみると、該当者の割合が高いのが、「加須地域③」で 13.9%、次いで、「加須地域②」で 13.5%、「加須地域①」が 10.7%と１割を超えています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（2）栄養状態

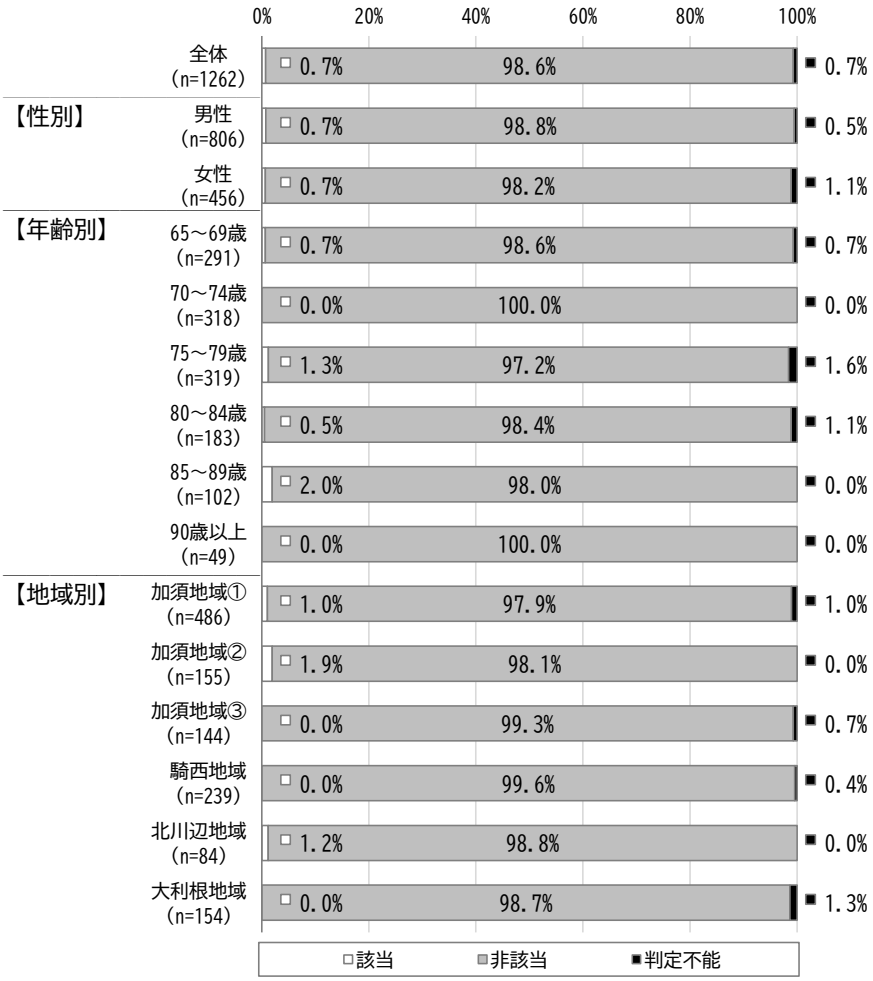
【判定基準：以下の２項目のいずれにも該当する人を低栄養のリスク該当者と判定】

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問３(１)	身長・体重を伺います。	ＢＭＩ18.5 未満
問３(７)	６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか。	１．はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく低栄養の評価結果をみると、全体の 0.7%の方が低栄養のリスク該当者となっており、ほどんどの方が非該当者となっています。

性別、年齢別、地域別と該当者が少ないため、大きな差はありませんでした。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（3）口腔機能

【判定基準：以下の３項目のうち２項目以上に該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定】

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問3（2）	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	１．はい
問3（3）	お茶や汁物等でむせることがありますか。	１．はい
問3（4）	口の渇きが気になりますか。	１．はい

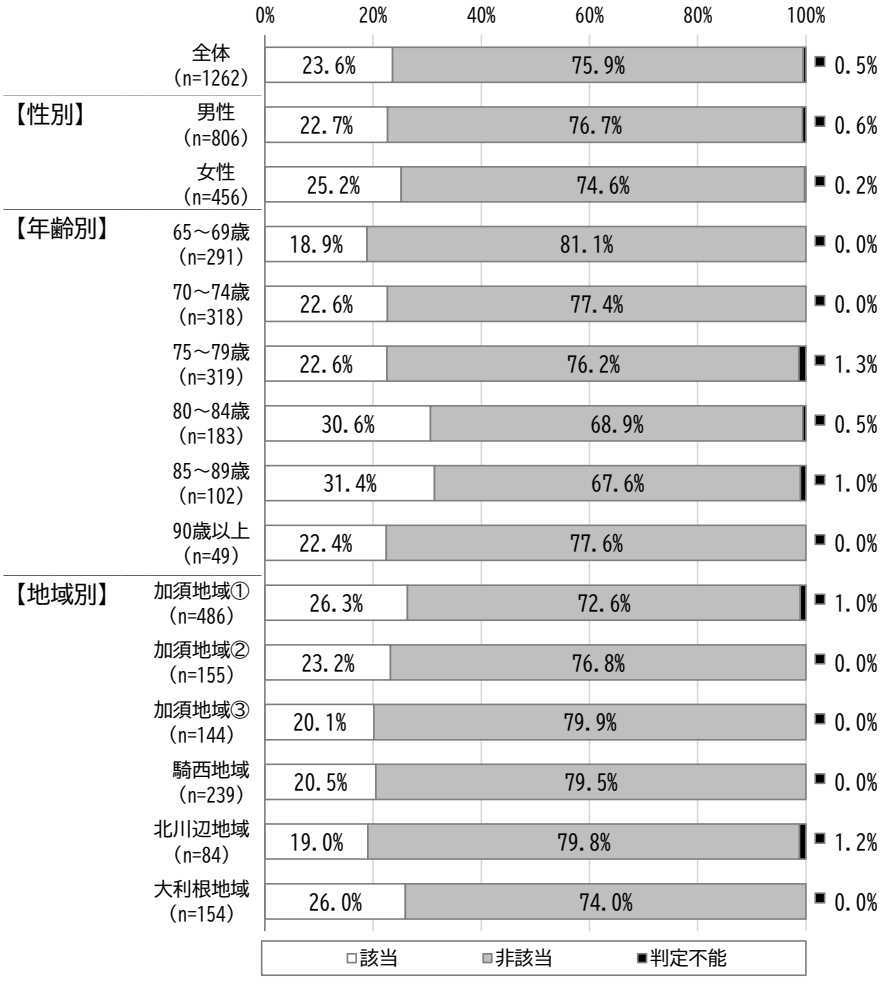
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔機能の評価結果をみると、全体の 23.6%の方が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別では、「女性（25.2%）」が「男性（22.7%）」を 2.5 ポイント上回っています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて該当者の割合が増加する傾向があり、「80～84 歳」、「85～89 歳」では該当者が３割を超えています。

地域別でみると、該当者の割合が高いのが、「加須地域①」で 26.3%、次いで、「大利根地域」が 26.0%となっています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（4）閉じこもり

【判定基準：以下の項目に該当する人を閉じこもりリスク該当者と判定】

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問2（6）	週に１回以上は外出していますか。	１．ほとんど外出しない ２．週１回

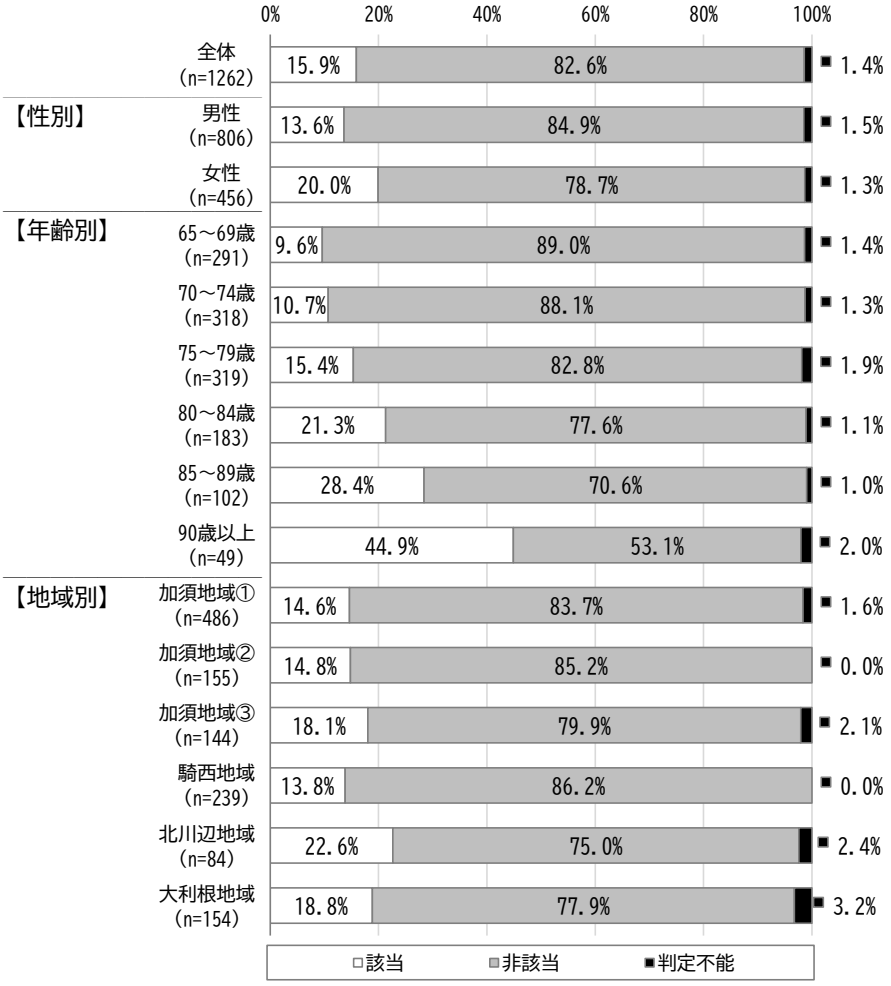
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体の 15.9%の方が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別では、「女性（20.0%）」が「男性（13.6%）」を 6.4 ポイント上回っています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて該当者の割合が増加する傾向があり、「90 歳以上」では該当者が４割を超えています。

地域別でみると、該当者の割合が高いのが、「北川辺地域」で 22.6%、次いで、「大利根地域」が 18.8%となっています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（５）認知機能

【判定基準：以下の項目に該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定】

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問４（１）	物忘れが多いと感じますか。	１．はい

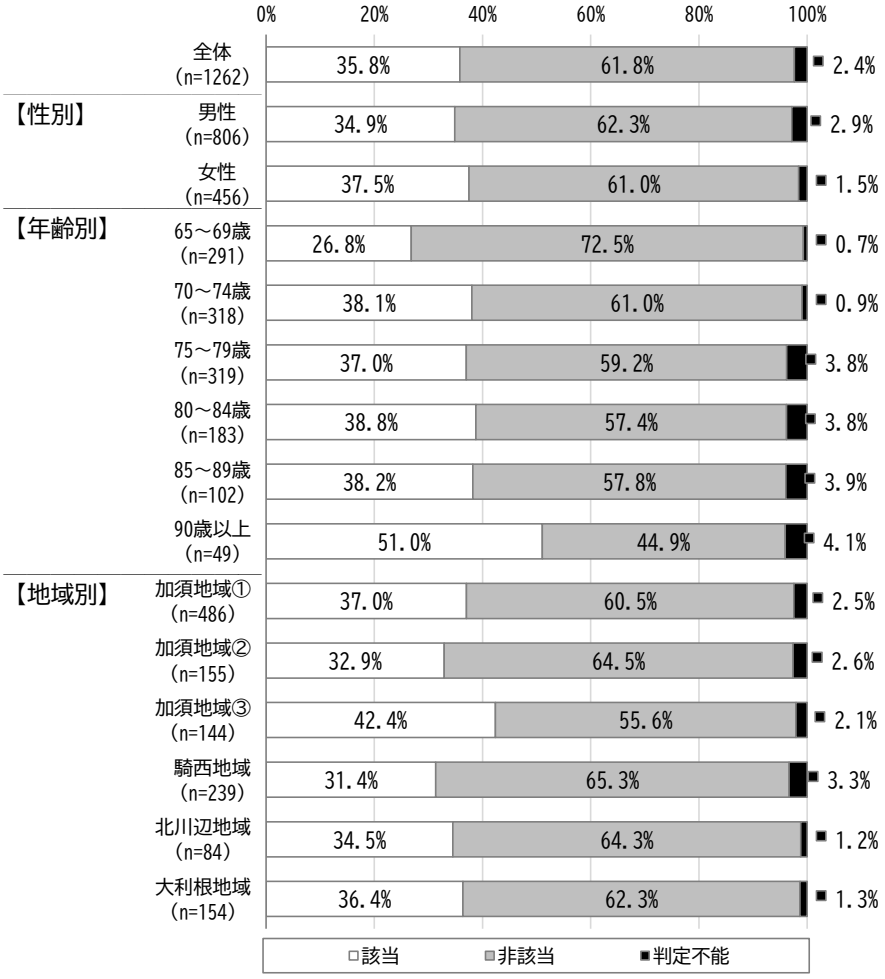
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知機能の評価結果をみると、全体の 35.8%の方が認知機能低下のリスク該当者となっています。

性別では、「女性（37.5%）」が「男性（34.9%）」を 2.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「90 歳以上」では該当者が５割を超えていますが、「70～74 歳」「75～79 歳」「80～84 歳」「85～89 歳」では該当者の割合は約４割で横ばいとなっています。

地域別でみると、該当者の割合が高いのが、「加須地域③」で 42.4%、次いで、「加須地域①」が 37.0%となっています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（6）うつ傾向

【判定基準：以下の２項目のうち１項目以上に該当する人をうつ傾向のリスク該当者と判定】

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問8（3）	この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	１．はい
問8（4）	この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	１．はい

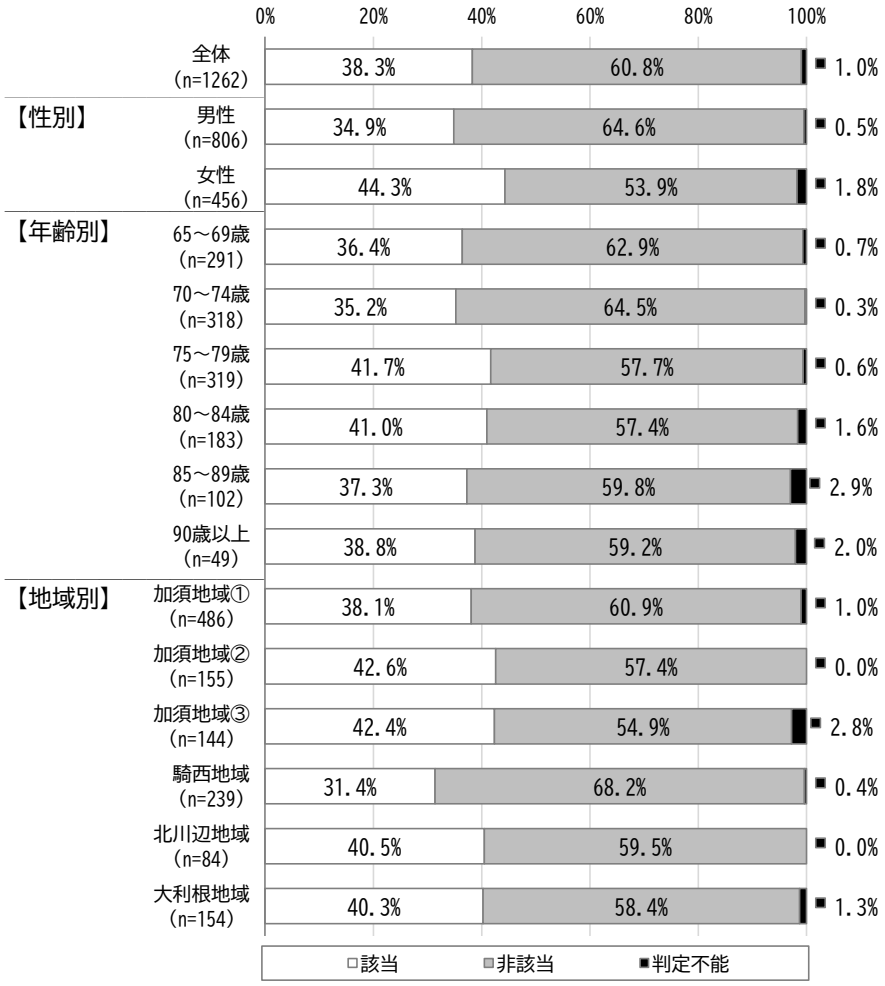
【リスク該当状況】

国の手引きに基づくうつ傾向の評価結果をみると、全体の 38.3%の方がうつ傾向のリスク該当者となっています。

性別では、「女性（44.3%）」が「男性（34.9%）」を 9.4 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「75～79 歳」「80～84 歳」では該当者が４割を超えています。

地域別でみると、該当者の割合が高いのが、「加須地域②」で 42.6%、次いで、「加須地域③」が 42.4%となっています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

介護予防のための生活機能判定のまとめ

介護予防のための生活機能判定結果について、各機能のリスク該当者の割合をみると、全体では、「⑥うつ傾向」が 38.3%で最も高く、次いで、「⑤認知機能」が 35.8%となっています。

性別では、差のなかった「②栄養状態」を除く５つの項目において、男性に比べ女性の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「①運動器機能」「④閉じこもり」「⑤認知機能」の項目において、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があります。

地域別でみると、「加須地域②」で「②栄養状態」「⑥うつ傾向」の割合が高い傾向があります。

○各機能のリスク該当者の割合

項目	① 運動器機能	② 栄養状態	③ 口腔機能	④ 閉じこもり	⑤ 認知機能	⑥ うつ傾向
全体(n=1262)	10.5%	0.7%	23.6%	15.9%	35.8%	38.3%
【性別】						
男性(n=806)	7.2%	0.7%	22.7%	13.6%	34.9%	34.9%
女性(n=456)	***16.4%***	0.7%	***25.2%***	***20.0%***	***37.5%***	***44.3%***
【年齢別】						
65～69歳(n=291)	4.5%	0.7%	18.9%	9.6%	26.8%	36.4%
70～74歳(n=318)	5.7%	0.0%	22.6%	10.7%	38.1%	35.2%
75～79歳(n=319)	9.4%	1.3%	22.6%	15.4%	37.0%	***41.7%***
80～84歳(n=183)	16.9%	0.5%	30.6%	21.3%	38.8%	41.0%
85～89歳(n=102)	19.6%	***2.0%***	***31.4%***	28.4%	38.2%	37.3%
90歳以上(n=49)	***42.9%***	0.0%	22.4%	***44.9%***	***51.0%***	38.8%
【地域別】						
加須地域①(n=486)	10.7%	1.0%	***26.3%***	14.6%	37.0%	38.1%
加須地域②(n=155)	13.5%	***1.9%***	23.2%	14.8%	32.9%	***42.6%***
加須地域③(n=144)	***13.9%***	0.0%	20.1%	18.1%	***42.4%***	42.4%
騎西地域(n=239)	7.1%	0.0%	20.5%	13.8%	31.4%	31.4%
北川辺地域(n=84)	9.5%	1.2%	19.0%	***22.6%***	34.5%	40.5%
大利根地域(n=154)	9.7%	0.0%	26.0%	18.8%	36.4%	40.3%

※多い項目が「*斜体*」

※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

２）その他の生活機能判定結果

（１）転倒リスク

【判定基準：以下の項目に該当する人を転倒のリスク該当者と判定】

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問２（４）	過去１年間に転んだ経験がありますか。	１．何度もある ２．１度ある

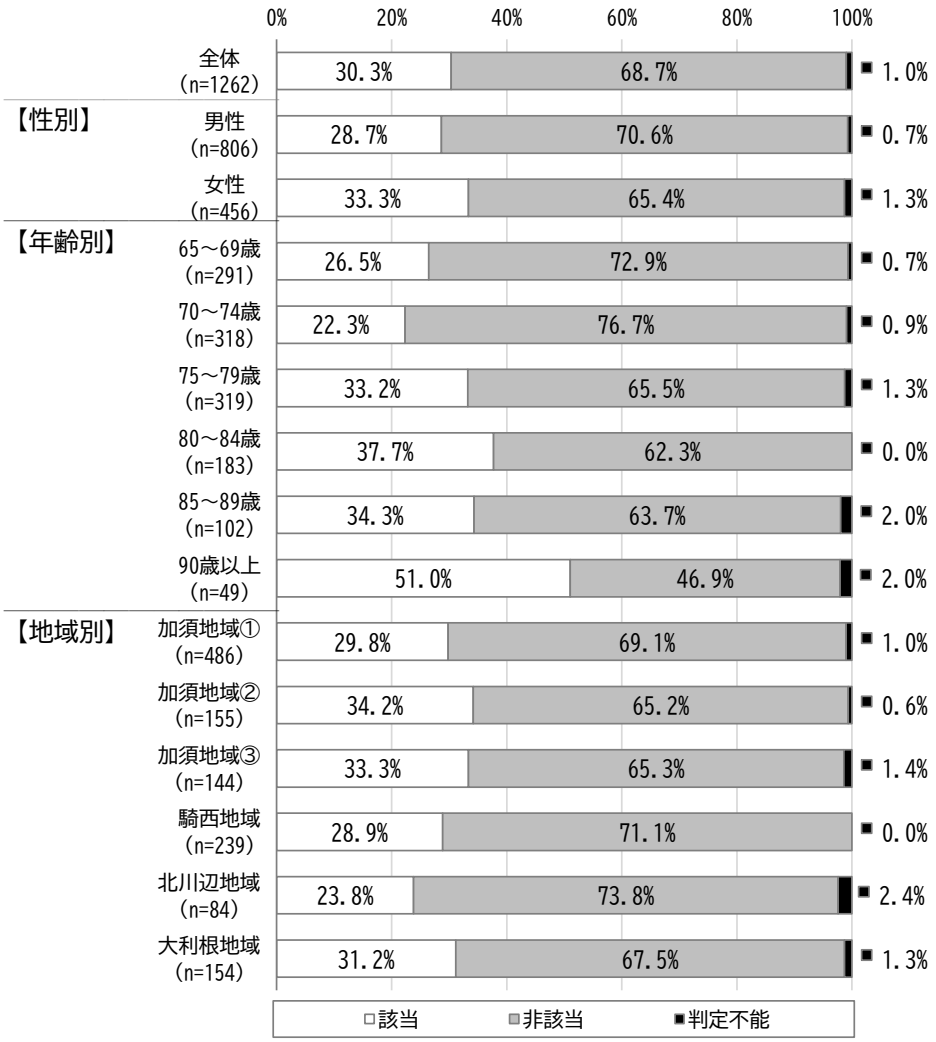
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒リスクの評価結果をみると、全体の 30.3%の方が転倒のリスク該当者となっています。

性別では、「女性（33.3%）」が「男性（28.7%）」を 4.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて該当者の割合が増加する傾向があり、「90 歳以上」では該当者が５割を超えています。

地域別でみると、該当者の割合が高いのが、「加須地域②」で 34.2%、次いで、「加須地域③」が 33.3%となっています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（2）手段的自立度（ＩＡＤＬ）

※ＩＡＤＬとは、日常生活の基本動作（排泄、食事、就寝等）よりも、より頭を使って判断することが求められる動作（買い物、料理、掃除等）をいいます。

【判定基準：以下の設問において「1」又は「2」を回答した場合を１点として５点満点で評価】

※3点以下を手段的自立度（ＩＡＤＬ）低下のリスク該当者と評価（老研式活動能力指標）

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問4（4）	バスや電車を使って１人で外出していますか。	1．できるし、している　：1点 2．できるけどしていない：1点
問4（5）	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1．できるし、している　：1点 2．できるけどしていない：1点
問4（6）	自分で食事の用意をしていますか。	1．できるし、している　：1点 2．できるけどしていない：1点
問4（7）	自分で請求書の支払いをしていますか。	1．できるし、している　：1点 2．できるけどしていない：1点
問4（8）	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1．できるし、している　：1点 2．できるけどしていない：1点

※5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価

※老研式活動能力指標とは、手段的自立度（IADL）、知的能動性、社会的役割の３つの側面で構成された高次の生活機能評価指標をいいます。

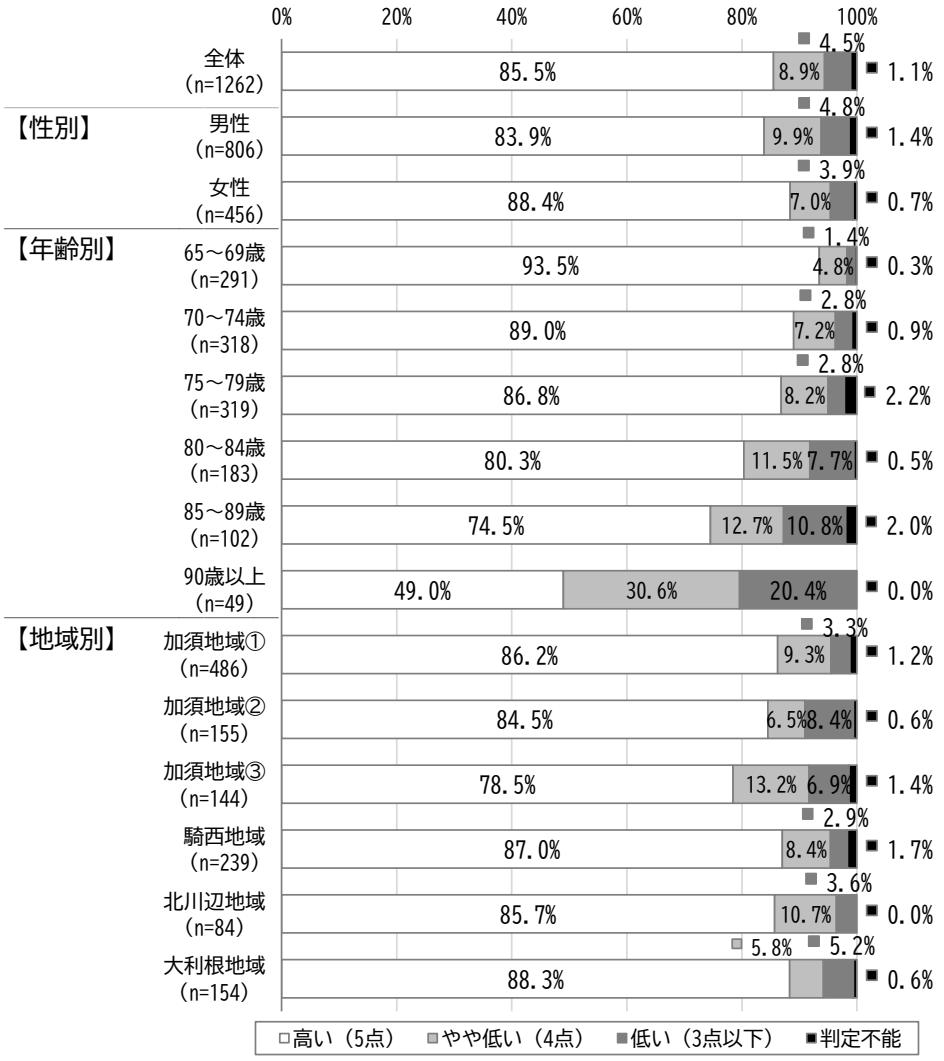
【リスク該当状況】

老研式活動能力指標に基づく手段的自立度（ＩＡＤＬ）低下のリスク該当者のうち、評価結果が「低い（３点以下)」に該当した方の割合は、全体の 4.5%となっています。

性別では、「男性（4.8%)」が「女性（3.9%)」でほぼ同様の傾向となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「低い」の割合が増加する傾向があり、「90 歳以上」では該当者が２割を超えています。

地域別でみると、「低い」の割合が高いのが、「加須地域②」で 8.4%、次いで、「加須地域③」が 6.9%となっています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（３）知的能動性

※知的能動性とは、新聞、本や雑誌などを読むような、情報を自ら収集して表現する能力をいいます。

【判定基準：各設問に「はい」と回答した場合を１点として、４点満点で評価】

※２点以下を知的能動性低下のリスク該当者と評価　（老研式活動能力指標）

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問４（９）	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	１．はい：１点
問４(10)	新聞を読んでいますか。	１．はい：１点
問４(11)	本や雑誌を読んでいますか。	１．はい：１点
問４(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか。	１．はい：１点

※４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価

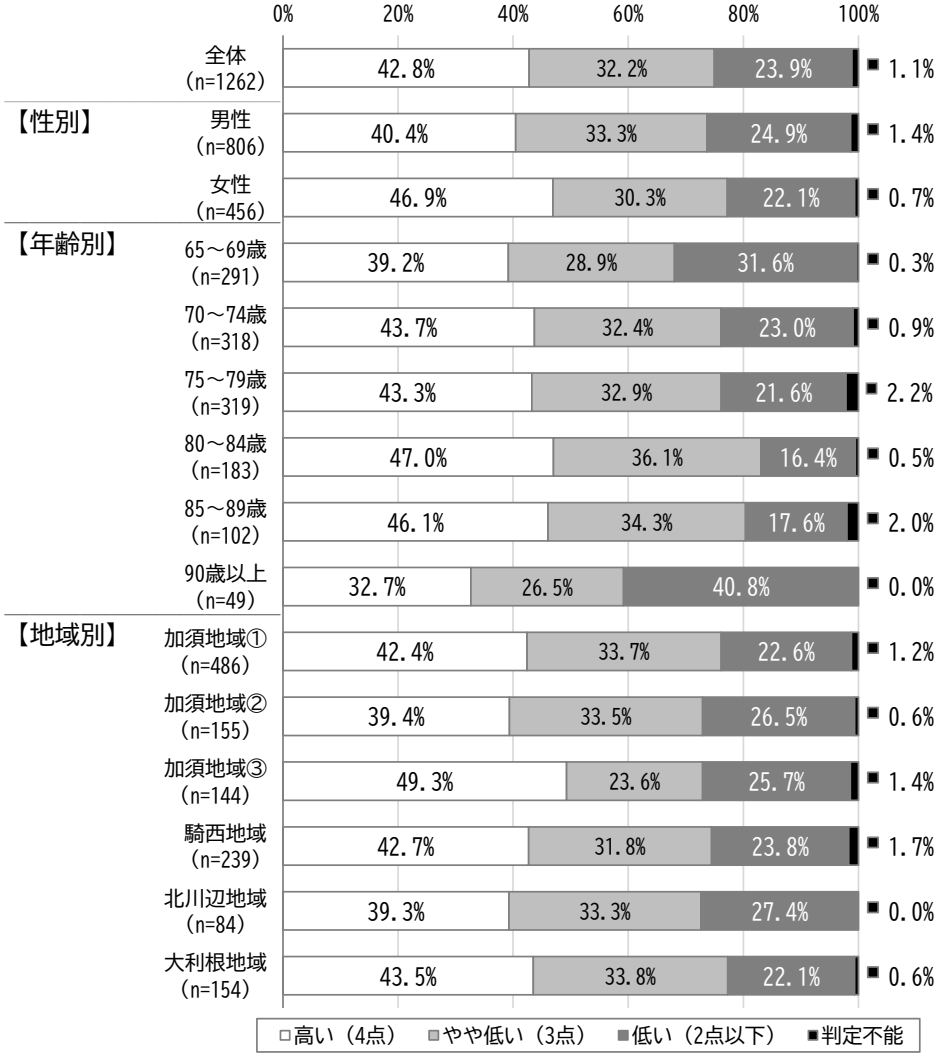
【リスク該当状況】

老研式活動能力指標に基づく知的能動性低下のリスク該当者のうち、評価結果が「低い（２点以下)」に該当した方の割合は、全体の 23.9%となっています。

性別では、「男性（24.9%)」が「女性（22.1%)」を 2.8 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「90 歳以上」で 40.8%と他の年齢階級に比べて高くなっています。

地域別でみると、「低い」の割合が高いのが、「北川辺地域」で 27.4%、次いで、「加須地域②」が 26.5%となっています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

（４）社会的役割

※社会的役割とは、人を思いやる、相談にのる、他の世代との積極的な交流などを行うような能力をいいます。

【判定基準：各設問に「はい」と回答した場合を１点として、４点満点で評価】

※２点以下を社会的役割低下のリスク該当者と評価（老研式活動能力指標）

設問番号	判定に用いた設問	該当する選択肢
問４(13)	友人の家を訪ねていますか。	１．はい：１点
問４(14)	家族や友人の相談にのっていますか。	１．はい：１点
問４(15)	病人を見舞うことができますか。	１．はい：１点
問４(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか。	１．はい：１点

※４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」と評価

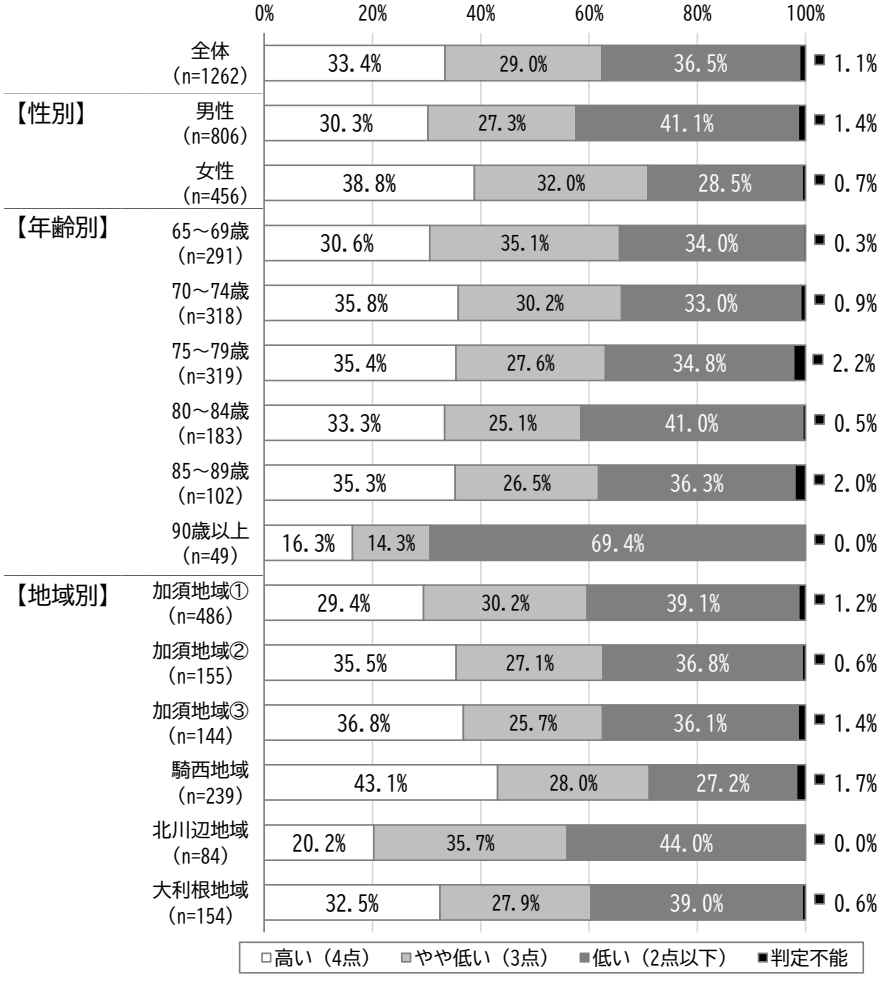
【リスク該当状況】

老研式活動能力指標に基づく社会的役割低下のリスク該当者のうち、評価結果が「低い（２点以下）」に該当した方の割合は、全体の 36.5%となっています。

性別では、「男性（41.1%）」が「女性（28.5%）」を 12.6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「低い」の割合が増加する傾向があり、「90 歳以上」では該当者が約７割となっています。

地域別でみると、「低い」の割合が高いのが、「北川辺地域」で 44.0%、次いで、「加須地域①」が 39.1%となっています。



※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

その他の生活機能判定のまとめ

その他の生活機能判定結果について、①のリスク該当者の割合と②から④までの項目で「低い」と評価された人の割合をみると、「④社会的役割」が 36.5%で最も高く、次いで、「①転倒リスク」が 30.3%、「③知的能動性」が 23.9%となっています。

性別では、「①転倒リスク」を除く３項目において、女性に比べ男性の割合が高くなっています。

年齢別でみると「①転倒リスク」「②手段的自立度（IADL）」の項目において、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があります。また、すべての項目で「90 歳以上」になると大幅な上昇がみられます。

○①転倒リスクの該当者の割合と②から④までの項目で「低い」と評価された人の割合

項目	① 転倒リスク	② 手段的自立度 （IADL）	③ 知的能動性	④ 社会的役割
全体(n=1262)	30.3%	4.5%	23.9%	36.5%
【性別】				
男性(n=806)	28.7%	***4.8%***	***24.9%***	***41.1%***
女性(n=456)	***33.3%***	3.9%	22.1%	28.5%
【年齢別】				
65～69歳(n=291)	26.5%	1.4%	31.6%	34.0%
70～74歳(n=318)	22.3%	2.8%	23.0%	33.0%
75～79歳(n=319)	33.2%	2.8%	21.6%	34.8%
80～84歳(n=183)	37.7%	7.7%	16.4%	41.0%
85～89歳(n=102)	34.3%	10.8%	17.6%	36.3%
90歳以上(n=49)	***51.0%***	***20.4%***	***40.8%***	***69.4%***
【地域別】				
加須地域①(n=486)	29.8%	3.3%	22.6%	39.1%
加須地域②(n=155)	***34.2%***	***8.4%***	26.5%	36.8%
加須地域③(n=144)	33.3%	6.9%	25.7%	36.1%
騎西地域(n=239)	28.9%	2.9%	23.8%	27.2%
北川辺地域(n=84)	23.8%	3.6%	***27.4%***	***44.0%***
大利根地域(n=154)	31.2%	5.2%	22.1%	39.0%

※多い項目が「*斜体*」

※一部地域の省略
加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

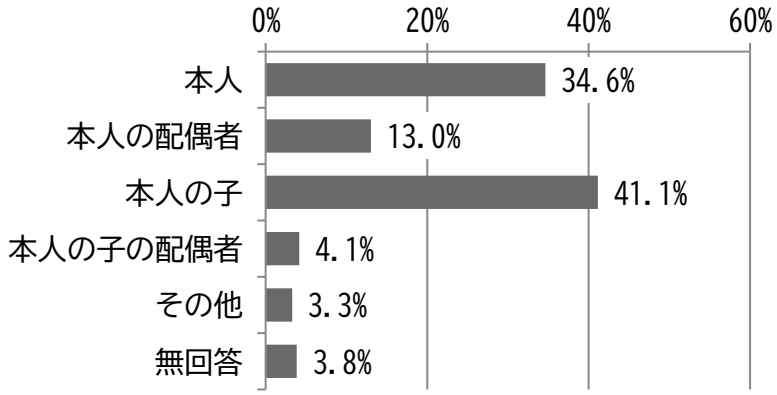
③居宅サービス利用者

③居宅サービス利用者

1　はじめに

この調査の記入者はどなたですか。[１つに○]

調査の記入者については、「本人の子」が 41.1%と最も多く、次いで、「本人」が 34.6%、「本人の配偶者」が 13.0%となっています。



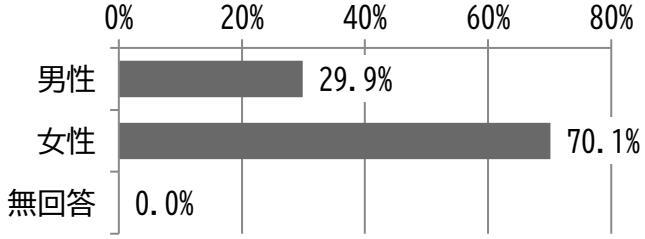
項目	度数	比率
本人	117	34.6%
本人の配偶者	44	13.0%
本人の子	139	41.1%
本人の子の配偶者	14	4.1%
その他	11	3.3%
無回答	13	3.8%
合計	338	100.0%

2　ご本人（あなた）のことについて

問1　ご本人の性別、年齢、お住まいの地域等について

（1）性別は。[1つに○]

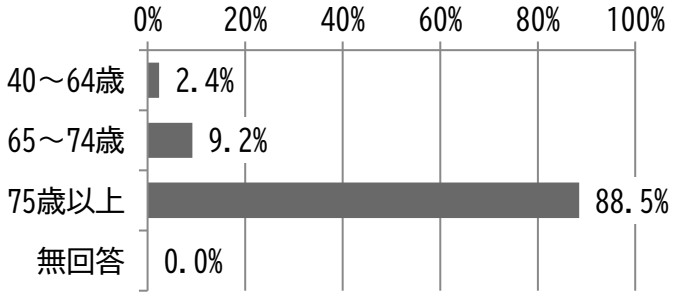
性別については、「男性」が 29.9%、「女性」が 70.1%となっています。



項目	度数	比率
男性	101	29.9%
女性	237	70.1%
無回答	0	0.0%
合計	338	100.0%

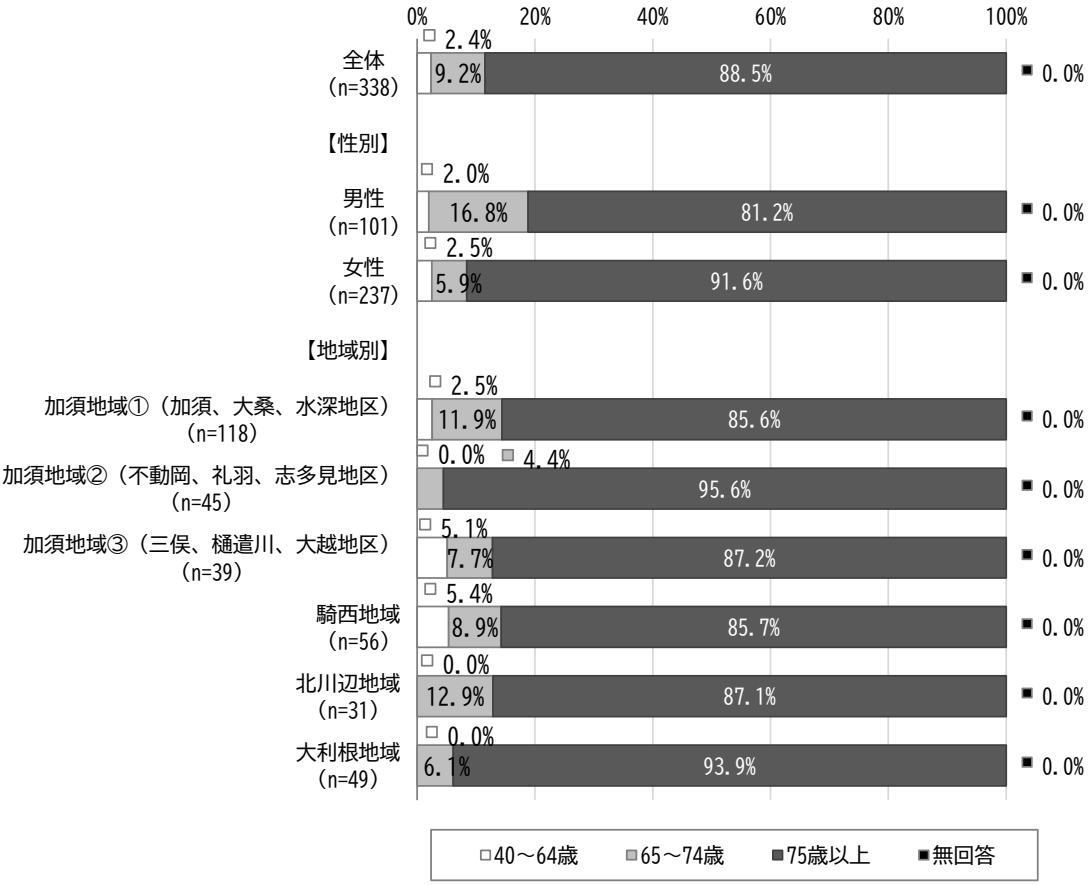
（2）年齢は。（令和7年10月1日現在）[1つに○]

年齢については、「75歳以上」が 88.5%、「65～74歳」が 9.2%、「40～64歳」が 2.4%となっています。



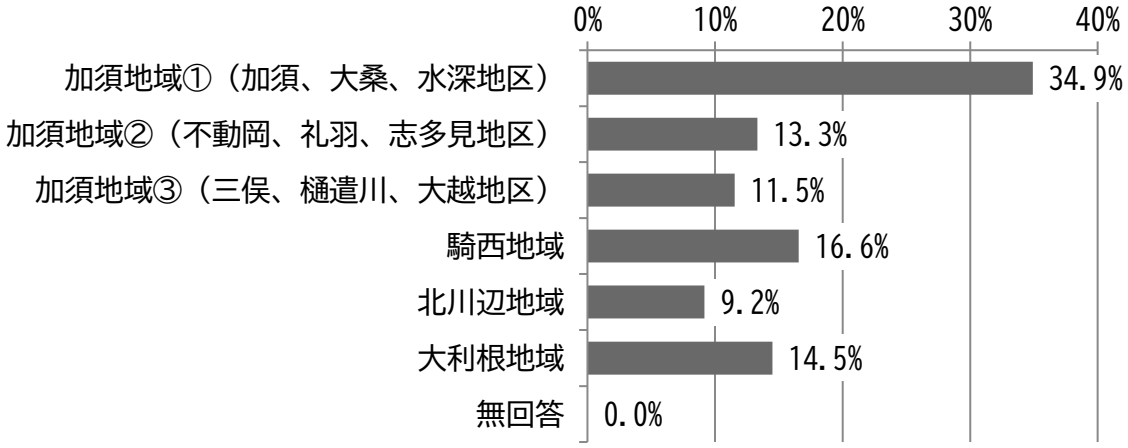
項目	度数	比率
40～64歳	8	2.4%
65～74歳	31	9.2%
75歳以上	299	88.5%
無回答	0	0.0%
合計	338	100.0%

【性別・地域別クロス】



（３）お住まいの地域はどこですか。[１つに○]

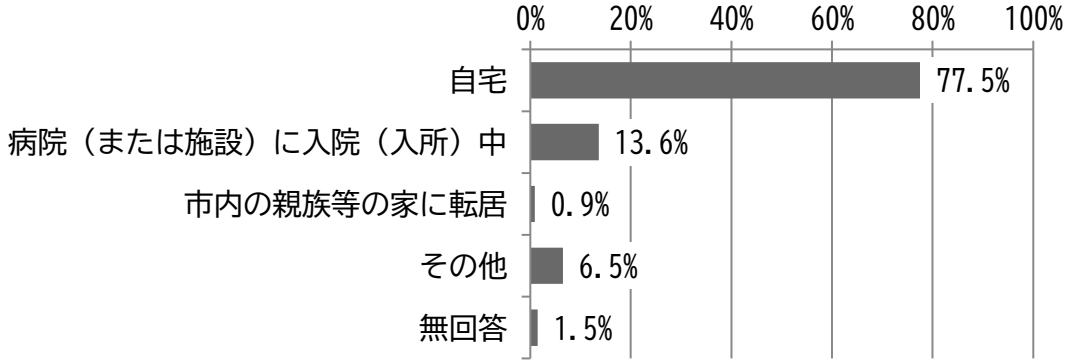
お住まいの地域については、「加須地域①（加須、大桑、水深地区）」が 34.9%と最も多く、次いで、「騎西地域」が 16.6%、「大利根地域」が 14.5%となっています。



項目	度数	比率
加須地域①（加須、大桑、水深地区）	118	34.9%
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）	45	13.3%
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）	39	11.5%
騎西地域	56	16.6%
北川辺地域	31	9.2%
大利根地域	49	14.5%
無回答	0	0.0%
合計	338	100.0%

（４）現在、ご本人はどちらで生活されていますか。[１つに○]

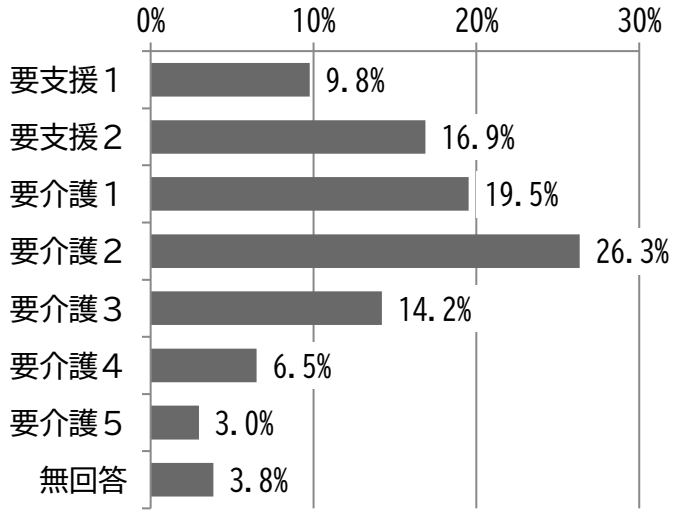
現在、生活されているところでは、「自宅」が 77.5%、「病院（または施設）に入院（入所）中」が 13.6%となっています。



項目	度数	比率
自宅	262	77.5%
病院（または施設）に入院（入所）中	46	13.6%
市内の親族等の家に転居	3	0.9%
その他	22	6.5%
無回答	5	1.5%
合計	338	100.0%

（５）現在、認定されている要介護度は。（要介護度は介護保険証に記載されています。）［１つに○］

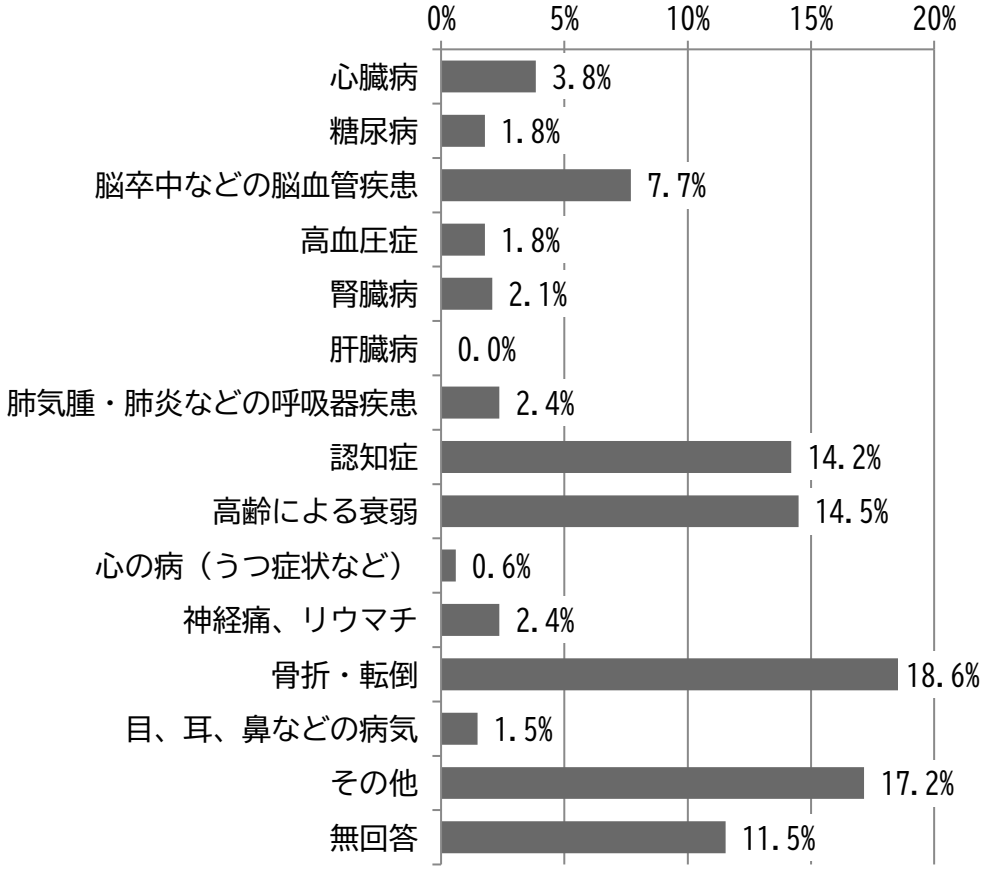
認定されている要介護度については、「要介護２」が 26.3%と最も多く、次いで、「要介護１」が 19.5%、「要支援２」が 16.9%となっています。



項目	度数	比率
要支援１	33	9.8%
要支援２	57	16.9%
要介護１	66	19.5%
要介護２	89	26.3%
要介護３	48	14.2%
要介護４	22	6.5%
要介護５	10	3.0%
無回答	13	3.8%
合計	338	100.0%

問２　介護が必要になった直接のきっかけは何ですか。[１つに○]

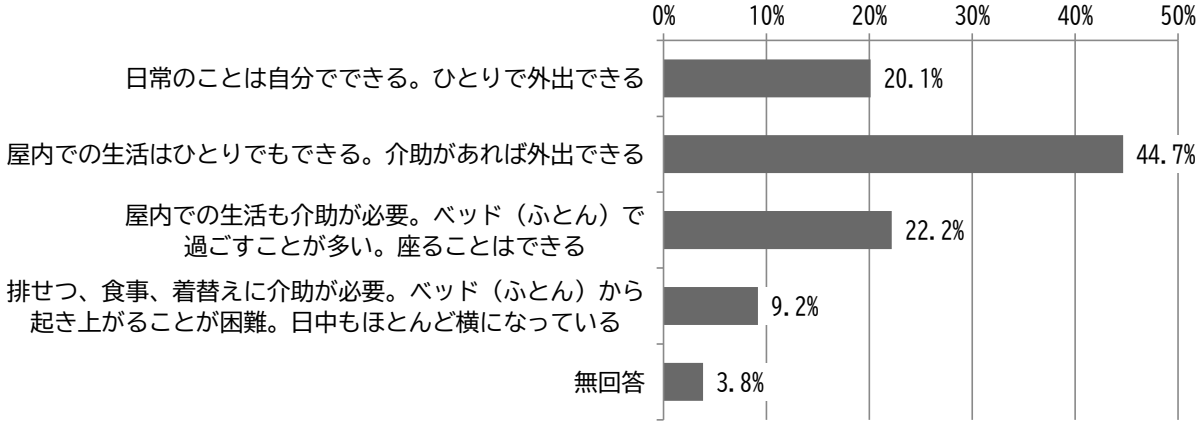
介護が必要になった直接のきっかけについては、「骨折・転倒」が 18.6%と最も多く、次いで、「高齢による衰弱」が 14.5%、「認知症」が 14.2%となっています。



項目	度数	比率
心臓病	13	3.8%
糖尿病	6	1.8%
脳卒中などの脳血管疾患	26	7.7%
高血圧症	6	1.8%
腎臓病	7	2.1%
肝臓病	0	0.0%
肺気腫・肺炎などの呼吸器疾患	8	2.4%
認知症	48	14.2%
高齢による衰弱	49	14.5%
心の病（うつ症状など）	2	0.6%
神経痛、リウマチ	8	2.4%
骨折・転倒	63	18.6%
目、耳、鼻などの病気	5	1.5%
その他	58	17.2%
無回答	39	11.5%
合計	338	100.0%

問３　ご本人の日常生活の状態について伺います。[１つに○]

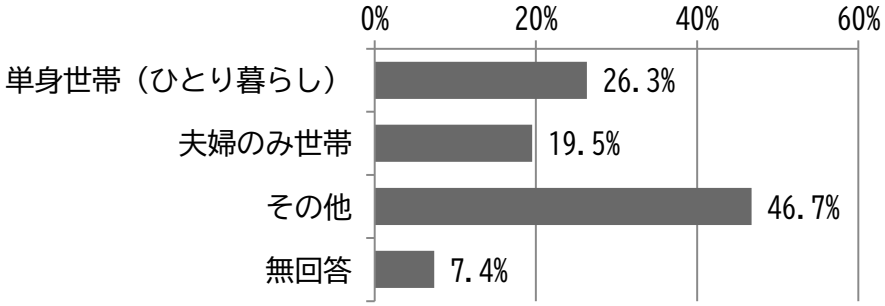
日常生活の状態については、「屋内での生活はひとりでもできる。介助があれば外出できる」が 44.7%と最も多く、次いで、「屋内での生活も介助が必要。ベッド（ふとん）で過ごすことが多い。座ることはできる」が 22.2%、「日常のことは自分でできる。ひとりで外出できる」が 20.1%となっています。



項目	度数	比率
日常のことは自分でできる。ひとりで外出できる	68	20.1%
屋内での生活はひとりでもできる。介助があれば外出できる	151	44.7%
屋内での生活も介助が必要。ベッド（ふとん）で過ごすことが多い。座ることはできる	75	22.2%
排せつ、食事、着替えに介助が必要。ベッド（ふとん）から起き上がることが困難。日中もほとんど横になっている	31	9.2%
無回答	13	3.8%
合計	338	100.0%

問４　世帯類型についてご回答ください。[１つに○]

世帯類型については、「単身世帯（ひとり暮らし）」が 26.3%、「夫婦のみ世帯」が 19.5%となっています。



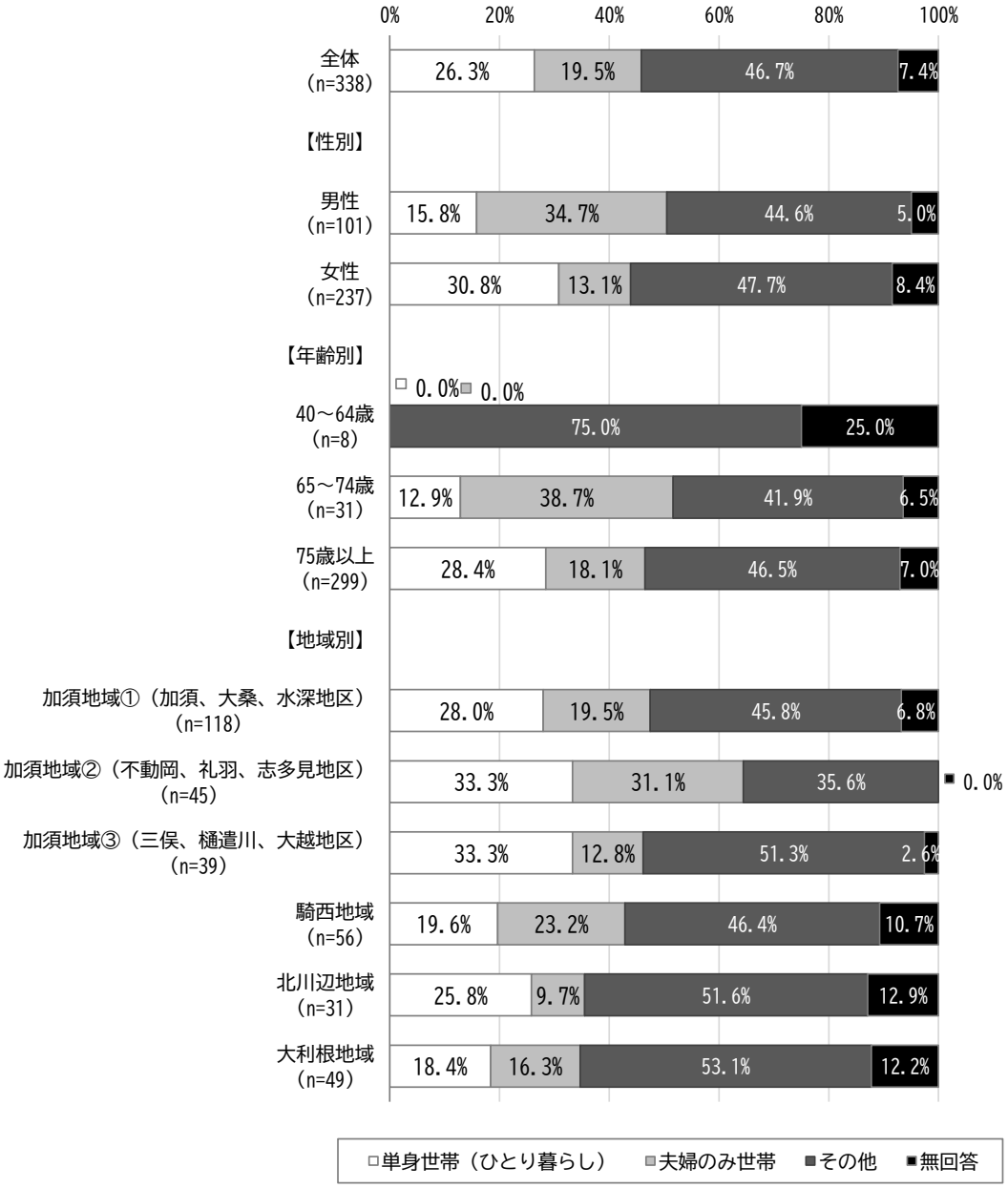
項目	度数	比率
単身世帯（ひとり暮らし）	89	26.3%
夫婦のみ世帯	66	19.5%
その他	158	46.7%
無回答	25	7.4%
合計	338	100.0%

【性別・年齢・地域別クロス】

世帯構成を男女別でみると、『男性』は「夫婦のみ世帯」の割合が高く、『女性』は「単身世帯（ひとり暮らし）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「単身世帯（ひとり暮らし）」では『75 歳以上』で割合が高く、「夫婦のみ世帯」では『65～74 歳』で割合が高くなっています。

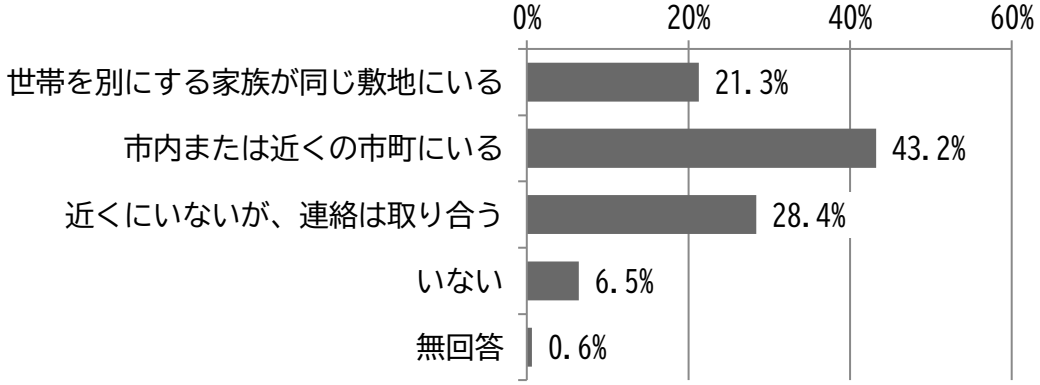
地域別でみると、「単身世帯（ひとり暮らし）」では『加須地域②』『加須地域③』で割合がともに高く、「夫婦のみ世帯」では『加須地域②』が他の地域より高い割合となっています。



【問４で「単身世帯（ひとり暮らし）」または「夫婦のみ世帯」を選択した方のみ回答】

問４-①　ひんぱんに連絡を取り合うご家族がいますか。[１つに○]

「市内または近くの市町にいる」が 43.2%と最も多く、次いで、「近くにいないが、連絡は取り合う」が 28.4%、「世帯を別にする家族が同じ敷地にいる」が 21.3%となっています。



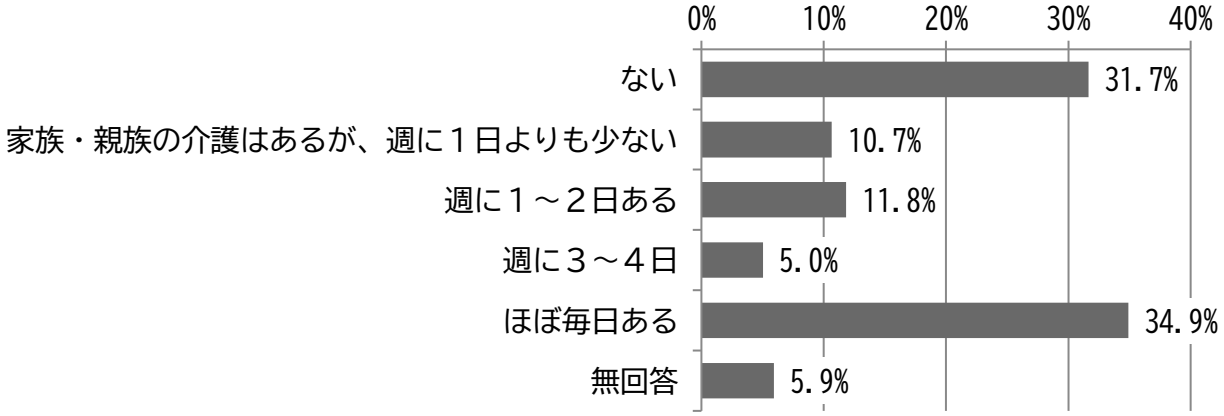
項目	度数	比率
世帯を別にする家族が同じ敷地にいる	33	21.3%
市内または近くの市町にいる	67	43.2%
近くにいないが、連絡は取り合う	44	28.4%
いない	10	6.5%
無回答	1	0.6%
回答者数	155	100.0%

３　ご家族等からの介護の状況について

問５　ご家族やご親族からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。[１つに○]

家族や親族からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が 34.9%と最も多く、次いで、「週に１～２日ある」が 11.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」が 10.7%となっています。

一方、「ない」が 31.7%となっています。

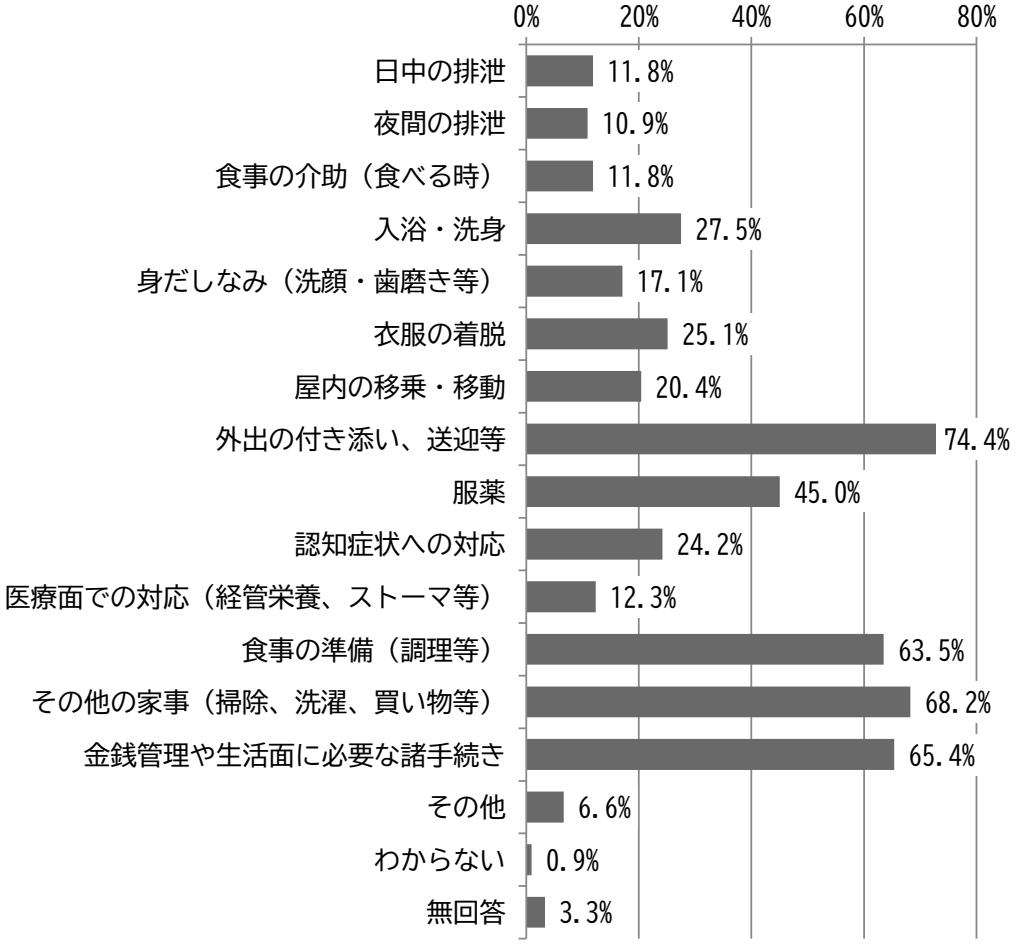


項目	度数	比率
ない	107	31.7%
家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない	36	10.7%
週に１～２日ある	40	11.8%
週に３～４日	17	5.0%
ほぼ毎日ある	118	34.9%
無回答	20	5.9%
合計	338	100.0%

【問５で「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」、「週に１～２日ある」、「週に３～４日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかを選択した方のみ回答】

問５-①　現在、主な介護者から受けている介護等をお答えください。[あてはまるものすべてに○]

介護者から受けている介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が 74.4%と最も多く、次いで、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 68.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 65.4%となっています。

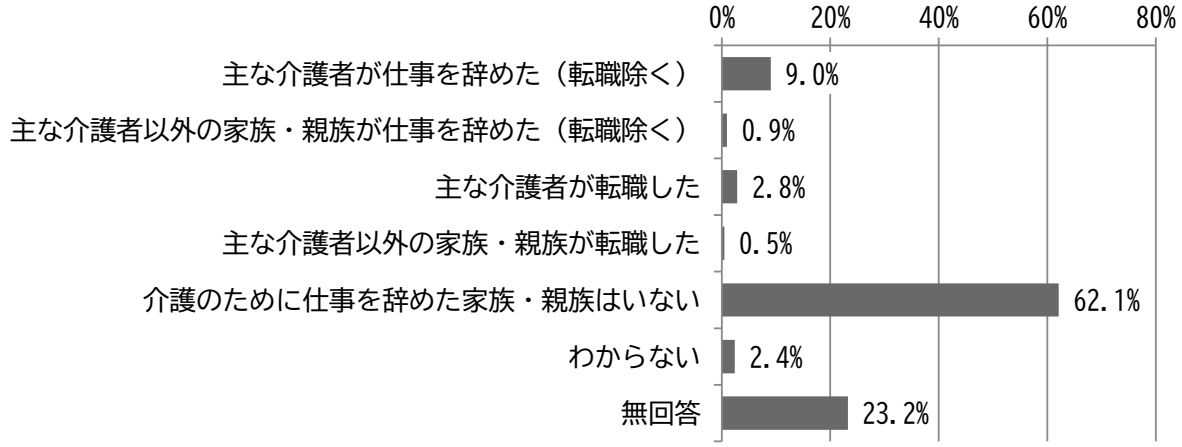


項目	度数	比率
日中の排泄	25	11.8%
夜間の排泄	23	10.9%
食事の介助（食べる時）	25	11.8%
入浴・洗身	58	27.5%
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	36	17.1%
衣服の着脱	53	25.1%
屋内の移乗・移動	43	20.4%
外出の付き添い、送迎等	157	74.4%
服薬	95	45.0%
認知症状への対応	51	24.2%
医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	26	12.3%
食事の準備（調理等）	134	63.5%
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	144	68.2%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	138	65.4%
その他	14	6.6%
わからない	2	0.9%
無回答	7	3.3%
回答者数	211	

【問５で「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」、「週に１～２日ある」、「週に３～４日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかを選択した方のみ回答】

問５-②　ご家族やご親族の中でご本人の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。

家族や親族の中で介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方がいたかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 62.1%と最も多く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 9.0%、「主な介護者が転職した」が 2.8%となっています。



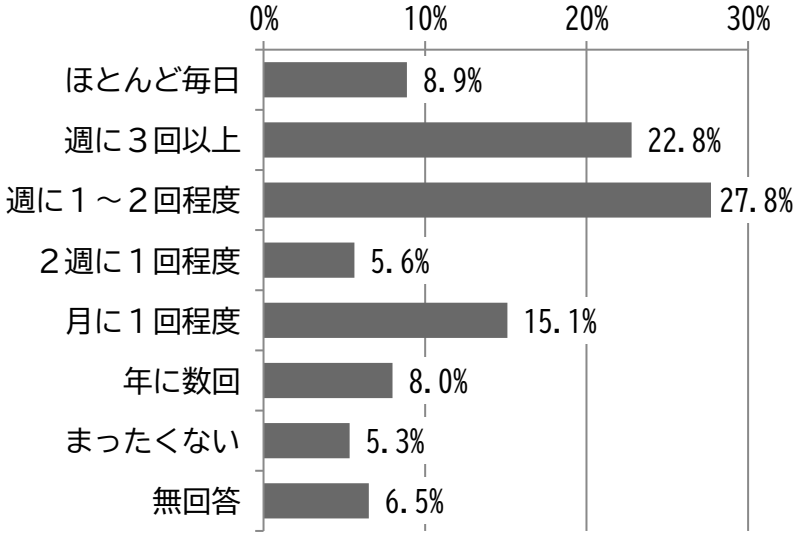
項目	度数	比率
主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	19	9.0%
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	2	0.9%
主な介護者が転職した	6	2.8%
主な介護者以外の家族・親族が転職した	1	0.5%
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	131	62.1%
わからない	5	2.4%
無回答	49	23.2%
回答者数	211	100.9%

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

４　日常生活の状況について

問６　あなたの外出頻度をお答えください。[１つに○]

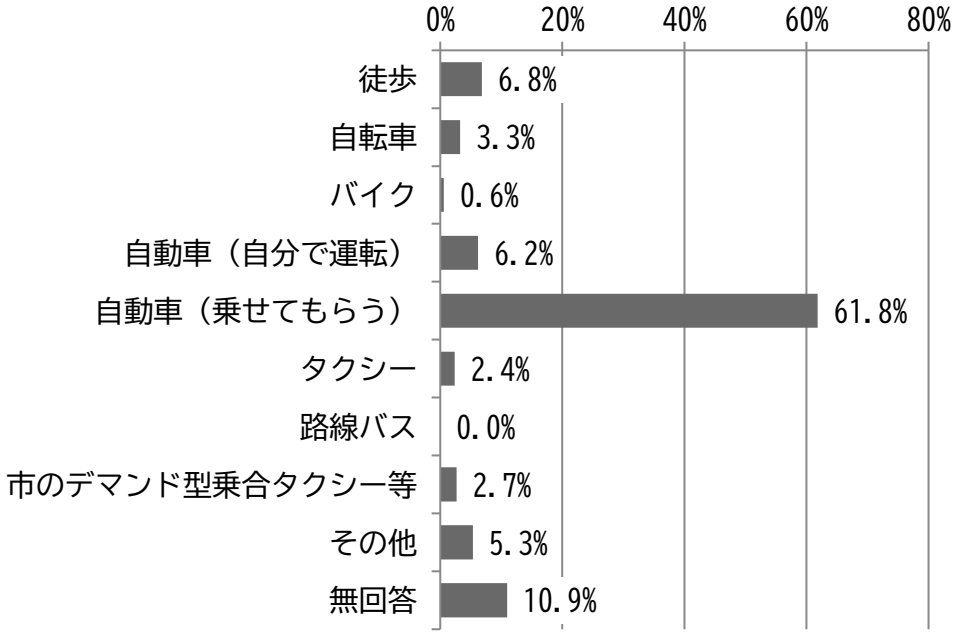
外出頻度については、「週に１～２回程度」が 27.8%と最も多く、次いで、「週に３回以上」が 22.8%、「月に１回程度」が 15.1%となっています。



項目	度数	比率
ほとんど毎日	30	8.9%
週に３回以上	77	22.8%
週に１～２回程度	94	27.8%
２週に１回程度	19	5.6%
月に１回程度	51	15.1%
年に数回	27	8.0%
まったくない	18	5.3%
無回答	22	6.5%
合計	338	100.0%

問７　外出する場合、何で移動することが多いですか。[１つに○]

外出する場合、移動する手段については、「自動車（乗せてもらう）」が 61.8%と最も多く、次いで、「徒歩」が 6.8%、「自動車（自分で運転）」が 6.2%となっています。

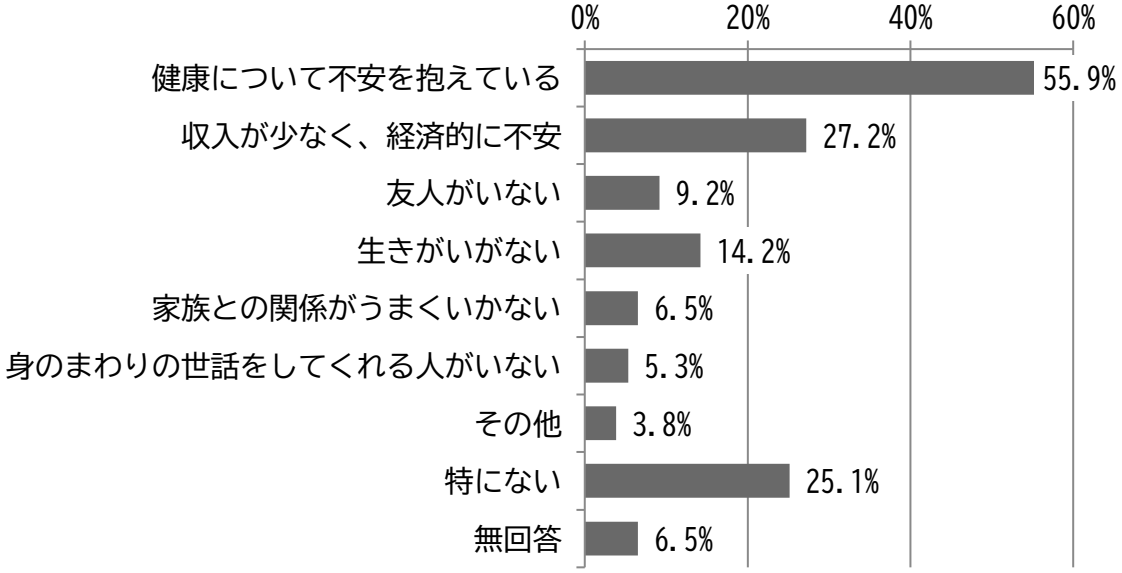


項目	度数	比率
徒歩	23	6.8%
自転車	11	3.3%
バイク	2	0.6%
自動車（自分で運転）	21	6.2%
自動車（乗せてもらう）	209	61.8%
タクシー	8	2.4%
路線バス	0	0.0%
市のデマンド型乗合タクシー等	9	2.7%
その他	18	5.3%
無回答	37	10.9%
合計	338	100.0%

問８　あなたは、悩みや心配ごとがありますか。[３つまで○]

悩みや心配ごとについては、「健康について不安を抱えている」が 55.9%と最も多く、次いで、「収入が少なく、経済的に不安」が 27.2%、「生きがいがない」が 14.2%となっています。

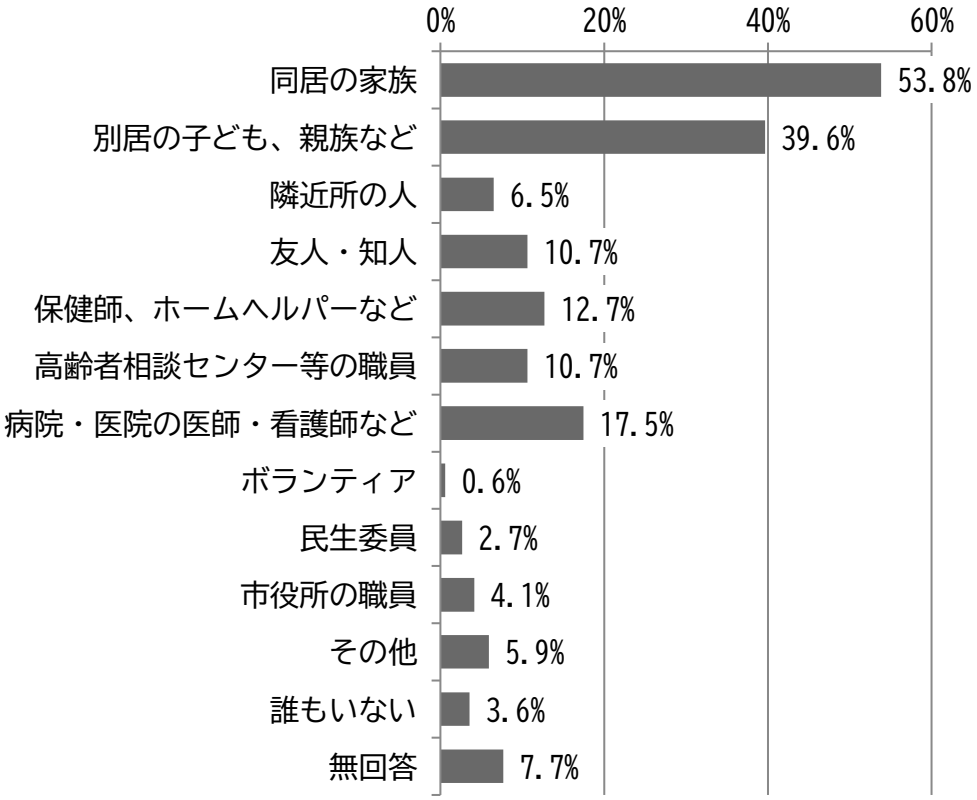
一方、「特にない」が 25.1%となっています。



項目	度数	比率
健康について不安を抱えている	189	55.9%
収入が少なく、経済的に不安	92	27.2%
友人がいない	31	9.2%
生きがいがない	48	14.2%
家族との関係がうまくいかない	22	6.5%
身のまわりの世話をしてくれる人がいない	18	5.3%
その他	13	3.8%
特にない	85	25.1%
無回答	22	6.5%
回答者数	338	

問９　悩みや心配ごとの相談相手はどなたですか。[３つまで○]

悩みや心配ごとの相談相手については、「同居の家族」が 53.8%と最も多く、次いで、「別居の子ども、親族など」が 39.6%、「病院・医院の医師・看護師など」が 17.5%となっています。



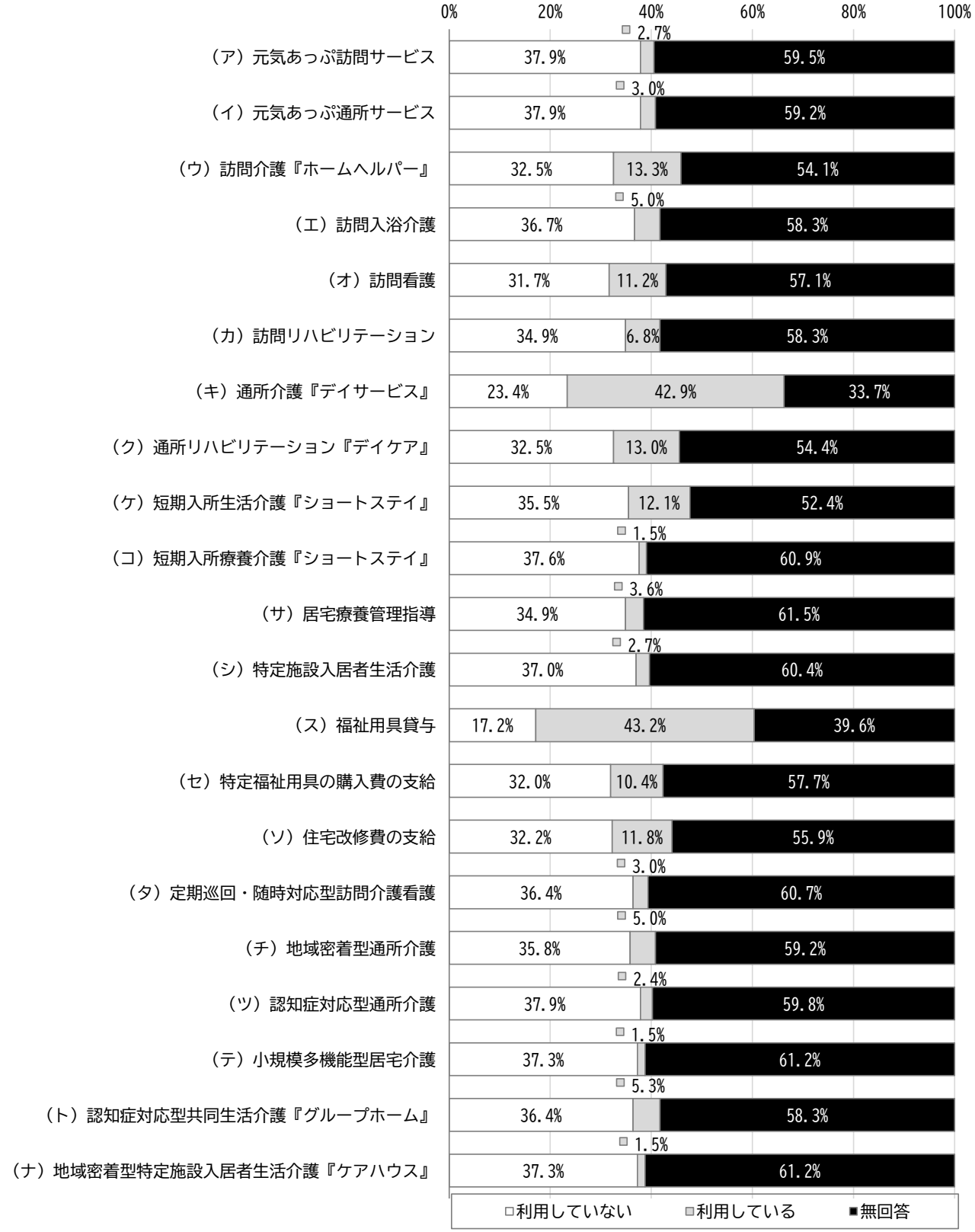
項目	度数	比率
同居の家族	182	53.8%
別居の子ども、親族など	134	39.6%
隣近所の人	22	6.5%
友人・知人	36	10.7%
保健師、ホームヘルパーなど	43	12.7%
高齢者相談センター等の職員	36	10.7%
病院・医院の医師・看護師など	59	17.5%
ボランティア	2	0.6%
民生委員	9	2.7%
市役所の職員	14	4.1%
その他	20	5.9%
誰もいない	12	3.6%
無回答	26	7.7%
回答者数	338	

5　介護保険サービスについて

問 10　現在、あなたが「①利用しているサービス」は何ですか。また、サービスを利用しているに○印をした場合、「②サービスの量（回数）」、「③サービスの質（内容）」にも○印をつけてください。

■利用しているサービス

利用しているサービスについての「利用している」では、「（ス）福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）」が 43.2%と最も多く、次いで、「（キ）通所介護『デイサービス』」が 42.9%、「（ウ）訪問介護『ホームヘルパー』」が 13.3%となっています。

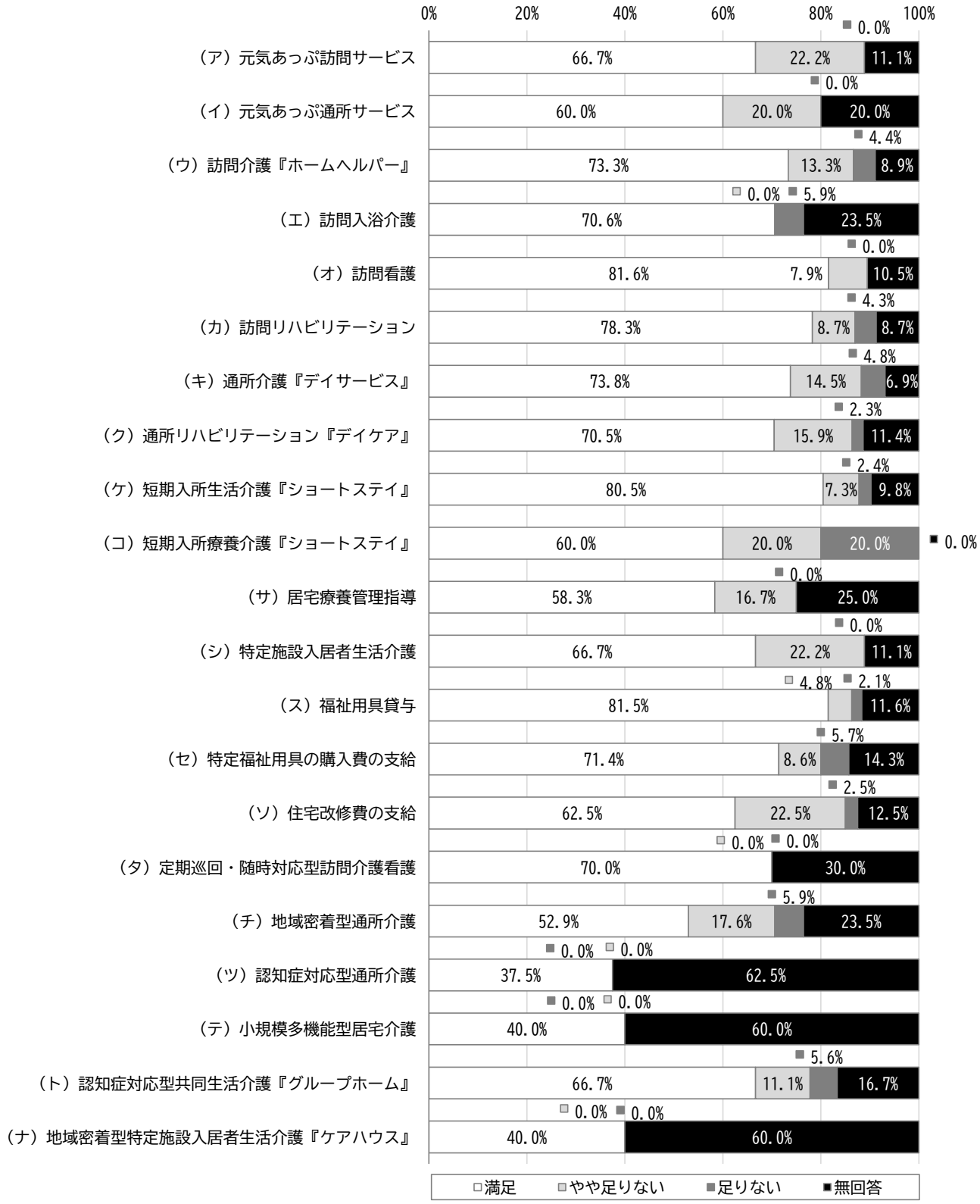


上段：度数　下段：比率

項目	利用していない	利用している	無回答	合計
（ア）元気あっぷ訪問サービス	128	9	201	338
	37.9%	2.7%	59.5%	100.0%
（イ）元気あっぷ通所サービス	128	10	200	338
	37.9%	3.0%	59.2%	100.0%
（ウ）訪問介護 『ホームヘルパー』	110	45	183	338
	32.5%	13.3%	54.1%	100.0%
（エ）訪問入浴介護 （介護予防訪問入浴介護）	124	17	197	338
	36.7%	5.0%	58.3%	100.0%
（オ）訪問看護 （介護予防訪問看護）	107	38	193	338
	31.7%	11.2%	57.1%	100.0%
（カ）訪問リハビリテーション （介護予防訪問リハビリテーション）	118	23	197	338
	34.9%	6.8%	58.3%	100.0%
（キ）通所介護 『デイサービス』	79	145	114	338
	23.4%	42.9%	33.7%	100.0%
（ク）通所リハビリテーション『デイケア』 （介護予防通所リハビリテーション）	110	44	184	338
	32.5%	13.0%	54.4%	100.0%
（ケ）短期入所生活介護『ショートステイ』 （介護予防短期入所生活介護）	120	41	177	338
	35.5%	12.1%	52.4%	100.0%
（コ）短期入所療養介護『ショートステイ』 （介護予防短期入所療養介護）	127	5	206	338
	37.6%	1.5%	60.9%	100.0%
（サ）居宅療養管理指導 （介護予防居宅療養管理指導）	118	12	208	338
	34.9%	3.6%	61.5%	100.0%
（シ）特定施設入居者生活介護 （介護予防特定施設入居者生活介護）	125	9	204	338
	37.0%	2.7%	60.4%	100.0%
（ス）福祉用具貸与 （介護予防福祉用具貸与）	58	146	134	338
	17.2%	43.2%	39.6%	100.0%
（セ）特定福祉用具の購入費の支給 （特定介護予防福祉用具の購入費）	108	35	195	338
	32.0%	10.4%	57.7%	100.0%
（ソ）住宅改修費の支給	109	40	189	338
	32.2%	11.8%	55.9%	100.0%
（タ）定期巡回・随時対応型訪問介護看護	123	10	205	338
	36.4%	3.0%	60.7%	100.0%
（チ）地域密着型通所介護 （小規模のデイサービス）	121	17	200	338
	35.8%	5.0%	59.2%	100.0%
（ツ）認知症対応型通所介護 （介護予防認知症対応型通所介護）	128	8	202	338
	37.9%	2.4%	59.8%	100.0%
（テ）小規模多機能型居宅介護 （介護予防小規模多機能型居宅介護）	126	5	207	338
	37.3%	1.5%	61.2%	100.0%
（ト）認知症対応型共同生活介護 『グループホーム』	123	18	197	338
	36.4%	5.3%	58.3%	100.0%
（ナ）地域密着型特定施設入居者生活介護 『ケアハウス』	126	5	207	338
	37.3%	1.5%	61.2%	100.0%

■②サービスの量（回数）

サービスの量の「満足」については、「（オ）訪問看護（介護予防訪問看護）」が 81.6%と最も高く、次いで、「（ス）福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）」で 81.5%、「（ケ）短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）」で 80.5%、「（カ）訪問リハビリテーション（介護予防訪問リハビリテーション）」で 78.3%となっています。

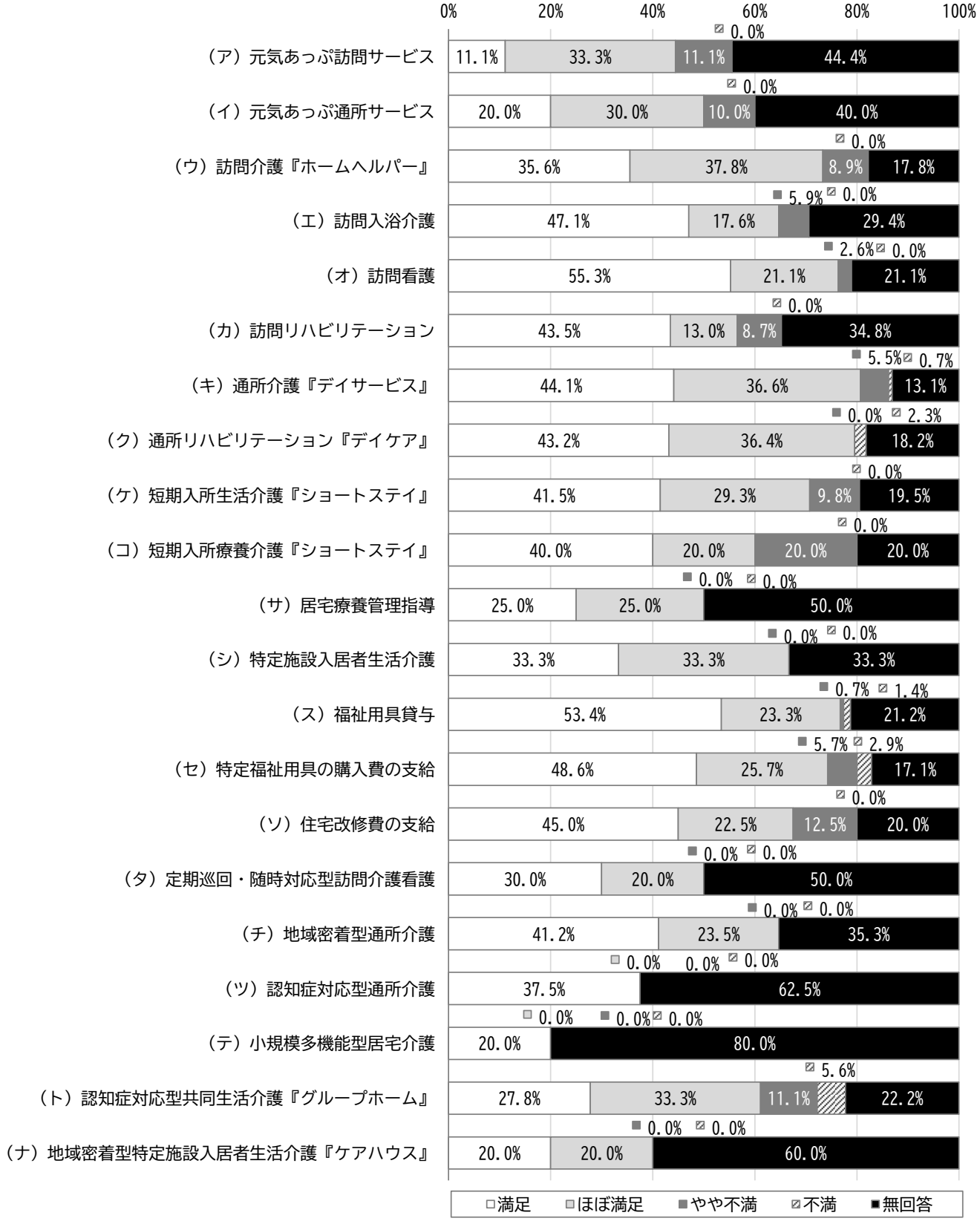


上段：度数　下段：比率

項目	満足	やや足りない	足りない	無回答	回答者数
（ア）元気あっぷ訪問サービス	6	2	0	1	9
	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	100.0%
（イ）元気あっぷ通所サービス	6	2	0	2	10
	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
（ウ）訪問介護 『ホームヘルパー』	33	6	2	4	45
	73.3%	13.3%	4.4%	8.9%	100.0%
（エ）訪問入浴介護 （介護予防訪問入浴介護）	12	0	1	4	17
	70.6%	0.0%	5.9%	23.5%	100.0%
（オ）訪問看護 （介護予防訪問看護）	31	3	0	4	38
	81.6%	7.9%	0.0%	10.5%	100.0%
（カ）訪問リハビリテーション （介護予防訪問リハビリテーション）	18	2	1	2	23
	78.3%	8.7%	4.3%	8.7%	100.0%
（キ）通所介護 『デイサービス』	107	21	7	10	145
	73.8%	14.5%	4.8%	6.9%	100.0%
（ク）通所リハビリテーション『デイケア』 （介護予防通所リハビリテーション）	31	7	1	5	44
	70.5%	15.9%	2.3%	11.4%	100.0%
（ケ）短期入所生活介護『ショートステイ』 （介護予防短期入所生活介護）	33	3	1	4	41
	80.5%	7.3%	2.4%	9.8%	100.0%
（コ）短期入所療養介護『ショートステイ』 （介護予防短期入所療養介護）	3	1	1	0	5
	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
（サ）居宅療養管理指導 （介護予防居宅療養管理指導）	7	2	0	3	12
	58.3%	16.7%	0.0%	25.0%	100.0%
（シ）特定施設入居者生活介護 （介護予防特定施設入居者生活介護）	6	2	0	1	9
	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	100.0%
（ス）福祉用具貸与 （介護予防福祉用具貸与）	119	7	3	17	146
	81.5%	4.8%	2.1%	11.6%	100.0%
（セ）特定福祉用具の購入費の支給 （特定介護予防福祉用具の購入費）	25	3	2	5	35
	71.4%	8.6%	5.7%	14.3%	100.0%
（ソ）住宅改修費の支給	25	9	1	5	40
	62.5%	22.5%	2.5%	12.5%	100.0%
（タ）定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7	0	0	3	10
	70.0%	0.0%	0.0%	30.0%	100.0%
（チ）地域密着型通所介護 （小規模のデイサービス）	9	3	1	4	17
	52.9%	17.6%	5.9%	23.5%	100.0%
（ツ）認知症対応型通所介護 （介護予防認知症対応型通所介護）	3	0	0	5	8
	37.5%	0.0%	0.0%	62.5%	100.0%
（テ）小規模多機能型居宅介護 （介護予防小規模多機能型居宅介護）	2	0	0	3	5
	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%
（ト）認知症対応型共同生活介護 『グループホーム』	12	2	1	3	18
	66.7%	11.1%	5.6%	16.7%	100.0%
（ナ）地域密着型特定施設入居者生活介護 『ケアハウス』	2	0	0	3	5
	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%

■サービスの質（内容）

サービスの質や内容の「満足」「ほぼ満足」を合わせた『満足』については、「通所介護『デイサービス』」が 80.7%と最も高く、次いで、「通所リハビリテーション『デイケア』（介護予防通所リハビリテーション）」が 79.6%、「（ス）福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）」が 76.7%となっています。

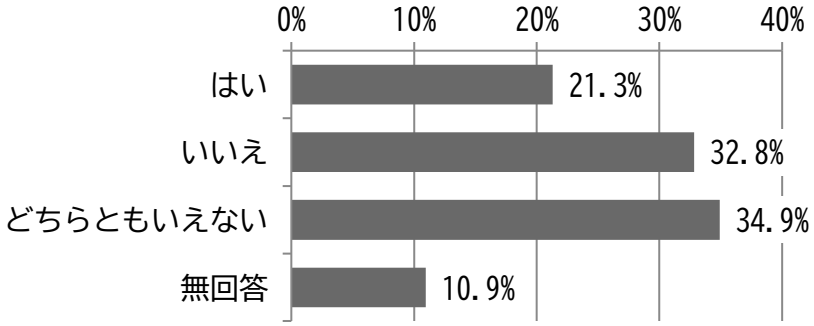


上段：度数　下段：比率

項目	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	無回答	回答者数
（ア）元気あっぷ訪問サービス	1	3	1	0	4	9
	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	44.4%	100.0%
（イ）元気あっぷ通所サービス	2	3	1	0	4	10
	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	40.0%	100.0%
（ウ）訪問介護 『ホームヘルパー』	16	17	4	0	8	45
	35.6%	37.8%	8.9%	0.0%	17.8%	100.0%
（エ）訪問入浴介護 （介護予防訪問入浴介護）	8	3	1	0	5	17
	47.1%	17.6%	5.9%	0.0%	29.4%	100.0%
（オ）訪問看護 （介護予防訪問看護）	21	8	1	0	8	38
	55.3%	21.1%	2.6%	0.0%	21.1%	100.0%
（カ）訪問リハビリテーション （介護予防訪問リハビリテーション）	10	3	2	0	8	23
	43.5%	13.0%	8.7%	0.0%	34.8%	100.0%
（キ）通所介護 『デイサービス』	64	53	8	1	19	145
	44.1%	36.6%	5.5%	0.7%	13.1%	100.0%
（ク）通所リハビリテーション『デイケア』 （介護予防通所リハビリテーション）	19	16	0	1	8	44
	43.2%	36.4%	0.0%	2.3%	18.2%	100.0%
（ケ）短期入所生活介護『ショートステイ』 （介護予防短期入所生活介護）	17	12	4	0	8	41
	41.5%	29.3%	9.8%	0.0%	19.5%	100.0%
（コ）短期入所療養介護『ショートステイ』 （介護予防短期入所療養介護）	2	1	1	0	1	5
	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
（サ）居宅療養管理指導 （介護予防居宅療養管理指導）	3	3	0	0	6	12
	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
（シ）特定施設入居者生活介護 （介護予防特定施設入居者生活介護）	3	3	0	0	3	9
	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%
（ス）福祉用具貸与 （介護予防福祉用具貸与）	78	34	1	2	31	146
	53.4%	23.3%	0.7%	1.4%	21.2%	100.0%
（セ）特定福祉用具の購入費の支給 （特定介護予防福祉用具の購入費）	17	9	2	1	6	35
	48.6%	25.7%	5.7%	2.9%	17.1%	100.0%
（ソ）住宅改修費の支給	18	9	5	0	8	40
	45.0%	22.5%	12.5%	0.0%	20.0%	100.0%
（タ）定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3	2	0	0	5	10
	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
（チ）地域密着型通所介護 （小規模のデイサービス）	7	4	0	0	6	17
	41.2%	23.5%	0.0%	0.0%	35.3%	100.0%
（ツ）認知症対応型通所介護 （介護予防認知症対応型通所介護）	3	0	0	0	5	8
	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	100.0%
（テ）小規模多機能型居宅介護 （介護予防小規模多機能型居宅介護）	1	0	0	0	4	5
	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	100.0%
（ト）認知症対応型共同生活介護 『グループホーム』	5	6	2	1	4	18
	27.8%	33.3%	11.1%	5.6%	22.2%	100.0%
（ナ）地域密着型特定施設入居者生活介護 『ケアハウス』	1	1	0	0	3	5
	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%

問 11　できることならば、今よりも多くの介護サービス（介護予防サービス）を利用したいと思いますか。[１つに○]

今よりも多くの介護サービス（介護予防サービス）を利用したいと思っているかについては、「はい」が 21.3%、「いいえ」が 32.8%、「どちらともいえない」が 34.9%となっています。

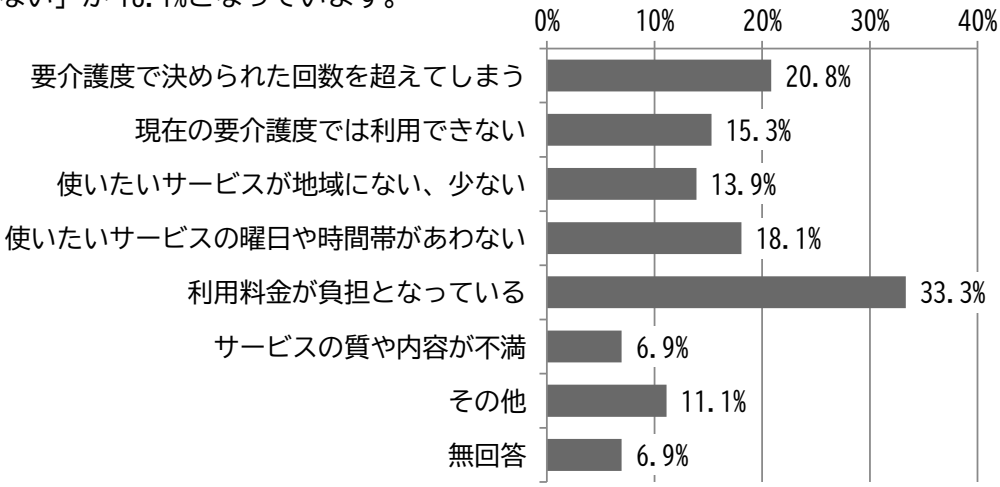


項目	度数	比率
はい	72	21.3%
いいえ	111	32.8%
どちらともいえない	118	34.9%
無回答	37	10.9%
合計	338	100.0%

【問 11 で「はい」を選択した方のみ回答】

問 11-①　現在、多くのサービスを使えない理由は何ですか。[２つまで○]

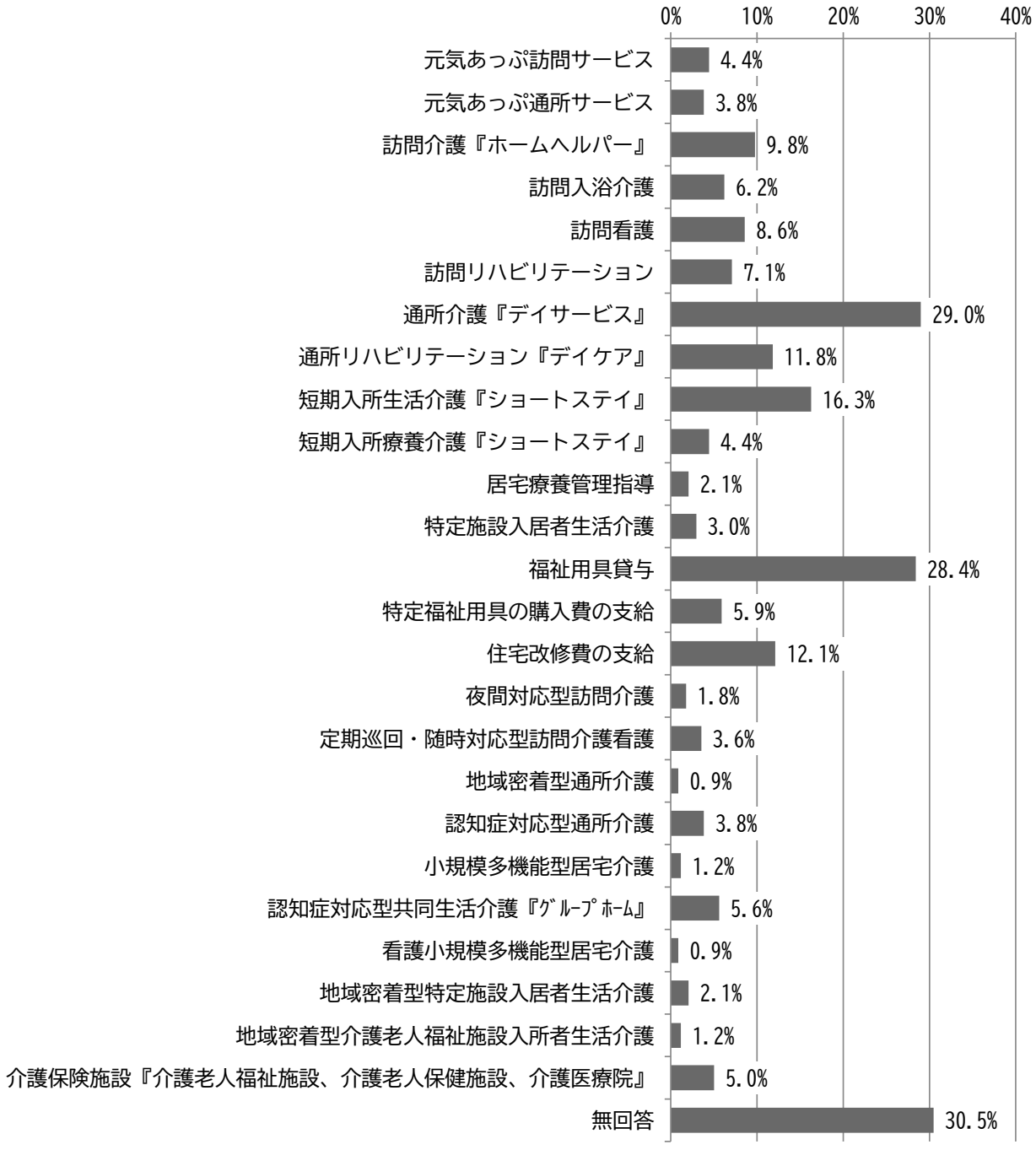
現在、多くのサービスを使えない理由については、「利用料金が負担となっている」が 33.3%と最も多く、次いで、「要介護度で決められた回数を超えてしまう」が 20.8%、「使いたいサービスの曜日や時間帯があわない」が 18.1%となっています。



項目	度数	比率
要介護度で決められた回数を超えてしまう	15	20.8%
現在の要介護度では利用できない	11	15.3%
使いたいサービスが地域にない、少ない	10	13.9%
使いたいサービスの曜日や時間帯があわない	13	18.1%
利用料金が負担となっている	24	33.3%
サービスの質や内容が不満	5	6.9%
その他	8	11.1%
無回答	5	6.9%
回答者数	72	

問 12　今後、利用したい介護保険サービスは何ですか。（現在、利用しているサービスも含めてご回答ください。）［あてはまるものすべてに○］

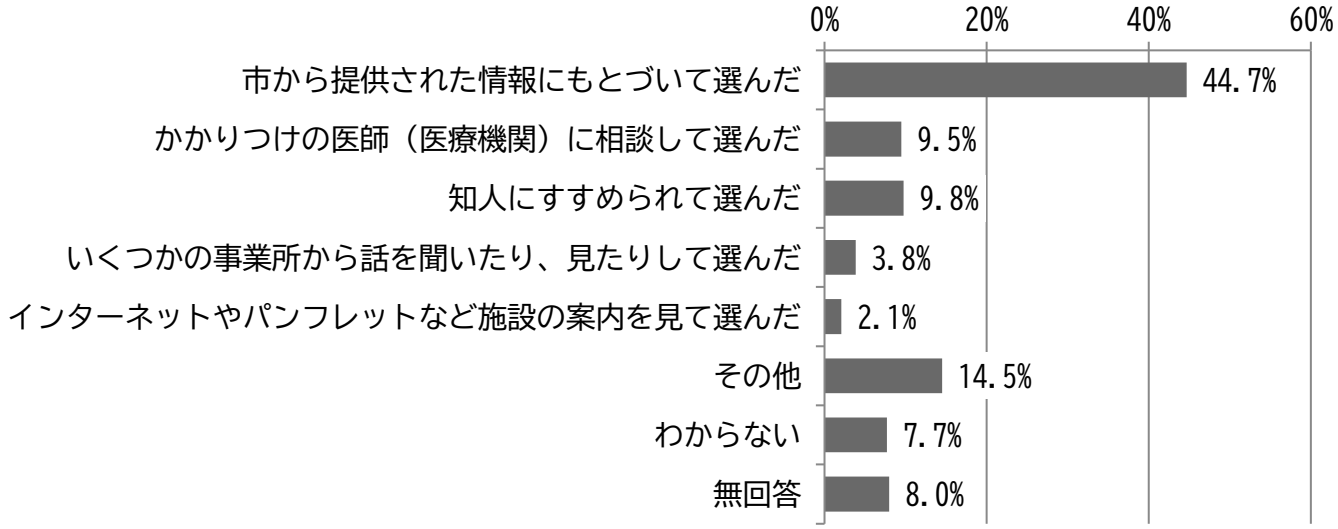
今後、利用したい介護保険サービスについては、「通所介護『デイサービス』」が 29.0%と最も多く、次いで、「福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）」が 28.4%、「短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）」が 16.3%となっています。



項目	度数	比率
元気あっぷ訪問サービス	15	4.4%
元気あっぷ通所サービス	13	3.8%
訪問介護『ホームヘルパー』	33	9.8%
訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）	21	6.2%
訪問看護（介護予防訪問看護）	29	8.6%
訪問リハビリテーション（介護予防訪問リハビリテーション）	24	7.1%
通所介護『デイサービス』	98	29.0%
通所リハビリテーション『デイケア』（介護予防通所リハビリテーション）	40	11.8%
短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）	55	16.3%
短期入所療養介護『ショートステイ』（介護予防短期入所療養介護）	15	4.4%
居宅療養管理指導（介護予防居宅療養管理指導）	7	2.1%
特定施設入居者生活介護（介護予防特定施設入居者生活介護）	10	3.0%
福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）	96	28.4%
特定福祉用具の購入費の支給（特定介護予防福祉用具の購入費）	20	5.9%
住宅改修費の支給	41	12.1%
夜間対応型訪問介護	6	1.8%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	12	3.6%
地域密着型通所介護	3	0.9%
認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）	13	3.8%
小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）	4	1.2%
認知症対応型共同生活介護『ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ』（介護予防認知症対応型共同生活介護）	19	5.6%
看護小規模多機能型居宅介護	3	0.9%
地域密着型特定施設入居者生活介護	7	2.1%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	4	1.2%
介護保険施設『介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院』	17	5.0%
無回答	103	30.5%
回答者数	338	

問 13　居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）をどのように選びましたか。[１つに○]

居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）を選んだ理由については、「市から提供された情報にもとづいて選んだ」が 44.7%と最も多く、次いで、「知人にすすめられて選んだ」が 9.8%、「かかりつけの医師（医療機関）に相談して選んだ」が 9.5%となっています。

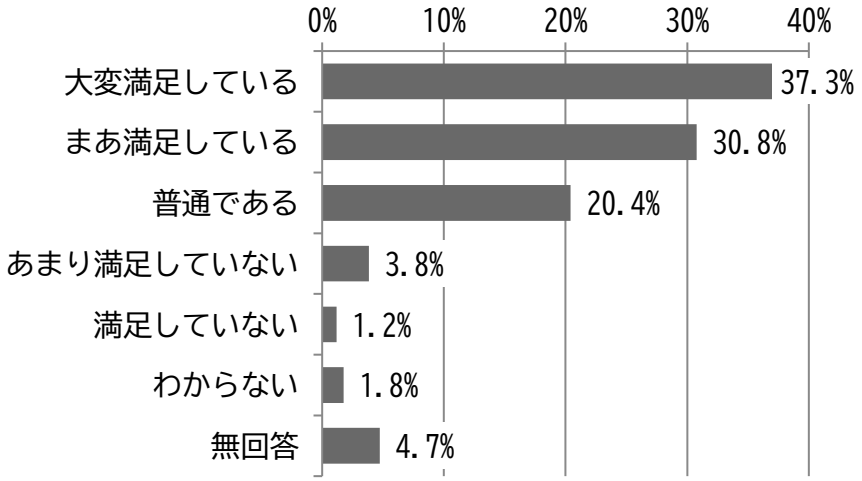


項目	度数	比率
市から提供された情報にもとづいて選んだ	151	44.7%
かかりつけの医師（医療機関）に相談して選んだ	32	9.5%
知人にすすめられて選んだ	33	9.8%
いくつかの事業所から話を聞いたり、見たりして選んだ	13	3.8%
インターネットやパンフレットなど施設の案内を見て選んだ	7	2.1%
その他	49	14.5%
わからない	26	7.7%
無回答	27	8.0%
合計	338	100.0%

問 14　あなたの担当ケアマネジャーの対応に満足していますか。[１つに○]

担当ケアマネジャーの対応の満足度では、「大変満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足』が 68.1%となっています。

一方、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』は、5.0%となっています。

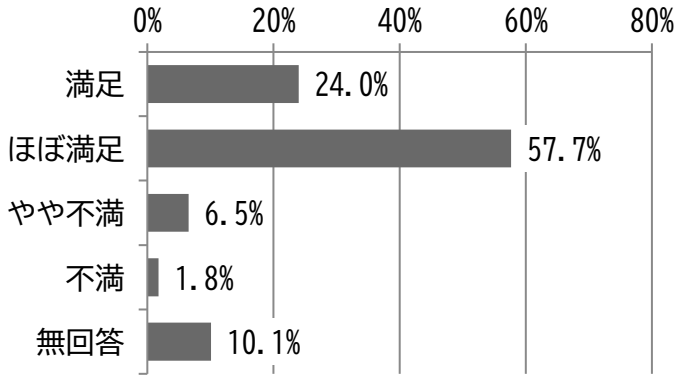


項目	度数	比率
大変満足している	126	37.3%
まあ満足している	104	30.8%
普通である	69	20.4%
あまり満足していない	13	3.8%
満足していない	4	1.2%
わからない	6	1.8%
無回答	16	4.7%
合計	338	100.0%

問 15　あなたが利用している介護保険サービス全般について、どのように評価されますか。[１つに○]

利用している介護保険サービス全般についての満足度では、「満足」「ほぼ満足」を合わせた『満足』が 81.7%となっています。

一方、「やや不満」「不満」を合わせた『不満』は、8.3%となっています。



項目	度数	比率
満足	81	24.0%
ほぼ満足	195	57.7%
やや不満	22	6.5%
不満	6	1.8%
無回答	34	10.1%
合計	338	100.0%

【問 15 で「やや不満」または「不満」を選択した方のみ回答】

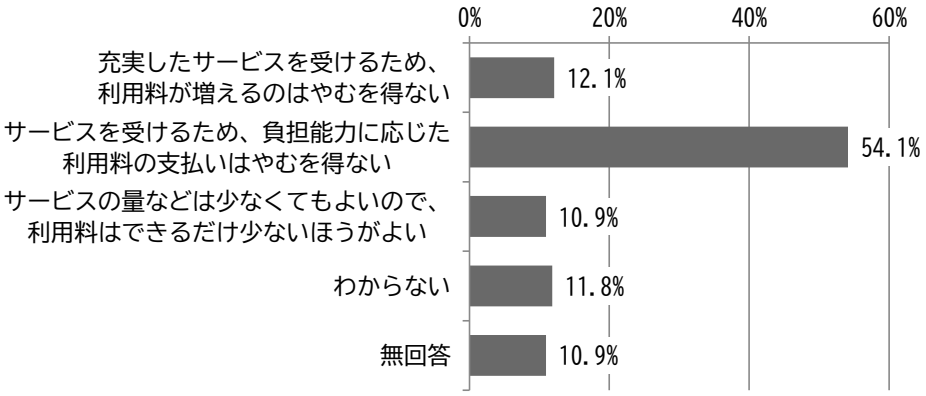
問 15-①　「やや不満」「不満」とした理由は。[１つに○]

『不満』の理由については、「自己負担が重い」が 28 件中６件、「希望する回数が利用できない」が４件となっています。

項目	度数	比率
希望する回数が利用できない	4	14.3%
希望する日時に利用できない	0	0.0%
事業者の説明が不十分	2	7.1%
事業者が要望を聞いてくれない	2	7.1%
約束どおりにサービスが提供されない	1	3.6%
介護サービスのレベルが低い	2	7.1%
言葉づかいや対応が悪い	2	7.1%
自己負担が重い	6	21.4%
その他	7	25.0%
無回答	2	7.1%
回答者数	28	100.0%

問 16　介護保険サービスを利用した場合に支払う利用料（自己負担分）についてどのようにお考えですか。[１つに○]

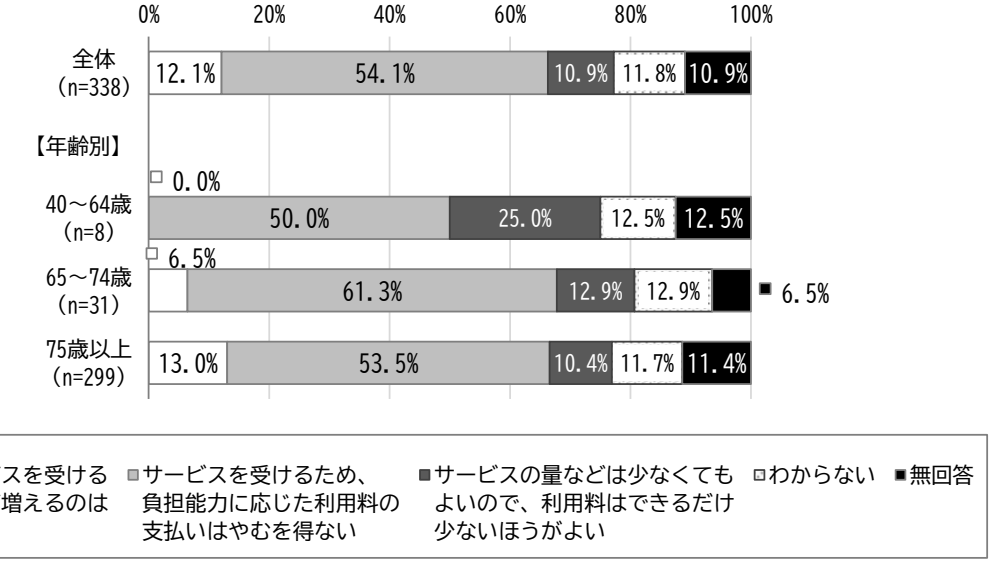
介護保険サービスを利用した場合に支払う利用料（自己負担分）については、「サービスを受けるため、負担能力に応じた利用料の支払いはやむを得ない」が 54.1%と最も多く、次いで、「充実したサービスを受けるため、利用料が増えるのはやむを得ない」が 12.1%、「わからない」が 11.8%となっています。



項目	度数	比率
充実したサービスを受けるため、利用料が増えるのはやむを得ない	41	12.1%
サービスを受けるため、負担能力に応じた利用料の支払いはやむを得ない	183	54.1%
サービスの量などは少なくてもよいので、利用料はできるだけ少ないほうがよい	37	10.9%
わからない	40	11.8%
無回答	37	10.9%
合計	338	100.0%

【年齢別クロス】

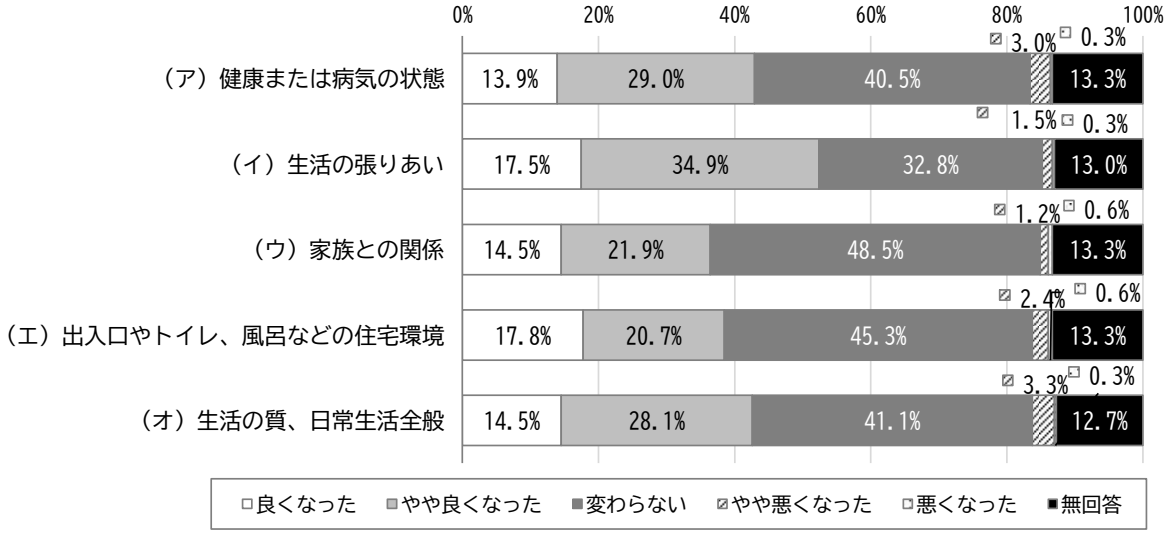
介護保険サービスの利用料を年齢別でみると、『75 歳以上』では「充実したサービスを受けるため、利用料が増えるのはやむを得ない」の割合が高く、『65～74 歳』では「サービスを受けるため、負担能力に応じた利用料の支払いはやむを得ない」の割合が高くなっています。



問 17　あなたは、介護保険サービスを利用したことで、身体の状態や生活が改善されましたか。[項目ごとに（全ての項目で）１つずつ○]（ア）～（オ）のそれぞれについて回答してください。

介護保険サービスを利用したことで、身体の状態や生活での改善についての「良くなった」「やや良くなった」を合わせた『良くなった』では、「（イ）生活の張りあい」が 52.4%と最も多く、次いで、「（ア）健康または病気の状態」が 42.9%、「（オ）生活の質、日常生活全般」が 42.6%となっています。

一方、「やや悪くなった」「悪くなった」を合わせた『悪くなった』では、「（オ）生活の質、日常生活全般」が 3.6%となっています。

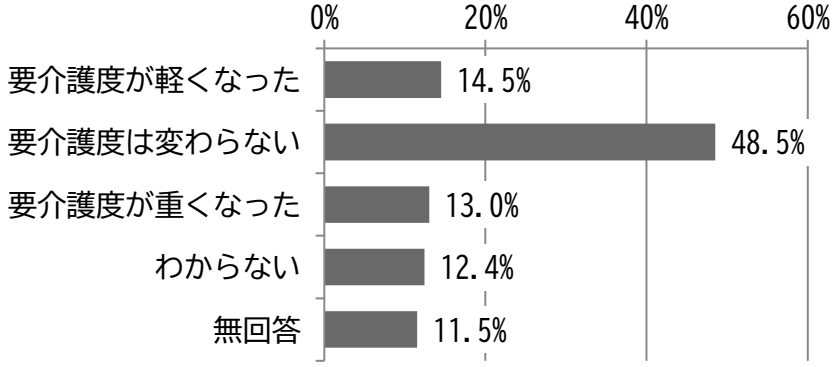


上段：度数　下段：比率

項目	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答	合計
（ア）健康または病気の状態	47	98	137	10	1	45	338
	13.9%	29.0%	40.5%	3.0%	0.3%	13.3%	100.0%
（イ）生活の張りあい	59	118	111	5	1	44	338
	17.5%	34.9%	32.8%	1.5%	0.3%	13.0%	100.0%
（ウ）家族との関係	49	74	164	4	2	45	338
	14.5%	21.9%	48.5%	1.2%	0.6%	13.3%	100.0%
（エ）出入口やトイレ、風呂などの住宅環境	60	70	153	8	2	45	338
	17.8%	20.7%	45.3%	2.4%	0.6%	13.3%	100.0%
（オ）生活の質、日常生活全般	49	95	139	11	1	43	338
	14.5%	28.1%	41.1%	3.3%	0.3%	12.7%	100.0%

問 18　介護保険サービスを利用した後、要介護度は変化しましたか。[１つに○]

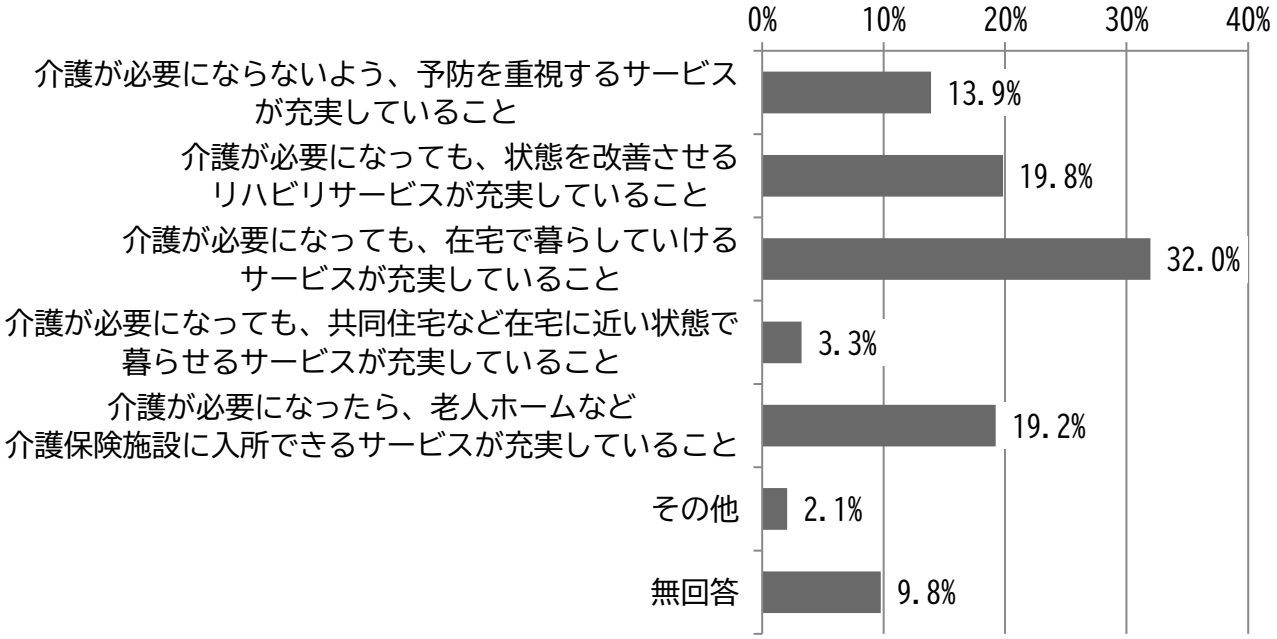
介護保険サービスを利用した後の要介護度の変化については、「要介護度は変わらない」が 48.5%と最も多く、次いで、「要介護度が軽くなった」が 14.5%、「要介護度が重くなった」が 13.0%となっています。



項目	度数	比率
要介護度が軽くなった	49	14.5%
要介護度は変わらない	164	48.5%
要介護度が重くなった	44	13.0%
わからない	42	12.4%
無回答	39	11.5%
合計	338	100.0%

問 19　あなたは、介護保険サービスにどのようなことを期待しますか。もっとも期待の高いものを選んでください。［１つに○］

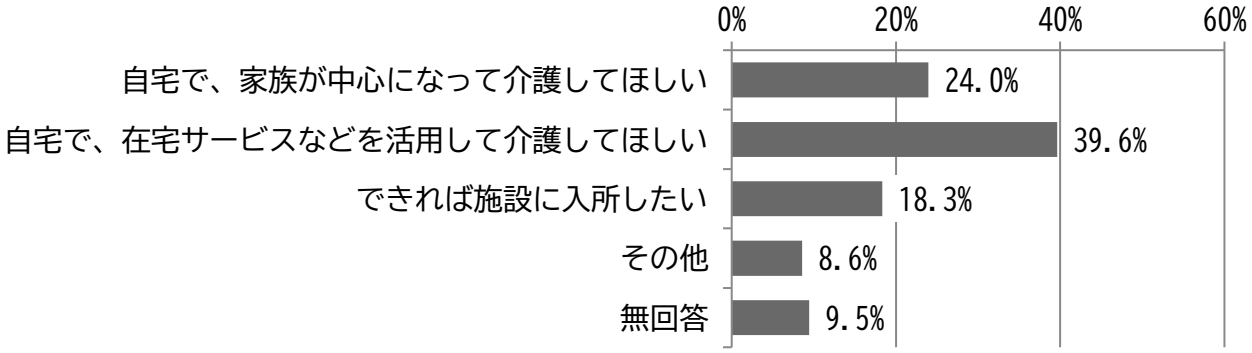
介護保険サービスに期待することでは、「介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること」が 32.0%と最も多く、次いで、「介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること」が 19.8%、「介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること」が 19.2%となっています。



項目	度数	比率
介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること	47	13.9%
介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること	67	19.8%
介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること	108	32.0%
介護が必要になっても、共同住宅など在宅に近い状態で暮らせるサービスが充実していること	11	3.3%
介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること	65	19.2%
その他	7	2.1%
無回答	33	9.8%
合計	338	100.0%

問 20　今後、あなたはどのような生活を望んでいますか。[１つに○]

今後、望んでいる生活については、「自宅で、在宅サービスなどを活用して介護してほしい」が 39.6%と最も多く、次いで、「自宅で、家族が中心になって介護してほしい」が 24.0%、「できれば施設に入所したい」が 18.3%となっています。

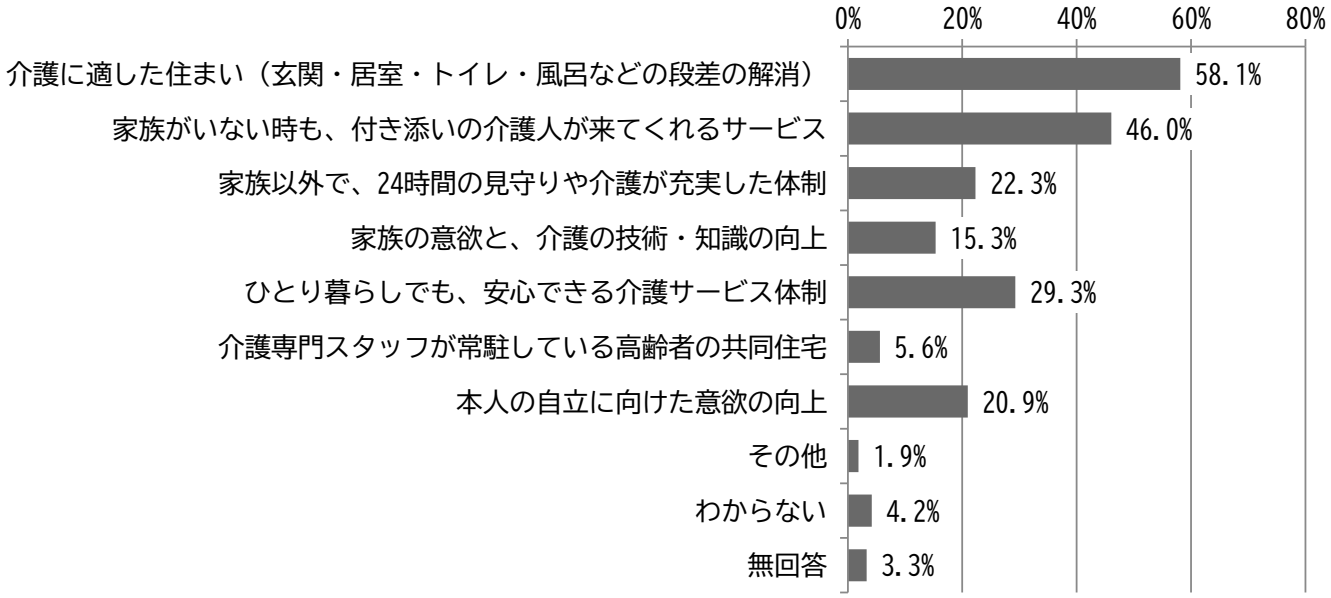


項目	度数	比率
自宅で、家族が中心になって介護してほしい	81	24.0%
自宅で、在宅サービスなどを活用して介護してほしい	134	39.6%
できれば施設に入所したい	62	18.3%
その他	29	8.6%
無回答	32	9.5%
合計	338	100.0%

【問 20 で「自宅で、家族が中心になって介護してほしい」または「自宅で、在宅サービスなどを活用して介護してほしい」を選択した方のみ回答】

問 20-①　住み慣れた自宅などで生活するためには、どのような条件が整うことが必要だと思いますか。[あてはまるものすべてに○]

住み慣れた自宅などで整うことができる生活をするために必要な条件については、「介護に適した住まい（玄関・居室・トイレ・風呂などの段差の解消)」が 58.1%と最も多く、次いで、「家族がいない時も、付き添いの介護人が来てくれるサービス」が 46.0%、「ひとり暮らしでも、安心できる介護サービス体制」が 29.3%となっています。



項目	度数	比率
介護に適した住まい（玄関・居室・トイレ・風呂などの段差の解消）	125	58.1%
家族がいない時も、付き添いの介護人が来てくれるサービス	99	46.0%
家族以外で、24時間の見守りや介護が充実した体制	48	22.3%
家族の意欲と、介護の技術・知識の向上	33	15.3%
ひとり暮らしでも、安心できる介護サービス体制	63	29.3%
介護専門スタッフが常駐している高齢者の共同住宅	12	5.6%
本人の自立に向けた意欲の向上	45	20.9%
その他	4	1.9%
わからない	9	4.2%
無回答	7	3.3%
回答者数	215	

【問 20 で「できれば施設に入所したい」を選択した方のみ回答】

問 20-②　それは、どの施設ですか。[あてはまるものすべてに○]

できれば入所したい施設については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 62 件中 34 件、「介護老人保健施設」が 14 件となっています。

項目	度数	比率
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	34	54.8%
介護老人保健施設	14	22.6%
グループホーム	6	9.7%
有料老人ホーム、ケアハウス	6	9.7%
その他	6	9.7%
無回答	11	17.7%
回答者数	62	

【問 20 で「できれば施設に入所したい」を選択した方のみ回答】

問 20-③　現時点での施設への入所・入居の検討状況についてご回答ください。[１つに○]

現時点での施設への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 62 件中 21 件、「入所・入居を検討している」が 16 件、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が 10 件となっています。

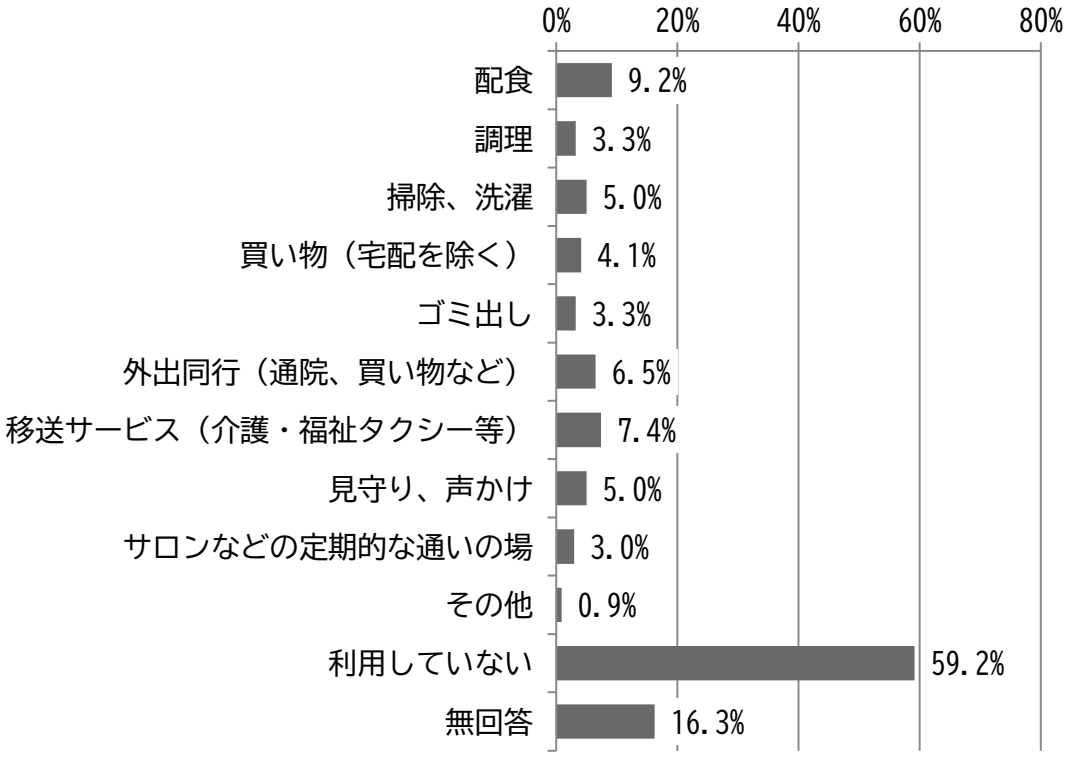
項目	度数	比率
入所・入居は検討していない	21	33.9%
入所・入居を検討している	16	25.8%
すでに入所・入居の申し込みをしている	10	16.1%
無回答	15	24.2%
回答者数	62	100.0%

6　保健・福祉サービスについて

問 21　現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてご回答ください。[あてはまるものすべてに○]

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて「配食」が 9.2%と最も多く、次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 7.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が 6.5%となっています。

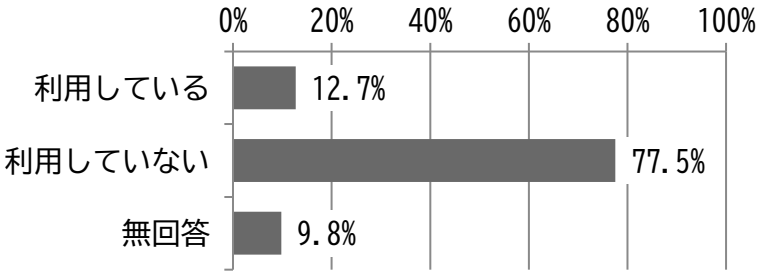
一方、「利用していない」は、59.2%となっています。



項目	度数	比率
配食	31	9.2%
調理	11	3.3%
掃除、洗濯	17	5.0%
買い物（宅配を除く）	14	4.1%
ゴミ出し	11	3.3%
外出同行（通院、買い物など）	22	6.5%
移送サービス（介護・福祉タクシー等）	25	7.4%
見守り、声かけ	17	5.0%
サロンなどの定期的な通いの場	10	3.0%
その他	3	0.9%
利用していない	200	59.2%
無回答	55	16.3%
回答者数	338	

問 22　現在、訪問診療（定期的・計画的に医師が訪問して行う診療）を利用していますか。[１つに○]

現在、訪問診療（定期的・計画的に医師が訪問して行う診療）を利用しているかについては、「利用していない」が 77.5%、「利用している」が 12.7%となっています。

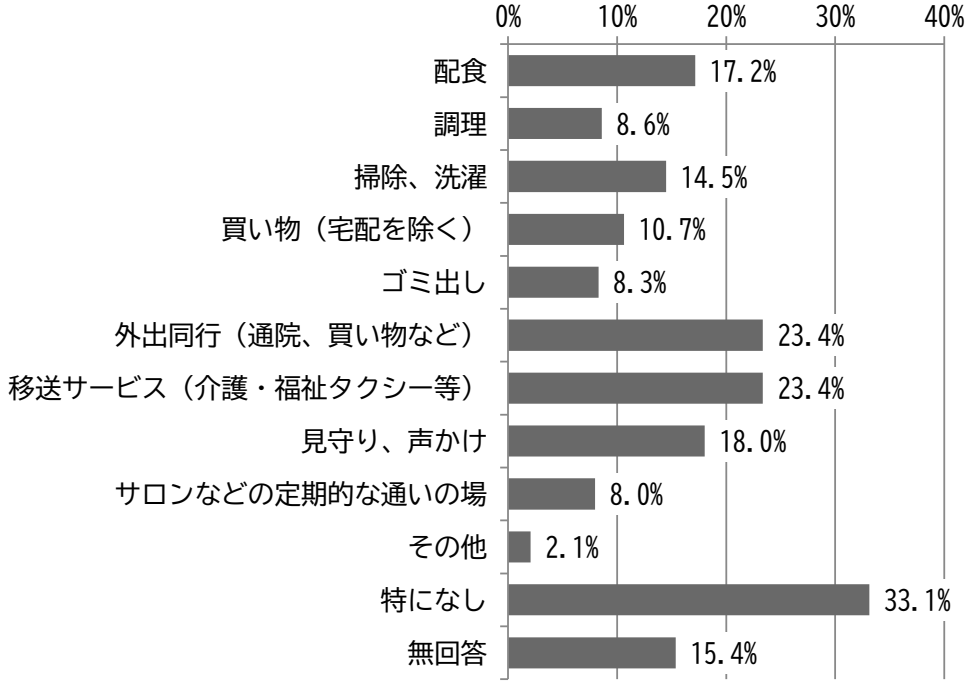


項目	度数	比率
利用している	43	12.7%
利用していない	262	77.5%
無回答	33	9.8%
合計	338	100.0%

問 23　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらに充実が必要と感じるものを含む）についてご回答ください。[あてはまるものすべてに○]

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに 23.4%と最も多く、次いで、「見守り、声かけ」が 18.0%となっています。

一方、「特になし」は、33.1%となっています。



項目	度数	比率
配食	58	17.2%
調理	29	8.6%
掃除、洗濯	49	14.5%
買い物（宅配を除く）	36	10.7%
ゴミ出し	28	8.3%
外出同行（通院、買い物など）	79	23.4%
移送サービス（介護・福祉タクシー等）	79	23.4%
見守り、声かけ	61	18.0%
サロンなどの定期的な通いの場	27	8.0%
その他	7	2.1%
特になし	112	33.1%
無回答	52	15.4%
回答者数	338	

【地域別クロス】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを地域別にみると、「特になし」を除き、『加須地域②』『加須地域③』『騎西地域』で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高く、「外出同行（通院、買い物など）」では『加須地域①』『加須地域②』『加須地域③』『大利根地域』で割合が高くなっています。

上段：度数　下段比率

項目	配食	調理	掃除、洗濯	買い物（宅配を除く）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	合計
全体	58	29	49	36	28	79	79	61	27	7	112	52	338
【地域別】													
加須地域①	22	8	20	14	7	30	29	23	10	1	37	20	118
加須地域②	5	5	7	5	2	10	10	5	3	3	20	5	45
加須地域③	5	3	4	4	3	11	14	9	1	0	11	6	39
騎西地域	9	3	6	4	6	11	12	11	5	3	15	9	56
北川辺地域	8	4	5	3	4	5	5	5	3	0	13	5	31
大利根地域	9	6	7	6	6	12	9	8	5	0	16	7	49
全体	17.2%	8.6%	14.5%	10.7%	8.3%	23.4%	23.4%	18.0%	8.0%	2.1%	***33.1%***	15.4%	
【地域別】													
加須地域①	18.6%	6.8%	16.9%	11.9%	5.9%	25.4%	24.6%	19.5%	8.5%	0.8%	***31.4%***	16.9%	
加須地域②	11.1%	11.1%	15.6%	11.1%	4.4%	22.2%	22.2%	11.1%	6.7%	6.7%	***44.4%***	11.1%	
加須地域③	12.8%	7.7%	10.3%	10.3%	7.7%	28.2%	***35.9%***	23.1%	2.6%	0.0%	28.2%	15.4%	
騎西地域	16.1%	5.4%	10.7%	7.1%	10.7%	19.6%	21.4%	19.6%	8.9%	5.4%	***26.8%***	16.1%	
北川辺地域	25.8%	12.9%	16.1%	9.7%	12.9%	16.1%	16.1%	16.1%	9.7%	0.0%	***41.9%***	16.1%	
大利根地域	18.4%	12.2%	14.3%	12.2%	12.2%	24.5%	18.4%	16.3%	10.2%	0.0%	***32.7%***	14.3%	

※色の説明　***斜体*** 上位1位　数字 上位2位

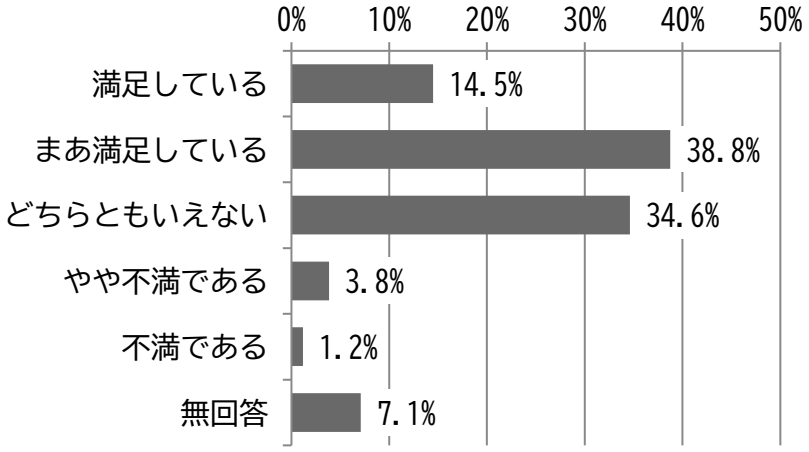
※一部地域の省略

加須地域①（加須、大桑、水深地区）
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

問 24　あなたは、加須市の保健・福祉サービス全般についてどのように感じますか。[１つに○]

加須市の保健・福祉サービス全般の満足度については、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している』が 53.3%となっています。

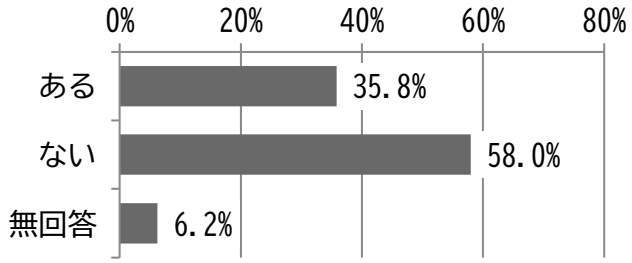
一方、「やや不満である」「不満である」を合わせた『不満である』は、5.0%となっています。



項目	度数	比率
満足している	49	14.5%
まあ満足している	131	38.8%
どちらともいえない	117	34.6%
やや不満である	13	3.8%
不満である	4	1.2%
無回答	24	7.1%
合計	338	100.0%

問 25　人生の最終段階における医療や介護などについて、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。[１つに○]

人生の最終段階における医療や介護などの希望を身近な人と話し合ったことがあるかについては、「ある」が 35.8%、「ない」が 58.0%となっています。

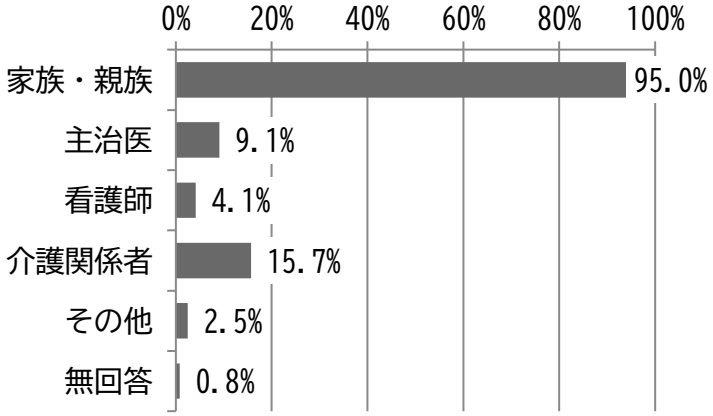


項目	度数	比率
ある	121	35.8%
ない	196	58.0%
無回答	21	6.2%
合計	338	100.0%

【問 25 で「ある」を選択した方のみ回答】

問 25-①　誰と話し合いましたか。[あてはまるものすべてに○]

話し合った相手については、「家族・親族」が 95.0%と最も多く、次いで、「介護関係者」が 15.7%、「主治医」が 9.1%となっています。

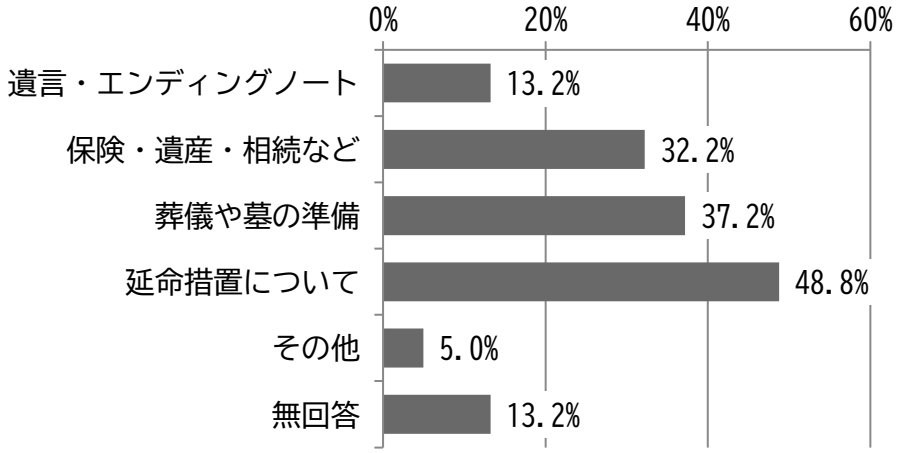


項目	度数	比率
家族・親族	115	95.0%
主治医	11	9.1%
看護師	5	4.1%
介護関係者	19	15.7%
その他	3	2.5%
無回答	1	0.8%
回答者数	121	

【問 25 で「ある」を選択した方のみ回答】

問 25-②　話し合った結果、具体的な準備に取りかかったものはありますか。[あてはまるものすべてに○]

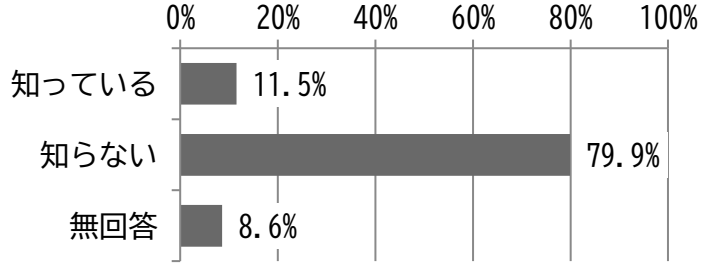
話し合った結果、準備に取りかかったものについては、「延命措置について」が 48.8%と最も多く、次いで、「葬儀や墓の準備」が 37.2%、「保険・遺産・相続など」が 32.2%となっています。



項目	度数	比率
遺言・エンディングノート	16	13.2%
保険・遺産・相続など	39	32.2%
葬儀や墓の準備	45	37.2%
延命措置について	59	48.8%
その他	6	5.0%
無回答	16	13.2%
回答者数	121	

問 26　あなたは、終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業を知っていますか。［1つに○］

終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業の認知度については、「知っている」が 11.5%、「知らない」が 79.9%となっています。



項目	度数	比率
知っている	39	11.5%
知らない	270	79.9%
無回答	29	8.6%
合計	338	100.0%

※「エンディングプラン・サポート事業」とは、頼れる身寄りがなく、自身の葬儀や納骨などに不安のある高齢者に対し、安心してこれらの生前契約を締結できるようにお手伝いするとともに、定期的な安否確認を行う事業です。

【問 26 で「知っている」を選択した方のみ回答】

問 26-①　あなたは、今後、エンディングプラン・サポート事業を利用したいですか。［1つに○］

今後、エンディングプラン・サポート事業を利用したいかでは、「利用したい」が 39 件中６件、「利用したくない」が 30 件となっています。

項目	度数	比率
利用したい	6	15.4%
利用したくない	30	76.9%
無回答	3	7.7%
回答者数	39	100.0%

【問 26-①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

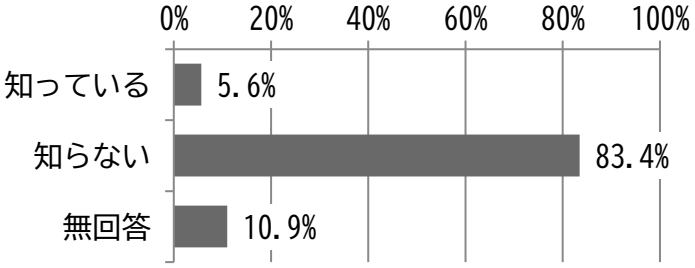
問 26-②　エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由については、「預託金の支払いなど費用の負担が心配」が 30 件中８件、「葬祭業者とのトラブルが怖い」が６件、「生前契約を締結した葬祭業者が倒産や廃業した場合が心配」が５件となっています。

項目	度数	比率
生前契約を締結した葬祭業者が倒産や廃業した場合が心配	5	16.7%
預託金の支払いなど費用の負担が心配	8	26.7%
葬祭業者とのトラブルが怖い	6	20.0%
死後の遺品整理や財産処分に関する事項が含まれていない	3	10.0%
その他	11	36.7%
無回答	6	20.0%
回答者数	30	

問 27　あなたは、終活支援のひとつである終活情報登録支援事業を知っていますか。[１つに○]

終活支援のひとつである終活情報登録支援事業の認知度については、「知っている」が 5.6%、「知らない」が 83.4%となっています。



項目	度数	比率
知っている	19	5.6%
知らない	282	83.4%
無回答	37	10.9%
合計	338	100.0%

※「終活情報登録支援事業」とは、自身が意思表示できなくなったときや亡くなったときに備え、緊急連絡先、かかりつけ医、資産に関することなどについて、あらかじめ市へ登録しておき、もしものときには、警察、消防、医療機関、福祉事務所及び緊急連絡先等からの照会に対し、ご本人に代わり市から速やかに回答できる体制を整備するための事業です。

【問 27 で「知っている」を選択した方のみ回答】

問 27-①　あなたは、終活情報登録支援事業を利用したいですか。[１つに○]

終活情報登録支援事業を利用したいかでは、「利用したい」が 19 件中４件、「利用したくない」が 11 件となっています。

項目	度数	比率
利用したい	4	21.1%
利用したくない	11	57.9%
無回答	4	21.1%
回答者数	19	100.0%

【問 27-①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

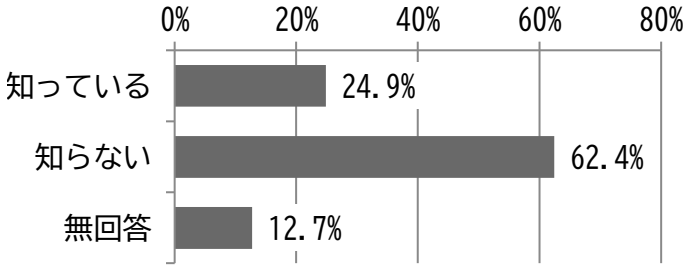
問 27-②　終活情報登録支援事業を利用したくないと考える理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

活情報登録支援事業を利用したくない理由については、「家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない」が 11 件中５件、「個人情報の流出が心配」、「他人に財産状況や生活状況を知られたくない」がともに３件となっています。

項目	度数	比率
個人情報の流出が心配	3	27.3%
他人に財産状況や生活状況を知られたくない	3	27.3%
家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない	5	45.5%
今はまだ元気なので、将来のことは心配していない	0	0.0%
その他	2	18.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	11	

問 28　あなたは、成年後見制度を知っていますか。[１つに○]

成年後見制度の認知度では、「知っている」が 24.9%、「知らない」が 62.4%となっています。

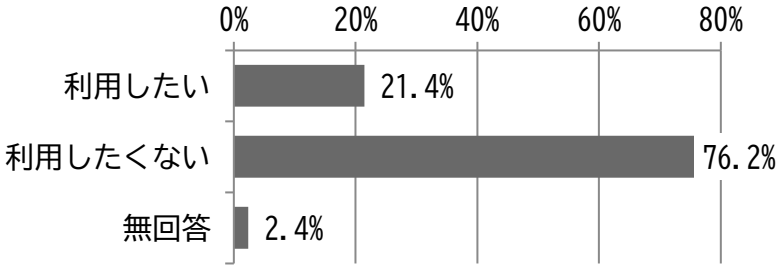


項目	度数	比率
知っている	84	24.9%
知らない	211	62.4%
無回答	43	12.7%
合計	338	100.0%

【問 28 で「知っている」を選択した方のみ回答】

問 28-①　今後、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか。[１つに○]

今後、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいかでは、「利用したい」が 21.4%、「利用したくない」が 76.2%となっています。



項目	度数	比率
利用したい	18	21.4%
利用したくない	64	76.2%
無回答	2	2.4%
回答者数	84	100.0%

【問 28-①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

問 28-②　成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

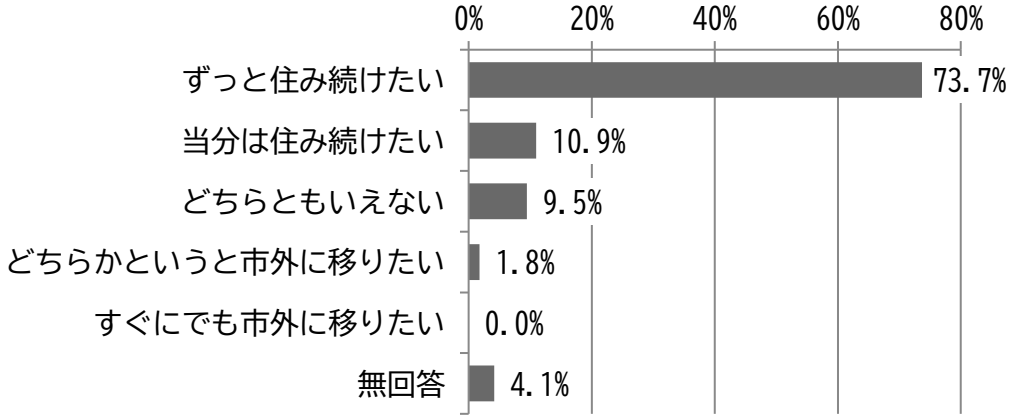
成年後見制度を利用したくない理由については、「家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい」が 64 件中 41 件、「後見人等に金銭管理等を任せることが心配」が 18 件、「申立費用・報酬費用等の負担が心配」が 17 件となっています。

項目	度数	比率
手続が難しそう	10	15.6%
申立費用・報酬費用等の負担が心配	17	26.6%
後見人等に金銭管理等を任せることが心配	18	28.1%
他人に財産状況や生活状況を知られたくない	11	17.2%
家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい	41	64.1%
誰に相談すればよいかが分からない	4	6.3%
後見人に誰が選任されるかわからないため不安	12	18.8%
その他	3	4.7%
無回答	4	6.3%
回答者数	64	

7　加須市への定住意向について

問 29　あなたは、これからも加須市に住み続けたいと思いますか。[１つに○]

加須市に住み続けたいと思うかについては、「ずっと住み続けたい」が 73.7%と最も多く、次いで、「当分は住み続けたい」が 10.9%、「どちらともいえない」が 9.5%となっています。



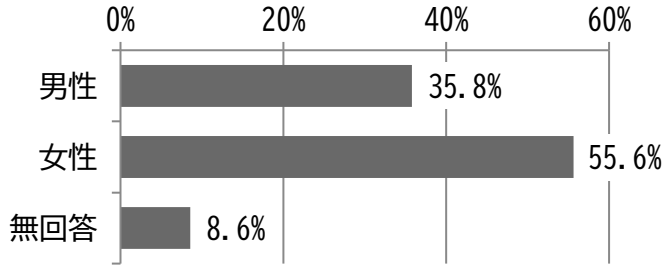
項目	度数	比率
ずっと住み続けたい	249	73.7%
当分は住み続けたい	37	10.9%
どちらともいえない	32	9.5%
どちらかというと市外に移りたい	6	1.8%
すぐにでも市外に移りたい	0	0.0%
無回答	14	4.1%
合計	338	100.0%

8　主な介護者の方について

問 30　主な介護者の方の性別、年齢について伺います。

（１）性別は。［１つに○］

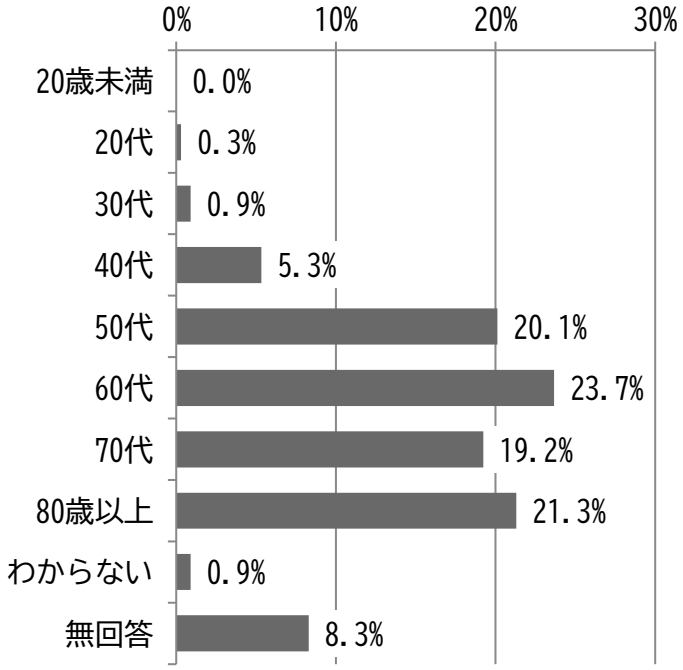
介護者の性別については、「男性」が 35.8%、「女性」が 55.6%となっています。



項目	度数	比率
男性	121	35.8%
女性	188	55.6%
無回答	29	8.6%
合計	338	100.0%

（２）年齢は。（令和７年 10 月１日現在）［１つに○］

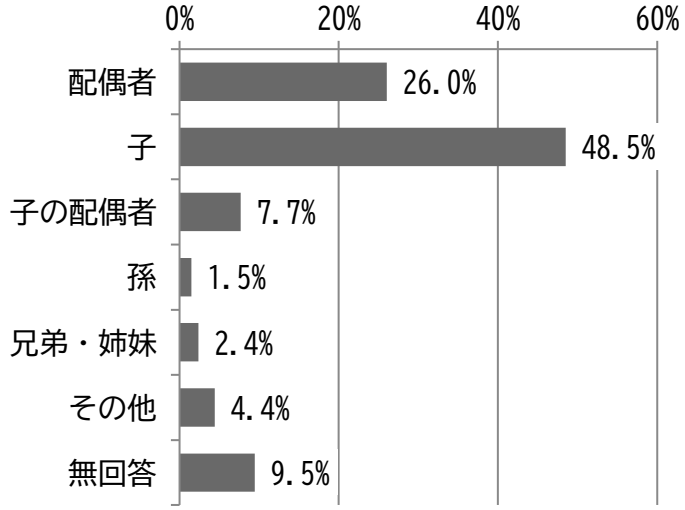
介護者の年齢については、「60 代」が 23.7%と最も多く、次いで、「80 歳以上」が 21.3%、「50 代」が 20.1%となっています。



項目	度数	比率
20歳未満	0	0.0%
20代	1	0.3%
30代	3	0.9%
40代	18	5.3%
50代	68	20.1%
60代	80	23.7%
70代	65	19.2%
80歳以上	72	21.3%
わからない	3	0.9%
無回答	28	8.3%
合計	338	100.0%

（３）主な介護者の方は。（高齢者ご本人から見た関係でお答えください）［１つに○］

介護者については、「子」が 48.5%と最も多く、次いで、「配偶者」が 26.0%、「子の配偶者」が 7.7%となっています。

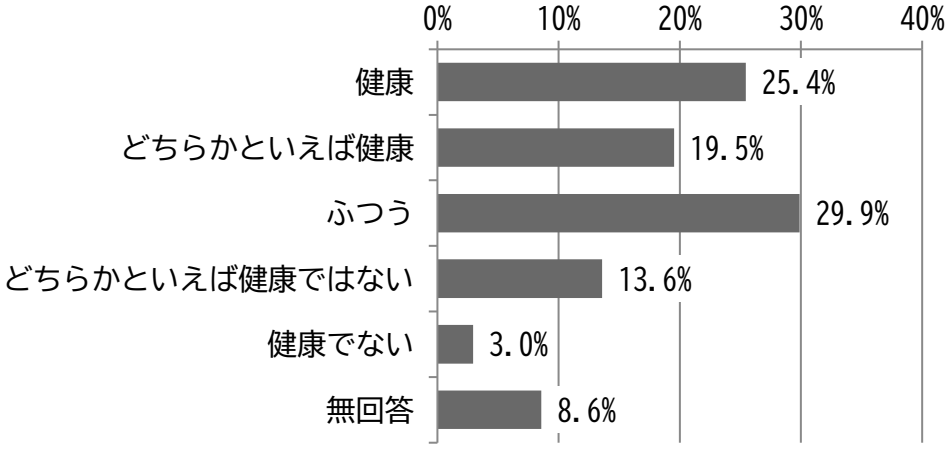


項目	度数	比率
配偶者	88	26.0%
子	164	48.5%
子の配偶者	26	7.7%
孫	5	1.5%
兄弟・姉妹	8	2.4%
その他	15	4.4%
無回答	32	9.5%
合計	338	100.0%

問 31　主な介護者の方の健康状態はいかがですか。［１つに○］

介護者の健康状態については、「健康」「どちらかといえば健康」を合わせた『健康』が 44.9%となっています。

一方、「どちらかといえば健康ではない」「健康ではない」を合わせた『健康ではない』は、16.6%となっています。

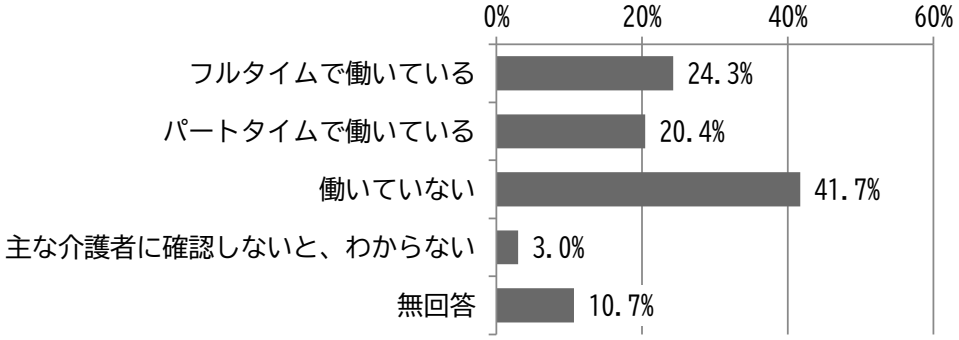


項目	度数	比率
健康	86	25.4%
どちらかといえば健康	66	19.5%
ふつう	101	29.9%
どちらかといえば健康ではない	46	13.6%
健康でない	10	3.0%
無回答	29	8.6%
合計	338	100.0%

問 32　主な介護者の方の現在の勤務形態について伺います。[１つに○]

介護者の現在の勤務形態については、「フルタイムで働いている」が 24.3%と最も多く、次いで、「パートタイムで働いている」が 20.4%となっています。

一方、「働いていない」が 41.7%となっています。



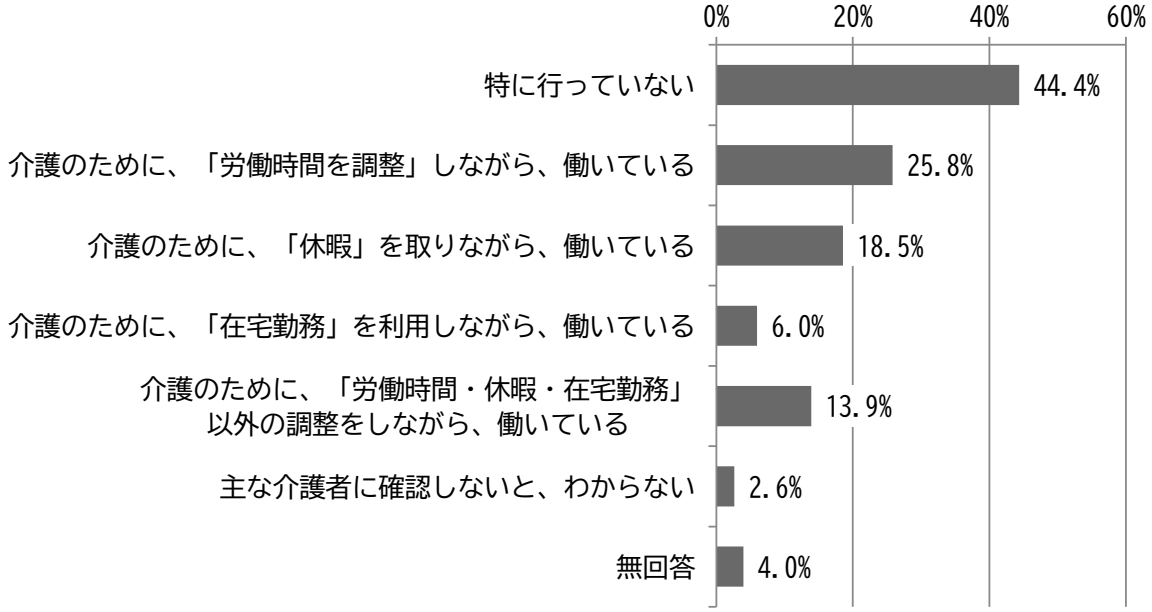
項目	度数	比率
フルタイムで働いている	82	24.3%
パートタイムで働いている	69	20.4%
働いていない	141	41.7%
主な介護者に確認しないと、わからない	10	3.0%
無回答	36	10.7%
合計	338	100.0%

【問 32 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」を選択した方のみ回答】

問 32-①　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。[あてはまるものすべてに○]

介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているかについては、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 25.8%と最も多く、次いで、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 18.5%となっています。

一方、「特に行っていない」が 44.4%となっています。

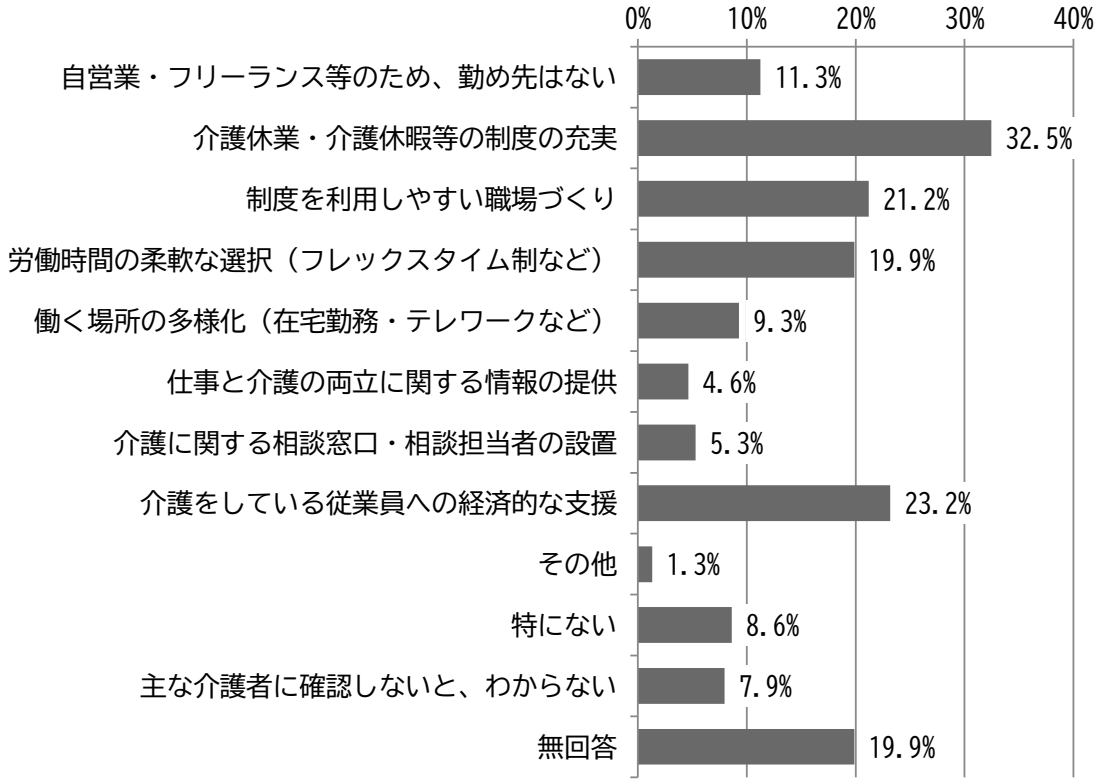


項目	度数	比率
特に行っていない	67	44.4%
介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	39	25.8%
介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	28	18.5%
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	9	6.0%
介護のために、「労働時間・休暇・在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている	21	13.9%
主な介護者に確認しないと、わからない	4	2.6%
無回答	6	4.0%
回答者数	151	

【問 32 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」を選択した方のみ回答】

問 32-②　主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。[３つまで○]

勤務先からの仕事と介護の両立に効果があると考えられる支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 32.5%と最も多く、次いで、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 23.2%、「制度を利用しやすい職場づくり」が 21.2%となっています。

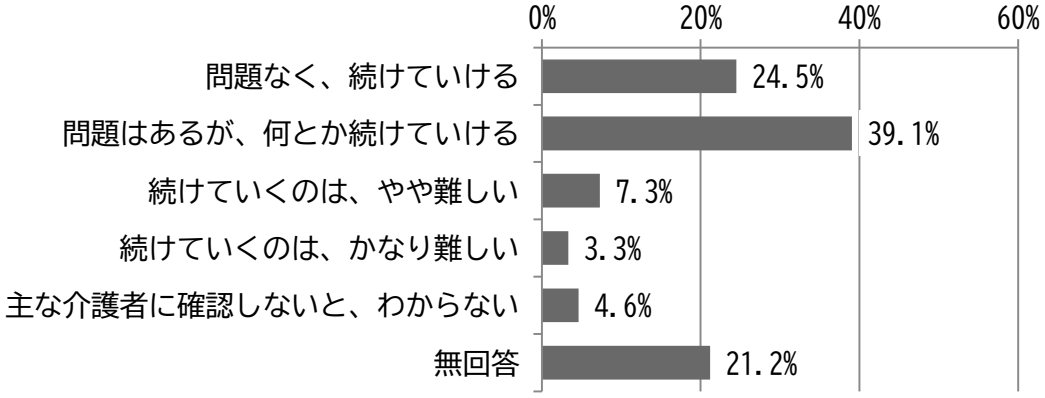


項目	度数	比率
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	17	11.3%
介護休業・介護休暇等の制度の充実	49	32.5%
制度を利用しやすい職場づくり	32	21.2%
労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	30	19.9%
働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	14	9.3%
仕事と介護の両立に関する情報の提供	7	4.6%
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	8	5.3%
介護をしている従業員への経済的な支援	35	23.2%
その他	2	1.3%
特にない	13	8.6%
主な介護者に確認しないと、わからない	12	7.9%
無回答	30	19.9%
回答者数	151	

【問 32 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」を選択した方のみ回答】

問 32-③　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。[１つに○]

今後も働きながら介護を続けていけそうであるかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が 39.1%と最も多く、次いで、「問題なく、続けていける」が 24.5%、「続けていくのは、やや難しい」が 7.3%となっています。

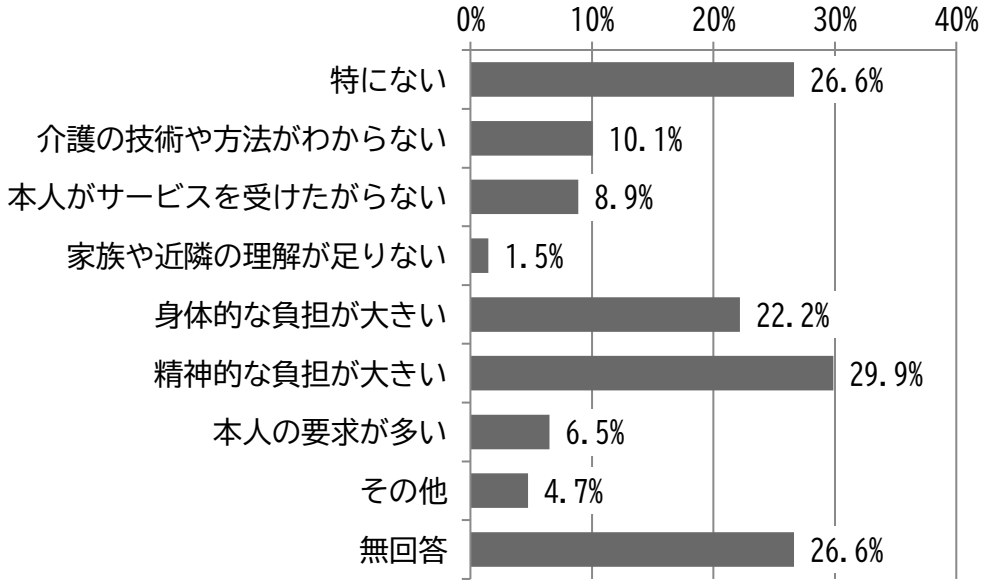


項目	度数	比率
問題なく、続けていける	37	24.5%
問題はあるが、何とか続けていける	59	39.1%
続けていくのは、やや難しい	11	7.3%
続けていくのは、かなり難しい	5	3.3%
主な介護者に確認しないと、わからない	7	4.6%
無回答	32	21.2%
回答者数	151	100.0%

問 33　主な介護者の方が、介護する上での困りごとがありますか。[あてはまるものすべてに○]

介護する上での困りごとについては、「精神的な負担が大きい」が 29.9%と最も多く、次いで、「身体的な負担が大きい」が 22.2%、「介護の技術や方法がわからない」が 10.1%となっています。

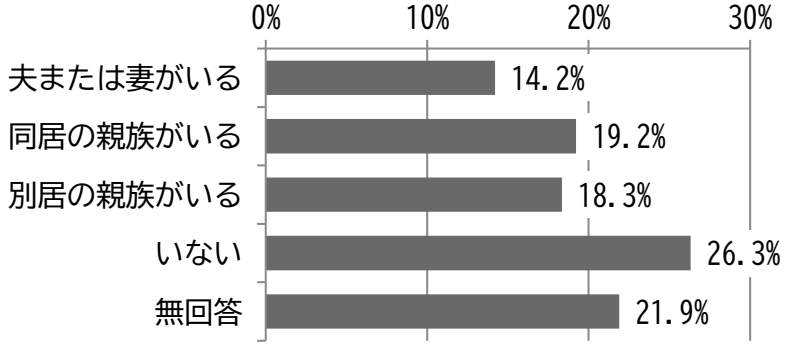
一方、「特にない」が 26.6%となっています。



項目	度数	比率
特にない	90	26.6%
介護の技術や方法がわからない	34	10.1%
本人がサービスを受けたがらない	30	8.9%
家族や近隣の理解が足りない	5	1.5%
身体的な負担が大きい	75	22.2%
精神的な負担が大きい	101	29.9%
本人の要求が多い	22	6.5%
その他	16	4.7%
無回答	90	26.6%
回答者数	338	

問 34　いざという時に、あなたに代わって介護をしてくれる家族、親族が身近にいますか。[１つに○]

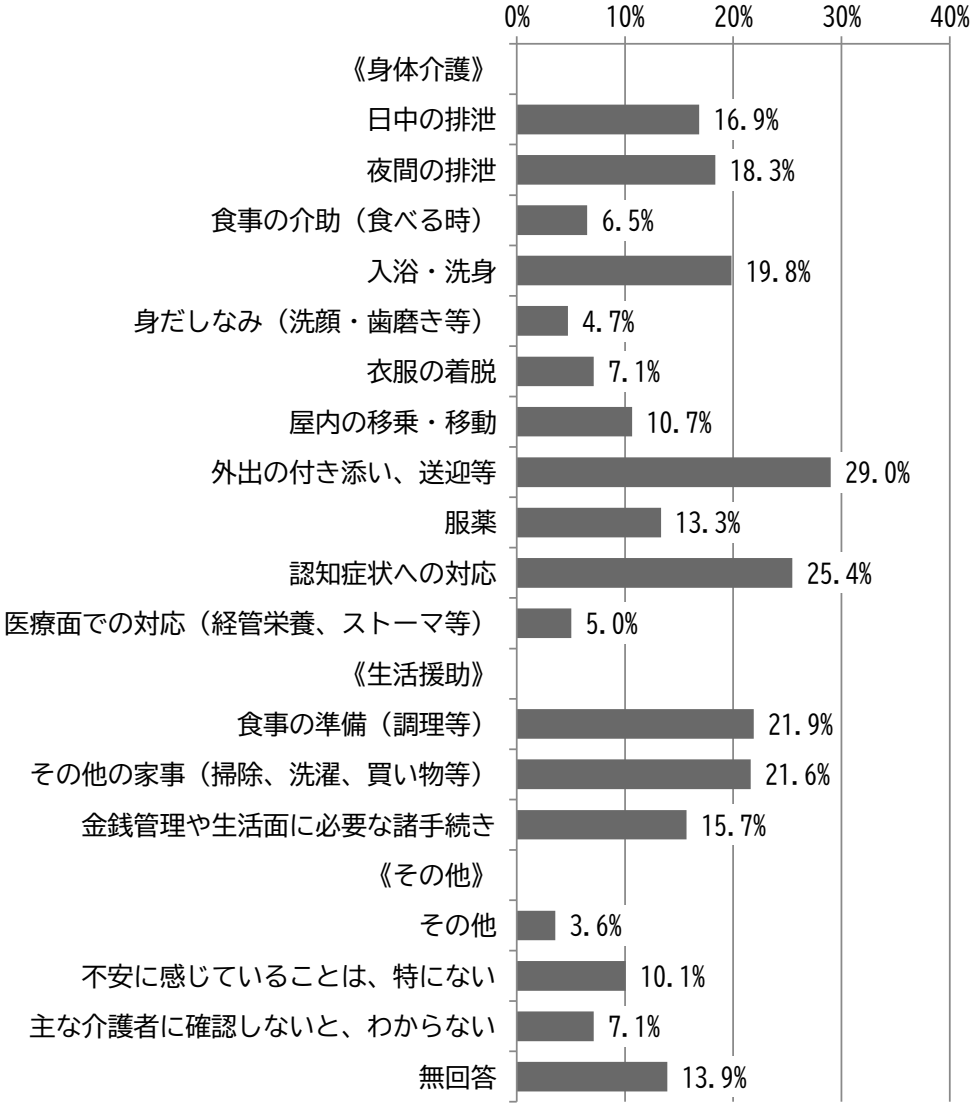
いざという時に、あなたに代わって介護をしてくれる家族、親族が身近にいるかについては、「いない」が 26.3%と最も多く、次いで、「同居の親族がいる」が 19.2%、「別居の親族がいる」が 18.3%となっています。



項目	度数	比率
夫または妻がいる	48	14.2%
同居の親族がいる	65	19.2%
別居の親族がいる	62	18.3%
いない	89	26.3%
無回答	74	21.9%
合計	338	100.0%

問 35　現在の生活を継続していく上で、主な介護者の方が不安に感じる介護について、ご回答ください。（現在行っているか否かは問いません）。［３つまで○］

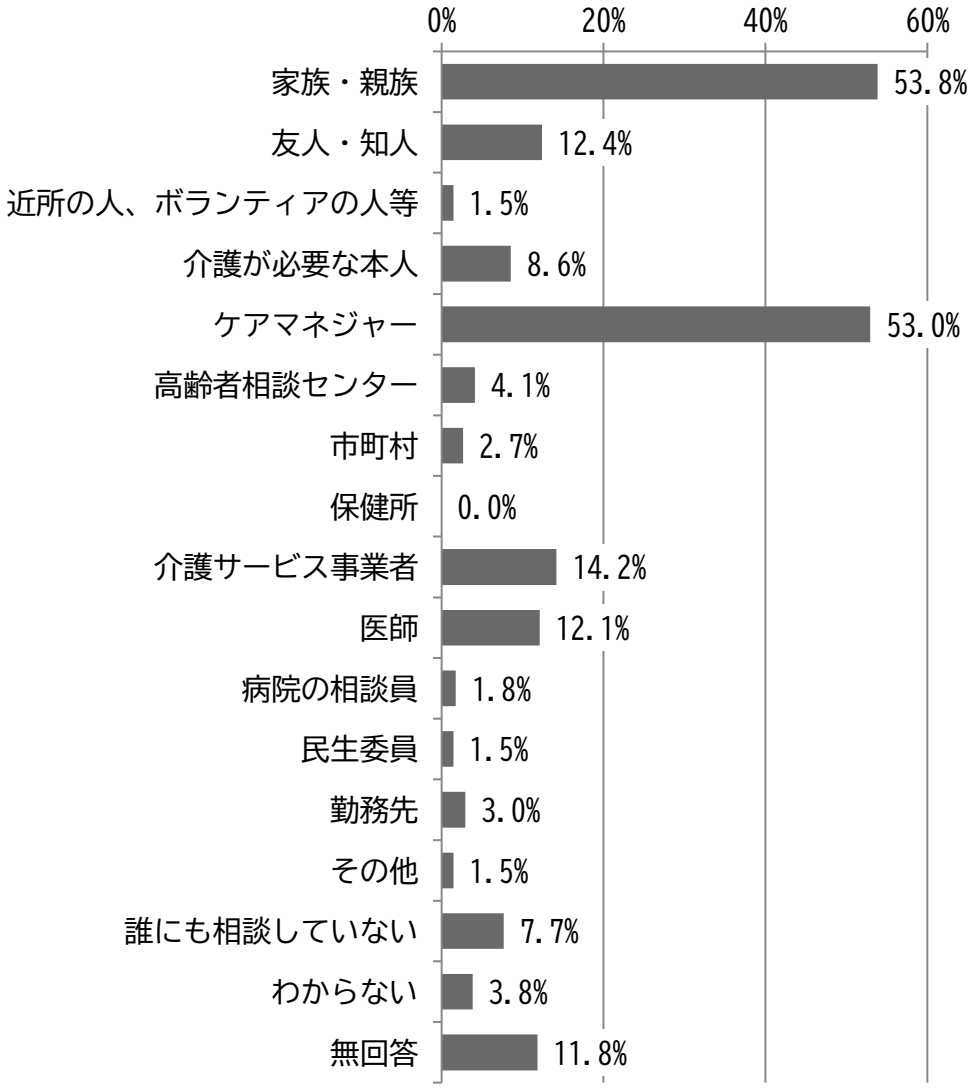
現在の生活を継続していく上で、介護者の方が不安に感じる介護については、「外出の付き添い、送迎等」が 29.0%と最も多く、次いで、「認知症状への対応」が 25.4%、「食事の準備（調理等）」が 21.9%となっています。



項目	度数	比率
《身体介護》		
日中の排泄	57	16.9%
夜間の排泄	62	18.3%
食事の介助（食べる時）	22	6.5%
入浴・洗身	67	19.8%
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	16	4.7%
衣服の着脱	24	7.1%
屋内の移乗・移動	36	10.7%
外出の付き添い、送迎等	98	29.0%
服薬	45	13.3%
認知症状への対応	86	25.4%
医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	17	5.0%
《生活援助》		
食事の準備（調理等）	74	21.9%
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	73	21.6%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	53	15.7%
《その他》		
その他	12	3.6%
不安に感じていることは、特にない	34	10.1%
主な介護者に確認しないと、わからない	24	7.1%
無回答	47	13.9%
回答者数	338	

問 36　主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。[あてはまるものすべてに○]

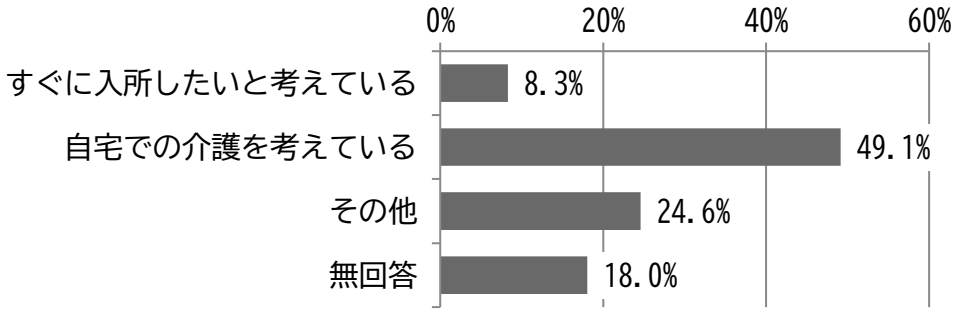
介護について相談している相手については、「家族・親族」が 53.8%と最も多く、次いで、「ケアマネジャー」が 53.0%、「介護サービス事業者」が 14.2%となっています。



項目	度数	比率
家族・親族	182	53.8%
友人・知人	42	12.4%
近所の人、ボランティアの人等	5	1.5%
介護が必要な本人	29	8.6%
ケアマネジャー	179	53.0%
高齢者相談センター	14	4.1%
市町村	9	2.7%
保健所	0	0.0%
介護サービス事業者	48	14.2%
医師	41	12.1%
病院の相談員	6	1.8%
民生委員	5	1.5%
勤務先	10	3.0%
その他	5	1.5%
誰にも相談していない	26	7.7%
わからない	13	3.8%
無回答	40	11.8%
回答者数	338	

問 37　今後、介護保険施設等への入所を考えていますか。[1 つに○]

今後、介護保険施設等への入所を考えているかについては、「すぐに入所したいと考えている」が 8.3%、「自宅での介護を考えている」が 49.1%となっています。



項目	度数	比率
すぐに入所したいと考えている	28	8.3%
自宅での介護を考えている	166	49.1%
その他	83	24.6%
無回答	61	18.0%
合計	338	100.0%

【問 37 で「すぐに入所したいと考えている」を選択した方のみ回答】

問 37-①　すぐにでも入所したいと考えている理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

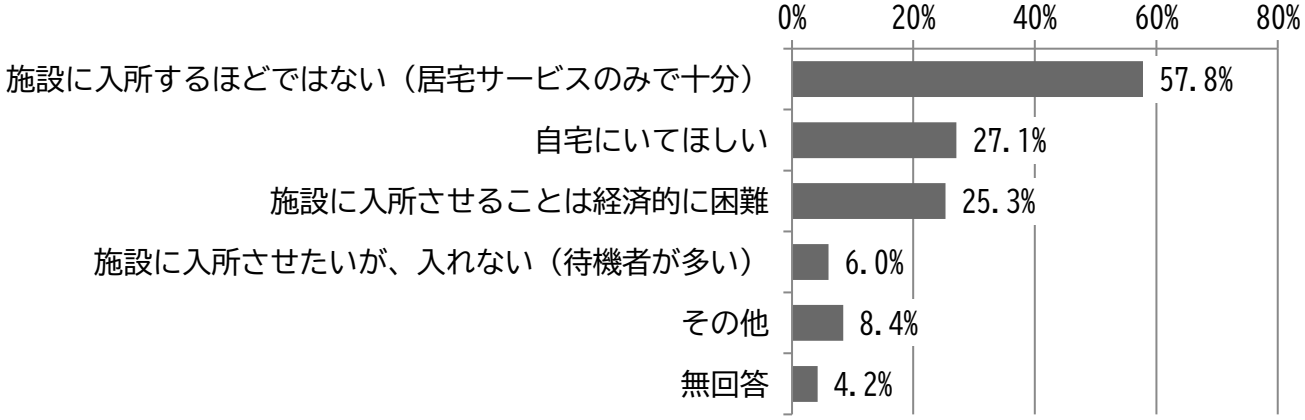
すぐにでも入所したいと考えている理由については、「介護者の負担が重すぎる」が 28 件中 18 件、「本人がひとり暮らし（又はそれに近い状況）で介護できる人がいない」が 10 件となっています。

項目	度数	比率
本人がひとり暮らし（又はそれに近い状況）で介護できる人がいない	10	35.7%
介護者の負担が重すぎる	18	64.3%
在宅サービスを受けているが不十分である	4	14.3%
病院などを退院・退所する期限が迫っている	2	7.1%
その他	2	7.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	28	

【問 37 で「自宅での介護を考えている」を選択した方のみ回答】

問 37-②　自宅での介護を考えている理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

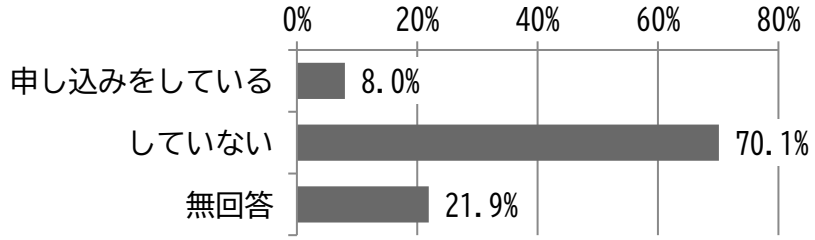
自宅での介護を考えている理由については、「施設に入所するほどではない（居宅サービスのみで十分）」が 57.8%と最も多く、次いで、「自宅にいてほしい」が 27.1%、「施設に入所させることは経済的に困難」が 25.3%となっています。



項目	度数	比率
施設に入所するほどではない（居宅サービスのみで十分）	96	57.8%
自宅にいてほしい	45	27.1%
施設に入所させることは経済的に困難	42	25.3%
施設に入所させたいが、入れない（待機者が多い）	10	6.0%
その他	14	8.4%
無回答	7	4.2%
回答者数	166	

問 38　現在、施設系サービスの申し込みをしていますか。[１つに○]

現在、施設系サービスの申し込みをしているかについては、「申し込みをしている」が 8.0%、「していない」が 70.1%となっています。



項目	度数	比率
申し込みをしている	27	8.0%
していない	237	70.1%
無回答	74	21.9%
合計	338	100.0%

■申込をしている箇所

申込をしている箇所については、「１箇所」が 27 件中 17 件となっております。

項目	度数	比率
１箇所	17	63.0%
２箇所	4	14.8%
３箇所	1	3.7%
無回答	5	18.5%
回答者数	27	100.0%

【問 38「申し込みをしている」を選択した方のみ回答】

問 38-①　それは、どの施設ですか。[あてはまるものすべてに○]

申し込みをしている施設については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 27 件中 11 件、「グループホーム」が７件、「有料老人ホーム、ケアハウス」が５件となっています。

項目	度数	比率
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	11	40.7%
介護老人保健施設	3	11.1%
グループホーム	7	25.9%
有料老人ホーム、ケアハウス	5	18.5%
その他	2	7.4%
無回答	1	3.7%
回答者数	27	

【問 38「申し込みをしている」を選択した方のみ回答】

問 38-②　あなたが上記の施設を選ぶ際に、重視したことは何ですか。[２つまで○]

施設を選ぶ際に、重視したことについては、「身近な地域にあること」が 27 件中 14 件、「ケアマネジャー等のすすめに従った」が 11 件、「施設の種類や内容」が８件となっています。

項目	度数	比率
施設の種類や内容	8	29.6%
高齢者本人の意向	5	18.5%
早く入所（入院）できること	3	11.1%
身近な地域にあること	14	51.9%
評判がよいこと	4	14.8%
ケアマネジャー等のすすめに従った	11	40.7%
その他	2	7.4%
無回答	3	11.1%
回答者数	27	

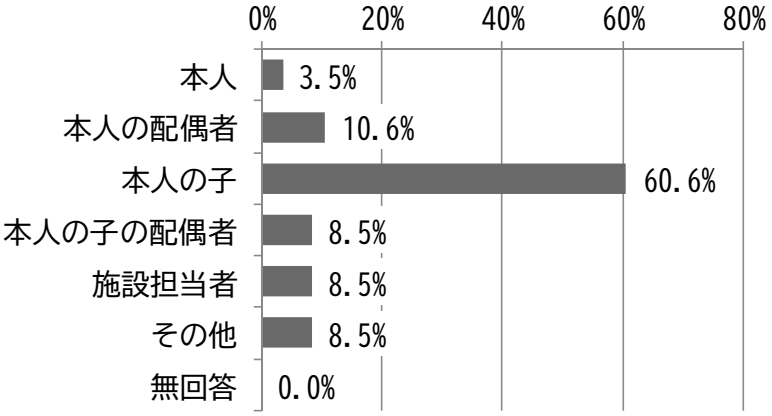
④施設サービス利用者

④施設サービス利用者

１　はじめに

Ｆ１　この調査の記入者はどなたですか。[１つに○]

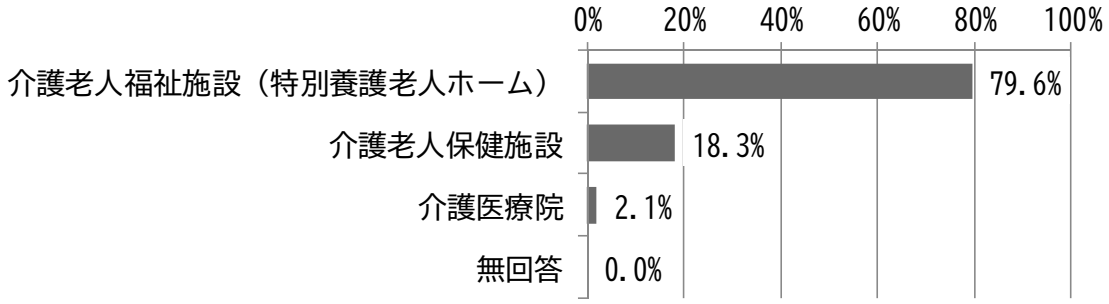
調査の記入者については、「本人の子」が 60.6%と最も多く、次いで、「本人の配偶者」が 10.6%となっています。



項目	度数	比率
本人	5	3.5%
本人の配偶者	15	10.6%
本人の子	86	60.6%
本人の子の配偶者	12	8.5%
施設担当者	12	8.5%
その他	12	8.5%
無回答	0	0.0%
合計	142	100.0%

Ｆ２　現在の入所施設の種類は。[１つに○]

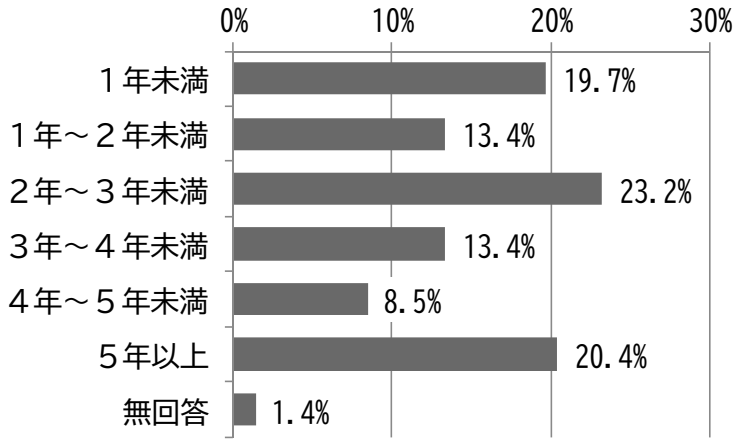
現在の入所施設の種類については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 79.6%と最も多く、次いで、「介護老人保健施設」が 18.3%、「介護医療院」が 2.1%となっています。



項目	度数	比率
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	113	79.6%
介護老人保健施設	26	18.3%
介護医療院	3	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	142	100.0%

Ｆ３　現在の施設に入所されて、どのくらいですか。[１つに○]

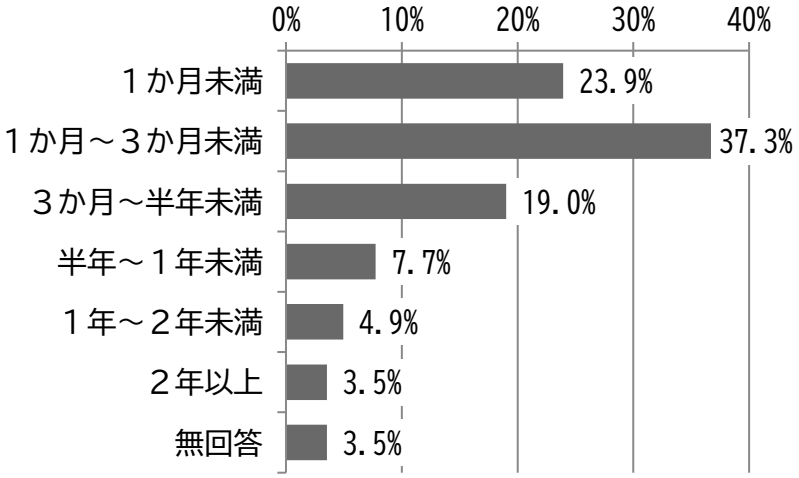
施設に入所されてからの期間については、「２年～３年未満」が 23.2%と最も多く、次いで、「５年以上」が 20.4%、「１年未満」が 19.7%となっています。



項目	度数	比率
１年未満	28	19.7%
１年～２年未満	19	13.4%
２年～３年未満	33	23.2%
３年～４年未満	19	13.4%
４年～５年未満	12	8.5%
５年以上	29	20.4%
無回答	2	1.4%
合計	142	100.0%

Ｆ４　入所を申し込んでから、実際入所できるまでどのくらい待ちましたか。[１つに○]

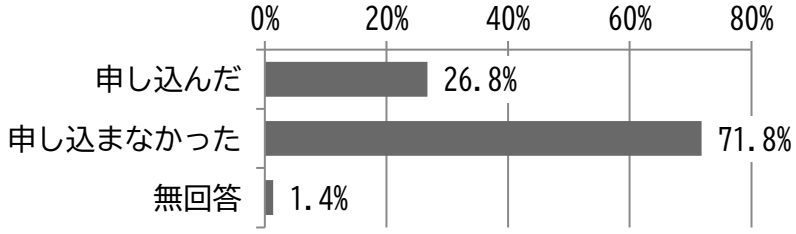
入所を申し込んでから、実際入所できるまでの期間については、「１か月～３か月未満」が 37.3%と最も多く、次いで、「１か月未満」が 23.9%、「３か月～半年未満」が 19.0%となっています。



項目	度数	比率
１か月未満	34	23.9%
１か月～３か月未満	53	37.3%
３か月～半年未満	27	19.0%
半年～１年未満	11	7.7%
１年～２年未満	7	4.9%
２年以上	5	3.5%
無回答	5	3.5%
合計	142	100.0%

Ｆ５　入所に当たって、複数の施設に申し込みましたか。[１つに○]

入所に当たって、複数の施設に申し込みをしたかについては、「申し込んだ」が 26.8%、「申し込まなかった」が 71.8%となっています。



項目	度数	比率
申し込んだ	38	26.8%
申し込まなかった	102	71.8%
無回答	2	1.4%
合計	142	100.0%

【Ｆ５で「申し込んだ」を選択した方のみ回答】

Ｆ５-①　申し込まなかった。それはなぜですか。[１つに○]

申し込まなかった理由については、「１か所のみだとなかなか順番が回ってこないと思った」が 38 件中 27 件、「場所にこだわらず、すぐに入所したかった」が６件となっています。

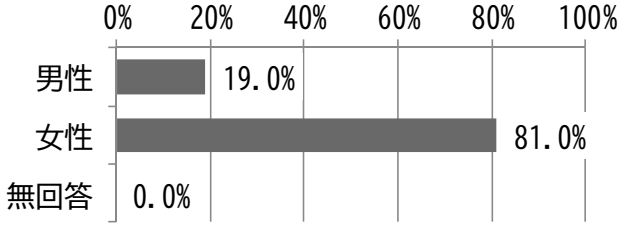
項目	度数	比率
場所にこだわらず、すぐに入所したかった	6	15.8%
１か所のみだとなかなか順番が回ってこないと思った	27	71.1%
その他	4	10.5%
無回答	1	2.6%
回答者数	38	100.0%

２　ご本人（あなた）について

問１　ご本人の性別、年齢等について伺います。

（１）性別は。［１つに○］

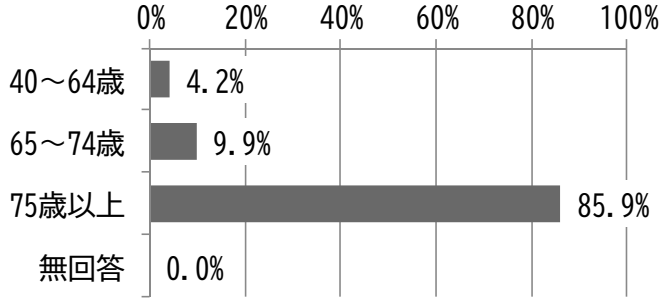
性別については、「男性」が 19.0%、「女性」が 81.0%となっています。



項目	度数	比率
男性	27	19.0%
女性	115	81.0%
無回答	0	0.0%
合計	142	100.0%

（２）年齢は。（令和７年１０月１日現在）［１つに○］

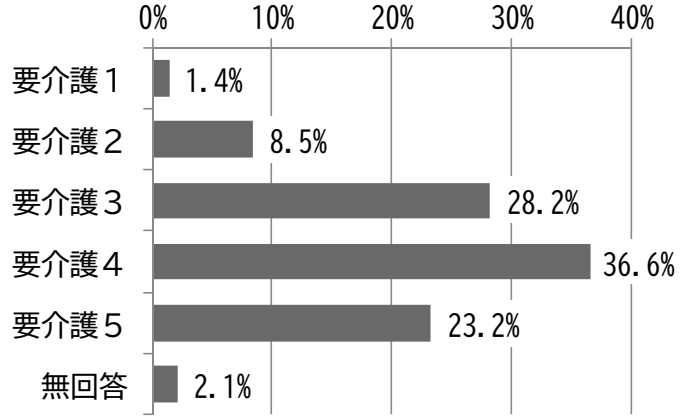
年齢については、「75 歳以上」が 85.9%、「65～74 歳」が 9.9%、「40～64 歳」が 4.2%となっています。



項目	度数	比率
40～64歳	6	4.2%
65～74歳	14	9.9%
75歳以上	122	85.9%
無回答	0	0.0%
合計	142	100.0%

（３）現在、認定されている要介護度は。（要介護度は介護保険証に記載されています。）［１つに○］

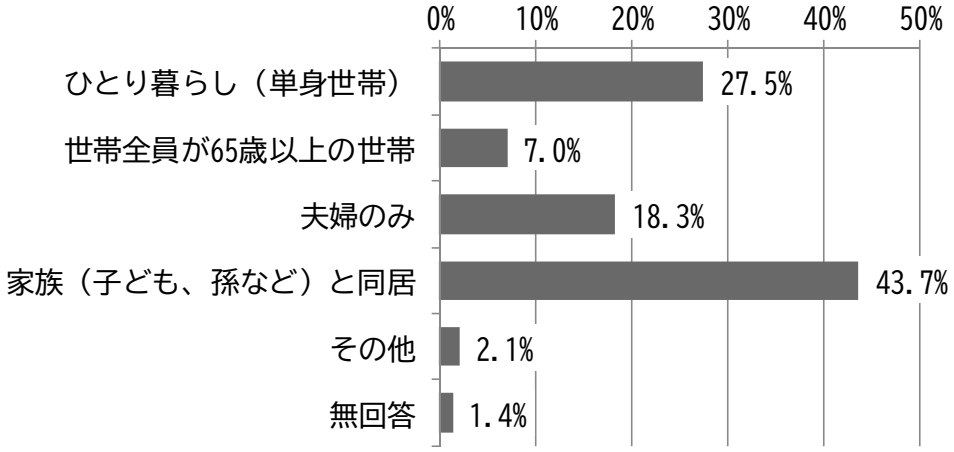
現在、認定されている要介護度については、「要介護４」が 36.6%と最も多く、次いで、「要介護３」が 28.2%、「要介護５」が 23.2%となっています。



項目	度数	比率
要介護１	2	1.4%
要介護２	12	8.5%
要介護３	40	28.2%
要介護４	52	36.6%
要介護５	33	23.2%
無回答	3	2.1%
合計	142	100.0%

問２　入所前のご家族の状況について伺います。[１つに○]

入所前のご家族の状況については、「家族（子ども、孫など）と同居」が 43.7%と最も多く、次いで、「ひとり暮らし（単身世帯）」が 27.5%、「夫婦のみ」が 18.3%となっています。

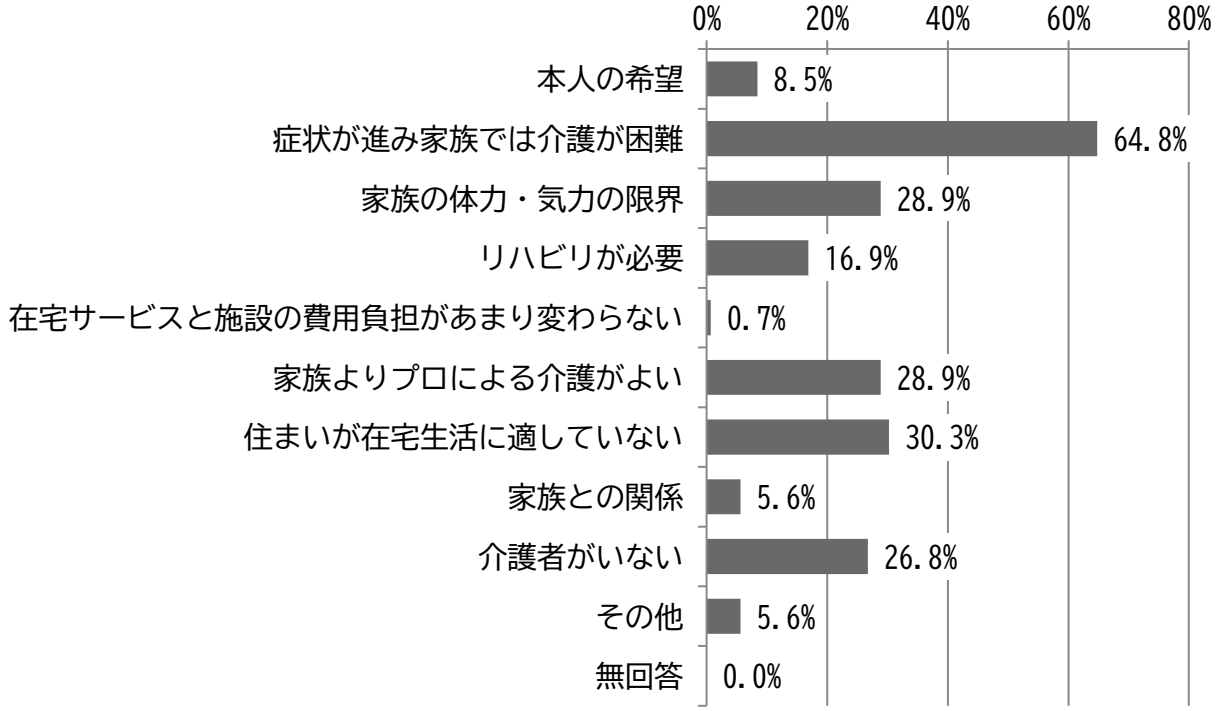


項目	度数	比率
ひとり暮らし（単身世帯）	39	27.5%
世帯全員が65歳以上の世帯	10	7.0%
夫婦のみ	26	18.3%
家族（子ども、孫など）と同居	62	43.7%
その他	3	2.1%
無回答	2	1.4%
合計	142	100.0%

３　施設を選んだ理由について

問３　主に、どのような理由で入所されましたか。[３つまで○]

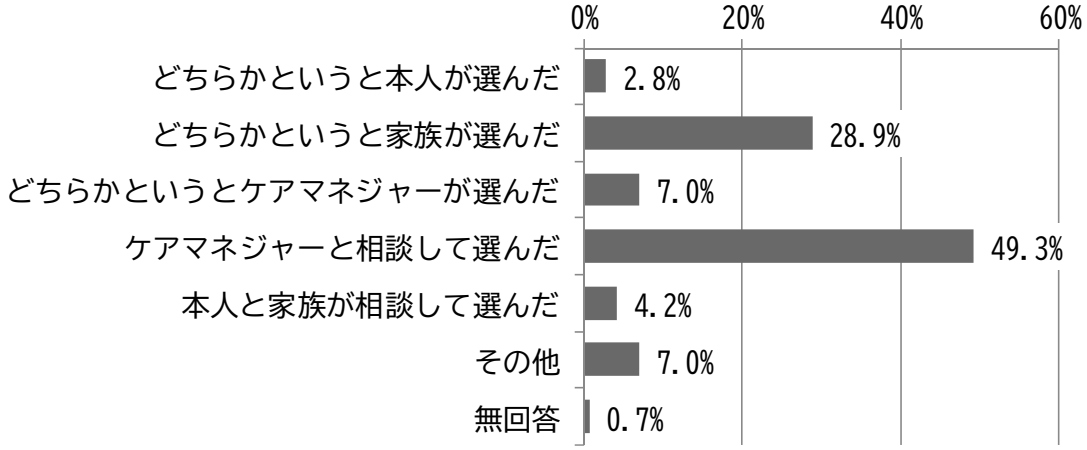
入所した理由については、「症状が進み家族では介護が困難」が 64.8%と最も多く、次いで、「住まいが在宅生活に適していない」が 30.3%、「家族の体力・気力の限界」、「家族よりプロによる介護がよい」がともに 28.9%となっています。



項目	度数	比率
本人の希望	12	8.5%
症状が進み家族では介護が困難	92	64.8%
家族の体力・気力の限界	41	28.9%
リハビリが必要	24	16.9%
在宅サービスと施設の費用負担があまり変わらない	1	0.7%
家族よりプロによる介護がよい	41	28.9%
住まいが在宅生活に適していない	43	30.3%
家族との関係	8	5.6%
介護者がいない	38	26.8%
その他	8	5.6%
無回答	0	0.0%
回答者数	142	

問４　現在、入所している施設は、どのように選びましたか。[１つに○]

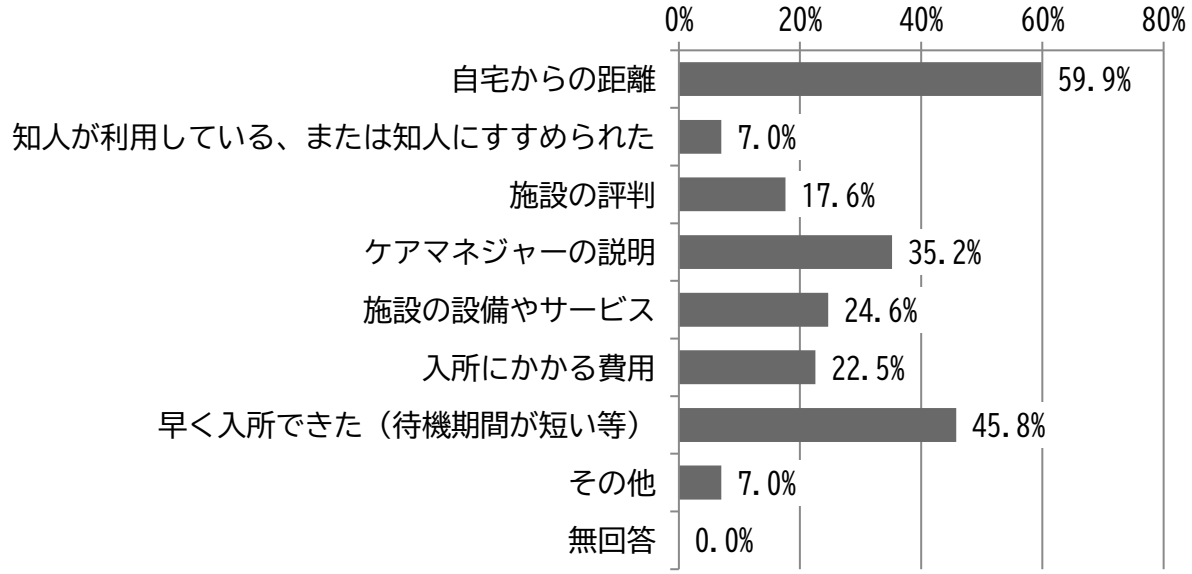
入所している施設を選んだ理由については､「ケアマネジャーと相談して選んだ」が 49.3%と最も多く、次いで、「どちらかというと家族が選んだ」が 28.9%、「どちらかというとケアマネジャーが選んだ」が 7.0%となっています。



項目	度数	比率
どちらかというと本人が選んだ	4	2.8%
どちらかというと家族が選んだ	41	28.9%
どちらかというとケアマネジャーが選んだ	10	7.0%
ケアマネジャーと相談して選んだ	70	49.3%
本人と家族が相談して選んだ	6	4.2%
その他	10	7.0%
無回答	1	0.7%
合計	142	100.0%

問５　施設を選んだ時に、特に重視したことは何ですか。［３つまで○］

施設を選んだ時に、特に重視したことについては、「自宅からの距離」が 59.9%と最も多く、次いで、「早く入所できた（待機期間が短い等）」が 45.8%、「ケアマネジャーの説明」が 35.2%となっています。

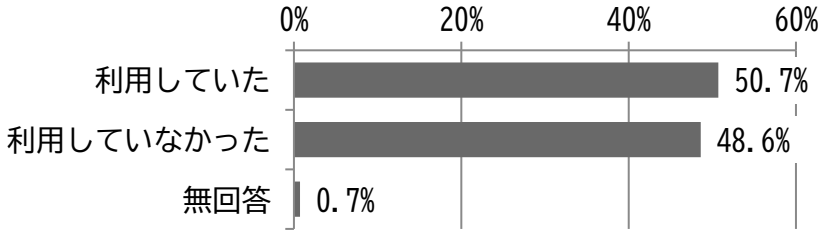


項目	度数	比率
自宅からの距離	85	59.9%
知人が利用している、または知人にすすめられた	10	7.0%
施設の評判	25	17.6%
ケアマネジャーの説明	50	35.2%
施設の設備やサービス	35	24.6%
入所にかかる費用	32	22.5%
早く入所できた（待機期間が短い等）	65	45.8%
その他	10	7.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	142	

４　入所する前の居宅サービスの利用状況について

問６　現在の施設に入所する以前、介護保険による「居宅介護サービス」を利用していましたか。［１つに○］

現在の施設に入所する以前、介護保険による「居宅介護サービス」への利用については、「利用していた」が 50.7%、「利用していなかった」が 48.6%となっています。

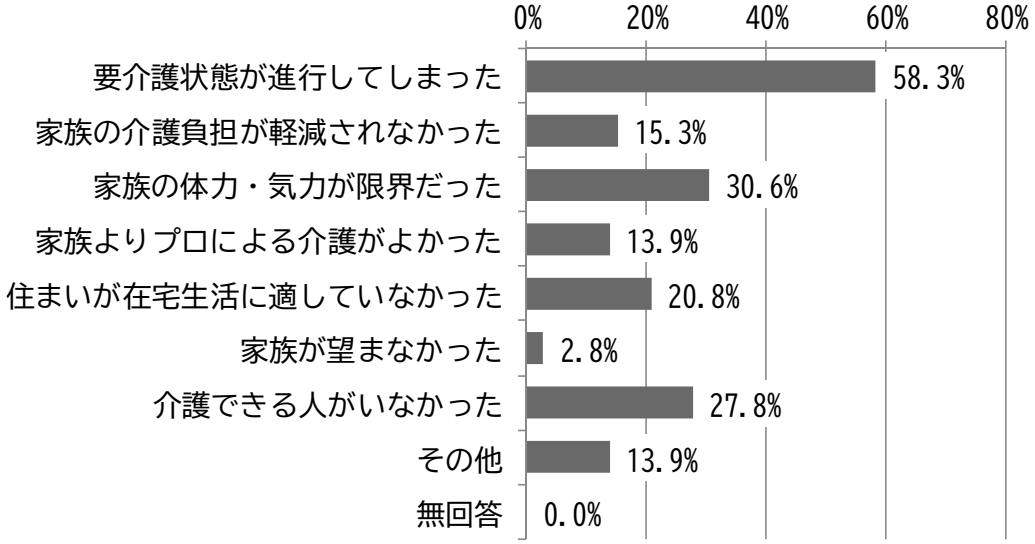


項目	度数	比率
利用していた	72	50.7%
利用していなかった	69	48.6%
無回答	1	0.7%
合計	142	100.0%

【問６で「利用していた」を選択した方のみ回答】

問６-①　居宅介護サービスを利用しながら、在宅での生活が続けられなかった主な理由は何ですか。［２つまで○］

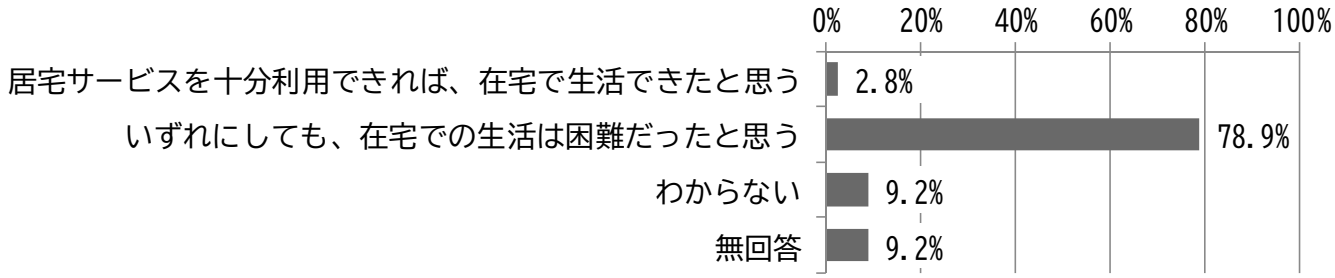
居宅介護サービスを利用しながら、在宅での生活が続けられなかった理由については、「要介護状態が進行してしまった」が 58.3%と最も多く、次いで、「家族の体力・気力が限界だった」が 30.6%、「介護できる人がいなかった」が 27.8%となっています。



項目	度数	比率
要介護状態が進行してしまった	42	58.3%
家族の介護負担が軽減されなかった	11	15.3%
家族の体力・気力が限界だった	22	30.6%
家族よりプロによる介護がよかった	10	13.9%
住まいが在宅生活に適していなかった	15	20.8%
家族が望まなかった	2	2.8%
介護できる人がいなかった	20	27.8%
その他	10	13.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	72	

問７　十分な「居宅サービス」を利用していれば、在宅での生活が続けられたと思いますか。[１つに○]

十分な「居宅サービス」を利用していれば、在宅での生活が続けられたと思うかについては、「いずれにしても、在宅での生活は困難だったと思う」が 78.9%と最も多く、次いで、「わからない」が 9.2%、「居宅サービスを十分利用できれば、在宅で生活できたと思う」が 2.8%となっています。

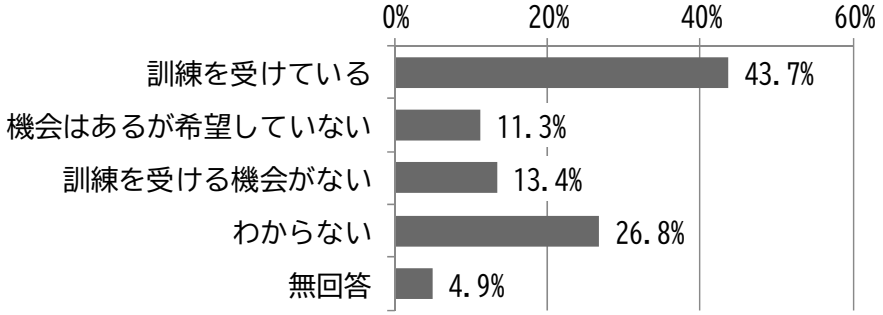


項目	度数	比率
居宅サービスを十分利用できれば、在宅で生活できたと思う	4	2.8%
いずれにしても、在宅での生活は困難だったと思う	112	78.9%
わからない	13	9.2%
無回答	13	9.2%
合計	142	100.0%

５　施設サービスの利用状況について

問８　介護が必要な状態を改善するための機能訓練などを受けていますか。[１つに○]

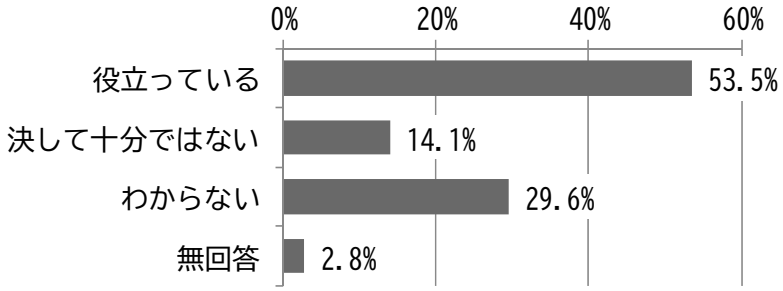
機能訓練などを受けているかについては、「訓練を受けている」が 43.7%と最も多く、次いで、「訓練を受ける機会がない」が 13.4%となっています。



項目	度数	比率
訓練を受けている	62	43.7%
機会はあるが希望していない	16	11.3%
訓練を受ける機会がない	19	13.4%
わからない	38	26.8%
無回答	7	4.9%
合計	142	100.0%

問９　施設でのサービスは、要介護状態の改善に役立っていると思いますか。[１つに○]

施設でのサービスは、要介護状態の改善に役立っていると思うかについては、「役立っている」が 53.5%、「決して十分ではない」が 14.1%となっています。

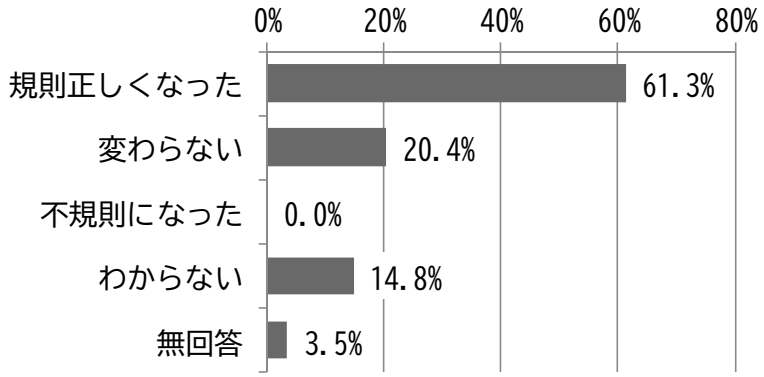


項目	度数	比率
役立っている	76	53.5%
決して十分ではない	20	14.1%
わからない	42	29.6%
無回答	4	2.8%
合計	142	100.0%

問 10　施設で過ごすようになってから、日常生活はかわりましたか。

（１）生活習慣について[１つに○]

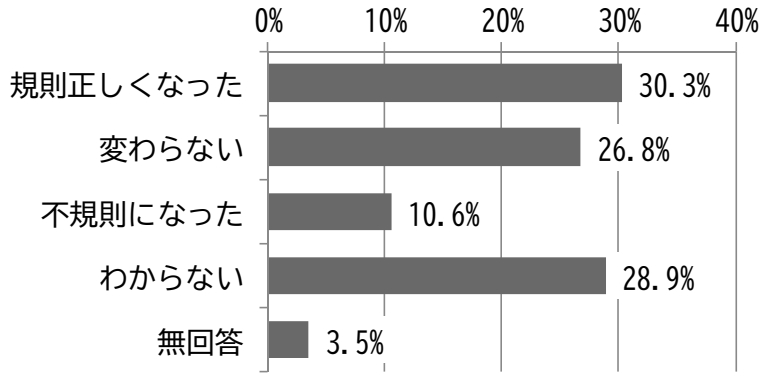
生活習慣については、「規則正しくなった」が 61.3%と最も多く、次いで、「変わらない」が 20.4%となっています。



項目	度数	比率
規則正しくなった	87	61.3%
変わらない	29	20.4%
不規則になった	0	0.0%
わからない	21	14.8%
無回答	5	3.5%
合計	142	100.0%

（2）生活のハリについて[1つに○]

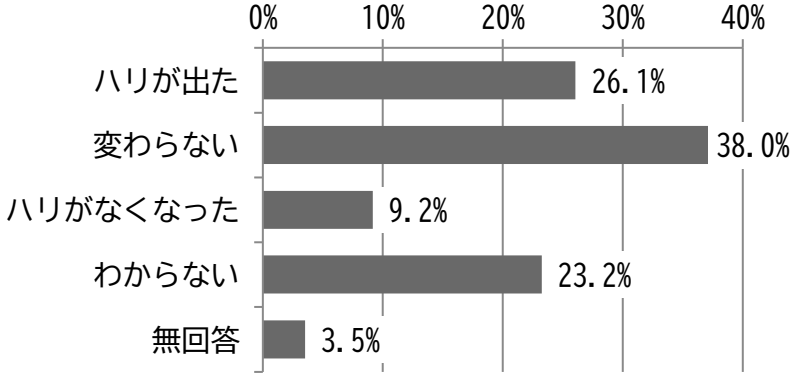
生活のハリについては、「規則正しくなった」が 30.3%と最も多く、次いで、「わからない」が 28.9%、「変わらない」が 26.8%となっています。



項目	度数	比率
規則正しくなった	43	30.3%
変わらない	38	26.8%
不規則になった	15	10.6%
わからない	41	28.9%
無回答	5	3.5%
合計	142	100.0%

（3）本人の気持ちについて［1つに○］

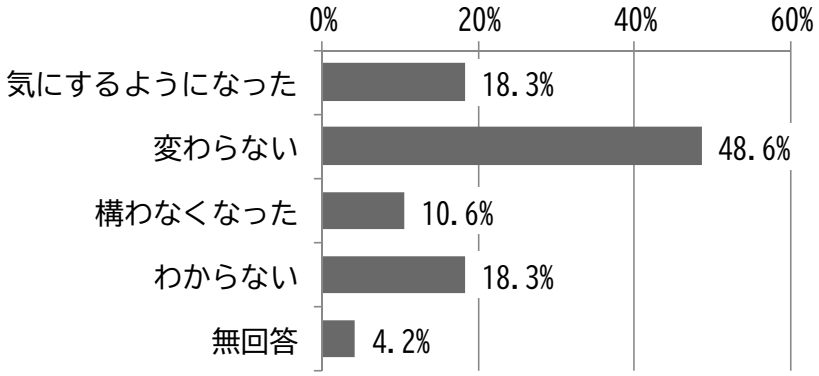
本人の気持ちについては、「変わらない」が 38.0%と最も多く、次いで、「ハリが出た」が 26.1%となっています。



項目	度数	比率
ハリが出た	37	26.1%
変わらない	54	38.0%
ハリがなくなった	13	9.2%
わからない	33	23.2%
無回答	5	3.5%
合計	142	100.0%

（4）服装・身だしなみについて［1つに○］

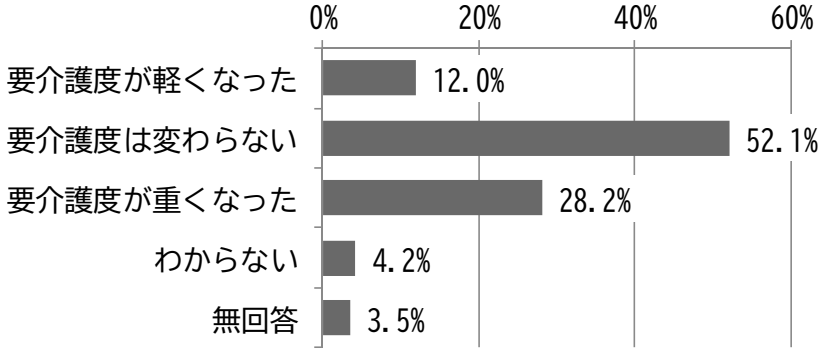
服装・身だしなみについては、「変わらない」が 48.6%と最も多く、次いで、「気にするようになった」が 18.3%となっています。



項目	度数	比率
気にするようになった	26	18.3%
変わらない	69	48.6%
構わなくなった	15	10.6%
わからない	26	18.3%
無回答	6	4.2%
合計	142	100.0%

問 11　介護保険サービスを利用した後、要介護度は変化しましたか。［1つに○］

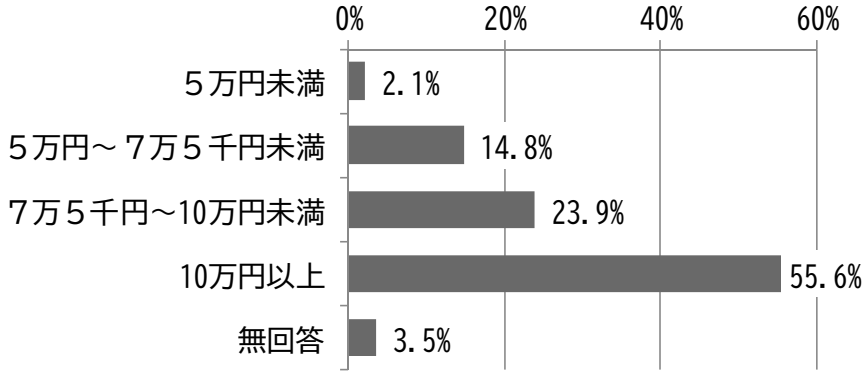
介護保険サービスを利用した後の要介護度の変化については、「要介護度は変わらない」が 52.1%と最も多く、次いで、「要介護度が重くなった」が 28.2%、「要介護度が軽くなった」が 12.0%となっています。



項目	度数	比率
要介護度が軽くなった	17	12.0%
要介護度は変わらない	74	52.1%
要介護度が重くなった	40	28.2%
わからない	6	4.2%
無回答	5	3.5%
合計	142	100.0%

問 12　現在の施設では１か月の費用（自己負担分）は、どのくらいになりますか。[１つに○]

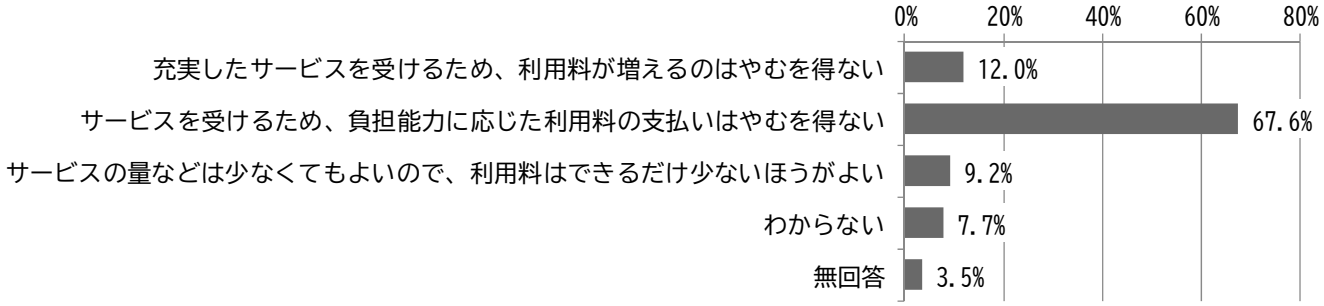
現在の施設では１か月の費用ついては、「10 万円以上」が 55.6%と最も多く、次いで、「７万５千円～10 万円未満」が 23.9%、「５万円～７万５千円未満」が 14.8%となっています。



項目	度数	比率
５万円未満	3	2.1%
５万円～７万５千円未満	21	14.8%
７万５千円～10万円未満	34	23.9%
10万円以上	79	55.6%
無回答	5	3.5%
合計	142	100.0%

問 13　現在支払っている施設利用料（自己負担分）について、どのようにお考えですか。[１つに○]

現在支払っている施設利用料については、「サービスを受けるため、負担能力に応じた利用料の支払いはやむを得ない」が 67.6%と最も多く、次いで、「充実したサービスを受けるため、利用料が増えるのはやむを得ない」が 12.0%、「サービスの量などは少なくてもよいので、利用料はできるだけ少ないほうがよい」が 9.2%となっています。

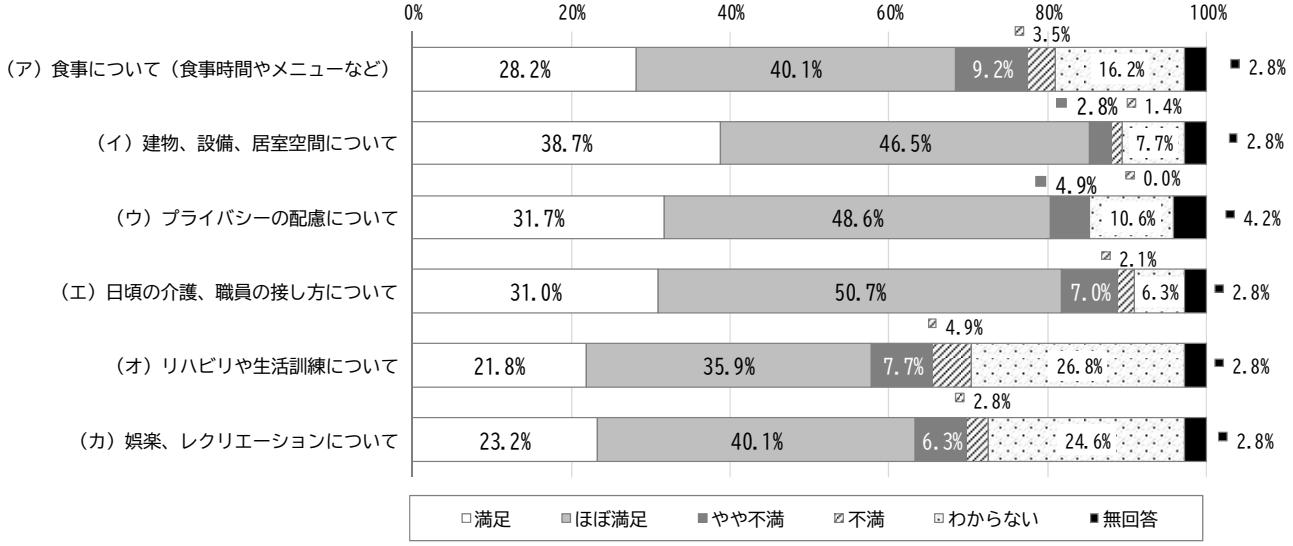


項目	度数	比率
充実したサービスを受けるため、利用料が増えるのはやむを得ない	17	12.0%
サービスを受けるため、負担能力に応じた利用料の支払いはやむを得ない	96	67.6%
サービスの量などは少なくてもよいので、利用料はできるだけ少ないほうがよい	13	9.2%
わからない	11	7.7%
無回答	5	3.5%
合計	142	100.0%

問 14　現在、入所している施設について、サービスの満足度はいかがですか。[項目ごと１つずつ○]

現在、入所している施設でのサービスの満足度についての「満足」「ほぼ満足」を合わせた『満足』では、「（イ）建物、設備、居室空間について」が 85.2%と最も多く、次いで、「（エ）日頃の介護、職員の接し方について」が 81.7%、「（ウ）プライバシーの配慮について」が 80.3%となっています。

一方、「やや不満」「不満」を合わせた『不満』では、「（ア）食事について（食事時間やメニューなど）」が 12.7%と最も多く、次いで、「（オ）リハビリや生活訓練について」が 12.6%となっています。



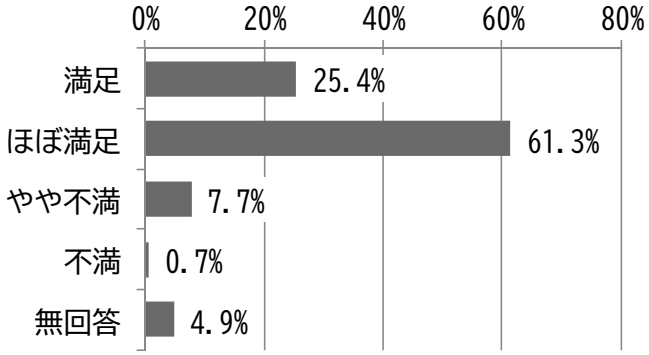
上段：度数　下段：比率

項目	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	無回答	合計
（ア）食事について（食事時間やメニューなど）	40	57	13	5	23	4	142
	28.2%	40.1%	9.2%	3.5%	16.2%	2.8%	100.0%
（イ）建物、設備、居室空間について	55	66	4	2	11	4	142
	38.7%	46.5%	2.8%	1.4%	7.7%	2.8%	100.0%
（ウ）プライバシーの配慮について	45	69	7	0	15	6	142
	31.7%	48.6%	4.9%	0.0%	10.6%	4.2%	100.0%
（エ）日頃の介護、職員の接し方について	44	72	10	3	9	4	142
	31.0%	50.7%	7.0%	2.1%	6.3%	2.8%	100.0%
（オ）リハビリや生活訓練について	31	51	11	7	38	4	142
	21.8%	35.9%	7.7%	4.9%	26.8%	2.8%	100.0%
（カ）娯楽、レクリエーションについて	33	57	9	4	35	4	142
	23.2%	40.1%	6.3%	2.8%	24.6%	2.8%	100.0%

問 15　現在、入所している施設サービス全般について、満足度はいかがですか。[１つに○]

現在、入所している施設サービス全般の満足度については、「満足」「ほぼ満足」を合わせた『満足』が 86.7%となっています。

一方、「やや不満」「不満」を合わせた『不満』は、8.4%となっています。

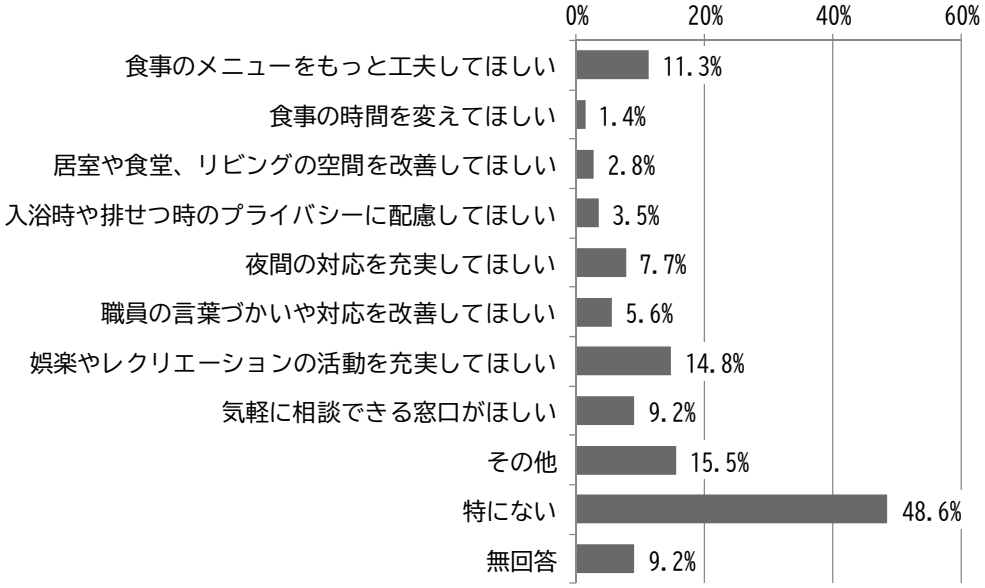


項目	度数	比率
満足	36	25.4%
ほぼ満足	87	61.3%
やや不満	11	7.7%
不満	1	0.7%
無回答	7	4.9%
合計	142	100.0%

問 16　現在の施設で生活する上で、改善してほしいことはありますか。[３つまで○]

現在の施設で生活する上で、改善してほしいことについては、「娯楽やレクリエーションの活動を充実してほしい」が 14.8%、「食事のメニューをもっと工夫してほしい」が 11.3%、「気軽に相談できる窓口が欲しい」が 9.2%となっています。

一方、「特にない」は、48.6%となっています。



項目	度数	比率
食事のメニューをもっと工夫してほしい	16	11.3%
食事の時間を変えてほしい	2	1.4%
居室や食堂、リビングの空間を改善してほしい	4	2.8%
入浴時や排せつ時のプライバシーに配慮してほしい	5	3.5%
夜間の対応を充実してほしい	11	7.7%
職員の言葉づかいや対応を改善してほしい	8	5.6%
娯楽やレクリエーションの活動を充実してほしい	21	14.8%
気軽に相談できる窓口がほしい	13	9.2%
その他	22	15.5%
特にない	69	48.6%
無回答	13	9.2%
回答者数	142	

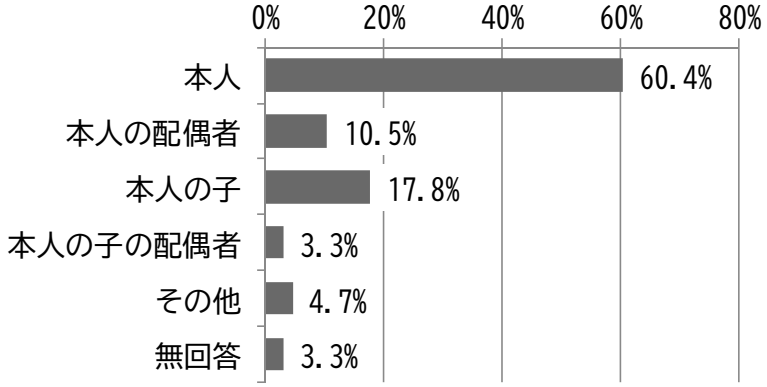
⑤介護サービス未利用者

⑤介護サービス未利用者

1　はじめに

この調査の記入者はどなたですか。[１つに○]

調査の記入者については、「本人」が 60.4%と最も多く、次いで、「本人の子」が 17.8%、「本人の配偶者」が 10.5%となっています。



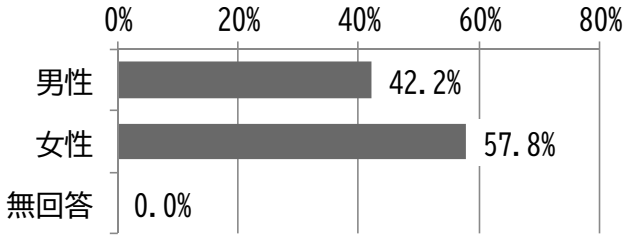
項目	度数	比率
本人	166	60.4%
本人の配偶者	29	10.5%
本人の子	49	17.8%
本人の子の配偶者	9	3.3%
その他	13	4.7%
無回答	9	3.3%
合計	275	100.0%

2　ご本人（あなた）のことについて

問１ご本人の性別、年齢、お住まいの地域等について伺います。

（１）性別は。[１つに○]

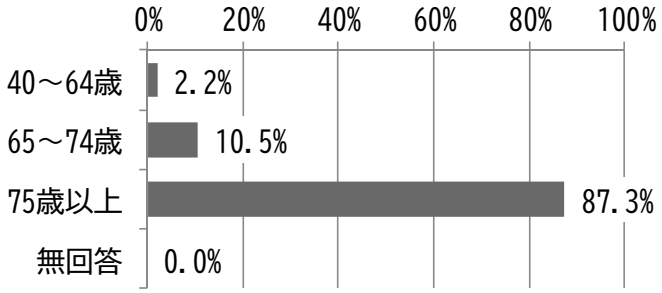
性別については、「男性」が 42.2%、「女性」が 57.8%となっています。



項目	度数	比率
男性	116	42.2%
女性	159	57.8%
無回答	0	0.0%
合計	275	100.0%

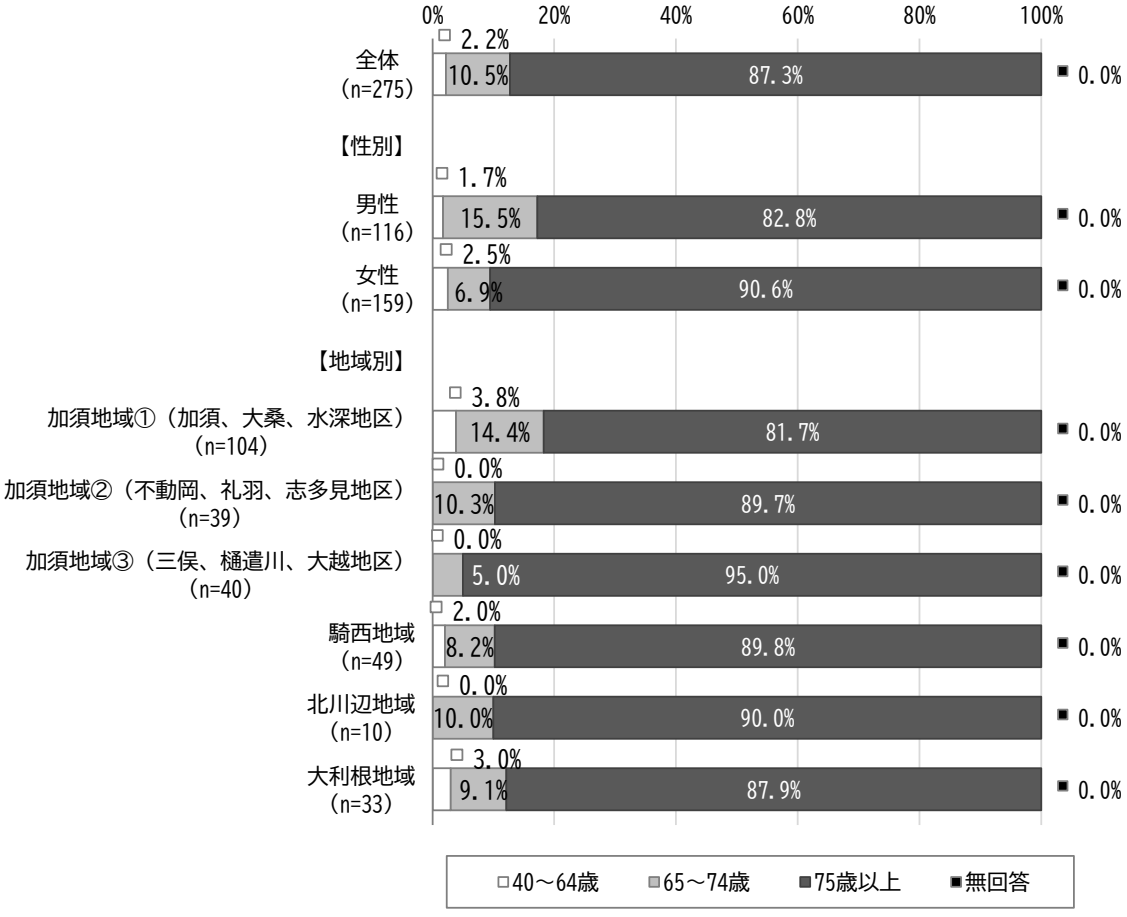
（２）年齢は。（令和７年１０月１日現在）［１つに○］

年齢については、「75 歳以上」が 87.3%、「65～74 歳」が 10.5%、「40～64 歳」が 2.2%となっています。



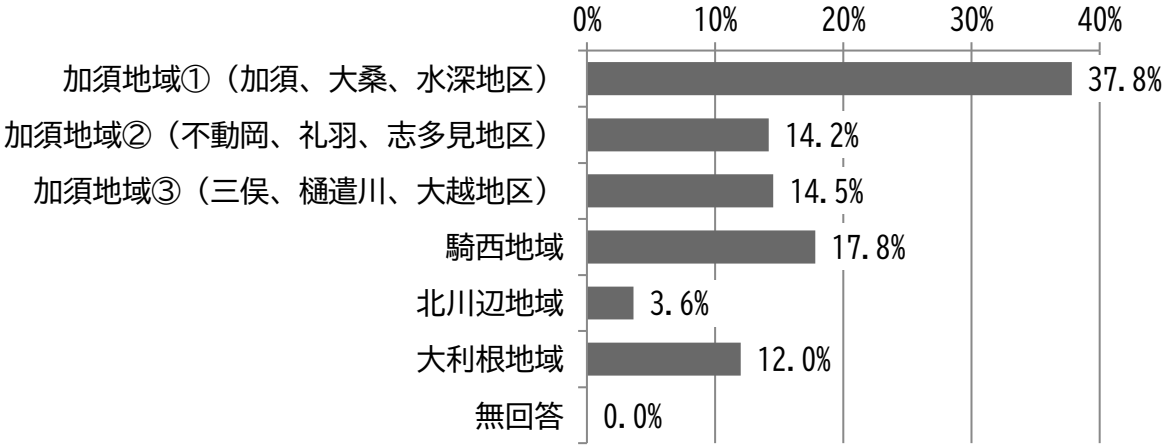
項目	度数	比率
40～64歳	6	2.2%
65～74歳	29	10.5%
75歳以上	240	87.3%
無回答	0	0.0%
合計	275	100.0%

【性別・地域別クロス】



（3）お住まいの地域はどこですか。[1つに○]

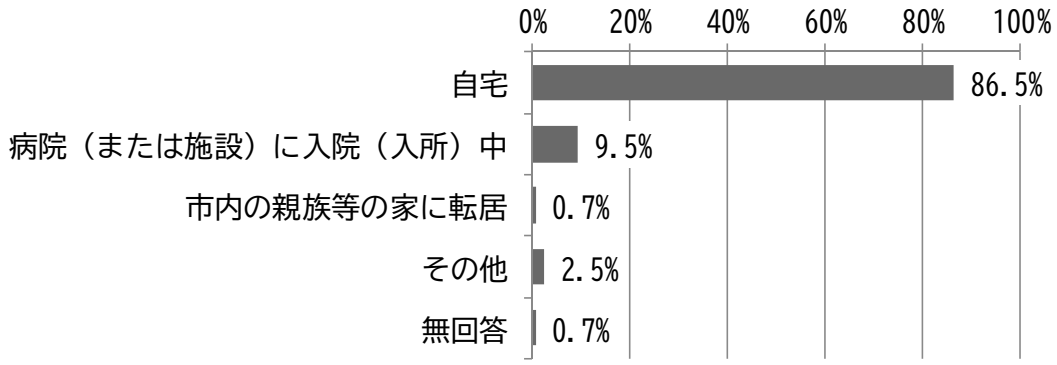
お住まいの地域については、「加須地域①（加須、大桑、水深地区）」が 37.8%と最も多く、次いで、「騎西地域」が 17.8%、「加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）」が 14.5%となっています。



項目	度数	比率
加須地域①（加須、大桑、水深地区）	104	37.8%
加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）	39	14.2%
加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）	40	14.5%
騎西地域	49	17.8%
北川辺地域	10	3.6%
大利根地域	33	12.0%
無回答	0	0.0%
合計	275	100.0%

（４）現在、ご本人はどちらで生活されていますか。[１つに○]

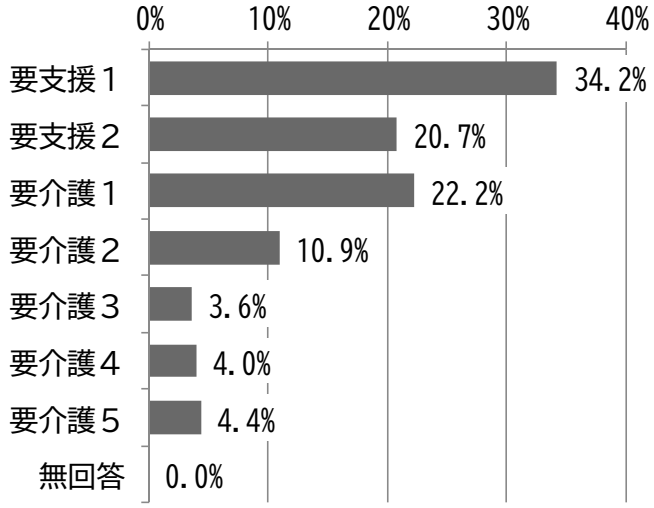
現在、生活している場所については、「自宅」が 86.5%と最も多く、次いで、「病院（または施設）に入院（入所）中」が 9.5%となっています。



項目	度数	比率
自宅	238	86.5%
病院（または施設）に入院（入所）中	26	9.5%
市内の親族等の家に転居	2	0.7%
その他	7	2.5%
無回答	2	0.7%
合計	275	100.0%

（５）現在、認定されている要介護度は。（要介護度は介護保険証に記載されています。）[１つに○]

認定されている要介護度については、「要支援１」が 34.2%と最も多く、次いで、「要介護１」が 22.2%、「要支援２」が 20.7%となっています。

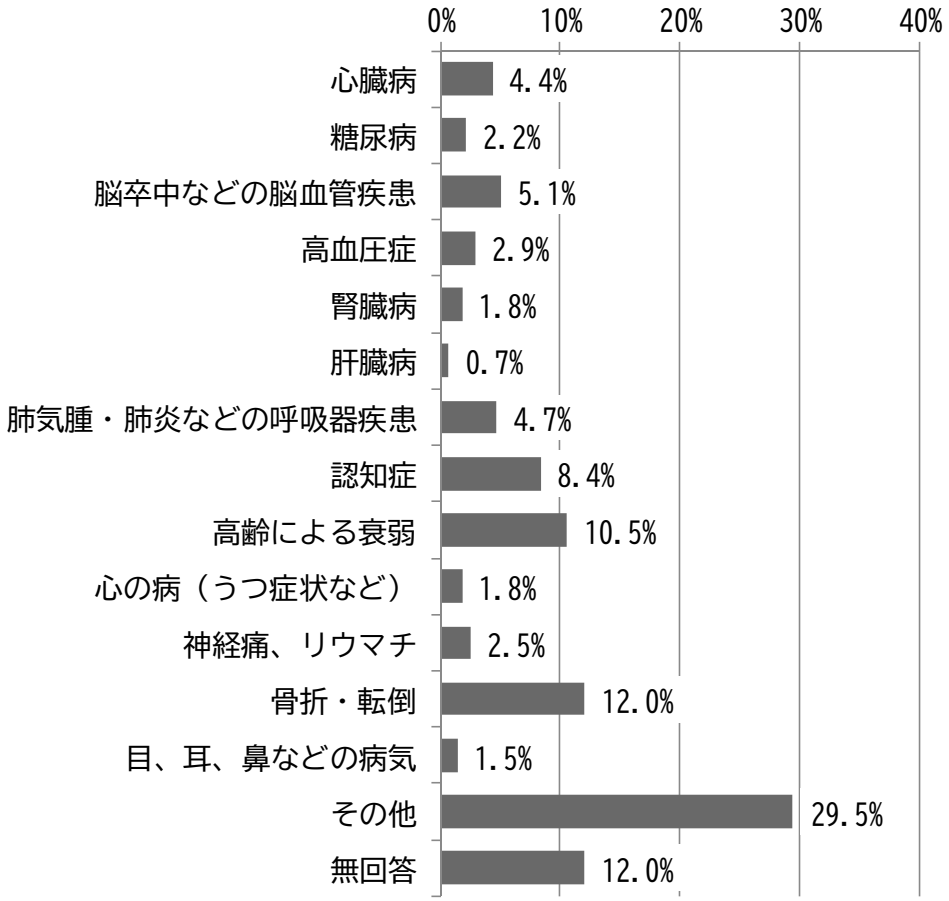


項目	度数	比率
要支援１	94	34.2%
要支援２	57	20.7%
要介護１	61	22.2%
要介護２	30	10.9%
要介護３	10	3.6%
要介護４	11	4.0%
要介護５	12	4.4%
無回答	0	0.0%
合計	275	100.0%

※令和７年 10 月１日現在、要介護度の変更申請を行っている等の理由で、要介護度が確定していない場合は、直近の要介護度でご回答ください。

問２　介護が必要になった直接のきっかけは何ですか。[１つに○]

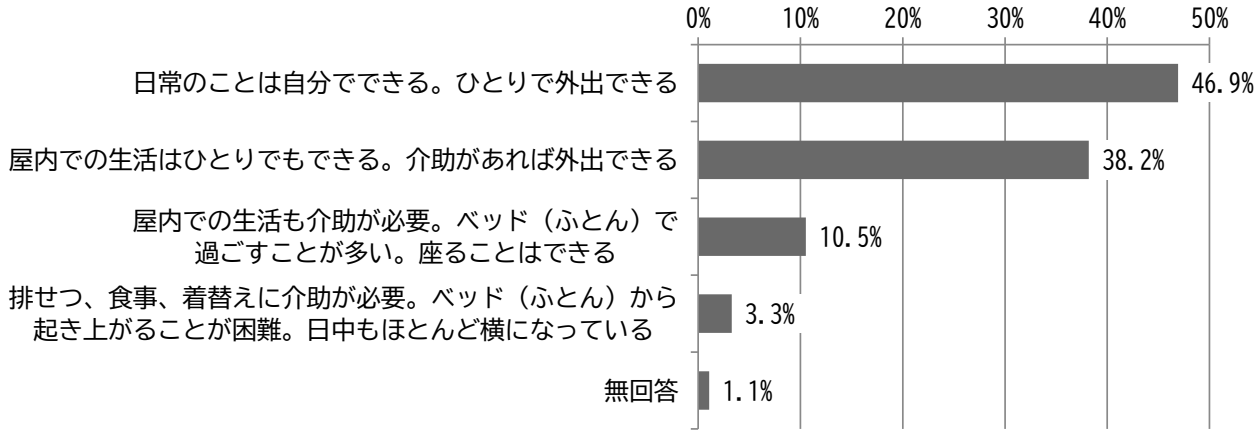
介護が必要になったきっかけについては、「骨折・転倒」が 12.0%で最も多く、次いで、「高齢による衰弱」が 10.5%、「認知症」が 8.4%となっています。



項目	度数	比率
心臓病	12	4.4%
糖尿病	6	2.2%
脳卒中などの脳血管疾患	14	5.1%
高血圧症	8	2.9%
腎臓病	5	1.8%
肝臓病	2	0.7%
肺気腫・肺炎などの呼吸器疾患	13	4.7%
認知症	23	8.4%
高齢による衰弱	29	10.5%
心の病（うつ症状など）	5	1.8%
神経痛、リウマチ	7	2.5%
骨折・転倒	33	12.0%
目、耳、鼻などの病気	4	1.5%
その他	81	29.5%
無回答	33	12.0%
合計	275	100.0%

問３　ご本人の日常生活の状態について伺います。[１つに○]

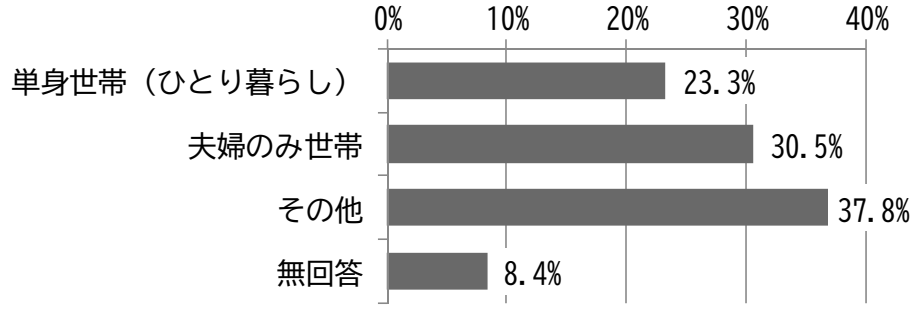
日常生活の状態については､｢日常のことは自分でできる｡ひとりで外出できる｣が 46.9%と最も多く、次いで、｢屋内での生活はひとりでもできる。介助があれば外出できる｣が 38.2%、｢屋内での生活も介助が必要。ベッド（ふとん）で過ごすことが多い。座ることはできる｣が 10.5%となっています。



項目	度数	比率
日常のことは自分でできる。ひとりで外出できる	129	46.9%
屋内での生活はひとりでもできる。介助があれば外出できる	105	38.2%
屋内での生活も介助が必要。ベッド（ふとん）で過ごすことが多い。座ることはできる	29	10.5%
排せつ、食事、着替えに介助が必要。ベッド（ふとん）から起き上がることが困難。日中もほとんど横になっている	9	3.3%
無回答	3	1.1%
合計	275	100.0%

問４　世帯類型についてご回答ください。[１つに○]

世帯類型については、｢単身世帯（ひとり暮らし)｣が 23.3%、｢夫婦のみ世帯｣が 30.5%となっています。



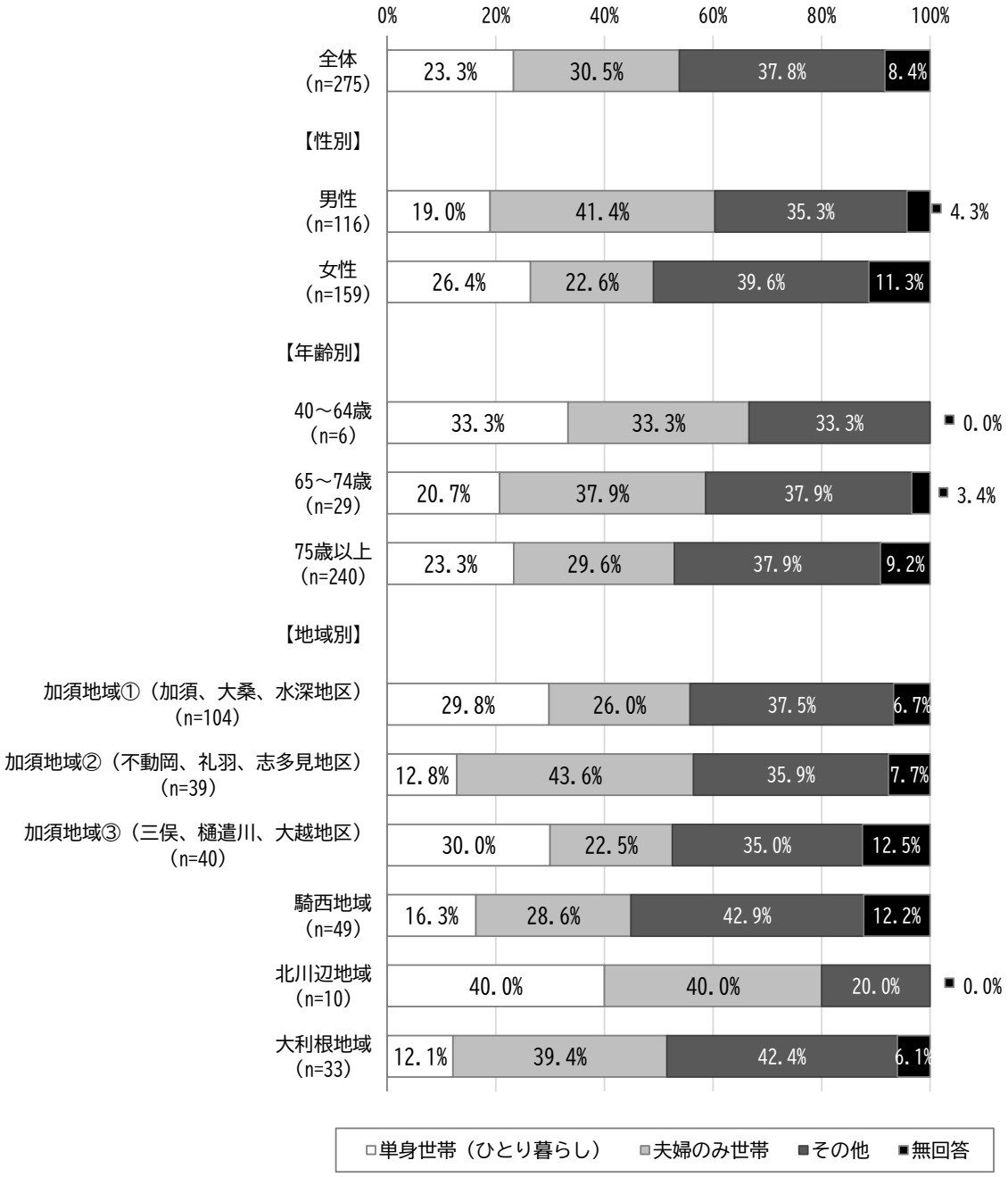
項目	度数	比率
単身世帯（ひとり暮らし）	64	23.3%
夫婦のみ世帯	84	30.5%
その他	104	37.8%
無回答	23	8.4%
合計	275	100.0%

【性別・年齢・地域別クロス】

世帯構成を男女別でみると、『男性』は「夫婦のみ世帯」の割合が高く、『女性』は「単身世帯（ひとり暮らし）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「単身世帯（ひとり暮らし）」では『40～64 歳』で割合が高く、「夫婦のみ世帯」では『65～74 歳』で割合が高くなっています。

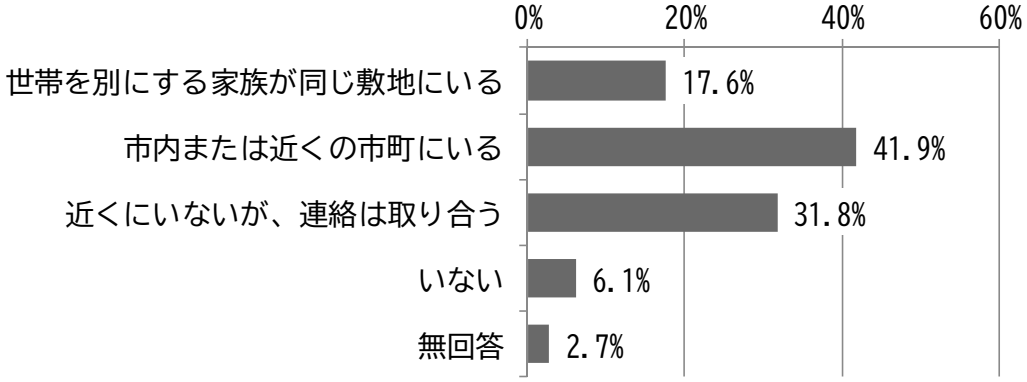
地域別でみると、「単身世帯（ひとり暮らし）」では『加須地域①』『加須地域③』で割合がともに高く、「夫婦のみ世帯」では『加須地域②』『北川辺地域』『大利根地域』が他の地域より高い割合となっています。



【問４で「単身世帯（ひとり暮らし）」または「夫婦のみ世帯」を選択した方のみ回答】

問４-①　ひんぱんに連絡を取り合うご家族がいますか。[１つに○]

連絡を取り合う家族については、「市内または近くの市町にいる」が 41.9%と最も多く、次いで、「近くにいないが、連絡は取り合う」が 31.8%、「世帯を別にする家族が同じ敷地にいる」が 17.6%となっています。

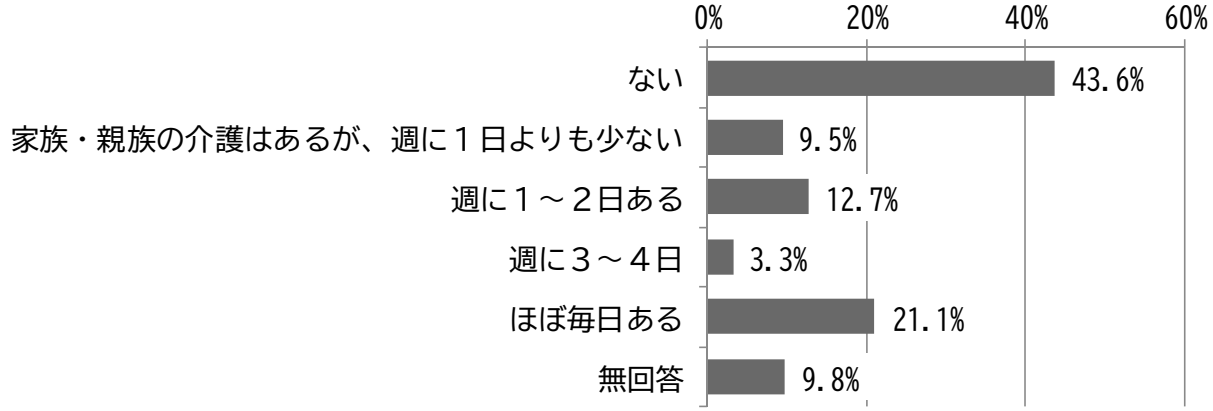


項目	度数	比率
世帯を別にする家族が同じ敷地にいる	26	17.6%
市内または近くの市町にいる	62	41.9%
近くにいないが、連絡は取り合う	47	31.8%
いない	9	6.1%
無回答	4	2.7%
回答者数	148	100.0%

３　ご家族等からの介護の状況について

問５　ご家族やご親族からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。[１つに○]

ご家族やご親族からの介護があるかについては、「ない」が 43.6%と最も多く、次いで、「ほぼ毎日ある」が 21.1%、「週に１～２日ある」が 12.7%となっています。

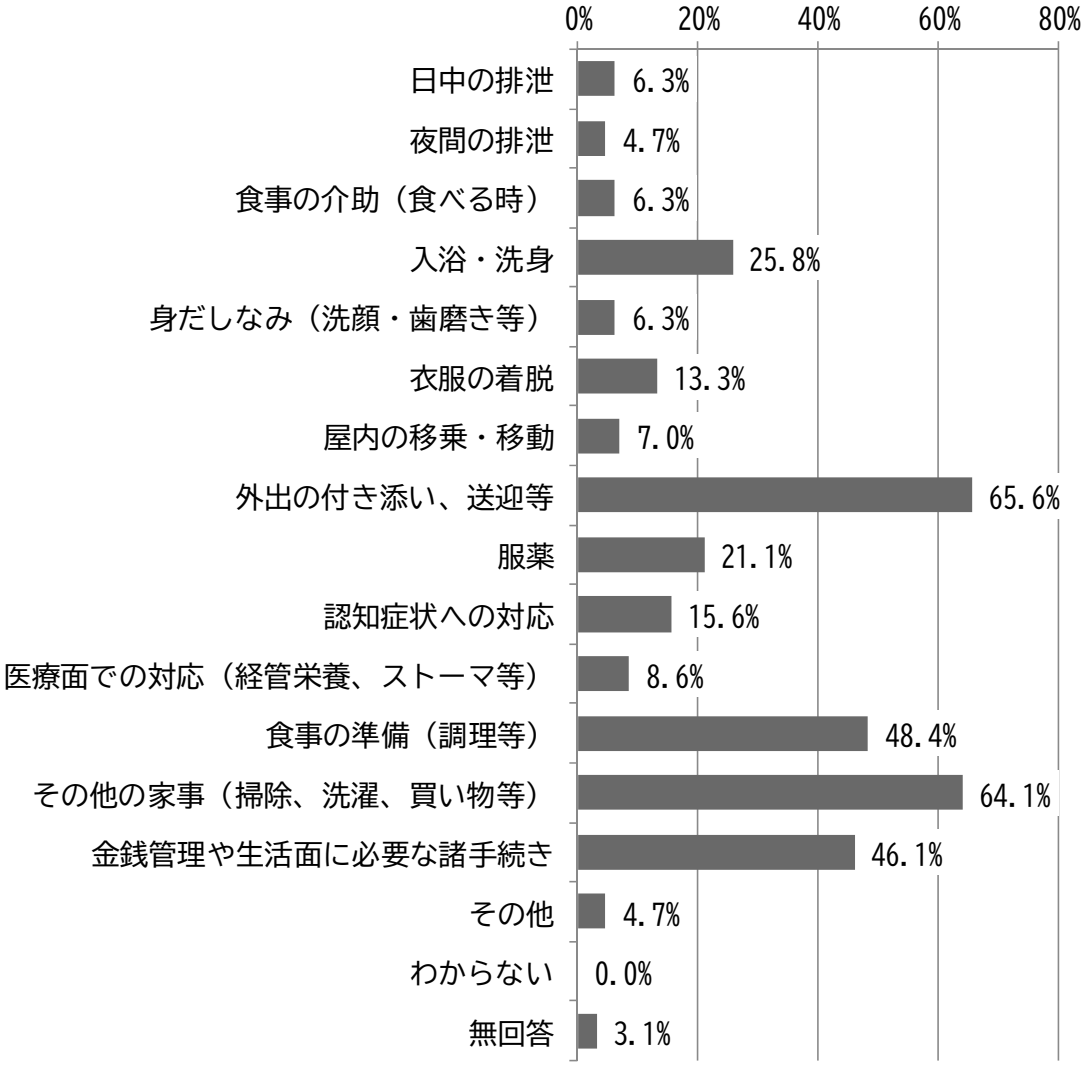


項目	度数	比率
ない	120	43.6%
家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない	26	9.5%
週に１～２日ある	35	12.7%
週に３～４日	9	3.3%
ほぼ毎日ある	58	21.1%
無回答	27	9.8%
合計	275	100.0%

【問５で「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」、「週に１～２日ある」、「週に３～４日ある」、「ほぼ毎日ある」のいずれかを選択した方のみ回答】

問５-①　現在、主な介護者から受けている介護等をお答えください。[あてはまるものすべてに○]

介護者から受けている介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が 65.6%と最も多く、次いで、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 64.1%、「食事の準備（調理等）」が 48.4%となっています。

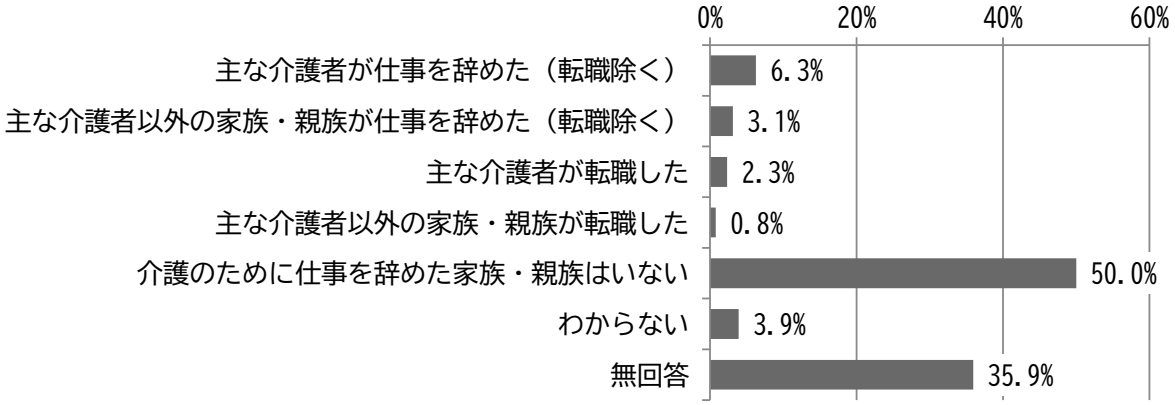


項目	度数	比率
日中の排泄	8	6.3%
夜間の排泄	6	4.7%
食事の介助（食べる時）	8	6.3%
入浴・洗身	33	25.8%
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	8	6.3%
衣服の着脱	17	13.3%
屋内の移乗・移動	9	7.0%
外出の付き添い、送迎等	84	65.6%
服薬	27	21.1%
認知症状への対応	20	15.6%
医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	11	8.6%
食事の準備（調理等）	62	48.4%
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	82	64.1%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	59	46.1%
その他	6	4.7%
わからない	0	0.0%
無回答	4	3.1%
回答者数	128	

【問５で「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」、「週に１～２日ある」、「週に３～４日ある」、「ほぼ毎日ある」のいずれかを選択した方のみ回答】

問５-②　ご家族やご親族の中でご本人の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。

家族や親族の中で介護を理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方がいるかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 50.0%と最も多く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 6.3%となっています。



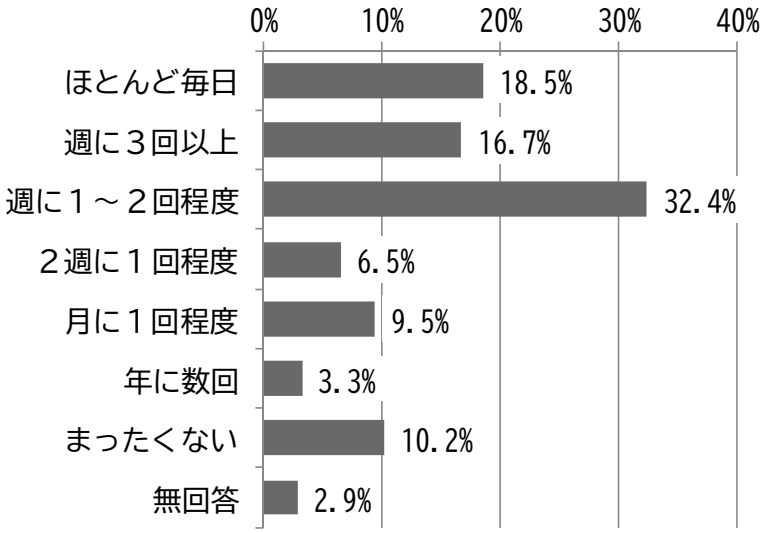
項目	度数	比率
主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	8	6.3%
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	4	3.1%
主な介護者が転職した	3	2.3%
主な介護者以外の家族・親族が転職した	1	0.8%
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	64	50.0%
わからない	5	3.9%
無回答	46	35.9%
回答者数	128	

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

４　日常生活の状況について

問６　あなたの外出頻度をお答えください。[１つに○]

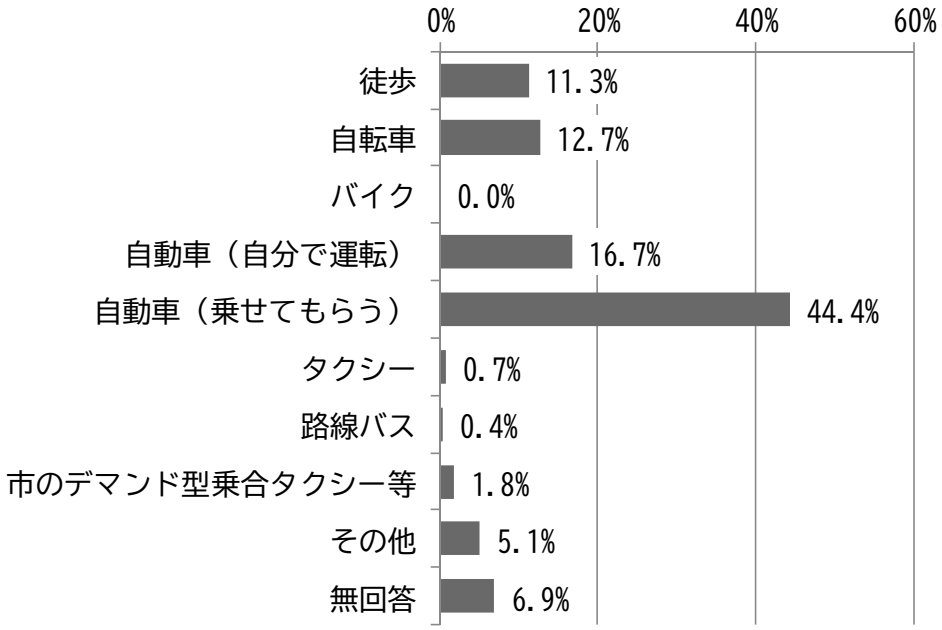
外出頻度については、「週に１～２回程度」が 32.4%と最も多く、次いで、「ほとんど毎日」が 18.5%、「週に３回以上」が 16.7%となっています。



項目	度数	比率
ほとんど毎日	51	18.5%
週に３回以上	46	16.7%
週に１～２回程度	89	32.4%
２週に１回程度	18	6.5%
月に１回程度	26	9.5%
年に数回	9	3.3%
まったくない	28	10.2%
無回答	8	2.9%
合計	275	100.0%

問7　外出する場合、何で移動することが多いですか。[１つに○]

外出する場合の移動手段については、「自動車（乗せてもらう）」が 44.4%と最も多く、次いで、「自動車（自分で運転）」が 16.7%、「自転車」が 12.7%となっています。

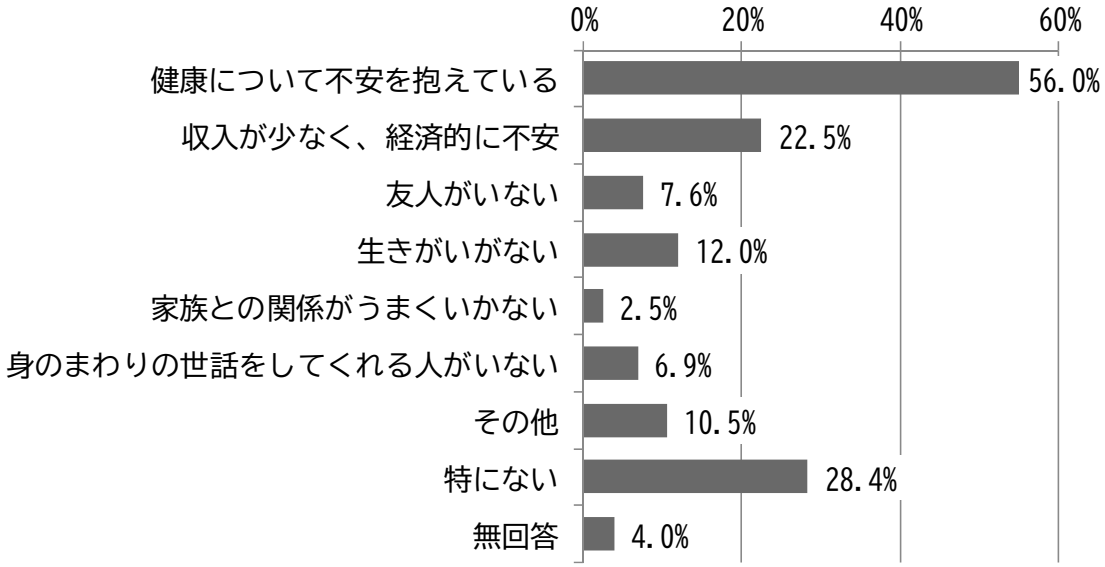


項目	度数	比率
徒歩	31	11.3%
自転車	35	12.7%
バイク	0	0.0%
自動車（自分で運転）	46	16.7%
自動車（乗せてもらう）	122	44.4%
タクシー	2	0.7%
路線バス	1	0.4%
市のデマンド型乗合タクシー等	5	1.8%
その他	14	5.1%
無回答	19	6.9%
合計	275	100.0%

問８　あなたは、悩みや心配ごとがありますか。[３つまで○]

悩みや心配ごとについては、「健康について不安を抱えている」が 56.0%と最も多く、次いで、「収入が少なく、経済的に不安」が 22.5%、「生きがいがない」が 12.0%となっています。

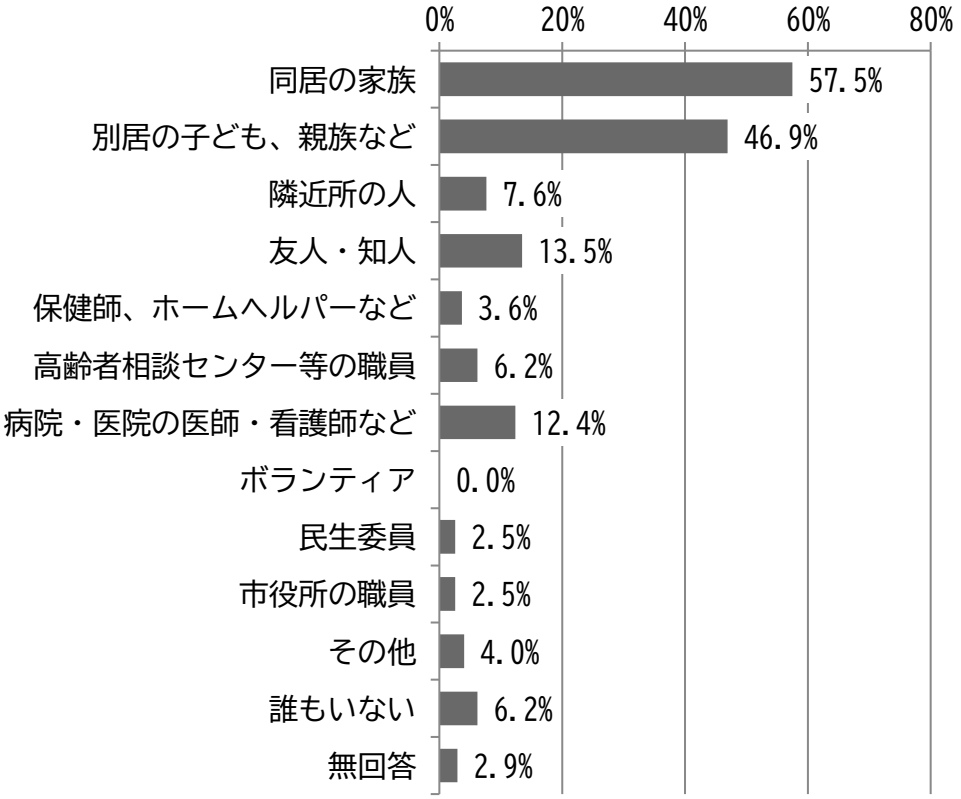
一方、「特にない」が 28.4%となっています。



項目	度数	比率
健康について不安を抱えている	154	56.0%
収入が少なく、経済的に不安	62	22.5%
友人がいない	21	7.6%
生きがいがない	33	12.0%
家族との関係がうまくいかない	7	2.5%
身のまわりの世話をしてくれる人がいない	19	6.9%
その他	29	10.5%
特にない	78	28.4%
無回答	11	4.0%
回答者数	275	

問９　悩みや心配ごとの相談相手はどなたですか。[３つまで○]

悩みや心配ごとの相談相手については、「同居の家族」が 57.5%と最も多く、次いで、「別居の子ども、親族など」が 46.9%、「友人・知人」が 13.5%となっています。

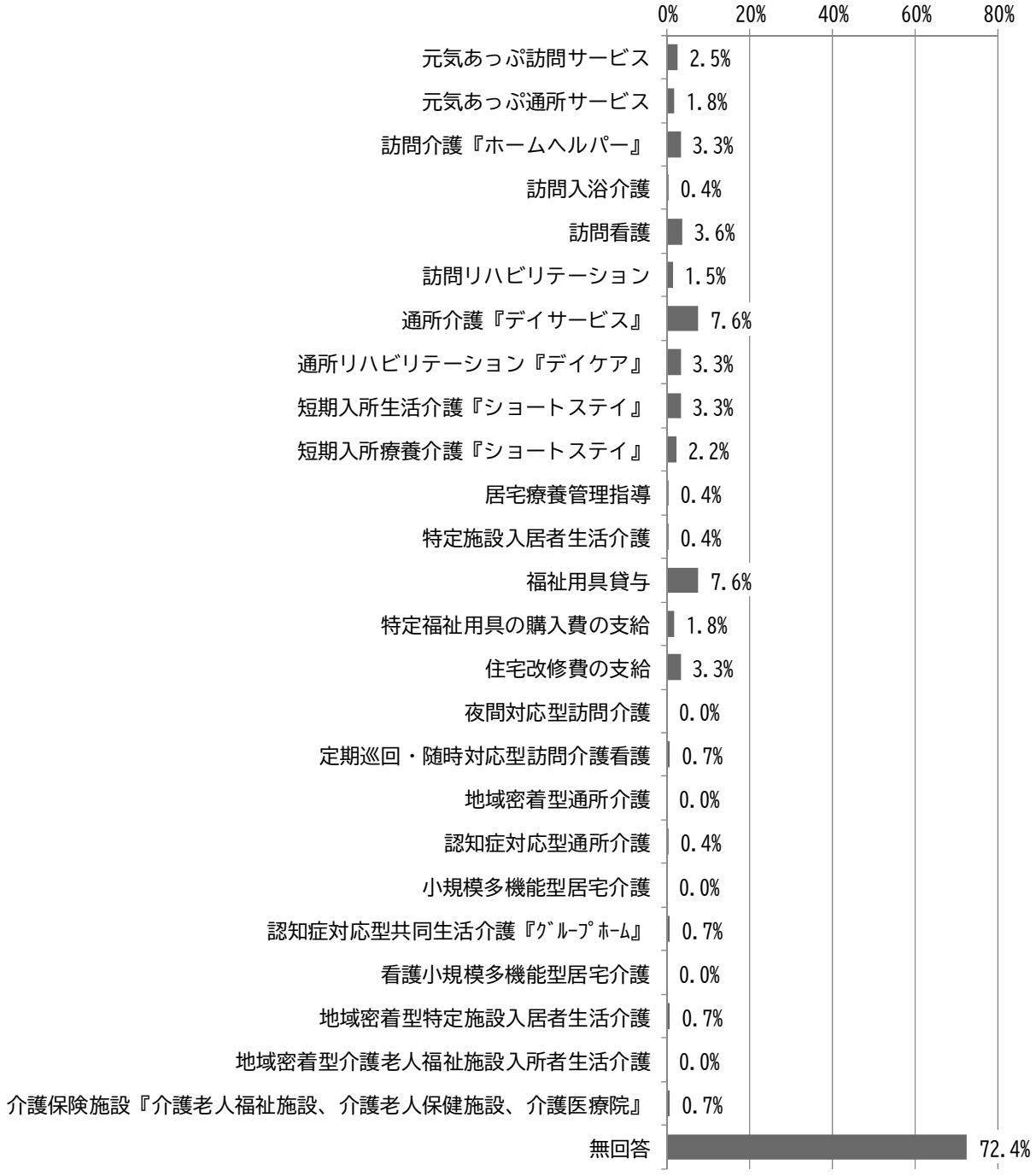


項目	度数	比率
同居の家族	158	57.5%
別居の子ども、親族など	129	46.9%
隣近所の人	21	7.6%
友人・知人	37	13.5%
保健師、ホームヘルパーなど	10	3.6%
高齢者相談センター等の職員	17	6.2%
病院・医院の医師・看護師など	34	12.4%
ボランティア	0	0.0%
民生委員	7	2.5%
市役所の職員	7	2.5%
その他	11	4.0%
誰もいない	17	6.2%
無回答	8	2.9%
回答者数	275	

5　介護保険サービスについて

問 10　あなたは、過去に介護保険サービスを利用したことがありますか。ある場合、 下表のどれですか。[あてはまるものすべてに○]

過去に利用したことがある介護保険サービスについては、「通所介護『デイサービス』」、「福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）」がともに 7.6%、「訪問看護（介護予防訪問看護）」が 3.6%となっています。



項目	度数	比率
元気あっぷ訪問サービス	7	2.5%
元気あっぷ通所サービス	5	1.8%
訪問介護『ホームヘルパー』	9	3.3%
訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）	1	0.4%
訪問看護（介護予防訪問看護）	10	3.6%
訪問リハビリテーション（介護予防訪問リハビリテーション）	4	1.5%
通所介護『デイサービス』	21	7.6%
通所リハビリテーション『デイケア』（介護予防通所リハビリテーション）	9	3.3%
短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）	9	3.3%
短期入所療養介護『ショートステイ』（介護予防短期入所療養介護）	6	2.2%
居宅療養管理指導（介護予防居宅療養管理指導）	1	0.4%
特定施設入居者生活介護（介護予防特定施設入居者生活介護）	1	0.4%
福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）	21	7.6%
特定福祉用具の購入費の支給（特定介護予防福祉用具の購入費）	5	1.8%
住宅改修費の支給	9	3.3%
夜間対応型訪問介護	0	0.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0.7%
地域密着型通所介護	0	0.0%
認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）	1	0.4%
小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）	0	0.0%
認知症対応型共同生活介護『ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ』（介護予防認知症対応型共同生活介護）	2	0.7%
看護小規模多機能型居宅介護	0	0.0%
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.7%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0.0%
介護保険施設『介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院』	2	0.7%
無回答	199	72.4%
回答者数	275	

■「介護保険サービスの内容」

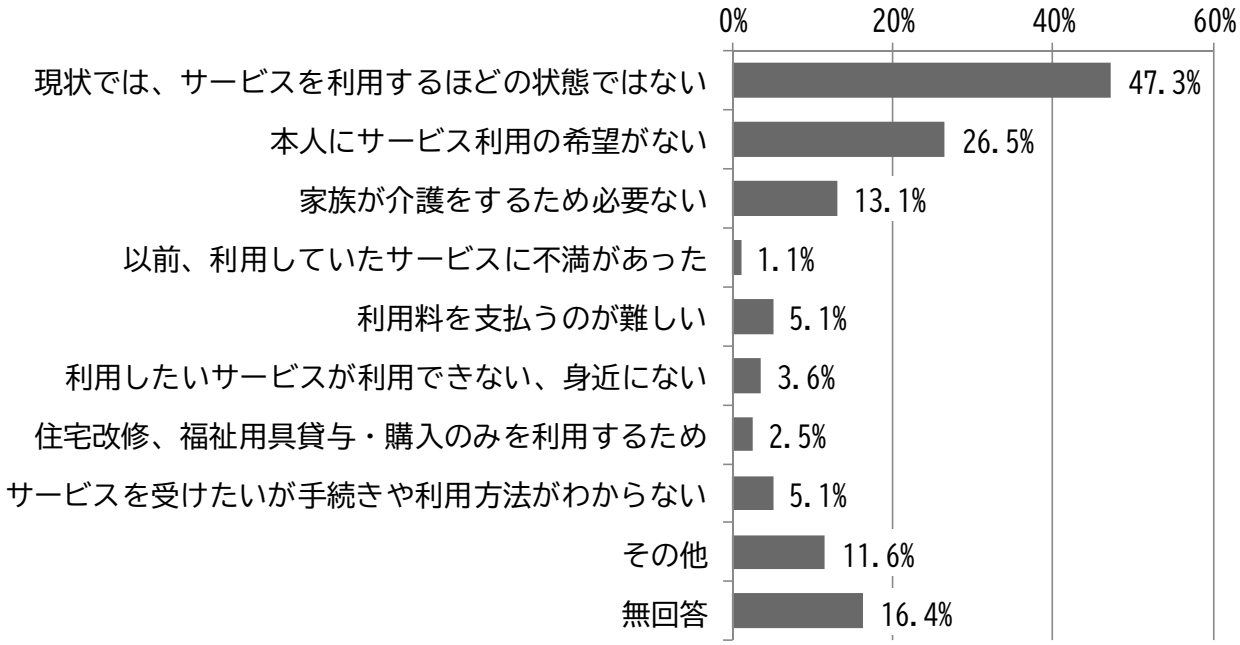
サービスの種類	サービスの内容
元気あっぷ訪問サービス	要支援認定を受けている方または生活に関するアンケート（基本チェックリスト）により介護予防の必要性が高いと認められた方を対象に、ホームヘルパーが家庭を訪問して、生活機能の維持向上のための身体介護（入浴時の見守り）や生活援助（掃除、洗濯の支援など）を行います。
元気あっぷ通所サービス	要支援認定を受けている方または生活に関するアンケート（基本チェックリスト）により介護予防の必要性が高いと認められた方を対象に、デイサービスセンターなどにおいて、日帰りで入浴や食事の提供、生活機能の維持向上のための体操や筋力トレーニングなどを行います。
訪問介護『ホームヘルパー』	要介護１から５までの認定を受けている方を対象に、ホームヘルパーが家庭を訪問して、入浴や食事などの介護、その他日常生活上の援助をします。
訪問入浴介護	家庭を訪問して、浴槽を提供し、入浴サービスをします。
訪問看護	主治医の指示に基づき、看護師などが家庭を訪問して、療養上の世話や診療の補助をします。
訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士などが家庭を訪問して、心身の機能回復訓練をします。
通所介護『デイサービス』	要介護１から５までの認定を受けている方を対象に、デイサービスセンターなどにおいて、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを行います。
通所リハビリテーション『デイケア』	介護老人保健施設や医療機関などにおいて、日帰りで理学療法、作業療法などの心身の維持回復訓練を行います。
短期入所生活介護『ショートステイ』	家庭などの都合で介護を受けることが一時的に困難な場合に、特別養護老人ホームなどに短期間入所して、食事、入浴などの介護や機能訓練を行います。
短期入所療養介護『ショートステイ』	介護老人保健施設などに短期間入所して、看護、医学的管理のもとでの介護や機能訓練などを行います。
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが家庭を訪問し、療養上の管理・指導をします。
特定施設入居者生活介護『ケアハウス、有料老人ホーム』	有料老人ホームなどに入居している要介護者に、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供するサービスです。
福祉用具貸与	車いす、特殊寝台、床ずれ防止用具（エアーマットなど）などを貸し出しします。
特定福祉用具の購入費の支給	貸し出しになじまない腰掛便座、入浴用いすなどの購入費の一部を支給します。

サービスの種類	サービスの内容
住宅改修費の支給	手すりの取付け、段差解消など小規模な住宅改修費の一部を支給します。
夜間対応型訪問介護	自宅にいる場合でも、２４時間安心して生活できるように、夜間において、定期的な巡回や緊急時における訪問介護を行います。（要支援の人は利用できません。）
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	自宅で自立した生活が送れるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、２４時間３６５日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。（要支援の人は利用できません。）
地域密着型通所介護	定員１８人以下の小規模な通所介護施設において、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを行います。（要支援の人は利用できません。）
認知症対応型通所介護	認知症の状態にある要介護者が、可能な限り居宅で自立した生活を送ることができるよう、デイサービスセンターにおいて、日帰りで食事、入浴などの介護や支援、機能訓練などを行います。
小規模多機能型居宅介護	利用者の心身の状況や環境等に応じて、「通い」のサービスを中心にしながら、随時「訪問」や短期間の「泊まり」を組み合わせ、食事、入浴などの介護や支援が受けられます。
認知症対応型共同生活介護『グループホーム』	比較的安定した認知症の状態にある要介護者が、共同生活を行うグループホームで、食事、入浴などの介護や日常生活上の世話、機能訓練が受けられます。
看護小規模多機能型居宅介護	利用者の心身の状況や環境等に応じて、「通い」のサービスを中心にしながら、随時「訪問」や短期間の「泊まり」を組み合わせ、さらに、看護師による「訪問（看護）」も組み合わせることで、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けられます。（要支援の人は利用できません。）
地域密着型特定施設入居者生活介護	定員２９人以下の小規模な有料老人ホームなどに入居している要介護者に、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供するサービスです。（要支援の人は利用できません。）
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	定員２９人以下の小規模な介護老人福祉施設において、入浴、排せつ、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。（原則として要介護３以上の人の利用に限ります。）
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	常時介護が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。（原則として要介護３以上の人の利用に限ります。）

サービスの種類	サービスの内容
介護老人保健施設（老人保健施設）	病状が安定していても、機能訓練や看護、介護が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、看護や医療サービスが受けられます。（要支援の人は利用できません。）
介護医療院	主に長期間にわたり療養が必要な要介護者が入院して、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、機能訓練、その他必要な医療などが受けられます。（要支援の人は利用できません。）

問 11　現在、あなたが介護保険サービスを利用していない主な理由は何ですか。［３つまで○］

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 47.3%と最も多く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が 26.5%、「家族が介護をするため必要ない」が 13.1%となっています。



項目	度数	比率
現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	130	47.3%
本人にサービス利用の希望がない	73	26.5%
家族が介護をするため必要ない	36	13.1%
以前、利用していたサービスに不満があった	3	1.1%
利用料を支払うのが難しい	14	5.1%
利用したいサービスが利用できない、身近にない	10	3.6%
住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	7	2.5%
サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	14	5.1%
その他	32	11.6%
無回答	45	16.4%
回答者数	275	

【性別・年齢別クロス】

介護保険サービスを利用していない理由を男女別でみると、男女ともに「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高くなっていますが、「利用料を支払うのが難しい」で『女性』より『男性』の割合がやや高くなっています。

年齢別でみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」では、どの年代でも割合が高くなっています。

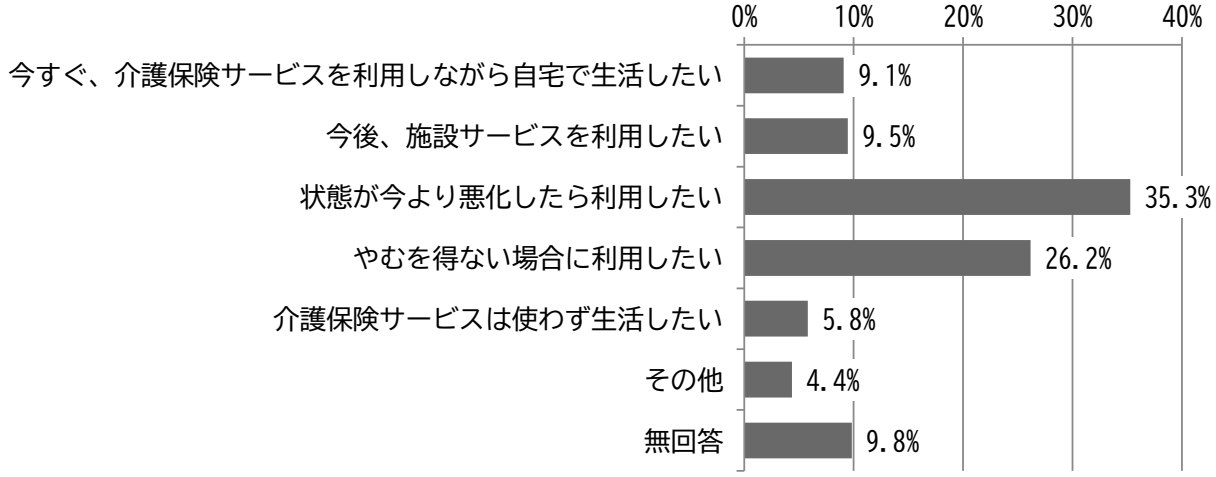
上段：度数　下段比率

項目	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	無回答	合計
全体	130	73	36	3	14	10	7	14	32	45	275
【性別】											
男性	54	28	19	2	10	6	4	7	10	16	116
女性	76	45	17	1	4	4	3	7	22	29	159
【年齢別】											
40～64歳	2	1	1	0	0	1	0	0	1	3	6
65～74歳	13	5	4	0	3	3	1	1	4	3	29
75歳以上	115	67	31	3	11	6	6	13	27	39	240
全体	***47.3%***	26.5%	13.1%	1.1%	5.1%	3.6%	2.5%	5.1%	11.6%	16.4%	
【性別】											
男性	***46.6%***	24.1%	16.4%	1.7%	8.6%	5.2%	3.4%	6.0%	8.6%	13.8%	
女性	***47.8%***	28.3%	10.7%	0.6%	2.5%	2.5%	1.9%	4.4%	13.8%	18.2%	
【年齢別】											
40～64歳	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	***50.0%***	
65～74歳	***44.8%***	17.2%	13.8%	0.0%	10.3%	10.3%	3.4%	3.4%	13.8%	10.3%	
75歳以上	***47.9%***	27.9%	12.9%	1.3%	4.6%	2.5%	2.5%	5.4%	11.3%	16.3%	

※色の説明　***斜体*** 上位1位　数字 上位2位

問 12　今後の介護保険サービスの利用希望はいかがですか。[１つに○]

今後の介護保険サービスの利用希望については、「状態が今より悪化したら利用したい」が 35.3%と最も多く、次いで、「やむを得ない場合に利用したい」が 26.2%、「今後、施設サービスを利用したい」が 9.5%となっています。



項目	度数	比率
今すぐ、介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい	25	9.1%
今後、施設サービスを利用したい	26	9.5%
状態が今より悪化したら利用したい	97	35.3%
やむを得ない場合に利用したい	72	26.2%
介護保険サービスは使わず生活したい	16	5.8%
その他	12	4.4%
無回答	27	9.8%
合計	275	100.0%

【問 12 で「今すぐ、介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい」または「今後、施設サービスを利用したい」を選択した方のみ回答】

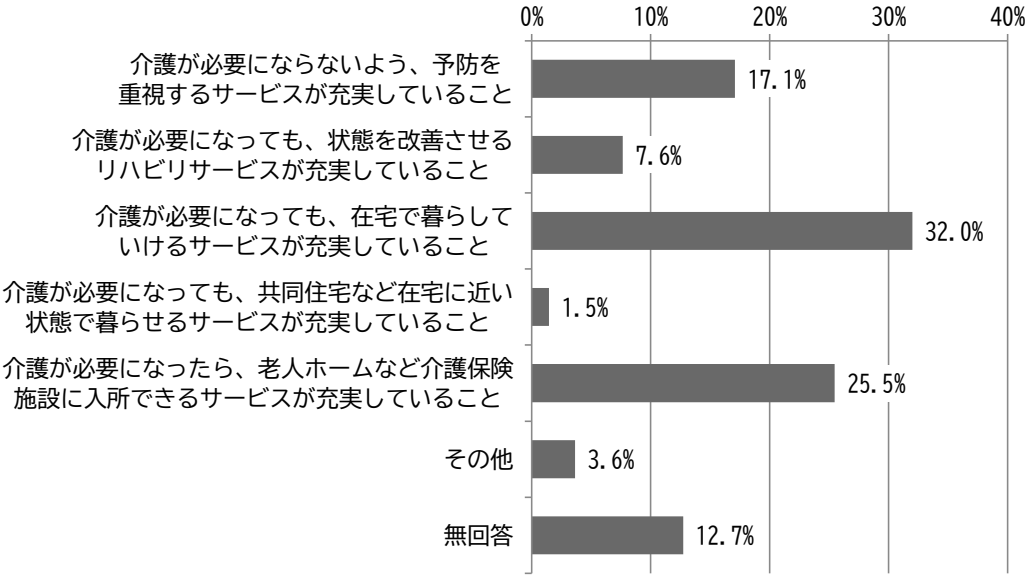
問 12-①　今後利用したい介護保険サービスはどれですか。[あてはまるものすべてに○]

今後利用したい介護保険サービスについては、「通所介護『デイサービス』」が 51 件中 11 件、「元気あっぷ通所サービス」、「訪問介護『ホームヘルパー』」、「介護保険施設『介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院』」がともに９件となっています。

項目	度数	比率
元気あっぷ訪問サービス	6	11.8%
元気あっぷ通所サービス	9	17.6%
訪問介護『ホームヘルパー』	9	17.6%
訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）	2	3.9%
訪問看護（介護予防訪問看護）	6	11.8%
訪問リハビリテーション（介護予防訪問リハビリテーション）	1	2.0%
通所介護『デイサービス』	11	21.6%
通所リハビリテーション『デイケア』（介護予防通所リハビリテーション）	8	15.7%
短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）	2	3.9%
短期入所療養介護『ショートステイ』（介護予防短期入所療養介護）	2	3.9%
居宅療養管理指導（介護予防居宅療養管理指導）	0	0.0%
特定施設入居者生活介護（介護予防特定施設入居者生活介護）	2	3.9%
福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）	8	15.7%
特定福祉用具の購入費の支給（特定介護予防福祉用具の購入費）	3	5.9%
住宅改修費の支給	6	11.8%
夜間対応型訪問介護	2	3.9%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3	5.9%
地域密着型通所介護	2	3.9%
認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）	3	5.9%
小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）	1	2.0%
認知症対応型共同生活介護『ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ』（介護予防認知症対応型共同生活介護）	3	5.9%
看護小規模多機能型居宅介護	0	0.0%
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	3.9%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5	9.8%
介護保険施設『介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院』	9	17.6%
無回答	4	7.8%
回答者数	51	

問 13　あなたは、介護保険サービスにどのようなことを期待しますか。もっとも期待の高いものを選んでください。［１つに○］

介護保険サービスに期待するものについては、「介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること」が 32.0%と最も多く、次いで、「介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること」が 25.5%、「介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること」が 17.1%となっています。

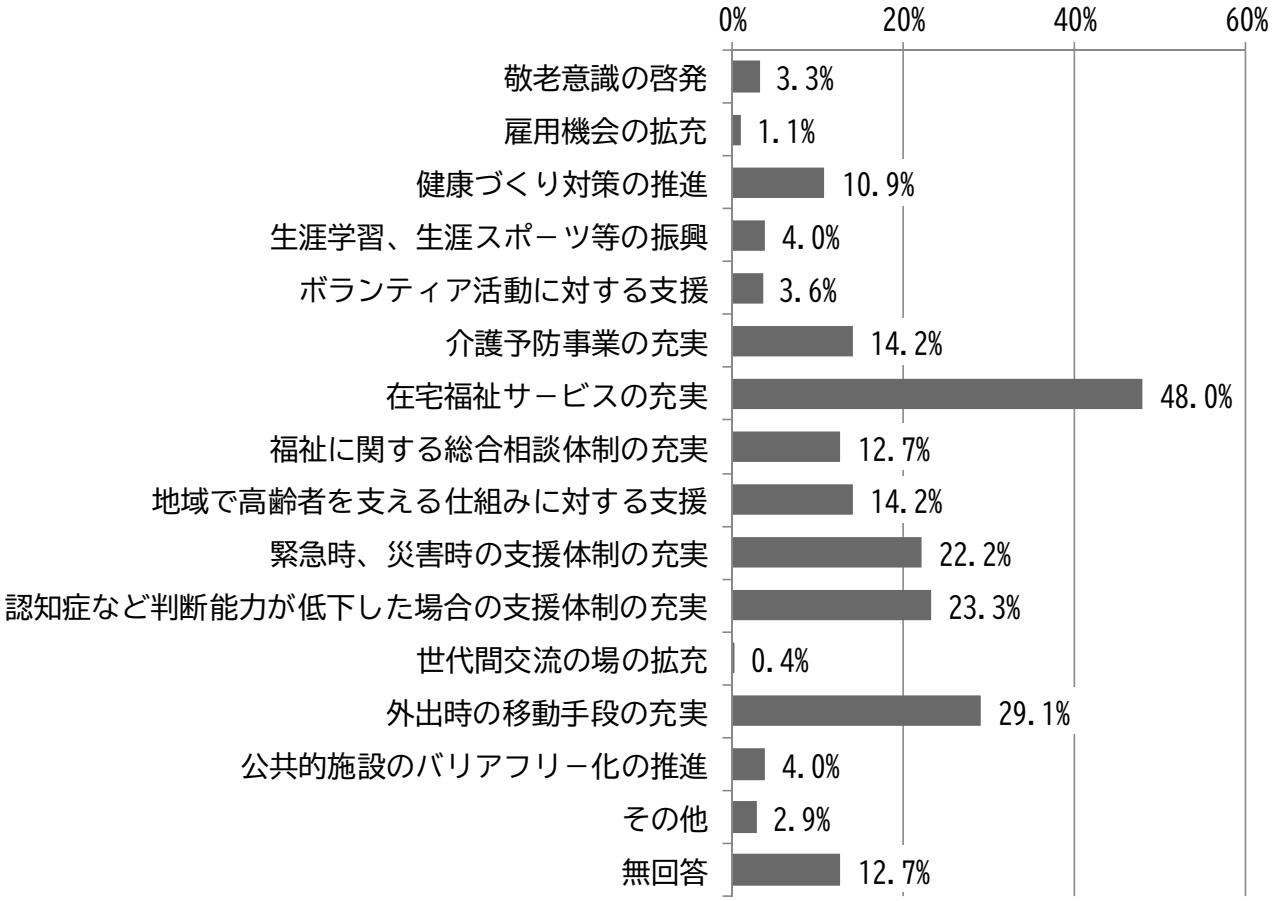


項目	度数	比率
介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること	47	17.1%
介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること	21	7.6%
介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること	88	32.0%
介護が必要になっても、共同住宅など在宅に近い状態で暮らせるサービスが充実していること	4	1.5%
介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること	70	25.5%
その他	10	3.6%
無回答	35	12.7%
合計	275	100.0%

6　保健・福祉サービスについて

問 14　市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。[３つまで○]

市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことについては、「在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実」が 48.0%と最も多く、次いで、「外出時の移動手段（バス等）の充実」が 29.1%、「認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実」が 23.3%となっています。



項目	度数	比率
敬老意識の啓発	9	3.3%
雇用機会の拡充	3	1.1%
健康づくり対策の推進	30	10.9%
生涯学習、生涯スポーツ等の振興	11	4.0%
ボランティア活動に対する支援	10	3.6%
介護予防事業（転倒予防、閉じこもり予防、脳の認知機能低下予防等）の充実	39	14.2%
在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実	132	48.0%
福祉に関する総合相談体制の充実	35	12.7%
地域で高齢者を支える仕組み（見守り活動等）に対する支援	39	14.2%
緊急時、災害時の支援体制の充実	61	22.2%
認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実	64	23.3%
世代間（高齢者と子ども等）交流の場の拡充	1	0.4%
外出時の移動手段（バス等）の充実	80	29.1%
公共的施設のバリアフリー化の推進	11	4.0%
その他	8	2.9%
無回答	35	12.7%
回答者数	275	

【性別・年齢・地域別クロス】

市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことを男女別でみると、男女ともに「在宅福祉サービスの充実」の割合が高くなっていますが、『男性』では「健康づくり対策の推進」の割合が高く、『女性』で「介護予防事業の充実」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、それぞれ「在宅福祉サービスの充実」、「外出時の移動手段の充実」の割合が高くなっていますが、『65～74 歳』では、「緊急時、災害時の支援体制の充実」の割合がやや高くなっています。

地域別でみると、「在宅福祉サービスの充実」では、『大利根地域』の割合が最も高くなっています。また、「外出時の移動手段の充実」では『加須地域②』の割合が４割と高くなっています。

上段：度数　下段比率

項目	敬老意識の啓発	雇用機会の拡充	健康づくり対策の推進	生涯学習、生涯スポーツ等の振興	ボランティア活動に対する支援	介護予防事業の充実	在宅福祉サービスの充実	福祉に関する総合相談体制の充実	地域で高齢者を支える仕組みに対する支援	緊急時、災害時の支援体制の充実	認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実	世代間交流の場の拡充	外出時の移動手段の充実	公共的施設のバリアフリー化の推進	その他	無回答	合計
全体	9	3	30	11	10	39	132	35	39	61	64	1	80	11	8	35	275
【性別】																	
男性	3	3	22	6	7	10	51	15	13	23	32	1	32	5	2	13	116
女性	6	0	8	5	3	29	81	20	26	38	32	0	48	6	6	22	159
【年齢別】																	
40～64歳	0	1	1	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	6
65～74歳	0	2	6	3	2	3	13	4	2	8	7	1	9	1	1	3	29
75歳以上	9	0	23	8	8	35	117	31	37	52	56	0	71	10	7	31	240
【地域別】																	
加須地域①	5	3	11	6	3	10	49	12	15	24	22	1	26	6	4	12	104
加須地域②	1	0	4	0	0	4	18	5	6	11	10	0	16	2	1	5	39
加須地域③	0	0	6	4	2	6	18	6	6	5	11	0	10	0	1	9	40
騎西地域	1	0	5	1	4	12	24	8	7	9	12	0	13	2	2	6	49
北川辺地域	0	0	0	0	0	0	5	1	2	2	2	0	3	0	0	3	10
大利根地域	2	0	4	0	1	7	18	3	3	10	7	0	12	1	0	0	33
全体	3.3%	1.1%	10.9%	4.0%	3.6%	14.2%	***48.0%***	12.7%	14.2%	22.2%	23.3%	0.4%	29.1%	4.0%	2.9%	12.7%	
【性別】																	
男性	2.6%	2.6%	19.0%	5.2%	6.0%	8.6%	***44.0%***	12.9%	11.2%	19.8%	27.6%	0.9%	27.6%	4.3%	1.7%	11.2%	
女性	3.8%	0.0%	5.0%	3.1%	1.9%	18.2%	***50.9%***	12.6%	16.4%	23.9%	20.1%	0.0%	30.2%	3.8%	3.8%	13.8%	
【年齢別】																	
40～64歳	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	***33.3%***	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	
65～74歳	0.0%	6.9%	20.7%	10.3%	6.9%	10.3%	***44.8%***	13.8%	6.9%	27.6%	24.1%	3.4%	31.0%	3.4%	3.4%	10.3%	
75歳以上	3.8%	0.0%	9.6%	3.3%	3.3%	14.6%	***48.8%***	12.9%	15.4%	21.7%	23.3%	0.0%	29.6%	4.2%	2.9%	12.9%	
【地域別】																	
加須地域①	4.8%	2.9%	10.6%	5.8%	2.9%	9.6%	***47.1%***	11.5%	14.4%	23.1%	21.2%	1.0%	25.0%	5.8%	3.8%	11.5%	
加須地域②	2.6%	0.0%	10.3%	0.0%	0.0%	10.3%	***46.2%***	12.8%	15.4%	28.2%	25.6%	0.0%	41.0%	5.1%	2.6%	12.8%	
加須地域③	0.0%	0.0%	15.0%	10.0%	5.0%	15.0%	***45.0%***	15.0%	15.0%	12.5%	27.5%	0.0%	25.0%	0.0%	2.5%	22.5%	
騎西地域	2.0%	0.0%	10.2%	2.0%	8.2%	24.5%	***49.0%***	16.3%	14.3%	18.4%	24.5%	0.0%	26.5%	4.1%	4.1%	12.2%	
北川辺地域	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	***50.0%***	10.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	30.0%	
大利根地域	6.1%	0.0%	12.1%	0.0%	3.0%	21.2%	***54.5%***	9.1%	9.1%	30.3%	21.2%	0.0%	36.4%	3.0%	0.0%	0.0%	

※色の説明　***斜体*** 上位1位　数字 上位2位

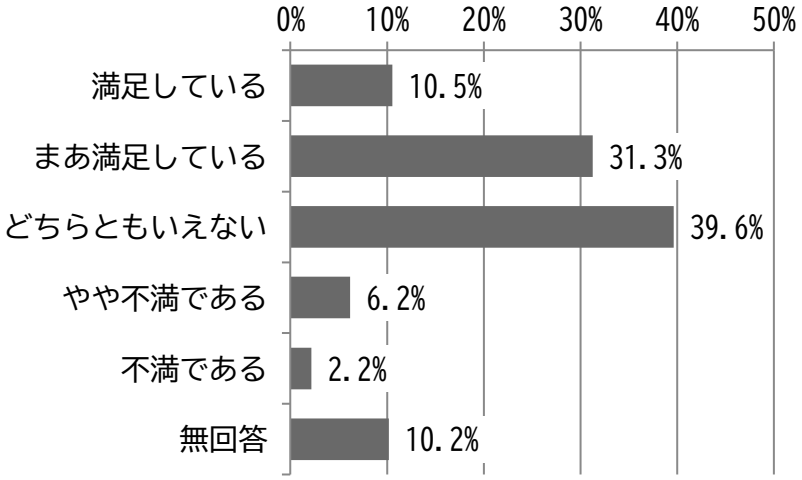
※一部地域の省略

加須地域①（加須、大桑、水深地区）、加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）、加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）

問 15　あなたは、加須市の保健・福祉サービス全般についてどのように感じますか。[１つに○]

加須市の保健・福祉サービス全般については、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している』が 41.8%となっています。

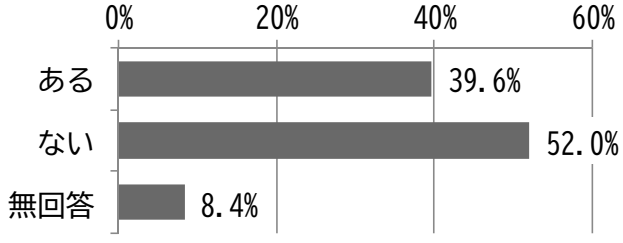
一方、「やや不満である」「不満である」を合わせた『である』は、8.4%となっています。



項目	度数	比率
満足している	29	10.5%
まあ満足している	86	31.3%
どちらともいえない	109	39.6%
やや不満である	17	6.2%
不満である	6	2.2%
無回答	28	10.2%
合計	275	100.0%

問 16　人生の最終段階における医療や介護などについて、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。[１つに○]

人生の最終段階における医療や介護などについての希望を身近な人と話し合ったことがあるかについては、「ある」が 39.6%、「ない」が 52.0%となっています。

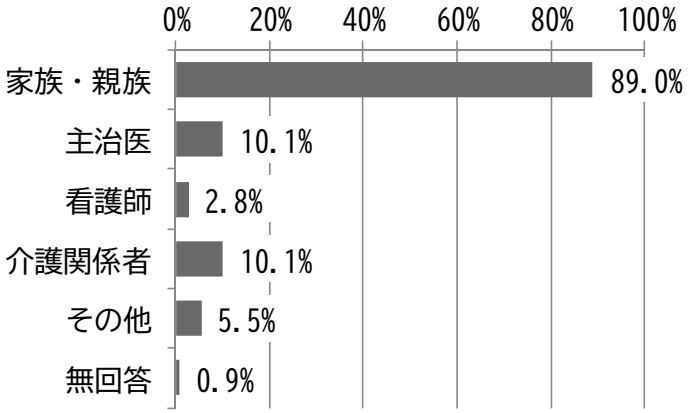


項目	度数	比率
ある	109	39.6%
ない	143	52.0%
無回答	23	8.4%
合計	275	100.0%

【問 16 で「ある」を選択した方のみ回答】

問 16-①　誰と話し合いましたか。[あてはまるものすべてに○]

話し合った相手については、「家族・親族」が 89.0%と最も多く、次いで、「主治医」、「介護関係者」がともに 10.1%となっています。

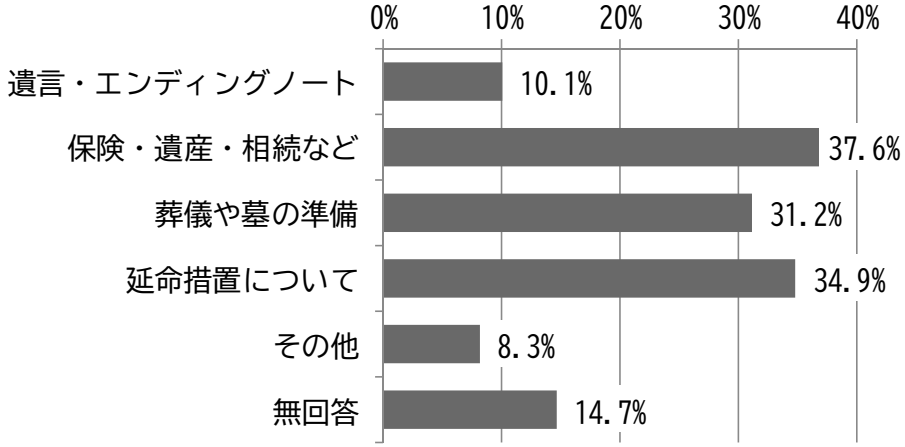


項目	度数	比率
家族・親族	97	89.0%
主治医	11	10.1%
看護師	3	2.8%
介護関係者	11	10.1%
その他	6	5.5%
無回答	1	0.9%
回答者数	109	

【問 16 で「ある」を選択した方のみ回答】

問 16-②　話し合った結果、具体的な準備に取りかかったものはありますか。

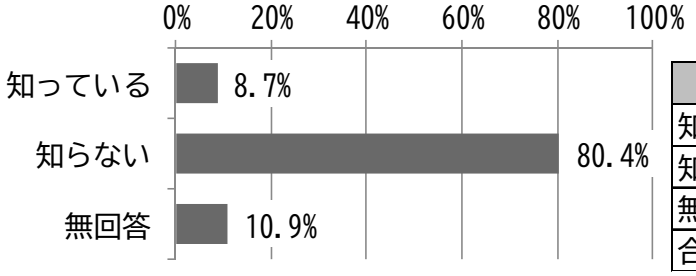
話し合った結果、具体的な準備に取りかかったものについては、「保険・遺産・相続など」が 37.6%と最も多く、次いで、「延命措置について」が 34.9%、「葬儀や墓の準備」が 31.2%となっています。



項目	度数	比率
遺言・エンディングノート	11	10.1%
保険・遺産・相続など	41	37.6%
葬儀や墓の準備	34	31.2%
延命措置について	38	34.9%
その他	9	8.3%
無回答	16	14.7%
回答者数	109	

問 17　あなたは、終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業を知っていますか。［１つに○］

終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業の認知度については、「知っている」が 8.7%、「知らない」が 80.4%となっています。



項目	度数	比率
知っている	24	8.7%
知らない	221	80.4%
無回答	30	10.9%
合計	275	100.0%

※「エンディングプラン・サポート事業」とは、頼れる身寄りがなく、自身の葬儀や納骨などに不安のある高齢者に対し、安心してこれらの生前契約を締結できるようにお手伝いするとともに、定期的な安否確認を行う事業です。

【問 17 で「知っている」を選択した方のみ回答】

問 17-①　あなたは、今後、エンディングプラン・サポート事業を利用したいですか。［１つに○］

今後、エンディングプラン・サポート事業の利用については、「利用したい」が 24 件中５件、「利用したくない」が 17 件となっています。

項目	度数	比率
利用したい	5	20.8%
利用したくない	17	70.8%
無回答	2	8.3%
回答者数	24	100.0%

【問 17－①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

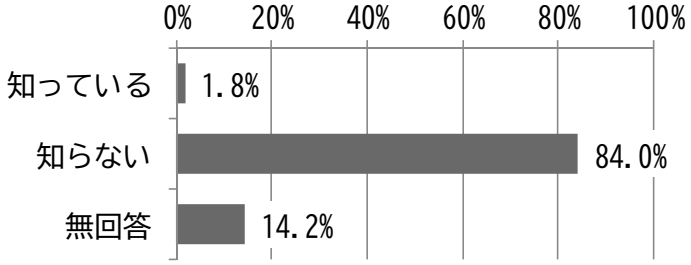
問 17-②　エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由については、「預託金の支払いなど費用の負担が心配」が 17 件中２件となっています。

項目	度数	比率
生前契約を締結した葬祭業者が倒産や廃業した場合が心配	1	4.2%
預託金の支払いなど費用の負担が心配	2	8.3%
葬祭業者とのトラブルが怖い	1	4.2%
死後の遺品整理や財産処分に関する事項が含まれていない	1	4.2%
その他	9	37.5%
無回答	4	45.8%
回答者数	17	

問 18　あなたは、終活支援のひとつである終活情報登録支援事業を知っていますか。[１つに○]

終活情報登録支援事業の認知度については、「知っている」が 1.8%、「知らない」が 84.0%となっています。



項目	度数	比率
知っている	5	1.8%
知らない	231	84.0%
無回答	39	14.2%
合計	275	100.0%

※「終活情報登録支援事業」とは、自身が意思表示できなくなったときや亡くなったときに備え、緊急連絡先、かかりつけ医、資産に関することなどについて、あらかじめ市へ登録しておき、もしものときには、警察、消防、医療機関、福祉事務所及び緊急連絡先等からの照会に対し、ご本人に代わり市から速やかに回答できる体制を整備するための事業です。

【問 18 で「知っている」を選択した方のみ回答】

問 18①　あなたは、終活情報登録支援事業を利用したいですか。[１つに○]

終活情報登録支援事業の利用については、「利用したい」が５件中１件、「利用したくない」が３件となっています。

項目	度数	比率
利用したい	1	20.0%
利用したくない	3	60.0%
無回答	1	20.0%
回答者数	5	100.0%

【問 18－①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

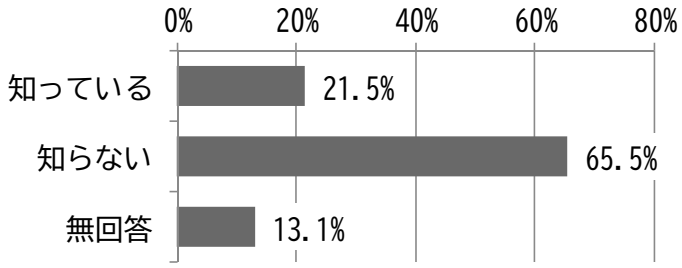
問 18-②　終活情報登録支援事業を利用したくないと考える理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

終活情報登録支援事業を利用したくないと考える理由については、「家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない」、「今はまだ元気なので、将来のことは心配していない」が３件中ともに２件となっています。

項目	度数	比率
個人情報の流出が心配	0	0.0%
他人に財産状況や生活状況を知られたくない	1	33.3%
家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない	2	66.7%
今はまだ元気なので、将来のことは心配していない	2	66.7%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	

問 19　あなたは、成年後見制度を知っていますか。[１つに○]

成年後見制度の認知度については、「知っている」が 21.5%、「知らない」が 65.5%となっています。



項目	度数	比率
知っている	59	21.5%
知らない	180	65.5%
無回答	36	13.1%
合計	275	100.0%

【問 19 で「知っている」を選択した方のみ回答】

問 19-①　今後、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか。[１つに○]

成年後見制度の利用については、「利用したい」が 59 件中 16 件、「利用したくない」が 40 件となっています。

項目	度数	比率
利用したい	16	27.1%
利用したくない	40	67.8%
無回答	3	5.1%
回答者数	59	100.0%

【問 19－①で「利用したくない」を選択した方のみ回答】

問 19-②　成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

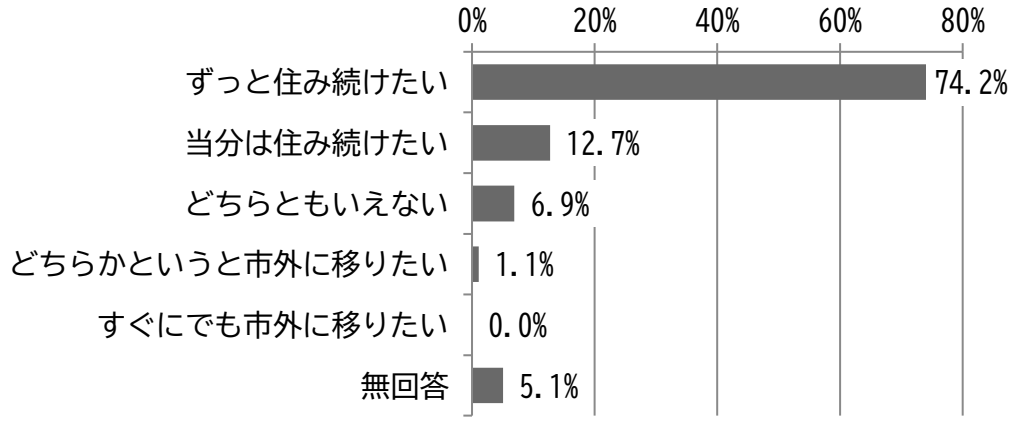
成年後見制度を利用したくないと考える理由については、「家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい」が 40 件中 30 件、「後見人等に金銭管理等を任せることが心配」、「他人に財産状況や生活状況を知られたくない」がともに 10 件となっています。

項目	度数	比率
手続が難しそう	7	17.5%
申立費用・報酬費用等の負担が心配	5	12.5%
後見人等に金銭管理等を任せることが心配	10	25.0%
他人に財産状況や生活状況を知られたくない	10	25.0%
家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい	30	75.0%
誰に相談すればよいかが分からない	1	2.5%
後見人に誰が選任されるかわからないため不安	8	20.0%
その他	2	5.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	40	

7　加須市への定住意向について

問 20　あなたは、これからも加須市に住み続けたいと思いますか。[１つに○]

これからも加須市に住み続けたいと思うかについては、「ずっと住み続けたい」が 74.2%と最も多く、次いで、「当分は住み続けたい」が 12.7%、「どちらともいえない」が 6.9%となっています。



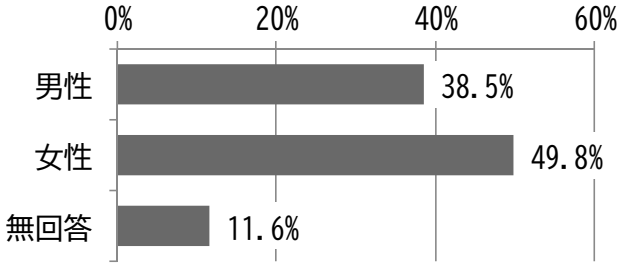
項目	度数	比率
ずっと住み続けたい	204	74.2%
当分は住み続けたい	35	12.7%
どちらともいえない	19	6.9%
どちらかというと市外に移りたい	3	1.1%
すぐにでも市外に移りたい	0	0.0%
無回答	14	5.1%
合計	275	100.0%

8　主な介護者について

問 21　主な介護者の方の性別、年齢について伺います。

（１）性別は。[１つに○]

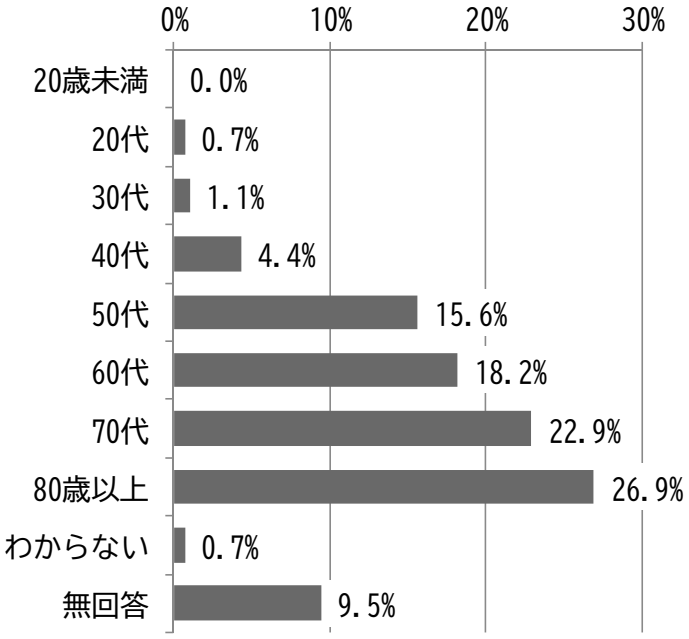
性別については、「男性」が 38.5%、「女性」が 49.8%となっています。



項目	度数	比率
男性	106	38.5%
女性	137	49.8%
無回答	32	11.6%
合計	275	100.0%

（２）年齢は。（令和７年 10 月１日現在）［１つに○］

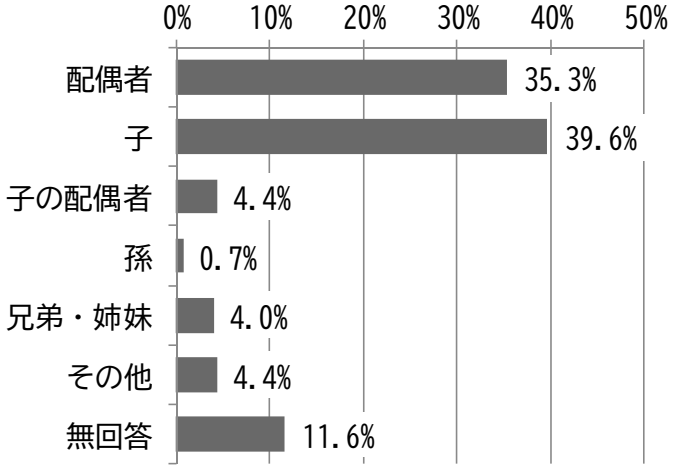
年齢については、「80 歳以上」が 26.9%、「70 代」が 22.9%、「60 代」が 18.2%となっています。



項目	度数	比率
20歳未満	0	0.0%
20代	2	0.7%
30代	3	1.1%
40代	12	4.4%
50代	43	15.6%
60代	50	18.2%
70代	63	22.9%
80歳以上	74	26.9%
わからない	2	0.7%
無回答	26	9.5%
合計	275	100.0%

（３）主な介護者の方は。（高齢者ご本人から見た関係でお答えください）［１つに○］

介護者については、「子」が 39.6%と最も多く、次いで、「配偶者」が 35.3%、「子の配偶者」が 4.4%となっています。

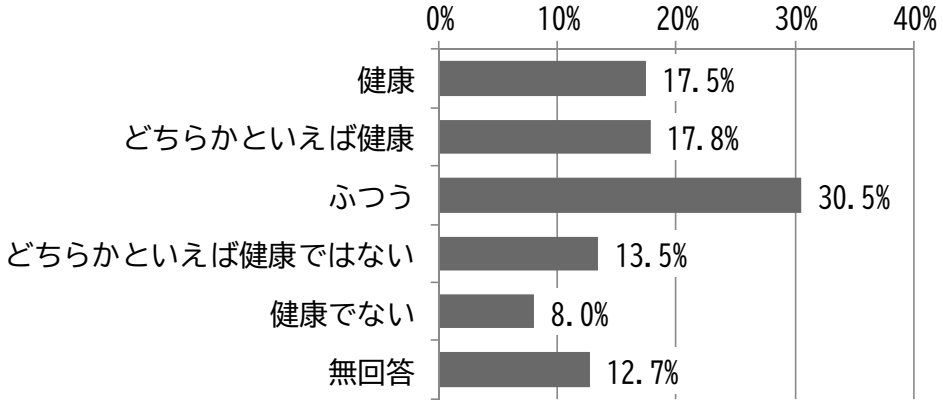


項目	度数	比率
配偶者	97	35.3%
子	109	39.6%
子の配偶者	12	4.4%
孫	2	0.7%
兄弟・姉妹	11	4.0%
その他	12	4.4%
無回答	32	11.6%
合計	275	100.0%

問 22　主な介護者の方の健康状態はいかがですか。[１つに○]

介護者の健康状態については、「健康」「どちらかといえば健康」を合わせた『健康』が 35.3%となっています。

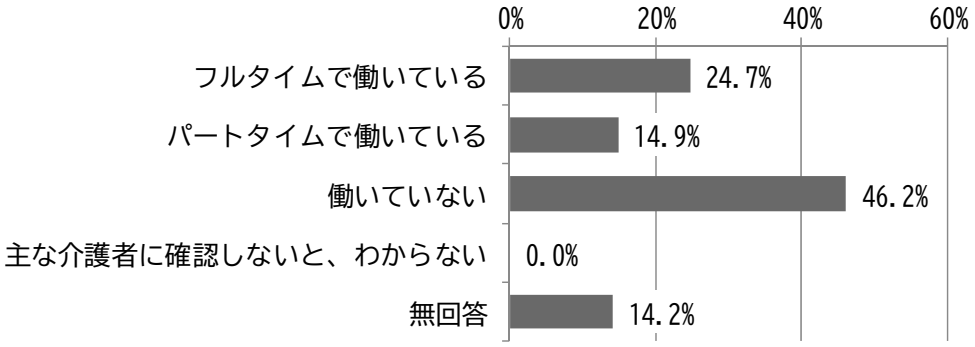
一方、「どちらかといえば健康ではない」「健康でない」を合わせた『健康でない』は、21.5%となっています。



項目	度数	比率
健康	48	17.5%
どちらかといえば健康	49	17.8%
ふつう	84	30.5%
どちらかといえば健康ではない	37	13.5%
健康でない	22	8.0%
無回答	35	12.7%
合計	275	100.0%

問 23　主な介護者の方の現在の勤務形態について伺います。[１つに○]

現在の勤務形態については、「働いていない」が 46.2%と最も多く、次いで、「フルタイムで働いている」が 24.7%、「パートタイムで働いている」が 14.9%となっています。



項目	度数	比率
フルタイムで働いている	68	24.7%
パートタイムで働いている	41	14.9%
働いていない	127	46.2%
主な介護者に確認しないと、わからない	0	0.0%
無回答	39	14.2%
合計	275	100.0%

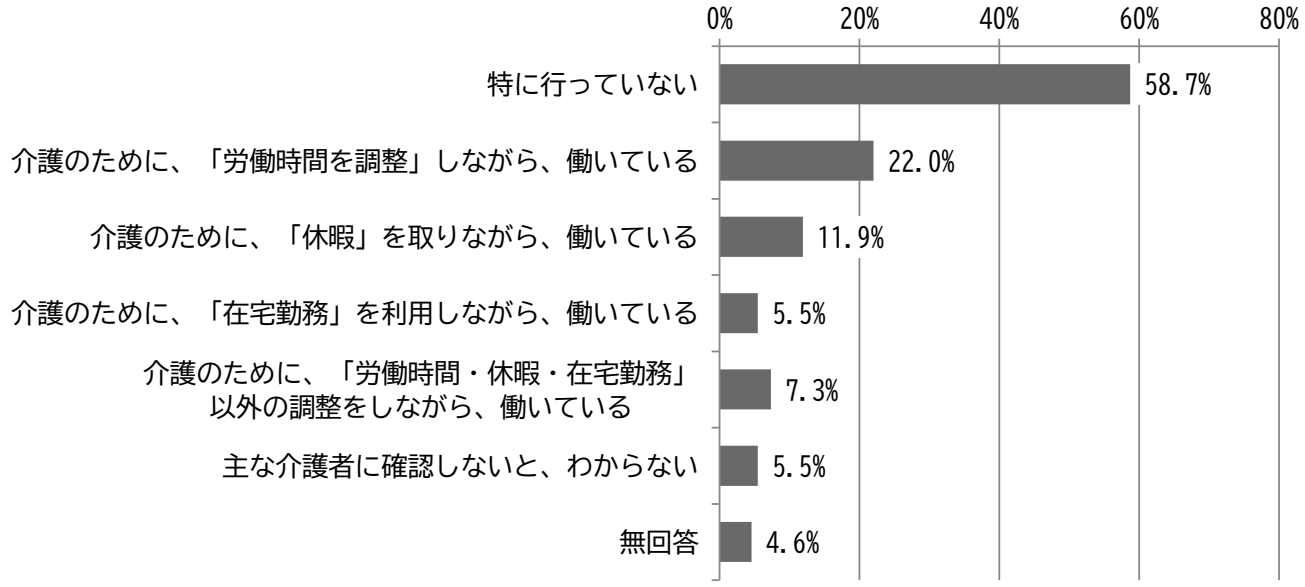
※「パートタイム」とは、「１週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当し、いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問 23 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」を選択した方のみ回答】

問 23-①　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。[あてはまるものすべてに○]

介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているかについては、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 22.0%と最も多く、次いで、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 11.9%となっています。

一方、「特に行っていない」が 58.7%となっています。

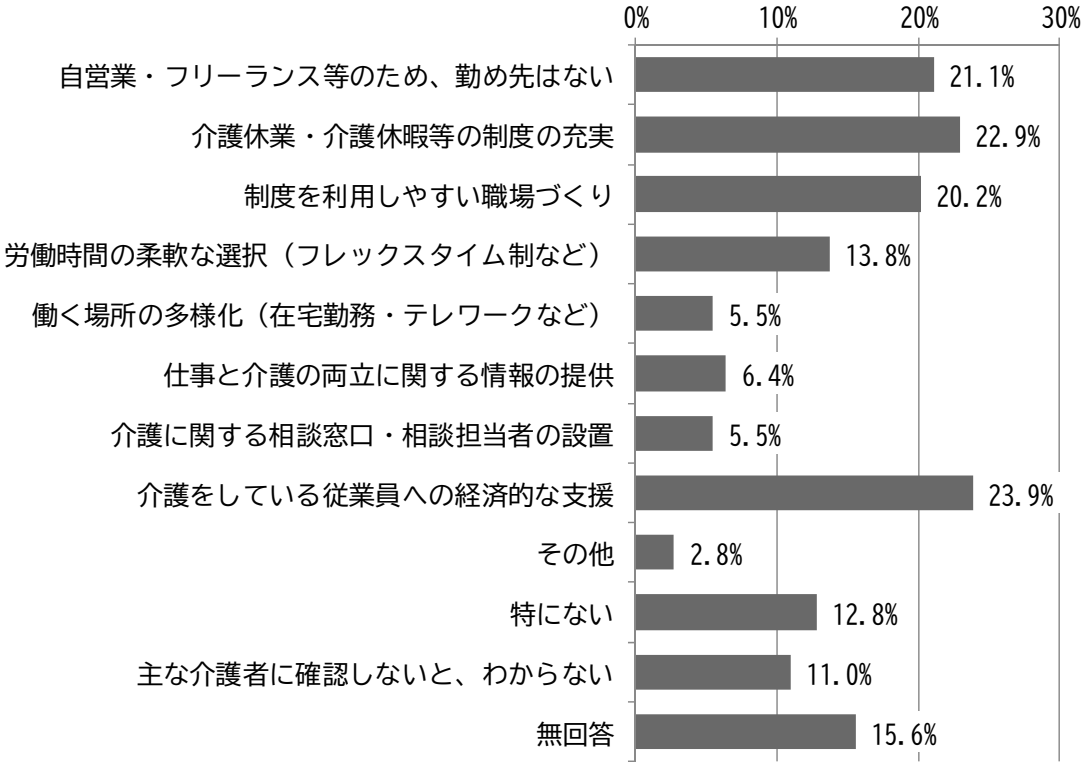


項目	度数	比率
特に行っていない	64	58.7%
介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	24	22.0%
介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	13	11.9%
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	6	5.5%
介護のために、「労働時間・休暇・在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている	8	7.3%
主な介護者に確認しないと、わからない	6	5.5%
無回答	5	4.6%
回答者数	109	

【問 23 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」を選択した方のみ回答】

問 23-②　主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。[３つまで○]

勤務先からの仕事と介護の両立に効果があると考えられる支援については、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 23.9%と最も多く、次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 22.9%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 21.1%となっている。

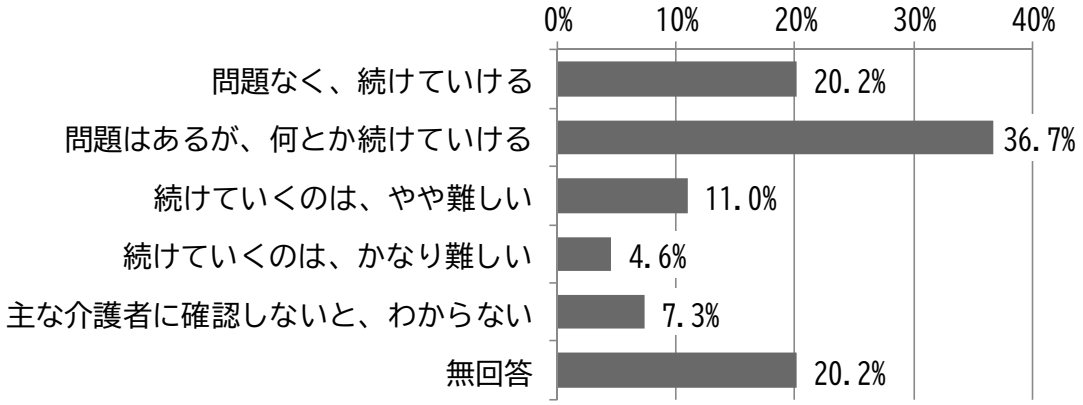


項目	度数	比率
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	23	21.1%
介護休業・介護休暇等の制度の充実	25	22.9%
制度を利用しやすい職場づくり	22	20.2%
労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	15	13.8%
働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	6	5.5%
仕事と介護の両立に関する情報の提供	7	6.4%
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	6	5.5%
介護をしている従業員への経済的な支援	26	23.9%
その他	3	2.8%
特にない	14	12.8%
主な介護者に確認しないと、わからない	12	11.0%
無回答	17	15.6%
回答者数	109	

【問 23 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」を選択した方のみ回答】

問 23-③　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。[１つに○]

今後も働きながら介護を続けていけそうであるかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が 36.7%と最も多く、次いで、「問題なく、続けていける」が 20.2%、「続けていくのは、やや難しい」が 11.0%となっています。

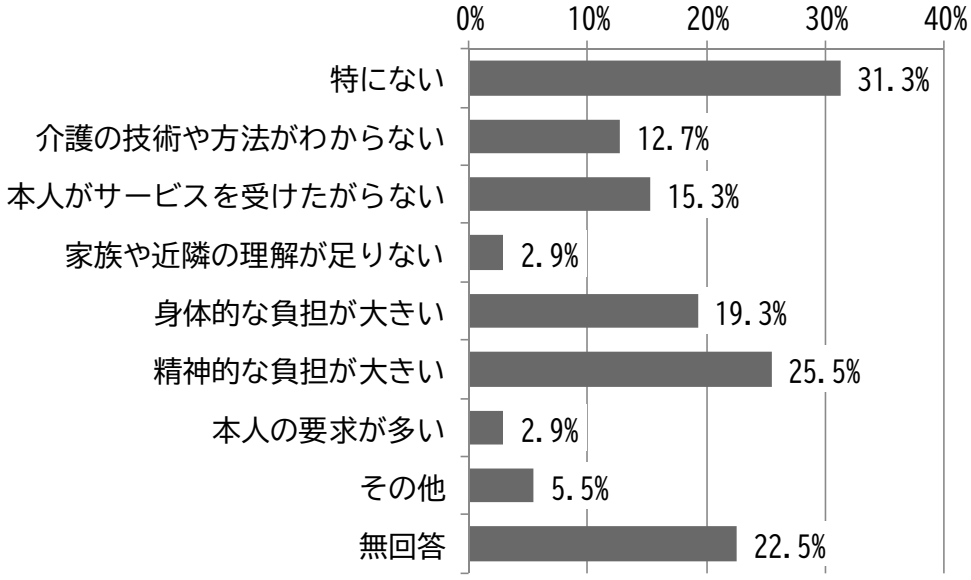


項目	度数	比率
問題なく、続けていける	22	20.2%
問題はあるが、何とか続けていける	40	36.7%
続けていくのは、やや難しい	12	11.0%
続けていくのは、かなり難しい	5	4.6%
主な介護者に確認しないと、わからない	8	7.3%
無回答	22	20.2%
回答者数	109	100.0%

問 24　主な介護者の方が、介護する上での困りごとがありますか。[あてはまるものすべてに○]

介護する上での困りごとについては、「精神的な負担が大きい」が 25.5%最も多く、次いで、「身体的な負担が大きい」が 19.3%、「本人がサービスを受けたがらない」が 15.3%となっています。

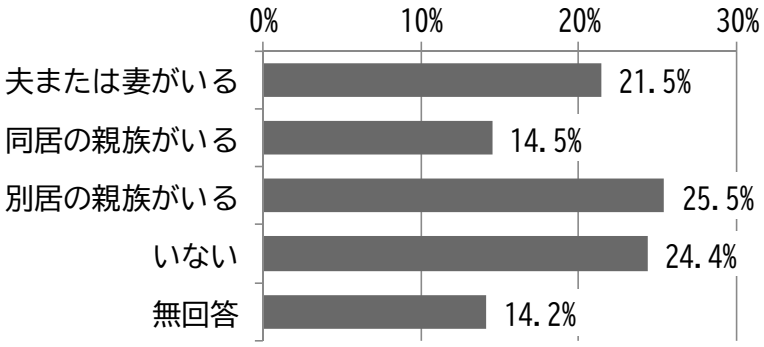
一方、「特にない」が 31.3%となっています。



項目	度数	比率
特にない	86	31.3%
介護の技術や方法がわからない	35	12.7%
本人がサービスを受けたがらない	42	15.3%
家族や近隣の理解が足りない	8	2.9%
身体的な負担が大きい	53	19.3%
精神的な負担が大きい	70	25.5%
本人の要求が多い	8	2.9%
その他	15	5.5%
無回答	62	22.5%
回答者数	275	

問 25　いざという時に、あなたに代わって介護をしてくれる家族、親族が身近にいますか。[１つに○]

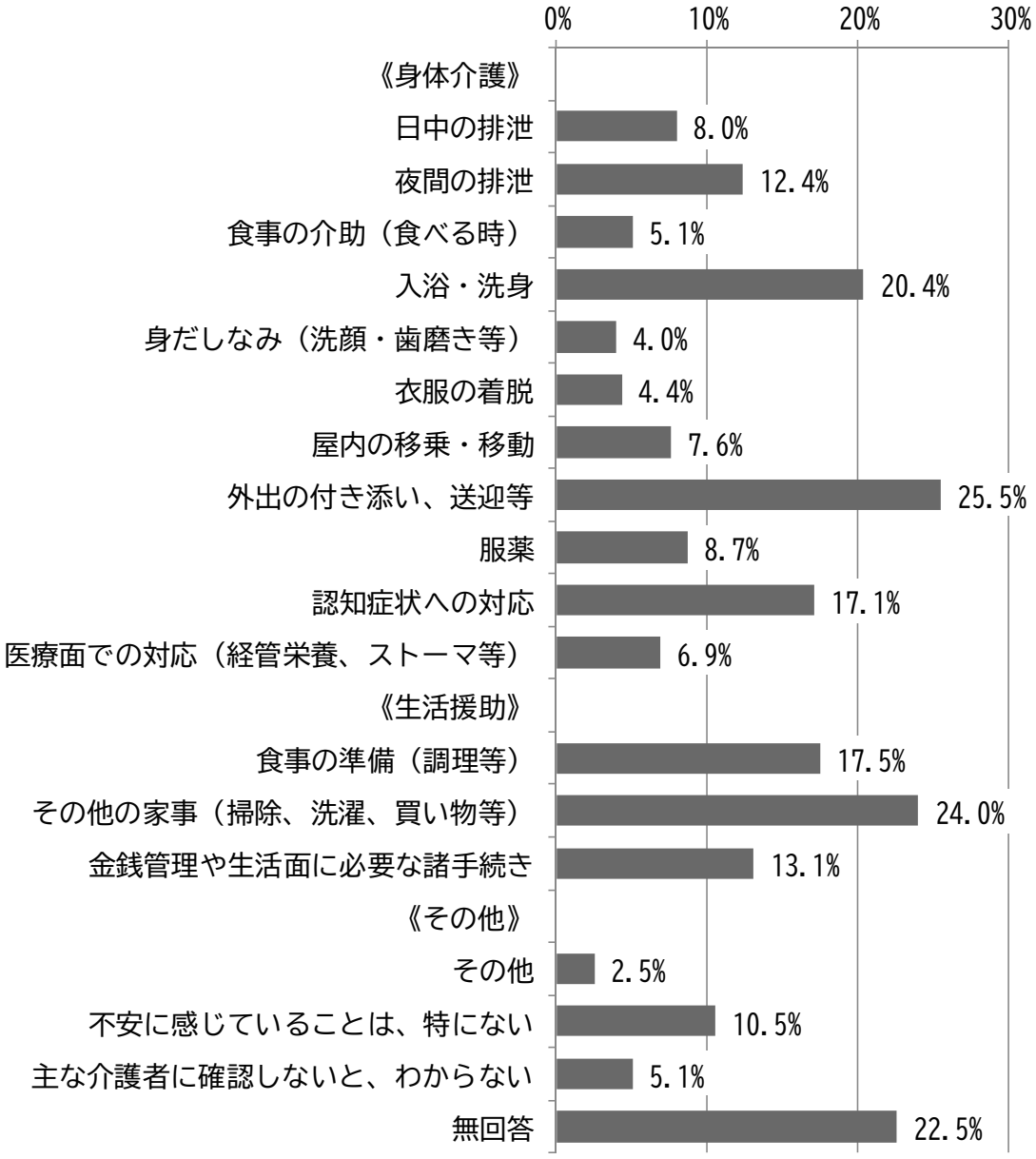
いざという時に、介護を代わってくれる家族、親族が身近にいるかについては、「別居の親族がいる」が 25.5%と最も多く、次いで、「いない」が 24.4%、「夫または妻がいる」が 21.5%となっています。



項目	度数	比率
夫または妻がいる	59	21.5%
同居の親族がいる	40	14.5%
別居の親族がいる	70	25.5%
いない	67	24.4%
無回答	39	14.2%
合計	275	100.0%

問 26　現在の生活を継続していく上で、主な介護者の方が不安に感じる介護について、ご回答ください。（現在行っているか否かは問いません）。［３つまで○］

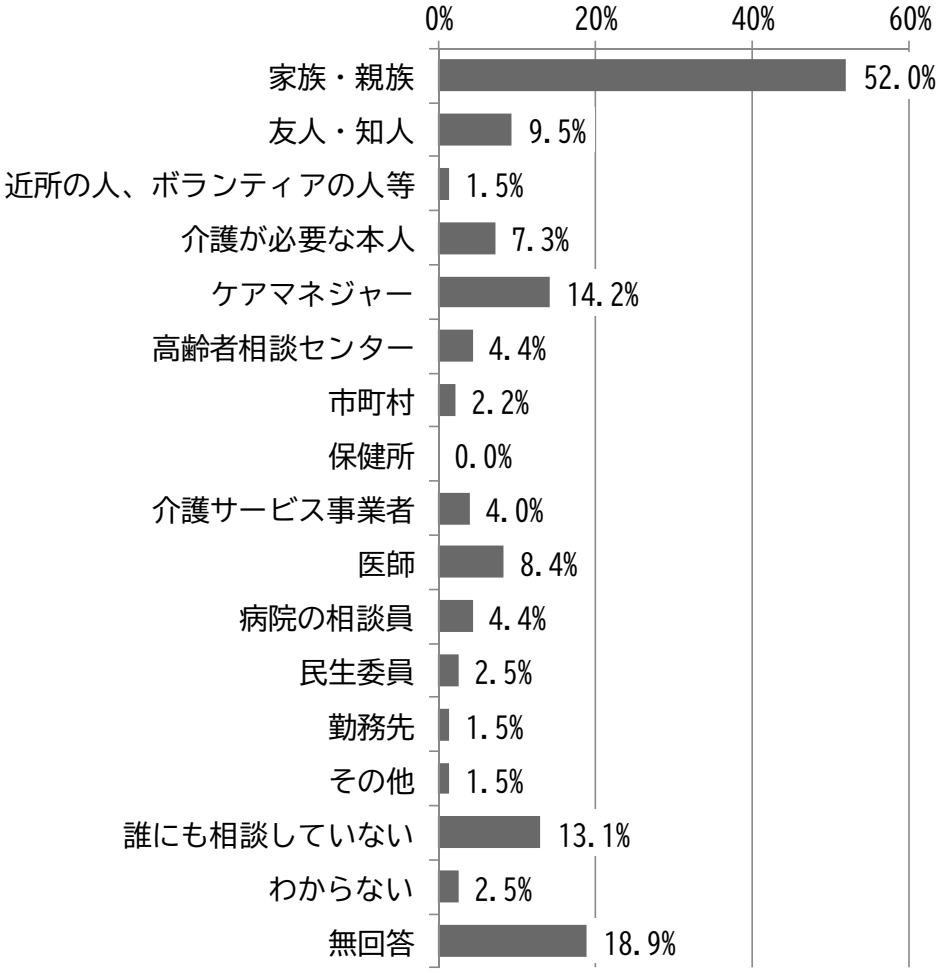
現在の生活を継続していく上で、主な介護者の方が不安に感じる介護については、「外出の付き添い、送迎等」が 25.5%と最も多く、次いで、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 24.0%、「入浴・洗身」が 20.4%となっています。



項目	度数	比率
《身体介護》		
日中の排泄	22	8.0%
夜間の排泄	34	12.4%
食事の介助（食べる時）	14	5.1%
入浴・洗身	56	20.4%
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	11	4.0%
衣服の着脱	12	4.4%
屋内の移乗・移動	21	7.6%
外出の付き添い、送迎等	70	25.5%
服薬	24	8.7%
認知症状への対応	47	17.1%
医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	19	6.9%
《生活援助》		
食事の準備（調理等）	48	17.5%
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	66	24.0%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	36	13.1%
《その他》		
その他	7	2.5%
不安に感じていることは、特にない	29	10.5%
主な介護者に確認しないと、わからない	14	5.1%
無回答	62	22.5%
回答者数	275	

問 27　主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。[あてはまるものすべてに○]

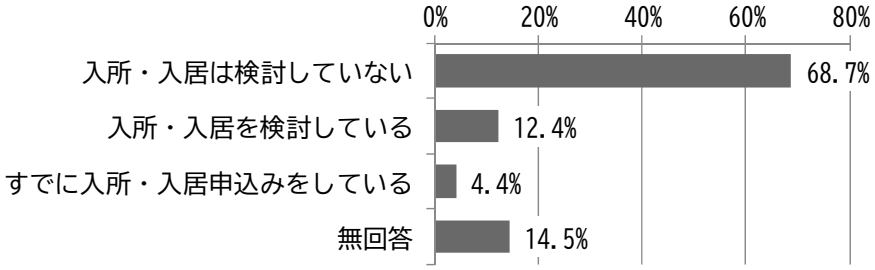
介護について相談している相手については、「家族・親族」が 52.0%と最も多く、次いで、「ケアマネジャー」が 14.2%、「誰にも相談していない」が 13.1%となっています。



項目	度数	比率
家族・親族	143	52.0%
友人・知人	26	9.5%
近所の人、ボランティアの人等	4	1.5%
介護が必要な本人	20	7.3%
ケアマネジャー	39	14.2%
高齢者相談センター	12	4.4%
市町村	6	2.2%
保健所	0	0.0%
介護サービス事業者	11	4.0%
医師	23	8.4%
病院の相談員	12	4.4%
民生委員	7	2.5%
勤務先	4	1.5%
その他	4	1.5%
誰にも相談していない	36	13.1%
わからない	7	2.5%
無回答	52	18.9%
回答者数	275	

問 28　現時点での施設への入所・入居の検討状況についてご回答ください。[1 つに○]

現時点での施設への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 68.7%、「入所・入居を検討している」が 12.4%、「すでに入所・入居申込みをしている」が 4.4%となっています。



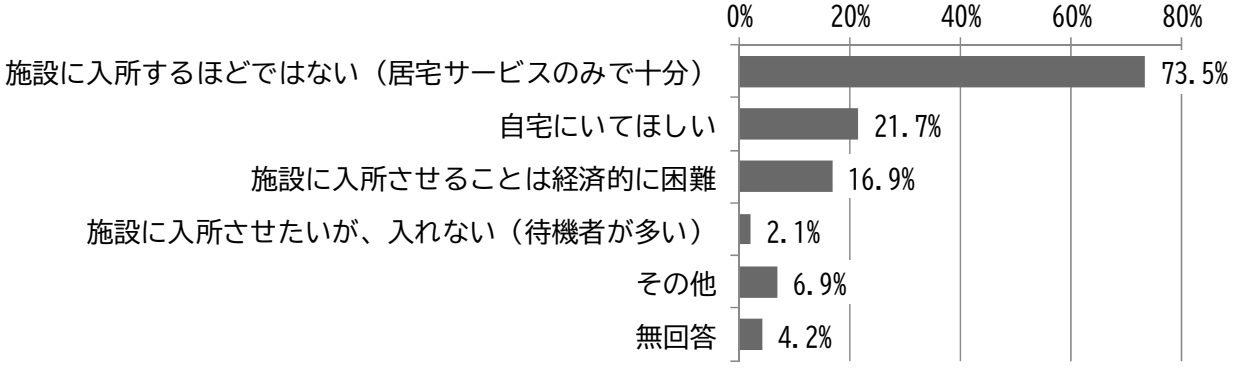
項目	度数	比率
入所・入居は検討していない	189	68.7%
入所・入居を検討している	34	12.4%
すでに入所・入居申込みをしている	12	4.4%
無回答	40	14.5%
合計	275	100.0%

※「施設」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

【問 28 で「入所・入居は検討していない」を選択した方のみ回答】

問 28-①　入所・入居を検討していない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

入所・入居を検討していない理由については、「施設に入所するほどではない（居宅サービスのみで十分）」が 73.5%と最も多く、次いで、「自宅にいてほしい」が 21.7%、「施設に入所させることは経済的に困難」が 16.9%となっています。



項目	度数	比率
施設に入所するほどではない（居宅サービスのみで十分）	139	73.5%
自宅にいてほしい	41	21.7%
施設に入所させることは経済的に困難	32	16.9%
施設に入所させたいが、入れない（待機者が多い）	4	2.1%
その他	13	6.9%
無回答	8	4.2%
回答者数	189	

【問 28 で「入所・入居を検討している」を選択した方のみ回答】

問 28-②　入所・入居を検討している理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

入所・入居を検討している理由については、「介護者の負担が重すぎる」が 34 件中 16 件、「本人がひとり暮らし（又はそれに近い状況）で介護できる人がいない」が 11 件なっています。

項目	度数	比率
本人がひとり暮らし（又はそれに近い状況）で介護できる人がいない	11	32.4%
介護者の負担が重すぎる	16	47.1%
在宅サービスを受けているが不十分である	0	0.0%
病院などを退院・退所する期限が迫っている	5	14.7%
その他	3	8.8%
無回答	3	8.8%
回答者数	34	

【問 28 で「すでに入所・入居申込みをしている」を選択した方のみ回答】

問 28-③　それは、どの施設ですか。[あてはまるものすべてに○]

すでに入所・入居申込みをしている施設については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 12 件中６件、「介護老人保健施設」が３件となっています。

項目	度数	比率
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	6	50.0%
介護老人保健施設	3	25.0%
グループホーム	1	8.3%
有料老人ホーム、ケアハウス	1	8.3%
その他	0	0.0%
無回答	1	8.3%
回答者数	12	

【問 28 で「すでに入所・入居申込みをしている」を選択した方のみ回答】

問 28-④　あなたが上記の施設を選ぶ際に、重視したことは何ですか。[２つまで○]

施設を選ぶ際に重視したことについては、「評判がよいこと」が 12 件中５件、「施設の種類や内容」が４件となっています。

項目	度数	比率
施設の種類や内容	4	33.3%
高齢者本人の意向	0	0.0%
早く入所（入院）できること	3	25.0%
身近な地域にあること	3	25.0%
評判がよいこと	5	41.7%
ケアマネジャー等のすすめに従った	3	25.0%
その他	1	8.3%
無回答	1	8.3%
回答者数	12	

⑥ケアマネジャー

⑥ケアマネジャー

１　ご本人（あなた）のことについて

問１　あなたが所属する事業所の運営主体を次の中から選んでください。[１つに○]

「株式会社、有限会社」が 23 件中９件、「社会福祉法人」が８件となっています。

項目	度数	比率
社会福祉法人	8	34.8%
医療法人	1	4.3%
財団法人、社団法人	1	4.3%
株式会社、有限会社	9	39.1%
NPO（特定非営利活動法人）、組合	2	8.7%
その他	2	8.7%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

問２　あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。[１つに○]

年齢については、「40 代」が 23 件中９件、「50 代」、「60 代」がともに７件となっています。

項目	度数	比率
20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	9	39.1%
50代	7	30.4%
60代	7	30.4%
70代以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

問３　あなたの勤務形態について次の中から選んでください。[１つに○]

勤務形態については、「常勤」が 23 件中 23 件となっています。

項目	度数	比率
常勤	23	100.0%
非常勤	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

問４　あなたはケアマネジャー業務の専任ですか。兼任ですか。[１つに○]

ケアマネジャー業務については、「専任」が 23 件中 20 件、「兼任」が３件となっています。

項目	度数	比率
専任	20	87.0%
兼任	3	13.0%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

■兼任の内訳

項目	度数	比率
医師・歯科医師	0	0.0%
薬剤師	0	0.0%
看護師	0	0.0%
保健師	0	0.0%
介護福祉士	0	0.0%
社会福祉士	0	0.0%
歯科衛生士、理学療法士、作業療法士	0	0.0%
その他	3	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%

問５　ケアマネジャー業務に従事してどれくらいの経験年数がありますか。前職を含めた合計期間でお答えください。（令和７年１０月１日現在）

ケアマネジャー業務に従事しての経験年数については、「５年以上」が 23 件中 20 件となっています。

項目	度数	比率
６か月未満	1	4.3%
６か月以上１年未満	0	0.0%
１年以上３年未満	0	0.0%
３年以上５年未満	1	4.3%
５年以上	20	87.0%
無回答	1	4.3%
合計	23	100.0%

問６　現在の職場の勤務期間をお答えください。（令和７年１０月１日現在）

職場の勤務期間については、「５年以上」が 23 件中 13 件となっています。

項目	度数	比率
６か月未満	0	0.0%
６か月以上１年未満	3	13.0%
１年以上３年未満	5	21.7%
３年以上５年未満	2	8.7%
５年以上	13	56.5%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

２　業務運営上の課題について

問７　あなたはケアプランを作成する上での困りごとはありますか。次の中から選んでください。［あてはまるものすべてに○］

ケアプランを作成する上で困っていることについては、「地域のサービス不足」が 23 件中 18 件、「利用者と家族の意向の違い」が 13 件、「必要以上のサービス要求」が９件となっています。

項目	度数	比率
支給限度額以上のサービス希望	3	13.0%
自己負担（１割～３割）が理由で、必要なサービスプランの利用を控える	5	21.7%
利用者と家族の意向の違い	13	56.5%
利用者・家族と自分の意見の違い	6	26.1%
地域のサービス不足	18	78.3%
希望事業者のサービスが提供できない	6	26.1%
希望時間帯にサービスが提供できない	1	4.3%
他事業者の情報不足	0	0.0%
相談相手がいない	3	13.0%
主治医と連携が取れない	3	13.0%
行政と連携が取れない	2	8.7%
必要以上のサービス要求	9	39.1%
その他	3	13.0%
困っていることは特にない	1	4.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

【問７で「地域のサービス不足」を選択した方のみ回答】

問７-①　不足しているサービスは何だと思いますか。次の中で該当するものに○をつけてください[あてはまるものすべてに○]

■【要介護者サービス】

不足しているサービスについては、「訪問介護」が 18 件中 12 件と最も多く、次いで、「訪問リハビリテーション」、「通所リハビリテーション」がともに５件となっています。

項目	度数	比率
訪問介護	12	66.7%
訪問入浴介護	1	5.6%
訪問看護	1	5.6%
訪問リハビリテーション	5	27.8%
居宅療養管理指導	0	0.0%
通所介護	3	16.7%
通所リハビリテーション	5	27.8%
短期入所生活介護	3	16.7%
短期入所療養介護	0	0.0%
特定施設入居者生活介護	0	0.0%
介護老人福祉施設	0	0.0%
介護老人保健施設	0	0.0%
介護医療院	3	16.7%
夜間対応型訪問介護	2	11.1%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	11.1%
地域密着型通所介護	0	0.0%
認知症対応型通所介護	4	22.2%
小規模多機能型居宅介護	1	5.6%
認知症対応型共同生活介護	3	16.7%
看護小規模多機能型居宅介護	4	22.2%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0.0%
福祉用具貸与・購入	0	0.0%
住宅改修	0	0.0%
無回答	5	27.8%
回答者数	18	

■【要支援者サービス】

不足しているサービスについては、「元気あっぷ訪問サービス（介護予防・生活支援サービス事業）」が 18 件中４件、「元気あっぷ通所サービス（介護予防・生活支援サービス事業）」が３件となっています。

項目	度数	比率
元気あっぷ訪問サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	4	22.2%
元気あっぷ通所サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	3	16.7%
介護予防訪問入浴介護	0	0.0%
介護予防訪問看護	0	0.0%
介護予防訪問リハビリテーション	1	5.6%
介護予防居宅療養管理指導	0	0.0%
介護予防通所リハビリテーション	1	5.6%
介護予防短期入所生活介護	0	0.0%
介護予防短期入所療養介護	0	0.0%
介護予防特定施設入居者生活介護	0	0.0%
介護予防認知症対応型通所介護	0	0.0%
介護予防小規模多機能型居宅介護	0	0.0%
介護予防認知症対応型共同生活介護	0	0.0%
介護予防福祉用具貸与・購入	0	0.0%
介護予防住宅改修	0	0.0%
無回答	5	27.8%
回答者数	18	

問８　介護予防・生活支援サービス事業のうち、特に不足していたり、新たに実施する必要があると思うサービスはありますか。次の中で該当するものに○をつけてください。[あてはまるものすべてに○]

介護予防・生活支援サービス事業のうち、不足や新たに実施する必要があると思うサービスについては、「訪問サービスＢ（住民主体による支援）」、「訪問サービスＤ（移動支援）」がともに 23 件中７件となっています。

項目	度数	比率
訪問サービスＳ（従前の介護予防訪問介護相当）	4	17.4%
訪問サービスＡ（緩和した基準によるサービス）	1	4.3%
訪問サービスＢ（住民主体による支援）	7	30.4%
訪問サービスＣ（短期集中予防サービス）	1	4.3%
訪問サービスＤ（移動支援）	7	30.4%
通所サービスＳ（従前の介護予防通所介護相当）	3	13.0%
通所サービスＡ（緩和した基準によるサービス）	1	4.3%
通所サービスＢ（住民主体による支援）	6	26.1%
通所サービスＣ（短期集中予防サービス）	1	4.3%
無回答	9	39.1%
回答者数	23	

■参照：「介護予防・生活支援サービス事業の内容」

サービスの種類	サービスの内容
訪問サービスＳ（従前の介護予防訪問介護相当）	指定事業者の訪問介護員による訪問サービス（身体介護、生活援助）
訪問サービスＡ（緩和した基準によるサービス）	指定事業者の訪問介護員による基準を緩和した訪問サービス（生活援助等）
訪問サービスＢ（住民主体による支援）	住民主体のボランティア団体等による生活援助等
訪問サービスＣ（短期集中予防サービス）	保健師等の専門職による短期間（３～６箇月）で行う居宅での相談指導等
訪問サービスＤ（移動支援）	介護予防・生活支援サービスと一体的に行う移動支援や移送前後の生活支援
通所サービスＳ（従前の介護予防通所介護相当）	指定事業者による通所サービス（生活機能の向上のための機能訓練）
通所サービスＡ（緩和した基準によるサービス）	指定事業者による基準を緩和した通所サービス（運動・レクリエーション等）
通所サービスＢ（住民主体による支援）	住民主体のボランティア団体等による体操、運動等の通いの場
通所サービスＣ（短期集中予防サービス）	専門職による短期間（３～６箇月）で行う生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラム

問９　あなたが日ごろの業務の中で感じたり、相談を受けたりする「利用者の困りごと」について該当するものに○をつけてください。[あてはまるものすべてに○]

利用者の困りごとついては、「サービス利用料等の経済的な負担が大きい」、「手続きがわずらわしい」がともに 23 件中 11 件、「介護保険制度の仕組みがわかりにくい」が 10 件となっています。

項目	度数	比率
介護保険制度の仕組みがわかりにくい	10	43.5%
希望どおりの施設に入所できない	3	13.0%
サービス利用料等の経済的な負担が大きい	11	47.8%
限度内のサービス利用量では不足している	4	17.4%
サービス内容がわからない	2	8.7%
希望どおりの在宅サービスが利用できない	5	21.7%
手続きがわずらわしい	11	47.8%
サービスの内容に満足できない	4	17.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

問 10　あなたは利用者から、サービス事業者への苦情・不満を聞いたことがありますか。[１つに○]

利用者から、サービス事業者への苦情・不満については、「聞いたことがある」が 23 件中 18 件、「聞いたことはない」が５件となっています。

項目	度数	比率
聞いたことがある	18	78.3%
聞いたことはない	5	21.7%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

【問 10 で「聞いたことがある」を選択した方のみ回答】

問 10-①　その苦情、不満は何ですか。[１つに○]

苦情、不満については、「ヘルパーについて」が 18 件中８件、「配食サービスについて」が２件となっています。

項目	度数	比率
ヘルパーについて	7	38.9%
通所サービスについて	1	5.6%
配食サービスについて	2	11.1%
家族介護用品の支給について	1	5.6%
その他	7	38.9%
無回答	5	27.8%
合計	18	100.0%

問 11　あなたはケアマネジャーの仕事を辞めたいと思ったことがありますか。[１つに○]

ケアマネジャーの仕事を辞めたいと思ったことがあるかについては、「ある」が 23 件中 13 件、「ない」が 10 件となっています。

項目	度数	比率
ある	13	56.5%
ない	10	43.5%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

【問 11 で「ある」を選択した方のみ回答】

問 11-①　辞めたい理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

辞めたい理由については、「書類作成など、介護以外の業務（管理業務等）が忙しすぎる」が 13 件中 11 件、「収入が少ない」が８件となっています。

項目	度数	比率
収入が少ない	8	61.5%
書類作成など、介護以外の業務（管理業務等）が忙しすぎる	11	84.6%
体力的にきつい	1	7.7%
担当する要介護認定者が多すぎる	0	0.0%
担当する要介護認定者からハラスメントを受けている	3	23.1%
担当する要介護認定者の要求が多すぎる	1	7.7%
その他	4	30.8%
無回答	10	76.9%
回答者数	13	

問 12　あなたの日ごろの業務の中で頻繁に必要とされ、向上しなければならないと感じている「専門的技術」を次の中から選んでください。[１つに○]

日ごろの業務の中で頻繁に必要とされ、向上しなければならないと感じている「専門的技術」については、「困難事例に対応できる社会福祉援助技術」が 23 件中９件、「利用者の主訴を適切に把握し、より良いプランニングにつなげるアセスメント技術」が４件となっています。

項目	度数	比率
自立支援や要介護度等の重度化を防ぐためのプランニング技術	2	8.7%
困難事例に対応できる社会福祉援助技術	9	39.1%
認知症に効果の高いプランニング技術	1	4.3%
利用者の主訴を適切に把握し、より良いプランニングにつなげるアセスメント技術	4	17.4%
その他	6	26.1%
特にない	1	4.3%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

問 13　ケアマネジャーとして、あなたの所属している事業者に最も強く望むことは何ですか。[１つに○]

所属している事業者に強く望むことについては、「事務職員や介護支援専門員を増員して欲しい」が 23 件中９件、「文書の電子化やＩＣＴの活瞙等により業務負担の軽減を推進して欲しい」が７件となっています。

項目	度数	比率
行政や職能専門団体が行う研修に積極的に参加させて欲しい	1	4.3%
ケアプラン作成について助言して欲しい	0	0.0%
公平・中立なケアプラン作成ができるような環境を整えて欲しい	0	0.0%
事務職員や介護支援専門員を増員して欲しい	9	39.1%
勤務時間の正常化を図って欲しい	1	4.3%
処遇困難事例への対応の支援をして欲しい	1	4.3%
文書の電子化やＩＣＴの活用等により業務負担の軽減を推進して欲しい	7	30.4%
その他	2	8.7%
無回答	2	8.7%
合計	23	100.0%

３　市の介護予防・高齢者福祉施策について

問 14　高齢者福祉や介護保険に関する情報の公開手段は、次のどれが利用者にとってわかりやすいと思いますか。[あてはまるものすべてに○]

高齢者福祉や介護保険に関する情報の公開手段については、「市の広報紙やパンフレット」が 23 件中 17 件と最も多く、次いで、「ケアマネジャー」が 16 件、「市役所の窓口」が 13 件となっています。

項目	度数	比率
市の広報紙やパンフレット	17	73.9%
市のホームページ	7	30.4%
民生委員	3	13.0%
高齢者相談センターの職員	12	52.2%
社会福祉協議会の職員	3	13.0%
家族・親族	4	17.4%
病院の医師や看護師	3	13.0%
市の保健師	1	4.3%
ケアマネジャー	16	69.6%
サービス提供事業者（ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰや看護師）	5	21.7%
市役所の窓口	13	56.5%
友人・知人	1	4.3%
その他	1	4.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

問 15　ケアマネジャーの業務を行う上で、市に支援や充実を希望することは何ですか。[３つまで○]

市に支援や充実を希望することについては、「処遇困難事例への対応の支援」が 23 件中 14 件、「介護保険制度や高齢者福祉施策に関する最新・適切な情報の提供」が 13 件、「サービス提供事業者の質の向上のための研修等の実施」が６件となっています。

項目	度数	比率
介護保険制度や高齢者福祉施策に関する最新・適切な情報の提供	13	56.5%
地域のネットワークづくり、多職種連携の支援	5	21.7%
処遇困難事例への対応の支援	14	60.9%
介護予防事業の展開	2	8.7%
介護と医療の連携支援	3	13.0%
認知症施策の推進、普及啓発	5	21.7%
サービス提供事業者の質の向上のための研修等の実施	6	26.1%
その他	4	17.4%
特にない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

問 16　在宅生活を支えるために、充実が必要と考える生活支援は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

在宅生活を支えるために、充実が必要と考える生活支援については、「外出同行（通院、買い物など）」が 23 件中 18 件、「ゴミ出し」が 17 件、「買い物（宅配を除く）」が 13 件となっています。

項目	度数	比率
配食	11	47.8%
調理	6	26.1%
掃除・洗濯	6	26.1%
買い物（宅配を除く）	13	56.5%
ゴミ出し	17	73.9%
外出同行（通院、買い物など）	18	78.3%
サロンなどの定期的な通いの場	7	30.4%
特にない	0	0.0%
その他	3	13.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

問 17　地域包括ケアシステムの確立に向けて、高齢者が在宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、不足していると感じたり、今後さらに推進が必要なものは何だと思いますか。[あてはまるものすべてに○]

地域包括ケアシステムの確立に向けて、不足や今後さらに推進が必要だと思うものについては、「外出する際の支援サービスの充実」が 23 件中 22 件と最も多く、次いで、「コミュニティバス等の充実」が 12 件、「地縁組織やボランティア等による地域の見守り体制の充実」が 10 件となっています。

項目	度数	比率
外出する際の支援サービスの充実	22	95.7%
コミュニティバス等の充実	12	52.2%
各種介護予防事業の充実	2	8.7%
介護と医療の連携の強化	2	8.7%
在宅医療の充実	7	30.4%
地縁組織やボランティア等による地域の見守り体制の充実	10	43.5%
介護する家族へのケア	6	26.1%
その他	3	13.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

問 18　高齢者の健康を維持させていくために、介護予防事業として今後さらに推進が必要な取り組みは何だと思いますか。[あてはまるものすべてに○]

高齢者の健康を維持させていくために、介護予防事業として今後さらに推進が必要な取り組みについては、「高齢者同士が交流できるふれあいサロン」が 23 件中 15 件と最も多く、次いで、「転倒・骨折予防のための筋力アップトレーニング」が 13 件、「認知症予防のための支援や啓発事業」が 12 件となっています。

項目	度数	比率
転倒・骨折予防のための筋力アップトレーニング	13	56.5%
認知症予防のための支援や啓発事業	12	52.2%
転倒や閉じこもり予防のための体操教室	9	39.1%
高齢者同士が交流できるふれあいサロン	15	65.2%
栄養改善・口腔機能向上に関する講座	10	43.5%
その他	4	17.4%
無回答	1	4.3%
回答者数	23	

問 19　介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについてどう考えますか。[あてはまるものすべてに○]

介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについては、「介護サービスが現状を維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が 23 件中 14 件、「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が 10 件となっています。

項目	度数	比率
介護保険料が上がってもよいので、介護サービスは大いに充実させるべきだ	0	0.0%
介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない	10	43.5%
介護サービスが現状を維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ	14	60.9%
介護サービスが低下しても構わないので、介護保険料は上げるべきではない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

4　関係機関との連携について

問 20　サービス提供事業者との連携において問題を感じることはありますか。[あてはまるものすべてに○]

サービス提供事業者との連携において問題を感じることについては、「利用者の変化、要望などについて十分に報告がなされない」が 23 件中 10 件、「業務多忙で連絡が取りにくい」「利用者に対する説明に相違が生じていることがある」がともに６件となっています。

項目	度数	比率
業務多忙で連絡が取りにくい	6	26.1%
ケアプランどおりにサービスを提供してくれない	0	0.0%
利用者の変化、要望などについて十分に報告がなされない	10	43.5%
利用者に対する説明に相違が生じていることがある	6	26.1%
その他	2	8.7%
特にない	5	21.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

問 21　医療機関との連携は取れていますか。[１つに○]

医療機関との連携については、「十分に連携が取れている」「ある程度連携が取れている」を合わせた『連携が取れている』が 23 件中 19 件となっています。

項目	度数	比率
十分に連携が取れている	1	4.3%
ある程度連携が取れている	18	78.3%
十分に連携が取れていない	4	17.4%
全く連携が取れていない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

【問 21 で「十分に連携が取れていない」または「全く連携が取れていない」を選択した方のみ回答】

問 21-①　医療機関との連携が取れていない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

医療機関との連携が取れていない理由については、「日程を調整することが難しい」が４件中３件、「医療・介護関係者相互の理解・認識が不足している」が１件となっています。

項目	度数	比率
日程を調整することが難しい	3	75.0%
医療・介護関係者相互の理解・認識が不足している	1	25.0%
交流の場が少ない	0	0.0%
連携の必要性を感じない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	4	

問 22　利用者対応で高齢者相談センター（地域包括支援センター）に相談することはありますか。[１つに○]

利用者対応で高齢者相談センター相談することがあるかでは、「ある」が 23 件中 15 件、「ない」が６件となっています。

項目	度数	比率
ある	15	65.2%
ない	6	26.1%
無回答	2	8.7%
合計	23	100.0%

【問 22 で「ある」を選択した方のみ回答】

問 22－①　どのようなことを相談しましたか。[あてはまるものすべてに○]

利用者対応で高齢者相談センターに相談した内容では、「困難事例への対応」が 15 件中 12 件と最も多く、次いで、「虐待に関すること」が８件となっています。

項目	度数	比率
介護保険サービスの利用	4	26.7%
介護保険外サービスの利用	4	26.7%
困難事例への対応	12	80.0%
利用者と家族間の調整	3	20.0%
医療に関すること	1	6.7%
権利擁護	3	20.0%
虐待に関すること	8	53.3%
その他	1	6.7%
無回答	8	53.3%
回答者数	15	

⑦介護サービス提供事業所

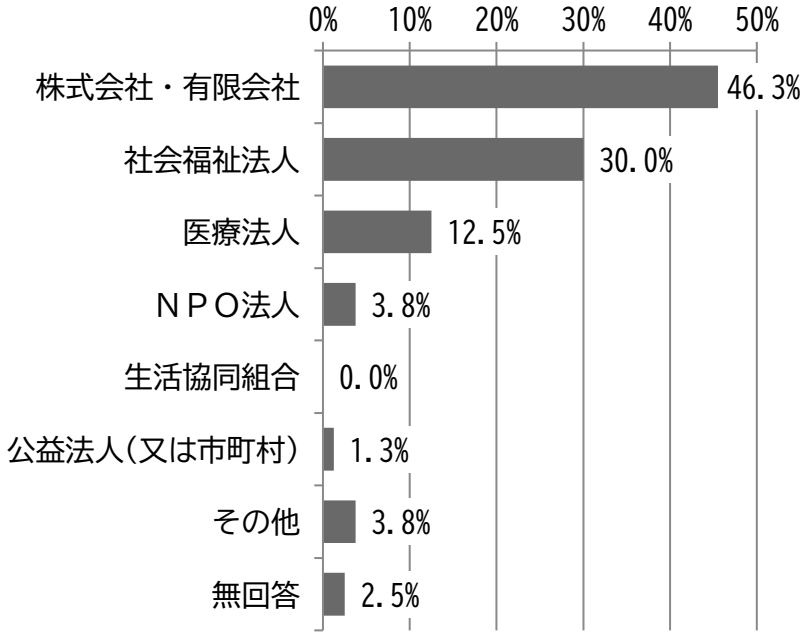
⑦介護サービス提供事業所

1　事業所について

貴事業所の法人格、所在地、電話番号等をご記入ください。

法人格[１つに○]

「株式会社・有限会社」が 46.3%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が 30.0%、「医療法人」が 12.5%となっています。



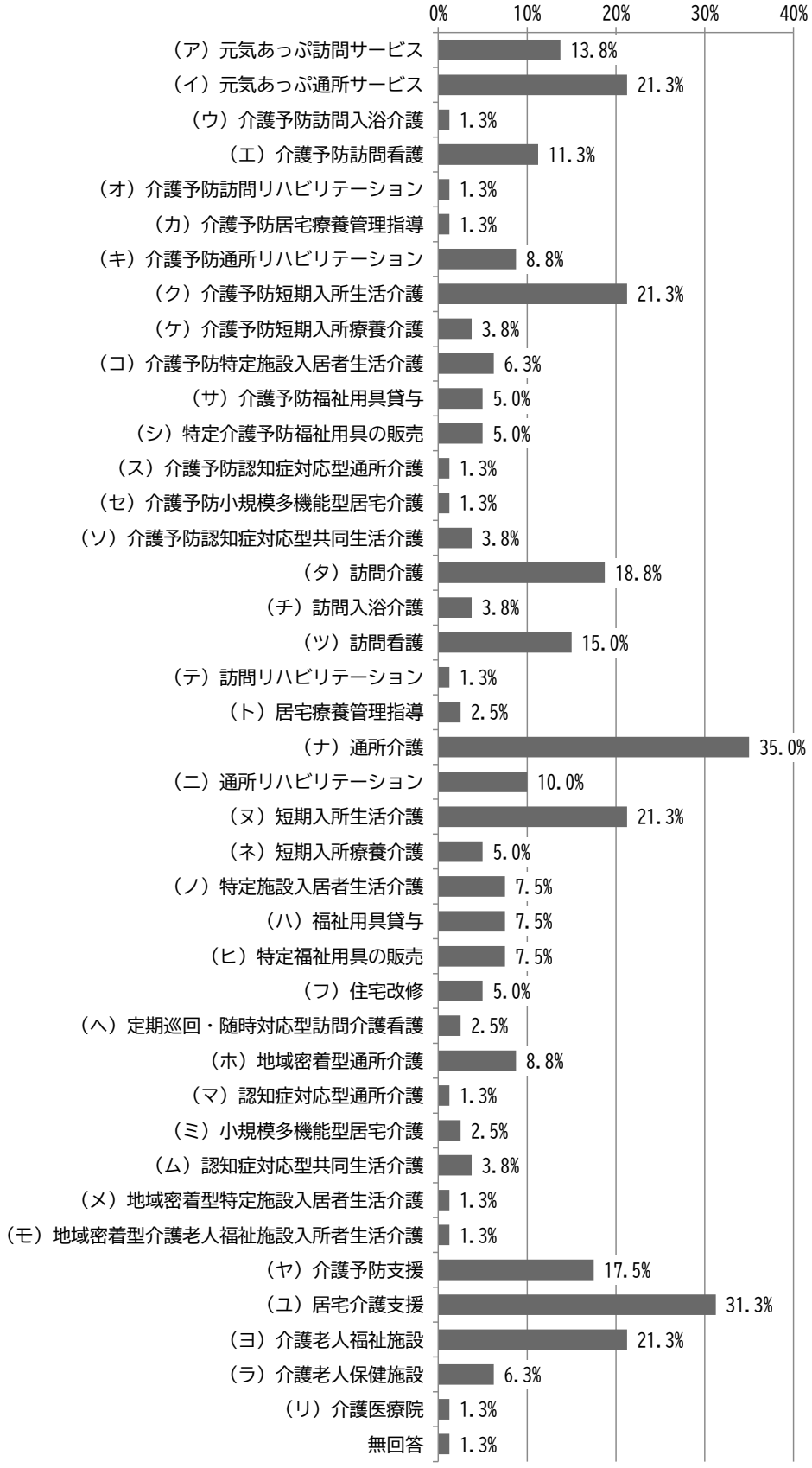
項目	度数	比率
株式会社・有限会社	37	46.3%
社会福祉法人	24	30.0%
医療法人	10	12.5%
ＮＰＯ法人	3	3.8%
生活協同組合	0	0.0%
公益法人(又は市町村)	1	1.3%
その他	3	3.8%
無回答	2	2.5%
合計	80	100.0%

2　提供サービスについて

※各設問は、令和７年 10 月１日現在の状況です。

問 1①　貴事業所（法人）で実施しているサービスの種類は何ですか。

実施しているサービスについては、「（ナ）通所介護」が 35.0%と最も多く、次いで、「（ユ）居宅介護支援」が 31.3%、「（イ）元気あっぷ通所サービス（介護予防・生活支援サービス事業）」、「（ク）介護予防短期入所生活介護」、「（ヌ）短期入所生活介護」、「（ヨ）介護老人福祉施設」がともに 21.3%となっています。



項目	度数	比率
（ア）元気あっぷ訪問サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	11	13.8%
（イ）元気あっぷ通所サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	17	21.3%
（ウ）介護予防訪問入浴介護	1	1.3%
（エ）介護予防訪問看護	9	11.3%
（オ）介護予防訪問リハビリテーション	1	1.3%
（カ）介護予防居宅療養管理指導	1	1.3%
（キ）介護予防通所リハビリテーション	7	8.8%
（ク）介護予防短期入所生活介護	17	21.3%
（ケ）介護予防短期入所療養介護	3	3.8%
（コ）介護予防特定施設入居者生活介護	5	6.3%
（サ）介護予防福祉用具貸与	4	5.0%
（シ）特定介護予防福祉用具の販売	4	5.0%
（ス）介護予防認知症対応型通所介護	1	1.3%
（セ）介護予防小規模多機能型居宅介護	1	1.3%
（ソ）介護予防認知症対応型共同生活介護	3	3.8%
（タ）訪問介護	15	18.8%
（チ）訪問入浴介護	3	3.8%
（ツ）訪問看護	12	15.0%
（テ）訪問リハビリテーション	1	1.3%
（ト）居宅療養管理指導	2	2.5%
（ナ）通所介護	28	35.0%
（ニ）通所リハビリテーション	8	10.0%
（ヌ）短期入所生活介護	17	21.3%
（ネ）短期入所療養介護	4	5.0%
（ノ）特定施設入居者生活介護	6	7.5%
（ハ）福祉用具貸与	6	7.5%
（ヒ）特定福祉用具の販売	6	7.5%
（フ）住宅改修	4	5.0%
（ヘ）定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2.5%
（ホ）地域密着型通所介護	7	8.8%
（マ）認知症対応型通所介護	1	1.3%
（ミ）小規模多機能型居宅介護	2	2.5%
（ム）認知症対応型共同生活介護	3	3.8%
（メ）地域密着型特定施設入居者生活介護	1	1.3%
（モ）地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1.3%
（ヤ）介護予防支援	14	17.5%
（ユ）居宅介護支援	25	31.3%
（ヨ）介護老人福祉施設	17	21.3%
（ラ）介護老人保健施設	5	6.3%
（リ）介護医療院	1	1.3%
無回答	1	1.3%
回答者数	80	

問1②　実施しているサービスについて、利用者のニーズ量に対応できていますか。

実施しているサービスの利用者への対応については、以下の表のとおりとなっています。

項目	対応できている	断ることがある	無回答	回答者数
（ア）元気あっぷ訪問サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	6	5	0	11
（イ）元気あっぷ通所サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	14	2	1	17
（ウ）介護予防訪問入浴介護	1	0	0	1
（エ）介護予防訪問看護	7	1	1	9
（オ）介護予防訪問リハビリテーション	0	1	0	1
（カ）介護予防居宅療養管理指導	0	1	0	1
（キ）介護予防通所リハビリテーション	4	3	0	7
（ク）介護予防短期入所生活介護	15	1	1	17
（ケ）介護予防短期入所療養介護	3	0	0	3
（コ）介護予防特定施設入居者生活介護	2	2	1	5
（サ）介護予防福祉用具貸与	3	0	1	4
（シ）特定介護予防福祉用具の販売	3	0	1	4
（ス）介護予防認知症対応型通所介護	0	0	1	1
（セ）介護予防小規模多機能型居宅介護	1	0	0	1
（ソ）介護予防認知症対応型共同生活介護	3	0	0	3
（タ）訪問介護	8	7	0	15
（チ）訪問入浴介護	2	1	0	3
（ツ）訪問看護	9	2	1	12
（テ）訪問リハビリテーション	0	1	0	1
（ト）居宅療養管理指導	1	1	0	2
（ナ）通所介護	22	3	3	28
（ニ）通所リハビリテーション	4	4	0	8
（ヌ）短期入所生活介護	13	1	3	17
（ネ）短期入所療養介護	3	1	0	4
（ノ）特定施設入居者生活介護	5	1	0	6
（ハ）福祉用具貸与	6	0	0	6
（ヒ）特定福祉用具の販売	6	0	0	6
（フ）住宅改修	4	0	0	4
（ヘ）定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0	0	2
（ホ）地域密着型通所介護	4	3	0	7
（マ）認知症対応型通所介護	1	0	0	1
（ミ）小規模多機能型居宅介護	1	1	0	2
（ム）認知症対応型共同生活介護	2	0	1	3
（メ）地域密着型特定施設入居者生活介護	1	0	0	1
（モ）地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	0	1
（ヤ）介護予防支援	7	4	3	14
（ユ）居宅介護支援	17	4	4	25
（ヨ）介護老人福祉施設	12	2	3	17
（ラ）介護老人保健施設	2	3	0	5
（リ）介護医療院	0	1	0	1

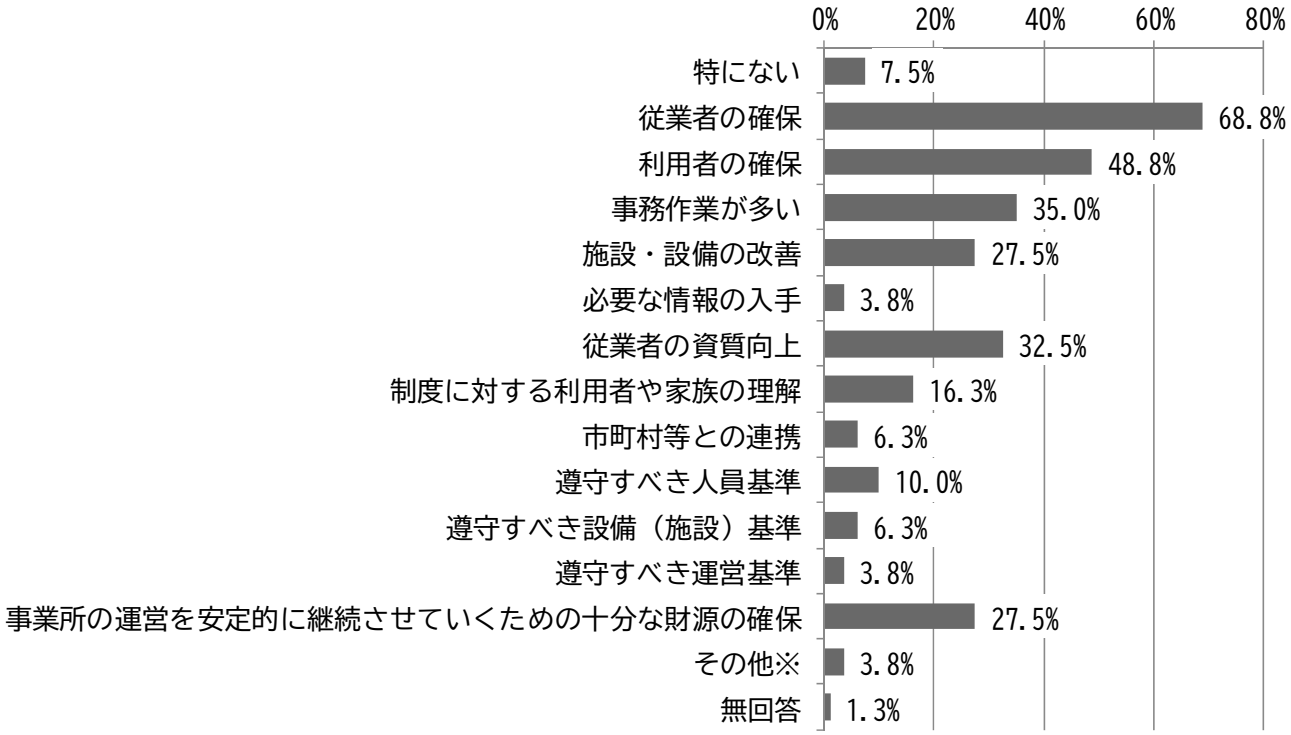
問1③　収支状況を教えてください。

収支状況については、以下の表のとおりとなっています。

項目	黒字である	ほぼ均衡	赤字である	無回答	回答者数
（ア）元気あっぷ訪問サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	1	9	1	0	11
（イ）元気あっぷ通所サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	3	9	4	1	17
（ウ）介護予防訪問入浴介護	0	0	1	0	1
（エ）介護予防訪問看護	3	4	1	1	9
（オ）介護予防訪問リハビリテーション	0	1	0	0	1
（カ）介護予防居宅療養管理指導	0	1	0	0	1
（キ）介護予防通所リハビリテーション	1	2	3	1	7
（ク）介護予防短期入所生活介護	5	5	5	2	17
（ケ）介護予防短期入所療養介護	1	1	1	0	3
（コ）介護予防特定施設入居者生活介護	1	1	2	1	5
（サ）介護予防福祉用具貸与	2	0	1	1	4
（シ）特定介護予防福祉用具の販売	1	1	1	1	4
（ス）介護予防認知症対応型通所介護	0	0	0	1	1
（セ）介護予防小規模多機能型居宅介護	0	0	1	0	1
（ソ）介護予防認知症対応型共同生活介護	0	2	1	0	3
（タ）訪問介護	6	6	1	2	15
（チ）訪問入浴介護	1	0	2	0	3
（ツ）訪問看護	4	3	1	4	12
（テ）訪問リハビリテーション	0	1	0	0	1
（ト）居宅療養管理指導	1	1	0	0	2
（ナ）通所介護	11	7	5	5	28
（ニ）通所リハビリテーション	2	2	3	1	8
（ヌ）短期入所生活介護	4	5	4	4	17
（ネ）短期入所療養介護	1	1	2	0	4
（ノ）特定施設入居者生活介護	2	2	2	0	6
（ハ）福祉用具貸与	4	1	1	0	6
（ヒ）特定福祉用具の販売	3	2	1	0	6
（フ）住宅改修	2	1	1	0	4
（ヘ）定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1	0	0	2
（ホ）地域密着型通所介護	1	4	1	1	7
（マ）認知症対応型通所介護	0	1	0	0	1
（ミ）小規模多機能型居宅介護	2	0	0	0	2
（ム）認知症対応型共同生活介護	1	1	0	1	3
（メ）地域密着型特定施設入居者生活介護	1	0	0	0	1
（モ）地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	1	0	1
（ヤ）介護予防支援	4	6	2	2	14
（ユ）居宅介護支援	7	9	5	4	25
（ヨ）介護老人福祉施設	9	0	5	3	17
（ラ）介護老人保健施設	2	2	1	0	5
（リ）介護医療院	0	1	0	0	1

問２　現在、貴事業所が円滑な事業運営を進めていく上で、特に困難を感じることはどのようなことですか。[あてはまるものすべてに○]

円滑な事業運営を進めていく上で、特に困難を感じることについては、「従業者の確保」が 68.8%と最も多く、次いで、「利用者の確保」が 48.8%、「事務作業が多い」が 35.0%となっています。



項目	度数	比率
特にない	6	7.5%
従業者の確保	55	68.8%
利用者の確保	39	48.8%
事務作業が多い	28	35.0%
施設・設備の改善	22	27.5%
必要な情報の入手	3	3.8%
従業者の資質向上	26	32.5%
制度に対する利用者や家族の理解	13	16.3%
市町村等との連携	5	6.3%
遵守すべき人員基準	8	10.0%
遵守すべき設備（施設）基準	5	6.3%
遵守すべき運営基準	3	3.8%
事業所の運営を安定的に継続させていくための十分な財源の確保	22	27.5%
その他※	3	3.8%
無回答	1	1.3%
回答者数	80	

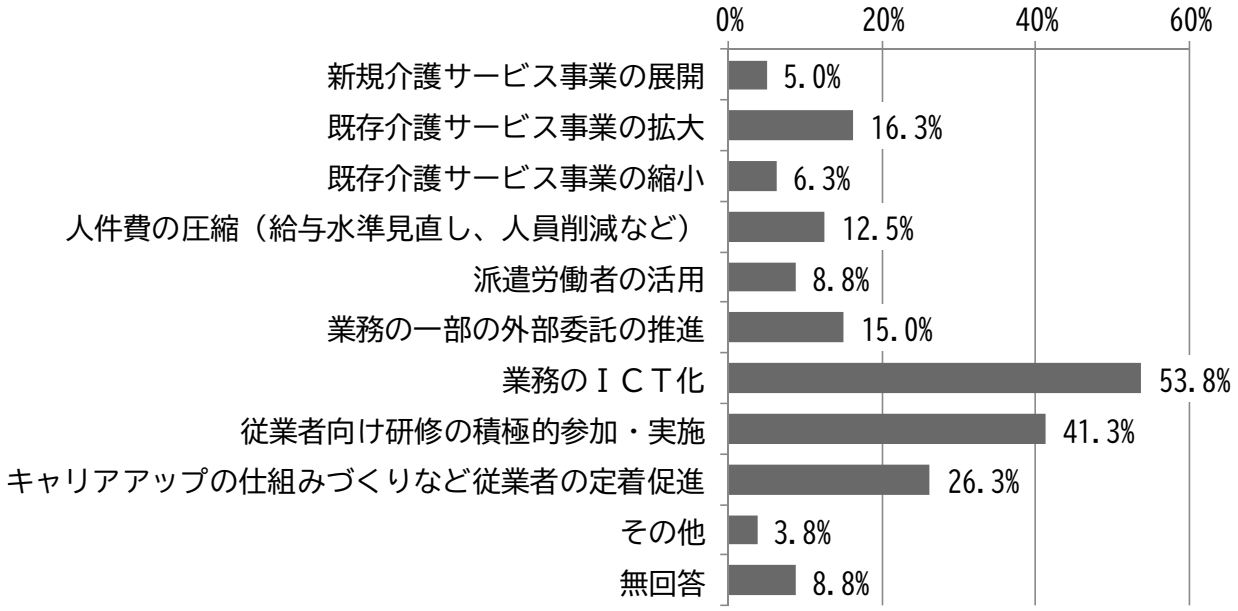
問２－１　その他の利用者の要望に応えられずご苦労なさっている点など、貴事業所が現在抱えている問題点や課題がありましたら、その内容をご記入ください。

（原文のまま表記）

サービス名等	内容
介護予防通所リハビリテーション 通称リハビリテーション	利用定員がいっぱいで、受け入れの空きが出次第、順次受け入れてる状況（キャンセル待ち）
介護老人保健施設	医療依存度が高い方は、施設長の入所判定で通らないことがある（空きはあり）
訪問介護	人手不足の中でサービスを行っているが、人を変えて欲しい、時間の変更等多く、対応に追われている日々です。介護保険範囲外の依頼が多く、断ると叱られてしまう。掃除の仕方やこだわりが多く、家政婦のような扱いを日々受けている。
訪問介護	授業員の確保、高齢化
食事	食材料費の高騰（人件費も）食事代の値上げをせざるを得ない。
地域密着型通所介護	利用者の確保
訪問入浴	従業員の確保が難しい
訪問介護	資格所持している職員で、夜の時間帯にできる人の確保
介護予防通所リハビリテーション 通所リハビリテーション	人員削減により、利用者に対する細やかな対応が以前に比べてできなくなり、不満につながることがある。
介護予防通所リハビリテーション	要支援でも手のかかる利用者であったりするため、入浴の希望があっても受けられないこと(お断りすること)がある。
質の高いサービスの提供	職員不足で充分なサービス提供が出来ない
居宅介護支援	高齢者相談センターからのケアマネージャーの依頼がほとんどない。送迎で距離が遠い為、曜日や回数などが希望通りにいかない。または範囲外と断られてしまう。
訪問介護	サービス提供責任者の人数が少ない為、４０名以上担当できない。高齢化しているﾍﾙﾊﾟｰの作る料理が若者向けになってきており対応が難しい
地域密着型通所介護	従業者の不足により利用を断らざるを得ない場合がある。

問３　貴事業所において、経営効率化のために取り組んでいることや検討していることはありますか。[あてはまるものすべてに○]

経営効率化のために取り組んでいることや検討していることについては、「業務のＩＣＴ化」が 53.8%と最も多く、次いで、「従業者向け研修の積極的参加・実施」が 41.3%、「キャリアアップの仕組みづくりなど従業者の定着促進」が 26.3%となっています。



項目	度数	比率
新規介護サービス事業の展開	4	5.0%
既存介護サービス事業の拡大	13	16.3%
既存介護サービス事業の縮小	5	6.3%
人件費の圧縮（給与水準見直し、人員削減など）	10	12.5%
派遣労働者の活用	7	8.8%
業務の一部の外部委託の推進	12	15.0%
業務のＩＣＴ化	43	53.8%
従業者向け研修の積極的参加・実施	33	41.3%
キャリアアップの仕組みづくりなど従業者の定着促進	21	26.3%
その他	3	3.8%
無回答	7	8.8%
回答者数	80	

問４　次期計画期間（令和９年度～令和１１年度）中に、貴法人において加須市内で新規に実施又は規模の拡充を予定しているサービスがありましたら、その種類、内容及び時期を教えてください。

（原文のまま表記）

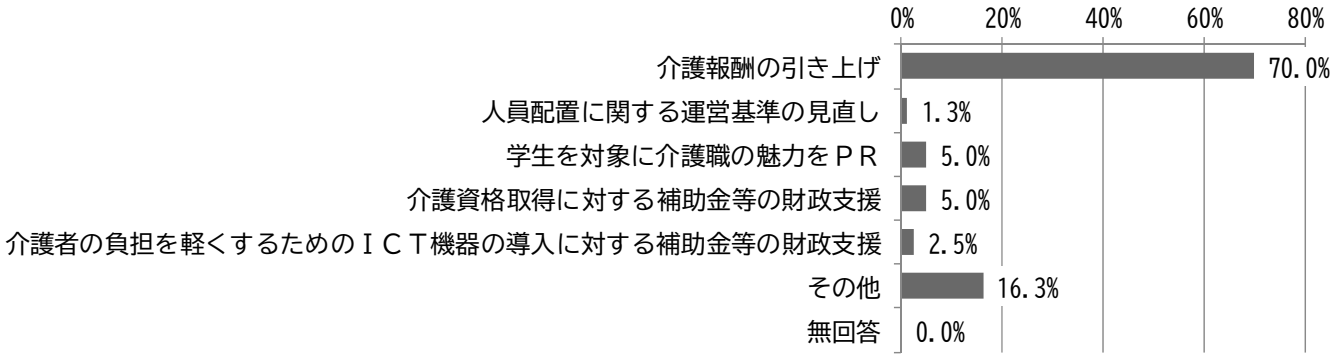
種類	内容	時期
居宅介護支援	特定事業所加算対応	未定
居宅介護支援事業所	・新設　・地域未定	令和９年中
介護老人福祉施設	規模の拡充(定員50人⇒100人程度)	未記入
訪問看護・介護予防訪問看護	事業拡大	令和９年１月
居宅介護支援事業所	新設・地域未定	令和９年中
短期入所生活介護	規模の拡充(定員２人⇒５人程度)	令和11年４月を予定

問５　次期計画期間（令和９年度～令和１１年度）中に、貴法人において加須市内で規模の縮小又は廃止を予定しているサービスがありましたら、その種類、内容及び時期を教えてください。

※廃止を予定しているサービスは、ありませんでした。

問６　従業者を確保するために、どのような対策がもっとも効果的だと考えますか。[１つに○]

従業者を確保するために、効果的だと思う対策については、「介護報酬の引き上げ」が 70.0%と最も多く、次いで、「学生を対象に介護職の魅力をＰＲ」、「介護資格取得に対する補助金等の財政支援」がともに 5.0%となっています。

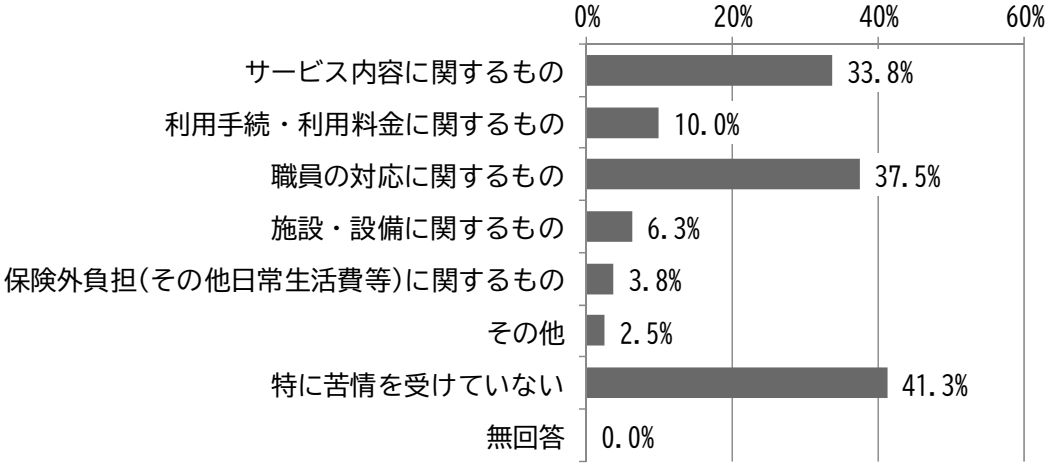


項目	度数	比率
介護報酬の引き上げ	56	70.0%
人員配置に関する運営基準の見直し	1	1.3%
学生を対象に介護職の魅力をＰＲ	4	5.0%
介護資格取得に対する補助金等の財政支援	4	5.0%
介護者の負担を軽くするためのＩＣＴ機器の導入に対する補助金等の財政支援	2	2.5%
その他	13	16.3%
無回答	0	0.0%
合計	80	100.0%

問７　利用者や家族からどのような苦情を受けることがありますか。[あてはまるものすべてに○]

利用者や家族から受ける苦情については、「職員の対応に関するもの」が 37.5%と最も多く、次いで、「サービス内容に関するもの」が 33.8%となっています。

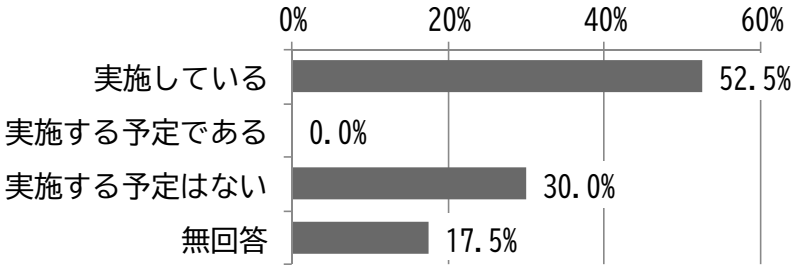
一方、「特に苦情を受けていない」が 41.3%となっています。



項目	度数	比率
サービス内容に関するもの	27	33.8%
利用手続・利用料金に関するもの	8	10.0%
職員の対応に関するもの	30	37.5%
施設・設備に関するもの	5	6.3%
保険外負担(その他日常生活費等)に関するもの	3	3.8%
その他	2	2.5%
特に苦情を受けていない	33	41.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	80	

問８　貴事業所では、「看取り介護」を実施していますか。または今後実施の予定はありますか。［１つに○］

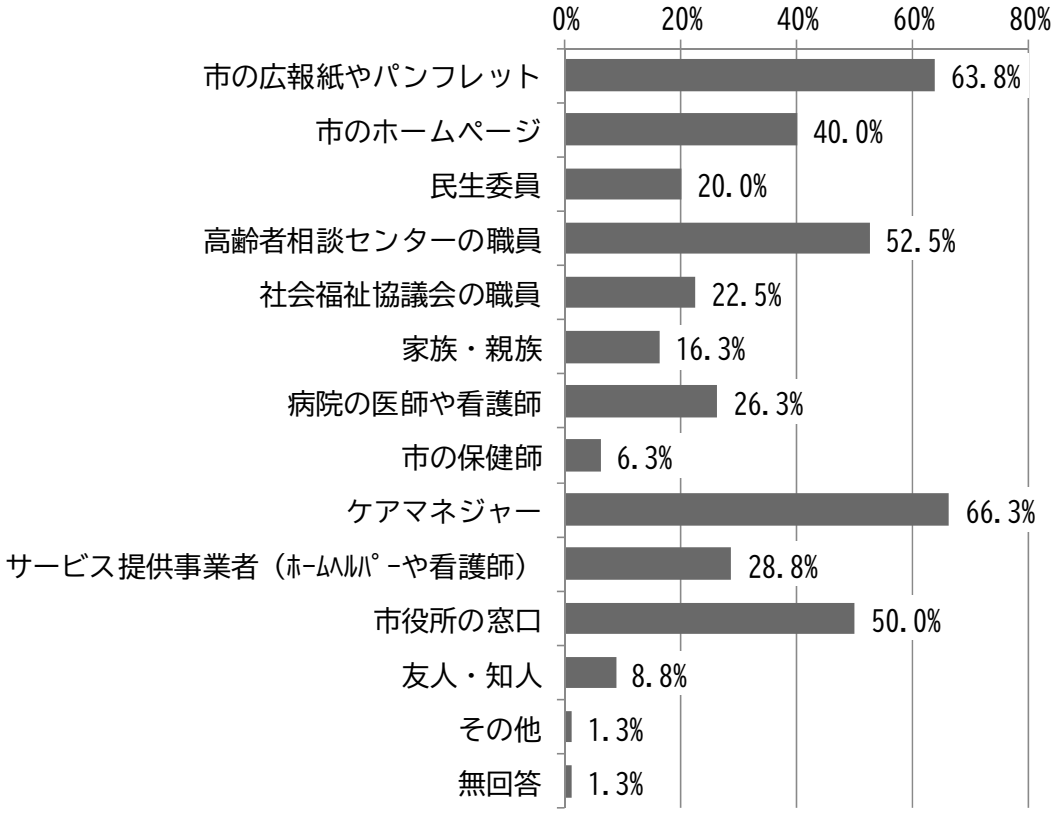
「看取り介護」の実施については、「実施している」が 52.5%、「実施する予定はない」が 30.0%となっています。



項目	度数	比率
実施している	42	52.5%
実施する予定である	0	0.0%
実施する予定はない	24	30.0%
無回答	14	17.5%
合計	80	100.0%

問９　高齢者福祉や介護保険に関する情報の公開手段は、次のどれが利用者にとってわかりやすいと思いますか。[あてはまるものすべてに○]

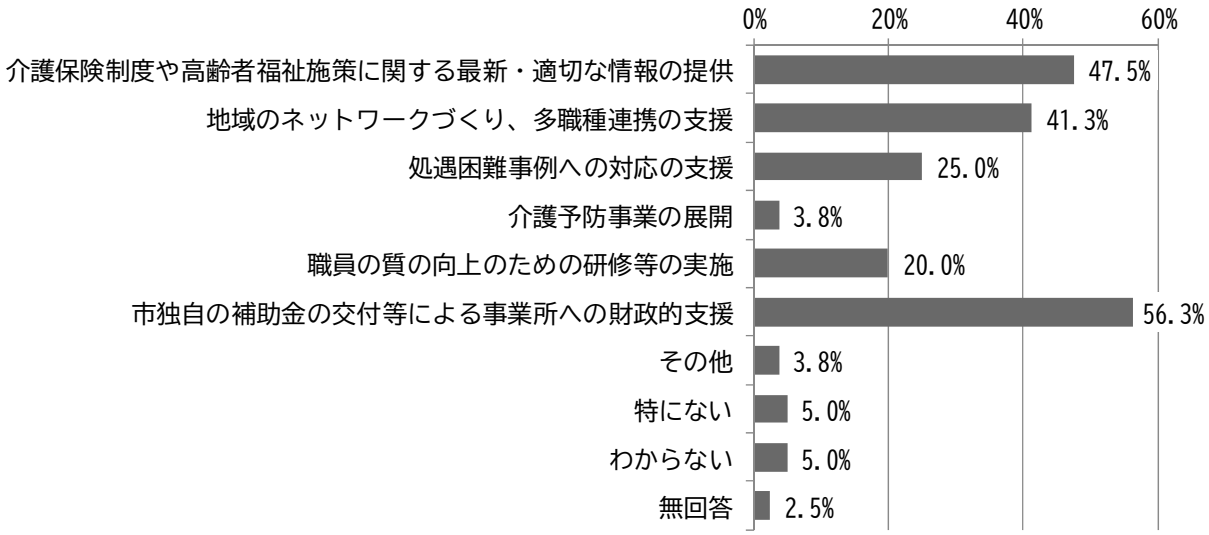
利用者にとってわかりやすい公開手段については、「ケアマネジャー」が 66.3%と最も多く、次いで、「市の広報紙やパンフレット」が 63.8%、「高齢者相談センターの職員」が 52.5%となっています。



項目	度数	比率
市の広報紙やパンフレット	51	63.8%
市のホームページ	32	40.0%
民生委員	16	20.0%
高齢者相談センターの職員	42	52.5%
社会福祉協議会の職員	18	22.5%
家族・親族	13	16.3%
病院の医師や看護師	21	26.3%
市の保健師	5	6.3%
ケアマネジャー	53	66.3%
サービス提供事業者（ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰや看護師）	23	28.8%
市役所の窓口	40	50.0%
友人・知人	7	8.8%
その他	1	1.3%
無回答	1	1.3%
回答者数	80	

問 10　業務を行う上で、市に支援や充実を希望することは何ですか。［３つまで○］

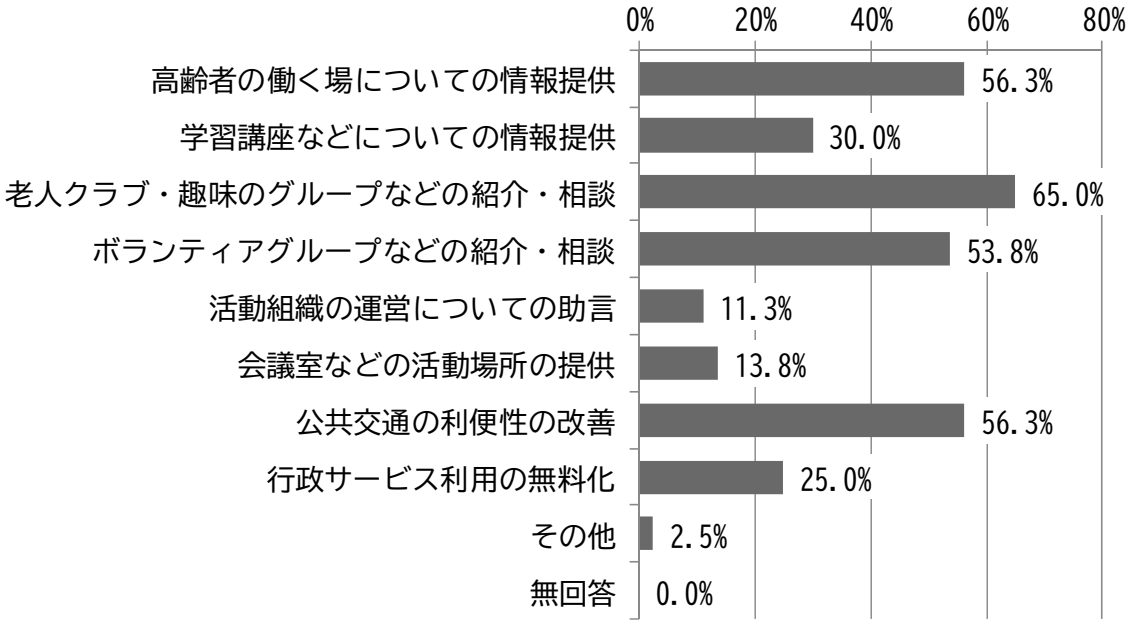
業務を行う上で、市に支援や充実を希望することについては、「市独自の補助金の交付等による事業所への財政的支援」が 56.8%と最も多く、次いで、「介護保険制度や高齢者福祉施策に関する最新・適切な情報の提供」が 47.5%、「地域のネットワークづくり、多職種連携の支援」が 41.3%となっています。



項目	度数	比率
介護保険制度や高齢者福祉施策に関する最新・適切な情報の提供	38	47.5%
地域のネットワークづくり、多職種連携の支援	33	41.3%
処遇困難事例への対応の支援	20	25.0%
介護予防事業の展開	3	3.8%
職員の質の向上のための研修等の実施	16	20.0%
市独自の補助金の交付等による事業所への財政的支援	45	56.3%
その他	3	3.8%
特にない	4	5.0%
わからない	4	5.0%
無回答	2	2.5%
回答者数	80	

問 11　高齢者の生きがいのため、市にどのようなことを要望しますか。[あてはまるものすべてに○]

高齢者の生きがいのため、市に要望することについては、「老人クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談」が 65.0%と最も多く、次いで、「高齢者の働く場についての情報提供」、「公共交通の利便性の改善」がともに 56.3%となっています。



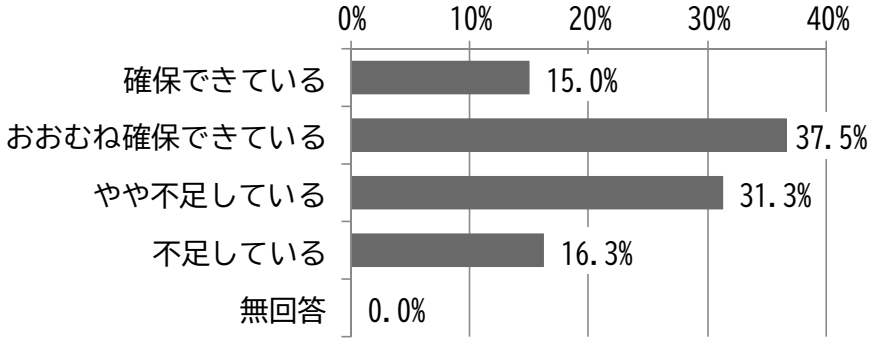
項目	度数	比率
高齢者の働く場についての情報提供	45	56.3%
学習講座などについての情報提供	24	30.0%
老人クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談	52	65.0%
ボランティアグループなどの紹介・相談	43	53.8%
活動組織の運営についての助言	9	11.3%
会議室などの活動場所の提供	11	13.8%
公共交通の利便性の改善	45	56.3%
行政サービス利用の無料化	20	25.0%
その他	2	2.5%
無回答	0	0.0%
合計	80	

３　介護人材の確保等に関することについて

問 12　貴事業所の人材確保の状況についてお答えください。[１つに○]

人材確保の状況については、「確保できている」「おおむね確保できている」を合わせた『確保できている』が 52.5%となっています。

一方、「やや不足している」「不足している」を合わせた『不足している』は、47.6%となっています。



項目	度数	比率
確保できている	12	15.0%
おおむね確保できている	30	37.5%
やや不足している	25	31.3%
不足している	13	16.3%
無回答	0	0.0%
合計	80	100.0%

【問１２で「やや不足している」又は「不足している」と回答された事業所に伺います。】

問 13　現在、不足している職種、人数、採用の候補となる年齢区分をお答えください

■正規職員

不足している正規職員については、合計で「介護職員」が 71 人、「看護師・准看護師」が 28 人となっています。

項目	訪問介護員	介護職員	看護師・准看護師	理学療法士、作業療法士等	栄養士	生活相談員	介護支援専門員	事務職員	その他
0人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1人	2	2	5	1	1	0	5	1	1
2人	2	6	6	1	0	1	2	0	0
3人	1	4	2	0	0	1	0	0	0
4人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5人	0	4	1	0	0	0	0	0	0
6人	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10人	0	1	0	0	0	0	0	0	0
11人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15人	0	1	0	0	0	0	0	0	0
無回答	33	20	24	36	37	36	30	37	37
合計	38	38	38	38	38	38	38	38	38
不足人数計	9	71	28	3	1	5	15	1	1

■非正規職員

不足している非正規職員については、合計で「訪問介護員」が 28 人となっています。

項目	訪問介護員	介護職員	看護師・准看護師	理学療法士、作業療法士等	栄養士	生活相談員	介護支援専門員	事務職員	その他
0人	1	2	1	0	0	0	0	0	0
1人	0	1	4	1	0	2	2	1	3
2人	3	5	1	0	0	0	0	0	1
3人	2	1	0	0	0	0	0	0	0
4人	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5人	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7人	1	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	29	29	32	37	38	36	36	37	34
合計	38	38	38	38	38	38	38	38	38
不足人数計	28	14	6	1	0	2	2	1	5

■年齢区分（あてはまるものすべてに〇）

不足している職種に対して、採用の候補となる年齢区分は、以下の表のとおりとなっています。

項目	訪問介護員	介護職員	看護師・准看護師	理学療法士、作業療法士等	栄養士	生活相談員	介護支援専門員	事務職員	その他
10～20代	1	10	3	1	0	1	0	1	3
30～40代	7	15	13	3	1	2	5	2	3
50～60代	7	9	7	1	0	2	3	1	3
70～	1	0	0	0	0	0	0	0	0
年齢は問わない	2	6	5	0	0	2	3	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答者数	9	21	18	3	1	4	9	2	4

※年齢区分において、「年齢は問わない」場合は、他の選択肢への〇は不要です。

【問 12 で「やや不足している」又は「不足している」と回答された事業所に伺います。】

問 14　不足している理由として考えられることは何ですか。[あてはまるものすべてに〇]

不足している理由として考えられることについては、「採用が困難である」が 38 件中 32 件、「離職率が高い（定着率が低い）」が 16 件、「事業拡大によって必要人員が増大した」が６件となっています。

項目	度数	比率
採用が困難である	32	84.2%
離職率が高い（定着率が低い）	16	42.1%
事業拡大によって必要人員が増大した	6	15.8%
その他	3	7.9%
無回答	0	0.0%
合計	38	

【問 14 で「離職率が高い（定着率が低い）」と回答された事業所に伺います。】

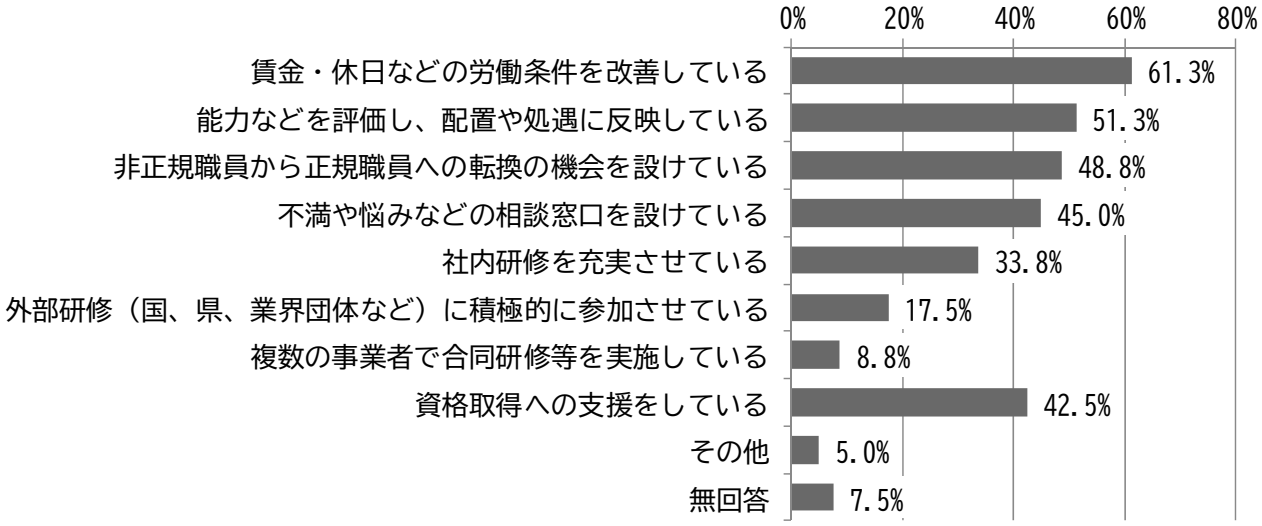
問 15　離職理由について、把握している範囲でお答えください。[あてはまるものすべてに○]

離職理由については、「職場の人間関係」が 16 件中 10 件、「収入が少ない」が８件となっています。

項目	度数	比率
結婚	1	6.3%
出産・育児	2	12.5%
家族等の介護・看護	2	12.5%
労働時間・勤務体制の負担	5	31.3%
収入が少ない	8	50.0%
家族の転居・転勤	0	0.0%
専門性や能力を発揮できない	1	6.3%
キャリアアップが見込めない	0	0.0%
他の職種への転職	5	31.3%
起業・開業	0	0.0%
心身の不調、高齢	5	31.3%
職場の人間関係	10	62.5%
利用者・家族との関係性	0	0.0%
分からない	1	6.3%
その他	2	12.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	16	

問 16　離職防止や人材定着のために、どのような取組を行っていますか。[あてはまるものすべてに○]

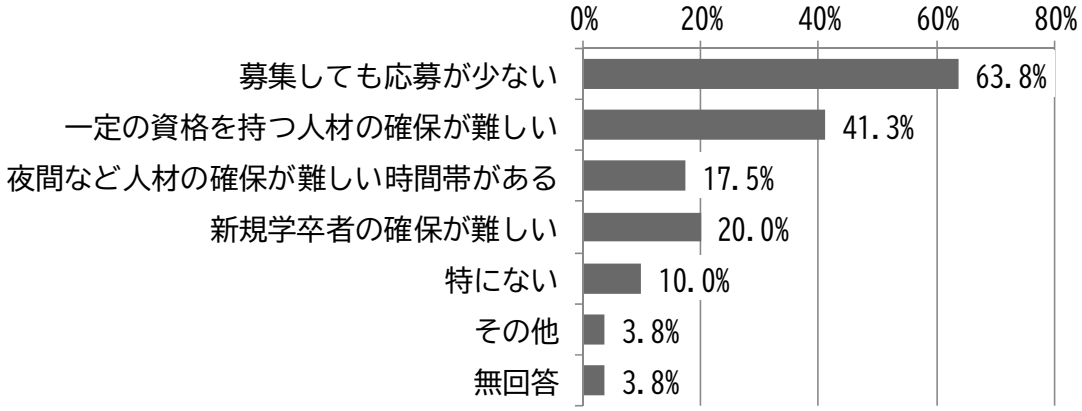
離職防止や人材定着のために、行っている取組については、「賃金・休日などの労働条件を改善している」が 61.3%と最も多く、次いで、「能力などを評価し、配置や処遇に反映している」が 51.3%、「非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている」が 48.8%となっています。



項目	度数	比率
賃金・休日などの労働条件を改善している	49	61.3%
能力などを評価し、配置や処遇に反映している	41	51.3%
非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	39	48.8%
不満や悩みなどの相談窓口を設けている	36	45.0%
社内研修を充実させている	27	33.8%
外部研修（国、県、業界団体など）に積極的に参加させている	14	17.5%
複数の事業者で合同研修等を実施している	7	8.8%
資格取得への支援をしている	34	42.5%
その他	4	5.0%
無回答	6	7.5%
回答者数	80	

問 17　人材を新たに確保する際に困っていることはありますか。[あてはまるものすべてに○]

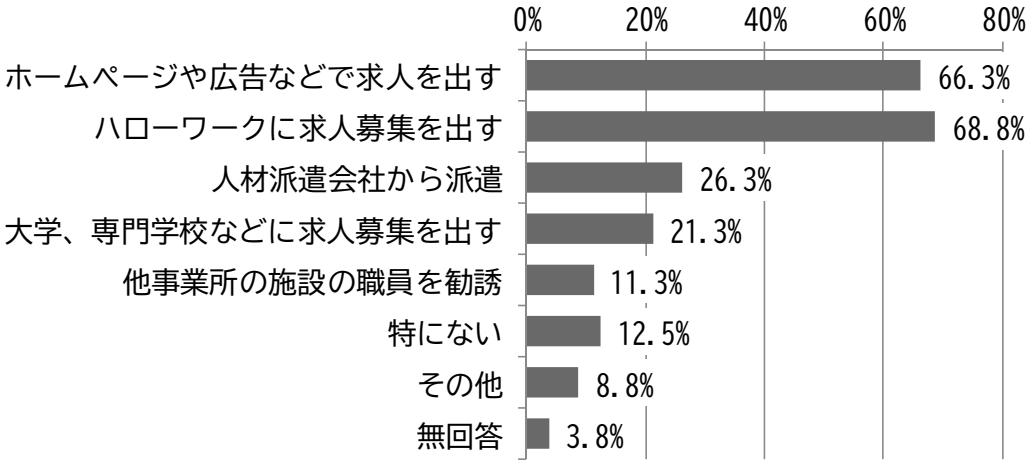
人材を新たに確保する際に困っていることについては、「募集しても応募が少ない」が 63.8%と最も多く、次いで、「一定の資格を持つ人材の確保が難しい」が 41.3%、「新規学卒者の確保が難しい」が 20.0%となっています。



項目	度数	比率
募集しても応募が少ない	51	63.8%
一定の資格を持つ人材の確保が難しい	33	41.3%
夜間など人材の確保が難しい時間帯がある	14	17.5%
新規学卒者の確保が難しい	16	20.0%
特にない	8	10.0%
その他	3	3.8%
無回答	3	3.8%
回答者数	80	

問 18　新たな人材確保に向けて取り組んでいることはありますか。[あてはまるものすべてに○]

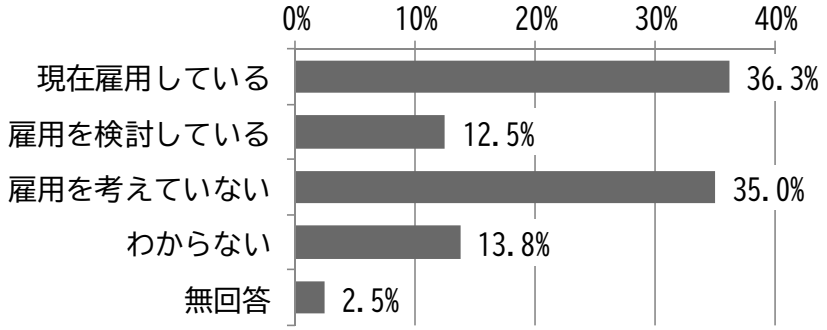
新たな人材確保に向けて取り組んでいることについては、「ハローワークに求人募集を出す」が 68.8%と最も多く、次いで、「ホームページや広告などで求人を出す」が 66.3%、「人材派遣会社から派遣」が 26.3%となっています。



項目	度数	比率
ホームページや広告などで求人を出す	53	66.3%
ハローワークに求人募集を出す	55	68.8%
人材派遣会社から派遣	21	26.3%
大学、専門学校などに求人募集を出す	17	21.3%
他事業所の施設の職員を勧誘	9	11.3%
特にない	10	12.5%
その他	7	8.8%
無回答	3	3.8%
回答者数	80	

問 19　外国人の雇用による人材の確保を行っていますか。[１つに○]

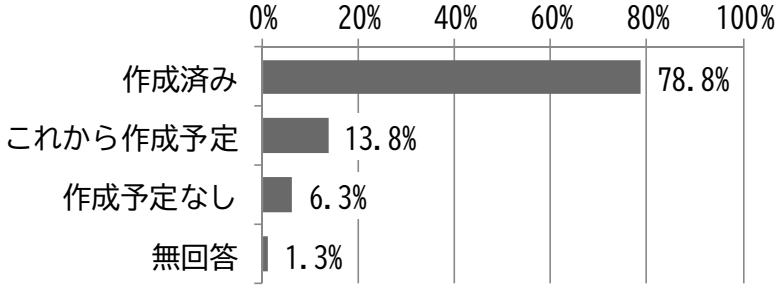
外国人の雇用による人材の確保を行っているかについては、「現在雇用している」が 36.3%と最も多く、次いで、「雇用を考えていない」が 35.0%、「雇用を検討している」が 12.5%となっています。



項目	度数	比率
現在雇用している	29	36.3%
雇用を検討している	10	12.5%
雇用を考えていない	28	35.0%
わからない	11	13.8%
無回答	2	2.5%
合計	80	100.0%

問 20　職員の教育・研修計画を作成していますか。[１つに○]

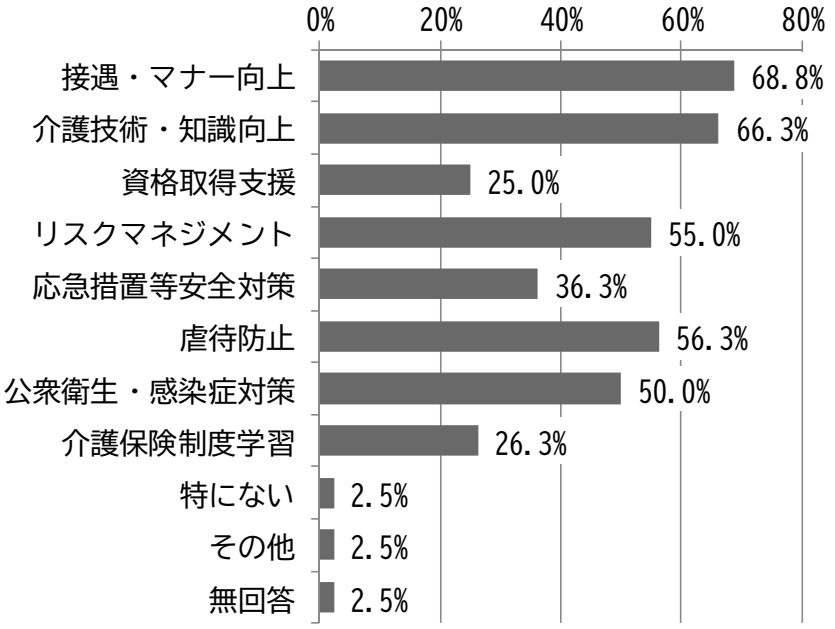
職員の教育・研修計画を作成しているかについては、「作成済み」が 78.8%、「これから作成予定」が 13.8%、「作成予定なし」が 6.3%となっています。



項目	度数	比率
作成済み	63	78.8%
これから作成予定	11	13.8%
作成予定なし	5	6.3%
無回答	1	1.3%
合計	80	100.0%

問 21　今後、職員を参加させたい研修はどのような内容のものですか。[あてはまるものすべてに○]

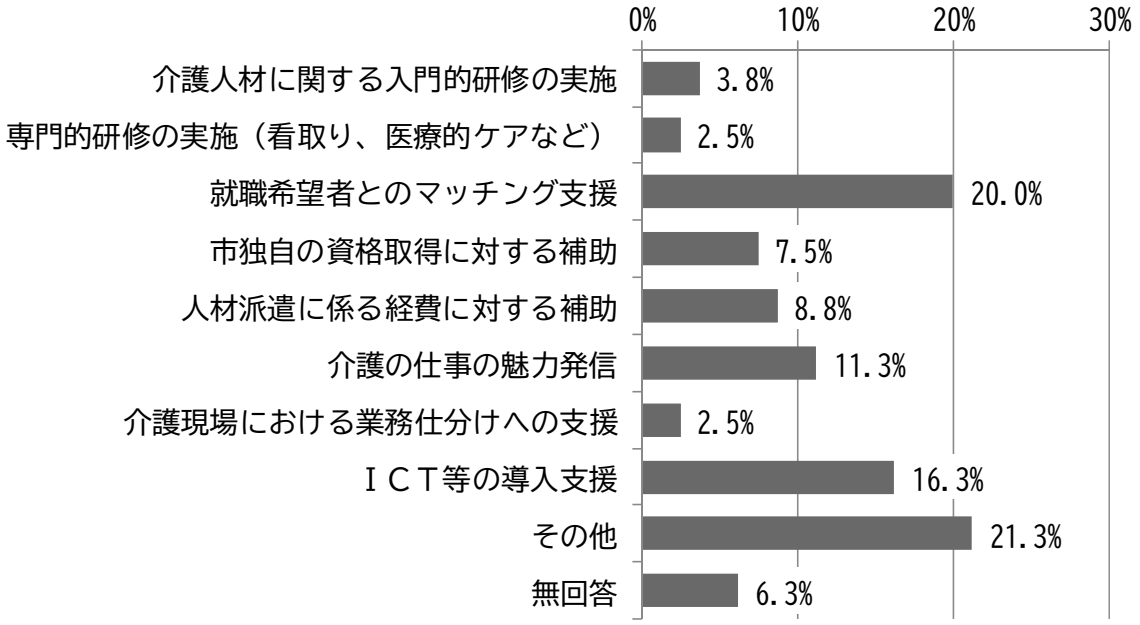
今後、職員を参加させたい研修については、「接遇・マナー向上」が 68.8%と最も多く、次いで、「介護技術・知識向上」が 66.3%、「虐待防止」が 56.3%となっています。



項目	度数	比率
接遇・マナー向上	55	68.8%
介護技術・知識向上	53	66.3%
資格取得支援	20	25.0%
リスクマネジメント	44	55.0%
応急措置等安全対策	29	36.3%
虐待防止	45	56.3%
公衆衛生・感染症対策	40	50.0%
介護保険制度学習	21	26.3%
特にない	2	2.5%
その他	2	2.5%
無回答	2	2.5%
回答者数	80	

問 22　介護人材の確保対策等として、市に実施してほしいと思うことは何ですか。[１つに○]

介護人材の確保対策等として、市に実施してほしいことについては、「就職希望者とのマッチング支援」が 20.0%と最も多く、次いで、「ＩＣＴ等の導入支援」が 16.3%、「介護の仕事の魅力発信」が 11.3%となっています。



項目	度数	比率
介護人材に関する入門的研修の実施	3	3.8%
専門的研修の実施（看取り、医療的ケアなど）	2	2.5%
就職希望者とのマッチング支援	16	20.0%
市独自の資格取得に対する補助	6	7.5%
人材派遣に係る経費に対する補助	7	8.8%
介護の仕事の魅力発信	9	11.3%
介護現場における業務仕分けへの支援	2	2.5%
ＩＣＴ等の導入支援	13	16.3%
その他	17	21.3%
無回答	5	6.3%
合計	80	100.0%

Ⅲ 総　括

Ⅲ　総括

調査結果の総括

１　世帯構成について

■世帯の状況について、「1 人暮らし（単身世帯）」と回答したのは、若年一般（40～64 歳）では１割弱、高齢者一般（65 歳以上）では約２割、居宅サービス利用者、介護サービス未利用者では２割を超えています。
■「1 人暮らし（単身世帯）」と「夫婦のみ」の世帯の割合を合計すると、若年一般（40～64 歳）では約３割、高齢者一般（65 歳以上）、居宅サービス利用者、介護サービス未利用者では５割前後となっています。
■「1 人暮らし（単身世帯）」や「夫婦のみ」世帯は年々増加しています。特に高齢者の「1 人暮らし（単身世帯）」や高齢者の「夫婦のみ」世帯では、災害時等の援助や声掛けなど、支援を必要とする人が多いことから、地域で支援する仕組みづくりが必要となります。

２　介護・介助について

（１）主な介護・介助者

■主な介護者について、居宅サービス利用者、介護サービス未利用者では、家族や親族が約８割を占めており、いずれも「子」という回答が最も多くなっていますが、介護サービス未利用者では「配偶者」という回答も３割を超えています。
■主な介護者の年齢について、居宅サービス利用者では「60 代」が最も多く、次いで、「80 歳以上」となっています。介護サービス未利用者では「80 歳以上」が最も多く、次いで、「70 代」が２割を超えています。
■高齢化が進展し、介護者の年齢も年々上昇傾向にあり、老老介護世帯の増加がうかがえます。介護者の負担を軽減できるような支援策や各サービスの充実が重要となります。

（２）介護・介助が必要になった理由

■介護・介助が必要になった原因として、高齢者一般（65 歳以上）では、「高齢による衰弱」が最も多く、次いで、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」となっています。居宅サービス利用者では、「骨折・転倒」が最も多く、次いで、「高齢による衰弱」、「認知症」と続いています。介護サービス未利用者では、「骨折・転倒」が最も多く、次いで、「高齢による衰弱」となっています。
■高齢者一般（65 歳以上）、居宅サービス利用者、介護サービス未利用者に共通するのは、「骨折・転倒」が上位を占めていることから、高齢者のフレイルの予防を推進していくことが必要です。

（３）仕事と介護の両立支援

■主な介護者が、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかという設問については、居宅サービス利用者では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く、介護サービス未利用者では、「介護をしている従業員への経済的な支援」、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が上位を占めています。

■介護者への支援として、介護に関する適切な情報の提供や啓発が必要です。

3　日常生活の状況について

（1）相談相手

■相談相手について、若年一般（40～64 歳）では、「同居の家族」が最も多く、次いで、「友人・知人」となっています。また、高齢者一般（65 歳以上）では、家族や友人・知人以外での相談相手について、「医師・歯科医師・看護師」が約２割となっており、その一方で「そのような人はいない」という回答が最も多くなっています。

■居宅サービス利用者、介護サービス未利用者の相談相手についても、「同居の家族」が最も多くなっており、次いで、「別居の子ども、親族など」、「友人・知人」、「病院・医院の医師・看護師など」となっています。

■相談相手としての「高齢者相談センター・市役所」という回答は１割を超え、前回からは認知度が上がっていますが、さらなるセンターの周知を図り、家族等の負担軽減につなげていく必要があります。

（2）主な外出手段

■外出する手段について、高齢者一般（65 歳以上）では、「自動車（自分で運転）」という回答が最も多く、日常的に運転をする方は６割以上となっています。一方、居宅サービス利用者、介護サービス未利用者では、「自動車（乗せてもらう）」という回答が最も多くなっています。

■高齢者施策で力を入れてほしい事業として、外出する時の移動手段（バス等）の充実という回答も多く、自動車の代替移動手段の充実に対するニーズがうかがえます。

（3）外出

■外出頻度について、高齢者一般（65 歳以上）では、「週５回以上」という回答が最も多く、「週２～４回」の方と合わせると、８割を超える方が週２回以上外出すると回答しており、「ほとんど外出しない」という回答は１割未満となっています。一方、居宅サービス利用者、介護サービス未利用者では、「週１～２回程度」という回答が最も多く、それよりも少ない方（２週に１～２回程度より少ない）を合わせると居宅サービス利用者で３割強、介護サービス未利用者の約４割で外出頻度が少なくなっています。

■要介護認定を受けると、外出頻度が減少する傾向がうかがえるため、ひきこもり防止の施策展開や気軽に外出ができるような施策を推進していくことが必要となります。

（4）生活支援体制

■今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、居宅サービス利用者で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院、買い物など）」がともに最も多く、次いで、「見守り、声かけ」、「配食」となっています。

■支援が必要な高齢者のお手伝いをしたいと思うかについて、若年一般（40～64 歳）で「思わない」が半数以上となっていますが、参加意向のある人では、「買い物」、「外出同行（通院、買い物など）」、「ゴミ出し」、「草取り」が１割から２割程度となっています。

■若年一般（40～64 歳）では、「介護予防サポーター」の認知度は約２割と前回より増えており、「おたすけサポーター」の認知度は約３割となっています。
■「介護予防サポーター」や「おたすけサポーター」などのボランティアのさらなる認知度向上と育成を推進するとともに、高齢者のニーズに応えられる仕組みづくりが必要です。

４　介護予防について

■若年一般（40～64 歳）では、健康づくり介護予防・重度化防止のために約６割の方が、日頃取り組んでおり、実施している内容は、「睡眠を十分にとる」、「栄養やバランスの取れた食事をとる」、「規則正しい生活をする」となっています。その一方で、日頃取り組んでいない理由は、「どのようなことに取り組んでよいかわからない」が３割を超えていることから、若いうちから健康づくりや介護予防に関する情報に触れることが重要となります。
■若年一般で、65 歳以上の方に実施している介護予防事業の認知度は、半数を超える方が知らないと回答しています。
■高齢者一般（65 歳以上）では、健康づくりや介護予防・重度化防止のために、日ごろから取り組んでいることの有無については、「ある」という回答が約７割となっており、その内容については、「睡眠を十分にとる」が最も多く、次いで、「規則正しい生活をする」、「散歩や体操など定期的な運動を続ける」となっています。
■高齢者になってからも介護予防に取り組む意識の醸成と介護予防に関する情報提供を推進していくことが重要です。

５　生活機能について

■介護予防のための生活機能判定結果について、各機能のリスク該当者の割合をみると、「うつ傾向」が最も高く、次いで、「認知機能」となっています。
■性別では、多くの項目において、男性に比べ女性のリスク機能該当者の割合が高くなっており、年齢別では、多くの項目において、年齢が上がるにつれてその割合が高くなっています。なお、「認知機能」のリスク該当者の割合は、90 歳以上で５割を超えています。
■若年からの生活機能維持の取り組み（介護予防教室等の充実）が必要です。

６　介護保険制度について

■介護が必要になった場合の希望について、若年一般（40～64 歳）では「地域密着型サービス（グループホーム、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護など）を中心に、住み慣れた地域での生活が継続できる介護を受けたい」という回答が最も多くなっています。また、高齢者一般（65 歳以上）では、「自宅で介護保険サービスや保健福祉サービスを中心に、家族による介護を受けたい」という回答が最も多くなっています。
■介護保険サービスに期待することについて、若年一般（40～64 歳）、高齢者一般（65 歳以上）ともに、「介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること」が最も多く、次いで、

「介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること」となっています。

■介護が必要になった場合には、自宅や地域での生活が継続することを必要とする意見が多いことから、介護予防の充実による要介護状態にならない取り組みや重度化防止施策の推進、地域密着型サービスの充実が重要です。

7　終活支援について

■人生の最終段階における医療や介護について話し合いをしたことが「ある」方は３割となっており、市のエンディングプラン・サポート事業の認知度は１割、終活情報登録支援事業は５％程度となっていることから、今後さらなる周知・情報提供が必要と考えられます。

8　市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことについて

■市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことについて、若年一般（40～64 歳）では、「外出する時の移動手段や移動支援の充実」が最も多くなっており、次いで、「在宅福祉サービスの充実」、「認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実」という回答が他調査に比べ多くなっています。
高齢者一般（65 歳以上）では、「在宅福祉サービスの充実」が最も多く、次いで、「外出する時の移動手段や移動支援の充実」、「健康づくり対策の推進」となっています。
介護サービス未利用者では、「在宅福祉サービスの充実」が最も多くなっています。

■在宅福祉サービスや移動手段を確保するための取り組みや、健康づくり対策の推進、認知症や判断能力が低下した場合の支援を充実させていくことが重要となります。

資料編　調査票

加須市高齢者生活実態調査の実施について

―アンケート調査へのご協力のお願い―

日ごろから、市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、高齢化が進展する中で、高齢者が住み慣れた地域で自身が望む生活を続けることができるようにするため、介護予防や自立支援、地域ケアへの取組がますます重視されています。

こうした中、市では、３年を１期とする加須市高齢者支援計画の見直しにあたり、市民の皆様の生活状況や健康状態、介護保険制度・高齢者施策に対する考え方やニーズを把握することを目的に、40歳から64歳までの要介護（要支援）認定を受けていない方（若年一般の方）を対象にアンケート調査を行わせていただくこととしました。

誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはございません。

令和７年１１月

加須市長　角　田　守　良

【 本調査の留意事項について 】

１　調査の対象者

令和７年10月１日現在で40歳から64歳までの要介護（要支援）認定を受けていない方の中から無作為で抽出した方です。

２　プライバシーの保護について

この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。

３　調査の回答方法

①スマートフォンやパソコンからのオンライン回答

右の二次元コードまたは下のURLにアクセスしてご回答ください。

※オンラインで回答された方は、この調査票の返信は必要ありません。

URL：https://forms.gle/1h5gQzpk3rPPdiSu6

②ご記入いただいたアンケート用紙による回答

同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れお近くのポストへご投函ください。

４　ご記入にあたってのお願い

・質問には、できるだけあて名のご本人がご回答ください。なお、ご本人による調査の回答（記入）が困難な場合は、ご家族の方等がご本人に代わってご記入ください。

・選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。

・質問によっては、選択肢や○の数が限られているものもあります。その場合は、ことわり書きを参考にしてご記入ください。

・「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（　）内にご記入ください。

①②それぞれ回答は**１２月１０日（水）**までに、お願い申し上げます。

ご本人（あなた）のことについて伺います。

問１　ご本人の性別、年齢、お住まいの地域等について伺います。

（１）性別は。［１つに○］

１　男性　　２　女性　　３　その他

（２）年齢は。（令和７年１０月１日現在）［１つに○］

１　40～44歳　　２　45～49歳　　３　50～54歳
４　55～59歳　　５　60～64歳

（３）お住まいの地域はどこですか。［１つに○］

１　加須地域①（加須、大桑、水深地区）　　２　加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
３　加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）　　４　騎西地域
５　北川辺地域　　６　大利根地域

（４）世帯構成は、次のうちどれですか。［１つに○］

１　ひとり暮らし
２　夫婦のみ
３　２世代（あなたと親、またはあなたと子ども）
４　３世代以上（あなたと親、子、または孫など）　　５　その他

問２　ご家族の中に、６５歳以上の方はいらっしゃいますか。同じ敷地内の世帯を別にする家族も含めてお答えください。［１つに○］

１　同居する家族にも、世帯を別にする家族にもいる
２　同居する家族にいる
３　世帯を別にする家族にいる
４　いない

健康状態・健康に対する意識について伺います。

問３　現在のあなたの健康状態はいかがですか。［１つに○］

１　とてもよい　　２　まあよい
３　あまりよくない　　４　よくない

問４　この１年間に健康診断を受けましたか。（市、職場、病院、一般の人間ドックなど）［１つに○］

１　受けた　→　問４－①、問４－②へ　　２　受けていない

【問４で「１　受けた」を選択した方のみ回答】

問４－①　最近の健康診断の結果はいかがでしたか。［１つに○］

１　医者の診察や治療が必要（要精密検査・要医療）
２　健康指導を受け、生活の改善が必要（要指導）
３　特に、気がかりな結果でない
４　わからない（受けていない）

【問４で「１　受けた」を選択した方のみ回答】

問４－②　健康診断の結果を受けて、特に心がけるようになったことはありますか。
［あてはまるものすべてに○］

１　食生活に気をつける　　２　運動を心がける
３　できるだけ外出する　　４　睡眠を十分にとる
５　ストレスをためない　　６　規則正しい生活をする
７　定期的に健康診断を受ける　　８　タバコを吸わない
９　お酒を飲み過ぎない　　10　定期的に血圧を測る
11　その他（　　）　　12　特にない

問５　「健康づくり」のことに関して、知りたいことはありますか。［３つまで○］

１　日常生活で、がんや高血圧など病気にならないための工夫
２　正しい食生活・栄養のあり方について
３　健康増進（運動、メタボリック対策など）の方法について
４　健(検)診の内容や受け方などについて
５　持病など病気とのつきあい方について
６　歯や口の健康について
７　認知症予防について
８　その他（　　）

問６　現在、医療機関に受診（服薬のみも含む）している病気などがありますか。［あてはまるものすべてに○］

１　特にない　　２　心臓病
３　糖尿病　　４　脳卒中などの脳血管疾患
５　高血圧症　　６　貧血
７　腰痛　　８　腎臓病
９　肝臓病　　10　ぜんそくなどの呼吸器疾患
11　認知症　　12　心の病（うつ症状など）
13　神経痛、リウマチ　　14　骨折、外傷
15　白内障等の目の病気　　16　耳、鼻の病気
17　骨粗しょう症　　18　その他（　　）

問７　あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」がいますか。［１つに○］

１　「かかりつけ医」と言える医者が近くにいる
２　総合病院に「かかりつけ医」のように診てもらっている
３　病院・医院を特定せず、その時々の医者に診てもらっている
４　あまり病気にならないので、よくわからない
５　その他（　　）

介護保険サービスについて伺います。

問８　介護が必要になった場合、どのような介護を希望しますか。［１つに○］

１　自宅で家族による介護を中心に受けたい
２　自宅で介護保険サービスや保健福祉サービスを中心に、家族による介護も受けたい
３　地域密着型サービス（グループホーム、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護など）を中心に、住み慣れた地域での生活が継続できる介護を受けたい
４　特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所して介護を受けたい
５　介護付きの有料老人ホームやケアハウス等に住み替えて介護を受けたい
６　わからない
７　その他（　　）

問９　あなたは、介護保険サービスにどのようなことを期待しますか。もっとも期待の高いものを選んでください。［１つに○］

１　介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること
２　介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること
３　介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること
４　介護が必要になっても、共同住宅など在宅に近い状態で暮らせるサービスが充実していること
５　介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること
６　その他（　　）

介護予防の取り組みについて伺います。

問１０　健康づくりや介護予防のために、日ごろから取り組んでいることはありますか。［１つに○］

１　ある　→　問１０－①へ　　２　ない　→　問１０－②へ

【問１０で「１　ある」を選択した方のみ回答】

問１０－①　健康づくりや介護予防のために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。
［あてはまるものすべてに○］

１　睡眠を十分にとる　　２　規則正しい生活をする
３　栄養やバランスの取れた食事をとる　　４　定期的に健康診断を受ける
５　お酒やタバコを控える　　６　散歩や体操など定期的な運動を続ける
７　歯や口の手入れをこまめに行う　　８　よく噛んで食べる
９　できるだけ外出する　　10　できるだけ気持ちを明るく保つ
11　ボランティアなどの社会活動に参加する　　12　その他（　　）

【問１０で「２　ない」を選択した方のみ回答】

問１０－②　それはなぜですか。［１つに○］

１　興味・関心がない　　２　体力・気力がない
３　時間的な余裕がない　　４　金銭的な余裕がない
５　どのようなことに取り組んでよいかわからない
６　その他（　　）

問１１　市では、６５歳以上の方を対象に、介護予防事業を行っていますが、介護予防事業を知っていますか。［１つに○］

1　よく知っている　　2　聞いたことはある
3　知らない

問１２　今後の介護予防・重度化防止への取り組みについて、下記のうち特に重要と思われるものはどれですか。［あてはまるものすべてに○］

1　生活機能低下の検査（生活機能評価チェックリストなど）
2　健康づくりのための事業
3　転倒骨折予防（転倒、骨折による寝たきり防止などの取り組み）
4　筋力トレーニング（簡単な体操などを行い筋力やバランス能力の向上・改善を行う）
5　栄養改善（バランスのとれた食事摂取への取り組み）
6　口腔機能の向上（歯や口の中の清潔維持などへの取り組み）
7　閉じこもり予防の支援（地域の集会所等におけるサロン等の設置）
8　認知症予防・支援（認知症にならない、認知症を進行させないような取り組み）
9　うつ予防・支援（気づかれにくい・気づきにくい、心の健康の問題への取り組み）
10　その他（　　）

高齢者相談センターついて伺います。

問１３　市では介護予防や高齢者とその家族の生活全般の相談窓口として「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」を市内に６か所設置しています。あなたは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）をご存じですか。［１つに○］

1　相談したことがある→　問 13－①へ
2　知っているが相談したことはない→　問 13－①へ
3　聞いたことはある→　問 13－①へ
4　まったく知らない

【問１３で1、2、3のいずれかを選択した方のみ回答】
問１３－①　高齢者相談センターをどのようにして知りましたか。［１つに○］

1　高齢者相談センター職員の訪問
2　高齢者相談センター職員が参加するイベント
3　市役所窓口での案内
4　インターネット・ＳＮＳ
5　介護サービス事業者やケアマネからの情報
6　その他（　　）

日常生活の状況について伺います。

問１４　あなたはご近所と、どの程度の付き合いをされていますか。［１つに○］

1　お互いによく訪問しあう　　2　ときどき世間話をする
3　あいさつを交わす程度　　4　ほとんど付き合いはない

問１５　あなたは、日ごろどのように過ごすことが多いですか。［３つまで○］

1　会社等に勤務　　2　家（自営業）の仕事
3　農作業（家庭菜園含む）　　4　庭などの手入れ
5　家族の世話（家事、孫の世話など）　　6　ご近所との交流
7　自分の趣味や娯楽　　8　地域の活動、ボランティア活動
9　テレビ・ラジオを観る（聴く）　　10　新聞・雑誌・本を読む
11　散歩（ウォーキング）　　12　病院へ通う
13　その他（　　）　14　特にない

問１６　あなたは、普段の生活において生きがいや楽しみがありますか。［１つに○］

1　ある　→　問 16－①へ　　2　ない

【問１６で「1　ある」を選択した方のみ回答】
問１６－①　現在、特にどのようなことに生きがいや楽しみを感じますか。［１つに○］

1　仕事　　2　家族・子ども（孫）とのつきあい
3　自分の趣味や娯楽　　4　仲間とのスポーツや学習のサークル活動
5　地域の活動、ボランティア活動　　6　わからない
7　その他（　　）

問１７　あなたは、悩みや心配ごとがありますか。［３つまで○］

1　健康について不安を抱えている　　2　収入が少なく、経済的に不安
3　友人がいない　　4　生きがいがない
5　家族との関係がうまくいかない　　6　身のまわりの世話をしてくれる人がいない
7　家族の介護について不安を抱えている　　8　その他（　　）
9　特にない

問１８　悩みや心配ごとの相談相手はどなたですか。［３つまで○］

1　同居の家族　　2　別居の子ども、親族など
3　隣近所の人　　4　友人・知人
5　保健師、ホームヘルパーなど　　6　高齢者相談センター等の職員
7　病院・医院の医師・看護師など　　8　ボランティア
9　民生委員　　10　市役所の職員
11　その他（　　）　12　誰もいない

ボランティアに対する意識について伺います。

問１９　高齢者が近くのコミュニティセンター等に集まって軽い体操などを行う「ふれあいサロン」の担い手として活動する「介護予防サポーター」をご存知ですか。［１つに○］

1　知っている　　2　知らない

問２０　地域福祉に意欲のある「おたすけサポーター」が、ちょっとした生活支援を必要としている高齢者等のお手伝いをする「ちょこっとおたすけ絆サポート事業」をご存知ですか。［１つに○］

1　知っている　　2　知らない

問２１　「介護予防サポーター」や「おたすけサポーター」など、支援が必要な高齢者のお手伝い（ボランティア）をしたいと思いますか。［あてはまるものすべてに○］

1　調理　　2　掃除、洗濯　　3　買い物
4　外出同行（通院、買い物等）　　5　ゴミ出し　　6　草取り
7　高齢者ふれあいサロンのお手伝い（体操、手芸など）
8　その他（　　）　　9　思わない

認知症にかかる相談窓口について伺います。

問２２　家族又は身近な人に認知症の症状がある人がいますか。［１つに○］

1　いる
2　いない

問２３　認知症に関する相談窓口を知っていますか。［１つに○］

1　知っている
2　知らない

保健・福祉サービスなどについて伺います。

問２４　あなたは、成年後見制度を知っていますか。［１つに○］

1　知っている→　問 24－①へ　　2　知らない

【問２４で「1　知っている」を選択した方のみ回答】
問２４－①　ご自身が高齢になり、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか。［１つに○］

1　利用したい　　2　利用したくない→　問 24－②へ

【問２４－①で「2　利用したくない」を選択した方のみ回答】
問２４－②　成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか。〔あてはまるものすべてに○〕

1　手続が難しそう
2　申立費用・報酬費用等の負担が心配
3　後見人等に金銭管理等を任せることが心配
4　他人に財産状況や生活状況を知られたくない
5　家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい
6　誰に相談すればよいかが分からない
7　後見人に誰が選任されるかわからないため不安
8　その他（　　）

問２５　あなたは、加須市の保健・福祉サービス全般についてどのように感じますか。［１つに○］

1　満足している　　2　まあ満足している
3　どちらともいえない　　4　やや不満である
5　不満である

問２６　市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。［３つまで○］

1　敬老意識の啓発
2　雇用機会の拡充
3　健康づくり対策の推進
4　生涯学習、生涯スポーツ等の振興
5　ボランティア活動に対する支援
6　介護予防事業（転倒予防、閉じこもり予防、脳の認知機能低下予防等）の充実
7　在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実
8　福祉に関する総合相談体制の充実
9　地域で高齢者を支える仕組み（見守り活動等）に対する支援
10　緊急時、災害時の支援体制の充実
11　認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実
12　世代間（高齢者と子ども等）交流の場の拡充
13　外出する時の移動手段（バス等）や移動支援の充実
14　公共的施設のバリアフリー化の推進
15　その他（　　）

問２７　介護保険制度は、４０歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスの在り方について、どのように考えますか。［１つに○］

1　保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実しているほうがよい
2　保険料も介護サービスの量も今の水準程度がよい
3　利用できる介護サービスが充実していなくても、保険料は安いほうがよい
4　わからない

加須市への定住意向について伺います。

問２８　あなたは、これからも加須市に住み続けたいと思いますか。［１つに○］

1　ずっと住み続けたい　　2　当分は住み続けたい
3　どちらともいえない　　4　どちらかというと市外に移りたい
5　すぐにでも市外に移りたい

最後に、市へご意見、ご要望、ご提案などがございましたら、お聞かせください。

多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。記入もれがないか、お確かめいただき、**１２月１０日（水）**までに同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。また、ご相談・ご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。
（個人情報保護の観点から、この調査票や返信用封筒へのお名前や住所の記入はお控えください。）

≪お問い合わせ先≫
アンケート調査全般について
加須市役所　福祉部　高齢介護課
電　話：０４８０－６２－１１１１（内線：１３４）
ＦＡＸ：０４８０－６１－４２８１
e-mail：korei@city.kazo.lg.jp

ＰＣ・スマートフォンからのオンライン回答について
株式会社環境総合研究所 北関東支社
電　話：０２７６－５５－３８５３
e-mail：kitakan@kansouken.co.jp
※この調査は、加須市が株式会社環境総合研究所に委託して実施しています。

加須市高齢者生活実態調査の実施について

―アンケート調査へのご協力のお願い―

日ごろから、市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、高齢化が進展する中で、高齢者が住み慣れた地域で自身が望む生活を続けることができるようにするため、介護予防や自立支援、地域ケアへの取組がますます重視されています。

こうした中、市では、３年を１期とする加須市高齢者支援計画の見直しにあたり、要介護状態になるリスクの発生状況や各種リスクに影響を与える日常生活や社会参加の状況を把握し、地域の課題を特定することを目的として、65歳以上で「要介護」の認定を受けていない方を対象にアンケート調査を行わせていただくこととしました。

誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはございません。

令和７年１１月

加須市長　角　田　守　良

【 本調査の留意事項について 】

1　調査の対象者

令和７年10月１日現在、65歳以上で「要介護」の認定を受けていない方の中から無作為で抽出した方です。

2　個人情報の保護及び活用目的について

・この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市による高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定の目的外には利用いたしません。

・ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理する本市以外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

3　ご記入にあたってのお願い

・質問には、できるだけあて名のご本人がご回答ください。なお、ご本人による調査の回答（記入）が困難な場合は、ご家族の方等がご本人に代わってご記入ください。

・選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。

・質問によっては、選択肢や○の数が限られているものもあります。
その場合は、ことわり書きを参考にしてご記入ください。

・「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（　）内にご記入ください。

なお、ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

１２月１０日（水）までに、お近くのポストへご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

注）ご本人以外の方が記入される場合、ご本人の意向を尊重してください。

○この調査の記入者はどなたですか。［１つに○］

1　本人　　2　本人の配偶者　　3　本人の子
4　本人の子の配偶者　　5　その他（　　）

ご本人（あなた）のことについて伺います。

（1）性別は。［１つに○］

1　男性　　2　女性

（2）年齢は。

（　　）歳（令和７年 10 月１日現在）

（3）お住まいの地域はどこですか。［１つに○］

1　加須地域①（加須、大桑、水深地区）　　2　加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
3　加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）　　4　騎西地域
5　北川辺地域　　6　大利根地域

（4）現在、ご本人はどちらで生活されていますか。［１つに○］

1　自宅　　2　病院（または施設）に入院（入所）中
3　市内の親族等の家に転居　　4　その他（　　）

（5）現在、認定されている要介護度は。（要介護度は介護保険証に記載されています。）［１つに○］

1　認定は受けていない　　2　要支援１　　3　要支援２

問１　あなたのご家族や生活状況について伺います。

（1）家族構成をお教えください。［１つに○］

1　１人暮らし　　2　夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）
3　夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）　　4　息子・娘との２世帯
5　その他（　　）

（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。［１つに○］

1　介護・介助は必要ない
2　何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない→　次の①へ
3　現在、何らかの介護を受けている→　次の①②へ
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【問１－（２）において「1　介護・介助は必要ない」以外を選択した方のみ回答】

① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　脳卒中（脳出血・脳梗塞等）　　2　心臓病
3　がん（悪性新生物）　　4　呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
5　関節の病気（リウマチ等）　　6　認知症（アルツハイマー病等）
7　パーキンソン病　　8　糖尿病
9　腎疾患（透析）　　10　視覚・聴覚障がい
11　骨折・転倒　　12　脊椎損傷
13　高齢による衰弱　　14　その他（　　）
15　不明

【問１－（２）において「3　現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみ回答】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。［あてはまるものすべてに○］

1　配偶者（夫・妻）　　2　息子　　3　娘
4　子の配偶者　　5　孫　　6　兄弟・姉妹
7　介護サービスのヘルパー　　8　その他（　　）

（3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。［１つに○］

1　大変苦しい　　2　やや苦しい　　3　ふつう
4　ややゆとりがある　　5　大変ゆとりがある

（4）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。［１つに○］

1　持家（一戸建て）　　2　持家（集合住宅）
3　公営賃貸住宅　　4　民間賃貸住宅（一戸建て）
5　民間賃貸住宅（集合住宅）　　6　借家
7　その他（　　）

（5）あなたは、自動車を日常的に運転していますか。［１つに○］

1　運転している→　以下の①へ
2　ときどき運転することがある→　以下の①へ
3　運転免許証を取得しているが、運転していない
4　運転免許証を取得していたが、自主返納した
5　運転免許証を取得したことがない

【問１－（５）において「1　運転している」または「2　ときどき運転することがある」を選択した方のみ回答】

① あなたが自動車を運転する主な目的は何ですか。［３つまで○］

1　買い物
2　家族等の送迎
3　通院
4　仕事
5　習い事への参加
6　旅行
7　運転することが好き
8　その他（　　）

問２　からだを動かすことについて伺います。

（1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。［１つに○］

1　できるし、している　　2　できるけどしていない　　3　できない

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。［１つに○］

1　できるし、している　　2　できるけどしていない　　3　できない

（3）15分位続けて歩いていますか。［１つに○］

1　できるし、している　　2　できるけどしていない　　3　できない

（4）過去１年間に転んだ経験がありますか。［１つに○］

1　何度もある　　2　１度ある　　3　ない

（5）転倒に対する不安は大きいですか。［１つに○］

1　とても不安である　　2　やや不安である
3　あまり不安でない　　4　不安でない

（6）週に１回以上は外出していますか。［１つに○］

1　ほとんど外出しない　　2　週１回
3　週２～４回　　4　週５回以上

（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。［１つに○］

1　とても減っている　　2　減っている
3　あまり減っていない　　4　減っていない

（8）外出を控えていますか。［１つに○］

1　はい→　以下の①へ　　2　いいえ

【問２－（８）で「1　はい」（外出を控えている）を選択した方のみ回答】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。［あてはまるものすべてに○］

1　病気　　2　障がい（脳卒中の後遺症など）
3　足腰などの痛み　　4　トイレの心配（失禁など）
5　耳の障がい（聞こえの問題など）　　6　目の障がい
7　外での楽しみがない　　8　経済的に出られない
9　交通手段がない　　10　その他（　　）

（9）外出する際の移動手段は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

1 徒歩	2 自転車
3 バイク	4 自動車（自分で運転）
5 自動車（人に乗せてもらう）	6 電車
7 路線バス	8 病院や施設のバス
9 車いす	10 電動車いす（カート）
11 歩行器・シルバーカー	12 タクシー
13 その他（　　）	

※市のデマンド型乗合タクシー等を利用の場合は、「13 その他（　　）」を選択してください。

問3 食べることについて伺います。

（1）身長・体重を伺います。（小数点以下は記入しない）

身長 [　　] cm　体重 [　　] kg

（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（3）お茶や汁物等でむせることがありますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（4）口の渇きが気になりますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（5）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（6）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
（成人の歯の総本数は、「親知らず」を含めて32本です）[1つに○]

1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用→ 以下の②へ
2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用→ 以下の②へ
4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

① 噛み合わせは良いですか[1つに○]

1 はい　2 いいえ

【問3－（6）で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選択した方のみ回答】

② 毎日入れ歯の手入れをしていますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（7）6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（8）どなたかと食事をともにする機会はありますか。[1つに○]

1 毎日ある　2 週に何度かある　3 月に何度かある
4 年に何度かある　5 ほとんどない

問4 毎日の生活について伺います。

（1）物忘れが多いと感じますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（3）今日が何月何日かわからない時がありますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（4）バス（コミュニティバスを含む）や電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。[1つに○]

1 できるし、している　2 できるけどしていない　3 できない

（5）自分で食品・日用品の買物をしていますか。[1つに○]

1 できるし、している　2 できるけどしていない　3 できない

（6）自分で食事の用意をしていますか。[1つに○]

1 できるし、している　2 できるけどしていない　3 できない

（7）自分で請求書の支払いをしていますか。[1つに○]

1 できるし、している　2 できるけどしていない　3 できない

（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか。[1つに○]

1 できるし、している　2 できるけどしていない　3 できない

（9）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（10）新聞を読んでいますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（11）本や雑誌を読んでいますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（12）健康についての記事や番組に関心がありますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（13）友人の家を訪ねていますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（14）家族や友人の相談にのっていますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（15）病人を見舞うことができますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（16）若い人に自分から話しかけることがありますか。[1つに○]

1 はい　2 いいえ

（17）趣味はありますか。[1つに○]（「1 趣味あり」の方は（ ）内に趣味をご記入ください。）

1 趣味あり →（　　）　2 思いつかない

（18）生きがいはありますか。[1つに○]（「1 生きがいあり」の方は（ ）内に生きがいをご記入ください。）

1 生きがいあり →（　　）　2 思いつかない

（19）集積所へのごみ出しができますか。[1つに○]

1 できる　2 できないので家族が出している
3 できないので家族以外の人にお願いしている

※ごみ出しはできるが、同居の家族がいる等の理由により、ごみ出しをしていない場合は、「1 できる」を選択してください。

問5 地域での活動について伺います。

（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
[①～⑧それぞれに回答してください]

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 集会所やコミュニティセンターでの体操やおしゃべりを行う「ふれあいサロン」など介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

（2）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
[1つに○]

1 ぜひ参加したい　2 参加してもよい　3 参加したくない　4 既に参加している

（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。[1つに○]

1 ぜひ参加したい　2 参加してもよい　3 参加したくない　4 既に参加している

問6 就労について伺います。

（1）現在のあなたの就労状態はどれですか。[あてはまるものすべてに○]

1 職に就いたことがない　2 引退した→ 以下の①へ　3 常勤（フルタイム）
4 非常勤（パート・アルバイト等）　5 自営業　6 求職中
7 その他（　　）

【問6－（1）で「2 引退した」を選択した方のみ回答】

① あなたはいつ引退しましたか。[1～3のいずれか1つに数字を2桁で記入]
1桁の場合は頭に0を付けて記入してください。（例：3年→03年）

1 昭和 [　　] 年　2 平成 [　　] 年　3 令和 [　　] 年

2：高齢者一般

問７　たすけあいについて伺います。

あなたとまわりの人の「たすけあい」について伺います。

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。[あてはまるものすべてに○]

1 配偶者　2 同居の子ども　3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫　5 近隣住民　6 友人
7 その他（　　）　8 そのような人はいない

（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。[あてはまるものすべてに○]

1 配偶者　2 同居の子ども　3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫　5 近隣住民　6 友人
7 その他（　　）　8 そのような人はいない

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。[あてはまるものすべてに○]

1 配偶者　2 同居の子ども　3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫　5 近隣住民　6 友人
7 その他（　　）　8 そのような人はいない

（4）反対に、看病や世話をしてあげる人。[あてはまるものすべてに○]

1 配偶者　2 同居の子ども　3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫　5 近隣住民　6 友人
7 その他（　　）　8 そのような人はいない

（5）家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。[あてはまるものすべてに○]

1 自治会・町内会・老人クラブ　2 社会福祉協議会・民生委員
3 ケアマネジャー　4 医師・歯科医師・看護師
5 高齢者相談センター・市役所　6 その他（　　）
7 そのような人はいない

（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。[１つに○]

1 毎日ある　2 週に何度かある　3 月に何度かある
4 年に何度かある　5 ほとんどない

（7）この1か月間、何人の友人･知人と会いましたか。（同じ人には何度会っても1人と数えることとします。）[１つに○]

1 ０人（いない）　2 １～２人　3 ３～５人
4 ６～９人　5 10人以上

（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。[あてはまるものすべてに○]

1 近所・同じ地域の人　2 幼なじみ
3 学生時代の友人　4 仕事での同僚・元同僚
5 趣味や関心が同じ友人　6 ボランティア等の活動での友人
7 その他（　　）　8 いない

2：高齢者一般

問８　健康について伺います。

（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。[１つに○]

1 とてもよい　2 まあよい　3 あまりよくない　4 よくない

（2）あなたは、現在どの程度幸せですか。[１つに○]
（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を１０点として、ご記入ください。）

とても不幸　0点　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10点　とても幸せ

（3）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。[１つに○]

1 はい　2 いいえ

（4）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。[１つに○]

1 はい　2 いいえ

（5）お酒は飲みますか。[１つに○]

1 ほぼ毎日飲む　2 時々飲む　3 ほとんど飲まない　4 もともと飲まない

（6）タバコは吸っていますか。[１つに○]

1 ほぼ毎日吸っている　2 時々吸っている
3 吸っていたがやめた　4 もともと吸っていない

（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。[あてはまるものすべてに○]

1 ない　2 高血圧　3 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
4 心臓病　5 糖尿病　6 高脂血症（脂質異常）
7 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）　8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9 腎臓・前立腺の病気　10 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11 外傷（転倒・骨折等）　12 がん（悪性新生物）
13 血液・免疫の病気　14 うつ病
15 認知症（アルツハイマー病等）　16 パーキンソン病
17 目の病気　18 耳の病気
19 その他（　　）

（8）あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」がいますか。[１つに○]

1 「かかりつけ医」と言える医者が近くにいる
2 総合病院に「かかりつけ医」のように診てもらっている
3 病院・医院を特定せず、その時々の医者に診てもらっている
4 あまり病気にならないので、よくわからない
5 その他（　　）

2：高齢者一般

問９　認知症にかかる相談窓口について伺います。

（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。[１つに○]

1 はい　2 いいえ

（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか。[１つに○]

1 はい　2 いいえ

問１０　介護保険制度などについて伺います。

（1）介護が必要になったときの手続きや介護保険制度のサービスの内容について知っていますか。
[①～③それぞれに回答してください]

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない
①　申請や手続きの方法	1	2	3	4
②　受けられるサービスの内容	1	2	3	4
③　保険料の仕組み	1	2	3	4

（2）現在支払っている介護保険料の額について、どのように感じていますか。[１つに○]

1 負担が大きい　2 やや負担に感じる　3 負担は感じない　4 分からない

（3）介護保険サービスと介護保険料の関係について、どのようにお考えですか。[１つに○]

1 保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実しているほうがよい
2 保険料も介護サービスの量も今の水準程度がよい
3 利用できる介護サービスが充実していなくても、保険料は安いほうがよい
4 わからない

（4）介護が必要になった場合、どのような介護を希望しますか。[１つに○]

1 自宅で家族による介護を中心に受けたい
2 自宅で介護保険サービスや保健福祉サービスを中心に、家族による介護も受けたい
3 地域密着型サービス（グループホーム、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護など）を中心に、住み慣れた地域での生活が継続できる介護を受けたい
4 特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所して介護を受けたい
5 介護付きの有料老人ホームやケアハウス等に住み替えて介護を受けたい
6 その他（　　）
7 わからない

（5）あなたは、介護保険サービスにどのようなことを期待しますか。もっとも期待の高いものを選んでください。[１つに○]

1 介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること
2 介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること
3 介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること
4 介護が必要になっても、共同住宅など在宅に近い状態で暮らせるサービスが充実していること
5 介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること
6 その他（　　）

2：高齢者一般

問１１　介護予防の取り組みについて伺います。

（1）健康づくりや介護予防・重度化防止のために、日ごろから取り組んでいることはありますか。
[１つに○]

1 ある→ 以下の①へ　2 ない→ 以下の②へ

【問１１－（1）で「1　ある」を選択した方のみ回答】

① 健康づくりや介護予防・重度化防止のために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。
[あてはまるものすべてに○]

1 睡眠を十分にとる　2 規則正しい生活をする
3 栄養やバランスの取れた食事をとる　4 定期的に健康診断を受ける
5 お酒やタバコを控える　6 散歩や体操など定期的な運動を続ける
7 歯や口の手入れをこまめに行う　8 よく噛んで食べる
9 できるだけ外出する　10 できるだけ気持ちを明るく保つ
11 ボランティアなどの社会活動に参加する　12 その他（　　）

【問１１－（1）で「2　ない」を選択した方のみ回答】

② それはなぜですか。[１つに○]

1 興味・関心がない　2 体力・気力がない
3 時間的な余裕がない　4 金銭的な余裕がない
5 どのようなことに取り組んでよいかわからない　6 その他（　　）

（2）市では、６５歳以上の方を対象に、介護予防事業を行っていますが、介護予防事業を知っていますか。[１つに○]

1 よく知っている　2 聞いたことはある
3 知らない

（3）今後の介護予防・重度化防止への取り組みについて、下記のうち特に重要と思われるものはどれですか。[あてはまるものすべてに○]

1 生活機能低下の検査（生活機能評価チェックリストなど）
2 健康づくりのための事業
3 転倒骨折予防（転倒、骨折による寝たきり防止などの取り組み）
4 筋力トレーニング（簡単な体操などを行い筋力やバランス能力の向上・改善を行う）
5 栄養改善（バランスのとれた食事摂取への取り組み）
6 口腔機能の向上（歯や口の中の清潔維持などへの取り組み）
7 閉じこもり予防の支援（地域の集会所等におけるサロン等の設置）
8 認知症予防・支援（認知症にならない、認知症を進行させないような取り組み）
9 うつ予防・支援（気づかれにくい・気づきにくい、心の健康の問題への取り組み）
10 その他（　　）

（4）市では介護予防や高齢者の生活全般の相談窓口として「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」を市内に６か所設置しています。あなたは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）をご存じですか。[１つに○]

1 利用した（相談した）ことがある→ 次の①へ
2 知っているが利用した（相談した）ことはない→ 次の①へ
3 聞いたことはある→ 次の①へ
4 まったく知らない

2：高齢者一般

【問１１（４）で1、2、3のいずれかを選択した方のみ回答】
① 高齢者相談センターをどのようにして知りましたか。［１つに○］

1　高齢者相談センター職員の訪問　　2　高齢者相談センター職員が参加するイベント
3　市役所窓口での案内　　4　インターネット・ＳＮＳ
5　介護サービス事業者やケアマネからの情報
6　その他（　　）

問１２　保健・福祉サービスなどについて伺います。

（1）あなたは、加須市の保健・福祉サービス全般についてどのように感じますか。［１つに○］

1　満足している　　2　まあ満足している
3　どちらともいえない　　4　やや不満である
5　不満である

（2）市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。［３つまで○］

1　敬老意識の啓発
2　高齢者の就労や社会参加の支援
3　健康づくり対策の推進
4　生涯学習、生涯スポーツ等の振興
5　ボランティア活動に対する支援
6　介護予防事業（転倒予防、閉じこもり予防、脳の認知機能低下予防等）の充実
7　在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実
8　福祉に関する総合相談体制の充実
9　地域で高齢者を支える仕組み（見守り活動等）に対する支援
10　緊急時、災害時の支援体制の充実
11　認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実
12　世代間（高齢者と子ども等）交流の場の拡充
13　外出する時の移動手段（バス等）や移動支援の充実
14　公共的施設のバリアフリー化の推進
15　その他（　　）

（3）人生の最終段階における医療や介護などについて、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。［１つに○］

1　ある→ 以下の①②へ　　2　ない

【問１２－（３）で「1　ある」を選択した方のみ回答】
① 誰と話し合いましたか。［あてはまるものすべてに○］

1　家族・親族　　2　主治医　　3　看護師
4　介護関係者　　5　その他（　　）

【問１２－（３）で「1　ある」を選択した方のみ回答】
② 話し合った結果、具体的な準備に取りかかったものはありますか。
［あてはまるものすべてに○］

1　遺言・エンディングノート　　2　保険・遺産・相続など
3　葬儀や墓の準備　　4　延命措置について
5　その他（　　）

2：高齢者一般

（4）あなたは、終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業を知っていますか。
［１つに○］

1　知っている→ 以下の①へ　　2　知らない

※「エンディングプラン・サポート事業」とは、頼れる身寄りがなく、自身の葬儀や納骨などに不安のある高齢者に対し、安心してこれらの生前契約を締結できるようにお手伝いするとともに、定期的な安否確認を行う事業です。

【問１２－（４）で「1　知っている」を選択した方のみ回答】
① あなたは、今後、エンディングプラン・サポート事業を利用したいですか。［１つに○］

1　利用したい　　2　利用したくない→ 以下の②へ

【問１２－（４）―①で「2　利用したくない」を選択した方のみ回答】
② エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由は何ですか。
［あてはまるものすべてに○］

1　生前契約を締結した葬祭業者が倒産や廃業した場合が心配
2　預託金の支払いなど費用の負担が心配
3　葬祭業者とのトラブルが怖い
4　死後の遺品整理や財産処分に関する事項が含まれていない
5　その他（　　）

（5）あなたは、終活支援のひとつである終活情報登録支援事業を知っていますか。［１つに○］

1　知っている→ 以下の①へ　　2　知らない

※「終活情報登録支援事業」とは、自身が意思表示できなくなったときや亡くなったときに備え、緊急連絡先、かかりつけ医、資産に関することなどについて、あらかじめ市へ登録しておき、もしものときには、警察、消防、医療機関、福祉事務所及び緊急連絡先等からの照会に対し、ご本人に代わり市から速やかに回答できる体制を整備するための事業です。

【問１２－（５）で「1　知っている」を選択した方のみ回答】
① あなたは、終活情報登録支援事業を利用したいですか。［１つに○］

1　利用したい　　2　利用したくない→ 以下の②へ

【問１２－（５）―①で「2　利用したくない」を選択した方のみ回答】
② 終活情報登録支援事業を利用したくないと考える理由は何ですか。
［あてはまるものすべてに○］

1　個人情報の流出が心配
2　他人に財産状況や生活状況を知られたくない
3　家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない
4　今はまだ元気なので、将来のことは心配していない
5　その他（　　）

2：高齢者一般

（6）　あなたは、成年後見制度を知っていますか。［１つに○］

1　知っている→ 以下の①へ　　2　知らない

【問１２－（６）で「1　知っている」を選択した方のみ回答】
① 今後、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか。［１つに○］

1　利用したい　　2　利用したくない→ 以下の②へ

【問１２－（６）－①で「2　利用したくない」を選択した方のみ回答】
② 成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　手続が難しそう
2　申立費用・報酬費用等の負担が心配
3　後見人等に金銭管理等を任せることが心配
4　他人に財産状況や生活状況を知られたくない
5　家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい
6　誰に相談すればよいかが分からない
7　後見人に誰が選任されるかわからないため不安
8　その他（　　）

問１３　加須市への定住意向について伺います。

（1）あなたは、これからも加須市に住み続けたいと思いますか。［１つに○］

1　ずっと住み続けたい　　2　当分は住み続けたい
3　どちらともいえない　　4　どちらかというと市外に移りたい
5　すぐにでも市外に移りたい

2：高齢者一般

最後に、市へご意見、ご要望、ご提案などがございましたら、お聞かせください。

多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。記入もれがないか、お確かめいただき、**１２月１０日（水）**までに同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。また、ご相談・ご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。
（個人情報保護の観点から、この調査票や返信用封筒へのお名前や住所の記入はお控えください。）

お問い合わせ先：加須市役所　福祉部　高齢介護課
電　話：０４８０－６２－１１１１（内線：１３４）
ＦＡＸ：０４８０－６１－４２８１
e-mail：korei@city.kazo.lg.jp

加須市高齢者生活実態調査の実施について
―アンケート調査へのご協力のお願い―

日ごろから、市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、高齢化が進展する中で、高齢者が住み慣れた地域で自身が望む生活を続けることができるようにするため、介護予防や自立支援、地域ケアへの取組がますます重視されています。

こうした中、市では、３年を１期とする加須市高齢者支援計画の見直しにあたり、市民の皆様の生活状況や健康状態、介護保険制度・高齢者施策に対する考え方やニーズを把握することを目的に、要介護（要支援）認定を受けていて、居宅サービスを利用されている方を対象にアンケート調査を行わせていただくこととしました。

誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはございません。

令和７年１１月

加須市長　角　田　守　良

【 本調査の留意事項について 】

１　調査の対象者

令和７年10月１日現在で要介護（要支援）認定を受け、居宅サービスを利用している方の中から無作為で抽出した方です。

２　個人情報の取り扱いについて

調査結果の分析にあたり、あなたの要介護認定結果を使用する場合があります。

このため、本調査票のご返送をもって、あなたの要介護認定の結果を個人が識別できない形で厚生労働省の管理する本市以外のデータベース内に登録し、必要に応じて集計・分析することにご同意いただいたものとみなさせていただきますことをご了承ください。

３　ご記入にあたってのお願い

・質問には、できるだけあて名のご本人がご回答ください。なお、ご本人による調査の回答（記入）が困難な場合は、ご家族の方等がご本人に代わってご記入ください。
・選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。
・質問によっては、選択肢や○の数、ご回答いただく方が限られているものもあります。その場合は、ことわり書きを参考にしてご記入ください。
・「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（　）内にご記入ください。

なお、ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、**１２月１０日（水）**までに、お近くのポストへご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

注）ご本人以外の方が記入される場合、ご本人の意向を尊重してください。

○この調査の記入者はどなたですか。［１つに○］

１　本人　　２　本人の配偶者　　３　本人の子
４　本人の子の配偶者　　５　その他（　　）

ご本人（あなた）のことについて伺います。

問１　ご本人の性別、年齢、お住まいの地域等について伺います。

（１）性別は。［１つに○］

１　男性　　２　女性

（２）年齢は。（令和７年１０月１日現在）［１つに○］

１　40～64 歳　　２　65～74 歳　　３　75 歳以上

（３）お住まいの地域はどこですか。［１つに○］

１　加須地域①（加須、大桑、水深地区）　　２　加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
３　加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）　　４　騎西地域
５　北川辺地域　　６　大利根地域

（４）現在、ご本人はどちらで生活されていますか。［１つに○］

１　自宅　　２　病院（または施設）に入院（入所）中
３　市内の親族等の家に転居　　４　その他（　　）

（５）現在、認定されている要介護度は。（要介護度は介護保険証に記載されています。）［１つに○］

１　要支援１　　２　要支援２　　３　要介護１
４　要介護２　　５　要介護３　　６　要介護４
７　要介護５

※令和７年１０月１日現在、要介護度の変更申請を行っている等の理由で、要介護度が確定していない場合は、直近の要介護度でご回答ください。

問２　介護が必要になった直接のきっかけは何ですか。［１つに○］

１　心臓病　　２　糖尿病　　３　脳卒中などの脳血管疾患
４　高血圧症　　５　腎臓病　　６　肝臓病
７　肺気腫・肺炎などの呼吸器疾患　　８　認知症　　９　高齢による衰弱
10　心の病（うつ症状など）　　11　神経痛、リウマチ　　12　骨折・転倒
13　目、耳、鼻などの病気　　14　その他（　　）

問３　ご本人の日常生活の状態について伺います。［１つに○］

１　日常のことは自分でできる。ひとりで外出できる
２　屋内での生活はひとりでもできる。介助があれば外出できる
３　屋内での生活も介助が必要。ベッド（ふとん）で過ごすことが多い。座ることはできる
４　排せつ、食事、着替えに介助が必要。ベッド（ふとん）から起き上がることが困難。日中もほとんど横になっている

問４　世帯類型についてご回答ください。［１つに○］

１　単身世帯（ひとり暮らし）　→　問４－①へ　　２　夫婦のみ世帯　→　問４－①へ
３　その他

【問４で１または２を選択した方のみ回答】

問４－①　ひんぱんに連絡を取り合うご家族がいますか。［１つに○］

１　世帯を別にする家族が同じ敷地にいる　　２　市内または近くの市町にいる
３　近くにいないが、連絡は取り合う　　４　いない

ご家族等からの介護の状況について伺います。

問５　ご家族やご親族からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。［１つに○］

１　ない
２　家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない　→　問５－①、②へ
３　週に１～２日ある　→　問５－①、②へ
４　週に３～４日ある　→　問５－①、②へ
５　ほぼ毎日ある　→　問５－①、②へ

【問５で２、３、４、５のいずれかを選択した方のみ回答】

問５－①　現在、主な介護者から受けている介護等をお答えください。［あてはまるものすべてに○］

１　日中の排泄　　２　夜間の排泄
３　食事の介助（食べる時）　　４　入浴・洗身
５　身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　　６　衣服の着脱
７　屋内の移乗・移動　　８　外出の付き添い、送迎等
９　服薬　　10　認知症状への対応
11　医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）　　12　食事の準備（調理等）
13　その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）　　14　金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15　その他（　　）　　16　わからない

【問５で２、３、４、５のいずれかを選択した方のみ回答】

問５－②　ご家族やご親族の中でご本人の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）［あてはまるものすべてに○］

１　主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
２　主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
３　主な介護者が転職した
４　主な介護者以外の家族・親族が転職した
５　介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
６　わからない

※　自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

日常生活の状況について伺います。

問６　あなたの外出頻度をお答えください。［１つに○］

１　ほとんど毎日　　２　週に３回以上　　３　週に１～２回程度
４　２週に１回程度　　５　月に１回程度　　６　年に数回　　７　まったくない

問７　外出する場合、何で移動することが多いですか。［１つに○］

１　徒歩　　２　自転車　　３　バイク
４　自動車（自分で運転）　　５　自動車（乗せてもらう）　　６　タクシー
７　路線バス　　８　市のデマンド型乗合タクシー等　　９　その他（　　）

問８　あなたは、悩みや心配ごとがありますか。［３つまで○］

１　健康について不安を抱えている　　２　収入が少なく、経済的に不安
３　友人がいない　　４　生きがいがない
５　家族との関係がうまくいかない　　６　身のまわりの世話をしてくれる人がいない
７　その他（　　）　８　特にない

問９　悩みや心配ごとの相談相手はどなたですか。［３つまで○］

１　同居の家族　　２　別居の子ども、親族など
３　隣近所の人　　４　友人・知人
５　保健師、ホームヘルパーなど　　６　高齢者相談センター等の職員
７　病院・医院の医師・看護師など　　８　ボランティア
９　民生委員　　10　市役所の職員
11　その他（　　）　12　誰もいない

介護保険サービスについて伺います。

問１０　現在、あなたが「①利用しているサービス」は何ですか。また、サービスを利用しているに○印をした場合、「②サービスの量（回数）」、「③サービスの質（内容）」にも○印をつけてください。
※16・17ページの別紙「介護保険サービスの内容」をご覧いただきご回答ください。

（ア）～（ナ）のそれぞれについて回答してください。	利用しているサービス			サービスの量（回数）			サービスの質（内容）			
	1	2		1	2	3	1	2	3	4
	利用していない	利用している		適当	やや足りない	足りない	適当	ほぼ適当	やや不満	不満
記入例	**1**	**②**		**1**	**②**	**3**	**1**	**2**	**③**	**4**
（ア）元気あっぷ訪問サービス	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（イ）元気あっぷ通所サービス	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（ウ）訪問介護『ホームヘルパー』	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（エ）訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（オ）訪問看護　（介護予防訪問看護）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（カ）訪問リハビリテーション（介護予防訪問リハビリテーション）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（キ）通所介護『デイサービス』	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（ク）通所リハビリテーション『デイケア』（介護予防通所リハビリテーション）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（ケ）短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（コ）短期入所療養介護『ショートステイ』（介護予防短期入所療養介護）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（サ）居宅療養管理指導（介護予防居宅療養管理指導）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（シ）特定施設入居者生活介護（介護予防特定施設入居者生活介護）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（ス）福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（セ）特定福祉用具の購入費の支給（特定介護予防福祉用具の購入費）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（ソ）住宅改修費の支給	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（タ）定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（チ）地域密着型通所介護（小規模のデイサービス）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（ツ）認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（テ）小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（ト）認知症対応型共同生活介護『グループホーム』	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4
（ナ）地域密着型特定施設入居者生活介護『ケアハウス』	1	2	→	1	2	3	1	2	3	4

問１１　できることならば、今よりも多くの介護サービス（介護予防サービス）を利用したいと思いますか。［１つに○］

1　はい　→　問 11－①へ　　2　いいえ　　3　どちらともいえない

【問１１で１を選択した方のみ回答】

問１１－①　現在、多くのサービスを使えない理由は何ですか。［２つまで○］

1　要介護度で決められた回数を超えてしまう
2　現在の要介護度では利用できない
3　使いたいサービスが地域にない、少ない　→　問 11－②へ
4　使いたいサービスの曜日や時間帯があわない　→　問 11－②へ
5　利用料金が負担となっている
6　サービスの質や内容が不満
7　その他（　　）

【問１１－①で３または４を選択した方のみ回答】

問１１－②　具体的には、どのようなサービスですか。

問１２　今後、利用したい介護保険サービスは何ですか。（現在、利用しているサービスも含めてご回答ください。）［あてはまるものすべてに○］
※16・17 ページの別紙「介護保険サービスの内容」をご覧いただきご回答ください。

1　元気あっぷ訪問サービス
2　元気あっぷ通所サービス
3　訪問介護『ホームヘルパー』
4　訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）
5　訪問看護（介護予防訪問看護）
6　訪問リハビリテーション（介護予防訪問リハビリテーション）
7　通所介護『デイサービス』
8　通所リハビリテーション『デイケア』（介護予防通所リハビリテーション）
9　短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）
10　短期入所療養介護『ショートステイ』（介護予防短期入所療養介護）
11　居宅療養管理指導（介護予防居宅療養管理指導）
12　特定施設入居者生活介護（介護予防特定施設入居者生活介護）
13　福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）
14　特定福祉用具の購入費の支給（特定介護予防福祉用具の購入費）
15　住宅改修費の支給
16　夜間対応型訪問介護
17　定期巡回・随時対応型訪問介護看護
18　地域密着型通所介護
19　認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）
20　小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）
21　認知症対応型共同生活介護『グループホーム』（介護予防認知症対応型共同生活介護）
22　看護小規模多機能型居宅介護
23　地域密着型特定施設入居者生活介護
24　地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
25　介護保険施設『介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院』

問１３　居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）をどのように選びましたか。［１つに○］

1　市から提供された情報にもとづいて選んだ
2　かかりつけの医師（医療機関）に相談して選んだ
3　知人にすすめられて選んだ
4　いくつかの事業所から話を聞いたり、見たりして選んだ
5　インターネットやパンフレットなど施設の案内を見て選んだ
6　その他（　　）
7　わからない

問１４　あなたの担当ケアマネジャーの対応に満足していますか。［１つに○］

1　大変満足している　　2　まあ満足している　　3　普通である
4　あまり満足していない　5　満足していない　　6　わからない

問１５　あなたが利用している介護保険サービス全般について、どのように評価されますか。［１つに○］

1　満足　　2　ほぼ満足　　3　やや不満　→問 15－①へ　　4　不満　→問 15－①へ

【問１５で３または４を選択した方のみ回答】

問１５－①　「やや不満」「不満」とした理由は。［１つに○］

1　希望する回数が利用できない
2　希望する日時に利用できない
3　事業者の説明が不十分
4　事業者が要望を聞いてくれない
5　約束どおりにサービスが提供されない
6　介護サービスのレベルが低い
7　言葉づかいや対応が悪い
8　自己負担が重い
9　その他（　　）

問１６　介護保険サービスを利用した場合に支払う利用料（自己負担分）についてどのようにお考えですか。［1つに○］

1　充実したサービスを受けるため、利用料が増えるのはやむを得ない
2　サービスを受けるため、負担能力に応じた利用料の支払いはやむを得ない
3　サービスの量などは少なくてもよいので、利用料はできるだけ少ないほうがよい
4　わからない

問１７　あなたは、介護保険サービスを利用したことで、身体の状態や生活が改善されましたか。
［項目ごとに（全ての項目で）１つずつ○］

（ア）～（オ）のそれぞれについて回答してください。	1 良くなった	2 やや良くなった	3 変わらない	4 やや悪くなった	5 悪くなった
（ア）健康または病気の状態	1	2	3	4	5
（イ）生活の張りあい	1	2	3	4	5
（ウ）家族との関係	1	2	3	4	5
（エ）出入口やトイレ、風呂などの住宅環境	1	2	3	4	5
（オ）生活の質、日常生活全般	1	2	3	4	5

問１８　介護保険サービスを利用した後、要介護度は変化しましたか。［１つに○］

1　要介護度が軽くなった　　2　要介護度は変わらない
3　要介護度が重くなった　　4　わからない

問１９　あなたは、介護保険サービスにどのようなことを期待しますか。もっとも期待の高いものを選んでください。［１つに○］

1　介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること
2　介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること
3　介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること
4　介護が必要になっても、共同住宅など在宅に近い状態で暮らせるサービスが充実していること
5　介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること
6　その他（　　）

問２０　今後、あなたはどのような生活を望んでいますか。［１つに○］

1　自宅で、家族が中心になって介護してほしい　→　問 20－①へ
2　自宅で、在宅サービスなどを活用して介護してほしい　→　問 20－①へ
3　できれば施設に入所したい　→　問 20－②、③へ
4　その他（　　）

【問２０で１または２を選択した方のみ回答】

問２０－①　住み慣れた自宅などで生活するためには、どのような条件が整うことが必要だと思いますか。［あてはまるものすべてに○］

1　介護に適した住まい（玄関・居室・トイレ・風呂などの段差の解消）
2　家族がいない時も、付き添いの介護人が来てくれるサービス
3　家族以外で、24 時間の見守りや介護が充実した体制
4　家族の意欲と、介護の技術・知識の向上
5　ひとり暮らしでも、安心できる介護サービス体制
6　介護専門スタッフが常駐している高齢者の共同住宅
7　本人の自立に向けた意欲の向上
8　その他（　　）
9　わからない

【問２０で３を選択した方のみ回答】

問２０－②　それは、どの施設ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）　2　介護老人保健施設
3　グループホーム　　4　有料老人ホーム、ケアハウス
5　その他（　　）

【問２０で３を選択した方のみ回答】

問２０－③　現時点での施設への入所・入居の検討状況についてご回答ください。［１つに○］

1　入所・入居は検討していない　　2　入所・入居を検討している
3　すでに入所・入居の申し込みをしている

※「施設」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

保健・福祉サービスについて伺います。

問２１　現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてご回答ください。
［あてはまるものすべてに○］

1　配食　2　調理　3　掃除、洗濯
4　買い物（宅配を除く）　5　ゴミ出し　6　外出同行（通院、買い物など）
7　移送サービス（介護・福祉タクシー等）　8　見守り、声かけ
9　サロンなどの定期的な通いの場　10　その他（　　）
11　利用していない

問２２　現在、訪問診療（定期的・計画的に医師が訪問して行う診療）を利用していますか。［１つに○］

1　利用している　2　利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問２３　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらに充実が必要と感じるものを含む）についてご回答ください。［あてはまるものすべてに○］

1　配食　2　調理　3　掃除、洗濯
4　買い物（宅配を除く）　5　ゴミ出し　6　外出同行（通院、買い物など）
7　移送サービス（介護・福祉タクシー等）　8　見守り、声かけ
9　サロンなどの定期的な通いの場　10　その他（　　）
11　特になし

問２４　あなたは、加須市の保健・福祉サービス全般についてどのように感じますか。［１つに○］

1　満足している　2　まあ満足している
3　どちらともいえない　4　やや不満である
5　不満である

問２５　人生の最終段階における医療や介護などについて、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。［１つに○］

1　ある→ 問 25－①、②へ　2　ない

【問２５で「１　ある」を選択した方のみ回答】
問２５－①　誰と話し合いましたか。［あてはまるものすべてに○］

1　家族・親族　2　主治医　3　看護師
4　介護関係者　5　その他（　　）

【問２５で「１　ある」を選択した方のみ回答】
問２５－②　話し合った結果、具体的な準備に取りかかったものはありますか。
［あてはまるものすべてに○］

1　遺言・エンディングノート　2　保険・遺産・相続など
3　葬儀や墓の準備　4　延命措置について
5　その他（　　）

問２６　あなたは、終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業を知っていますか。
［１つに○］

1　知っている→ 問 26－①へ　2　知らない

※「エンディングプラン・サポート事業」とは、頼れる身寄りがなく、自身の葬儀や納骨などに不安のある高齢者に対し、安心してこれらの生前契約を締結できるようにお手伝いするとともに、定期的な安否確認を行う事業です。

【問２６で「１　知っている」を選択した方のみ回答】
問２６－①　あなたは、今後、エンディングプラン・サポート事業を利用したいですか。
［１つに○］

1　利用したい　2　利用したくない→ 問 26－②へ

【問２６－①で「２　利用したくない」を選択した方のみ回答】
問２６－②　エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由は何ですか。
［あてはまるものすべてに○］

1　生前契約を締結した葬祭業者が倒産や廃業した場合が心配
2　預託金の支払いなど費用の負担が心配
3　葬祭業者とのトラブルが怖い
4　死後の遺品整理や財産処分に関する事項が含まれていない
5　その他（　　）

問２７　あなたは、終活支援のひとつである終活情報登録支援事業を知っていますか。［１つに○］

1　知っている→ 問 27－①へ　2　知らない

※「終活情報登録支援事業」とは、自身が意思表示できなくなったときや亡くなったときに備え、緊急連絡先、かかりつけ医、資産に関することなどについて、あらかじめ市へ登録しておき、もしものときには、警察、消防、医療機関、福祉事務所及び緊急連絡先等からの照会に対し、ご本人に代わり市から速やかに回答できる体制を整備するための事業です。

【問２７で「１　知っている」を選択した方のみ回答】
問２７－①　あなたは、終活情報登録支援事業を利用したいですか。［１つに○］

1　利用したい　2　利用したくない→ 問 27－②へ

【問２７－①で「２　利用したくない」を選択した方のみ回答】
問２７－②　終活情報登録支援事業を利用したくないと考える理由は何ですか。
［あてはまるものすべてに○］

1　個人情報の流出が心配
2　他人に財産状況や生活状況を知られたくない
3　家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない
4　今はまだ元気なので、将来のことは心配していない
5　その他（　　）

問２８　あなたは、成年後見制度を知っていますか。［１つに○］

1　知っている→ 問 28－①へ　2　知らない

【問２８で「１　知っている」を選択した方のみ回答】
問２８－①　今後、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか。［１つに○］

1　利用したい　2　利用したくない→ 問 28―②へ

【問２８－①で「２　利用したくない」を選択した方のみ回答】
問２８－②　成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　手続が難しそう
2　申立費用・報酬費用等の負担が心配
3　後見人等に金銭管理等を任せることが心配
4　他人に財産状況や生活状況を知られたくない
5　家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい
6　誰に相談すればよいかが分からない
7　後見人に誰が選任されるかわからないため不安
8　その他（　　）

加須市への定住意向について伺います。

問２９　あなたは、これからも加須市に住み続けたいと思いますか。［１つに○］

1　ずっと住み続けたい　2　当分は住み続けたい
3　どちらともいえない　4　どちらかというと市外に移りたい
5　すぐにでも市外に移りたい

ここからは、主な介護者の方またはご本人に伺います。

問３０　主な介護者の方の性別、年齢について伺います。
（１）性別は。［１つに○］

1　男性　2　女性

（２）年齢は。（令和７年１０月１日現在）［１つに○］

1　20 歳未満　2　20 代　3　30 代　4　40 代　5　50 代
6　60 代　7　70 代　8　80 歳以上　9　わからない

（３）主な介護者の方は。（高齢者ご本人から見た関係でお答えください）［１つに○］

1　配偶者　2　子　3　子の配偶者
4　孫　5　兄弟・姉妹　6　その他

問３１　主な介護者の方の健康状態はいかがですか。［１つに○］

1　健康　2　どちらかといえば健康　3　ふつう
4　どちらかといえば健康ではない　5　健康でない

問３２　主な介護者の方の現在の勤務形態について伺います。［１つに○］

1　フルタイムで働いている　→ 問 32－①、②、③へ
2　パートタイムで働いている　→ 問 32－①、②、③へ
3　働いていない
4　主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当し、いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問３２で１または２を選択した方のみ回答】
問３２－①　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
［あてはまるものすべてに○］

1　特に行っていない
2　介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3　介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4　介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5　介護のために、２～４以外の調整をしながら、働いている
6　主な介護者に確認しないと、わからない

【問３２で１または２を選択した方のみ回答】
問３２－②　主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。［３つまで○］

1　自営業・フリーランス等のため、勤め先はない　2　介護休業・介護休暇等の制度の充実
3　制度を利用しやすい職場づくり　4　労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5　働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）　6　仕事と介護の両立に関する情報の提供
7　介護に関する相談窓口・相談担当者の設置　8　介護をしている従業員への経済的な支援
9　その他（　　）　10　特にない
11　主な介護者に確認しないと、わからない

【問３２で１または２を選択した方のみ回答】
問３２－③　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。［１つに○］

1　問題なく、続けていける　2　問題はあるが、何とか続けていける
3　続けていくのは、やや難しい　4　続けていくのは、かなり難しい
5　主な介護者に確認しないと、わからない

問３３　主な介護者の方が、介護する上での困りごとがありますか。［あてはまるものすべてに○］

1　特にない　2　介護の技術や方法がわからない
3　本人がサービスを受けたがらない　4　家族や近隣の理解が足りない
5　身体的な負担が大きい　6　精神的な負担が大きい
7　本人の要求が多い　8　その他（　　）

問３４　いざという時に、あなたに代わって介護をしてくれる家族、親族が身近にいますか。［１つに○］

1　夫または妻がいる　2　同居の親族がいる
3　別居の親族がいる　4　いない

問３５　現在の生活を継続していく上で、主な介護者の方が不安に感じる介護について、ご回答ください。（現在行っているか否かは問いません）。［３つまで○］

《身体介護》
1　日中の排泄　　2　夜間の排泄
3　食事の介助（食べる時）　　4　入浴・洗身
5　身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　　6　衣服の着脱
7　屋内の移乗・移動　　8　外出の付き添い、送迎等
9　服薬　　10　認知症状への対応
11　医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

《生活援助》
12　食事の準備（調理等）　　13　その他の家事（掃除、洗濯、買い物　等）
14　金銭管理や生活面に必要な諸手続き

《その他》
15　その他（　　）　16　不安に感じていることは、特にない
17　主な介護者に確認しないと、わからない

問３６　主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。［あてはまるものすべてに○］

1　家族・親族　　2　友人・知人
3　近所の人、ボランティアの人等　　4　介護が必要な本人
5　ケアマネジャー　　6　高齢者相談センター
7　市町村　　8　保健所
9　介護サービス事業者　　10　医師
11　病院の相談員　　12　民生委員
13　勤務先　　14　その他（　　）
15　誰にも相談していない　　16　わからない

問３７　今後、介護保険施設等への入所を考えていますか。［1つに○］

1　すぐに入所したいと考えている　→　問 37－①へ
2　自宅での介護を考えている　→　問 37－②へ
3　その他（　　）

【問３７で１を選択した方のみ回答】
問３７－①　すぐにでも入所したいと考えている理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　本人がひとり暮らし（又はそれに近い状況）で介護できる人がいない
2　介護者の負担が重すぎる
3　在宅サービスを受けているが不十分である
4　病院などを退院・退所する期限が迫っている
5　その他（　　）

【問３７で２を選択した方のみ回答】
問３７－②　自宅での介護を考えている理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　施設に入所するほどではない（居宅サービスのみで十分）
2　自宅にいてほしい
3　施設に入所させることは経済的に困難
4　施設に入所させたいが、入れない（待機者が多い）
5　その他（　　）

問３８　現在、施設系サービスの申し込みをしていますか。［１つに○］

1　申し込みをしている　→（　　か所）　→　問 38－①、②へ
2　していない

【問３８で１を選択した方のみ回答】
問３８－①　それは、どの施設ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）　　2　介護老人保健施設
3　グループホーム　　4　有料老人ホーム、ケアハウス
5　その他（　　）

【問３８で１を選択した方のみ回答】
問３８－②　あなたが上記の施設を選ぶ際に、重視したことは何ですか。［２つまで○］

1　施設の種類や内容　　2　高齢者本人の意向
3　早く入所（入院）できること　　4　身近な地域にあること
5　評判がよいこと　　6　ケアマネジャー等のすすめに従った
7　その他（　　）

最後に、市へご意見、ご要望、ご提案などがございましたら、お聞かせください。

多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。記入もれがないか、お確かめいただき、**１２月１０日（水）**までに同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。また、ご相談・ご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。
（個人情報保護の観点から、この調査票や返信用封筒へのお名前や住所の記入はお控えください。）

お問い合わせ先：加須市役所　福祉部　高齢介護課
電　話：０４８０－６２－１１１１（内線：１３４）
ＦＡＸ：０４８０－６１－４２８１
e-mail：korei@city.kazo.lg.jp

別紙「介護保険サービスの内容」

サービスの種類	サービスの内容
元気あっぷ訪問サービス	要支援認定を受けている方または生活に関するアンケート（基本チェックリスト）により介護予防の必要性が高いと認められた方を対象に、ホームヘルパーが家庭を訪問して、生活機能の維持向上のための身体介護（入浴時の見守り）や生活援助（掃除、洗濯の支援など）を行います。
元気あっぷ通所サービス	要支援認定を受けている方または生活に関するアンケート（基本チェックリスト）により介護予防の必要性が高いと認められた方を対象に、デイサービスセンターなどにおいて、日帰りで入浴や食事の提供、生活機能の維持向上のための体操や筋力トレーニングなどを行います。
訪問介護 『ホームヘルパー』	要介護１から５までの認定を受けている方を対象に、ホームヘルパーが家庭を訪問して、入浴や食事などの介護、その他日常生活上の援助をします。
訪問入浴介護	家庭を訪問して、浴槽を提供し、入浴サービスをします。
訪問看護	主治医の指示に基づき、看護師などが家庭を訪問して、療養上の世話や診療の補助をします。
訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士などが家庭を訪問して、心身の機能回復訓練をします。
通所介護 『デイサービス』	要介護１から５までの認定を受けている方を対象に、デイサービスセンターなどにおいて、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを行います。
通所リハビリテーション 『デイケア』	介護老人保健施設や医療機関などにおいて、日帰りで理学療法、作業療法などの心身の維持回復訓練を行います。
短期入所生活介護 『ショートステイ』	家庭などの都合で介護を受けることが一時的に困難な場合に、特別養護老人ホームなどに短期間入所して、食事、入浴などの介護や機能訓練を行います。
短期入所療養介護 『ショートステイ』	介護老人保健施設などに短期間入所して、看護、医学的管理のもとでの介護や機能訓練などを行います。
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが家庭を訪問し、療養上の管理・指導をします。
特定施設入居者生活介護 『ケアハウス、有料老人ホーム』	有料老人ホームなどに入居している要介護者に、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供するサービスです。
福祉用具貸与	車いす、特殊寝台、床ずれ防止用具（エアーマットなど）などを貸し出しします。
特定福祉用具の購入費の支給	貸し出しになじまない腰掛便座、入浴用いすなどの購入費の一部を支給します。
住宅改修費の支給	手すりの取付け、段差解消など小規模な住宅改修費の一部を支給します。
夜間対応型訪問介護	自宅にいる場合でも、２４時間安心して生活できるように、夜間において、定期的な巡回や緊急時における訪問介護を行います。（要支援の人は利用できません。）
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	自宅で自立した生活が送れるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、２４時間３６５日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。（要支援の人は利用できません。）
地域密着型通所介護	定員１８人以下の小規模な通所介護施設において、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを行います。（要支援の人は利用できません。）
認知症対応型通所介護	認知症の状態にある要介護者が、可能な限り居宅で自立した生活を送ることができるよう、デイサービスセンターにおいて、日帰りで食事、入浴などの介護や支援、機能訓練などを行います。
小規模多機能型居宅介護	利用者の心身の状況や環境等に応じて、「通い」のサービスを中心にしながら、随時「訪問」や短期間の「泊まり」を組み合わせ、食事、入浴などの介護や支援が受けられます。
認知症対応型共同生活介護 『グループホーム』	比較的安定した認知症の状態にある要介護者が、共同生活を行うグループホームで、食事、入浴などの介護や日常生活上の世話、機能訓練が受けられます。

サービスの種類	サービスの内容
看護小規模多機能型居宅介護	利用者の心身の状況や環境等に応じて、「通い」のサービスを中心にしながら、随時「訪問」や短期間の「泊まり」を組み合わせ、さらに、看護師による「訪問（看護）」も組み合わせることで、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けられます。（要支援の人は利用できません。）
地域密着型特定施設入居者生活介護	定員２９人以下の小規模な有料老人ホームなどに入居している要介護者に、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供するサービスです。（要支援の人は利用できません。）
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	定員２９人以下の小規模な介護老人福祉施設において、入浴、排せつ、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。（原則として要介護３以上の人の利用に限ります。）
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	常時介護が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。（原則として要介護３以上の人の利用に限ります。）
介護老人保健施設 （老人保健施設）	病状が安定していても、機能訓練や看護、介護が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、看護や医療サービスが受けられます。（要支援の人は利用できません。）
介護医療院	主に長期間にわたり療養が必要な要介護者が入院して、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、機能訓練、その他必要な医療などが受けられます。（要支援の人は利用できません。）

加須市高齢者生活実態調査の実施について

―アンケート調査へのご協力のお願い―

日ごろから、市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、高齢化が進展する中で、高齢者が住み慣れた地域で自身が望む生活を続けることができるようにするため、介護予防や自立支援、地域ケアへの取組がますます重視されています。

こうした中、市では、３年を１期とする加須市高齢者支援計画の見直しにあたり、市民の皆様の生活状況や健康状態、介護保険制度・高齢者施策に対する考え方やニーズを把握することを目的に、要介護認定を受けていて、施設サービスを利用されている方を対象にアンケート調査を行わせていただくこととしました。

誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはございません。

令和７年１１月

加須市長　角　田　守　良

【 本調査の留意事項について 】

１　調査の対象者

令和７年10月１日現在で要介護認定を受け、施設サービスを利用している方の中から無作為で抽出した方です。

２　プライバシーの保護について

この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。

３　ご記入にあたってのお願い

・質問には、できるだけあて名のご本人がご回答ください。なお、ご本人による調査の回答（記入）が困難な場合は、ご家族の方や施設担当者等がご本人に代わってご記入ください。
・選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。
・質問によっては、選択肢や○の数が限られているものもあります。
その場合は、ことわり書きを参考にしてご記入ください。
・「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（　）内にご記入ください。

なお、ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、**１２月１７日（水）**までに、お近くのポストへご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

注）ご本人以外の方が記入される場合、ご本人の意向を尊重してください。

Ｆ１　この調査の記入者はどなたですか。［１つに○］

１　本人　　２　本人の配偶者　　３　本人の子
４　本人の子の配偶者　　５　施設担当者　　６　その他（　　）

Ｆ２　現在の入所施設の種類は。［１つに○］

１　介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
２　介護老人保健施設
３　介護医療院

Ｆ３　現在の施設に入所されて、どのくらいですか。［１つに○］

１　１年未満　　２　１年～２年未満　　３　２年～３年未満
４　３年～４年未満　　５　４年～５年未満　　６　５年以上

Ｆ４　入所を申し込んでから、実際入所できるまでどのくらい待ちましたか。［１つに○］

１　１か月未満　　２　１か月～３か月未満　　３　３か月～半年未満
４　半年～１年未満　　５　１年～２年未満　　６　２年以上

Ｆ５　入所に当たって、複数の施設に申し込みましたか。［１つに○］

１　申し込んだ　→　Ｆ５－①へ　　２　申し込まなかった

【上記で「１　申し込んだ」を選択した方のみ回答】

Ｆ５―①　それはなぜですか。［１つに○］

１　場所にこだわらず、すぐに入所したかった
２　１か所のみだとなかなか順番が回ってこないと思った
３　その他（　　）

ご本人（あなた）について伺います。

問１　ご本人の性別、年齢等について伺います。

（１）性別は。［１つに○］

１　男性　　２　女性

（２）年齢は。（令和７年１０月１日現在）［１つに○］

１　40～64 歳　　２　65～74 歳　　３　75 歳以上

（３）現在、認定されている要介護度は。（要介護度は介護保険証に記載されています。）［１つに○］

１　要介護１　　２　要介護２　　３　要介護３
４　要介護４　　５　要介護５

※令和７年１０月１日現在、要介護度の変更申請を行っている等の理由で、要介護度が確定していない場合は、直近の要介護認定で確定された要介護度でご回答ください。

問２　入所前のご家族の状況について伺います。［１つに○］

１　ひとり暮らし（単身世帯）
２　世帯全員が 65 歳以上の世帯（65 歳以上の夫婦のみの方は「３」に○）
３　夫婦のみ
４　家族（子ども、孫など）と同居
５　その他（　　）

施設を選んだ理由について伺います。

問３　主に、どのような理由で入所されましたか。［３つまで○］

１　本人の希望　　２　症状が進み家族では介護が困難
３　家族の体力・気力の限界　　４　リハビリが必要
５　在宅サービスと施設の費用負担があまり変わらない　　６　家族よりプロによる介護がよい
７　住まいが在宅生活に適していない　　８　家族との関係
９　介護者がいない　　10　その他（　　）

問４　現在、入所している施設は、どのように選びましたか。［１つに○］

１　どちらかというと本人が選んだ　　２　どちらかというと家族が選んだ
３　どちらかというとケアマネジャーが選んだ　　４　ケアマネジャーと相談して選んだ
５　本人と家族が相談して選んだ　　６　その他（　　）

問５　施設を選んだ時に、特に重視したことは何ですか。［３つまで○］

１　自宅からの距離　　２　知人が利用している、または知人にすすめられた
３　施設の評判　　４　ケアマネジャーの説明
５　施設の設備やサービス　　６　入所にかかる費用
７　早く入所できた（待機期間が短い等）　　８　その他（　　）

入所する前の居宅サービスの利用状況について伺います。

問６　現在の施設に入所する以前、介護保険による「居宅介護サービス」を利用していましたか。［１つに○］

１　利用していた　→　問６－①へ　　２　利用していなかった

【問６で「１　利用していた」を選択した方のみ回答】

問６－①　居宅介護サービスを利用しながら、在宅での生活が続けられなかった主な理由は何ですか。［２つまで○］

１　要介護状態が進行してしまった
２　家族の介護負担が軽減されなかった
３　家族の体力・気力が限界だった
４　家族よりプロによる介護がよかった
５　住まいが在宅生活に適していなかった
６　家族が望まなかった
７　介護できる人がいなかった
８　その他（　　）

問７　十分な「居宅サービス」を利用していれば、在宅での生活が続けられたと思いますか。［１つに○］

１　居宅サービスを十分利用できれば、在宅で生活できたと思う
２　いずれにしても、在宅での生活は困難だったと思う
３　わからない

施設サービスの利用状況について伺います。

問８　介護が必要な状態を改善するための機能訓練などを受けていますか。［１つに○］

１　訓練を受けている
２　機会はあるが希望していない
３　訓練を受ける機会がない
４　わからない

問９　施設でのサービスは、要介護状態の改善に役立っていると思いますか。［１つに○］

１　役立っている　　２　決して十分ではない
３　わからない

問１０　施設で過ごすようになってから、日常生活はかわりましたか。

（１）生活習慣について［１つに○］

１　規則正しくなった　　２　変わらない　　３　不規則になった　　４　わからない

（２）生活のハリについて［１つに○］

１　ハリが出た　　２　変わらない　　３　ハリがなくなった　　４　わからない

（３）本人の気持ちについて［１つに○］

１　前向きになった　　２　変わらない　　３　ふさぎこみがち　　４　わからない

（４）服装・身だしなみについて［１つに○］

１　気にするようになった　２　変わらない　３　構わなくなった　　４　わからない

問１１　介護保険サービスを利用した後、要介護度は変化しましたか。［１つに○］

１　要介護度が軽くなった　　２　要介護度は変わらない
３　要介護度が重くなった　　４　わからない

問１２　現在の施設では１か月の費用（自己負担分）は、どのくらいになりますか。［１つに○］

１　５万円未満　　２　５万円～７万５千円未満
３　７万５千円～１０万円未満　　４　１０万円以上

問１３　現在支払っている施設利用料（自己負担分）について、どのようにお考えですか。［１つに○］

１　充実したサービスを受けるため、利用料が増えるのはやむを得ない
２　サービスを受けるため、負担能力に応じた利用料の支払いはやむを得ない
３　サービスの量などは少なくてもよいので、利用料はできるだけ少ないほうがよい
４　わからない

問１４　現在、入所している施設について、サービスの満足度はいかがですか。［項目ごと１つずつ○］

（ア）～（カ）のそれぞれについて回答してください。	1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
（ア）食事について（食事時間やメニューなど）	1	2	3	4	5
（イ）建物、設備、居室空間について	1	2	3	4	5
（ウ）プライバシーの配慮について	1	2	3	4	5
（エ）日頃の介護、職員の接し方について	1	2	3	4	5
（オ）リハビリや生活訓練について	1	2	3	4	5
（カ）娯楽、レクリエーションについて	1	2	3	4	5

問１５　現在、入所している施設サービス全般について、満足度はいかがですか。［１つに○］

1　満足　　2　ほぼ満足　　3　やや不満　　4　不満

問１６　現在の施設で生活する上で、改善してほしいことはありますか。［３つまで○］

1　食事のメニューをもっと工夫してほしい
2　食事の時間を変えてほしい
3　居室や食堂、リビングの空間を改善してほしい
4　入浴時や排せつ時のプライバシーに配慮してほしい
5　夜間の対応を充実してほしい
6　職員の言葉づかいや対応を改善してほしい
7　娯楽やレクリエーションの活動を充実してほしい
8　気軽に相談できる窓口がほしい
9　その他（　　）
10　特にない

最後に、市へご意見、ご要望、ご提案などがございましたら、お聞かせください。

多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。記入もれがないか、お確かめいただき、**１２月１７日（水）**までに同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。また、ご相談・ご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。

（個人情報保護の観点から、この調査票や返信用封筒へのお名前や住所の記入はお控えください。）

お問い合わせ先：加須市役所　福祉部　高齢介護課
電　話：０４８０－６２－１１１１（内線：１３４）
ＦＡＸ：０４８０－６１－４２８１
e-mail：korei@city.kazo.lg.jp

加須市高齢者生活実態調査の実施について

―アンケート調査へのご協力のお願い―

日ごろから、市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、高齢化が進展する中で、高齢者が住み慣れた地域で自身が望む生活を続けることができるようにするため、介護予防や自立支援、地域ケアへの取組がますます重視されています。

こうした中、市では、３年を１期とする加須市高齢者支援計画の見直しにあたり、市民の皆様の生活状況や健康状態、介護保険制度・高齢者施策に対する考え方やニーズを把握することを目的に、要介護（要支援）認定を受けていて介護サービスを利用していない方を対象にアンケート調査を行わせていただくこととしました。

誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはございません。

令和７年１１月

加須市長　角　田　守　良

【 本調査の留意事項について 】

１　調査の対象者

令和７年10月１日現在で要介護（要支援）認定を受け、介護サービスを利用していない方

２　個人情報の取扱いについて

調査結果の分析にあたり、あなたの要介護認定結果を使用する場合があります。

このため、本調査票のご返送をもって、あなたの要介護認定の結果を個人が識別できない形で厚生労働省の管理する本市以外のデータベース内に登録し、必要に応じて集計・分析することにご同意いただいたものとみなさせていただきますことをご了承ください。

３　ご記入にあたってのお願い

・質問には、できるだけあて名のご本人がご回答ください。なお、ご本人による調査の回答（記入）が困難な場合は、ご家族の方等がご本人に代わってご記入ください。

・選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。

・質問によっては、選択肢や○の数、ご回答いただく方が限られているものもあります。その場合は、ことわり書きを参考にしてご記入ください。

・「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（　）内にご記入ください。

なお、ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、**１２月１０日(水)**までに、お近くのポストへご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

注）ご本人以外の方が記入される場合、ご本人の意向を尊重してください。

○この調査の記入者はどなたですか。［１つに○］

１　本人　　２　本人の配偶者　　３　本人の子
４　本人の子の配偶者　　５　その他（　　）

ご本人（あなた）のことについて伺います。

問１　ご本人の性別、年齢、お住まいの地域等について伺います。

（１）性別は。［１つに○］

１　男性　　２　女性

（２）年齢は。（令和７年１０月１日現在）［１つに○］

１　40～64 歳　　２　65～74 歳　　３　75 歳以上

（３）お住まいの地域はどこですか。［１つに○］

１　加須地域①（加須、大桑、水深地区）　　２　加須地域②（不動岡、礼羽、志多見地区）
３　加須地域③（三俣、樋遣川、大越地区）　　４　騎西地域
５　北川辺地域　　６　大利根地域

（４）現在、ご本人はどちらで生活されていますか。［１つに○］

１　自宅　　２　病院（または施設）に入院（入所）中
３　市内の親族等の家に転居　　４　その他（　　）

（５）現在、認定されている要介護度は。（要介護度は介護保険証に記載されています。）［１つに○］

１　要支援１　　２　要支援２　　３　要介護１
４　要介護２　　５　要介護３　　６　要介護４
７　要介護５

※令和７年１０月１日現在、要介護度の変更申請を行っている等の理由で、要介護度が確定していない場合は、直近の要介護度でご回答ください。

問２　介護が必要になった直接のきっかけは何ですか。［１つに○］

１　心臓病　　２　糖尿病　　３　脳卒中などの脳血管疾患
４　高血圧症　　５　腎臓病　　６　肝臓病
７　肺気腫・肺炎などの呼吸器疾患　　８　認知症　　９　高齢による衰弱
10　心の病（うつ症状など）　　11　神経痛、リウマチ　　12　骨折・転倒
13　目、耳、鼻などの病気　　14　その他（　　）

問３　ご本人の日常生活の状態について伺います。［１つに○］

１　日常のことは自分でできる。ひとりで外出できる
２　屋内での生活はひとりでもできる。介助があれば外出できる
３　屋内での生活も介助が必要。ベッド（ふとん）で過ごすことが多い。座ることはできる
４　排せつ、食事、着替えに介助が必要。ベッド（ふとん）から起き上がることが困難。日中もほとんど横になっている

問４　世帯類型についてご回答ください。［１つに○］

１　単身世帯（ひとり暮らし）　→　問４－①へ
２　夫婦のみ世帯　→　問４－①へ
３　その他

【問４で１または２を選択した方のみ回答】

問４－①　ひんぱんに連絡を取り合うご家族がいますか。［１つに○］

１　世帯を別にする家族が同じ敷地にいる　　２　市内または近くの市町にいる
３　近くにいないが、連絡は取り合う　　４　いない

ご家族等からの介護の状況について伺います。

問５　ご家族やご親族からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。［１つに○］

１　ない
２　家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない　→　問５－①、②へ
３　週に１～２日ある　→　問５－①、②へ
４　週に３～４日ある　→　問５－①、②へ
５　ほぼ毎日ある　→　問５－①、②へ

【問５で２、３、４、５のいずれかを選択した方のみ回答】

問５－①　現在、主な介護者から受けている介護等をお答えください。［あてはまるものすべてに○］

１　日中の排泄　　２　夜間の排泄
３　食事の介助（食べる時）　　４　入浴・洗身
５　身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　　６　衣服の着脱
７　屋内の移乗・移動　　８　外出の付き添い、送迎等
９　服薬　　10　認知症状への対応
11　医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）　　12　食事の準備（調理等）
13　その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）　　14　金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15　その他（　　）　　16　わからない

【問５で２、３、４、５のいずれかを選択した方のみ回答】

問５－②　ご家族やご親族の中でご本人の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）［あてはまるものすべてに○］

１　主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
２　主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
３　主な介護者が転職した
４　主な介護者以外の家族・親族が転職した
５　介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
６　わからない

※　自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

日常生活の状況について伺います。

問６　あなたの外出頻度をお答えください。［１つに○］

１　ほとんど毎日　　２　週に３回以上　　３　週に１～２回程度
４　２週に１回程度　　５　月に１回程度　　６　年に数回　　７　まったくない

問７　外出する場合、何で移動することが多いですか。［１つに○］

１　徒歩　　２　自転車　　３　バイク
４　自動車（自分で運転）　　５　自動車（乗せてもらう）　　６　タクシー
７　路線バス　　８　市のデマンド型乗合タクシー等　　９　その他（　　）

問８　あなたは、悩みや心配ごとがありますか。［３つまで○］

１　健康について不安を抱えている　　２　収入が少なく、経済的に不安
３　友人がいない　　４　生きがいがない
５　家族との関係がうまくいかない　　６　身のまわりの世話をしてくれる人がいない
７　その他（　　）　８　特にない

問９　悩みや心配ごとの相談相手はどなたですか。［３つまで○］

１　同居の家族　　２　別居の子ども、親族など
３　隣近所の人　　４　友人・知人
５　保健師、ホームヘルパーなど　　６　高齢者相談センター等の職員
７　病院・医院の医師・看護師など　　８　ボランティア
９　民生委員　　10　市役所の職員
11　その他（　　）　12　誰もいない

5：介護サービス未利用者

介護保険サービスについて伺います。

問１０　あなたは、過去に介護保険サービスを利用したことがありますか。ある場合、下表のどれですか。［あてはまるものすべてに○］
※14・15 ページの別紙「介護保険サービスの内容」をご覧いただきご回答ください。

1　元気あっぷ訪問サービス	2　元気あっぷ通所サービス
3　訪問介護『ホームヘルパー』	4　訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）
5　訪問看護（介護予防訪問看護）	6　訪問リハビリテーション（介護予防訪問リハビリテーション）
7　通所介護『デイサービス』	8　通所リハビリテーション『デイケア』（介護予防通所リハビリテーション）
9　短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）	10　短期入所療養介護『ショートステイ』（介護予防短期入所療養介護）
11　居宅療養管理指導（介護予防居宅療養管理指導）	12　特定施設入居者生活介護（介護予防特定施設入居者生活介護）
13　福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）	14　特定福祉用具の購入費の支給（特定介護予防福祉用具の購入費）
15　住宅改修費の支給	16　夜間対応型訪問介護
17　定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18　地域密着型通所介護
19　認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）	20　小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）
21　認知症対応型共同生活介護『ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ』（介護予防認知症対応型共同生活介護）	22　看護小規模多機能型居宅介護
23　地域密着型特定施設入居者生活介護	24　地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
25　介護保険施設『介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院』	

問１１　現在、あなたが介護保険サービスを利用していない主な理由は何ですか。［３つまで○］

1　現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2　本人にサービス利用の希望がない
3　家族が介護をするため必要ない
4　以前、利用していたサービスに不満があった
5　利用料を支払うのが難しい
6　利用したいサービスが利用できない、身近にない
7　住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8　サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
9　その他（　　）

5：介護サービス未利用者

問１２　今後の介護保険サービスの利用希望はいかがですか。［１つに○］

1　今すぐ、介護保険サービスを利用しながら自宅で生活したい　→　問 12－①へ
2　今後、施設サービスを利用したい　→　問 12－①へ
3　状態が今より悪化したら利用したい
4　やむを得ない場合に利用したい
5　介護保険サービスは使わず生活したい
6　その他（　　）

【問１２で１または２を選択した方のみ回答】
問１２－①　今後利用したい介護保険サービスはどれですか。［あてはまるものすべてに○］
※14・15 ページの別紙「介護保険サービスの内容」をご覧いただきご回答ください。

1　元気あっぷ訪問サービス	2　元気あっぷ通所サービス
3　訪問介護『ホームヘルパー』	4　訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）
5　訪問看護（介護予防訪問看護）	6　訪問リハビリテーション（介護予防訪問リハビリテーション）
7　通所介護『デイサービス』	8　通所リハビリテーション『デイケア』（介護予防通所リハビリテーション）
9　短期入所生活介護『ショートステイ』（介護予防短期入所生活介護）	10　短期入所療養介護『ショートステイ』（介護予防短期入所療養介護）
11　居宅療養管理指導（介護予防居宅療養管理指導）	12　特定施設入居者生活介護（介護予防特定施設入居者生活介護）
13　福祉用具貸与（介護予防福祉用具貸与）	14　特定福祉用具の購入費の支給（特定介護予防福祉用具の購入費）
15　住宅改修費の支給	16　夜間対応型訪問介護
17　定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18　地域密着型通所介護
19　認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）	20　小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）
21　認知症対応型共同生活介護『ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ』（介護予防認知症対応型共同生活介護）	22　看護小規模多機能型居宅介護
23　地域密着型特定施設入居者生活介護	24　地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
25　介護保険施設『介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院』	

問１３　あなたは、介護保険サービスにどのようなことを期待しますか。もっとも期待の高いものを選んでください。［１つに○］

1　介護が必要にならないよう、予防を重視するサービスが充実していること
2　介護が必要になっても、状態を改善させるリハビリサービスが充実していること
3　介護が必要になっても、在宅で暮らしていけるサービスが充実していること
4　介護が必要になっても、共同住宅など在宅に近い状態で暮らせるサービスが充実していること
5　介護が必要になったら、老人ホームなど介護保険施設に入所できるサービスが充実していること
6　その他（　　）

5：介護サービス未利用者

保健・福祉サービスについて伺います。

問１４　市の高齢者施策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。［３つまで○］

1　敬老意識の啓発
2　雇用機会の拡充
3　健康づくり対策の推進
4　生涯学習、生涯スポーツ等の振興
5　ボランティア活動に対する支援
6　介護予防事業（転倒予防、閉じこもり予防、脳の認知機能低下予防等）の充実
7　在宅福祉（自宅で暮らし続けることを支える）サービスの充実
8　福祉に関する総合相談体制の充実
9　地域で高齢者を支える仕組み（見守り活動等）に対する支援
10　緊急時、災害時の支援体制の充実
11　認知症など判断能力が低下した場合の支援体制の充実
12　世代間（高齢者と子ども等）交流の場の拡充
13　外出時の移動手段（バス等）の充実
14　公共的施設のバリアフリー化の推進
15　その他（　　）

問１５　あなたは、加須市の保健・福祉サービス全般についてどのように感じますか。［１つに○］

1　満足している	2　まあ満足している
3　どちらともいえない	4　やや不満である
5　不満である	

問１６　人生の最終段階における医療や介護などについて、あなたの希望を身近な人と話し合ったことがありますか。［１つに○］

1　ある→　問 16－①、②へ　　2　ない

【問１６で「１　ある」を選択した方のみ回答】
問１６－①　誰と話し合いましたか。［あてはまるものすべてに○］

1　家族・親族　　2　主治医　　3　看護師
4　介護関係者　　5　その他（　　）

【問１６で「１　ある」を選択した方のみ回答】
問１６－②　話し合った結果、具体的な準備に取りかかったものはありますか。
［あてはまるものすべてに○］

1　遺言・エンディングノート　　2　保険・遺産・相続など
3　葬儀や墓の準備　　4　延命措置について
5　その他（　　）

5：介護サービス未利用者

問１７　あなたは、終活支援のひとつであるエンディングプラン・サポート事業を知っていますか。
［１つに○］

1　知っている→　問 17－①へ　　2　知らない

※「エンディングプラン・サポート事業」とは、頼れる身寄りがなく、自身の葬儀や納骨などに不安のある高齢者に対し、安心してこれらの生前契約を締結できるようにお手伝いするとともに、定期的な安否確認を行う事業です。

【問１７で「１　知っている」を選択した方のみ回答】
問１７－①　あなたは、今後、エンディングプラン・サポート事業を利用したいですか。
［１つに○］

1　利用したい　　2　利用したくない→　問 17－②へ

【問１７－①で「２　利用したくない」を選択した方のみ回答】
問１７－②　エンディングプラン・サポート事業を利用したくないと考える理由は何ですか。
［あてはまるものすべてに○］

1　生前契約を締結した葬祭業者が倒産や廃業した場合が心配
2　預託金の支払いなど費用の負担が心配
3　葬祭業者とのトラブルが怖い
4　死後の遺品整理や財産処分に関する事項が含まれていない
5　その他（　　）

問１８　あなたは、終活支援のひとつである終活情報登録支援事業を知っていますか。［１つに○］

1　知っている→　問 18－①へ　　2　知らない

※「終活情報登録支援事業」とは、自身が意思表示できなくなったときや亡くなったときに備え、緊急連絡先、かかりつけ医、資産に関することなどについて、あらかじめ市へ登録しておき、もしものときには、警察、消防、医療機関、福祉事務所及び緊急連絡先等からの照会に対し、ご本人に代わり市から速やかに回答できる体制を整備するための事業です。

【問１８で「１　知っている」を選択した方のみ回答】
問１８－①　あなたは、終活情報登録支援事業を利用したいですか。［１つに○］

1　利用したい　　2　利用したくない→　問 18－②へ

【問１８－①で「２　利用したくない」を選択した方のみ回答】
問１８－②　終活情報登録支援事業を利用したくないと考える理由は何ですか。
［あてはまるものすべてに○］

1　個人情報の流出が心配
2　他人に財産状況や生活状況を知られたくない
3　家族や友人に依頼しているので、登録しておく必要性を感じない
4　今はまだ元気なので、将来のことは心配していない
5　その他（　　）

問１９　あなたは、成年後見制度を知っていますか。［１つに○］

1　知っている→ 問 19－①へ　　2　知らない

【問１９で「1　知っている」を選択した方のみ回答】

問１９－① 今後、判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか。［１つに○］

1　利用したい　　2　利用したくない→ 問 19－②へ

【問１９－①で「2　利用したくない」を選択した方のみ回答】

問１９－② 成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　手続が難しそう
2　申立費用・報酬費用等の負担が心配
3　後見人等に金銭管理等を任せることが心配
4　他人に財産状況や生活状況を知られたくない
5　家族等が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい
6　誰に相談すればよいかが分からない
7　後見人に誰が選任されるかわからないため不安
8　その他（　　）

加須市への定住意向について伺います。

問２０　あなたは、これからも加須市に住み続けたいと思いますか。［１つに○］

1　ずっと住み続けたい　　2　当分は住み続けたい
3　どちらともいえない　　4　どちらかというと市外に移りたい
5　すぐにでも市外に移りたい

ここからは、主な介護者の方またはご本人に伺います。

問２１　主な介護者の方の性別、年齢について伺います。

（１）性別は。［１つに○］

1　男性　　2　女性

（２）年齢は。（令和７年１０月１日現在）［１つに○］

1　20 歳未満　　2　20 代　　3　30 代　　4　40 代　　5　50 代
6　60 代　　7　70 代　　8　80 歳以上　　9　わからない

（３）主な介護者の方は。（高齢者ご本人から見た関係でお答えください）［１つに○］

1　配偶者　　2　子　　3　子の配偶者
4　孫　　5　兄弟・姉妹　　6　その他

問２２　主な介護者の方の健康状態はいかがですか。［１つに○］

1　健康　　2　どちらかといえば健康　　3　ふつう
4　どちらかといえば健康ではない　　5　健康でない

問２３　主な介護者の方の現在の勤務形態について伺います。　［１つに○］

1　フルタイムで働いている　→ 問 23－①、②、③へ
2　パートタイムで働いている　→ 問 23－①、②、③へ
3　働いていない
4　主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「１週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当し、いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問２３で１または２を選択した方のみ回答】

問２３－①　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。［あてはまるものすべてに○］

1　特に行っていない
2　介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3　介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4　介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5　介護のために、２～４以外の調整をしながら、働いている
6　主な介護者に確認しないと、わからない

【問２３で１または２を選択した方のみ回答】

問２３－②　主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。［３つまで○］

1　自営業・フリーランス等のため、勤め先はない　　2　介護休業・介護休暇等の制度の充実
3　制度を利用しやすい職場づくり　　4　労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5　働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）　　6　仕事と介護の両立に関する情報の提供
7　介護に関する相談窓口・相談担当者の設置　　8　介護をしている従業員への経済的な支援
9　その他（　　）　　10　特にない
11　主な介護者に確認しないと、わからない

【問２３で１または２を選択した方のみ回答】

問２３－③　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。［１つに○］

1　問題なく、続けていける
2　問題はあるが、何とか続けていける
3　続けていくのは、やや難しい
4　続けていくのは、かなり難しい
5　主な介護者に確認しないと、わからない

問２４　主な介護者の方が、介護する上での困りごとがありますか。［あてはまるものすべてに○］

1　特にない　　2　介護の技術や方法がわからない
3　本人がサービスを受けたがらない　　4　家族や近隣の理解が足りない
5　身体的な負担が大きい　　6　精神的な負担が大きい
7　本人の要求が多い　　8　その他（　　）

問２５　いざという時に、あなたに代わって介護をしてくれる家族、親族が身近にいますか。［１つに○］

1　夫または妻がいる　　2　同居の親族がいる
3　別居の親族がいる　　4　いない

問２６　現在の生活を継続していく上で、主な介護者の方が不安に感じる介護について、ご回答ください。（現在行っているか否かは問いません）。［３つまで○］

《身体介護》
1　日中の排泄　　2　夜間の排泄
3　食事の介助（食べる時）　　4　入浴・洗身
5　身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　　6　衣服の着脱
7　屋内の移乗・移動　　8　外出の付き添い、送迎等
9　服薬　　10　認知症状への対応
11　医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

《生活援助》
12　食事の準備（調理等）　　13　その他の家事（掃除、洗濯、買い物　等）
14　金銭管理や生活面に必要な諸手続き

《その他》
15　その他（　　）　　16　不安に感じていることは、特にない
17　主な介護者に確認しないと、わからない

問２７　主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。［あてはまるものすべてに○］

1　家族・親族　　2　友人・知人
3　近所の人、ボランティアの人等　　4　介護が必要な本人
5　ケアマネジャー　　6　高齢者相談センター
7　市町村　　8　保健所
9　介護サービス事業者　　10　医師
11　病院の相談員　　12　民生委員
13　勤務先　　14　その他（　　）
15　誰にも相談していない　　16　わからない

問２８　現時点での施設への入所・入居の検討状況についてご回答ください。［1つに○］

1　入所・入居は検討していない　→ 問 28－①へ
2　入所・入居を検討している　→ 問 28－②へ
3　すでに入所・入居申込みをしている　→ 問 28－③、④へ

※「施設」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

【問２８で１を選択した方のみ回答】

問２８－①　入所・入居を検討していない理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　施設に入所するほどではない（居宅サービスのみで十分）
2　自宅にいてほしい
3　施設に入所させることは経済的に困難
4　施設に入所させたいが、入れない（待機者が多い）
5　その他（　　）

【問２８で２を選択した方のみ回答】

問２８－②　入所・入居を検討している理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　本人がひとり暮らし（又はそれに近い状況）で介護できる人がいない
2　介護者の負担が重すぎる
3　在宅サービスを受けているが不十分である
4　病院などを退院・退所する期限が迫っている
5　その他（　　）

【問２８で３を選択した方のみ回答】

問２８－③　それは、どの施設ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）　　2　介護老人保健施設
3　グループホーム　　4　有料老人ホーム、ケアハウス
5　その他（　　）

【問２８で３を選択した方のみ回答】

問２８－④　あなたが上記の施設を選ぶ際に、重視したことは何ですか。［２つまで○］

1　施設の種類や内容　　2　高齢者本人の意向
3　早く入所（入院）できること　　4　身近な地域にあること
5　評判がよいこと　　6　ケアマネジャー等のすすめに従った
7　その他（　　）

最後に、市へご意見、ご要望、ご提案などがございましたら、お聞かせください。

多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。記入もれがないか、お確かめいただき、**12月10日(水)**までに同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。また、ご相談・ご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。(個人情報保護の観点から、この調査票や返信用封筒へのお名前や住所の記入はお控えください。)

お問い合わせ先：加須市役所　福祉部　高齢介護課
電　話：０４８０－６２－１１１１（内線：１３４）
ＦＡＸ：０４８０－６１－４２８１
e-mail：korei@city.kazo.lg.jp

別紙「介護保険サービスの内容」

サービスの種類	サービスの内容
元気あっぷ訪問サービス	要支援認定を受けている方または生活に関するアンケート（基本チェックリスト）により介護予防の必要性が高いと認められた方を対象に、ホームヘルパーが家庭を訪問して、生活機能の維持向上のための身体介護（入浴時の見守り）や生活援助（掃除、洗濯の支援など）を行います。
元気あっぷ通所サービス	要支援認定を受けている方または生活に関するアンケート（基本チェックリスト）により介護予防の必要性が高いと認められた方を対象に、デイサービスセンターなどにおいて、日帰りで入浴や食事の提供、生活機能の維持向上のための体操や筋力トレーニングなどを行います。
訪問介護 『ホームヘルパー』	要介護１から５までの認定を受けている方を対象に、ホームヘルパーが家庭を訪問して、入浴や食事などの介護、その他日常生活上の援助をします。
訪問入浴介護	家庭を訪問して、浴槽を提供し、入浴サービスをします。
訪問看護	主治医の指示に基づき、看護師などが家庭を訪問して、療養上の世話や診療の補助をします。
訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士などが家庭を訪問して、心身の機能回復訓練をします。
通所介護 『デイサービス』	要介護１から５までの認定を受けている方を対象に、デイサービスセンターなどにおいて、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを行います。
通所リハビリテーション 『デイケア』	介護老人保健施設や医療機関などにおいて、日帰りで理学療法、作業療法などの心身の維持回復訓練を行います。
短期入所生活介護 『ショートステイ』	家庭などの都合で介護を受けることが一時的に困難な場合に、特別養護老人ホームなどに短期間入所して、食事、入浴などの介護や機能訓練を行います。
短期入所療養介護 『ショートステイ』	介護老人保健施設などに短期間入所して、看護、医学的管理のもとでの介護や機能訓練などを行います。
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが家庭を訪問し、療養上の管理・指導をします。
特定施設入居者生活介護 『ケアハウス、有料老人ホーム』	有料老人ホームなどに入居している要介護者に、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供するサービスです。
福祉用具貸与	車いす、特殊寝台、床ずれ防止用具（エアーマットなど）などを貸し出しします。
特定福祉用具の購入費の支給	貸し出しになじまない腰掛便座、入浴用いすなどの購入費の一部を支給します。
住宅改修費の支給	手すりの取付け、段差解消など小規模な住宅改修費の一部を支給します。
夜間対応型訪問介護	自宅にいる場合でも、２４時間安心して生活できるように、夜間において、定期的な巡回や緊急時における訪問介護を行います。(要支援の人は利用できません。)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	自宅で自立した生活が送れるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、２４時間３６５日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。(要支援の人は利用できません。)
地域密着型通所介護	定員１８人以下の小規模な通所介護施設において、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを行います。(要支援の人は利用できません。)
認知症対応型通所介護	認知症の状態にある要介護者が、可能な限り居宅で自立した生活を送ることができるよう、デイサービスセンターにおいて、日帰りで食事、入浴などの介護や支援、機能訓練などを行います。
小規模多機能型居宅介護	利用者の心身の状況や環境等に応じて、「通い」のサービスを中心にしながら、随時「訪問」や短期間の「泊まり」を組み合わせ、食事、入浴などの介護や支援が受けられます。
認知症対応型共同生活介護 『グループホーム』	比較的安定した認知症の状態にある要介護者が、共同生活を行うグループホームで、食事、入浴などの介護や日常生活上の世話、機能訓練が受けられます。

サービスの種類	サービスの内容
看護小規模多機能型居宅介護	利用者の心身の状況や環境等に応じて、「通い」のサービスを中心にしながら、随時「訪問」や短期間の「泊まり」を組み合わせ、さらに、看護師による「訪問（看護）」も組み合わせることで、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けられます。(要支援の人は利用できません。)
地域密着型特定施設入居者生活介護	定員２９人以下の小規模な有料老人ホームなどに入居している要介護者に、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供するサービスです。(要支援の人は利用できません。)
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	定員２９人以下の小規模な介護老人福祉施設において、入浴、排せつ、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。(原則として要介護３以上の人の利用に限ります。)
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	常時介護が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。(原則として要介護３以上の人の利用に限ります。)
介護老人保健施設 （老人保健施設）	病状が安定していても、機能訓練や看護、介護が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、看護や医療サービスが受けられます。(要支援の人は利用できません。)
介護医療院	主に長期間にわたり療養が必要な要介護者が入院して、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、機能訓練、その他必要な医療などが受けられます。(要支援の人は利用できません。)

6：ケアマネジャー

加須市高齢者生活実態調査の実施について

―アンケート調査へのご協力のお願い―

日ごろから、市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、高齢化が進展する中で、高齢者が住み慣れた地域で自身が望む生活を続けることができるようにするため、介護予防や自立支援、地域ケアへの取組がますます重視されています。

こうした中、市では、３年を１期とする加須市高齢者支援計画の見直しにあたり、介護保険制度や高齢者施策に対する考え方やニーズなどを把握することを目的に、ケアマネジャーの方を対象にアンケート調査を行わせていただくこととしました。

誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはございません。

令和７年１１月

加須市長　角　田　守　良

【 本調査の留意事項について 】

１　調査の対象者
加須市内（一部市外を含む。）の居宅介護支援事業所に所属し、加須市民を担当するケアマネジャー

２　プライバシーの保護について
この調査は無記名であり、個人・法人等が特定されることはありません。

３　ご記入にあたってのお願い
・選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。
・質問によっては、選択肢や○の数が限られているものもあります。
　その場合は、ことわり書きを参考にしてご記入ください。
・「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（　）内にご記入ください。
・複数のケアマネジャーが所属している居宅介護支援事業所については、どなたかお一人が代表してご回答ください。

なお、ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、**１２月１０日（水）**までに、お近くのポストへご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

6：ケアマネジャー

ご本人（あなた）のことについて伺います。

問１　あなたが所属する事業所の運営主体を次の中から選んでください。［１つに○］

１　社会福祉法人　　２　医療法人
３　財団法人、社団法人　　４　株式会社、有限会社
５　NPO（特定非営利活動法人）、組合　　６　その他（　　）

問２　あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。［１つに○］

１　20代　　２　30代　　３　40代　　４　50代　　５　60代　　６　70代以上

問３　あなたの勤務形態について次の中から選んでください。［１つに○］

１　常勤　　２　非常勤

問４　あなたはケアマネジャー業務の専任ですか。兼任ですか。［１つに○］

１　専任
２　兼任　→兼任の内訳
　１　医師・歯科医師　　２　薬剤師
　３　看護師　　４　保健師
　５　介護福祉士　　６　社会福祉士
　７　歯科衛生士、理学療法士、作業療法士
　８　その他（　　）

問５　ケアマネジャー業務に従事してどれくらいの経験年数がありますか。前職を含めた合計期間でお答えください。（令和７年１０月１日現在）

１　６か月未満　　２　６か月以上１年未満　　３　１年以上３年未満
４　３年以上５年未満　　５　５年以上

問６　現在の職場の勤務期間をお答えください。（令和７年１０月１日現在）

１　６か月未満　　２　６か月以上１年未満　　３　１年以上３年未満
４　３年以上５年未満　　５　５年以上

業務運営上の課題について伺います。

問７　あなたはケアプランを作成する上での困りごとはありますか。次の中から選んでください。
［あてはまるものすべてに○］

１　支給限度額以上のサービス希望
２　自己負担（１割～３割）が理由で、必要なサービスプランの利用を控える
３　利用者と家族の意向の違い　　４　利用者・家族と自分の意見の違い
５　地域のサービス不足　→　問７－①へ　　６　希望事業者のサービスが提供できない
７　希望時間帯にサービスが提供できない　　８　他事業者の情報不足
９　相談相手がいない　　10　主治医と連携が取れない
11　行政と連携が取れない　　12　必要以上のサービス要求
13　その他（　　）　14　困っていることは特にない

6：ケアマネジャー

【問７で「５　地域のサービス不足」を選択した方のみ回答】

問７－①　不足しているサービスは何だと思いますか。次の中で該当するものに○をつけてください
［あてはまるものすべてに○］

【要介護者サービス】

１　訪問介護　　２　訪問入浴介護
３　訪問看護　　４　訪問リハビリテーション
５　居宅療養管理指導　　６　通所介護
７　通所リハビリテーション　　８　短期入所生活介護
９　短期入所療養介護　　10　特定施設入居者生活介護
11　介護老人福祉施設　　12　介護老人保健施設
13　介護医療院　　14　夜間対応型訪問介護
15　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　　16　地域密着型通所介護
17　認知症対応型通所介護　　18　小規模多機能型居宅介護
19　認知症対応型共同生活介護　　20　看護小規模多機能型居宅介護
21　地域密着型特定施設入居者生活介護　　22　地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
23　福祉用具貸与・購入　　24　住宅改修

【要支援者サービス】

１　元気あっぷ訪問サービス（介護予防・生活支援サービス事業）
２　元気あっぷ通所サービス（介護予防・生活支援サービス事業）
３　介護予防訪問入浴介護　　４　介護予防訪問看護
５　介護予防訪問リハビリテーション　　６　介護予防居宅療養管理指導
７　介護予防通所リハビリテーション　　８　介護予防短期入所生活介護
９　介護予防短期入所療養介護　　10　介護予防特定施設入居者生活介護
11　介護予防認知症対応型通所介護　　12　介護予防小規模多機能型居宅介護
13　介護予防認知症対応型共同生活介護　　14　介護予防福祉用具貸与・購入
15　介護予防住宅改修

問８　介護予防・生活支援サービス事業のうち、特に不足していたり、新たに実施する必要があると思うサービスはありますか。次の中で該当するものに○をつけてください。
［あてはまるものすべてに○］
※９ページの別紙「介護予防・生活支援サービス事業の内容」をご覧いただきご回答ください。

１　訪問サービスＳ（従前の介護予防訪問介護相当）
２　訪問サービスＡ（緩和した基準によるサービス）
３　訪問サービスＢ（住民主体による支援）
４　訪問サービスＣ（短期集中予防サービス）
５　訪問サービスＤ（移動支援）
６　通所サービスＳ（従前の介護予防通所介護相当）
７　通所サービスＡ（緩和した基準によるサービス）
８　通所サービスＢ（住民主体による支援）
９　通所サービスＣ（短期集中予防サービス）

6：ケアマネジャー

問９　あなたが日ごろの業務の中で感じたり、相談を受けたりする「利用者の困りごと」について該当するものに○をつけてください。［あてはまるものすべてに○］

１　介護保険制度の仕組みがわかりにくい
２　希望どおりの施設に入所できない
３　サービス利用料等の経済的な負担が大きい
４　限度内のサービス利用量では不足している
５　サービス内容がわからない
６　希望どおりの在宅サービスが利用できない
７　手続きがわずらわしい
８　サービスの内容に満足できない

問１０　あなたは利用者から、サービス事業者への苦情・不満を聞いたことがありますか。
［１つに○］

１　聞いたことがある　→　問１０－①へ　　２　聞いたことはない

【問１０で「１　聞いたことがある」を選択した方のみ回答】

問１０－①　その苦情、不満は何ですか。［１つに○］

１　ヘルパーについて
　（具体的に：　　）
２　通所サービスについて
　（具体的に：　　）
３　配食サービスについて
　（具体的に：　　）
４　家族介護用品の支給について
　（具体的に：　　）
５　その他
　（具体的に：　　）

問１１　あなたはケアマネジャーの仕事を辞めたいと思ったことがありますか。［１つに○］

１　ある　→　問１１－①へ　　２　ない

【問１１で「１　ある」を選択した方のみ回答】

問１１－①　辞めたい理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

１　収入が少ない
２　書類作成など、介護以外の業務（管理業務等）が忙しすぎる
３　体力的にきつい
４　担当する要介護認定者が多すぎる
５　担当する要介護認定者からハラスメントを受けている
６　担当する要介護認定者の要求が多すぎる
７　その他（　　）

6：ケアマネジャー

問１２　あなたの日ごろの業務の中で頻繁に必要とされ、向上しなければならないと感じている「専門的技術」を次の中から選んでください。［１つに○］

1　自立支援や要介護度等の重度化を防ぐためのプランニング技術
2　困難事例に対応できる社会福祉援助技術
3　認知症に効果の高いプランニング技術
4　利用者の主訴を適切に把握し、より良いプランニングにつなげるアセスメント技術
5　その他（　　）
6　特にない

問１３　ケアマネジャーとして、あなたの所属している事業者に最も強く望むことは何ですか。［１つに○］

1　行政や職能専門団体が行う研修に積極的に参加させて欲しい
2　ケアプラン作成について助言して欲しい
3　公平・中立なケアプラン作成ができるような環境を整えて欲しい
4　事務職員や介護支援専門員を増員して欲しい
5　勤務時間の正常化を図って欲しい
6　処遇困難事例への対応の支援をして欲しい
7　文書の電子化やＩＣＴの活用等により業務負担の軽減を推進して欲しい
8　その他（　　）

市の介護予防・高齢者福祉施策について伺います。

問１４　高齢者福祉や介護保険に関する情報の公開手段は、次のどれが利用者にとってわかりやすいと思いますか。［あてはまるものすべてに○］

1　市の広報紙やパンフレット
2　市のホームページ
3　民生委員
4　高齢者相談センターの職員
5　社会福祉協議会の職員
6　家族・親族
7　病院の医師や看護師
8　市の保健師
9　ケアマネジャー
10　サービス提供事業者（ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰや看護師）
11　市役所の窓口
12　友人・知人
13　その他（　　）

問１５　ケアマネジャーの業務を行う上で、市に支援や充実を希望することは何ですか。［３つまで○］

1　介護保険制度や高齢者福祉施策に関する最新・適切な情報の提供
2　地域のネットワークづくり、多職種連携の支援
3　処遇困難事例への対応の支援
4　介護予防事業の展開
5　介護と医療の連携支援
6　認知症施策の推進、普及啓発
7　サービス提供事業者の質の向上のための研修等の実施
8　その他（　　）
9　特にない
10　わからない

問１６　在宅生活を支えるために、充実が必要と考える生活支援は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　配食
2　調理
3　掃除・洗濯
4　買い物（宅配を除く）
5　ゴミ出し
6　外出同行（通院、買い物など）
7　サロンなどの定期的な通いの場
8　特にない
9　その他（　　）

問１７　地域包括ケアシステムの確立に向けて、高齢者が在宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、不足していると感じたり、今後さらに推進が必要なものは何だと思いますか。［あてはまるものすべてに○］

1　外出する際の支援サービスの充実
2　コミュニティバス等の充実
3　各種介護予防事業の充実
4　介護と医療の連携の強化
5　在宅医療の充実
6　地縁組織やボランティア等による地域の見守り体制の充実
7　介護する家族へのケア
8　その他（　　）

問１８　高齢者の健康を維持させていくために、介護予防事業として今後さらに推進が必要な取り組みは何だと思いますか。［あてはまるものすべてに○］

1　転倒・骨折予防のための筋力アップトレーニング
2　認知症予防のための支援や啓発事業
3　転倒や閉じこもり予防のための体操教室
4　高齢者同士が交流できるふれあいサロン
5　栄養改善・口腔機能向上に関する講座
6　その他（　　）

問１９　介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについてどう考えますか。［あてはまるものすべてに○］

1　介護保険料が上がってもよいので、介護サービスは大いに充実させるべきだ
2　介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない
3　介護サービスが現状を維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ
4　介護サービスが低下しても構わないので、介護保険料は上げるべきではない
5　わからない

関係機関との連携について伺います。

問２０　サービス提供事業者との連携において問題を感じることはありますか。［あてはまるものすべてに○］

1　業務多忙で連絡が取りにくい
2　ケアプランどおりにサービスを提供してくれない
3　利用者の変化、要望などについて十分に報告がなされない
4　利用者に対する説明に相違が生じていることがある
5　その他（　　）
6　特にない

問２１　医療機関との連携は取れていますか。［１つに○］

1　十分に連携が取れている
2　ある程度連携が取れている
3　十分に連携が取れていない→　問２１－①へ
4　全く連携が取れていない　→　問２１－①へ
5　わからない

【問２１で「3　十分に連携が取れていない」または「4　全く連携が取れていない」を選択した方のみ回答】

問２１－①　医療機関との連携が取れていない理由は何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　日程を調整することが難しい
2　医療・介護関係者相互の理解・認識が不足している
3　交流の場が少ない
4　連携の必要性を感じない
5　その他（　　）

問２２　利用者対応で高齢者相談センター（地域包括支援センター）に相談することはありますか。［１つに○］

1　ある→　問２２－①へ
2　ない

【問２２で「1　ある」を選択した方のみ回答】

問２２－①　どのようなことを相談しましたか。［あてはまるものすべてに○］

1　介護保険サービスの利用
2　介護保険外サービスの利用
3　困難事例への対応
4　利用者と家族間の調整
5　医療に関すること
6　権利擁護
7　虐待に関すること
8　その他（　　）

最後に、市へご意見、ご要望、ご提案などがございましたら、お聞かせください。

多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。記入もれがないか、お確かめいただき、**１２月１０日（水）**までに同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。また、ご相談・ご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：加須市役所　福祉部　高齢介護課
電　話：０４８０－６２－１１１１（内線：１３４）
ＦＡＸ：０４８０－６１－４２８１
e-mail：korei@city.kazo.lg.jp

別紙「介護予防・生活支援サービス事業の内容」

サービスの種類	サービスの内容
訪問サービスＳ （従前の介護予防訪問介護相当）	指定事業者の訪問介護員による訪問サービス（身体介護、生活援助）
訪問サービスＡ （緩和した基準によるサービス）	指定事業者の訪問介護員による基準を緩和した訪問サービス（生活援助等）
訪問サービスＢ （住民主体による支援）	住民主体のボランティア団体等による生活援助等
訪問サービスＣ （短期集中予防サービス）	保健師等の専門職による短期間（３～６箇月）で行う居宅での相談指導等
訪問サービスＤ （移動支援）	介護予防・生活支援サービスと一体的に行う移動支援や移送前後の生活支援
通所サービスＳ （従前の介護予防通所介護相当）	指定事業者による通所サービス（生活機能の向上のための機能訓練）
通所サービスＡ （緩和した基準によるサービス）	指定事業者による基準を緩和した通所サービス（運動・レクリエーション等）
通所サービスＢ （住民主体による支援）	住民主体のボランティア団体等による体操、運動等の通いの場
通所サービスＣ （短期集中予防サービス）	専門職による短期間（３～６箇月）で行う生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラム

7：介護サービス提供事業所

加須市高齢者生活実態調査の実施について
―アンケート調査へのご協力のお願い―

日ごろから、市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、高齢化が進展する中で、高齢者が住み慣れた地域で自身が望む生活を続けることができるようにするため、介護予防や自立支援、地域ケアへの取組がますます重視されています。

こうした中、市では、３年を１期とする加須市高齢者支援計画の見直しにあたり、介護保険制度や高齢者施策に対する考え方やニーズなどを把握することを目的に、介護サービスを提供されている事業所の皆様を対象にアンケート調査を行わせていただくこととしました。

誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはございません。

令和７年１１月

加須市長　角　田　守　良

【 本調査の留意事項について 】

1　調査の対象者

加須市内の介護サービス提供事業所及び加須市民が利用する加須市外の介護サービス提供事業所

2　プライバシーの保護について

調査結果の分析・公表にあたって、個人・法人等を特定して行うことはありません。

3　調査の回答方法

①スマートフォンやパソコンからのオンライン回答
右の二次元コードまたは下のURLにアクセスしてご回答ください。
※オンラインで回答された方は、この調査票の返信は必要ありません。
URL：https://forms.gle/dvuAvhEPPWgBaFyx9

②ご記入いただいたアンケート用紙による回答
同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れお近くのポストへご投函ください。

4　ご記入にあたってのお願い

・選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。
・質問によっては、選択肢や○の数が限られているものもあります。
その場合は、ことわり書きを参考にしてご記入ください。
・「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（　）内にご記入ください。

①②それぞれ回答は、**１２月１０日（水）**までに、お願い申し上げます。

7：介護サービス提供事業所

貴事業所の法人格、所在地、電話番号等をご記入ください。

法人格 ［１つに○］	１　株式会社・有限会社　２　社会福祉法人　３　医療法人　４　ＮＰＯ法人 ５　生活協同組合　６　公益法人(又は市町村)　７　その他（　　）		
法人の名称			
法人所在地		電話番号	

ご回答に当たって

○　各設問は、令和７年 10 月１日現在の状況でご回答ください。
○　貴法人が、加須市内で複数の介護サービス提供事業所を運営している場合は、それら事業所すべてを対象にご回答ください。

問１　①貴事業所（法人）で実施しているサービスの種類は何ですか。
②実施しているサービスについて、利用者のニーズ量に対応できていますか。
③収支状況を教えてください。
［①実施しているサービス、②利用者ニーズへの対応、③収支状況についてそれぞれ１つずつ○］

① 実施しているものすべてに○			② 利用者ニーズへの対応		③収支状況		
			1 対応できている	2 断ることがある	1 黒字である	2 ほぼ均衡	3 赤字である
（ア）元気あっぷ訪問サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	1		1	2	1	2	3
（イ）元気あっぷ通所サービス（介護予防・生活支援サービス事業）	1		1	2	1	2	3
（ウ）介護予防訪問入浴介護	1	→	1	2	1	2	3
（エ）介護予防訪問看護	1	→	1	2	1	2	3
（オ）介護予防訪問リハビリテーション	1	→	1	2	1	2	3
（カ）介護予防居宅療養管理指導	1	→	1	2	1	2	3
（キ）介護予防通所リハビリテーション	1	→	1	2	1	2	3
（ク）介護予防短期入所生活介護	1	→	1	2	1	2	3
（ケ）介護予防短期入所療養介護	1	→	1	2	1	2	3
（コ）介護予防特定施設入居者生活介護	1	→	1	2	1	2	3
（サ）介護予防福祉用具貸与	1	→	1	2	1	2	3
（シ）特定介護予防福祉用具の販売	1	→	1	2	1	2	3
（ス）介護予防認知症対応型通所介護	1	→	1	2	1	2	3
（セ）介護予防小規模多機能型居宅介護	1	→	1	2	1	2	3
（ソ）介護予防認知症対応型共同生活介護	1	→	1	2	1	2	3
（タ）訪問介護	1	→	1	2	1	2	3
（チ）訪問入浴介護	1	→	1	2	1	2	3
（ツ）訪問看護	1	→	1	2	1	2	3
（テ）訪問リハビリテーション	1	→	1	2	1	2	3
（ト）居宅療養管理指導	1	→	1	2	1	2	3

7：介護サービス提供事業所

（ナ）通所介護	1	→	1	2	1	2	3
（ニ）通所リハビリテーション	1	→	1	2	1	2	3
（ヌ）短期入所生活介護	1	→	1	2	1	2	3
（ネ）短期入所療養介護	1	→	1	2	1	2	3
（ノ）特定施設入居者生活介護	1	→	1	2	1	2	3
（ハ）福祉用具貸与	1	→	1	2	1	2	3
（ヒ）特定福祉用具の販売	1	→	1	2	1	2	3
（フ）住宅改修	1	→	1	2	1	2	3
（ヘ）定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	→	1	2	1	2	3
（ホ）地域密着型通所介護	1	→	1	2	1	2	3
（マ）認知症対応型通所介護	1	→	1	2	1	2	3
（ミ）小規模多機能型居宅介護	1	→	1	2	1	2	3
（ム）認知症対応型共同生活介護	1	→	1	2	1	2	3
（メ）地域密着型特定施設入居者生活介護	1	→	1	2	1	2	3
（モ）地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	→	1	2	1	2	3
（ヤ）介護予防支援	1	→	1	2	1	2	3
（ユ）居宅介護支援	1	→	1	2	1	2	3
（ヨ）介護老人福祉施設	1	→	1	2	1	2	3
（ラ）介護老人保健施設	1	→	1	2	1	2	3
（リ）介護医療院	1	→	1	2	1	2	3

問２　現在、貴事業所が円滑な事業運営を進めていく上で、特に困難を感じることはどのようなことですか。
［あてはまるものすべてに○］

1　特にない　　2　従業者の確保
3　利用者の確保　　4　事務作業が多い
5　施設・設備の改善　　6　必要な情報の入手
7　従業者の資質向上　　8　制度に対する利用者や家族の理解
9　市町村等との連携　　10　遵守すべき人員基準
11　遵守すべき設備（施設）基準　　12　遵守すべき運営基準
13　事業所の運営を安定的に継続させていくための十分な財源の確保
14　その他　利用者の要望に応えられずご苦労なさっている点など、貴事業所が現在抱えている問題点や課題がありましたら、その内容をご記入ください。

サービス名	内容

7：介護サービス提供事業所

問３　貴事業所において、経営効率化のために取り組んでいることや検討していることはありますか。
［あてはまるものすべてに○］

1　新規介護サービス事業の展開　　2　既存介護サービス事業の拡大
3　既存介護サービス事業の縮小　　4　人件費の圧縮（給与水準見直し、人員削減など）
5　派遣労働者の活用　　6　業務の一部の外部委託の推進
7　業務のＩＣＴ化　　8　従業者向け研修の積極的参加・実施
9　キャリアアップの仕組みづくりなど従業者の定着促進
10　その他（　　）

問４　次期計画期間（令和９年度～令和１１年度）中に、貴法人において加須市内で新規に実施又は規模の拡充を予定しているサービスがありましたら、その種類、内容及び時期を教えてください。

種類	内容	時期
【記入例】 認知症対応型共同生活介護	・新設 ・大利根地域１事業所（定員１８人）	令和１０年４月

問５　次期計画期間（令和９年度～令和１１年度）中に、貴法人において加須市内で規模の縮小又は廃止を予定しているサービスがありましたら、その種類、内容及び時期を教えてください。

種類	内容	時期
【記入例】 地域密着型通所介護	・廃止 ・加須地域１事業所（定員○○人）	令和９年４月

問６　従業者を確保するために、どのような対策がもっとも効果的だと考えますか。［１つに○］

1　介護報酬の引き上げ
2　人員配置に関する運営基準の見直し
3　学生を対象に介護職の魅力をＰＲ
4　介護資格取得に対する補助金等の財政支援
5　介護者の負担を軽くするためのＩＣＴ機器の導入に対する補助金等の財政支援
6　その他（　　）

問７　利用者や家族からどのような苦情を受けることがありますか。［あてはまるものすべてに○］

1　サービス内容に関するもの
2　利用手続・利用料金に関するもの
3　職員の対応に関するもの
4　施設・設備に関するもの
5　保険外負担(その他日常生活費等)に関するもの
6　その他(　　)
7　特に苦情を受けていない

（該当するサービスを提供している事業所のみ）

問８　貴事業所では、「看取り介護」を実施していますか。または今後実施の予定はありますか。
［１つに○］

1　実施している
2　実施する予定である（時期：　　）
3　実施する予定はない

問９　高齢者福祉や介護保険に関する情報の公開手段は、次のどれが利用者にとってわかりやすいと思いますか。［あてはまるものすべてに○］

1　市の広報紙やパンフレット
2　市のホームページ
3　民生委員
4　高齢者相談センターの職員
5　社会福祉協議会の職員
6　家族・親族
7　病院の医師や看護師
8　市の保健師
9　ケアマネジャー
10　サービス提供事業者（ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰや看護師）
11　市役所の窓口
12　友人・知人
13　その他（　　）

問１０　業務を行う上で、市に支援や充実を希望することは何ですか。［３つまで○］

1　介護保険制度や高齢者福祉施策に関する最新・適切な情報の提供
2　地域のネットワークづくり、多職種連携の支援
3　処遇困難事例への対応の支援
4　介護予防事業の展開
5　職員の質の向上のための研修等の実施
6　市独自の補助金の交付等による事業所への財政的支援
7　その他（　　）
8　特にない
9　わからない

問１１　高齢者の生きがいのため、市にどのようなことを要望しますか。［あてはまるものすべてに○］

1　高齢者の働く場についての情報提供
2　学習講座などについての情報提供
3　老人クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談
4　ボランティアグループなどの紹介・相談
5　活動組織の運営についての助言
6　会議室などの活動場所の提供
7　公共交通の利便性の改善
8　行政サービス利用の無料化
9　その他（　　）

介護人材の確保等に関することについて伺います。

問１２　貴事業所の人材確保の状況についてお答えください。［１つに○］

1　確保できている
2　おおむね確保できている
3　やや不足している→ 問 13、問 14 へ
4　不足している→ 問 13、問 14 へ

【問１２で「3　やや不足している」又は「4　不足している」と回答された事業所に伺います。】

問１３　現在、不足している職種、人数、採用の候補となる年齢区分をお答えください

職種	正規職員（単位：人）	非正規職員（単位：人）	年齢区分 ※あてはまるものすべてに○
訪問介護員			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
介護職員			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
看護師・准看護師			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
理学療法士、作業療法士等			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
栄養士			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
生活相談員			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
介護支援専門員			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
事務職員			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
その他			1　10～20 代　2　30～40 代　3　50～60 代　4　70 代～　5　年齢は問わない
合計			

※正規職員、非正規職員を問わない場合は、正規職員に計上してください。
※年齢区分において、【5 年齢は問わない】場合は、他の選択肢（1～4）への○は不要です。

【問１２で「3　やや不足している」又は「4　不足している」と回答された事業所に伺います。】

問１４　不足している理由として考えられることは何ですか。［あてはまるものすべてに○］

1　採用が困難である
2　離職率が高い（定着率が低い）→ 問 15 へ
3　事業拡大によって必要人員が増大した
4　その他（　　）

【問１４で「2　離職率が高い（定着率が低い）」と回答された事業所に伺います。】

問１５　離職理由について、把握している範囲でお答えください。［あてはまるものすべてに○］

1　結婚
2　出産・育児
3　家族等の介護・看護
4　労働時間・勤務体制の負担
5　収入が少ない
6　家族の転居・転勤
7　専門性や能力を発揮できない
8　キャリアアップが見込めない
9　他の職種への転職
10　起業・開業
11　心身の不調、高齢
12　職場の人間関係
13　利用者・家族との関係性
14　分からない
15　その他（　　）

問１６　離職防止や人材定着のために、どのような取組を行っていますか。［あてはまるものすべてに○］

1　賃金・休日などの労働条件を改善している
2　能力などを評価し、配置や処遇に反映している
3　非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
4　不満や悩みなどの相談窓口を設けている
5　社内研修を充実させている
6　外部研修（国、県、業界団体など）に積極的に参加させている
7　複数の事業者で合同研修等を実施している
8　資格取得への支援をしている
9　その他（　　）

問１７　人材を新たに確保する際に困っていることはありますか。［あてはまるものすべてに○］

1　募集しても応募が少ない
2　一定の資格を持つ人材の確保が難しい
3　夜間など人材の確保が難しい時間帯がある
4　新規学卒者の確保が難しい
5　特にない
6　その他（　　）

問１８　新たな人材確保に向けて取り組んでいることはありますか。［あてはまるものすべてに○］

1　ホームページや広告などで求人を出す
2　ハローワークに求人募集を出す
3　人材派遣会社から派遣
4　大学、専門学校などに求人募集を出す
5　他事業所の施設の職員を勧誘
6　特にない
7　その他（　　）

問１９　外国人の雇用による人材の確保を行っていますか。［１つに○］

1　現在雇用している
2　雇用を検討している
3　雇用を考えていない
4　わからない

問２０　職員の教育・研修計画を作成していますか。［１つに○］

1　作成済み
2　これから作成予定
3　作成予定なし

問２１　今後、職員を参加させたい研修はどのような内容のものですか。［あてはまるものすべてに○］

1　接遇・マナー向上
2　介護技術・知識向上
3　資格取得支援
4　リスクマネジメント
5　応急措置等安全対策
6　虐待防止
7　公衆衛生・感染症対策
8　介護保険制度学習
9　特にない
10　その他（　　）

問２２　介護人材の確保対策等として、市に実施してほしいと思うことは何ですか。［１つに○］

1　介護人材に関する入門的研修の実施
2　専門的研修の実施（看取り、医療的ケアなど）
3　就職希望者とのマッチング支援
4　市独自の資格取得に対する補助
5　人材派遣に係る経費に対する補助
6　介護の仕事の魅力発信
7　介護現場における業務仕分けへの支援
8　ＩＣＴ等の導入支援
9　その他（　　）

最後に、利用者（家族等）から聞いている要望、制度改正に伴う介護サービスに対する課題などありましたら、教えてください。

多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。記入もれがないか、お確かめいただき、**１２月１０日（水）**までに同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。また、ご相談・ご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。

≪お問い合わせ先≫
アンケート調査全般について
加須市役所　福祉部　高齢介護課
電　話：０４８０－６２－１１１１（内線：１３４）
ＦＡＸ：０４８０－６１－４２８１
e-mail：korei@city.kazo.lg.jp

ＰＣ・スマートフォンからのオンライン回答について
株式会社環境総合研究所 北関東支社
電　話：０２７６－５５－３８５３
e-mail：kitakan@kansouken.co.jp
※この調査は、加須市が株式会社環境総合研究所に委託して実施しています。

令和７年度加須市高齢者生活実態調査結果報告書
令和８年３月

加須市役所 福祉部 高齢介護課 地域包括ケア担当
電　話：0480－62－1111
ＦＡＸ：0480－61－4281
e-mail：korei@city.kazo.lg.jp